

フルカラー版 機動戦士ガンダム

14

THE ORIGIN

—ルウム編・後—

安彦良和

原案
矢立肇・富野由悠季
メカニックデザイン
大河原邦男



これまでのあらずド



↑ジオン軍はサイド2のコロニーのひとつを毒ガス攻撃で制圧し、地球連邦軍司令部ジャブローに落下させる作戦を実行する。

宇宙世紀0068、宇宙移民者による地球連邦政府からの独立運動の中心的人物であった、ムンソ共和国議長ジオン・ズム・ダイクンが急死を遂げる。その混乱に乗じてダイクンの腹心デギン・ザビとその一族はムンソの実権を握ろうと暗躍を始めた。

ジオンの遺児であるキャスバルとアルテイシアは、ザビ家から逃れるため名を変え地球、そしてテキサスコロニーへと移り住む。一時は平穏な日々を過ごす二人だったが、故郷に残した母の死を知ったキャスバルは親友のシャア・アズナブルに成りすまし、ザビ家に復讐するためにジオンの士官学校へと入学する。

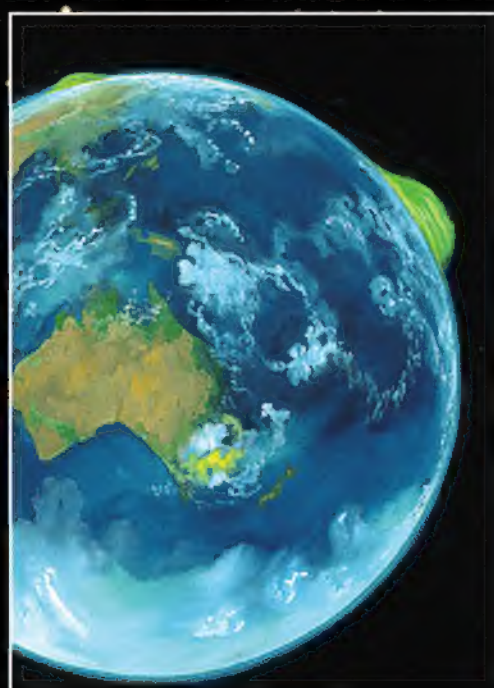
ジオン内で地球連邦からの独立を願う声が高まる中、シャアは士官学校で出会ったザビ家の末弟ガルマを扇動し、士官学校生を率いて連邦軍治安部隊に奇襲をかけさせる。これによってガルマは

宇宙世紀0079

煌く戦場の光の中

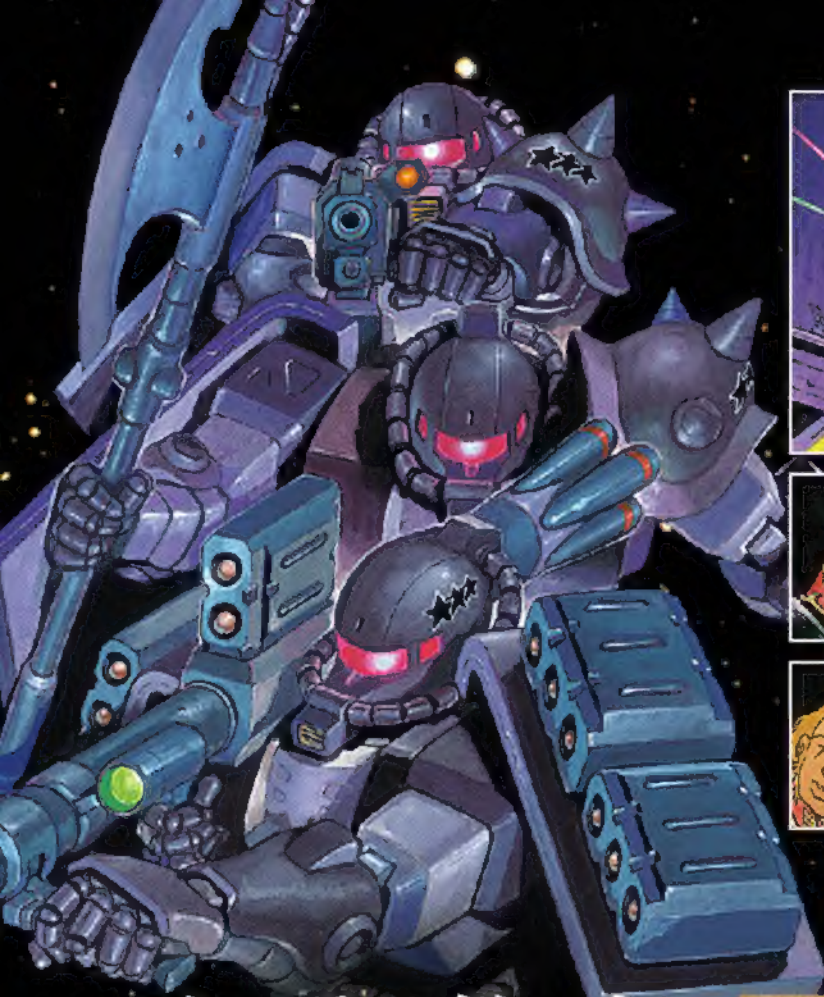
赤い彗星の伝説が

生まれようとしていた



→↓←連邦軍の必死の抵抗によりジャブローへの直撃は避けられたが、コロニーの落下により人類はその半数を失う。





↑←ジオン軍は数で連邦軍に劣る艦隊戦力に加え、黒い三連星を隊長とするモビルスーツ部隊の投入を企てる。



↑レビル將軍率いる連邦軍宇宙艦隊が次なる戦場サイド5ルウムに向かう。

初陣の勝利に 歓喜するジオン軍 その影でザビ家の 陰謀が交錯する

ジオン市民の間で英雄に祭りあげられるが、ジオンと連邦の関係は一触即発の状態にまで悪化した。宇宙世紀0078、ジオンは新型兵器モビルスーツの開発責任者ミノフスキー博士の連邦への亡命を阻止するため、月面にモビルスーツ部隊を派遣した。シャア、ランバ・ラル、黒い三連星からなるその部隊は博士を守る連邦の鉄騎兵大隊を壊滅。モビルスーツの戦闘力の高さを証明する。

そして宇宙世紀0079、ジオンは連邦政府に対して独立を宣言、ついに両者は戦争状態に突入した。そして速戦即決を計るジオンは制圧したスペースコロニーを地球へ落下させた。連邦軍本部ジャブローへの落下は阻止されたが、結果として世界の総人口の半分を死に至らしめる。一気に劣勢に追いやられた連邦軍はジオンの三倍ともいえる艦隊を集結させたサイド5ルウムでの戦いで、戦況の逆転を目論むが……。



↑セイラはサイド5テキサスコロニーで起きた暴動の中、兄シャア・アズナブルが操る赤いモビルスーツを目撃する。



機動戦士ガンダム THE ORIGIN **[4]** —ルウム編・後—


C O N T E N T S

SECTION V ————— 005

SECTION VI ————— 053

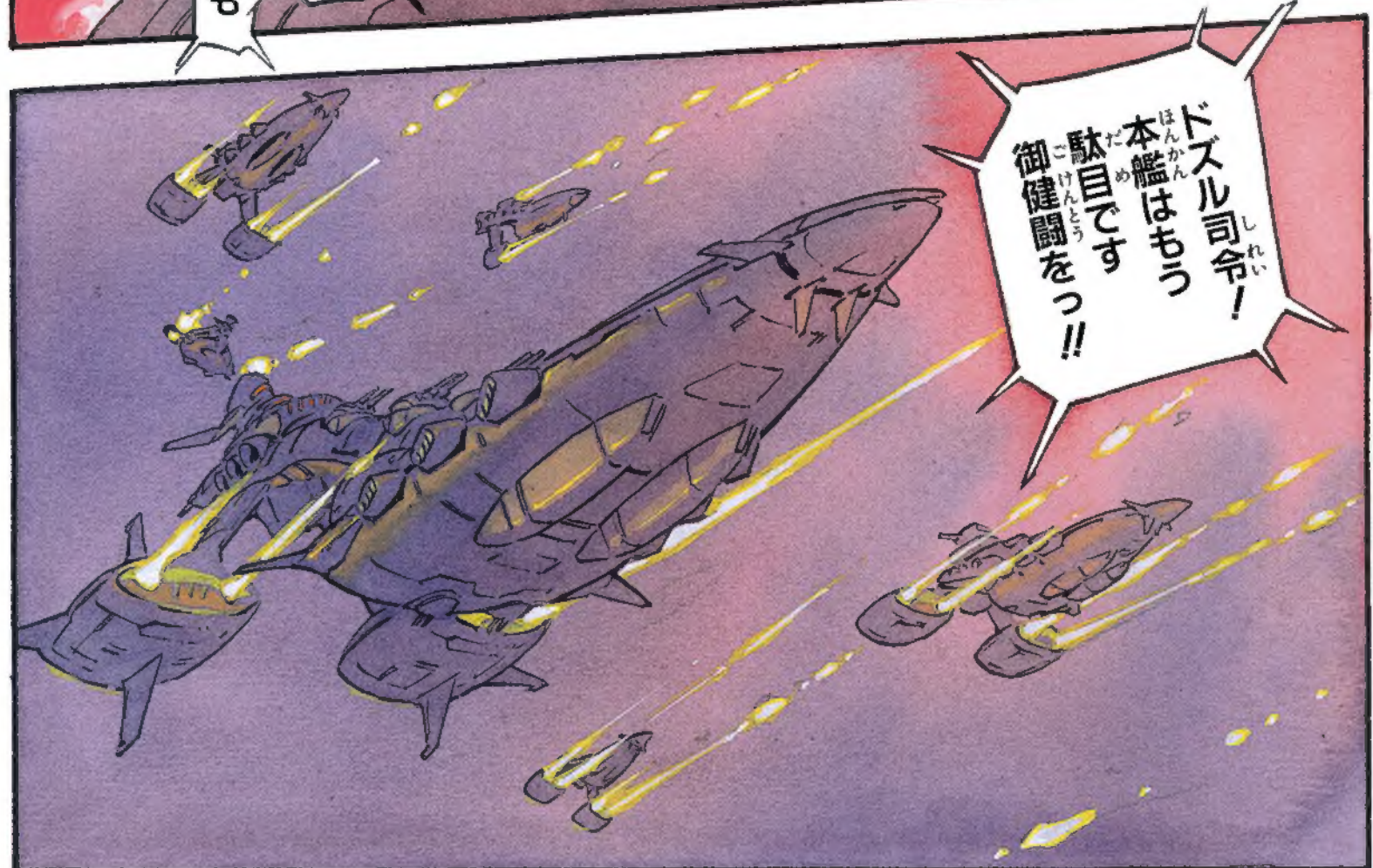
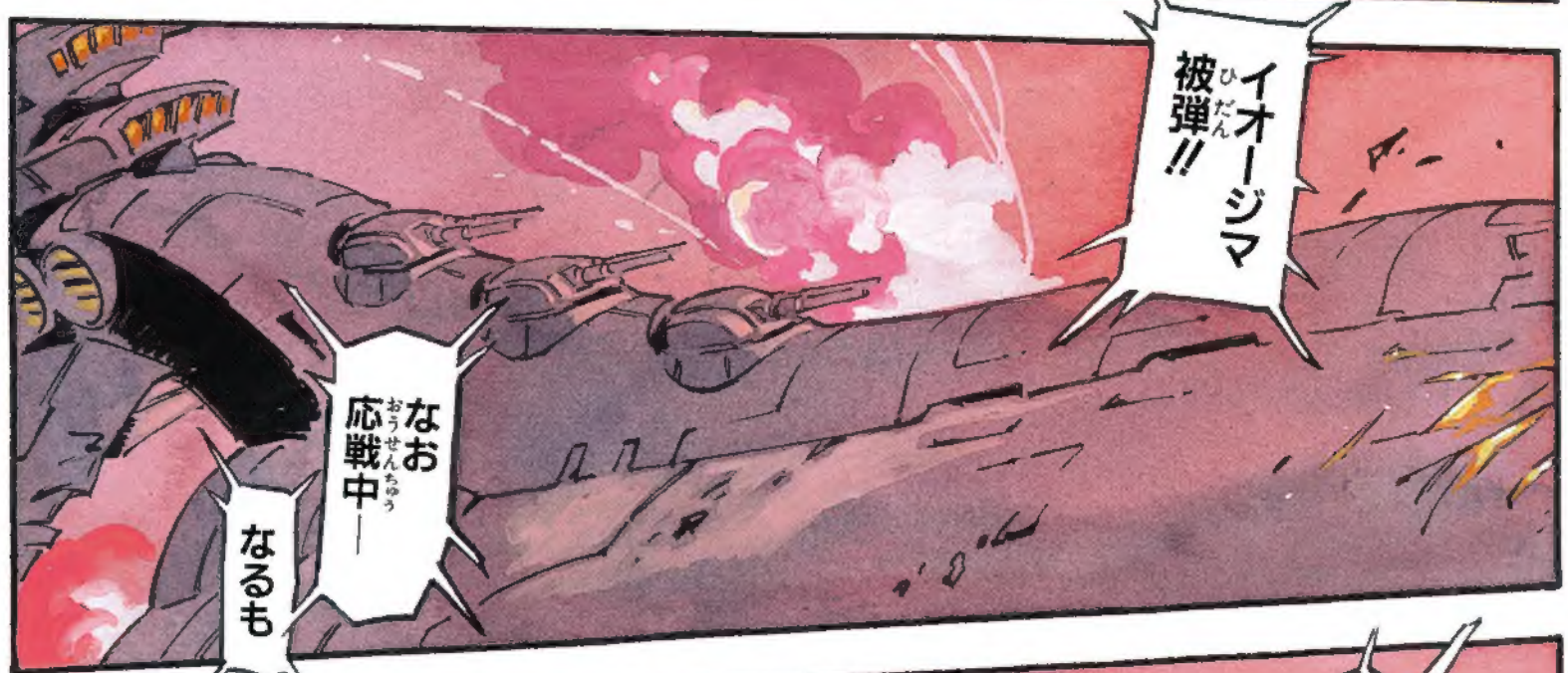
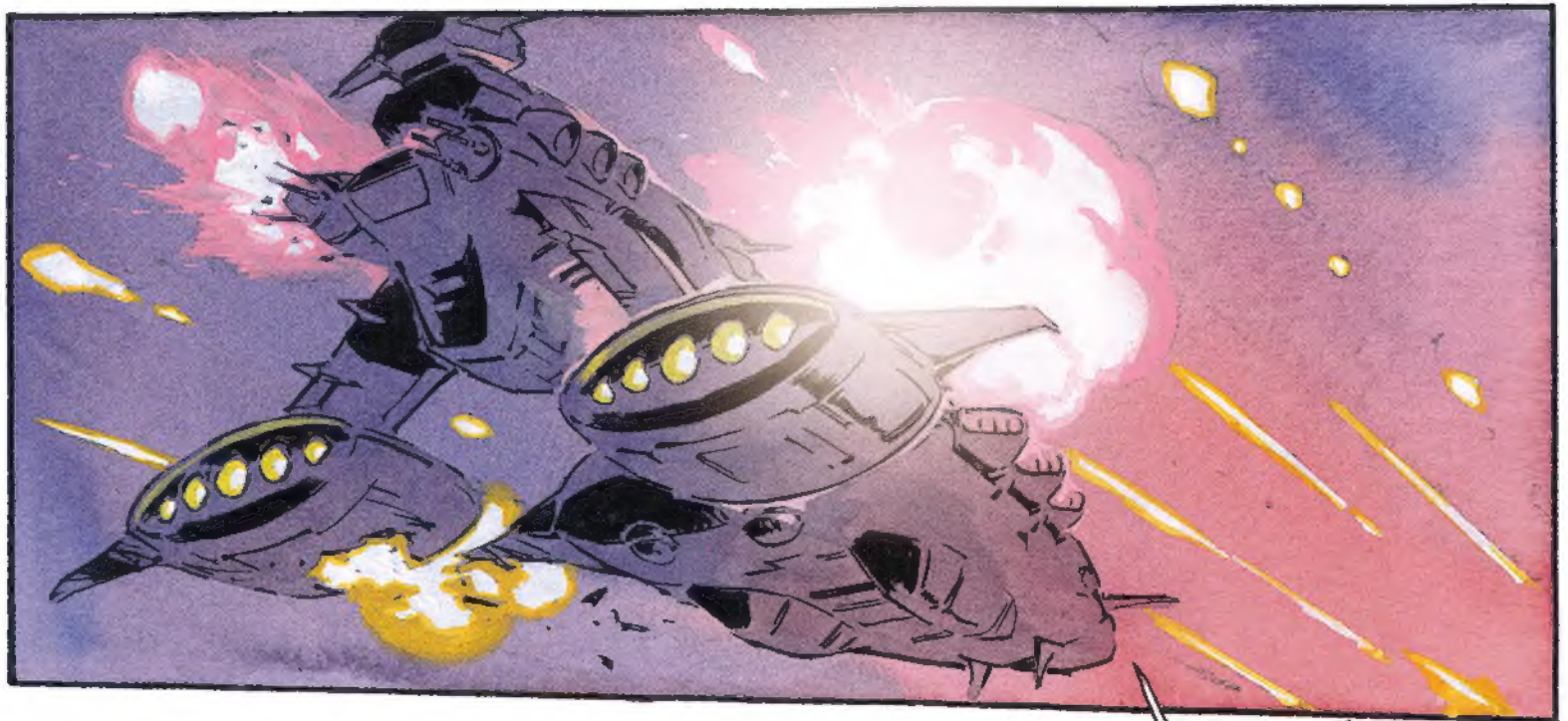
SECTION VII ————— 101

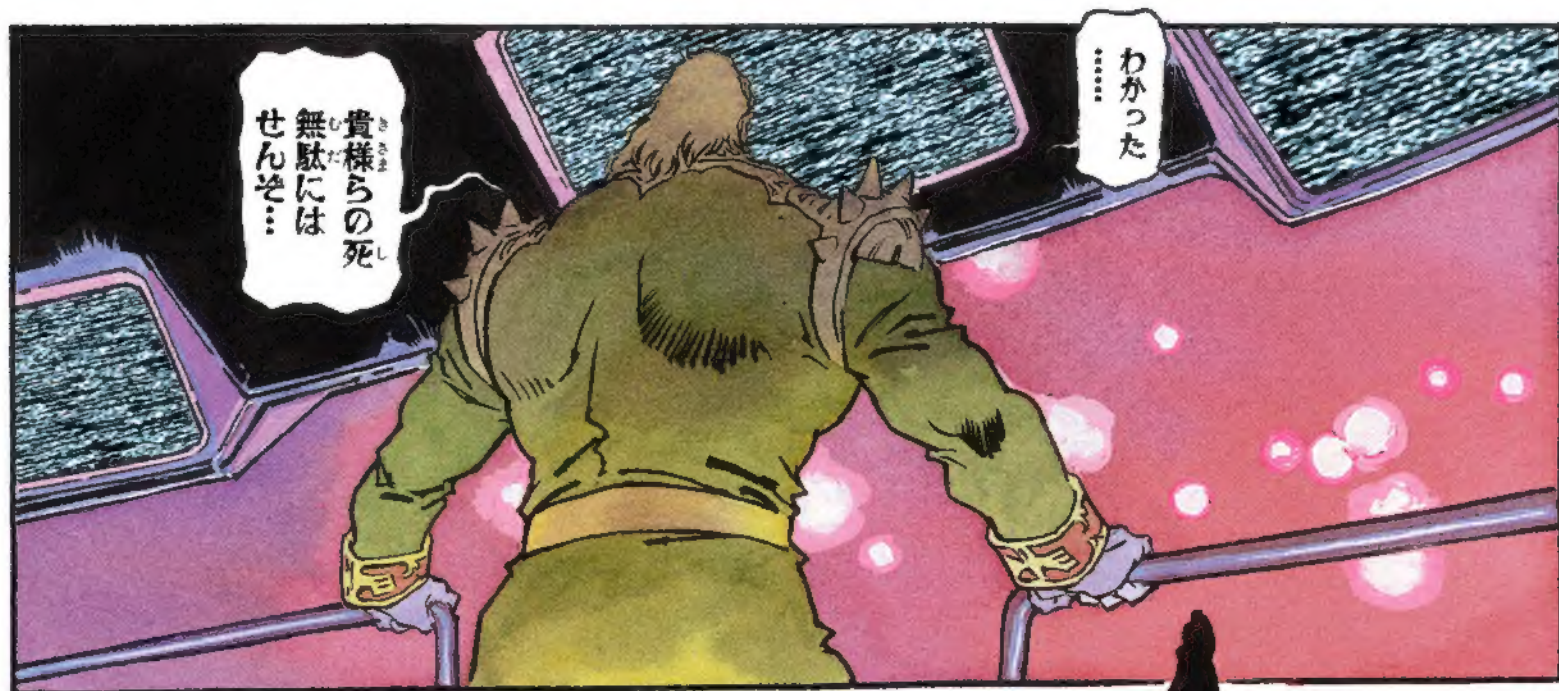
SECTION VIII ————— 149



— ルウム編・後 —

SECTION
V





でんぐんしょかん
殿軍諸艦の

奮闘を

無駄に

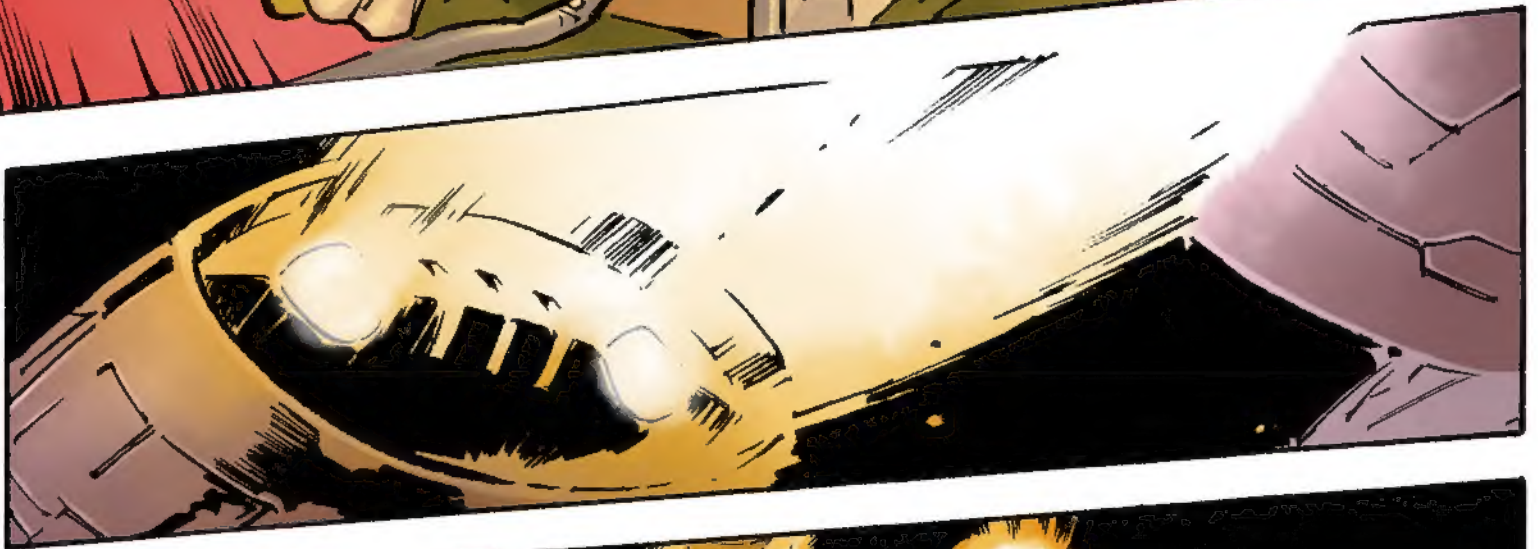
するなっ

!!

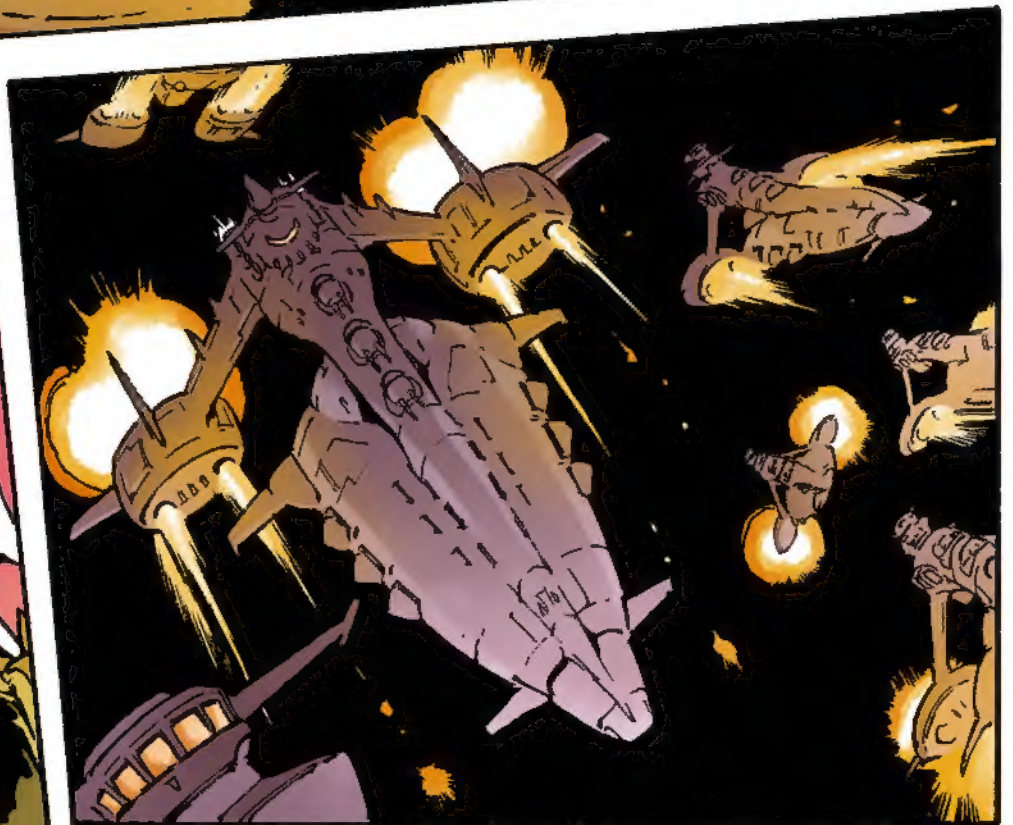
さんかい
散開っ!!

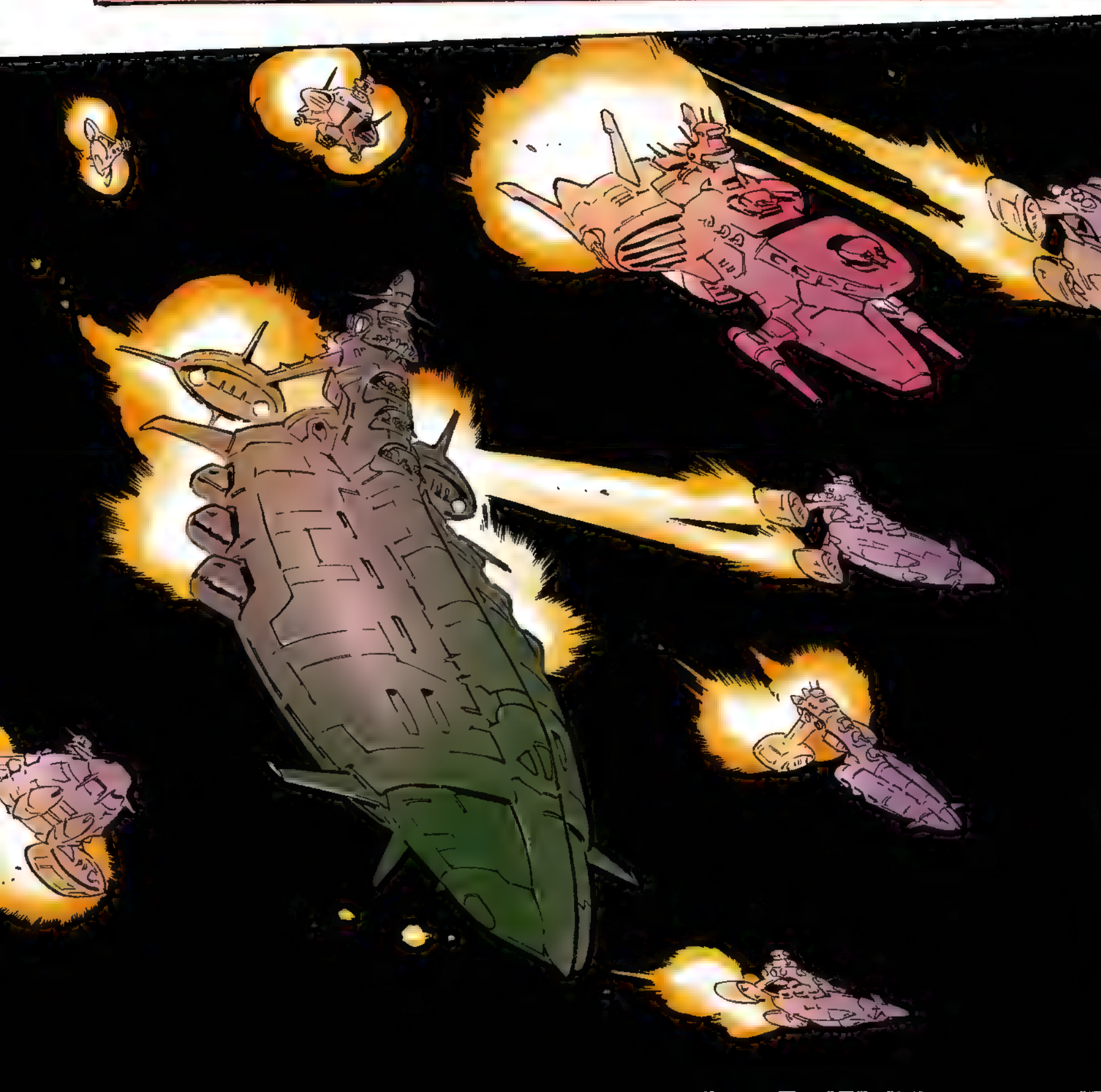
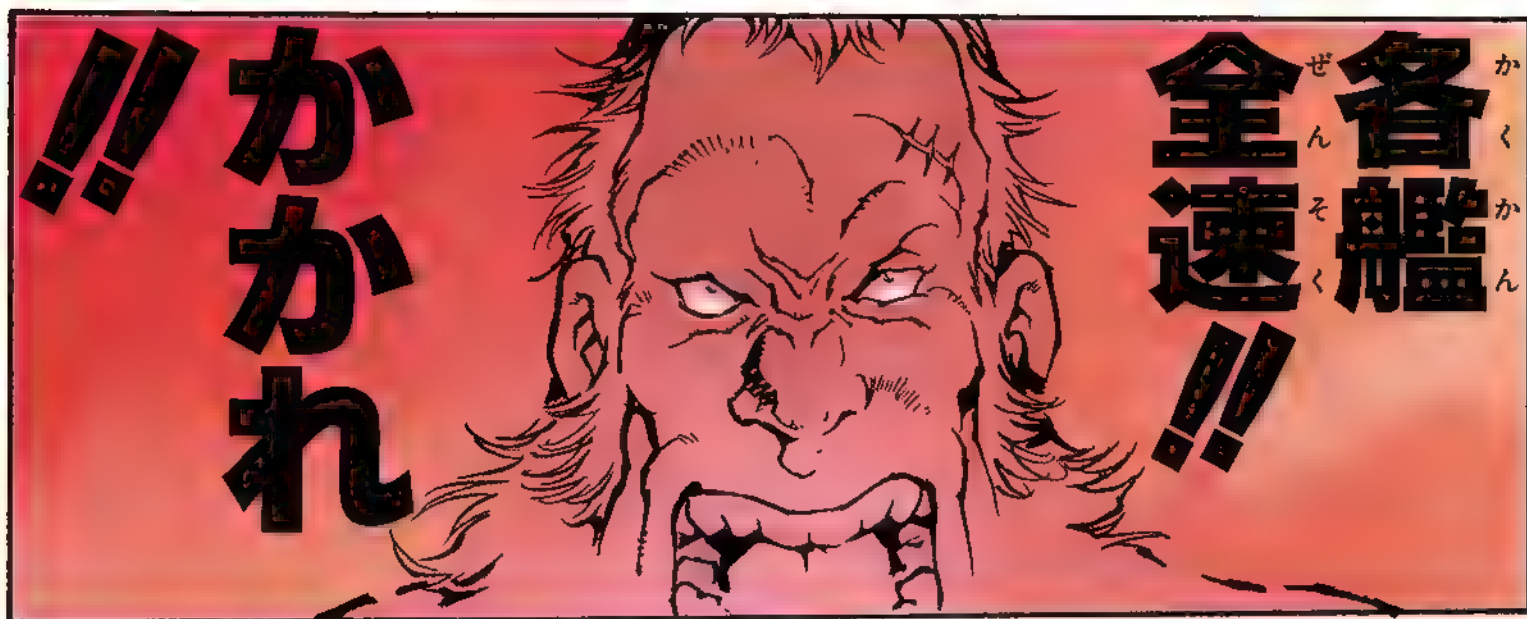
しかるのち

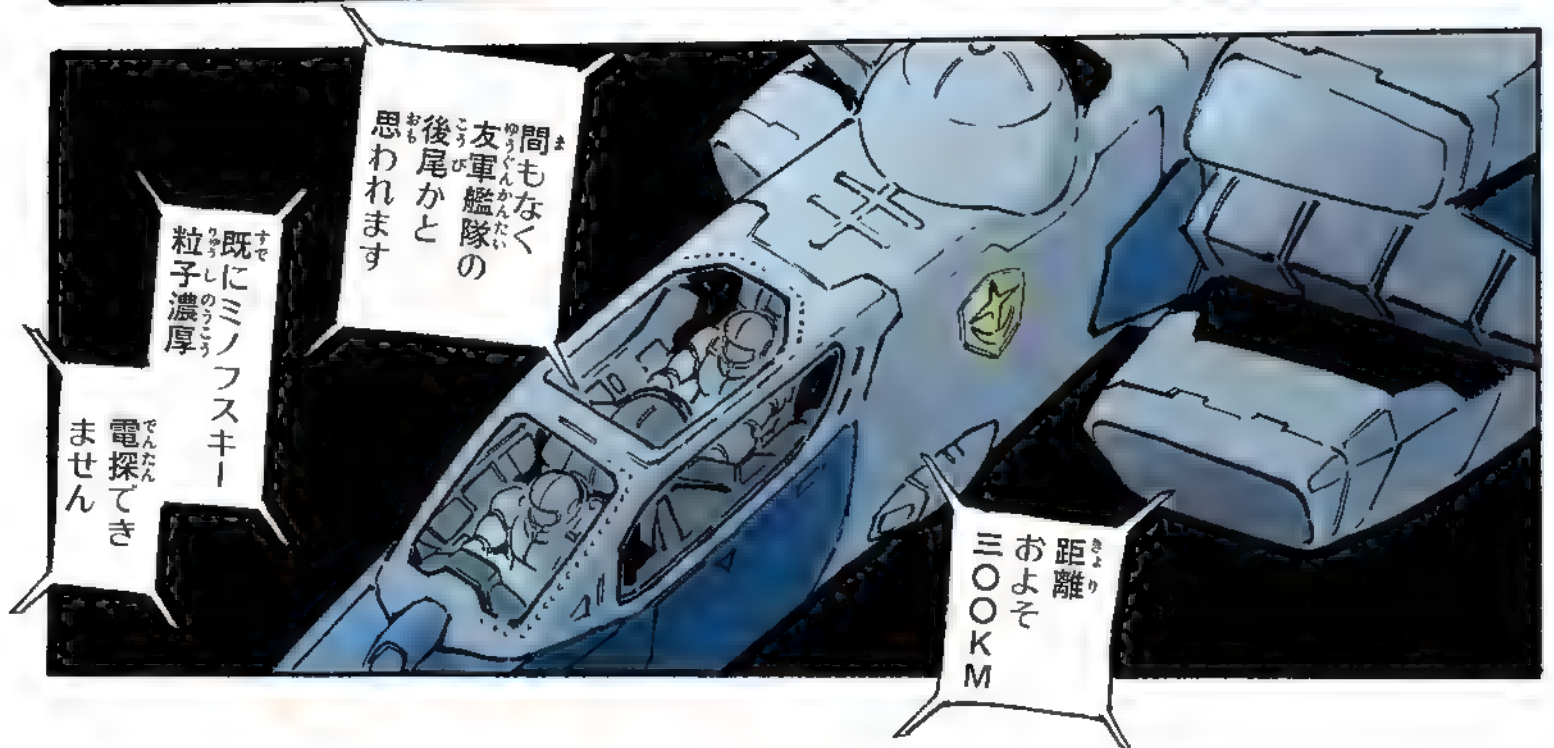
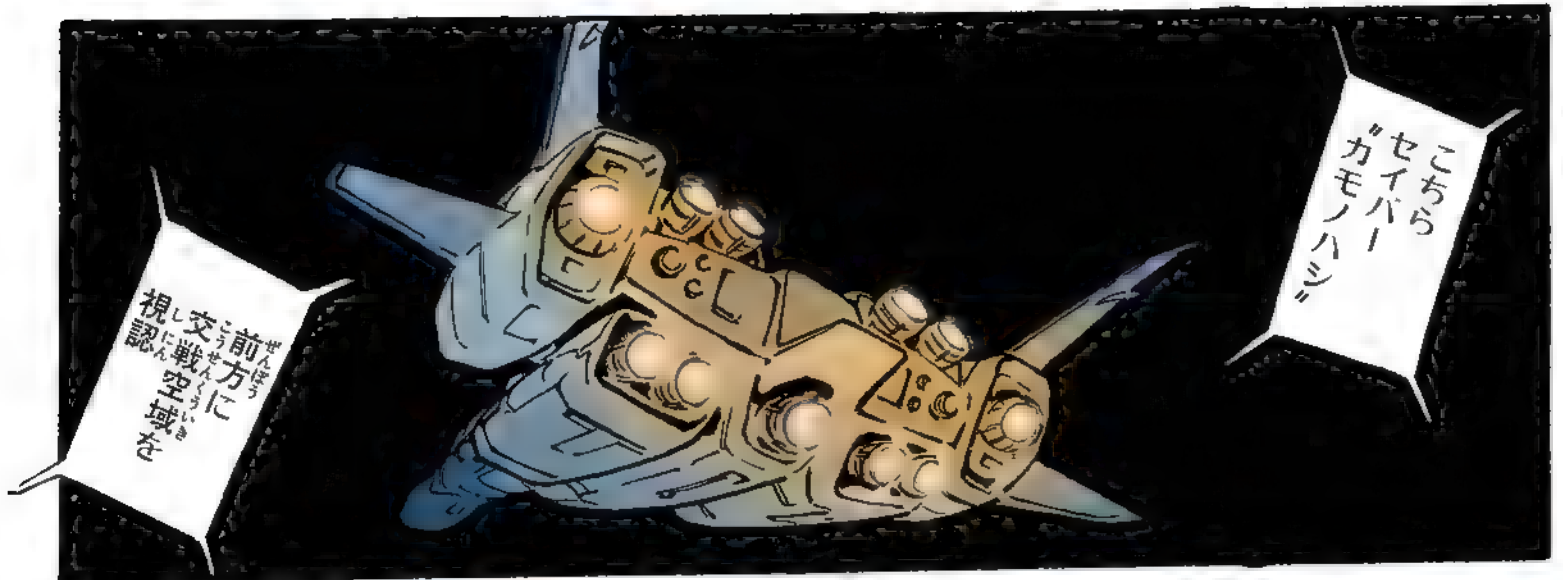
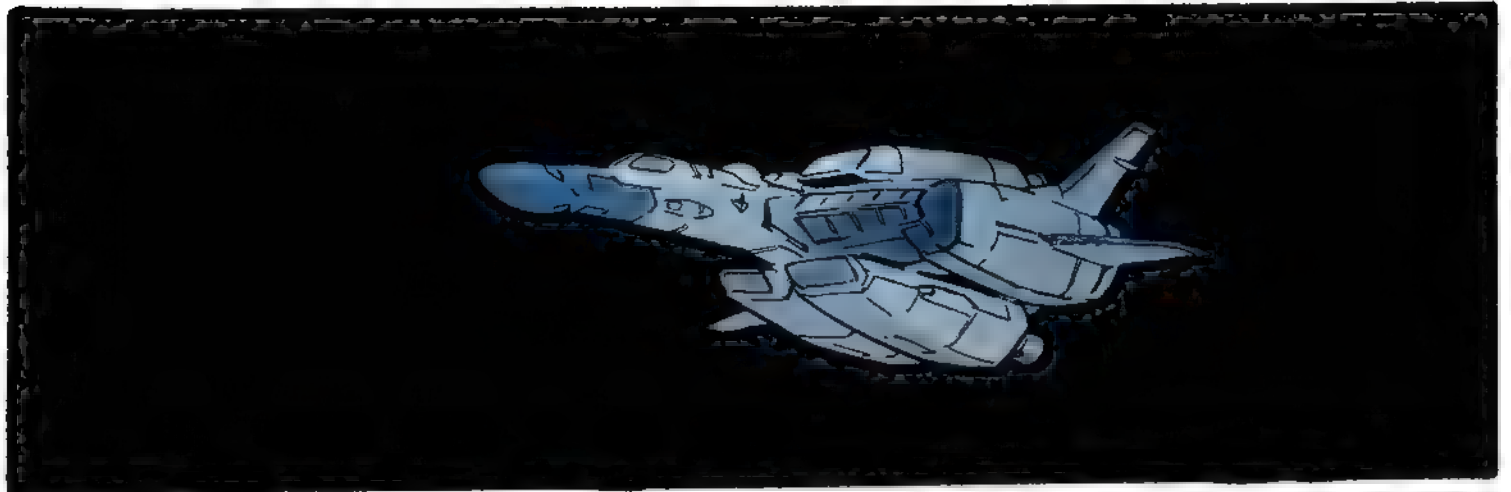
はんとん
反転!!

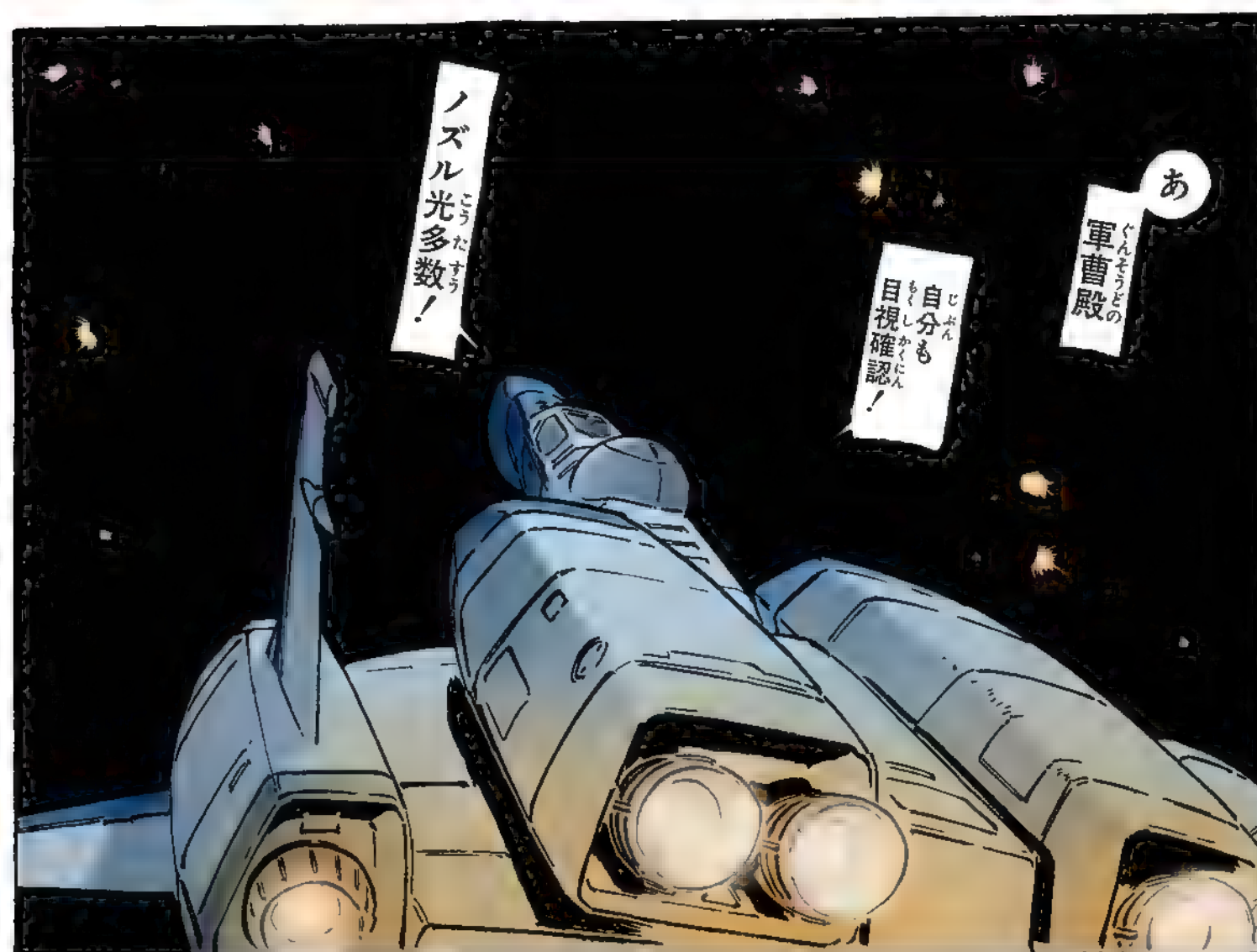
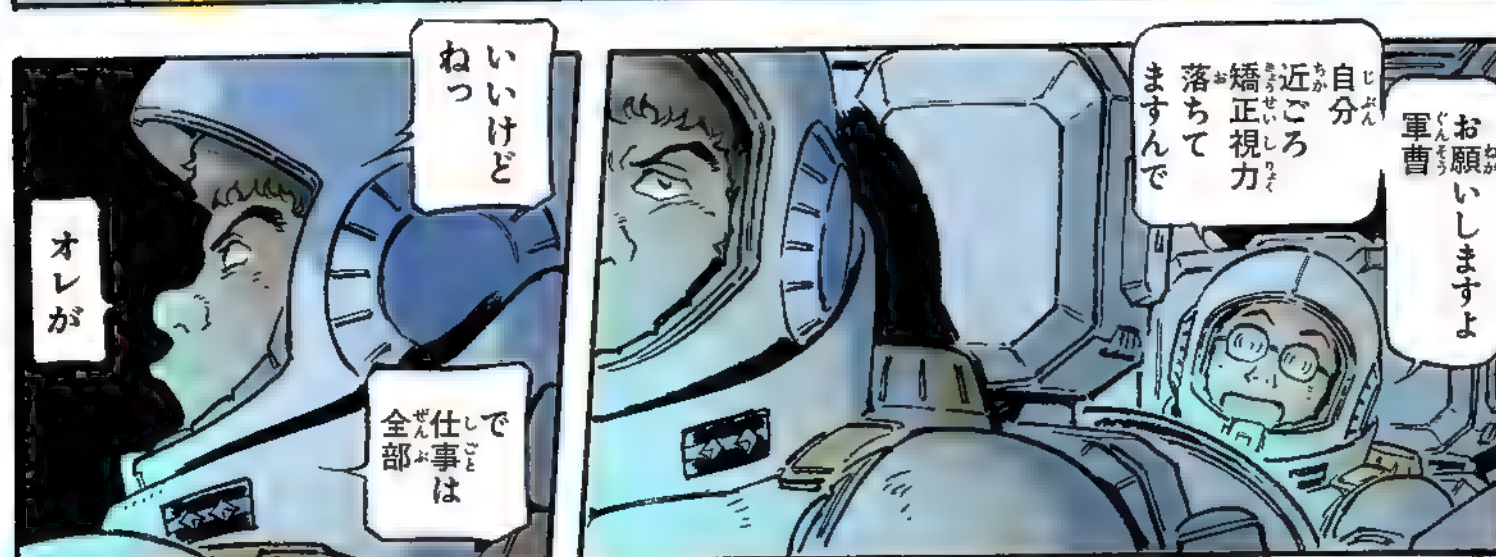


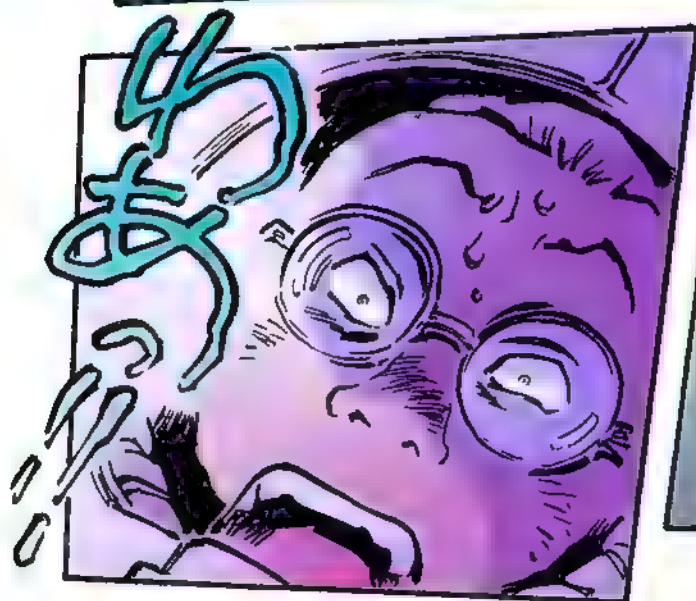
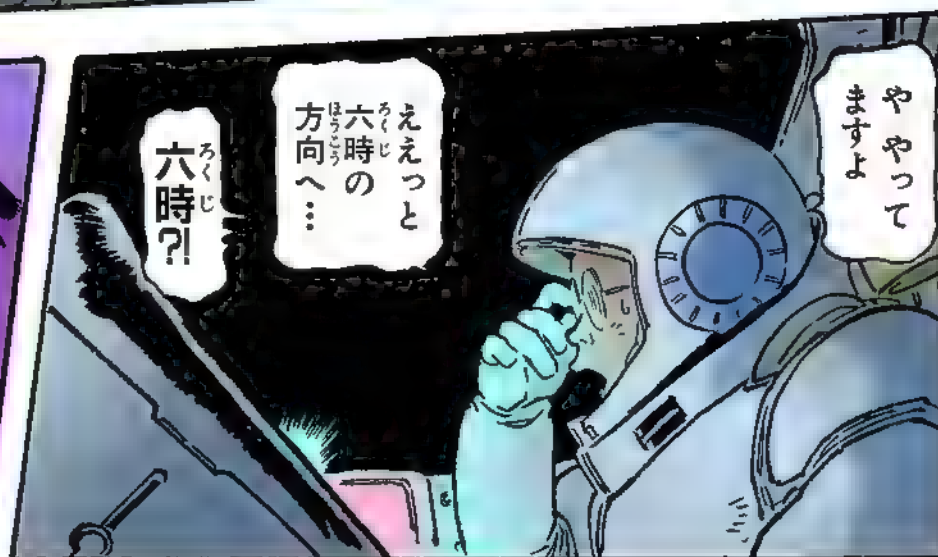
もくひょう
目標オオ
てきかんたい
敵艦隊の
しゅりやく
主力
レビル本隊!!
ほんたい

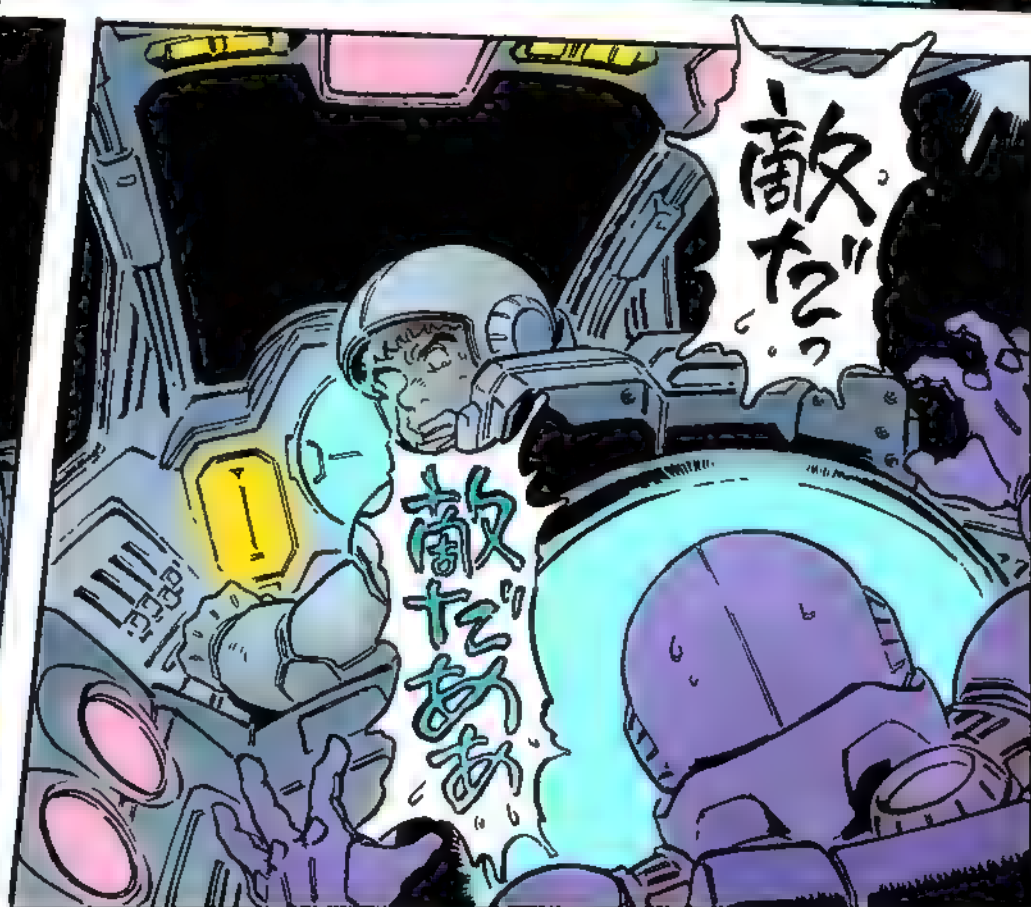
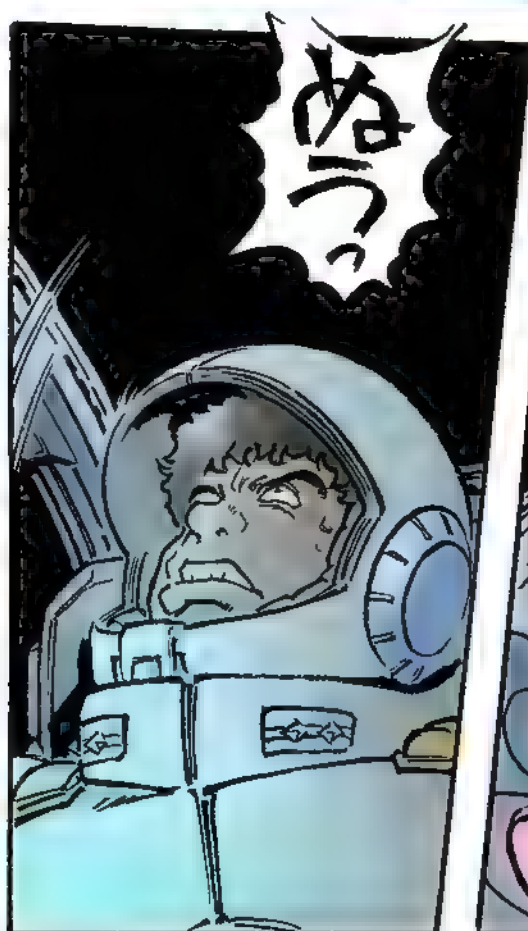


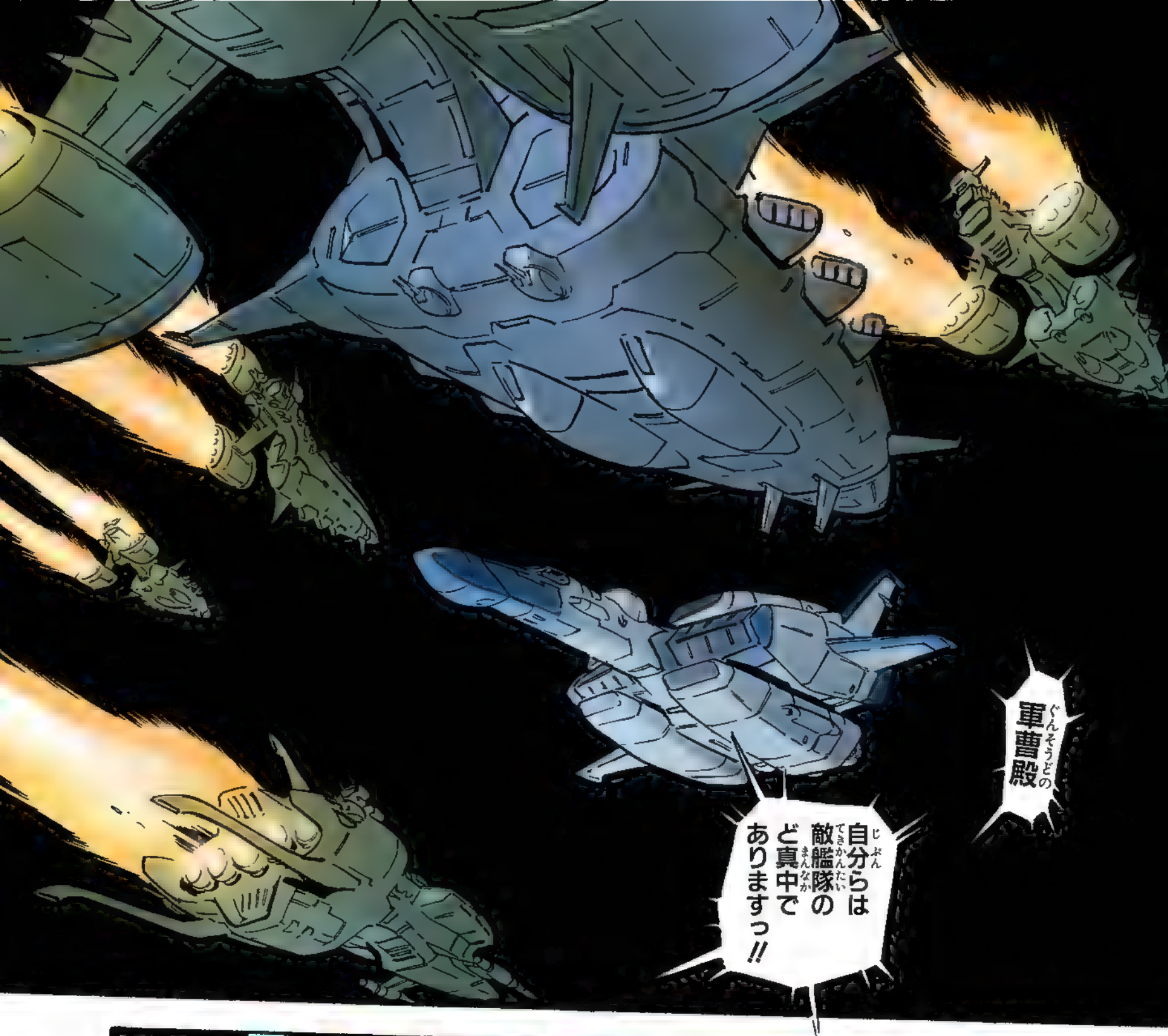






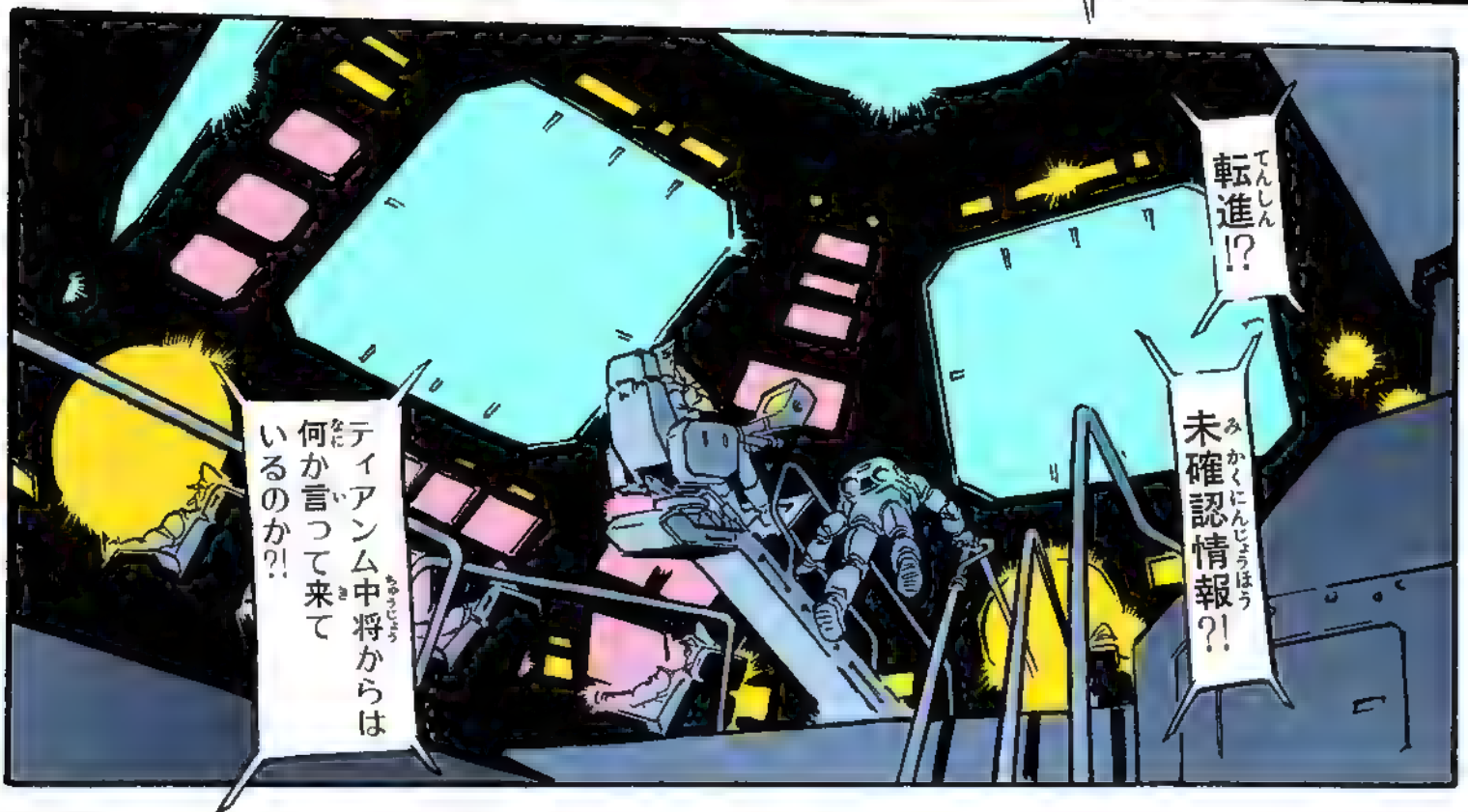






ぐんそうどの
軍曹殿

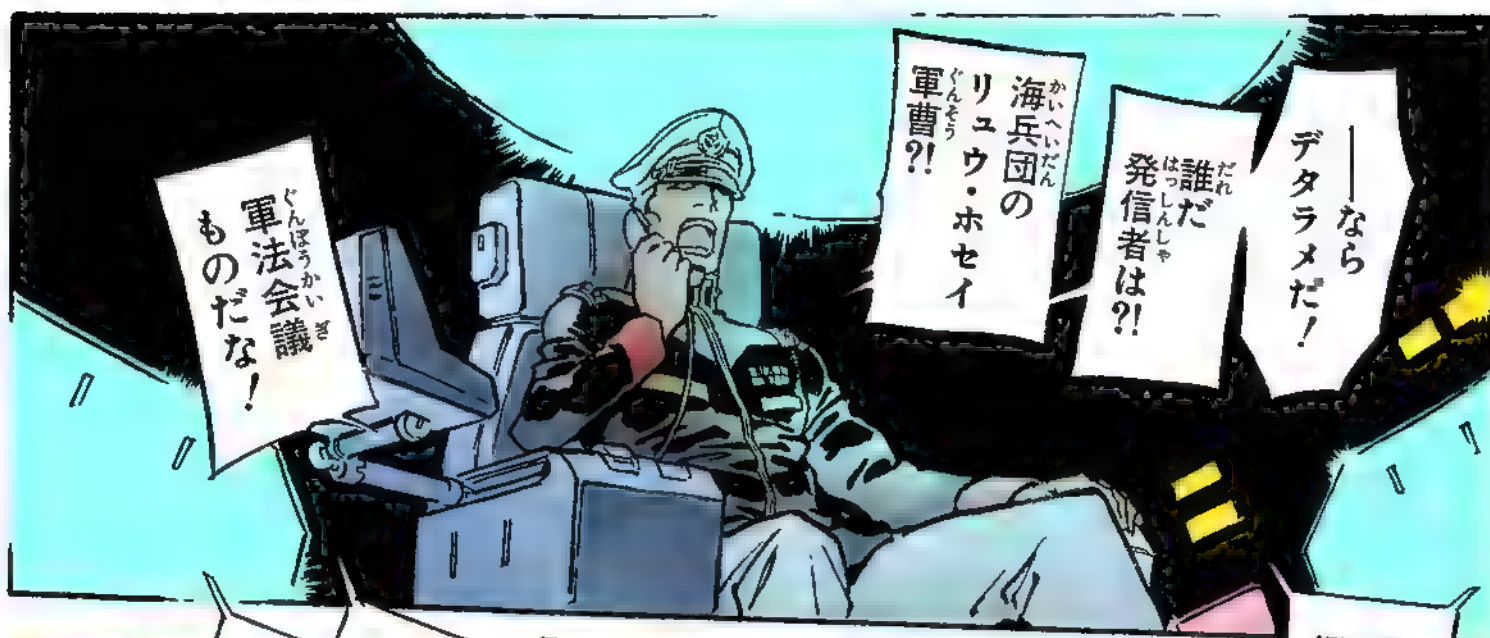
自分らは
敵艦隊の
ど真中で
ありますっ!!



てんしん
転進!?

みかくにんじょうほう
未確認情報?!

ティアンム中將からは
何か言って来て
いるのか?!

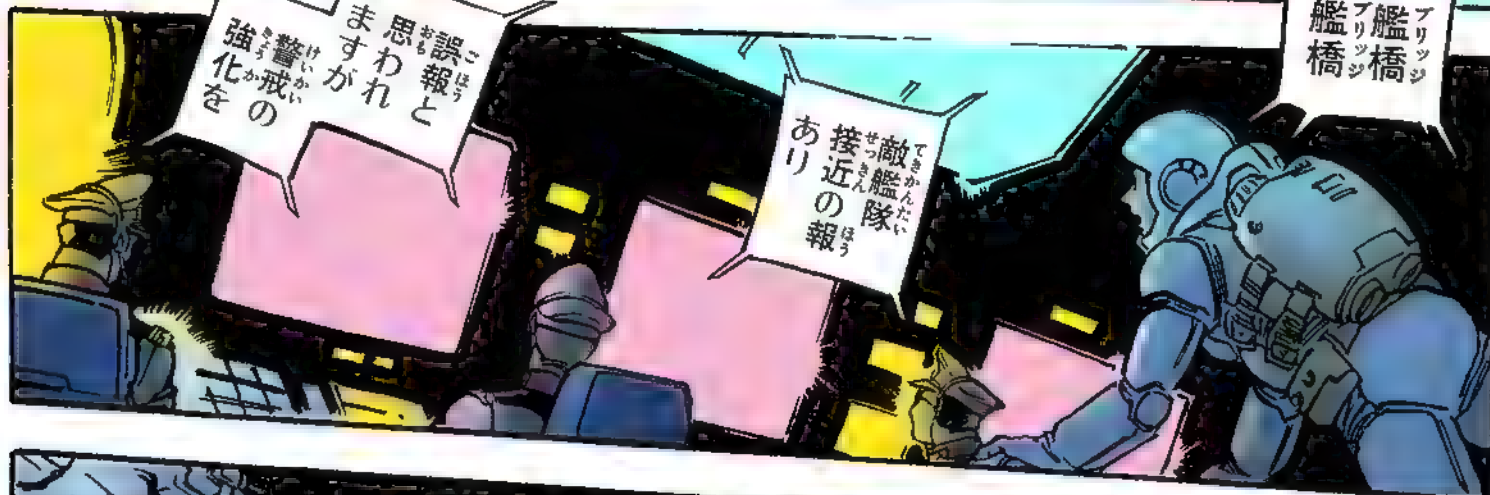


—なら
デタラメだ!

誰だ
発信者は?!

海兵団の
リュウ・ホセイ
軍曹?!

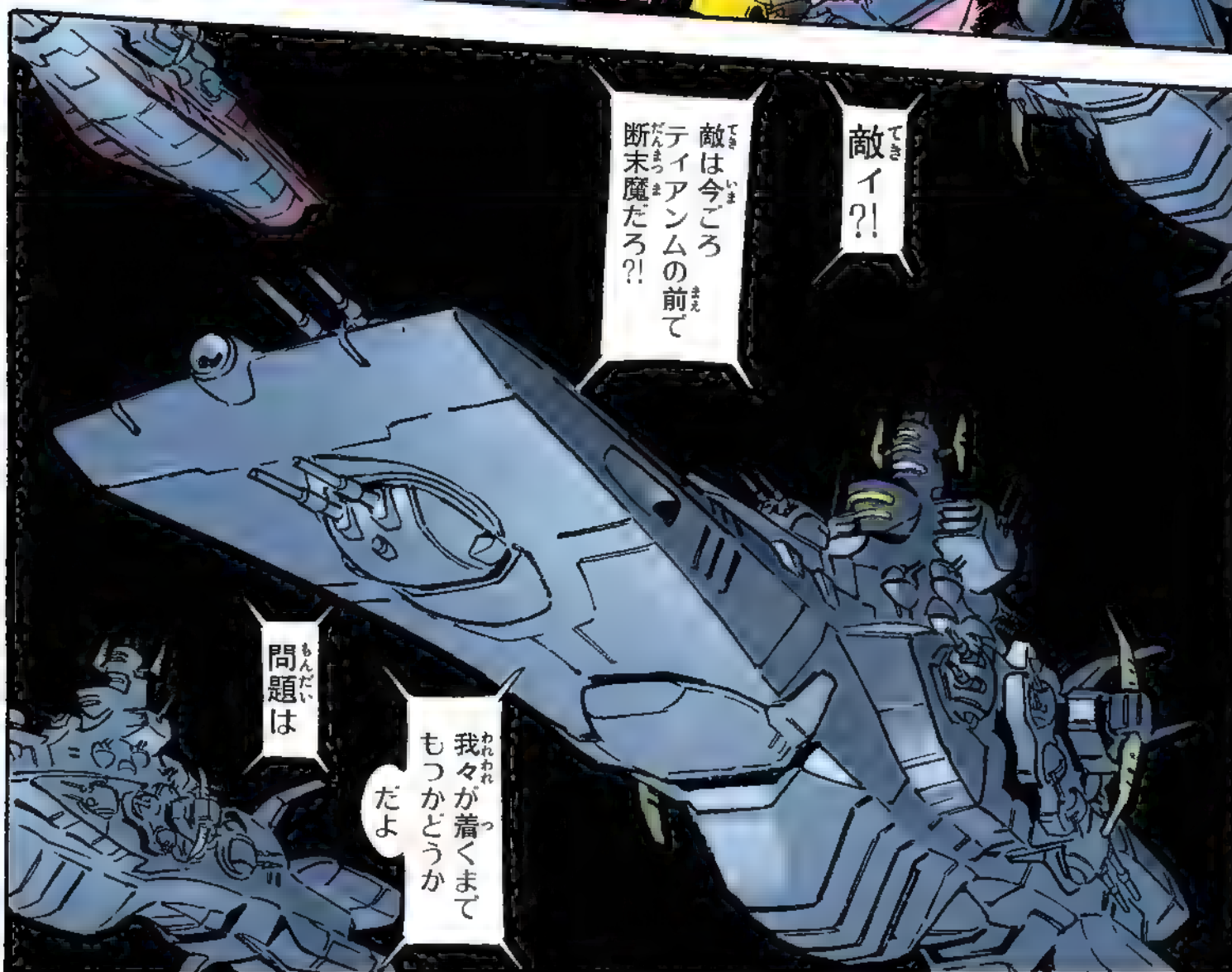
軍法会議
ものだな!



ブリッジ
ブリッジ
ブリッジ

敵艦隊
接近の報
あり

誤報と
思われ
ますが
警戒の
強化を

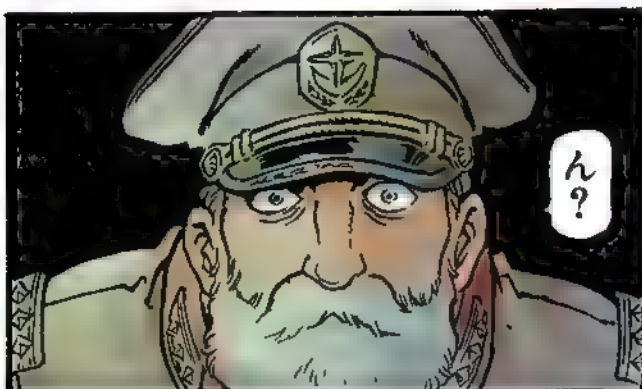
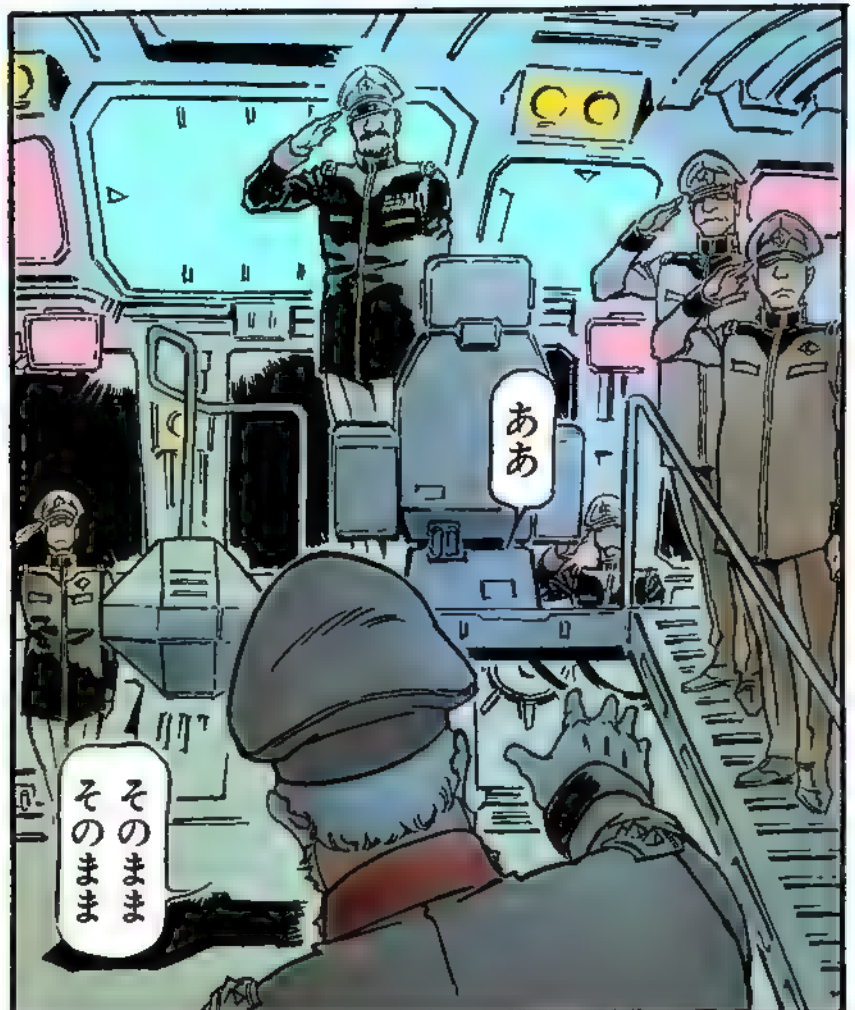
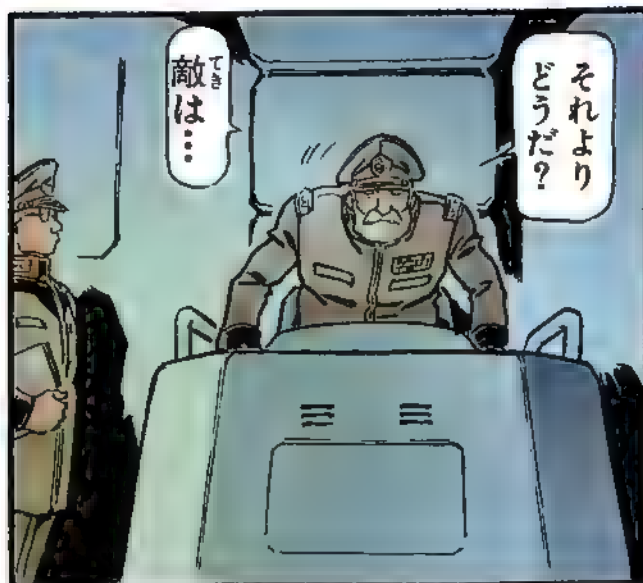


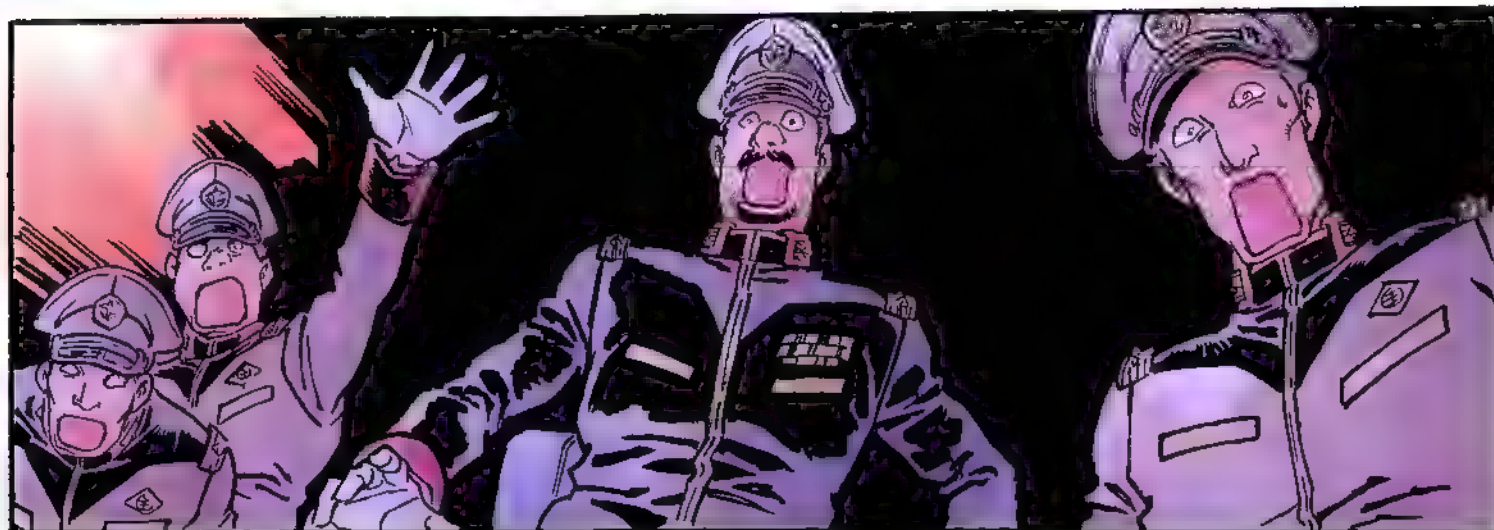
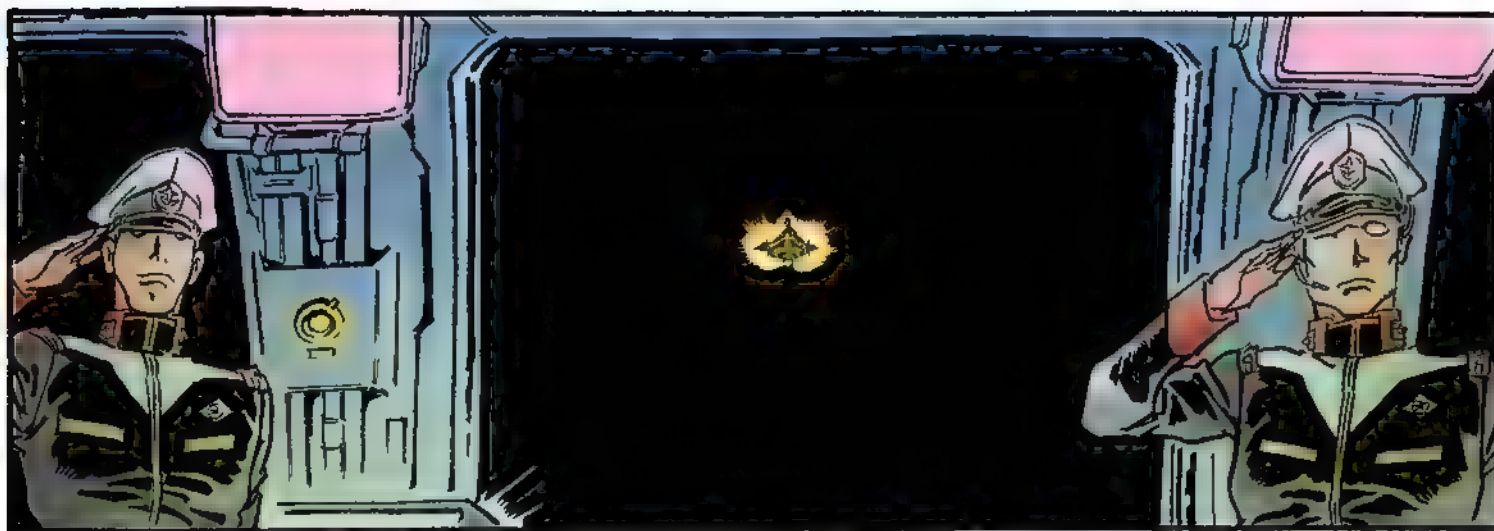
敵イ?!

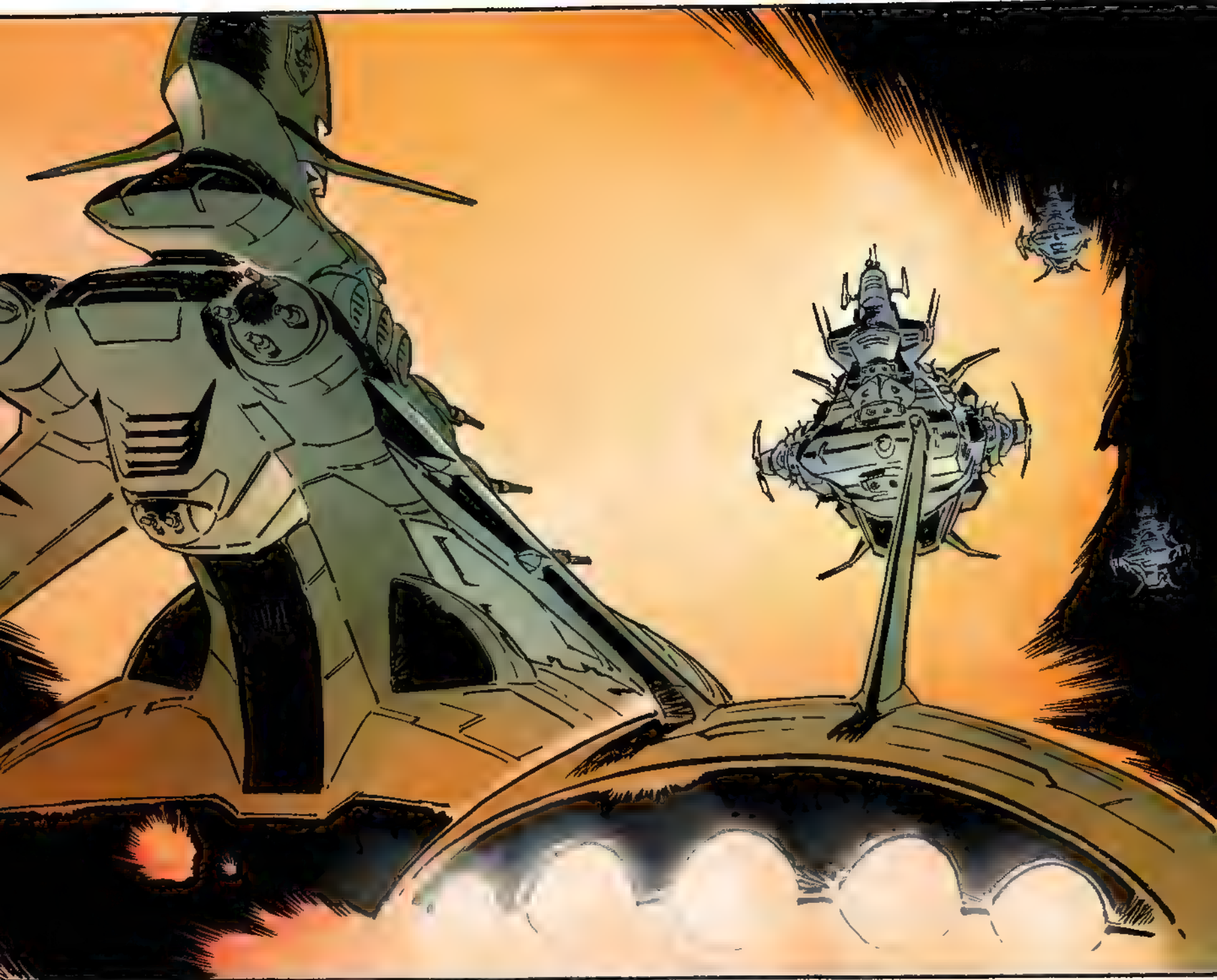
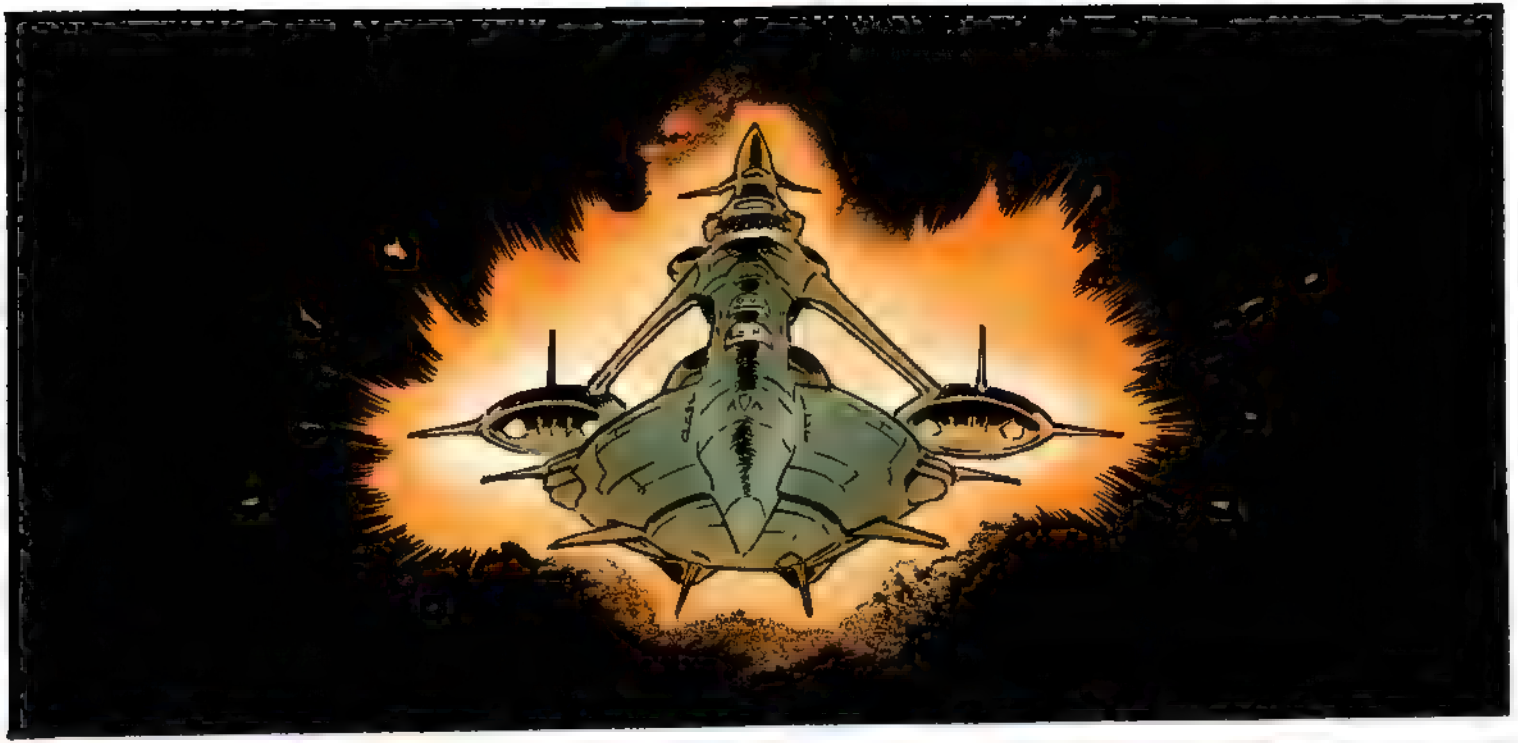
敵は今ごろ
ティアンムの前で
断末魔だろ?!

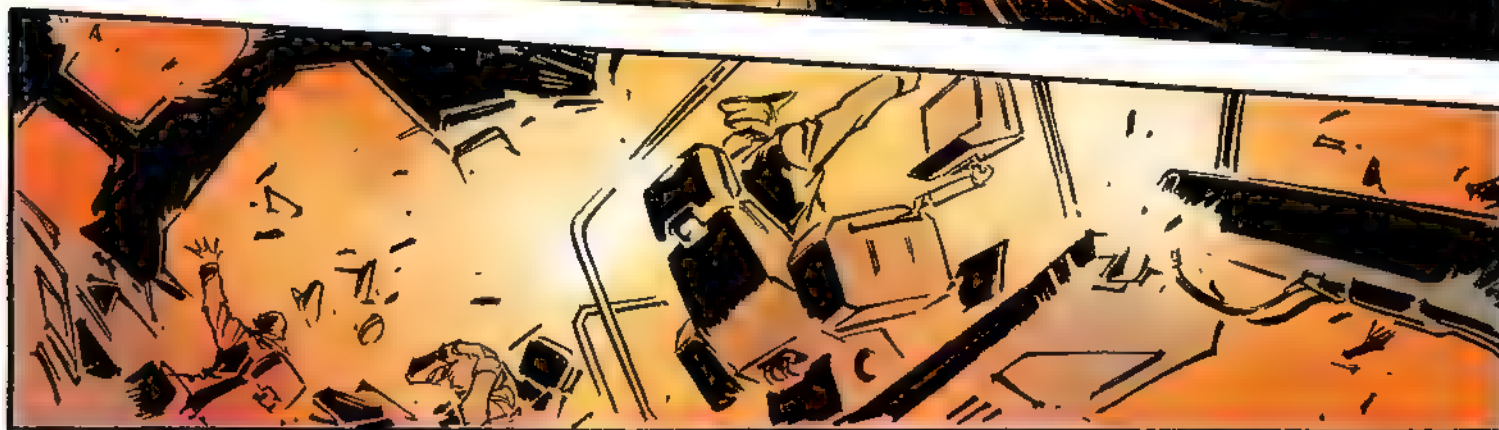
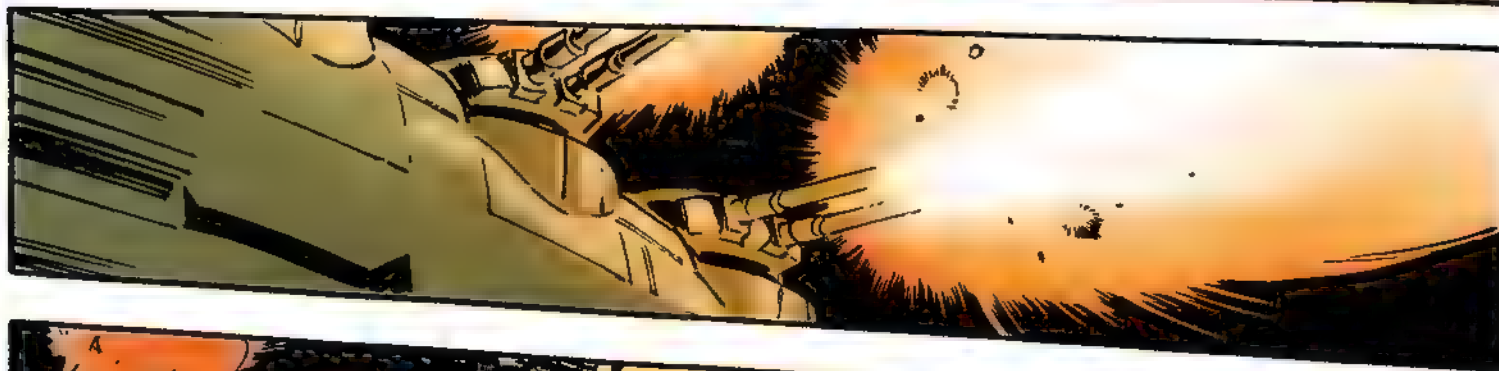
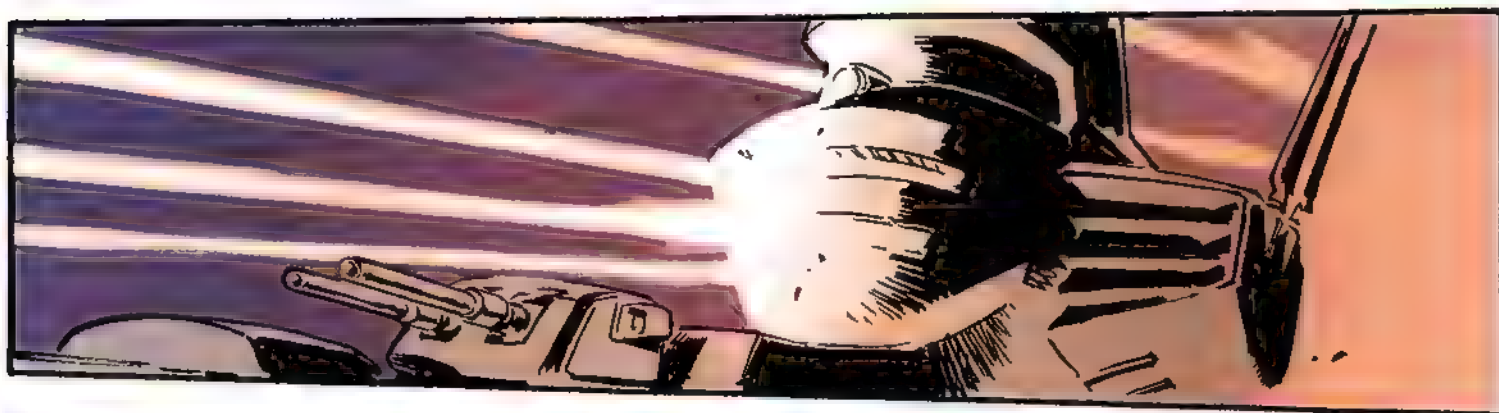
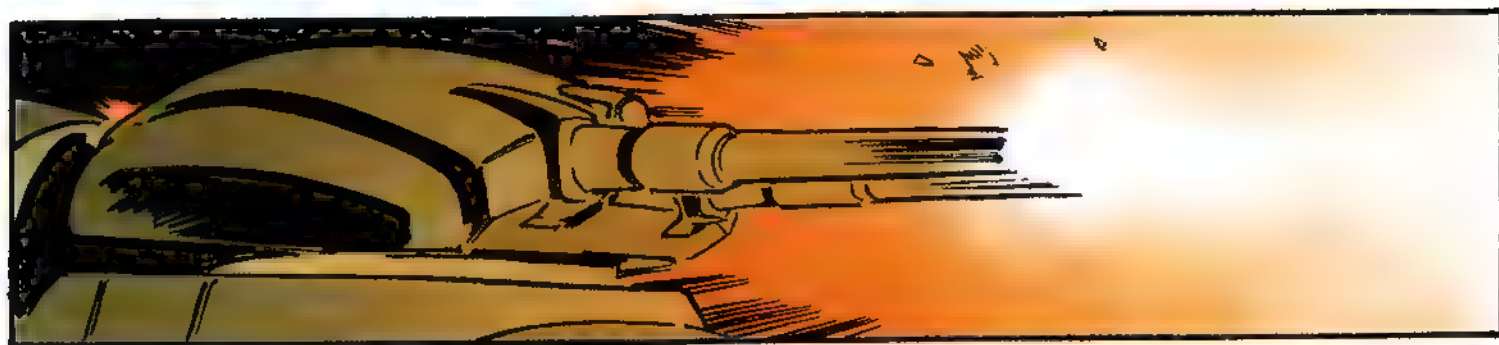
問題は

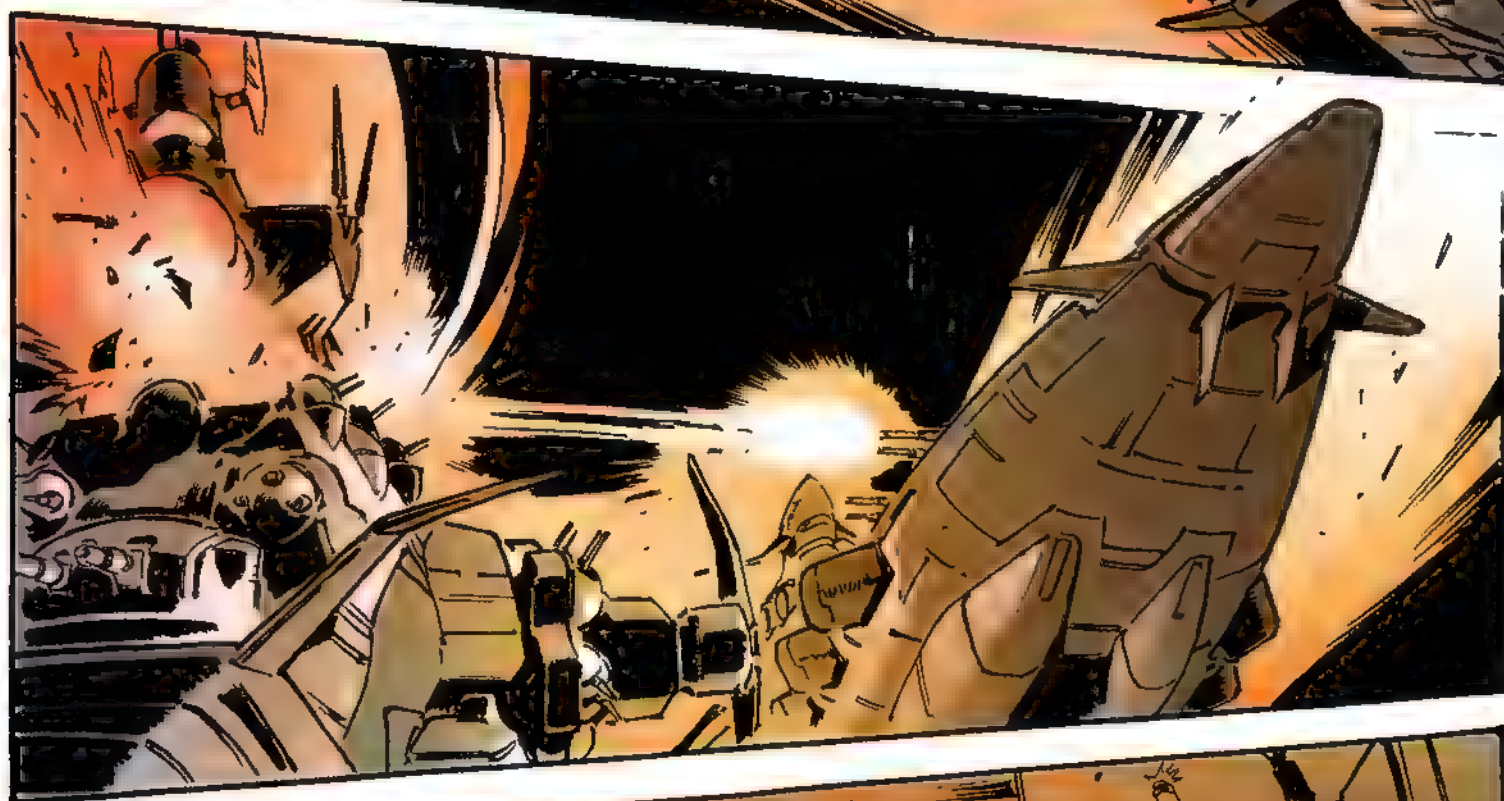
我々が着くまで
もつかどうか
だよ

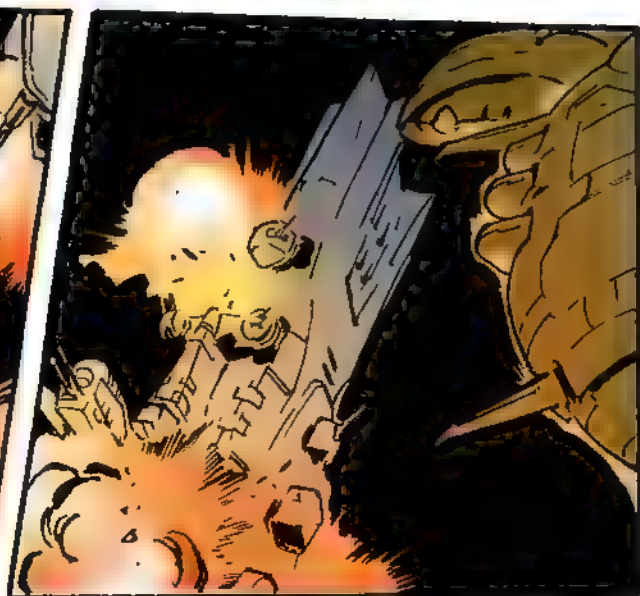
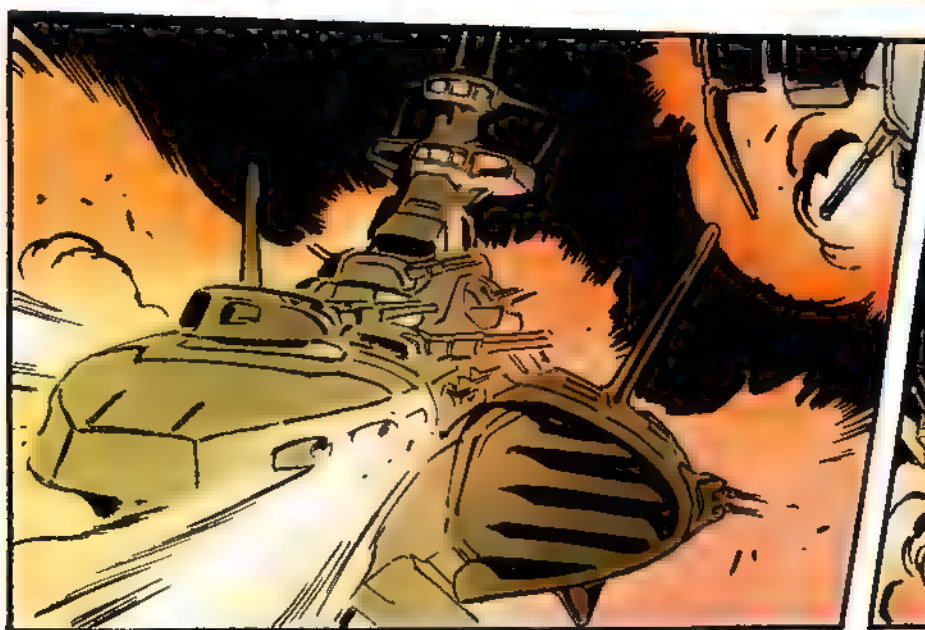
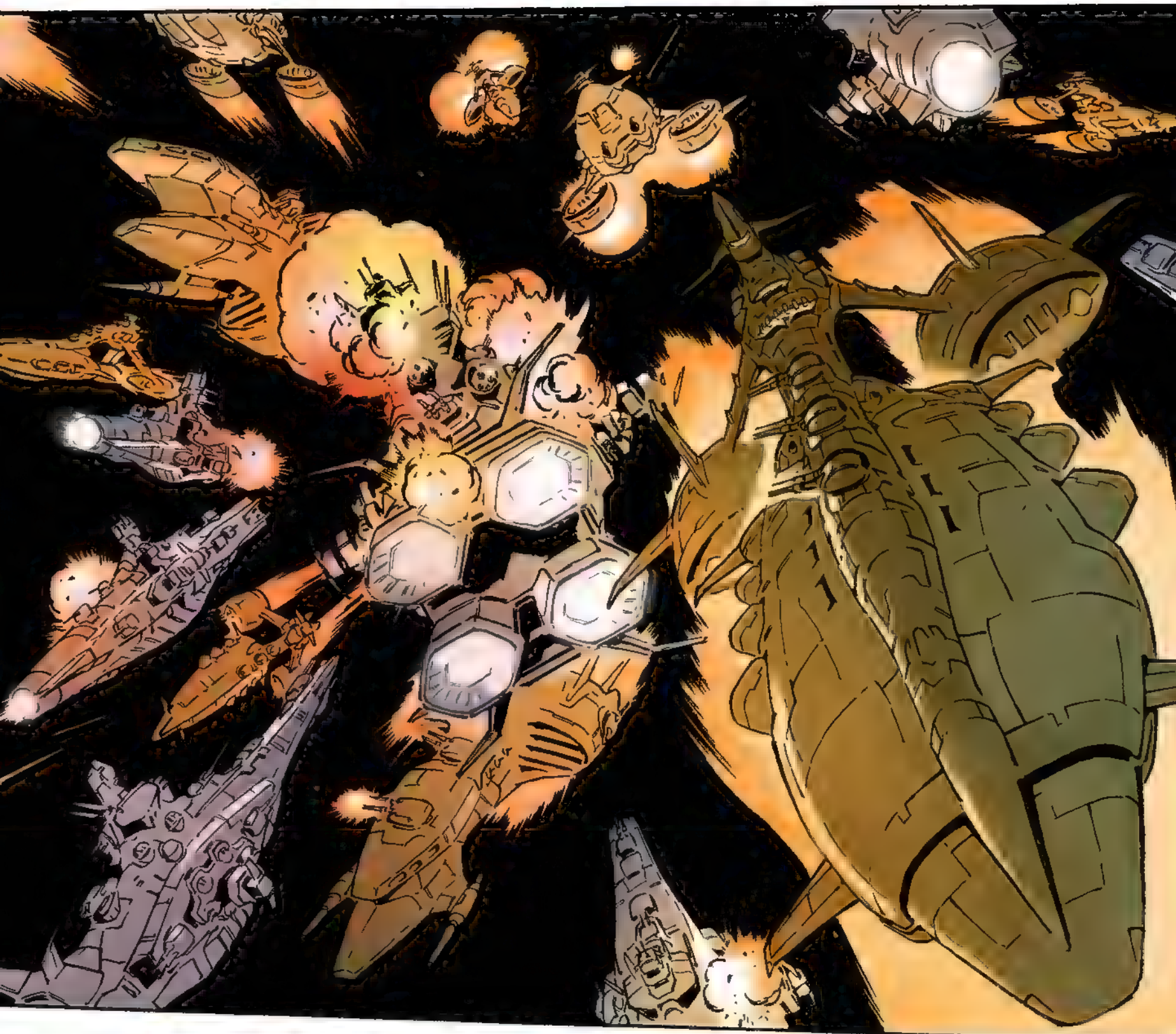


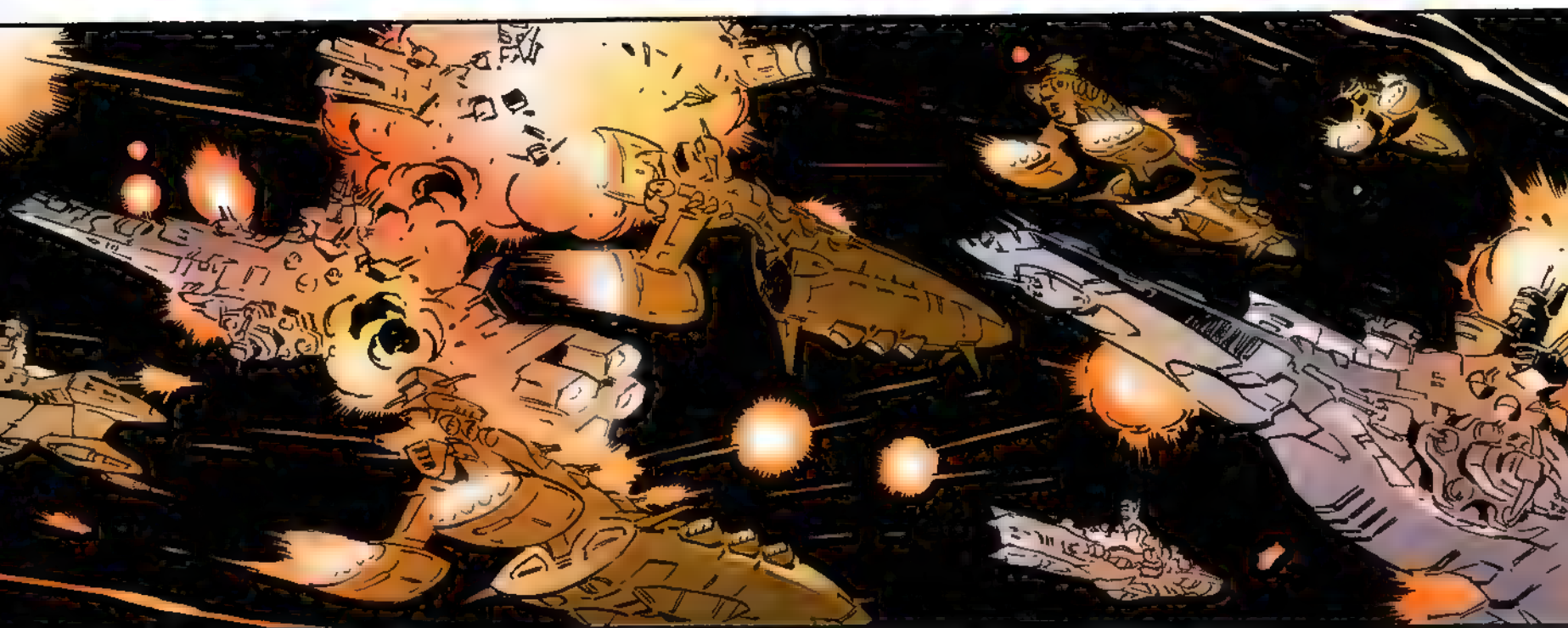
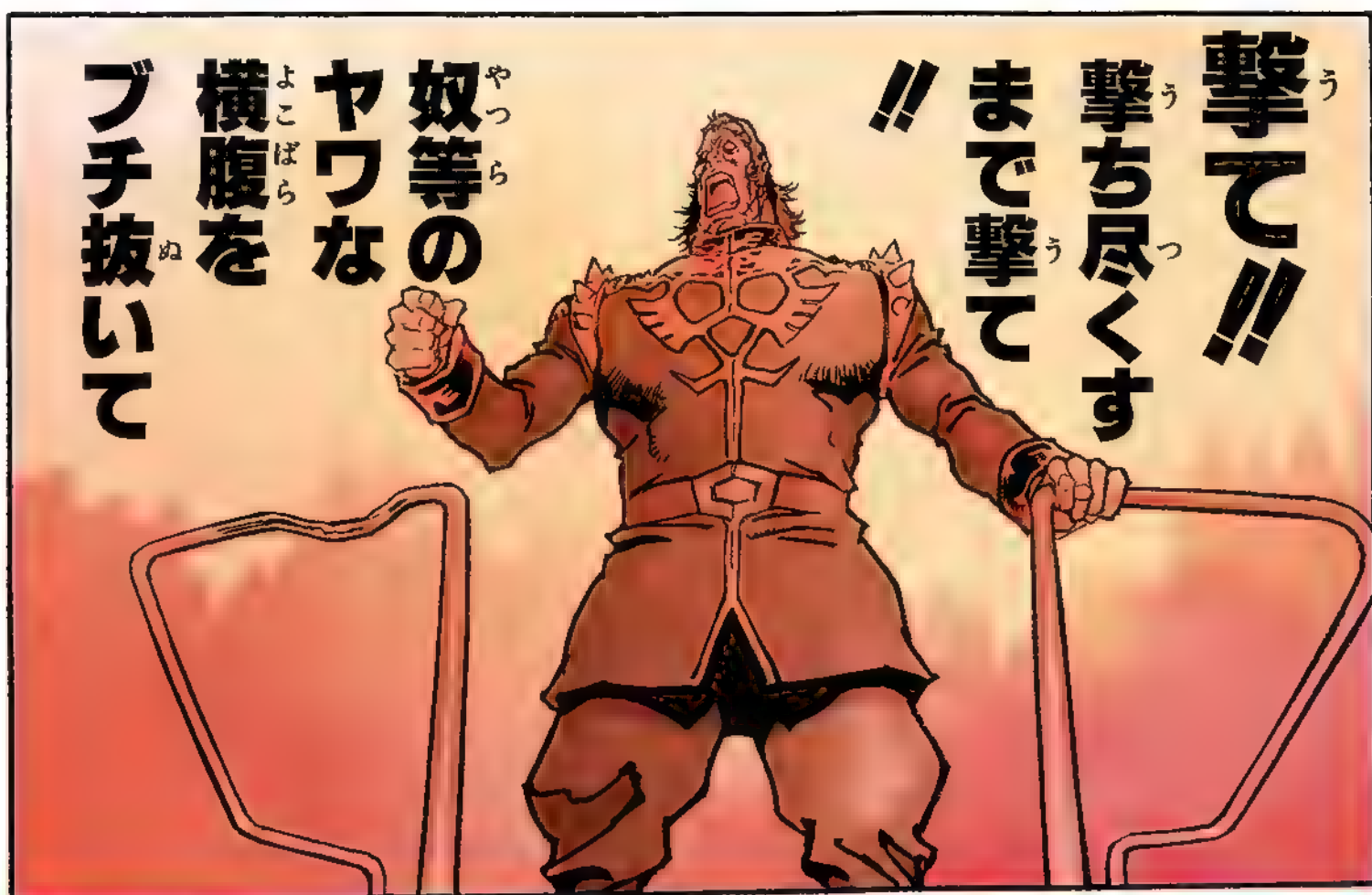


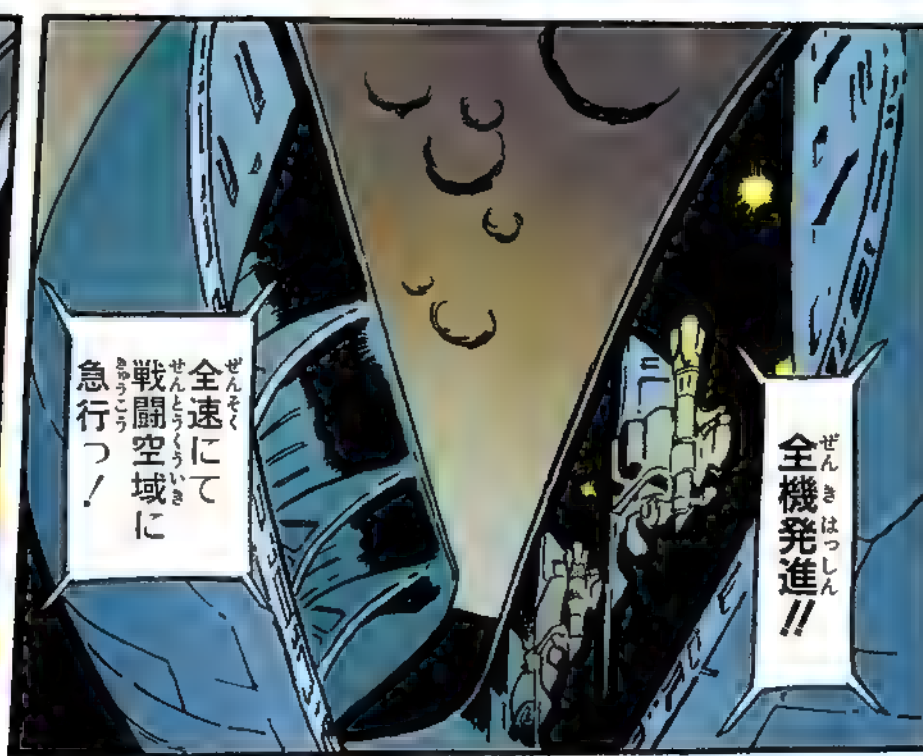
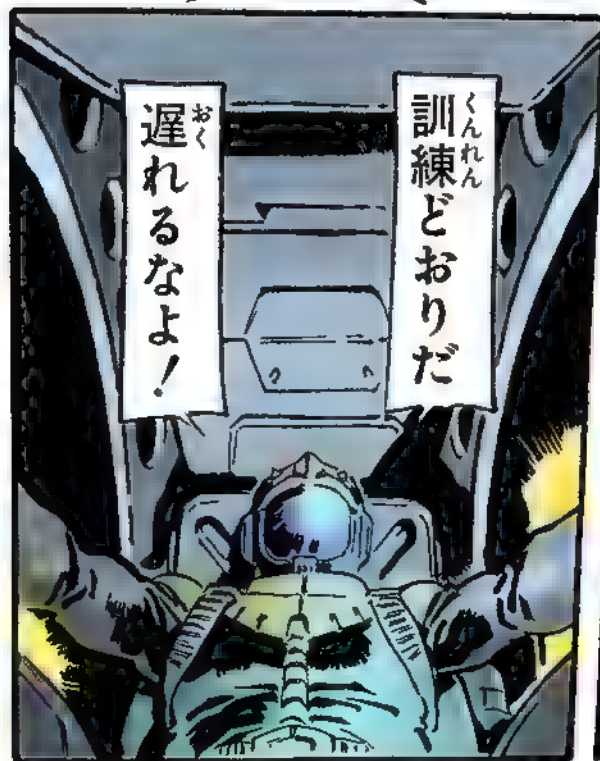
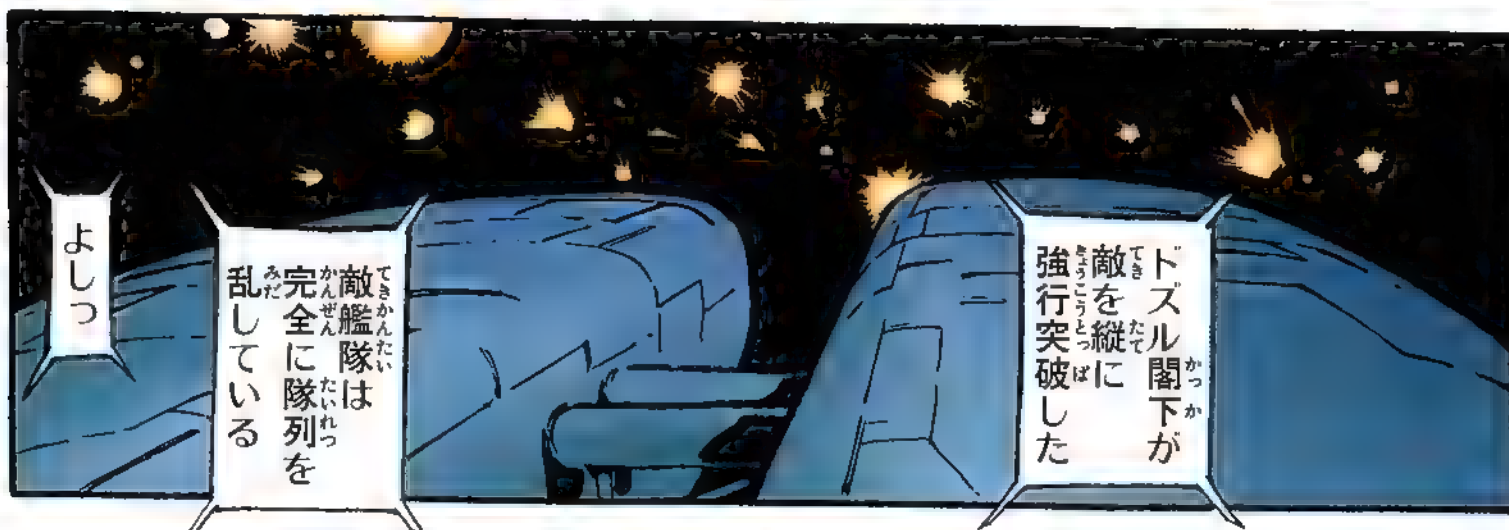
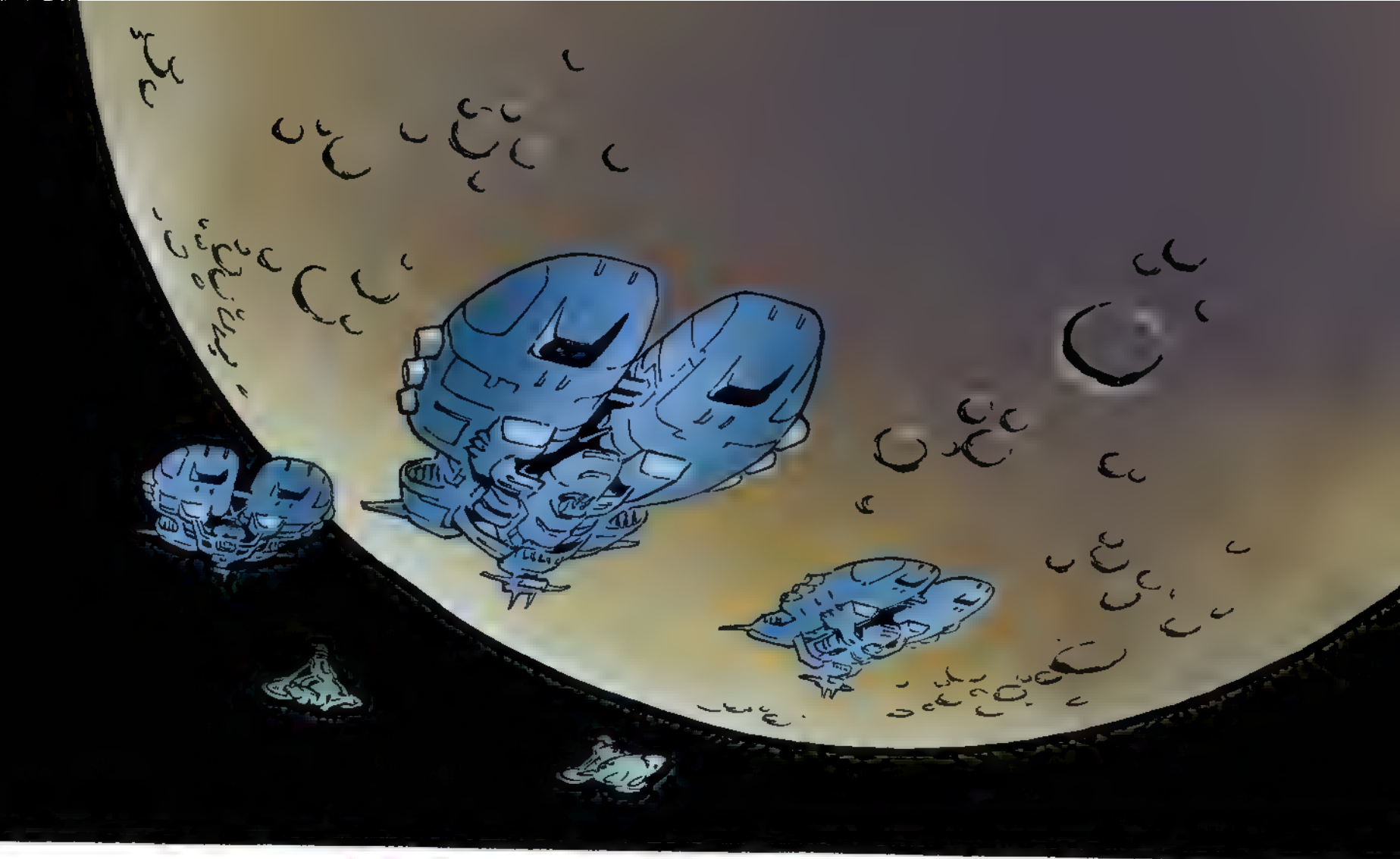


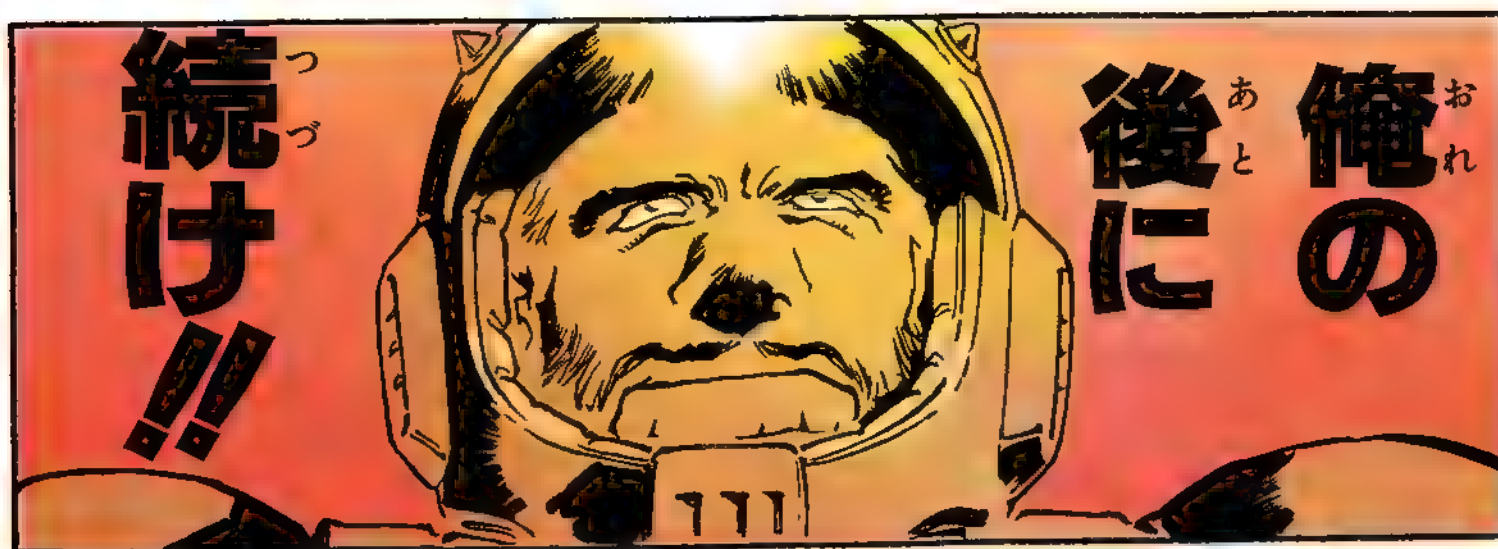


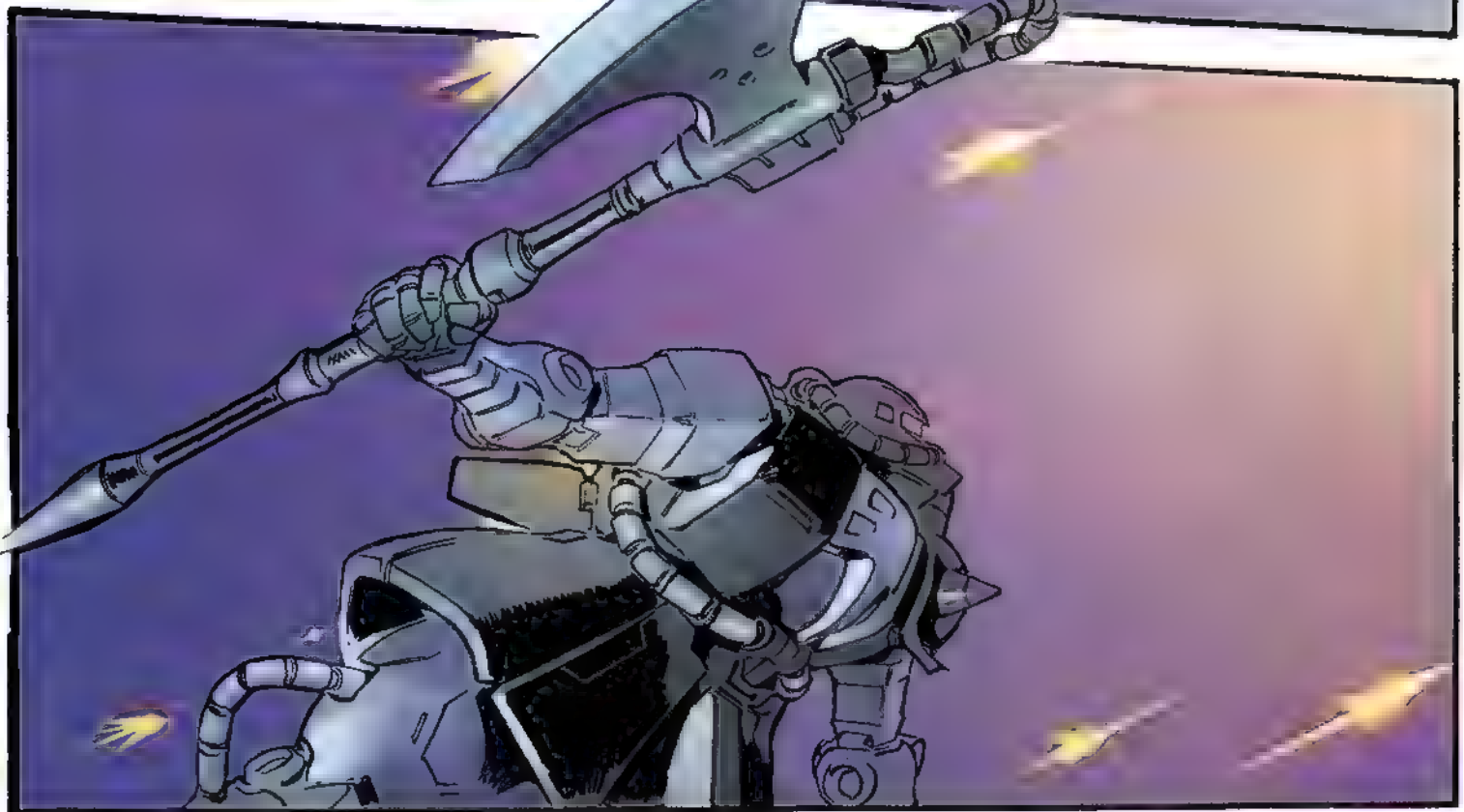
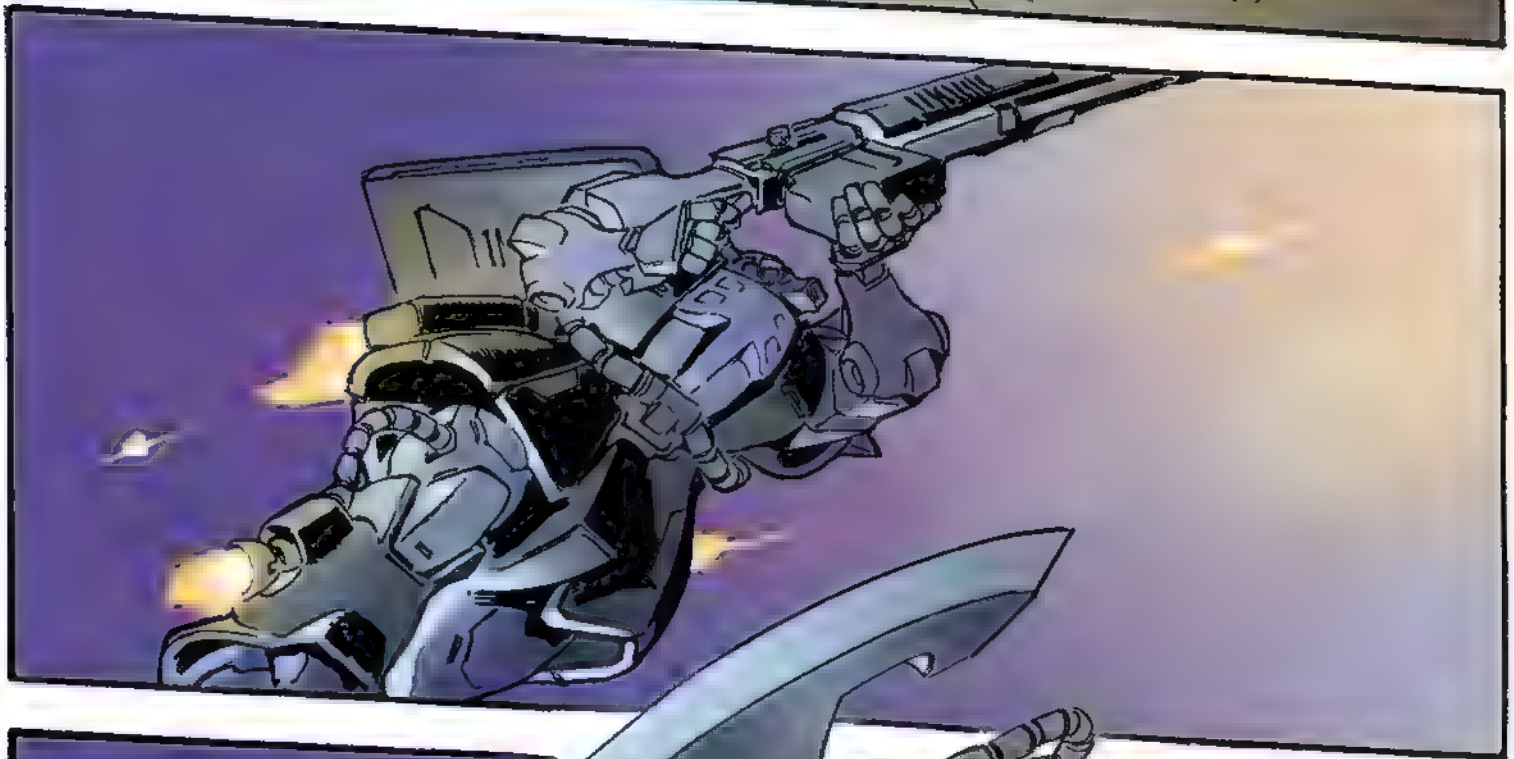
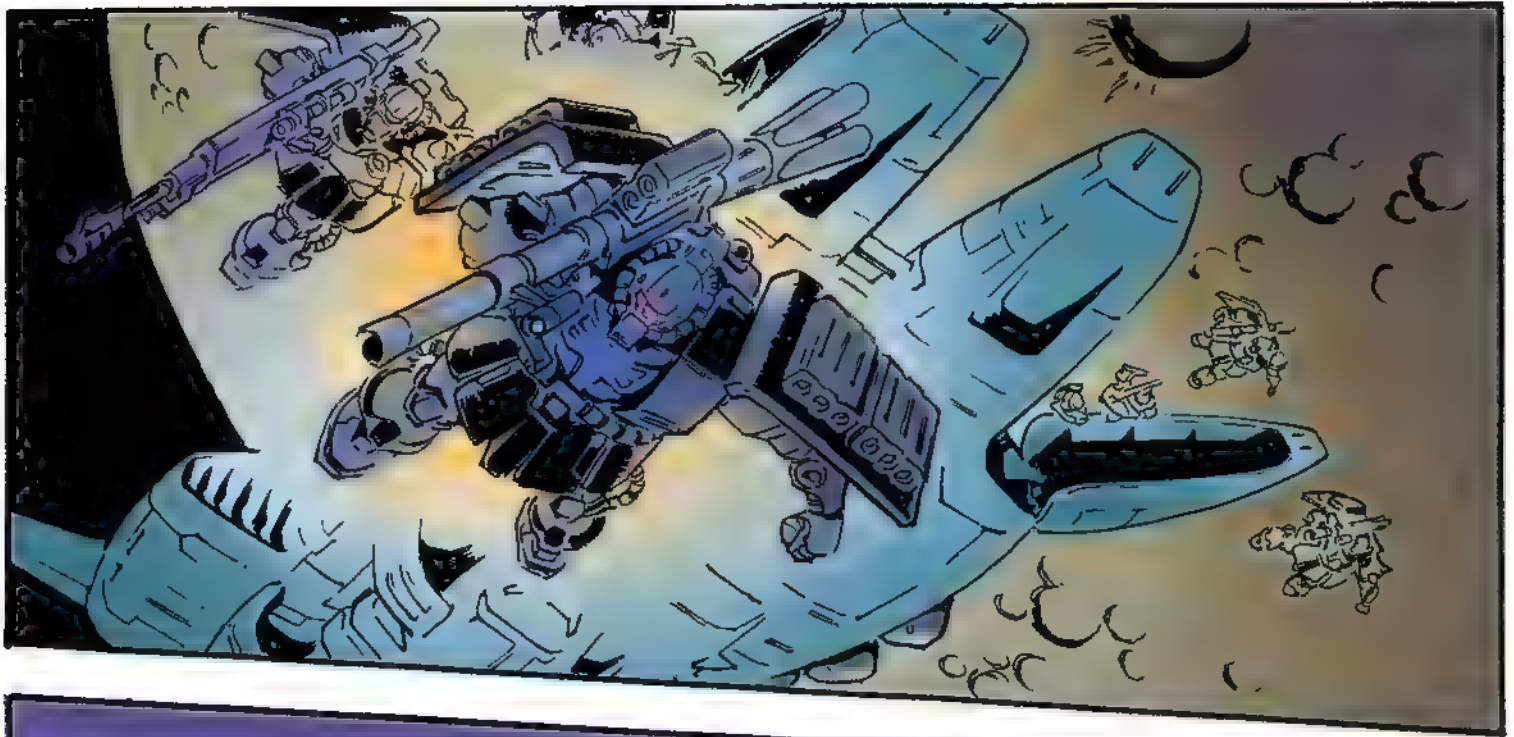




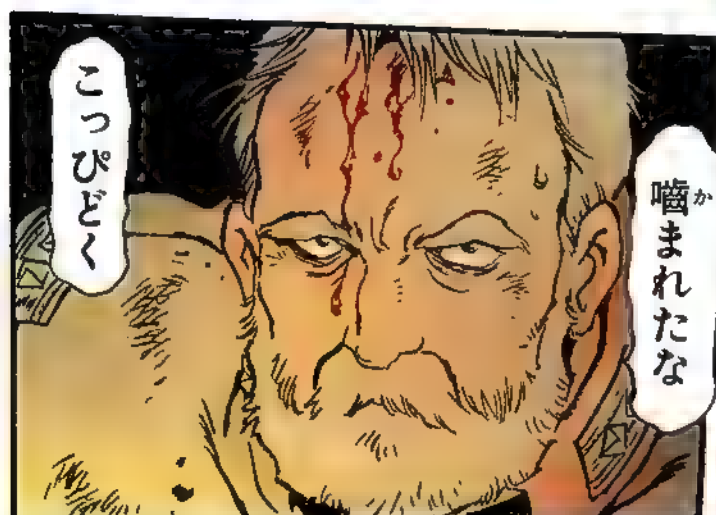
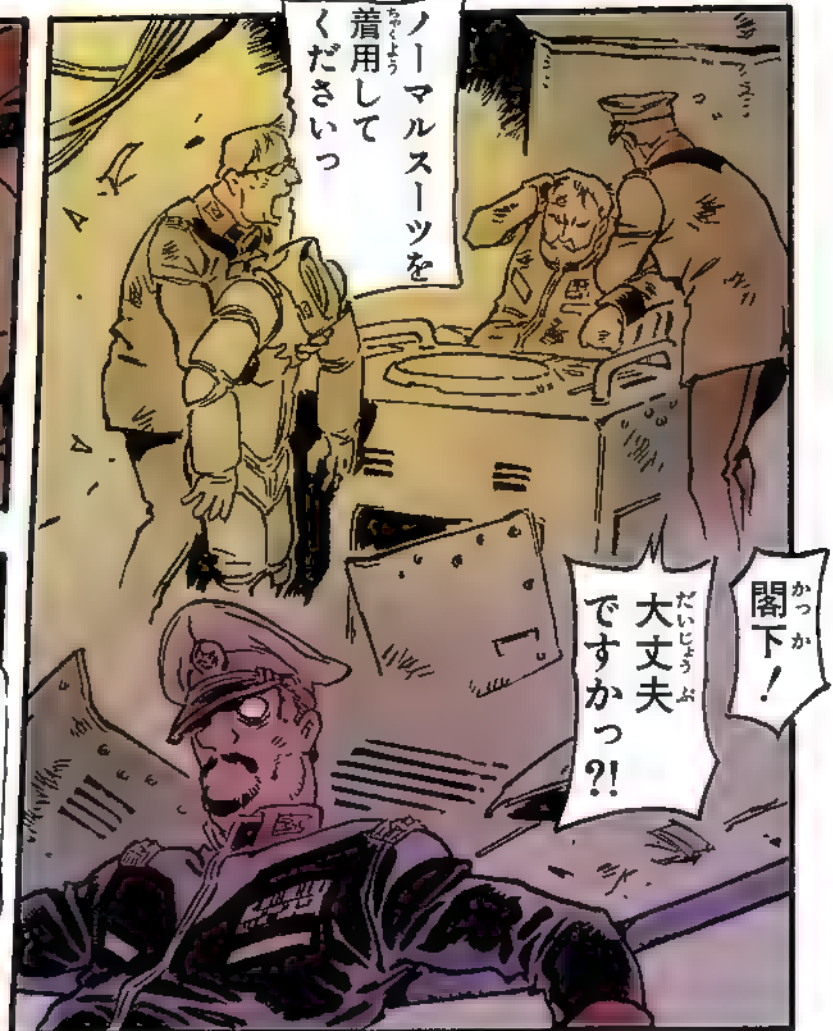
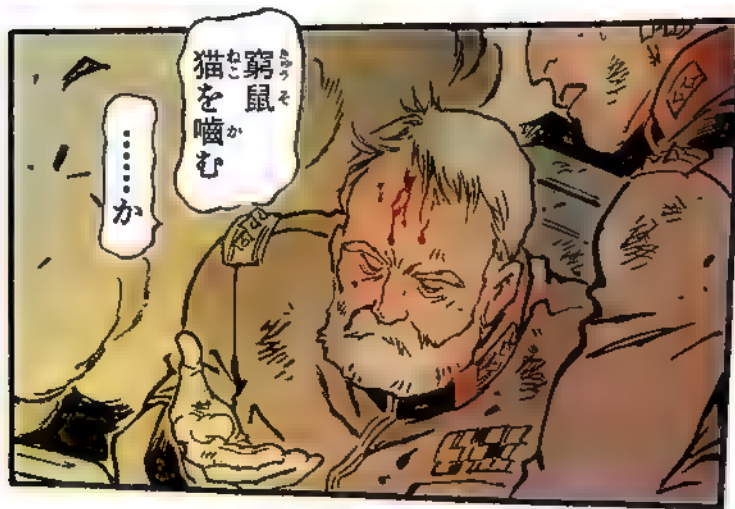
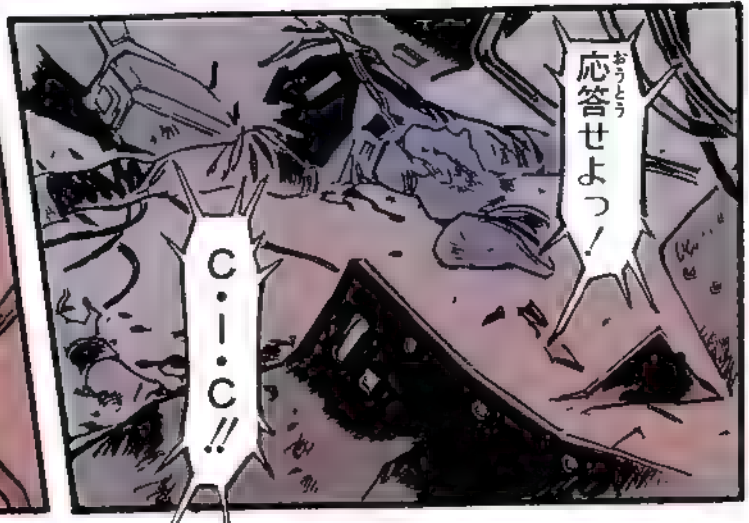
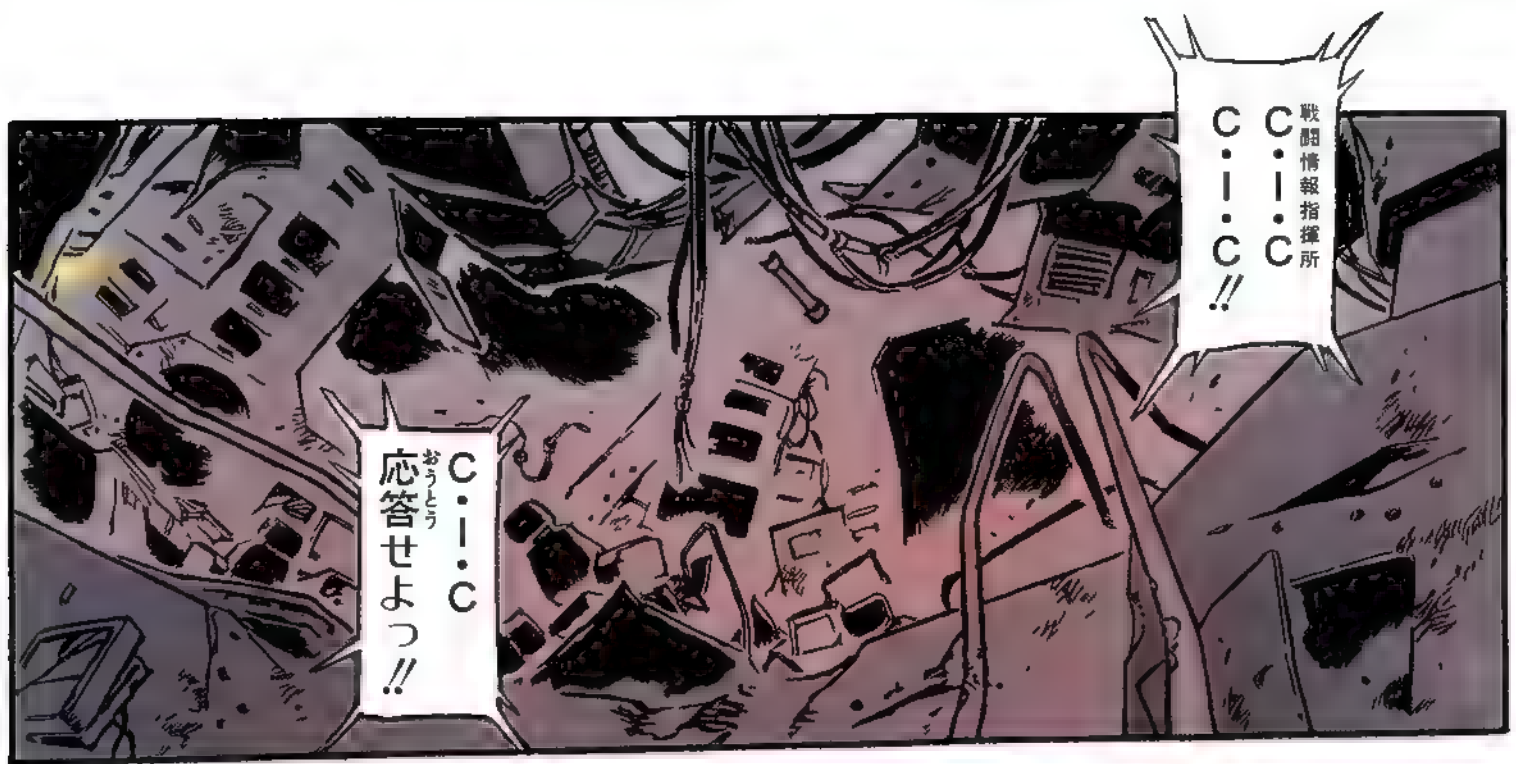














ノーマル
スーツ
着用！

全員
ただちに

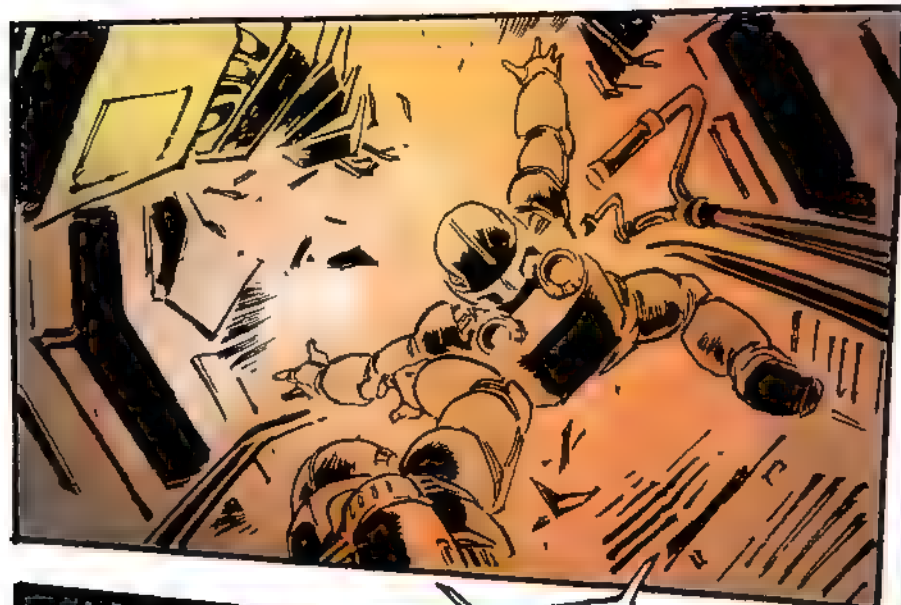
それと

全艦回頭！



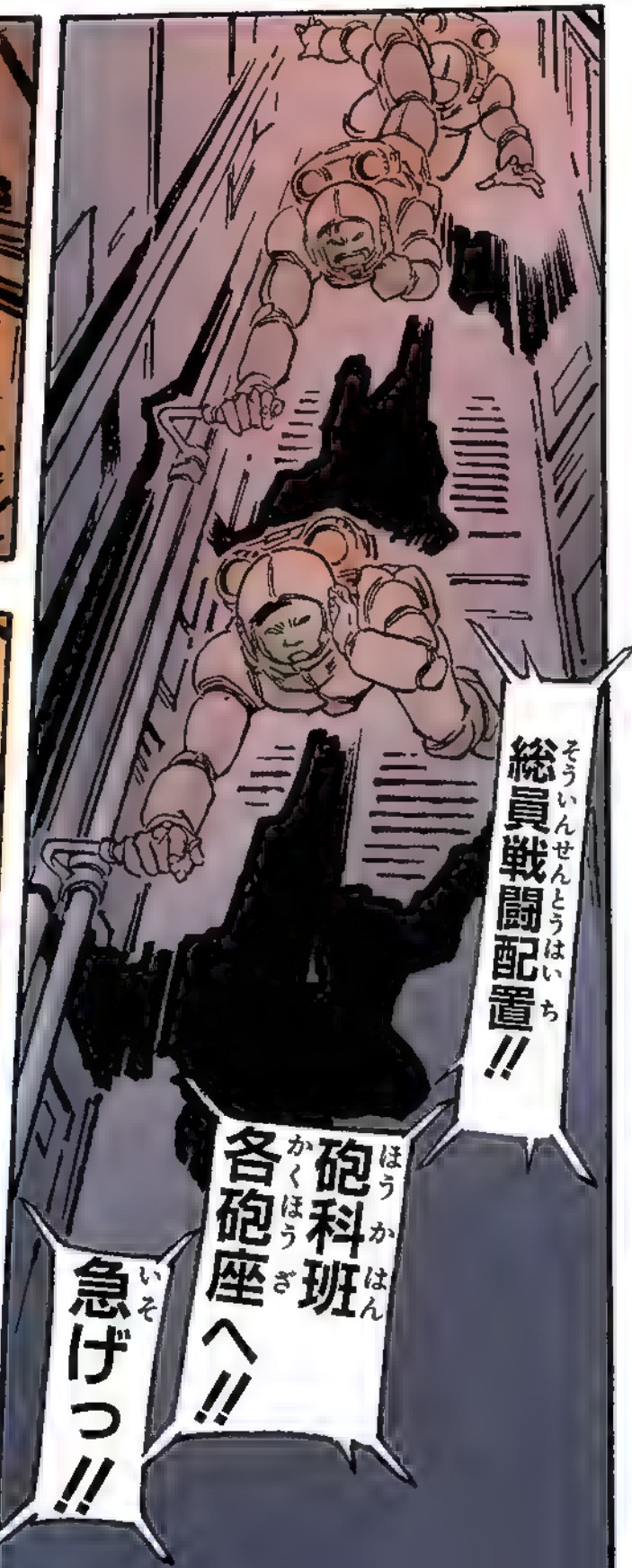
艦長！

敵は
反転して
また攻撃
してくるぞ



左舷底部に
砲撃！！

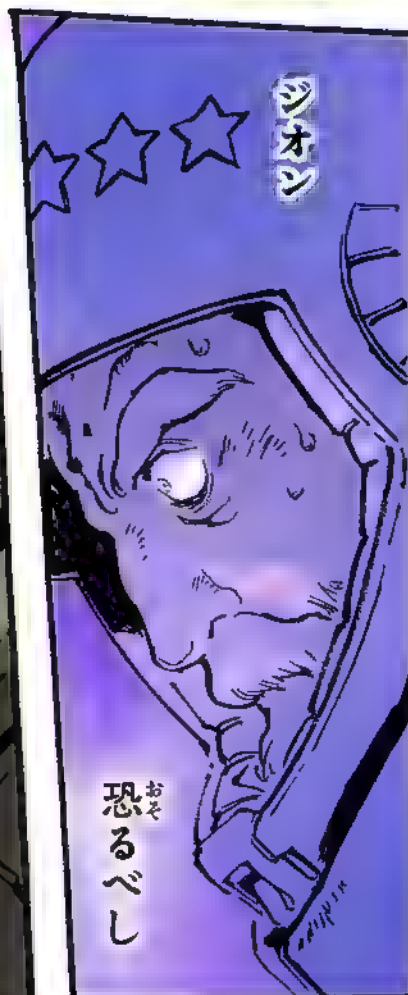
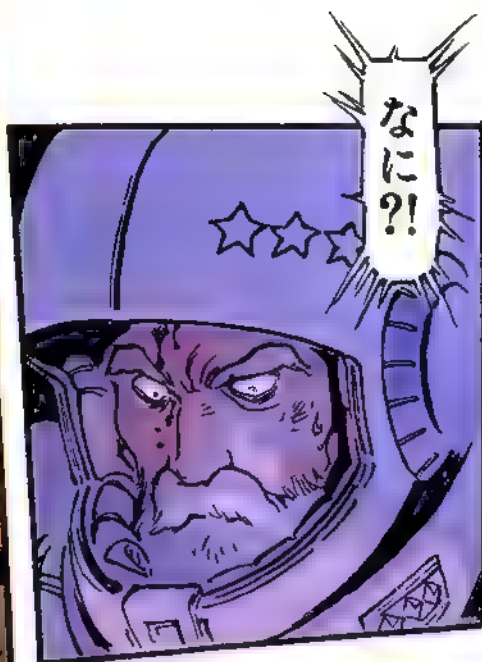
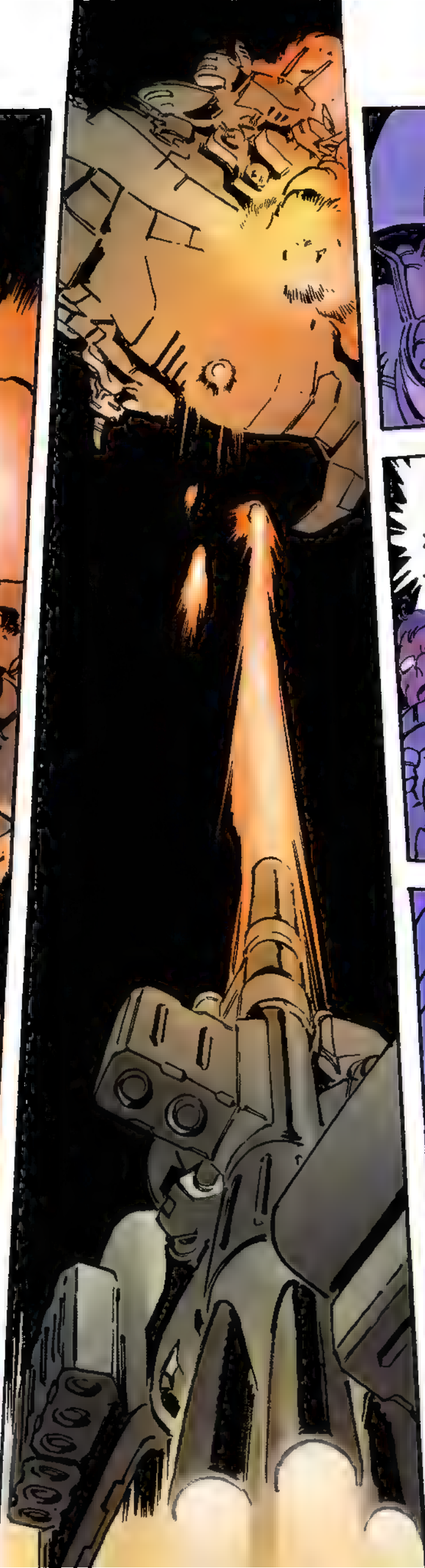
下から
来ます！！

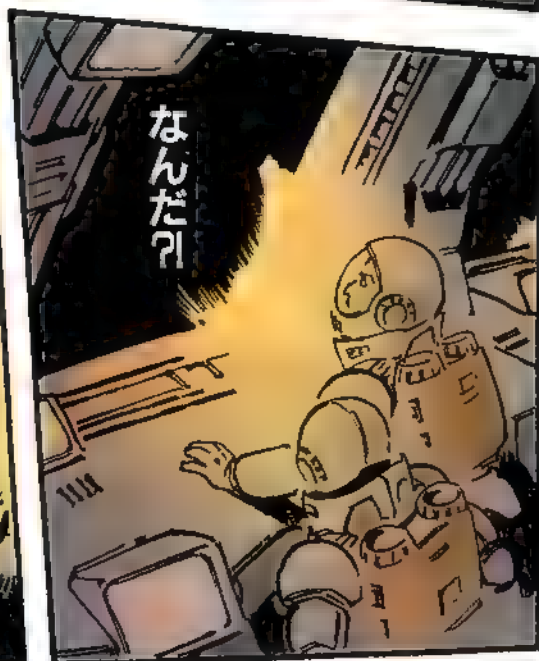
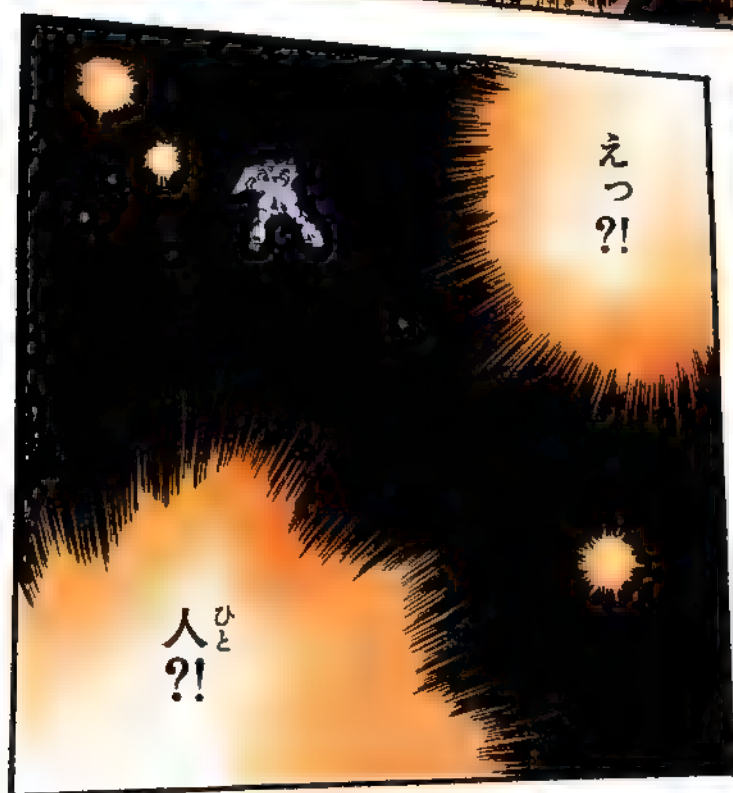
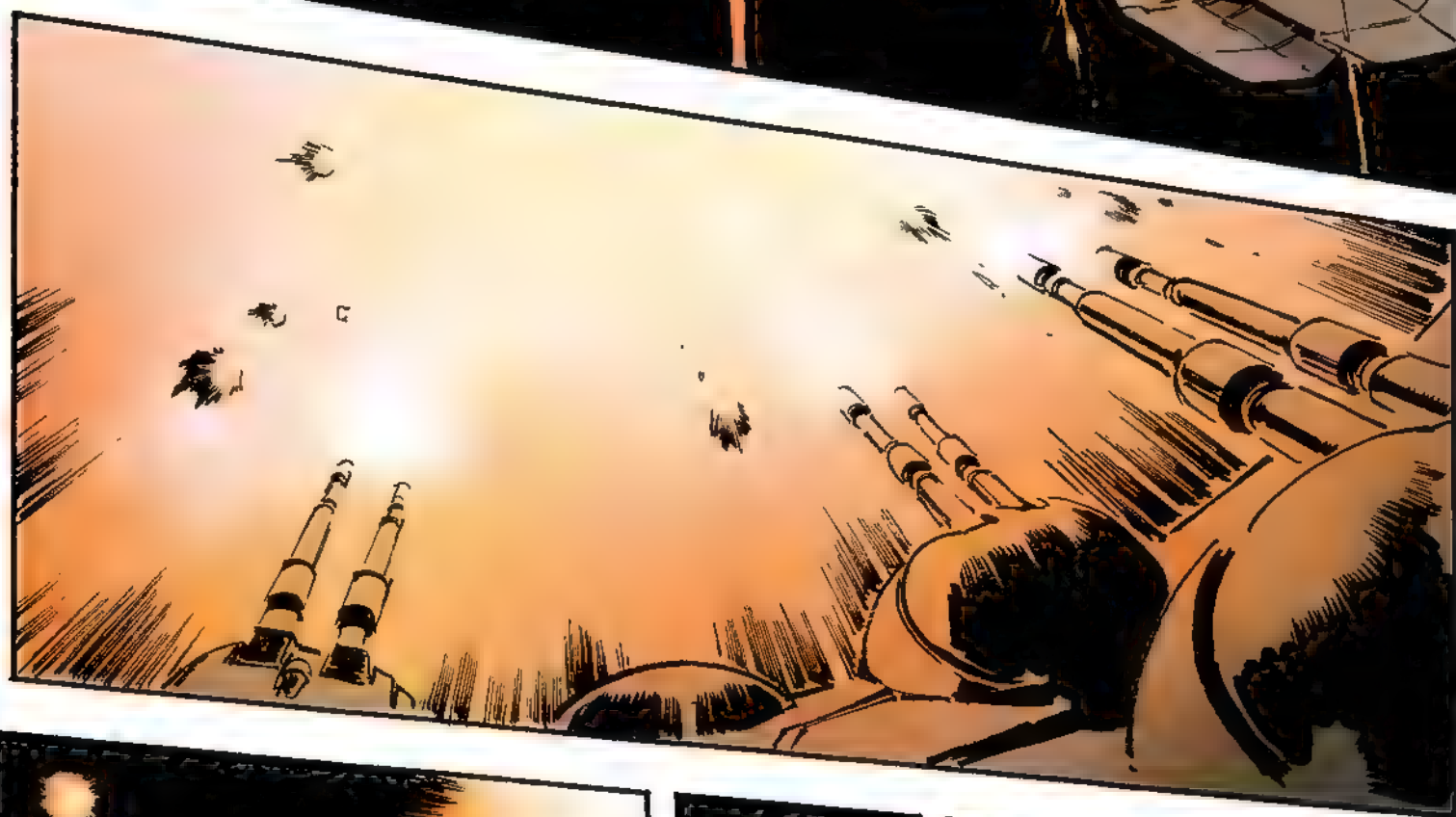
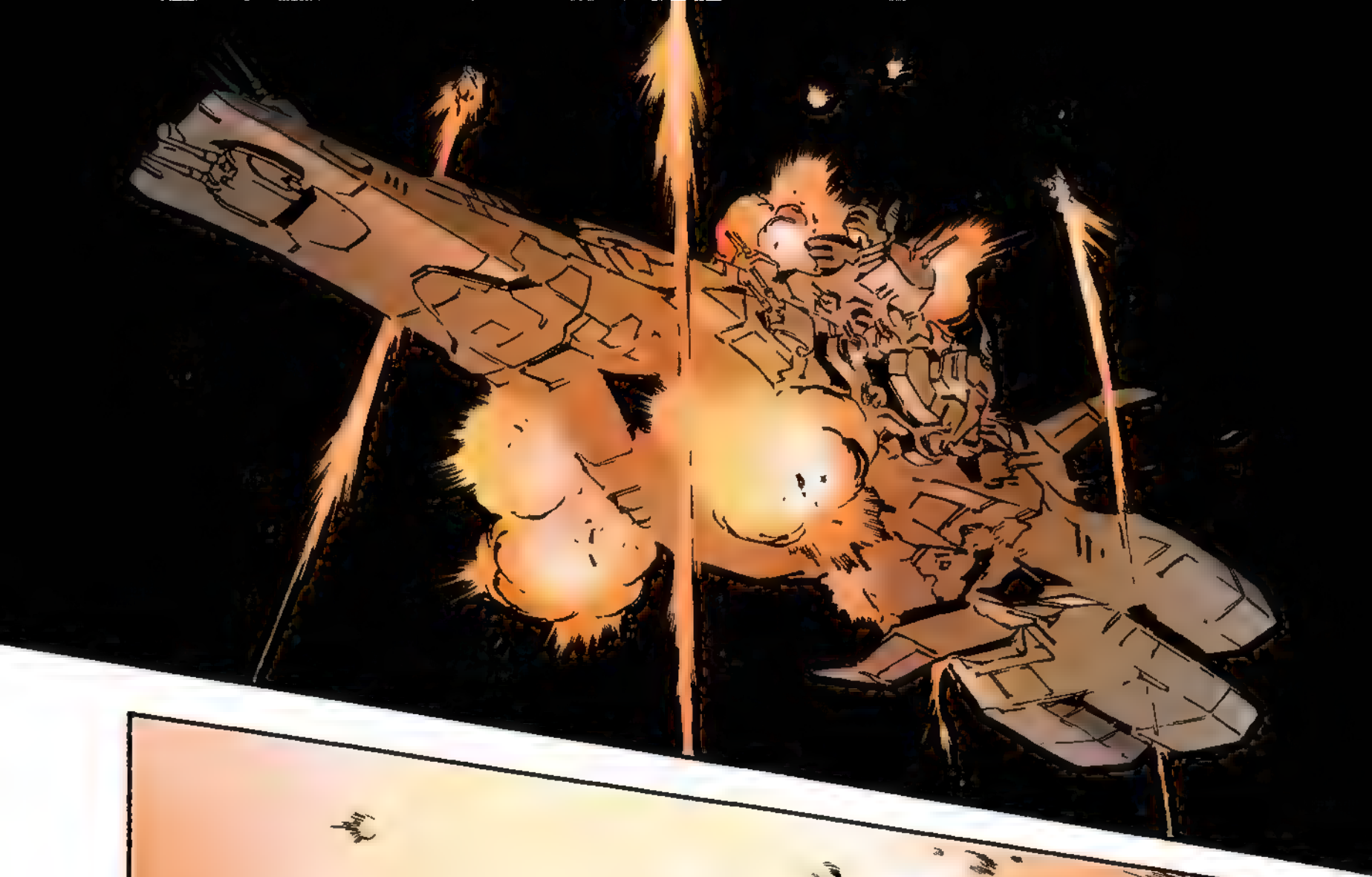


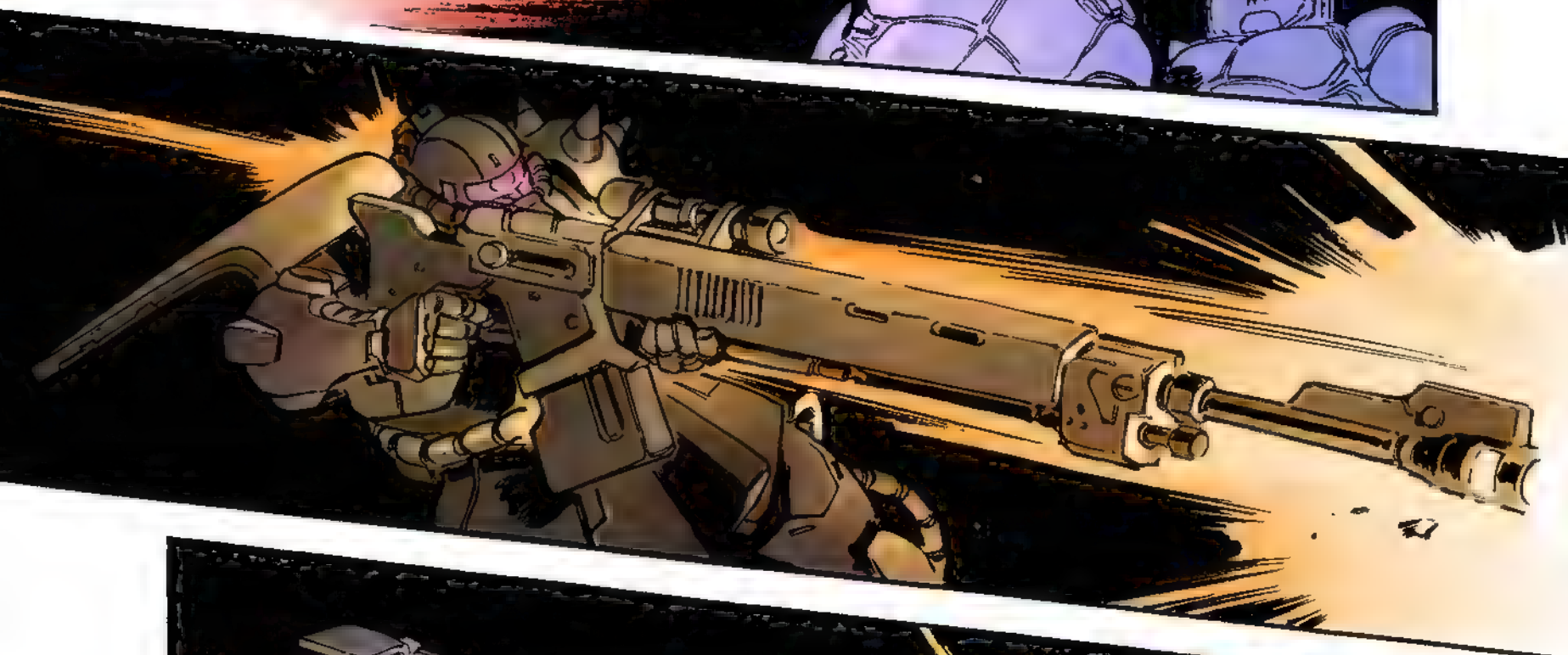
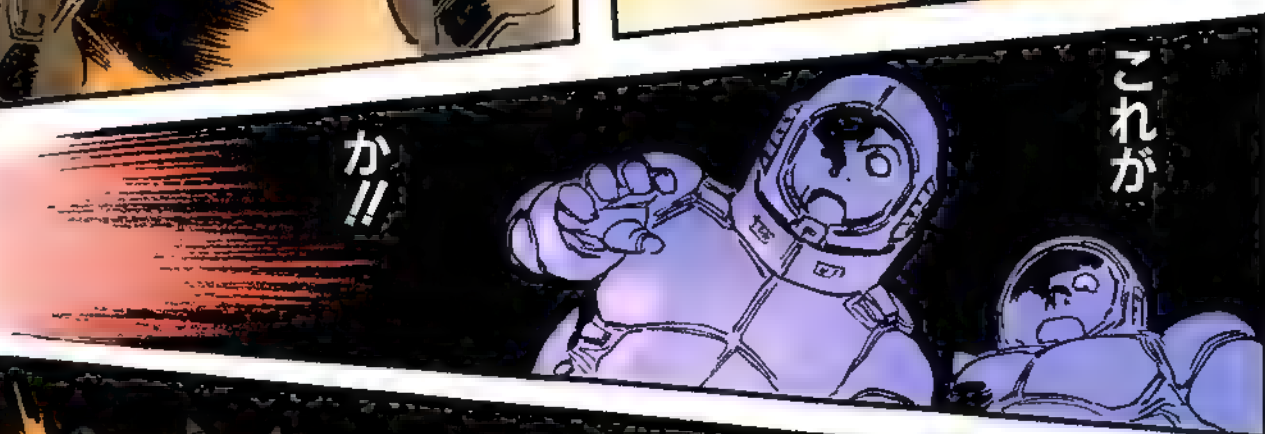
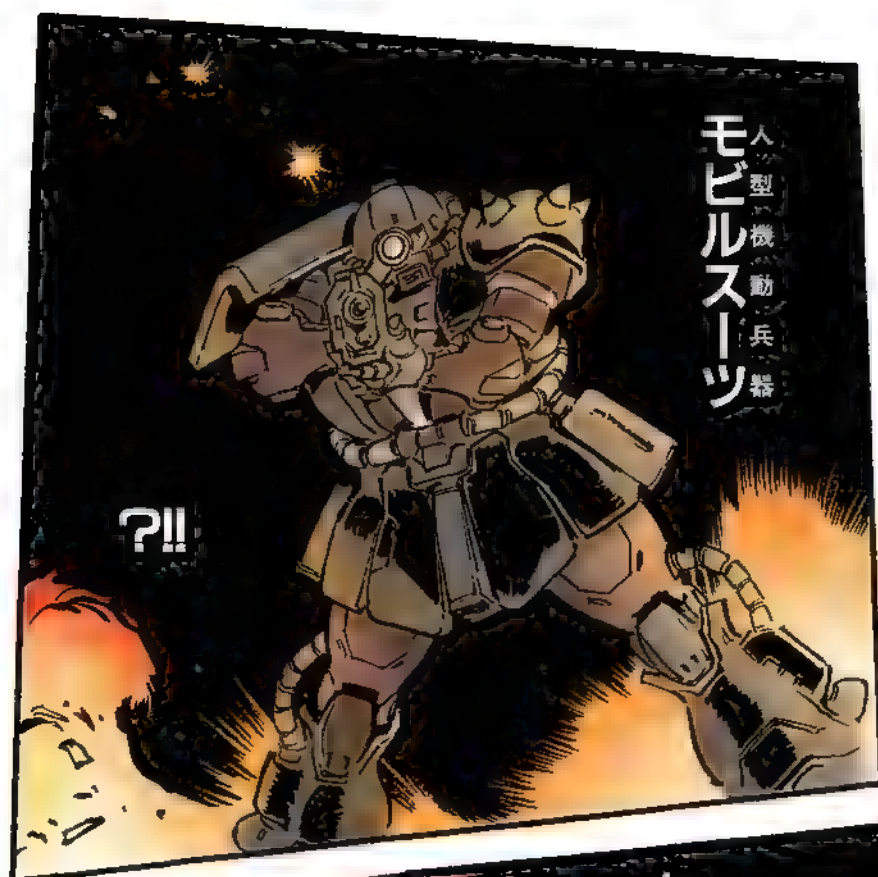
総員戦闘配置！！

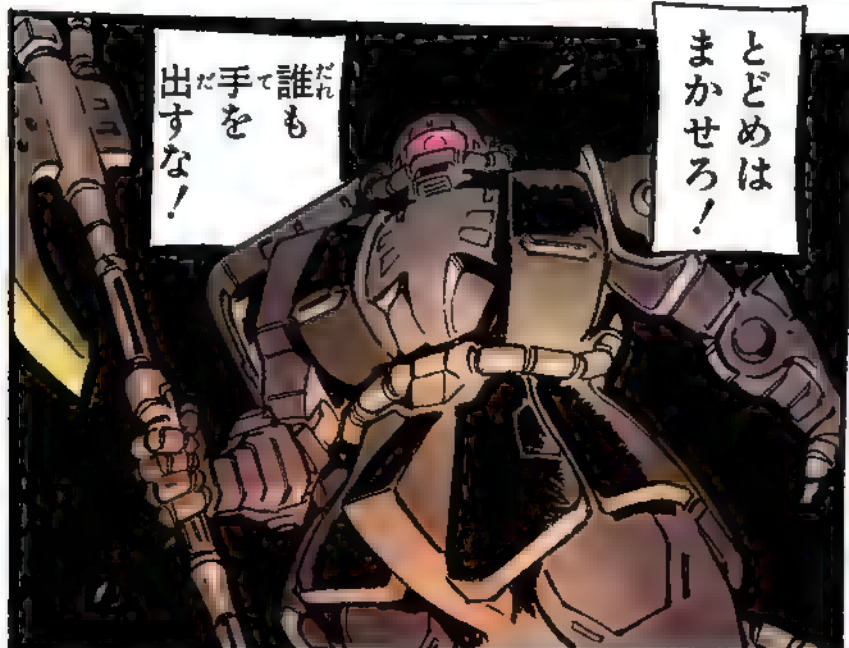
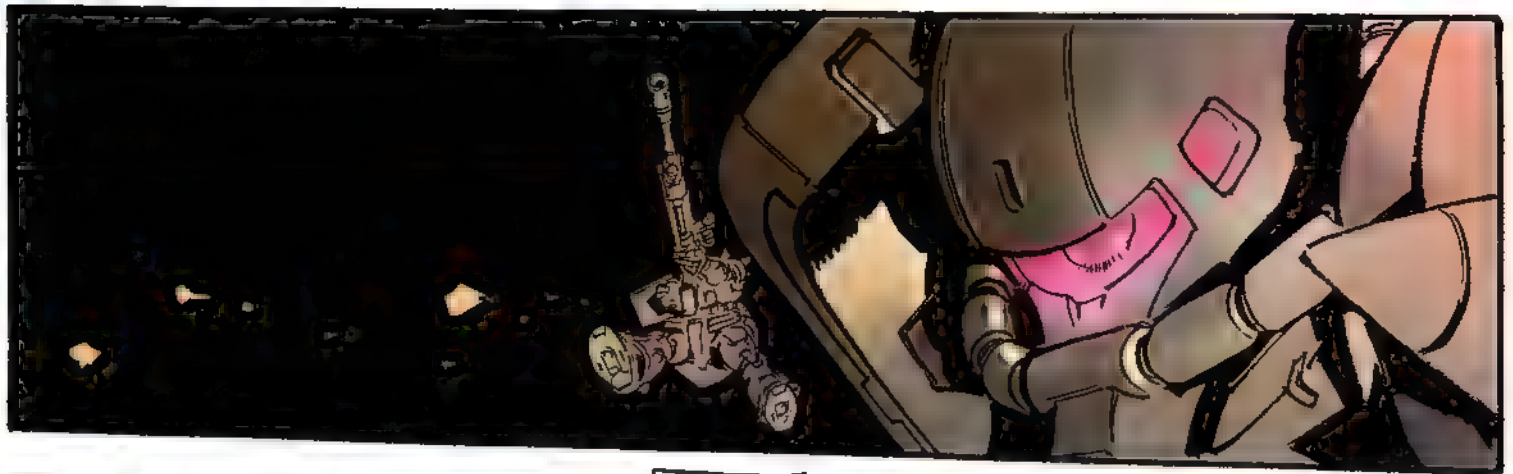
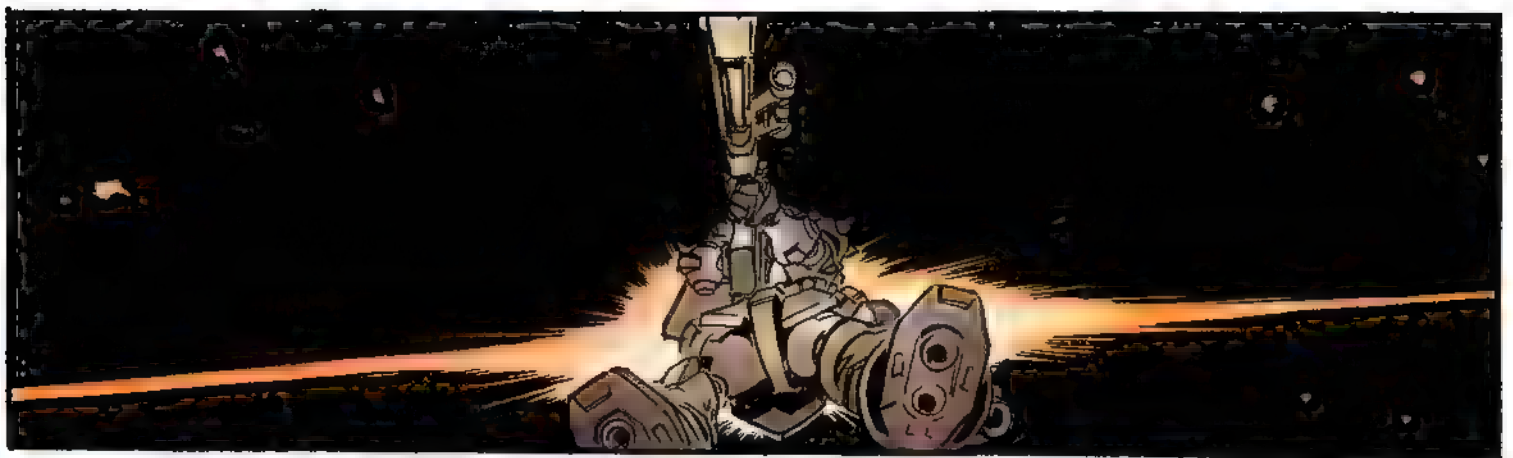
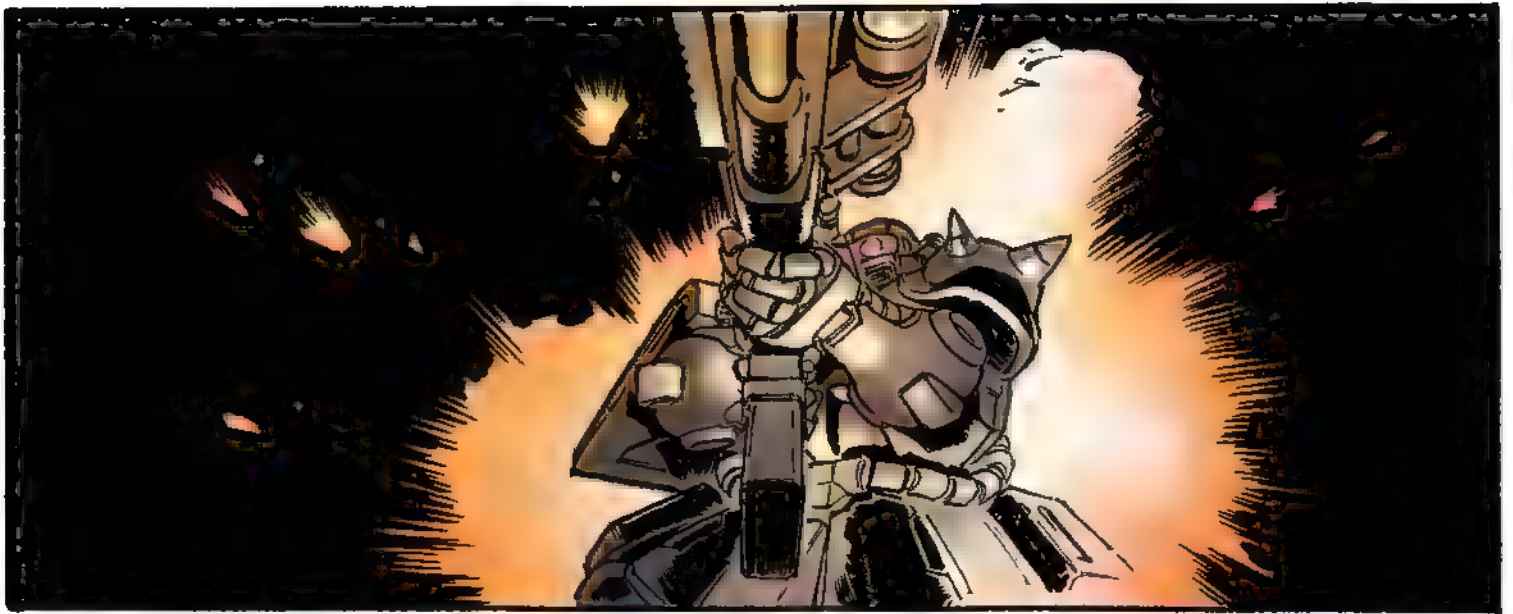
砲科班
各砲座へ！！

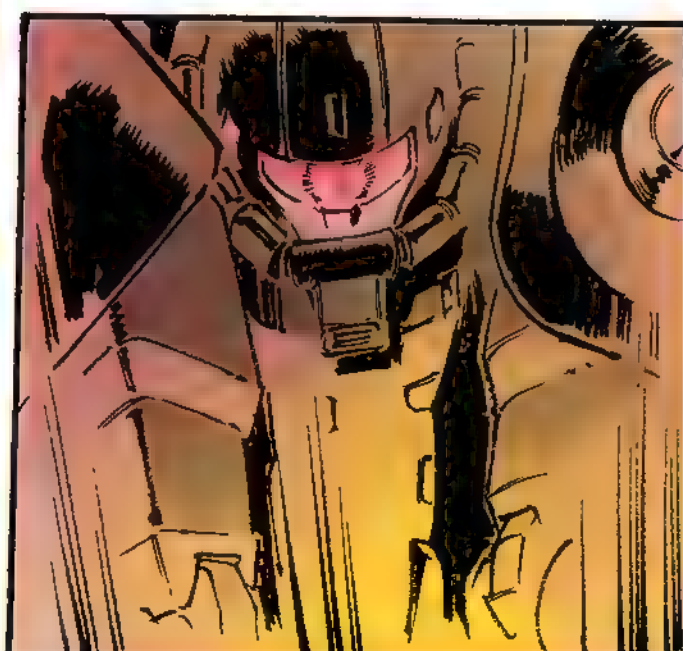
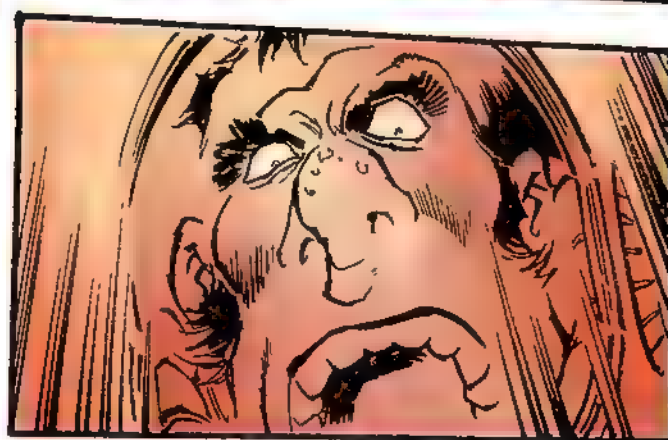
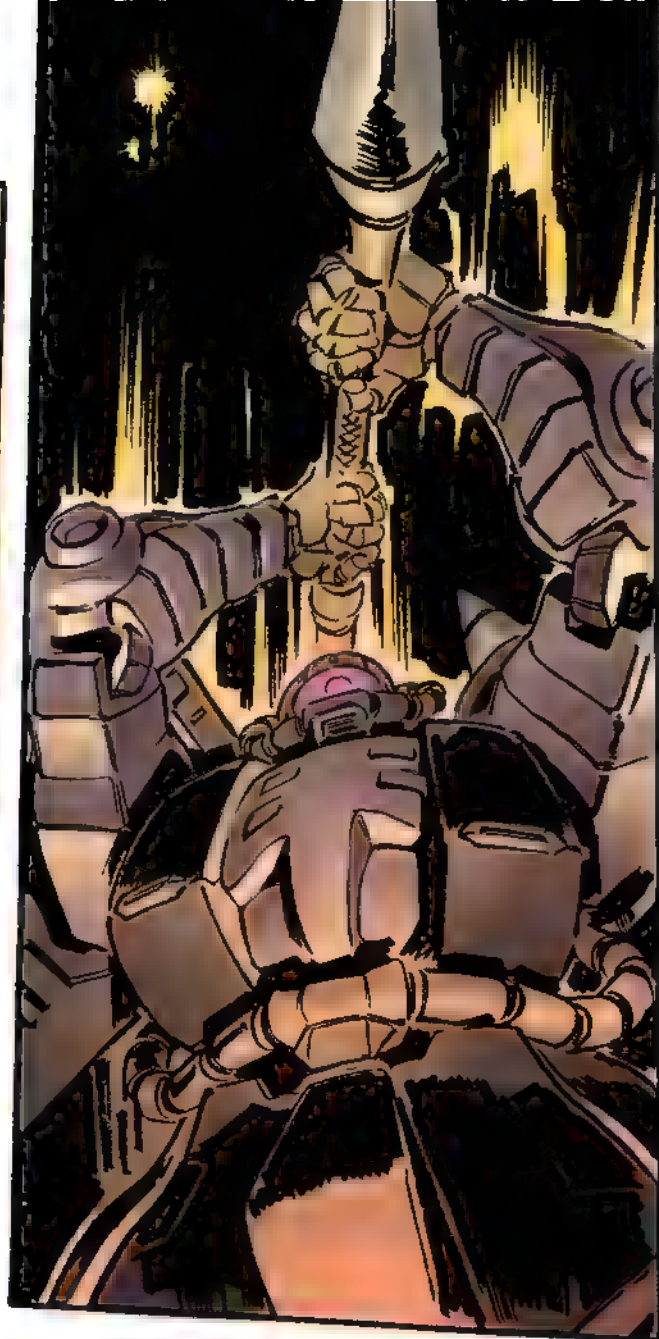
急げっ！！

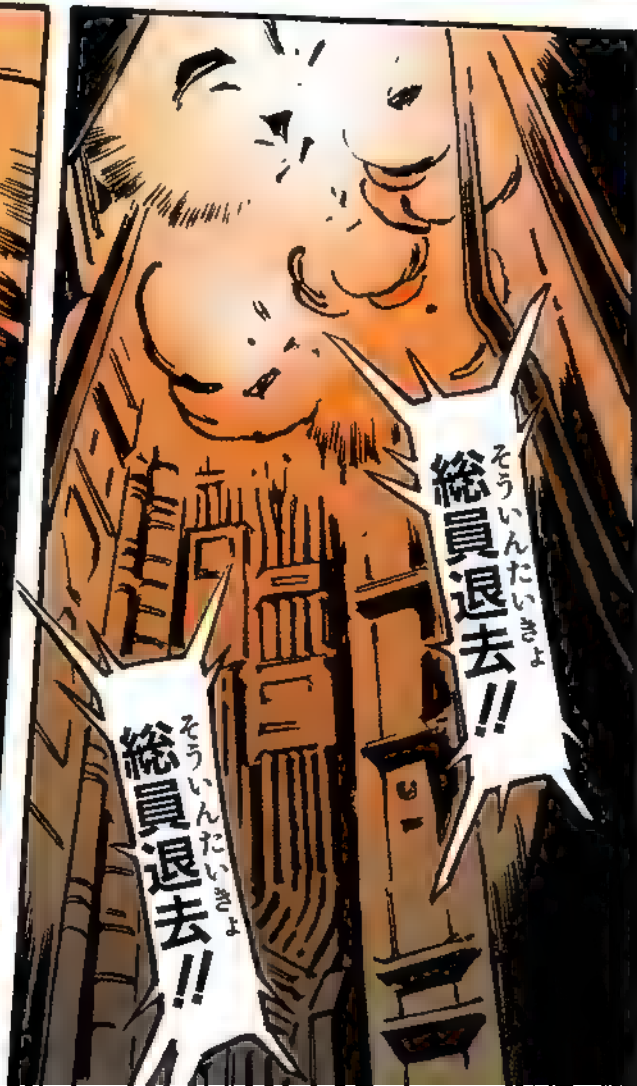
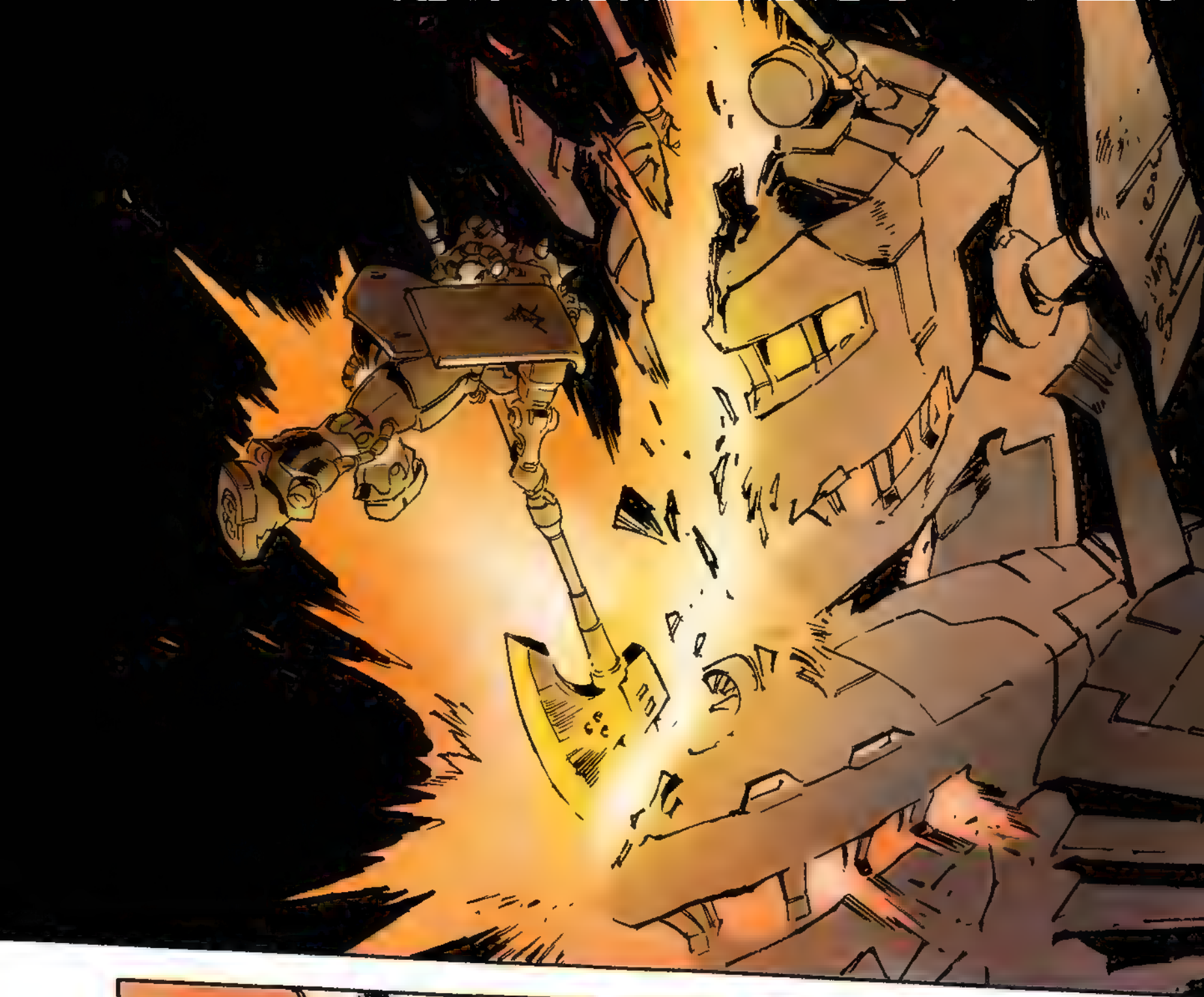


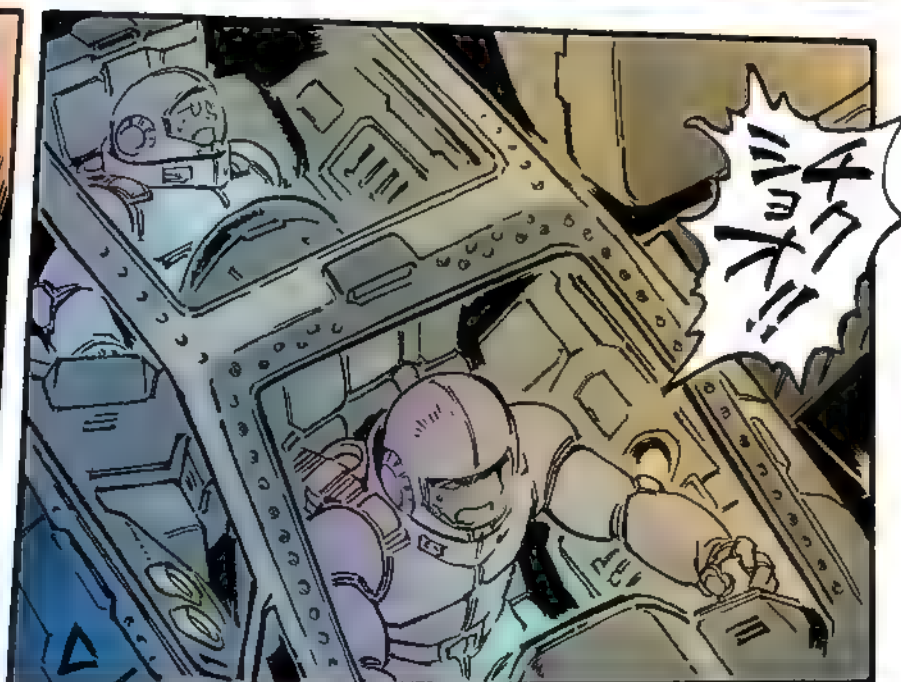
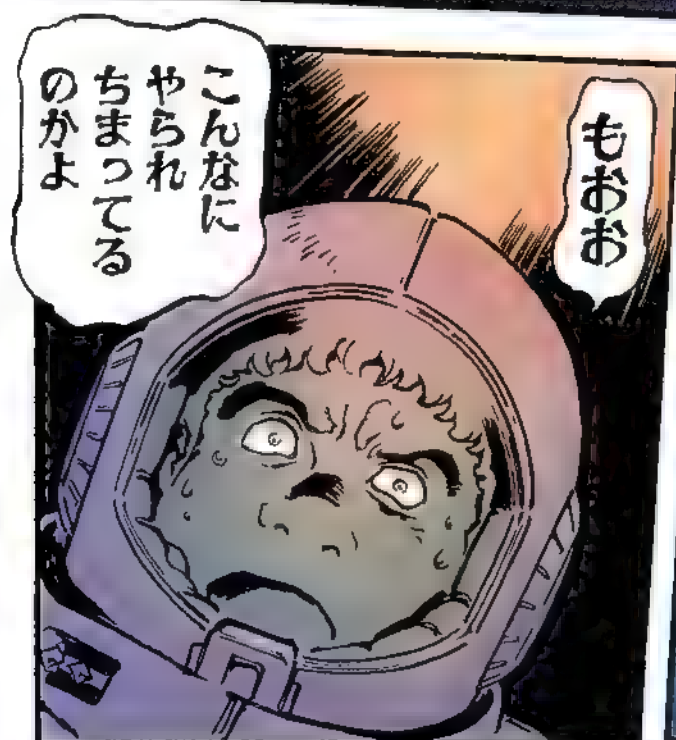
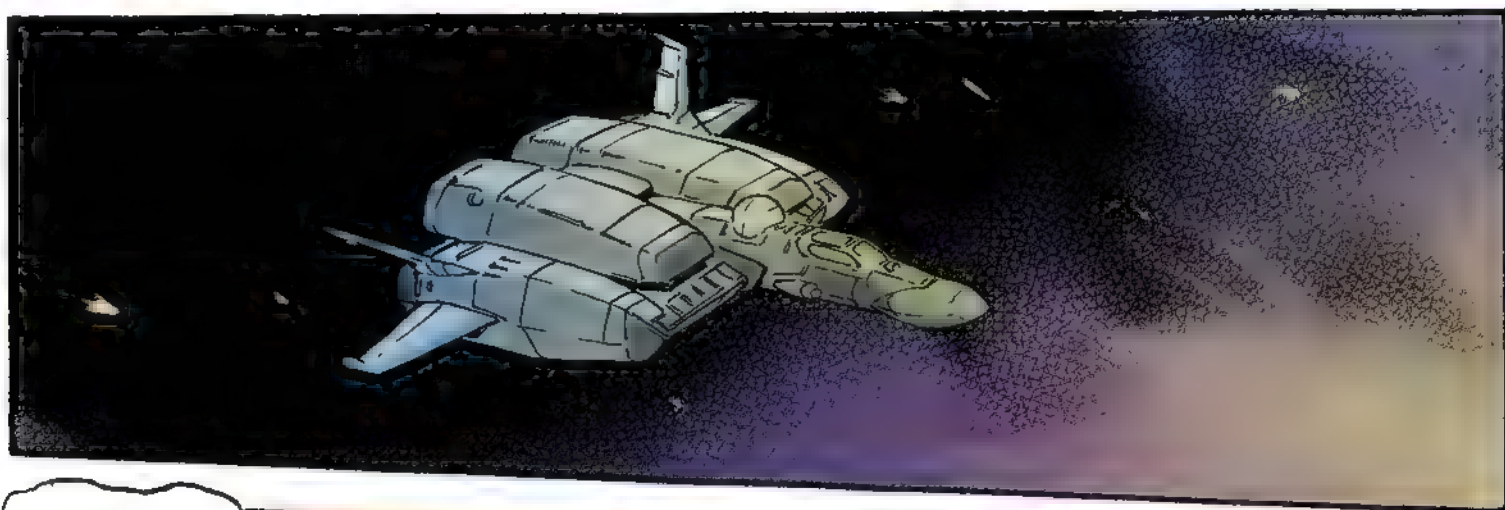
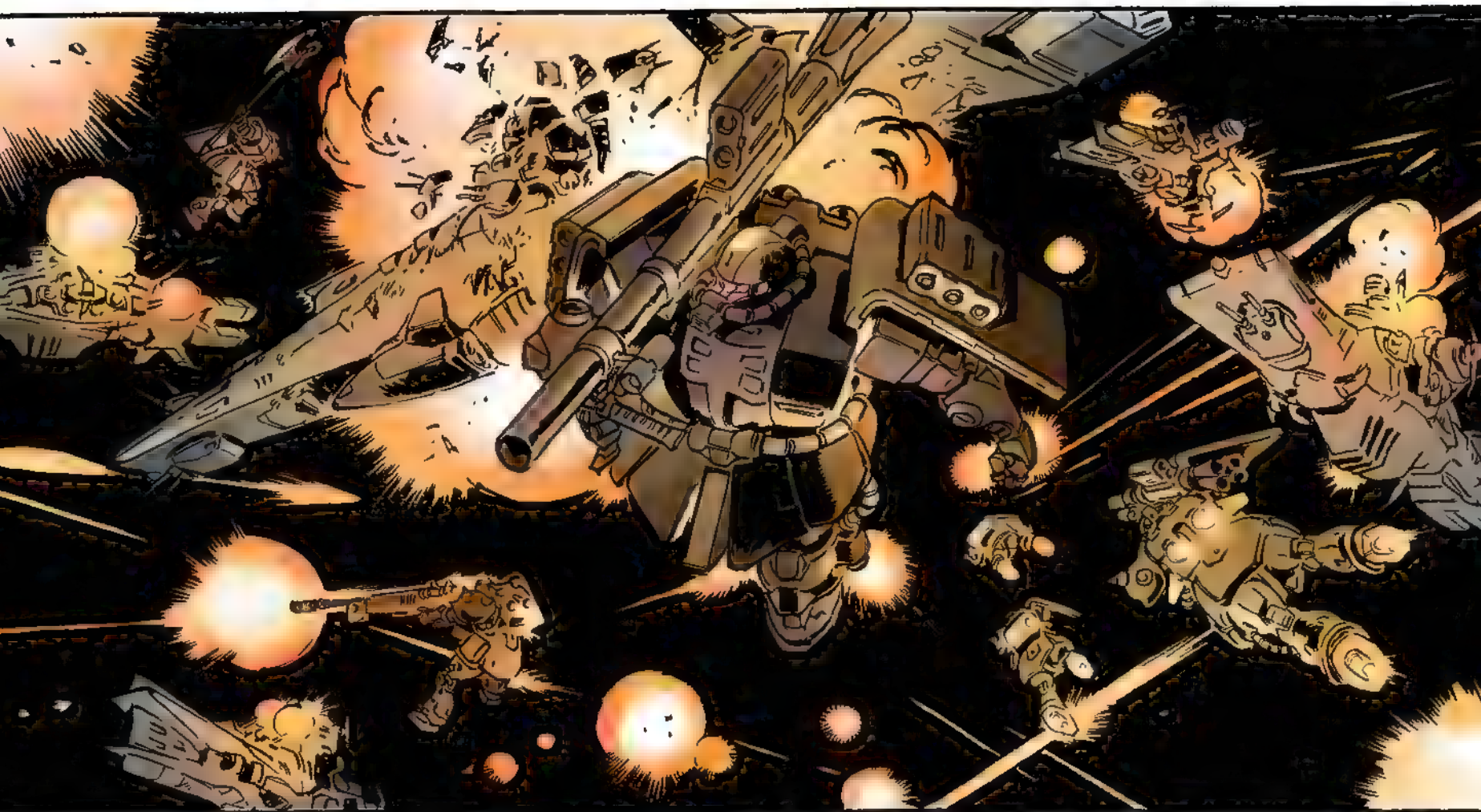


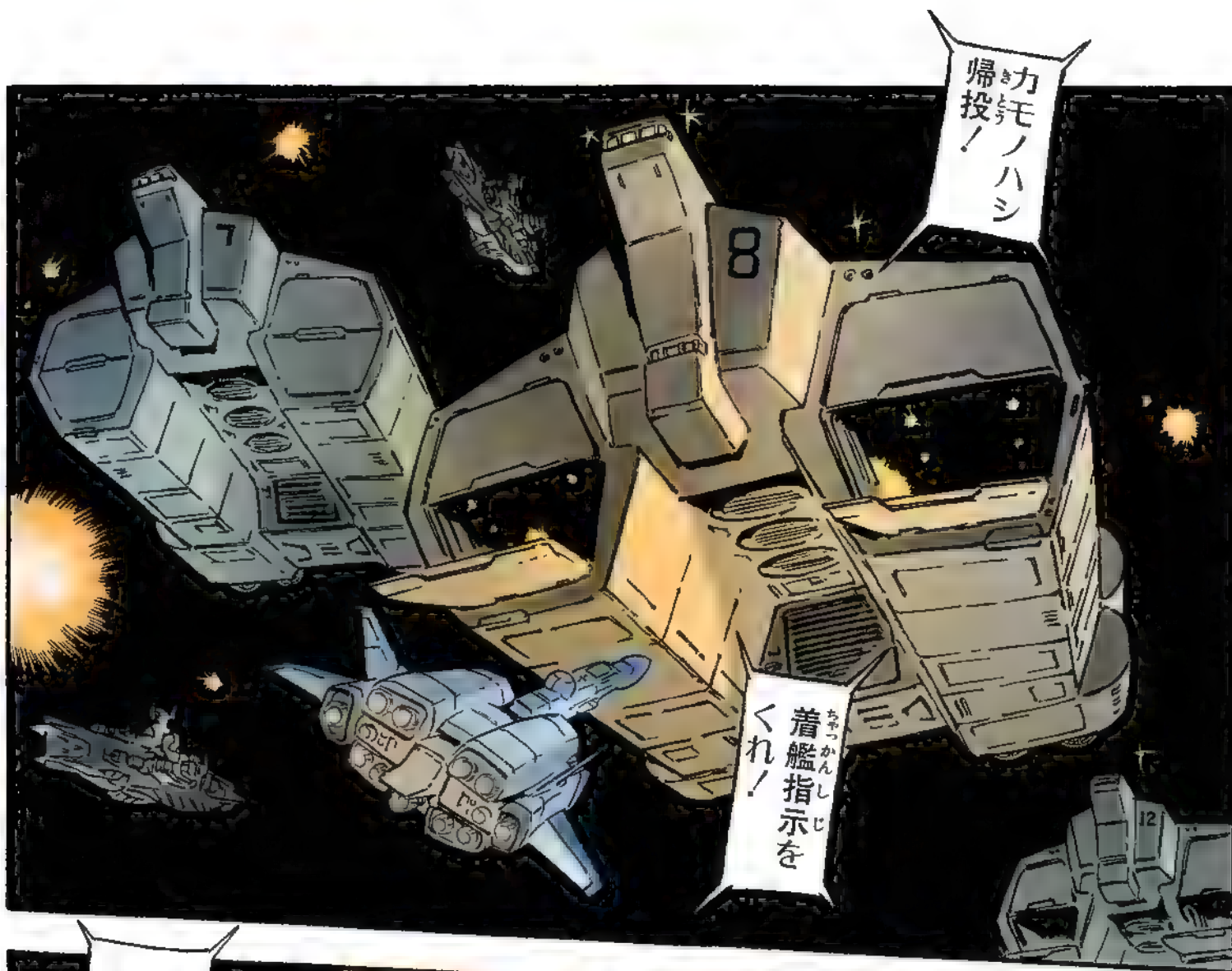






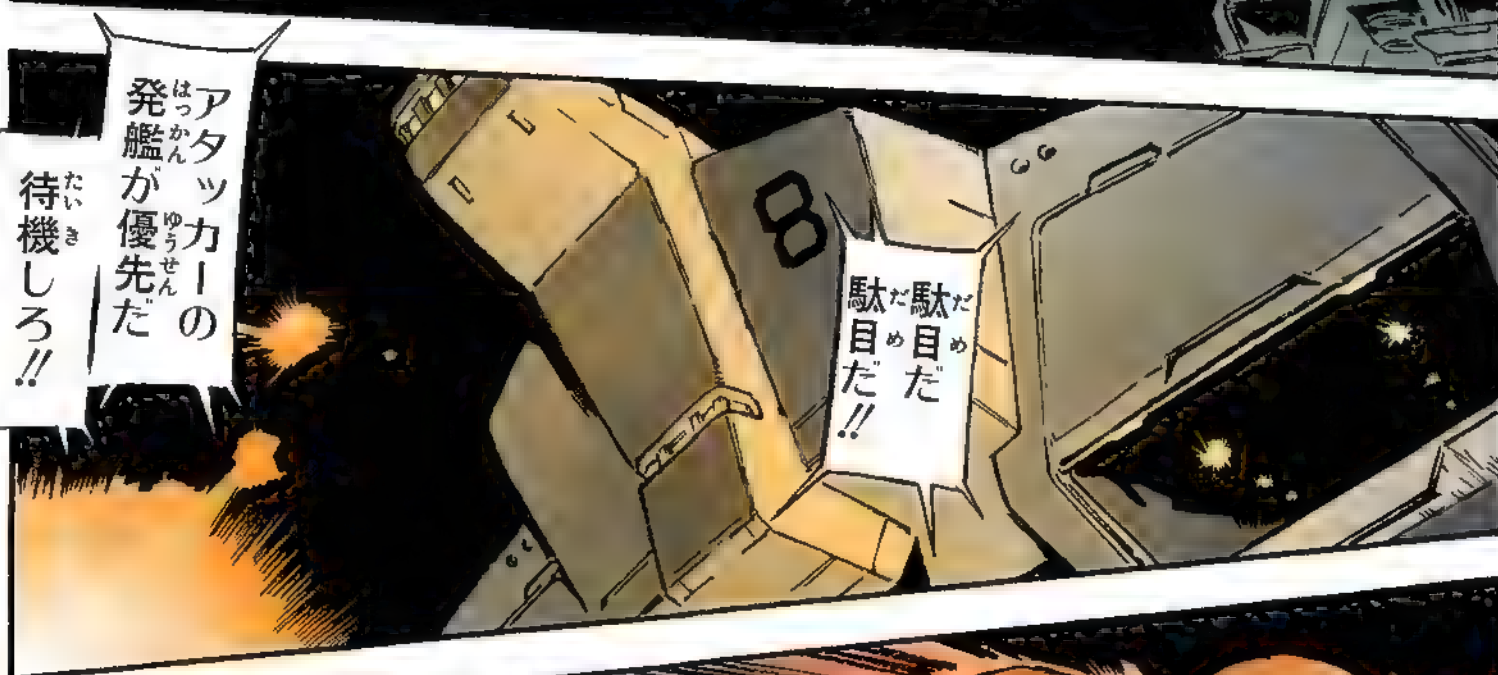






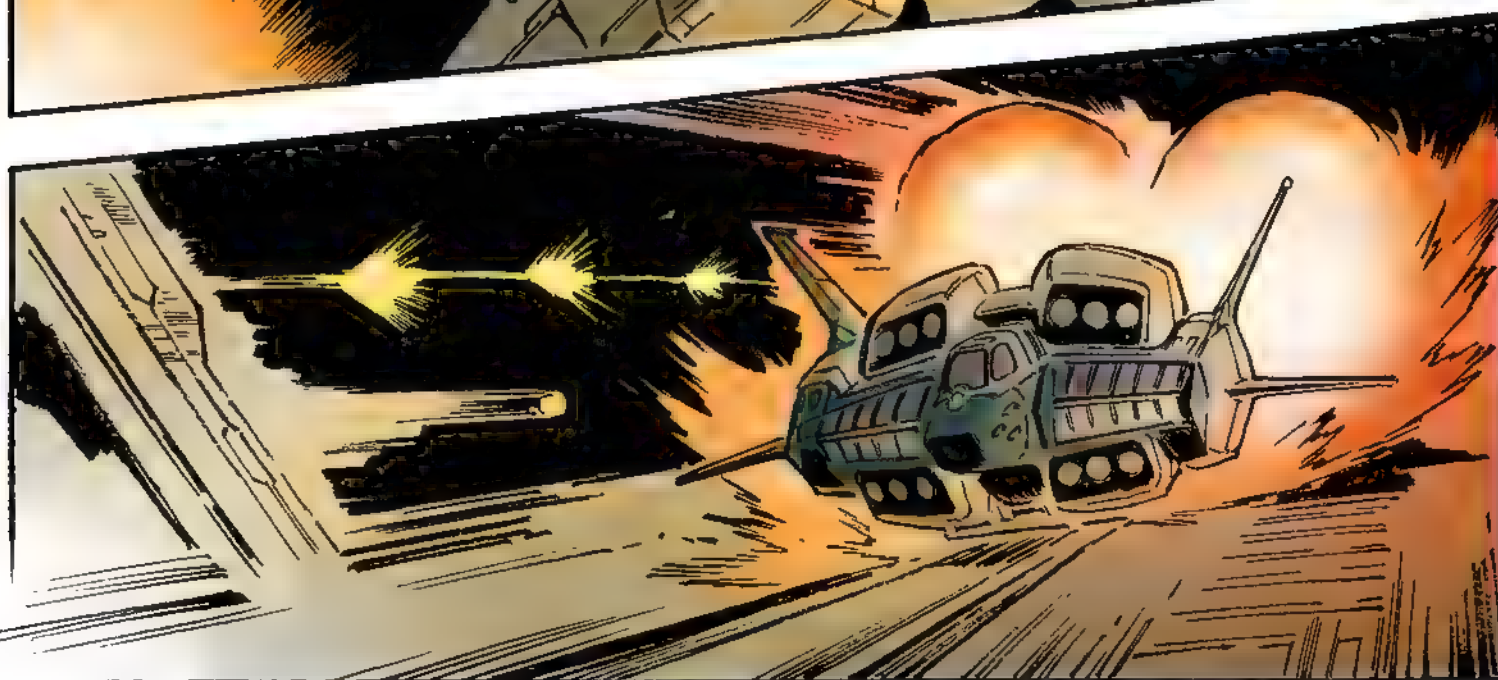
力耗ノハシ
帰投!

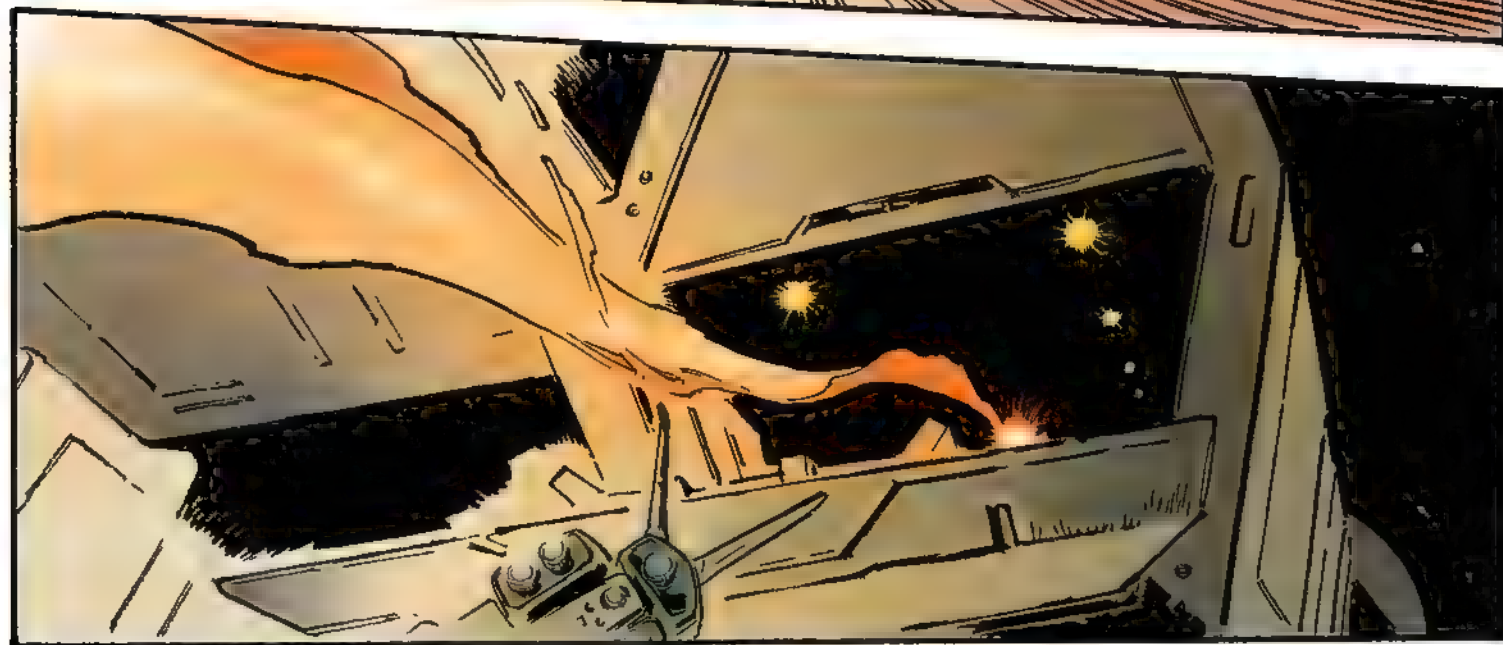
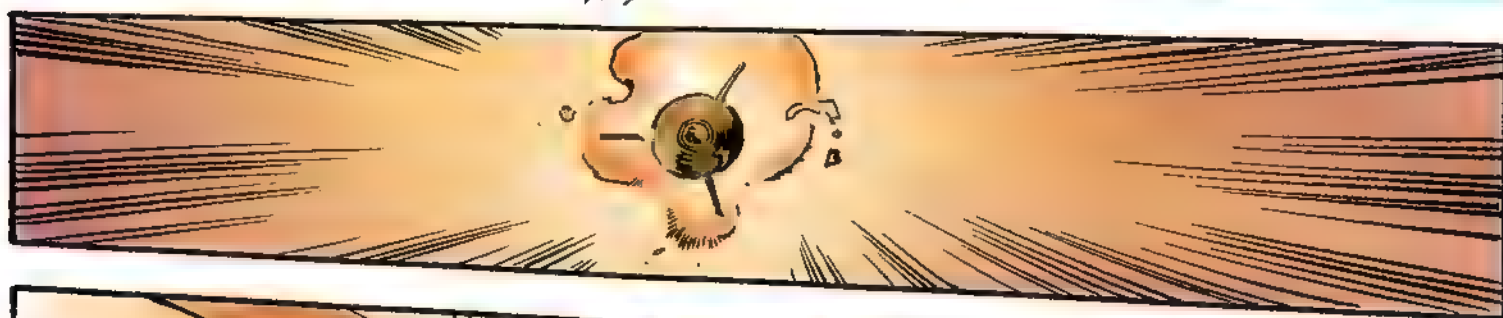
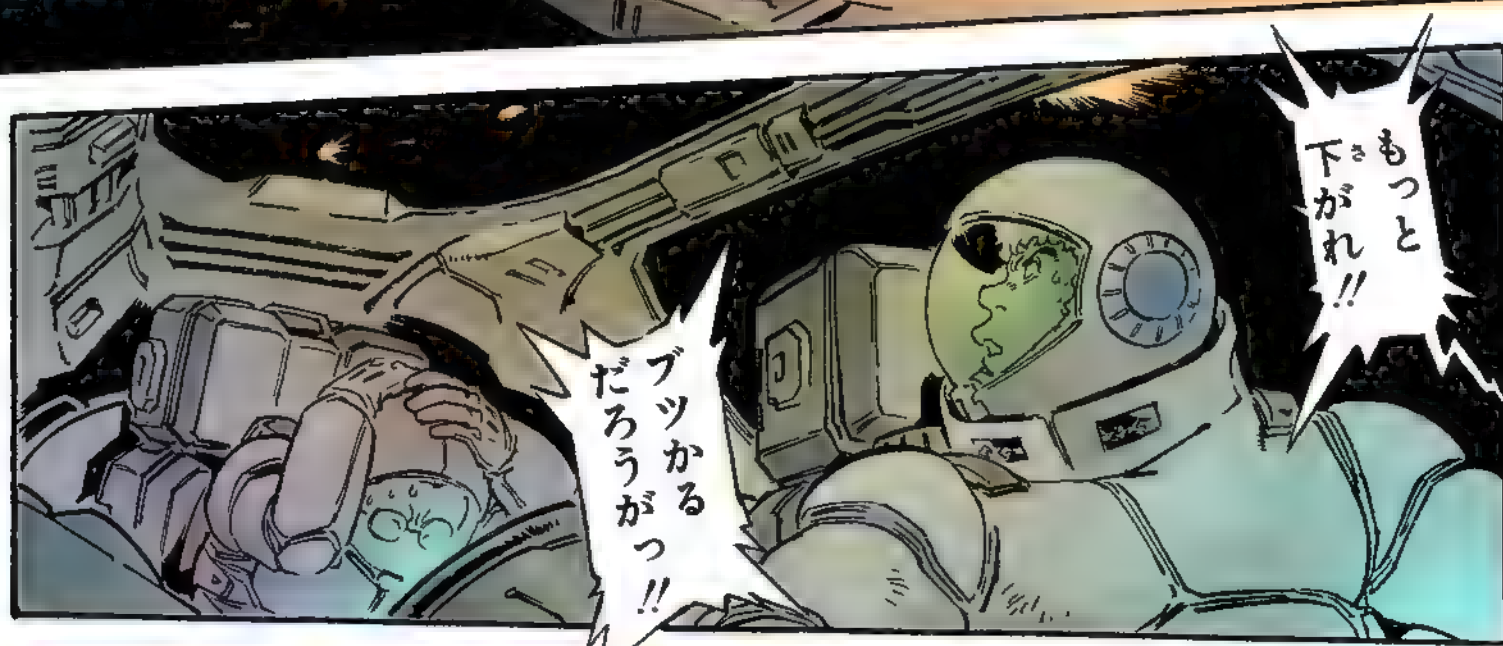
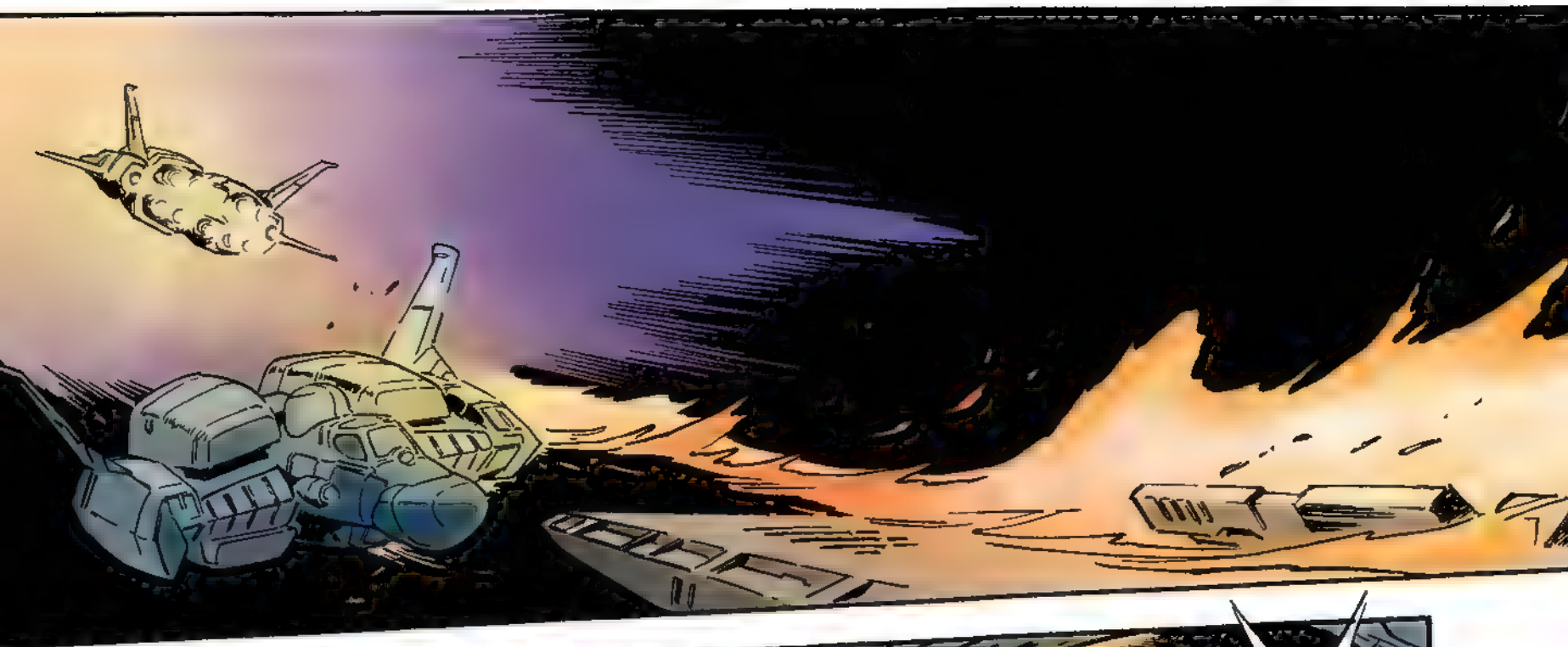
着艦指示を
くれ!

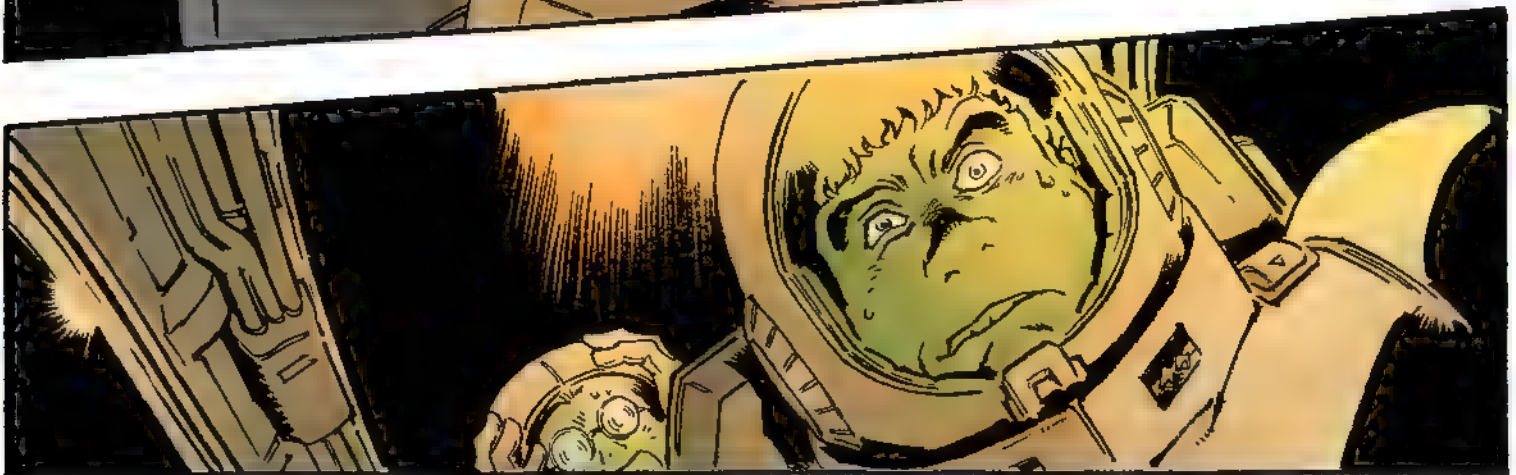
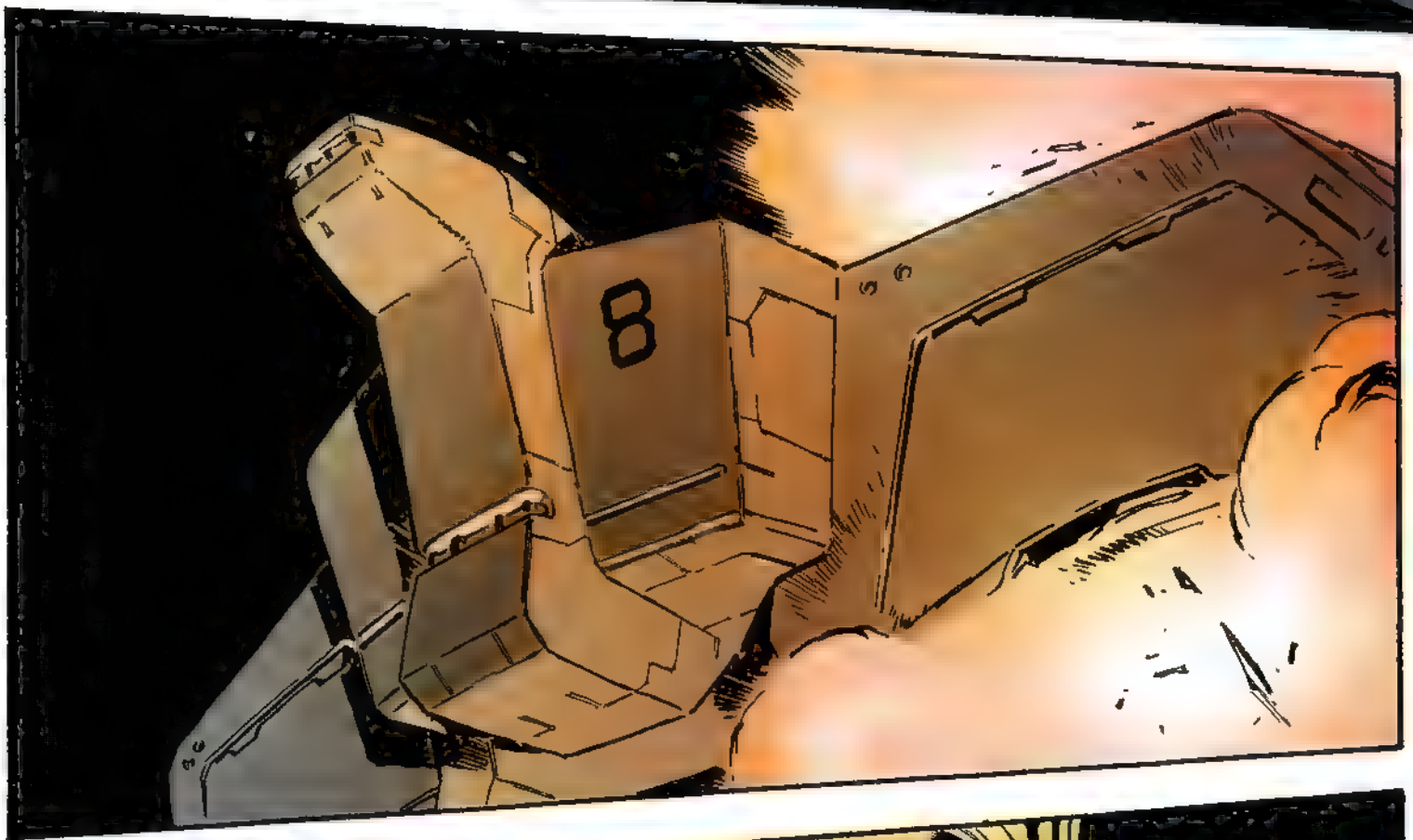
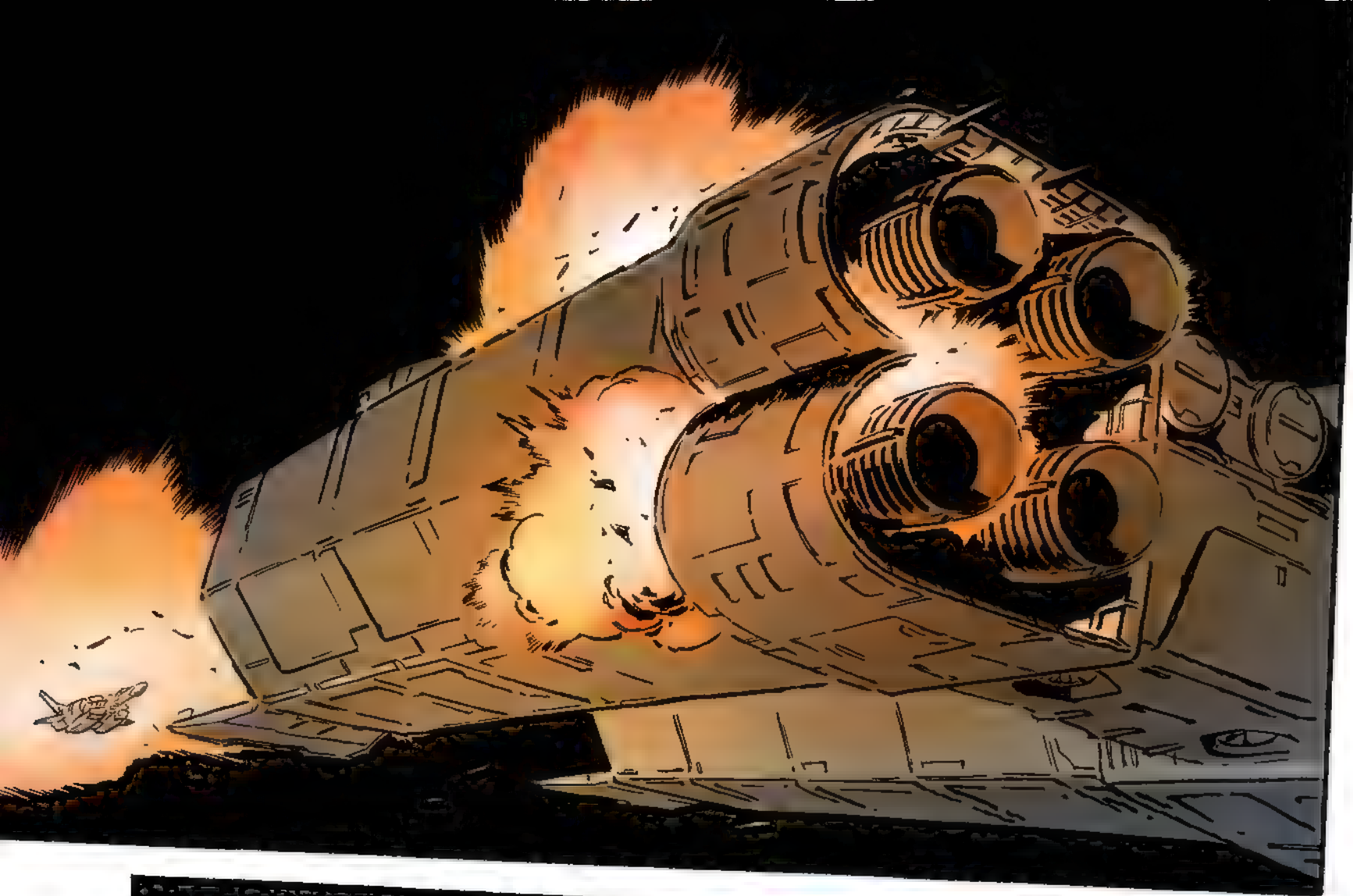


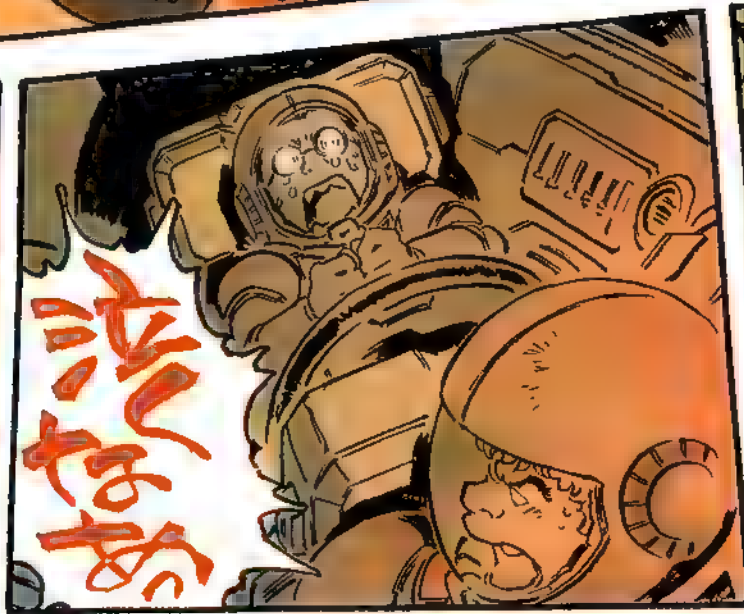
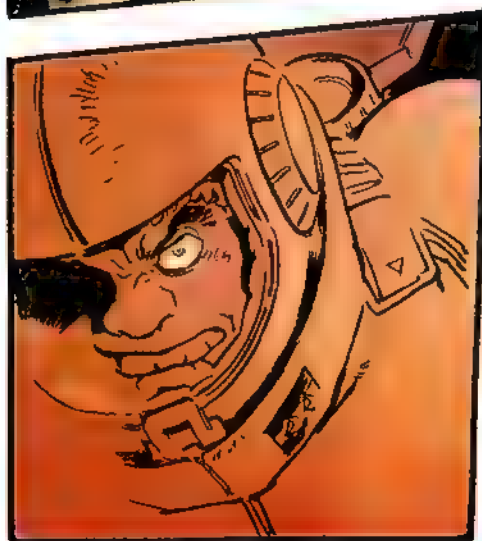
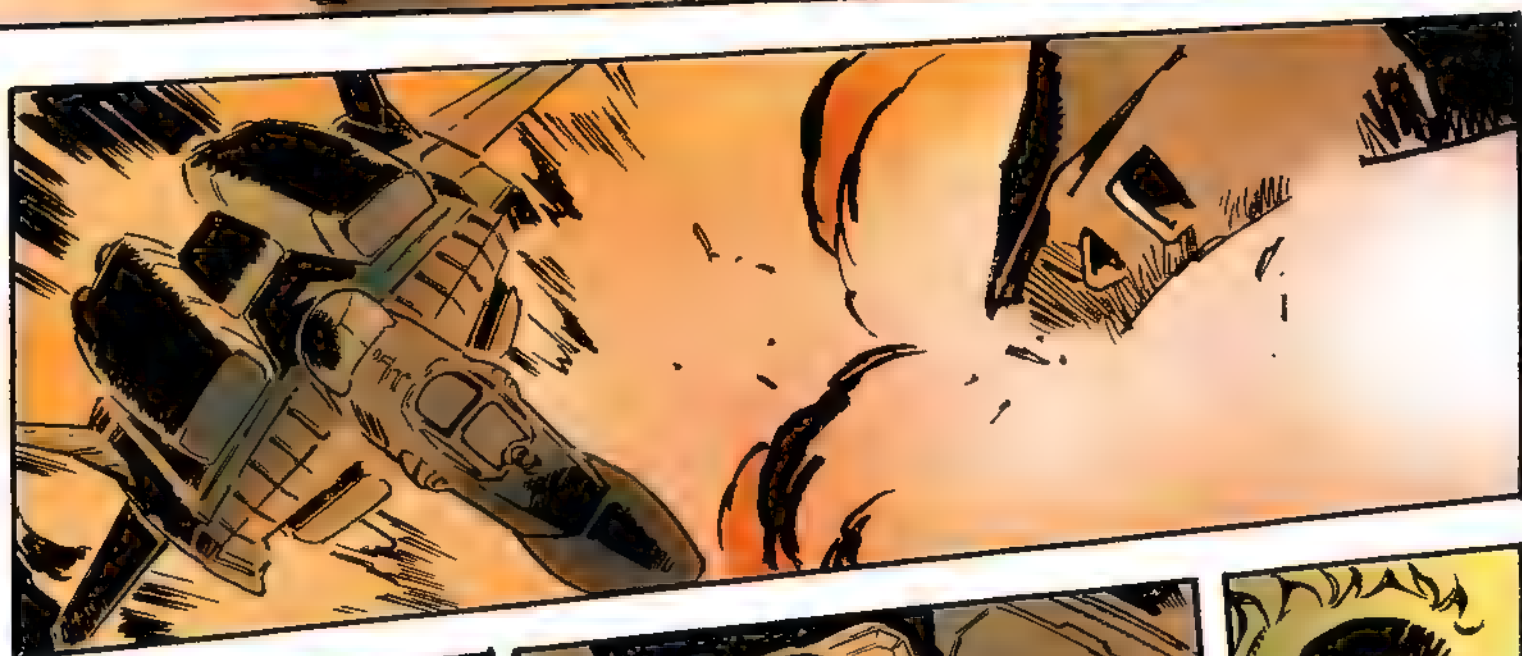
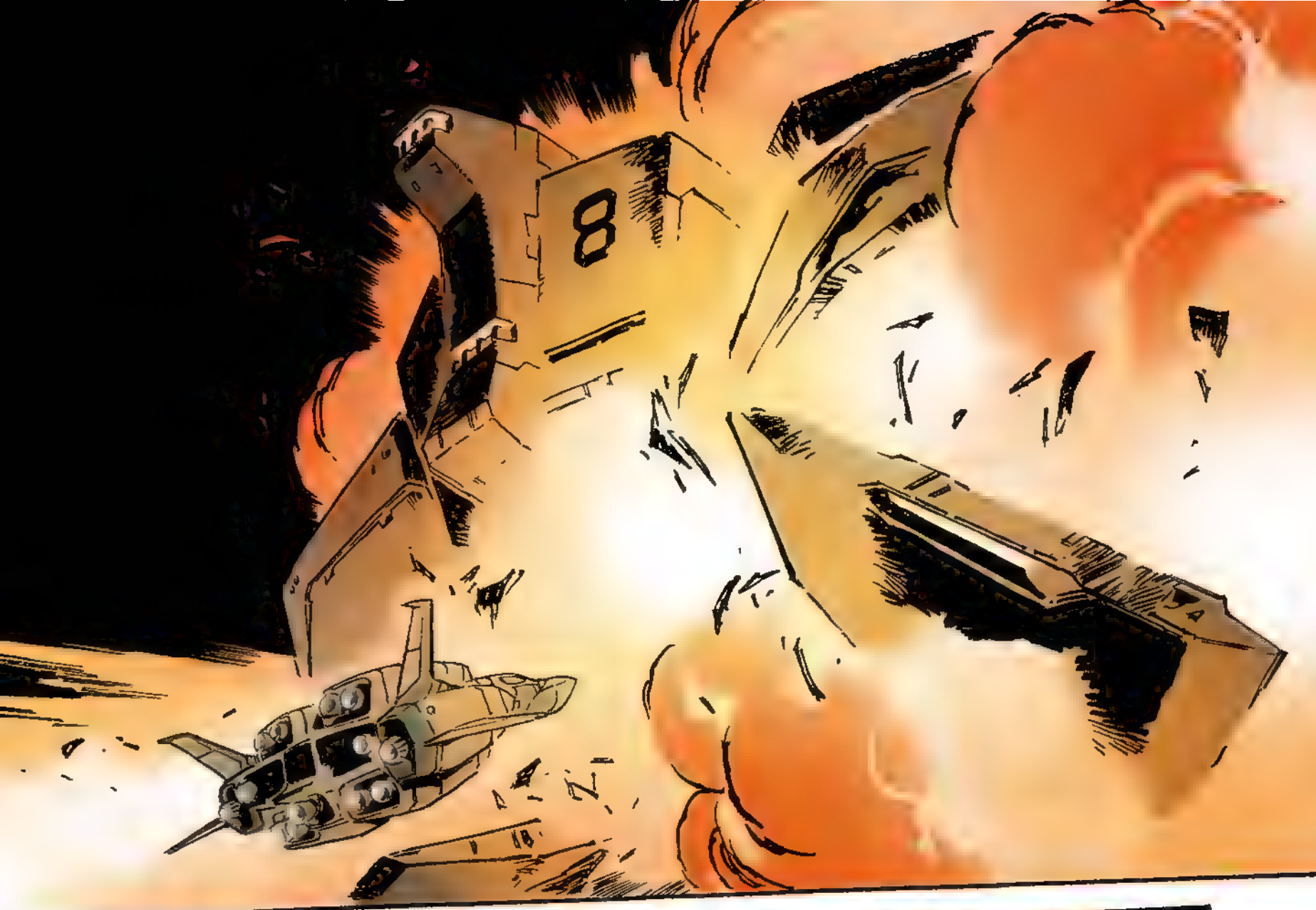
アタッカーの
発艦が優先だ
待機しろ!!

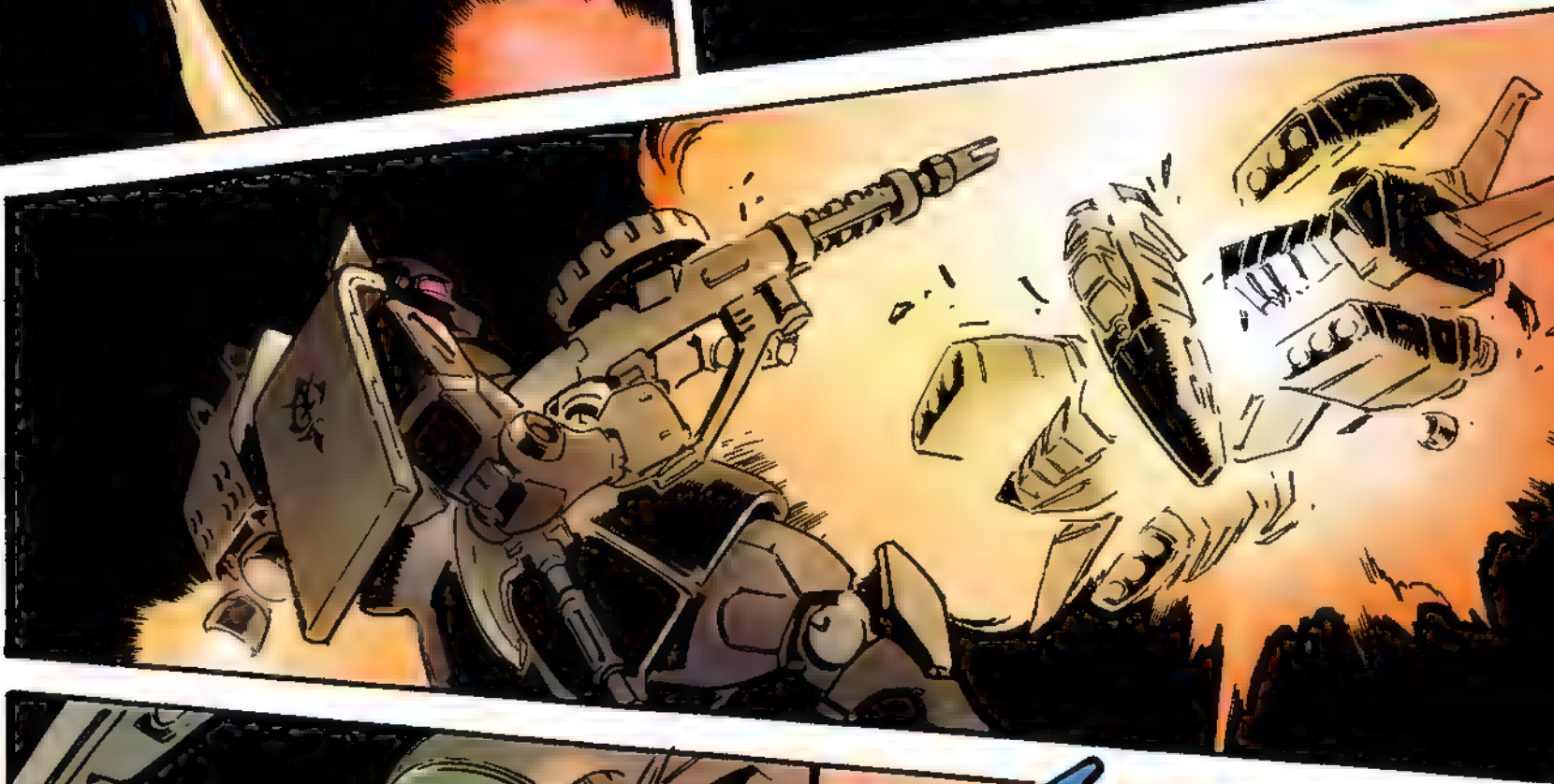
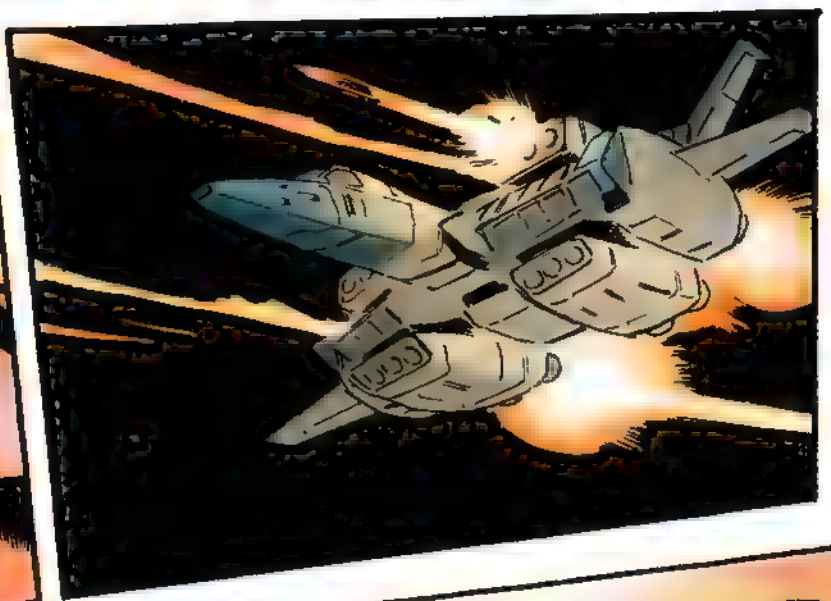
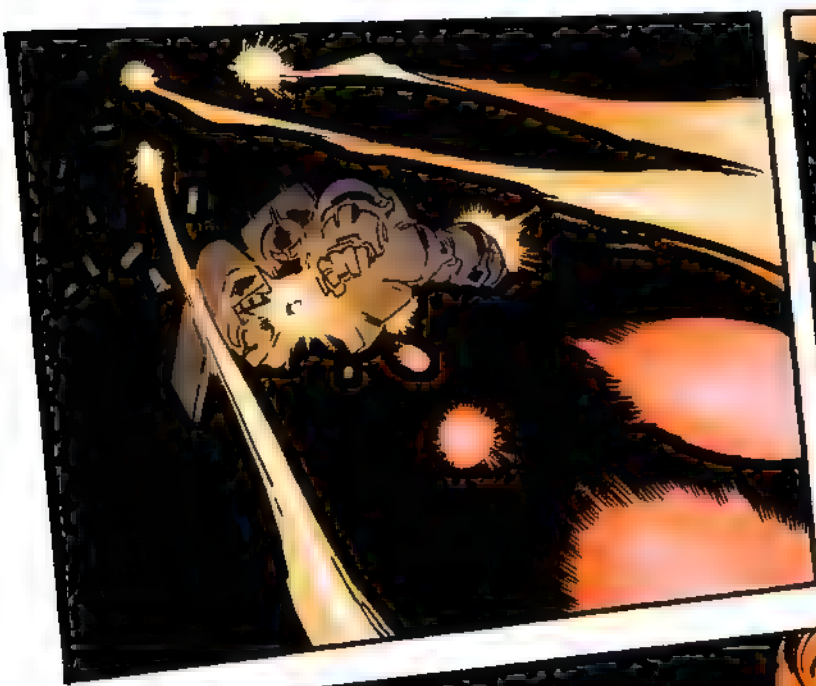
駄目だ
駄目だ
駄目だ!!

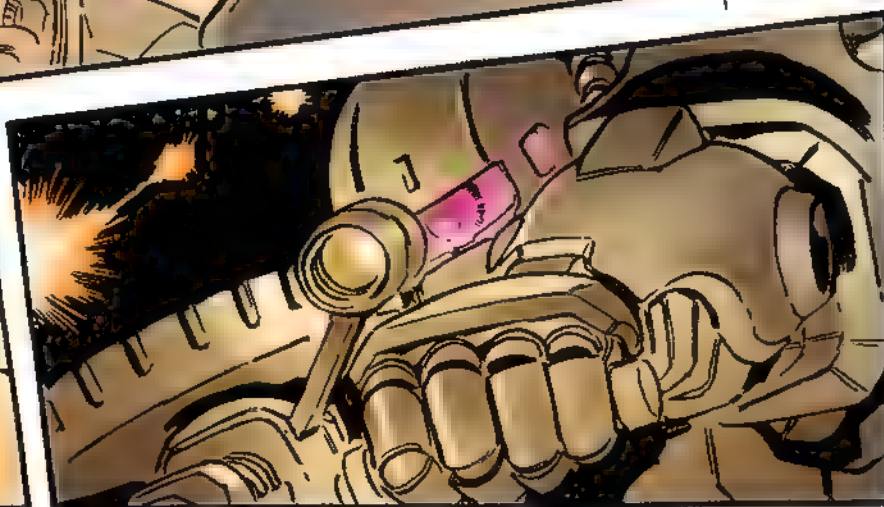
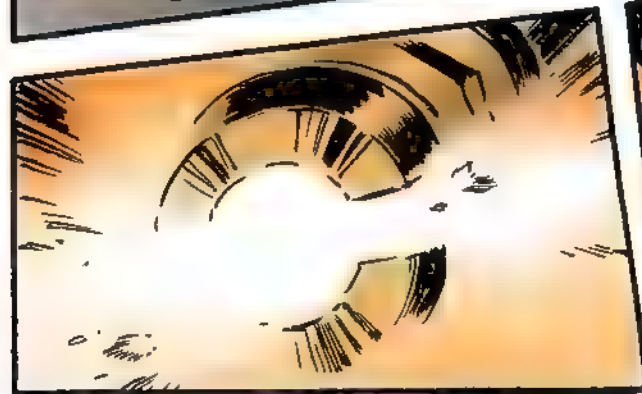
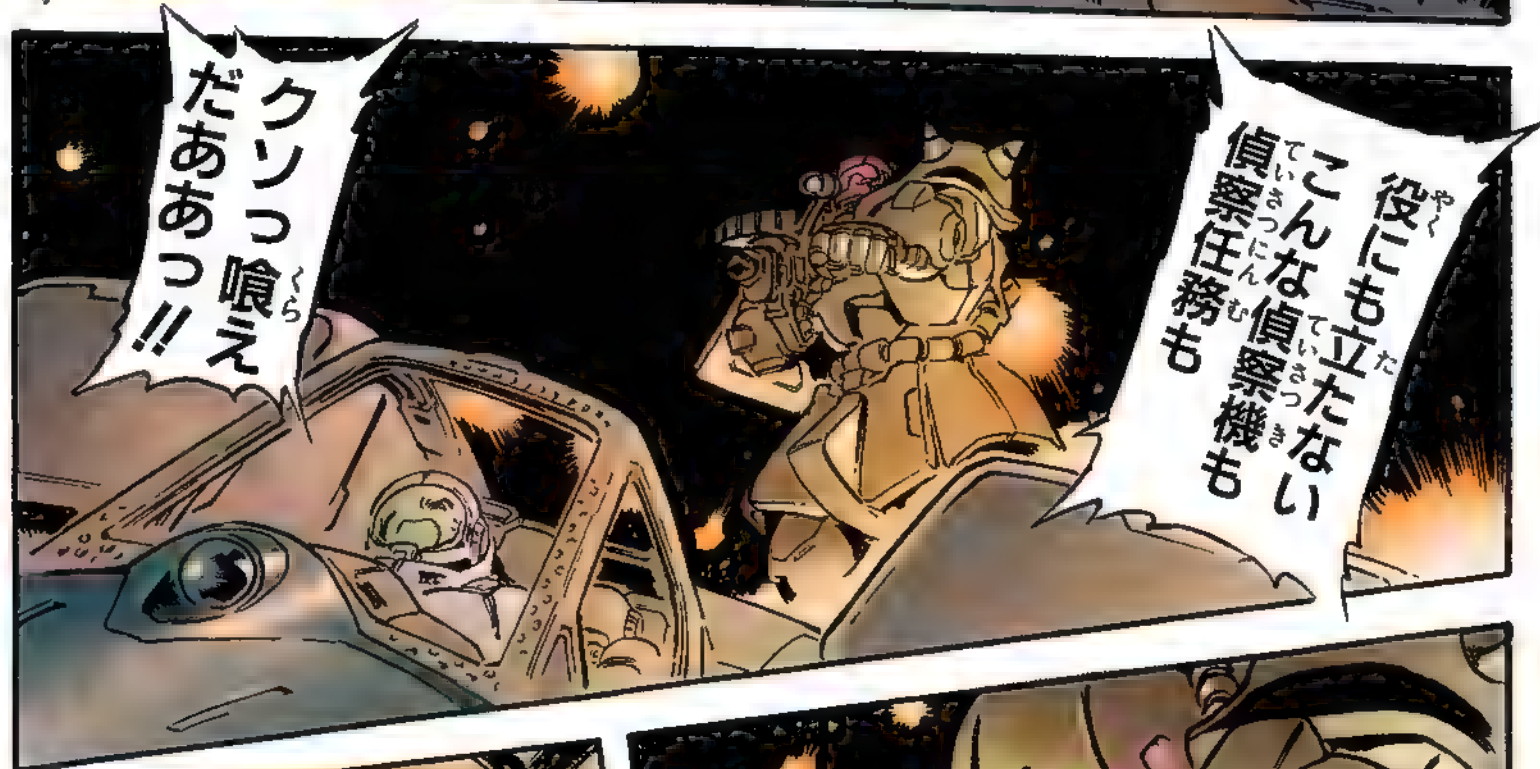
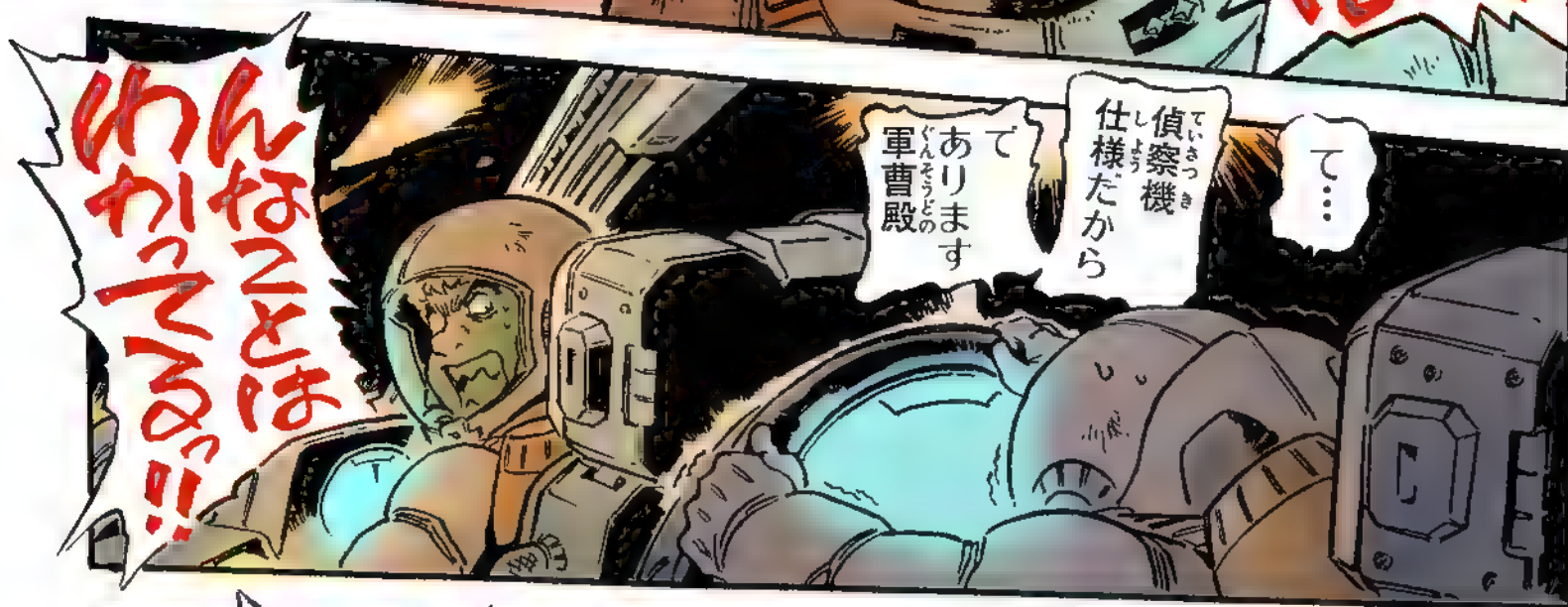
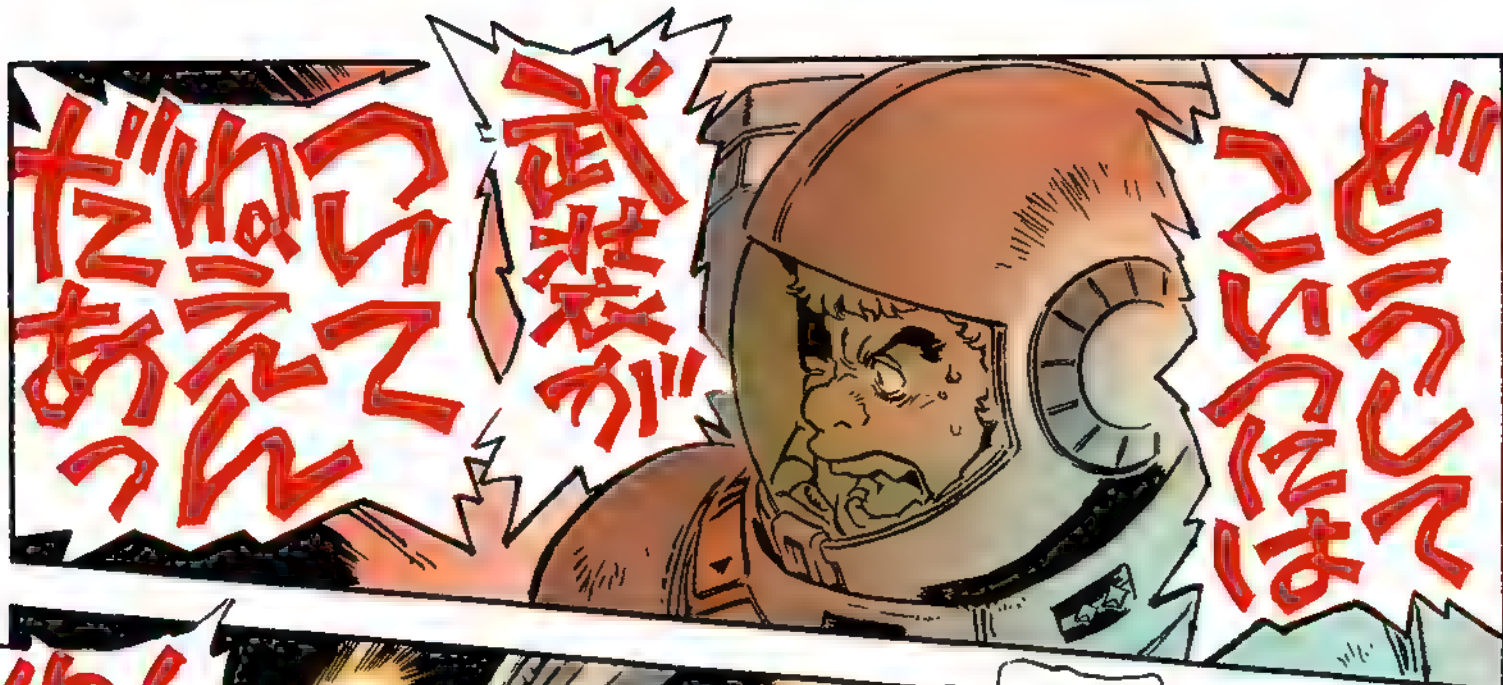


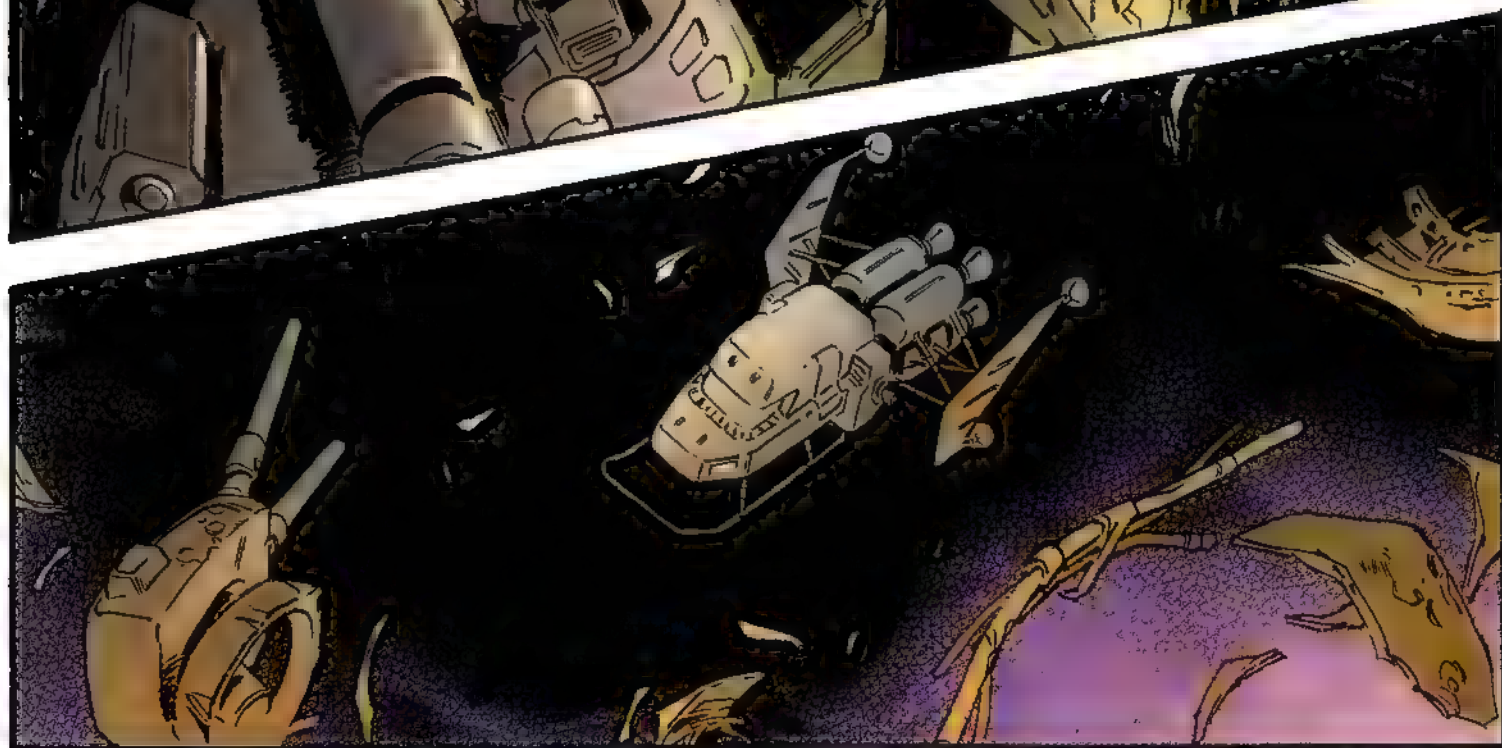
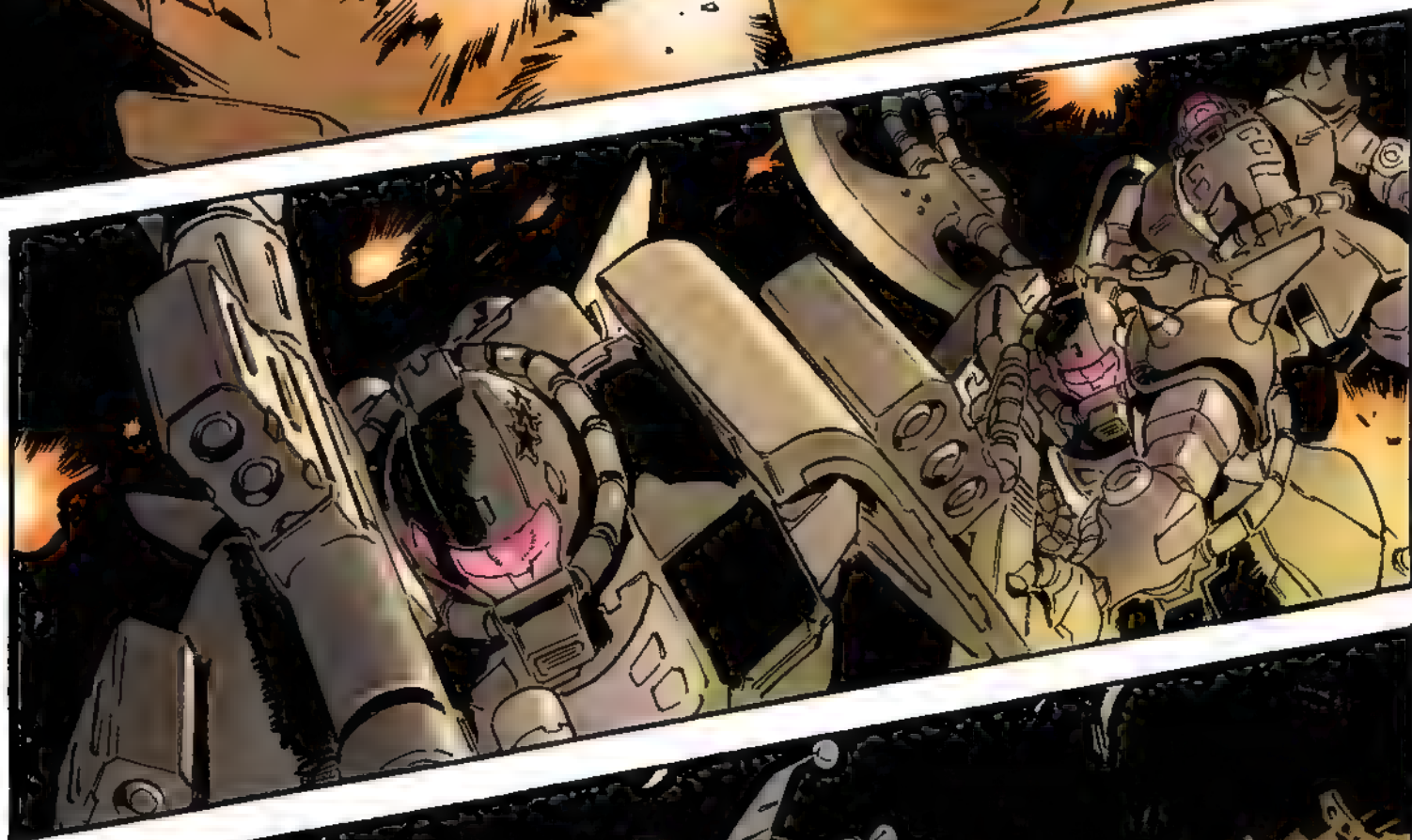












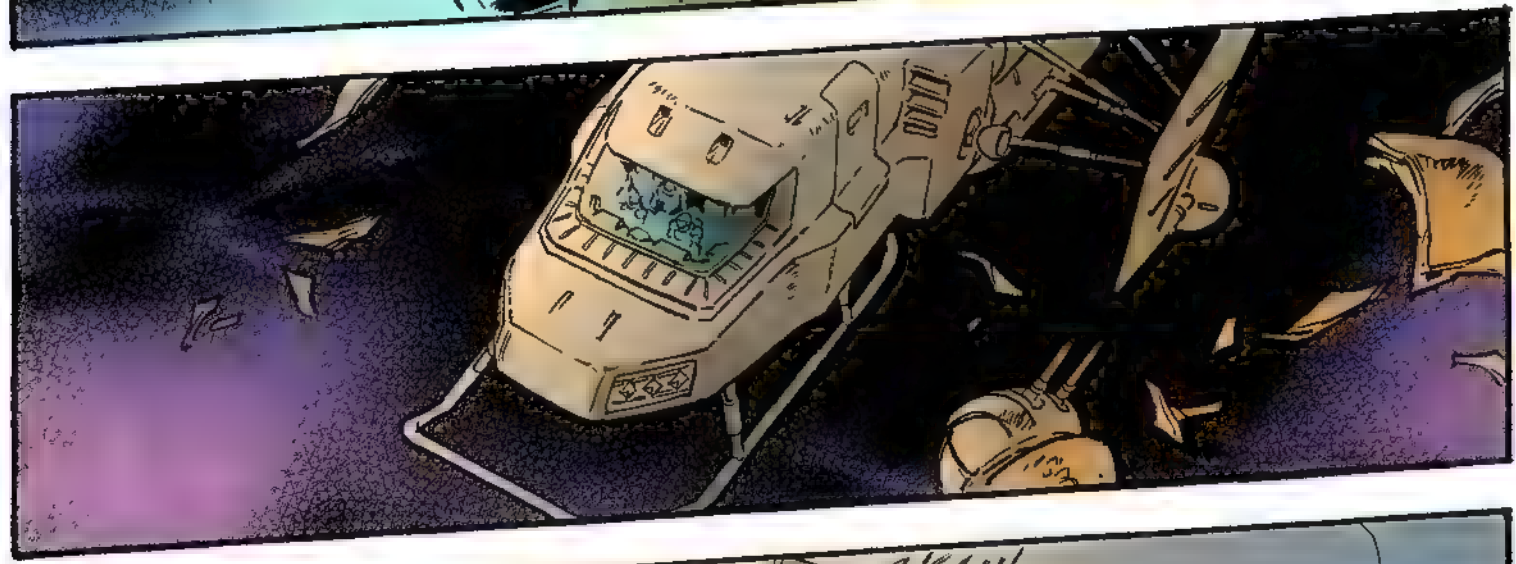
艦撃ちにも
飽きたナ

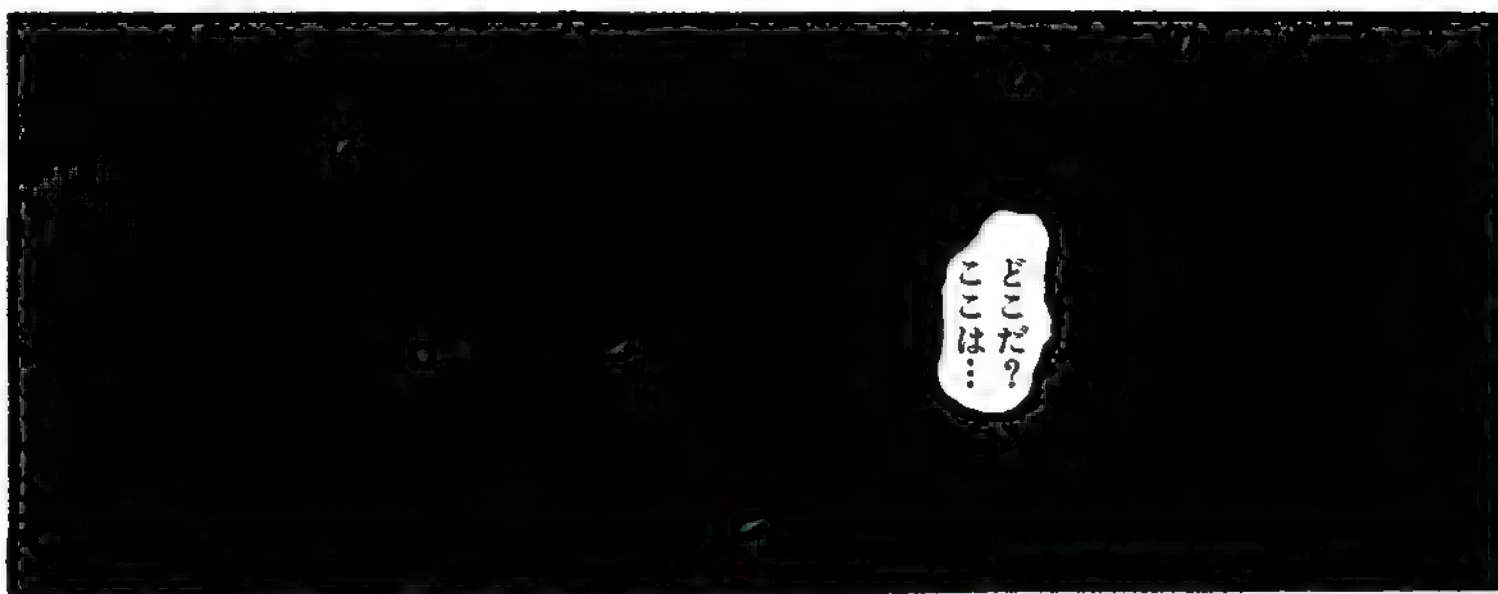
ほど
程よく小さい
おもしろ
面白い標的だ

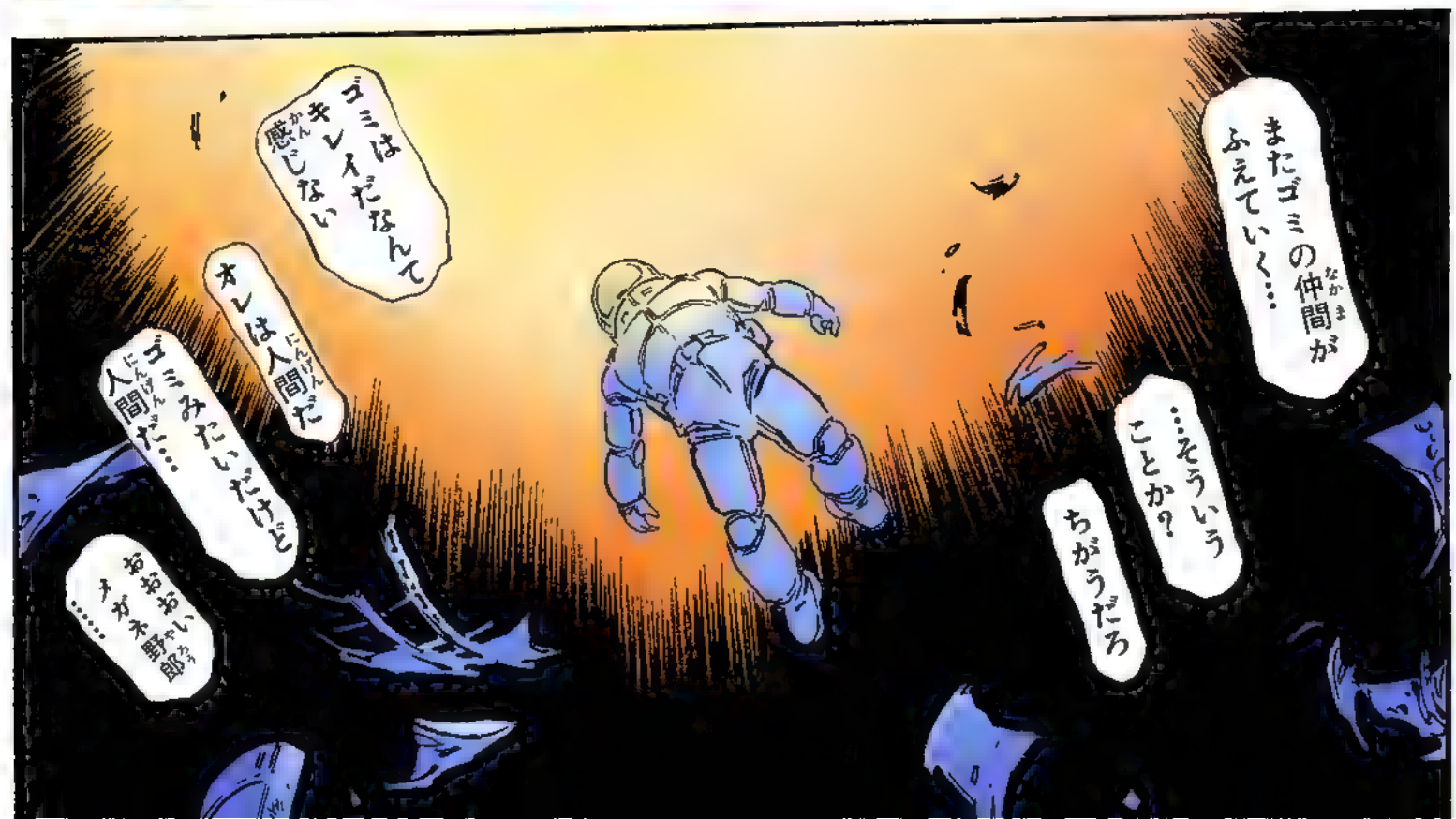
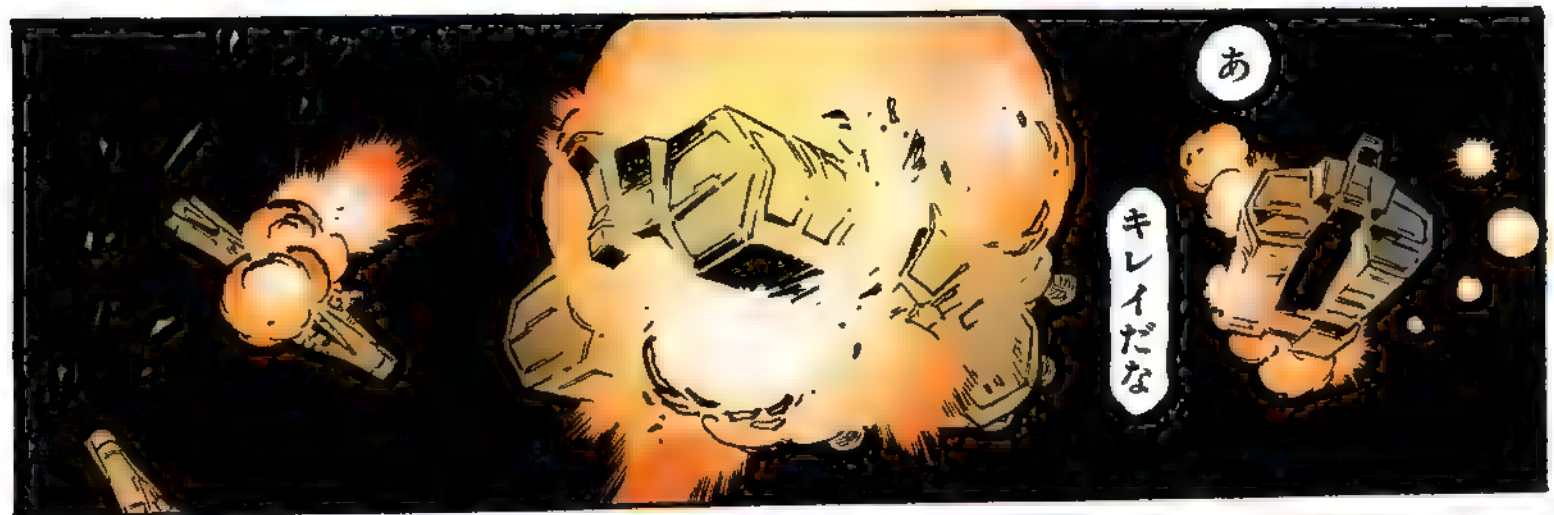
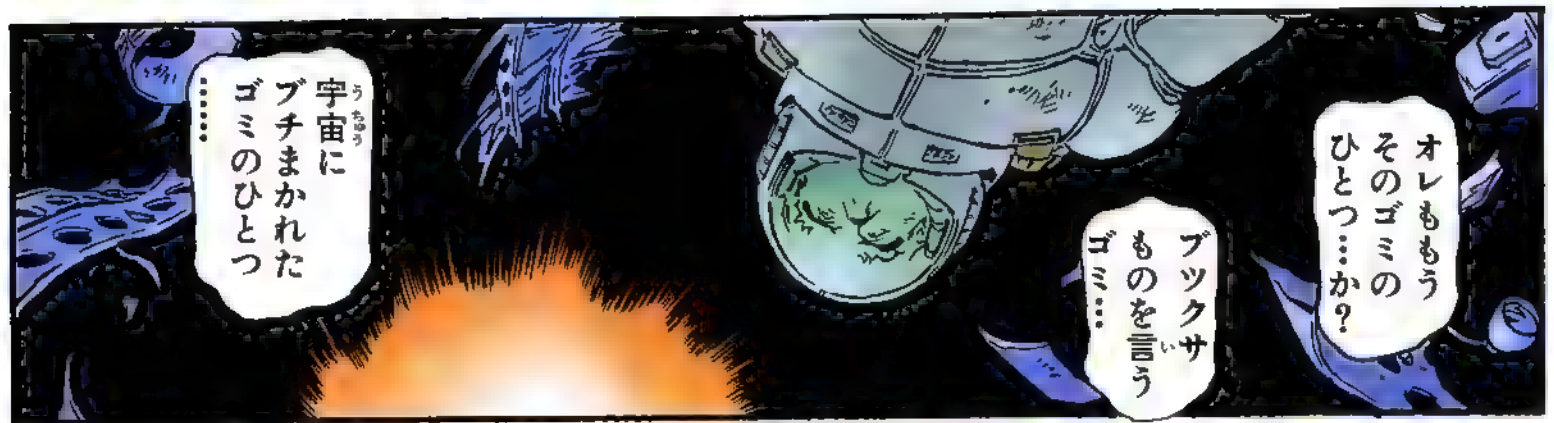
?

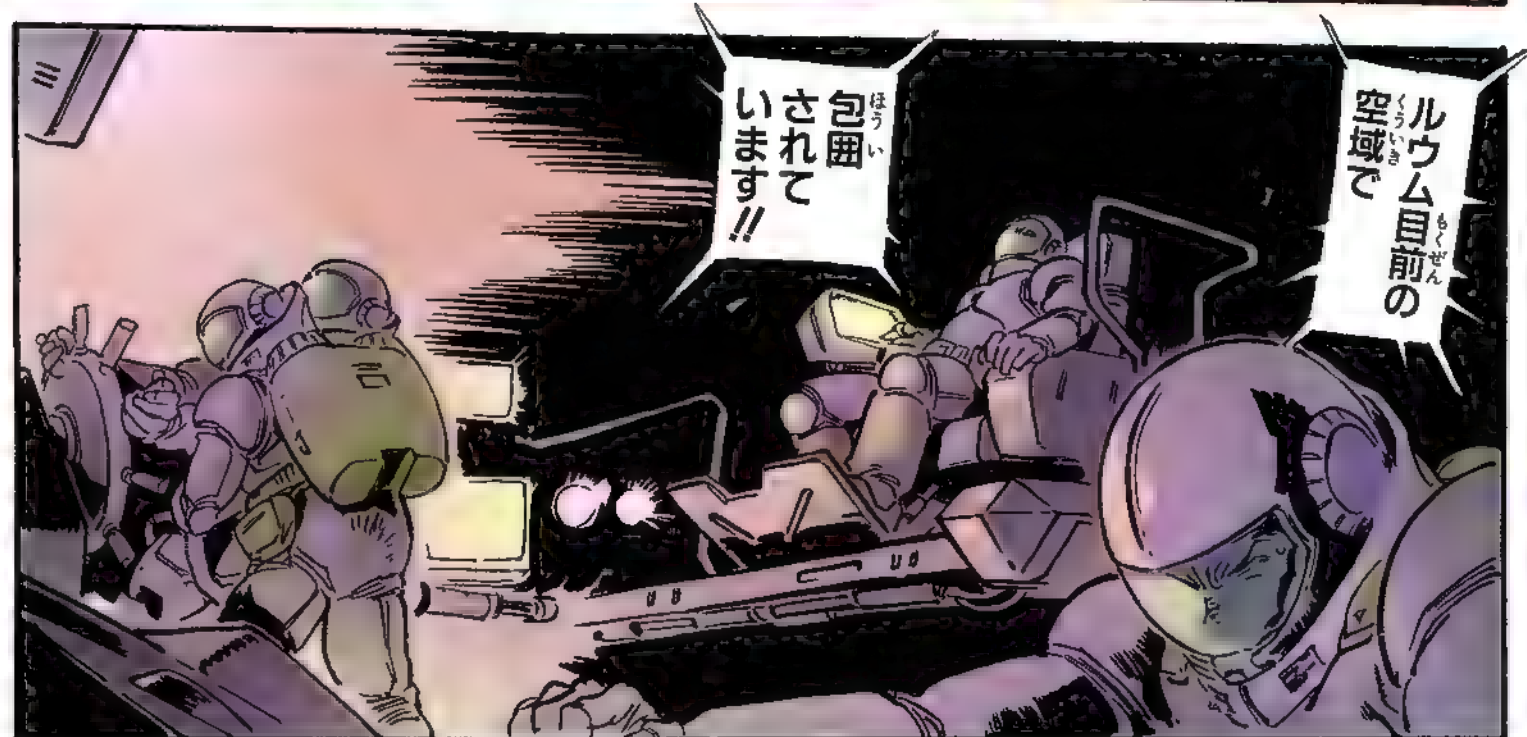
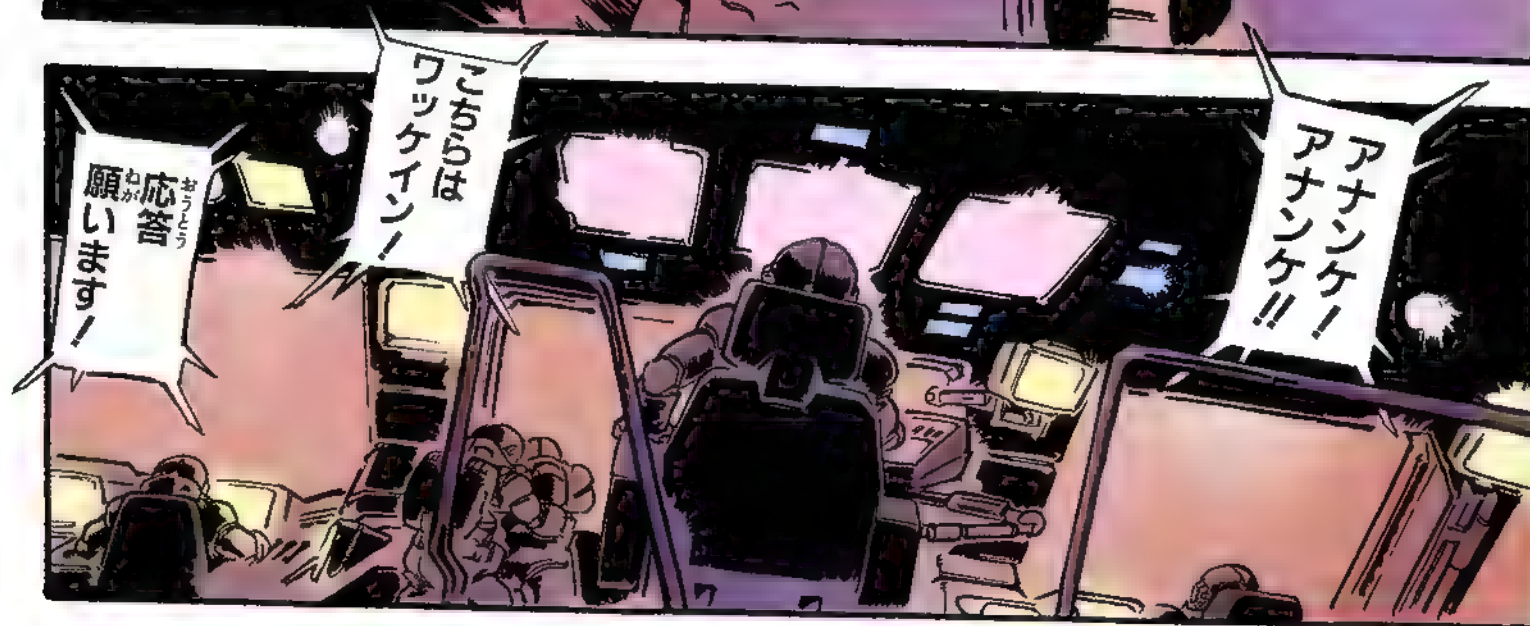
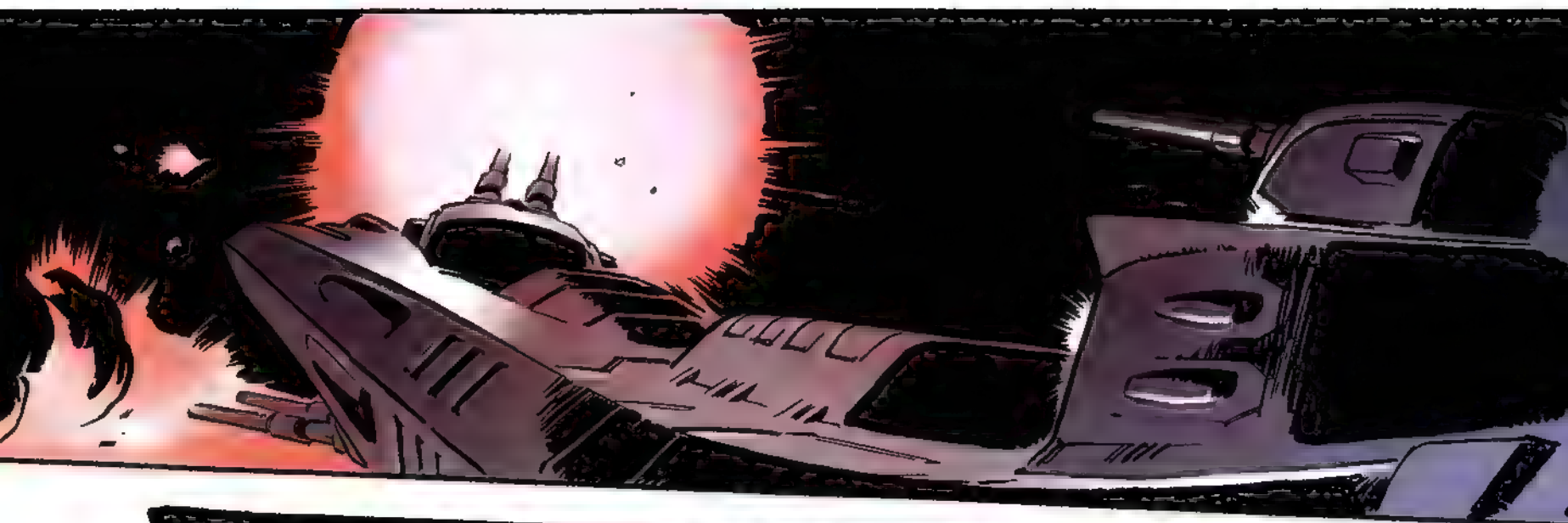
撃つな
よく見ろ

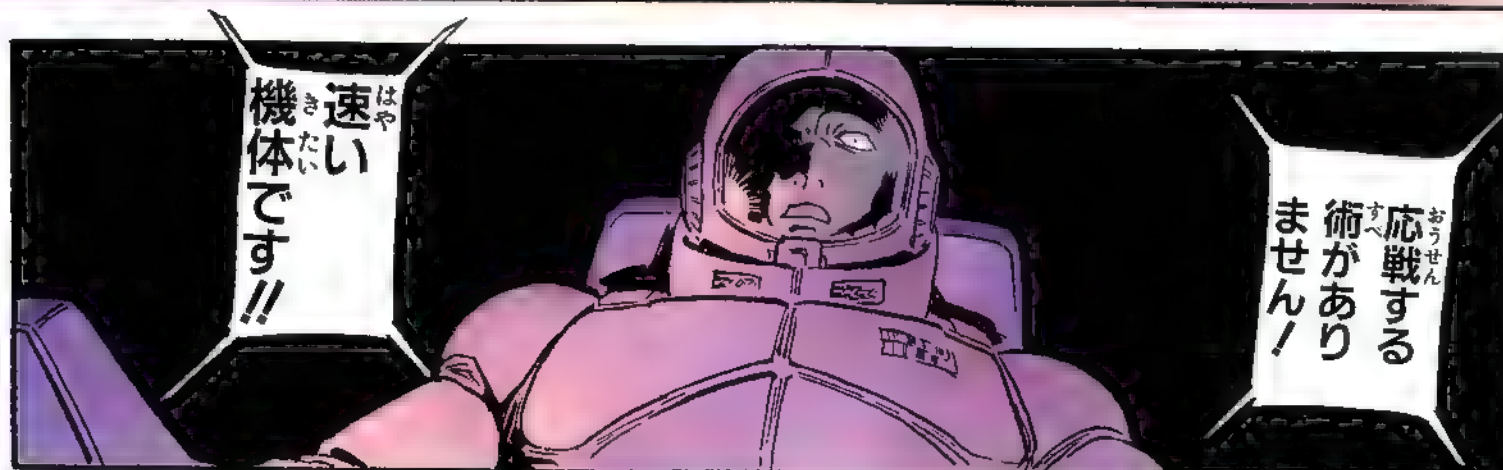
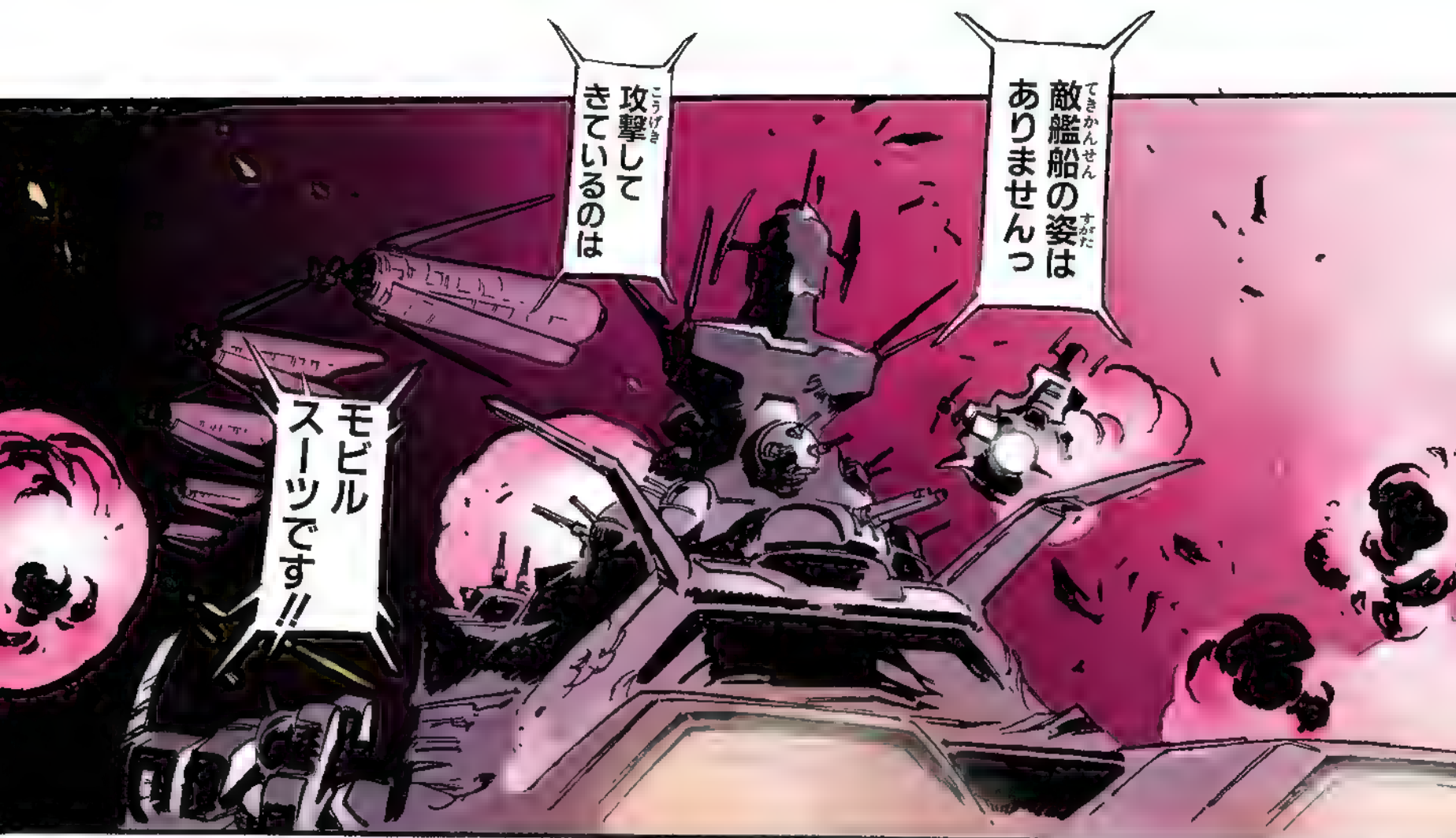
「大将旗」だ

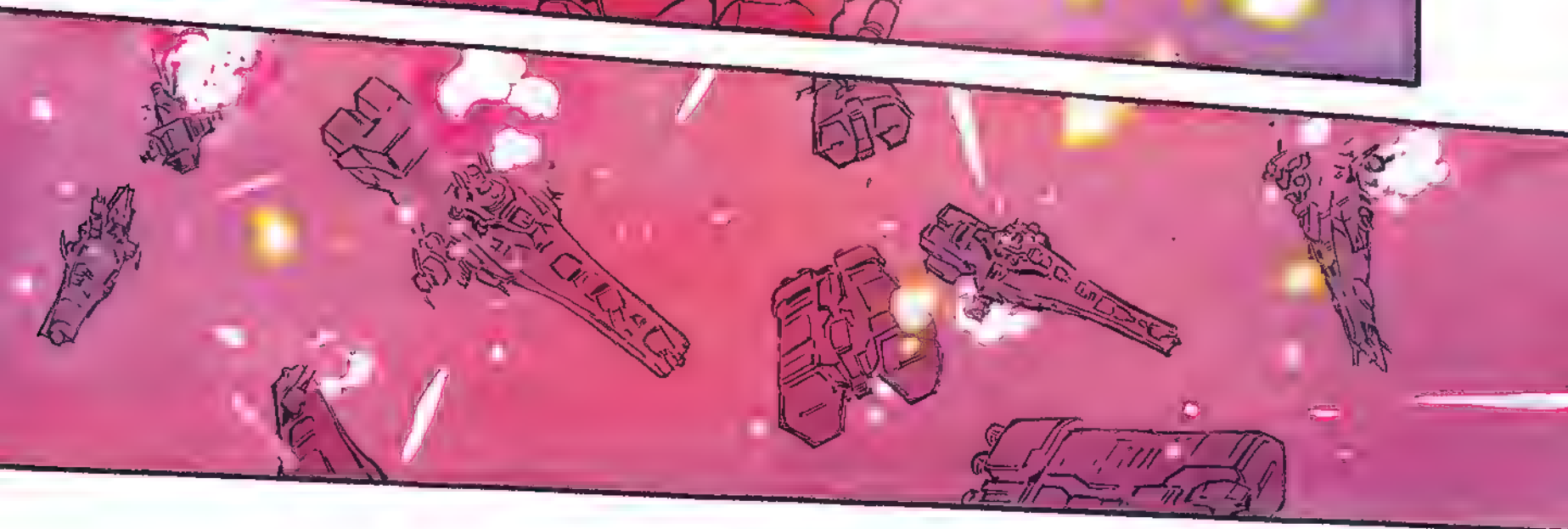
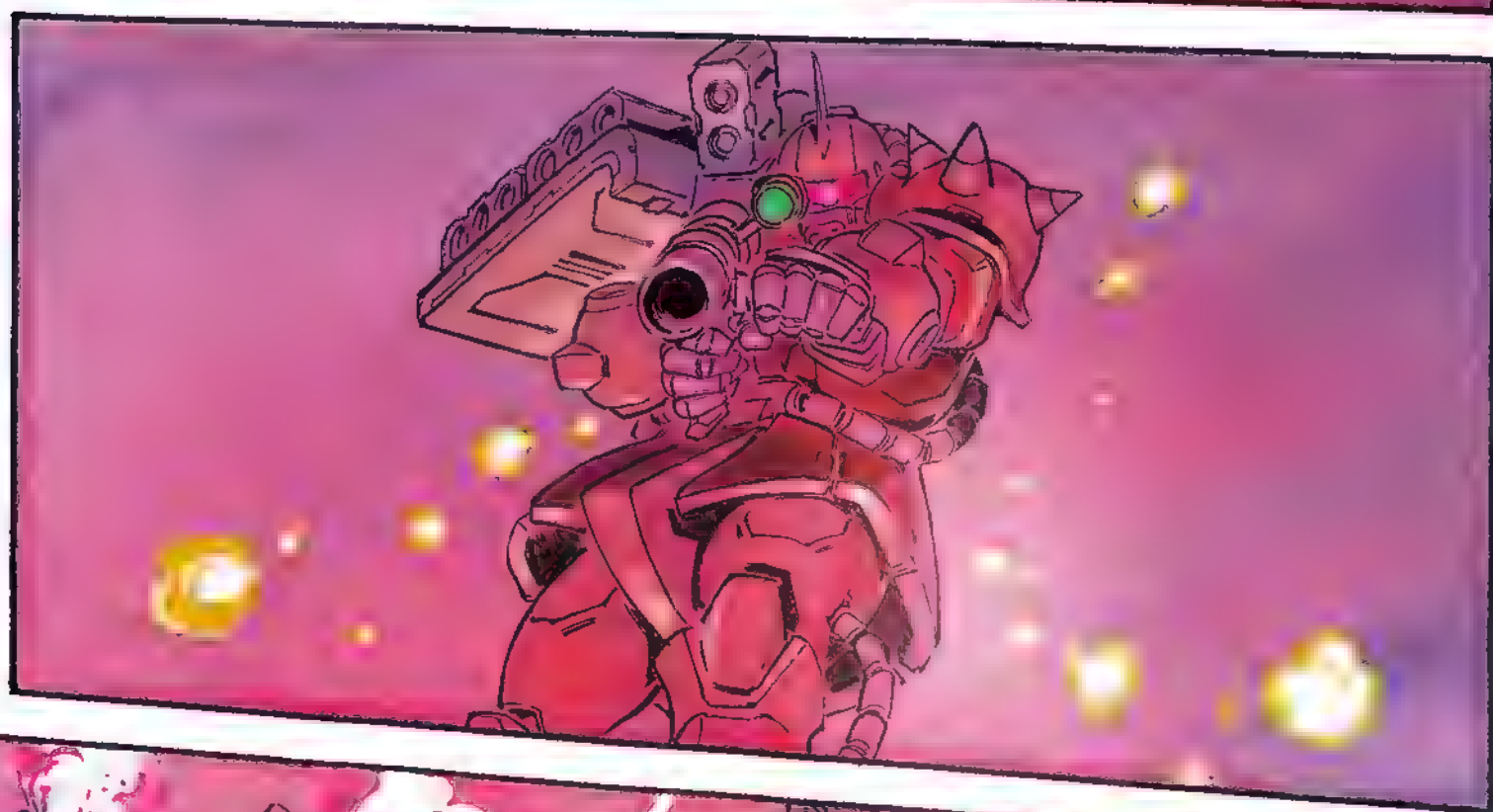


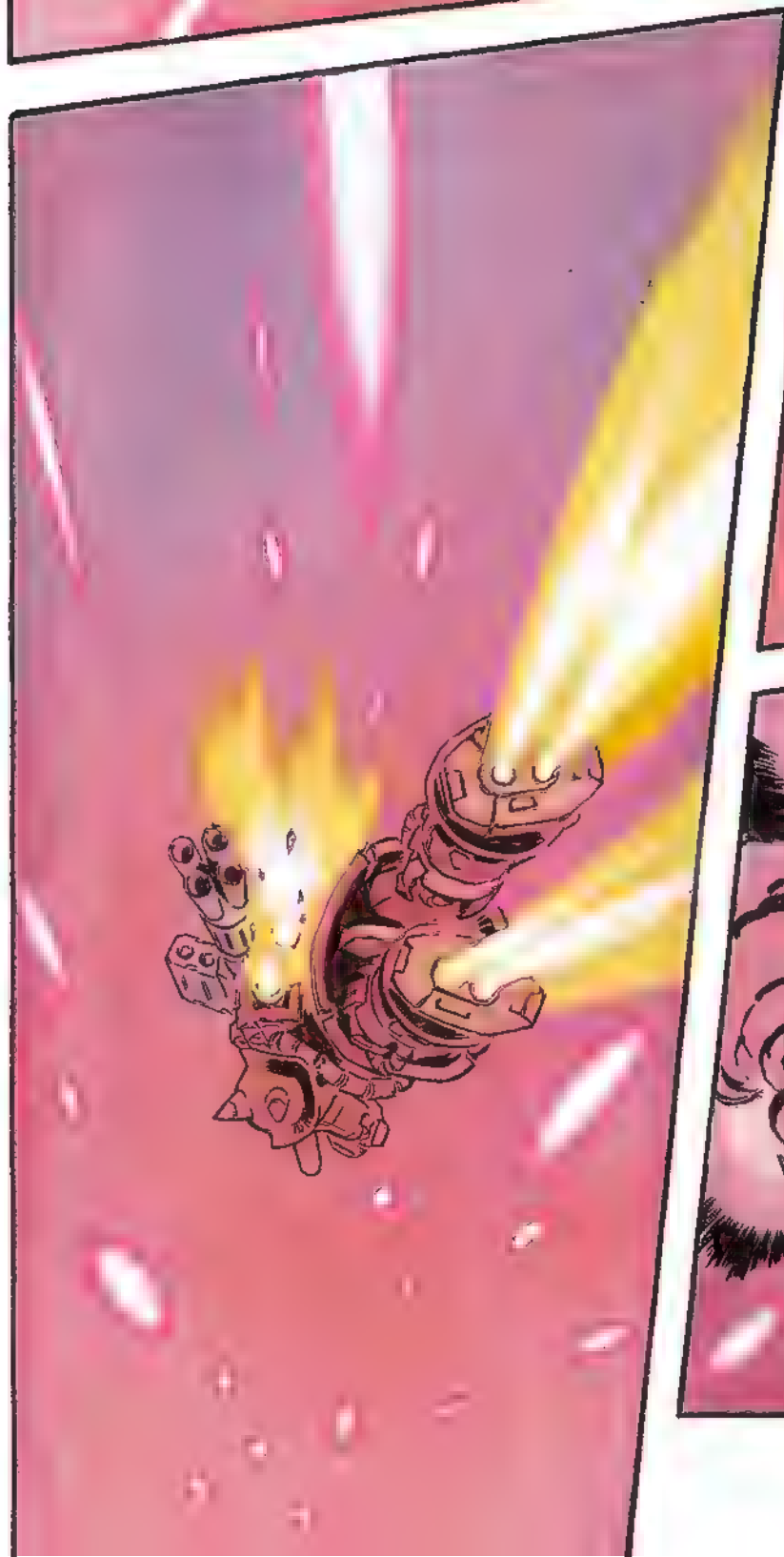
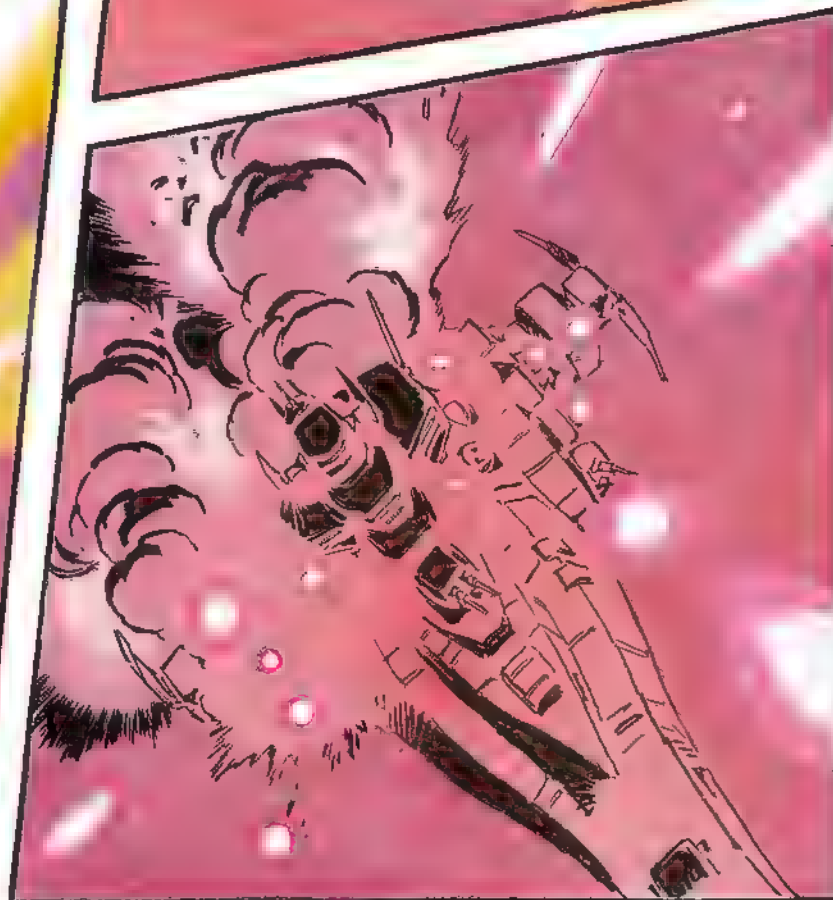
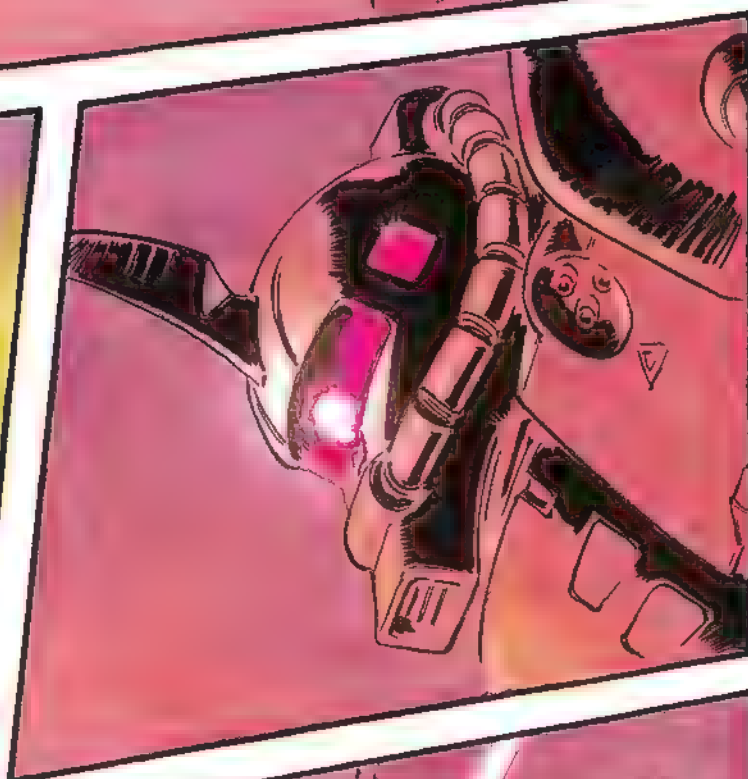
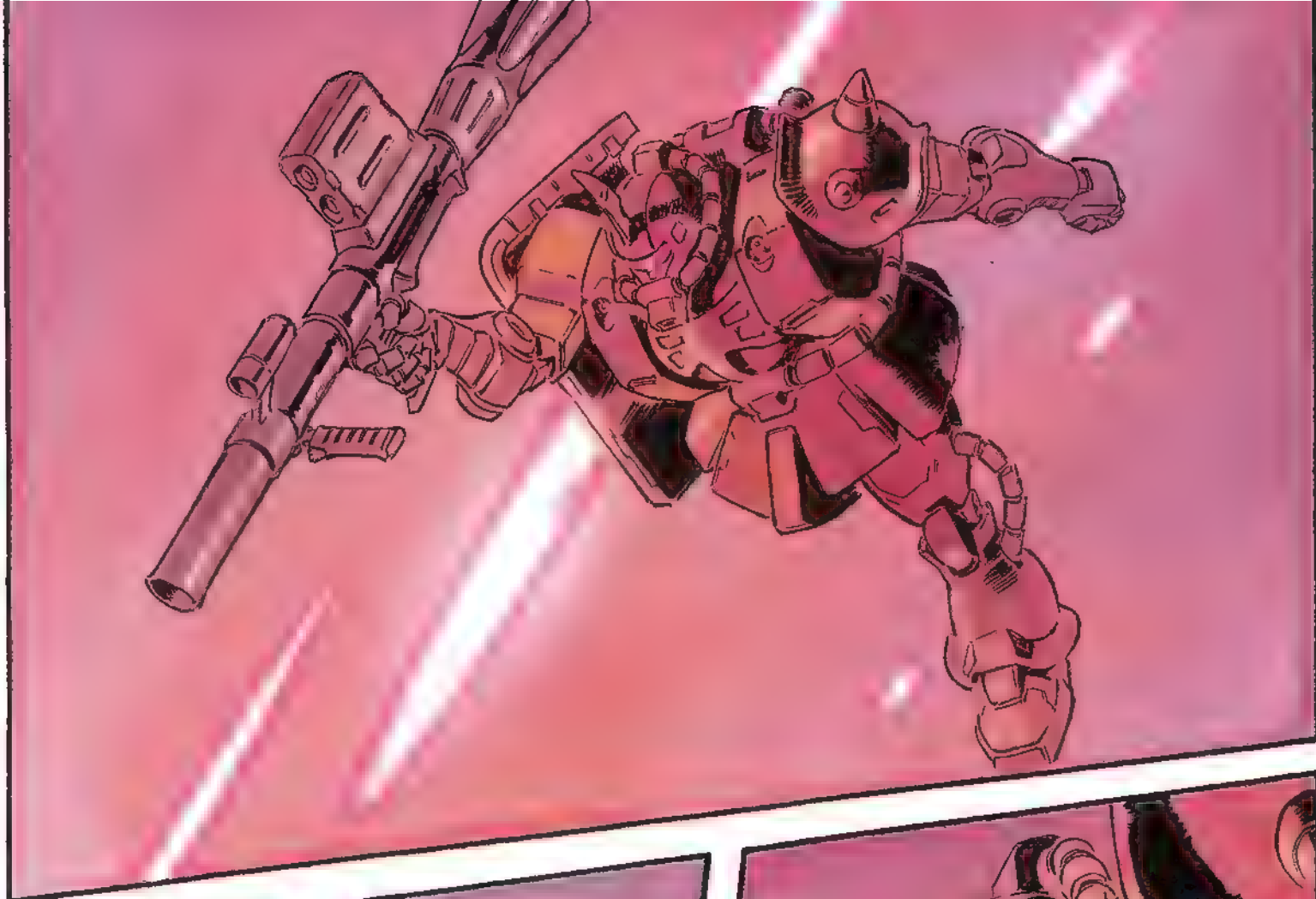


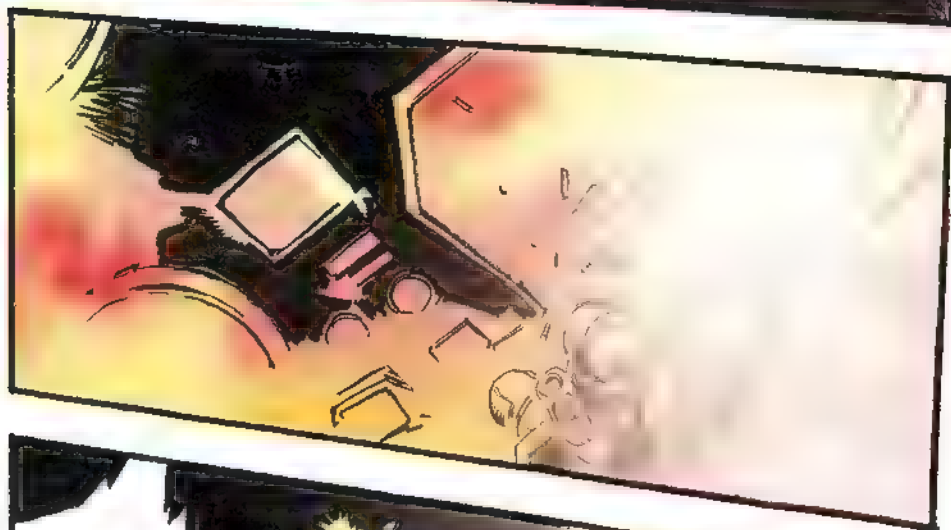
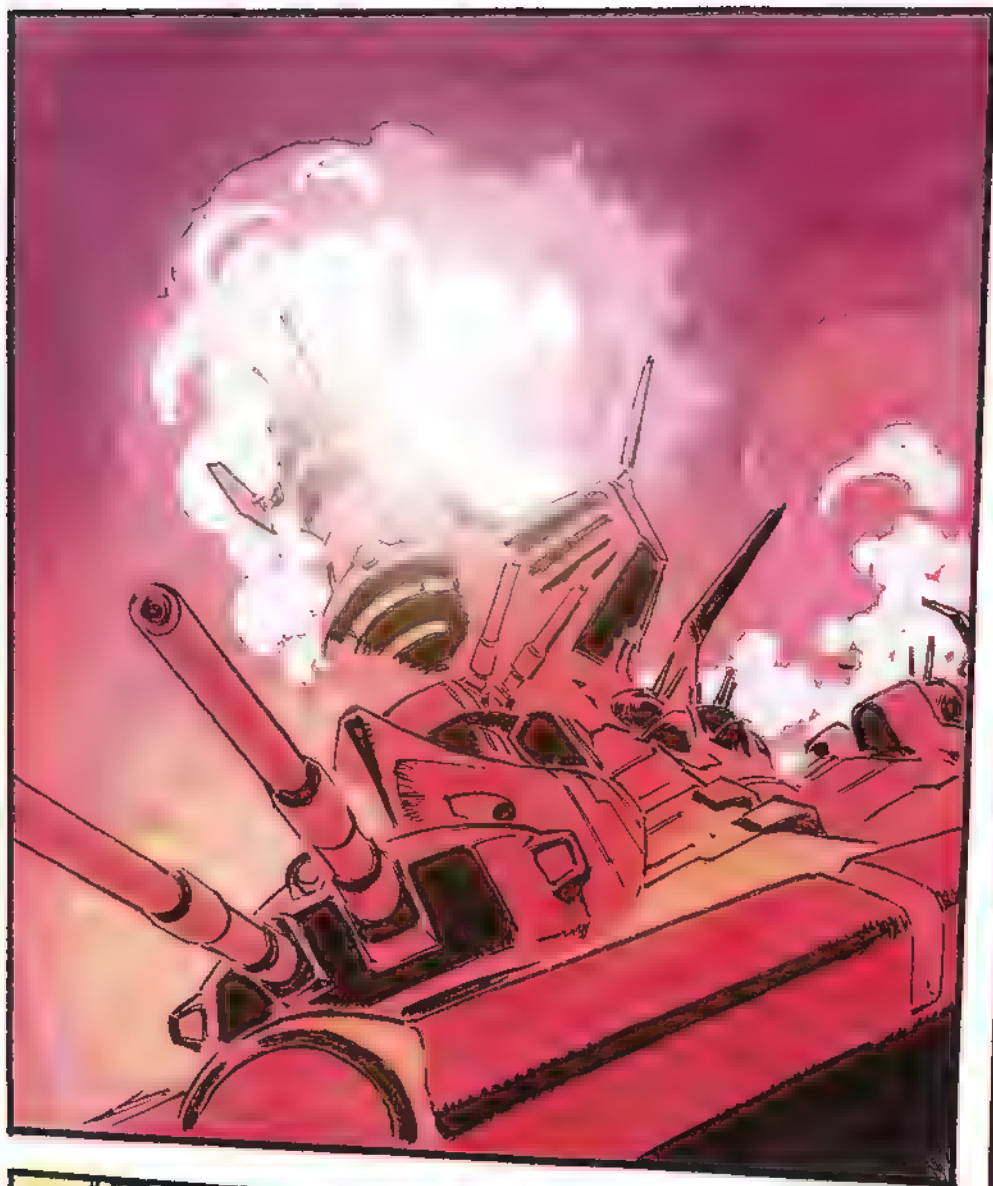




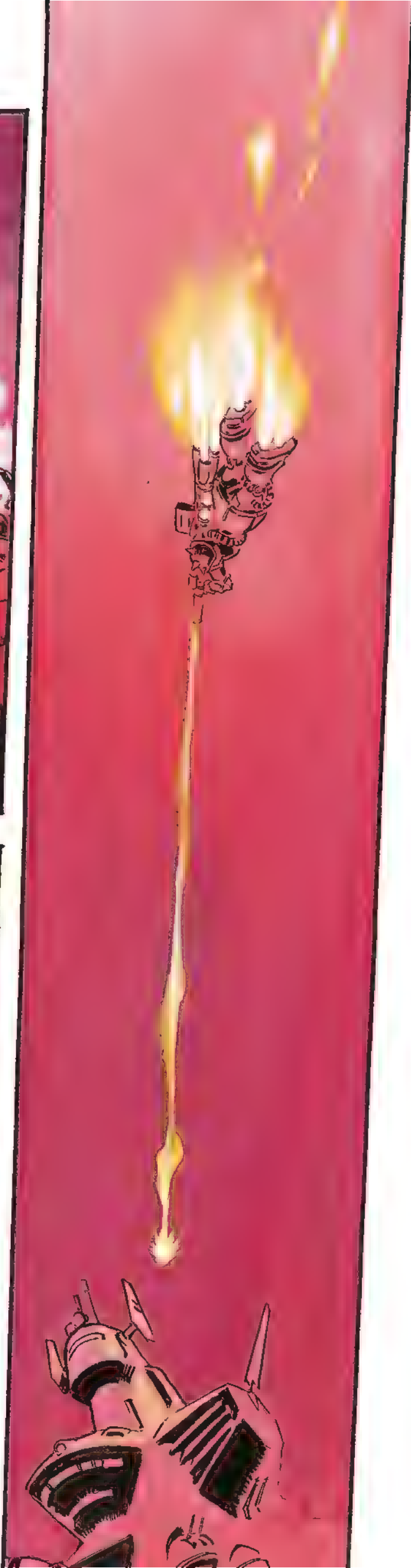








総員退去オ!!
そういんたいきよ

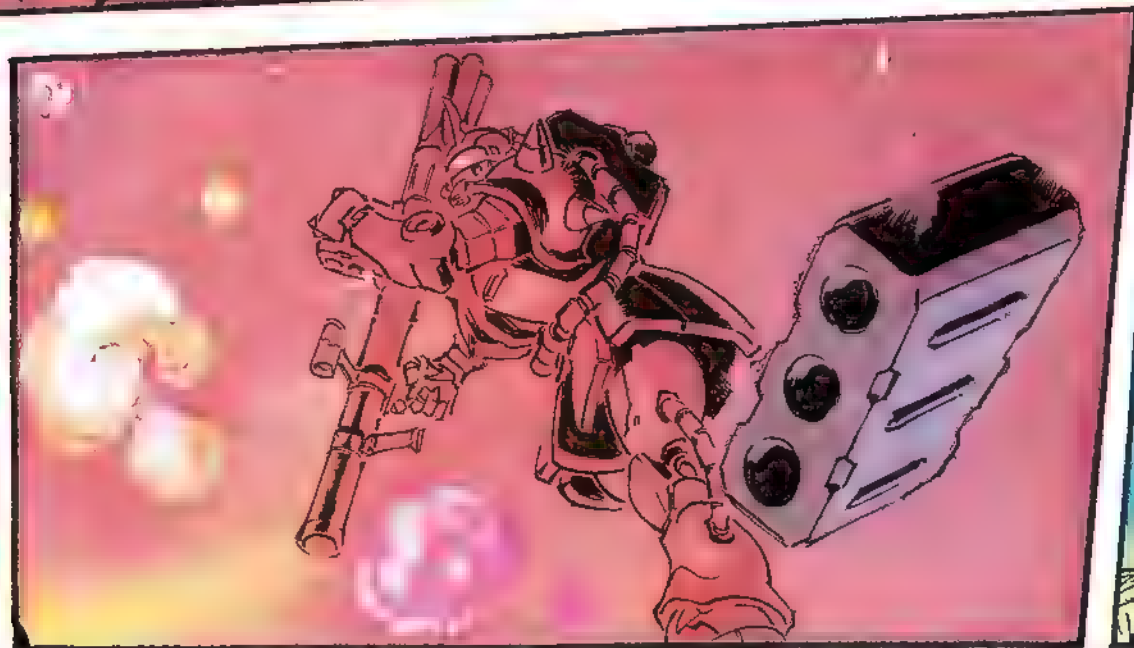






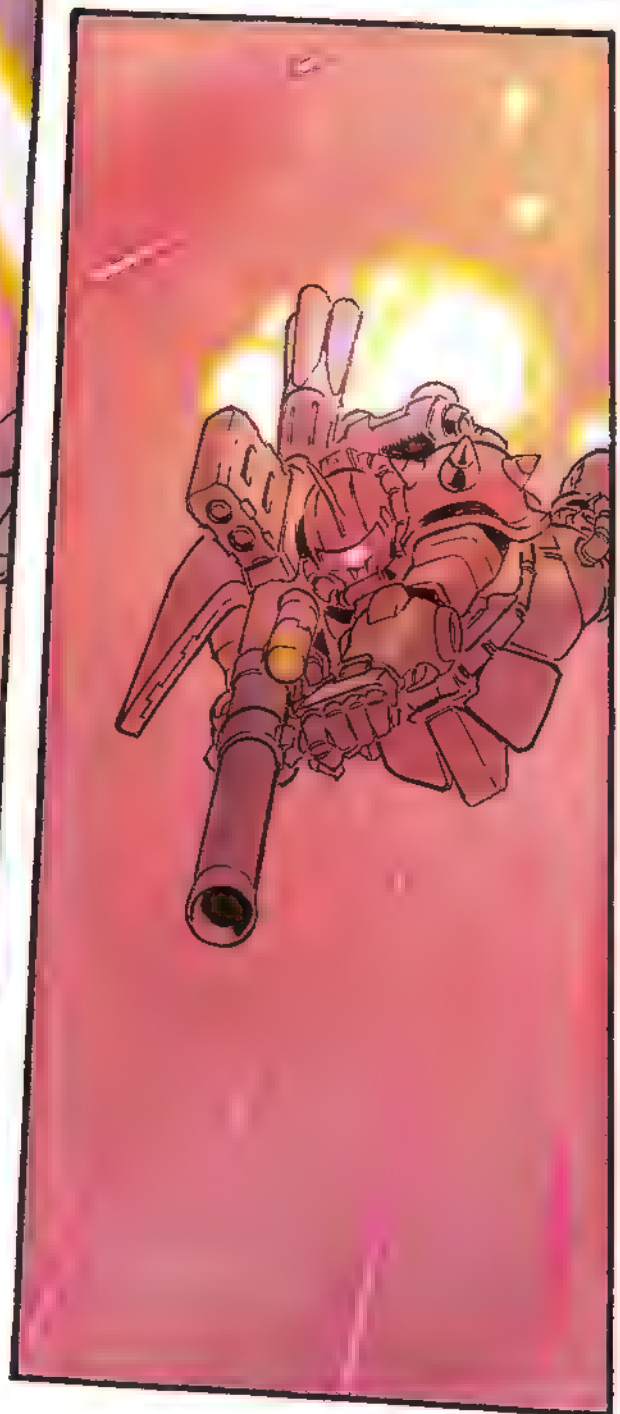
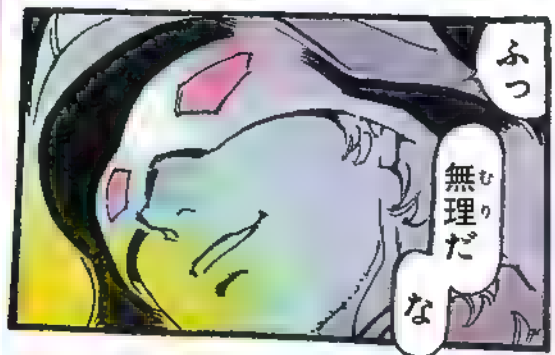
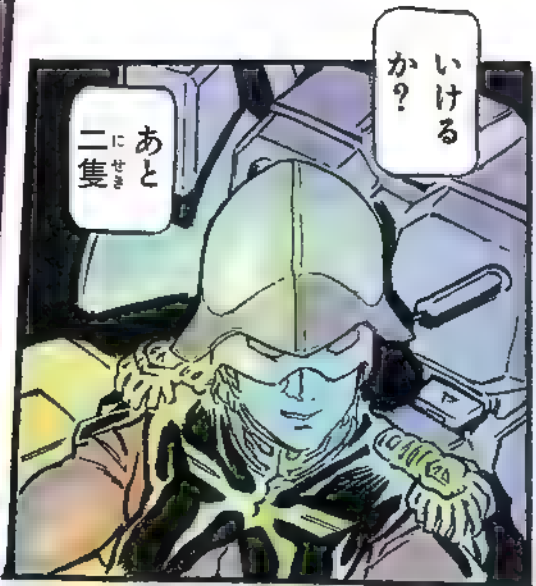
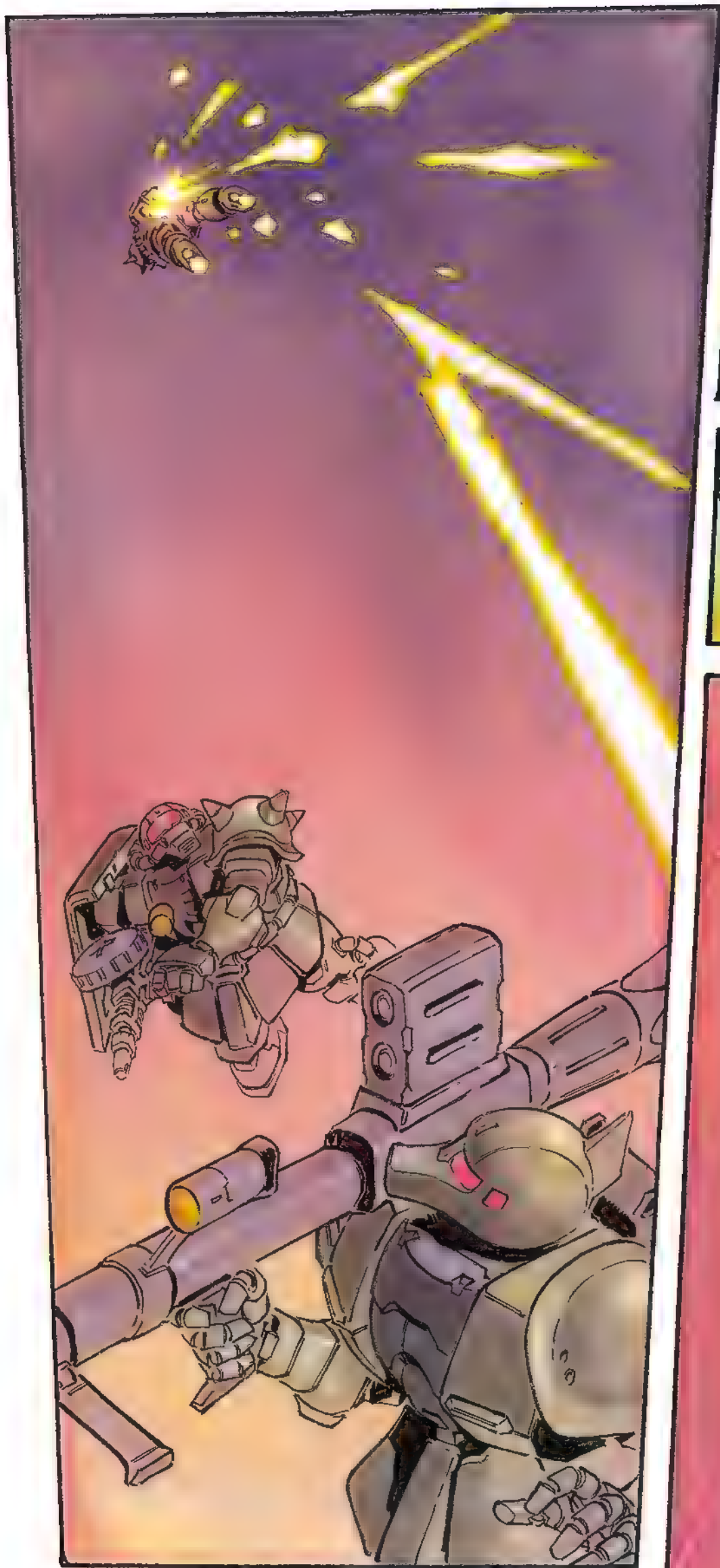
ルウム編・後

SECTION
VI



さんたん
残弾

さん
三
か



速いな
誰だ？

赤いヤツ
だったろ
見えな
かったのか？

シャア中尉
だよ

やっぱり違うな

増加
バーニアの
カスタム
タイプは

え?!...

おい

シャア中尉の
機体って...

バーニアは

普通
だろ？

たしか...

どうしたら
あんなに

速く
なるんだ

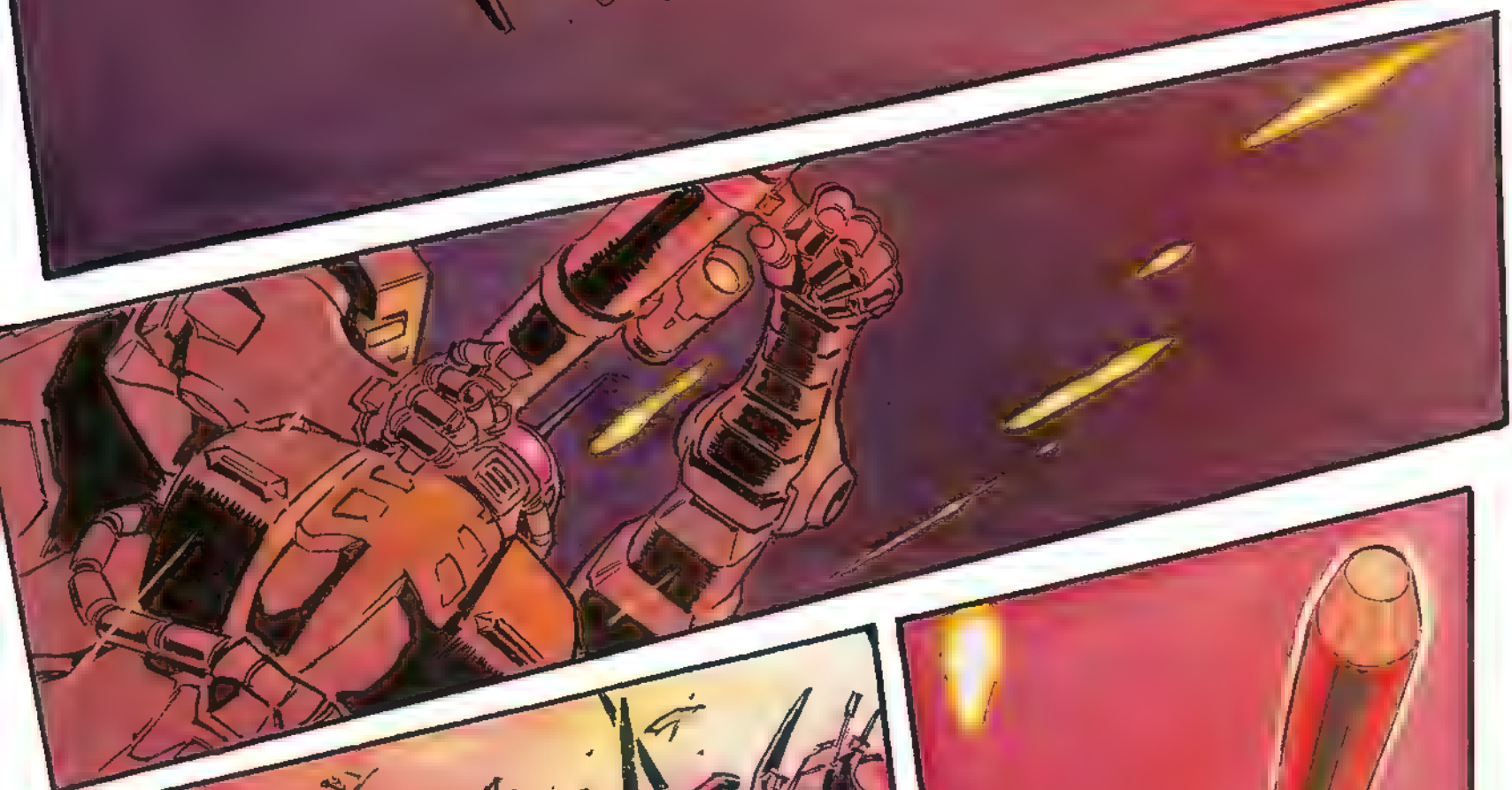
ああ

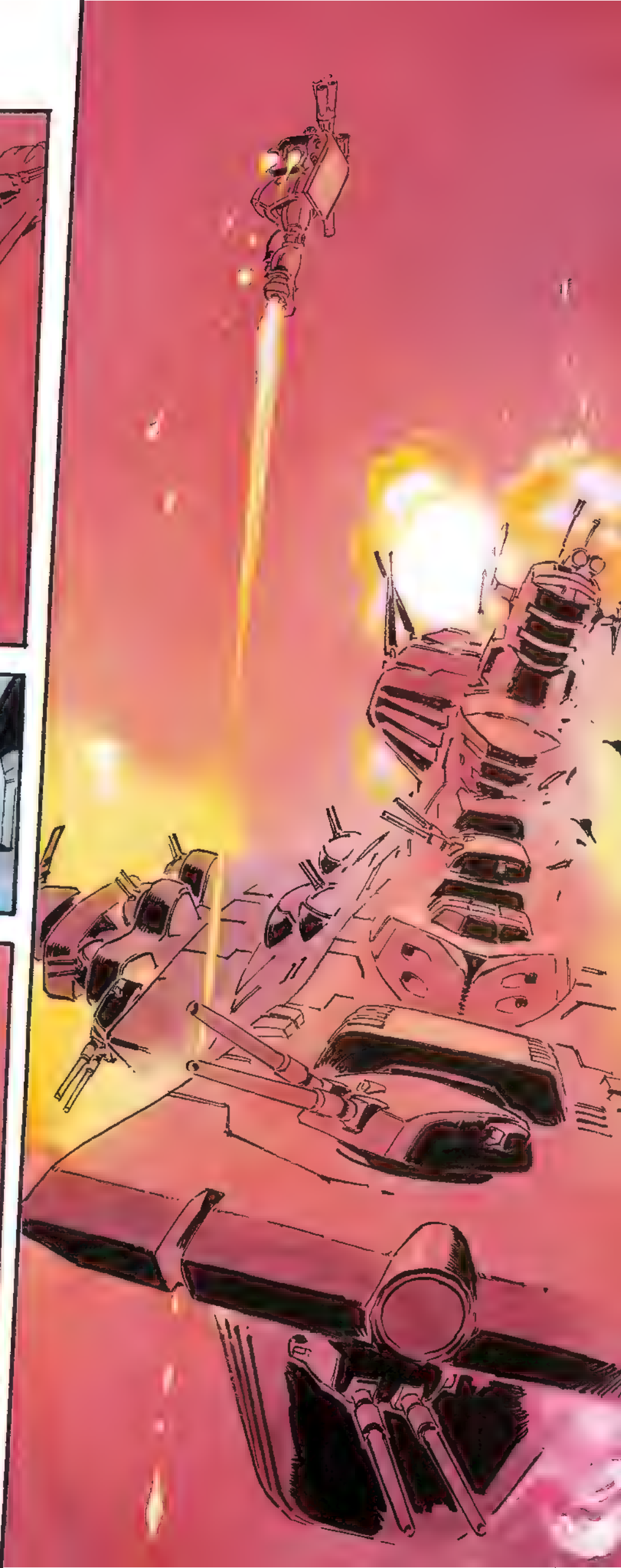
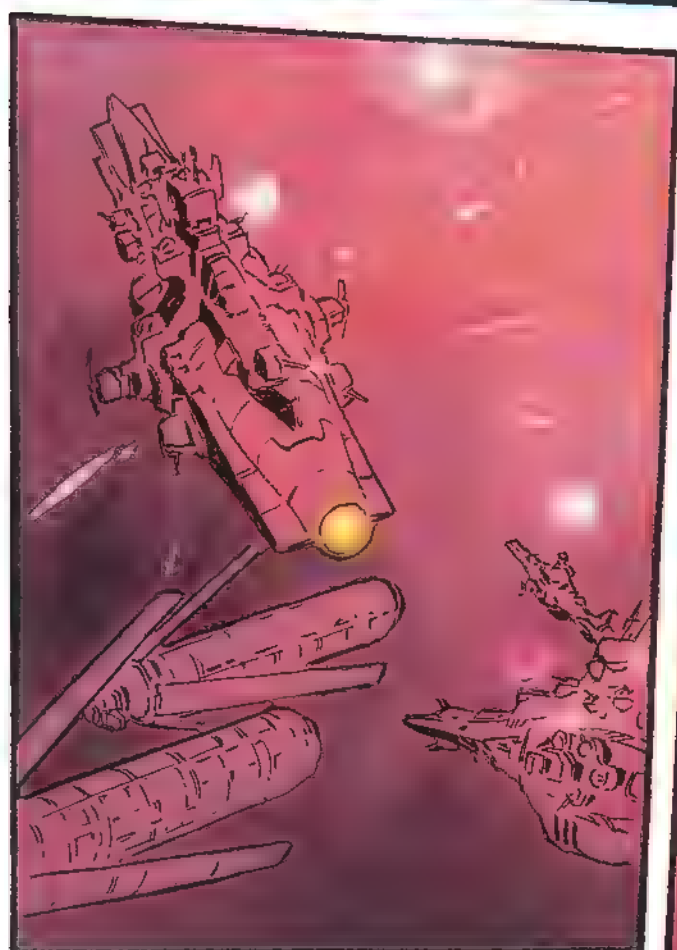
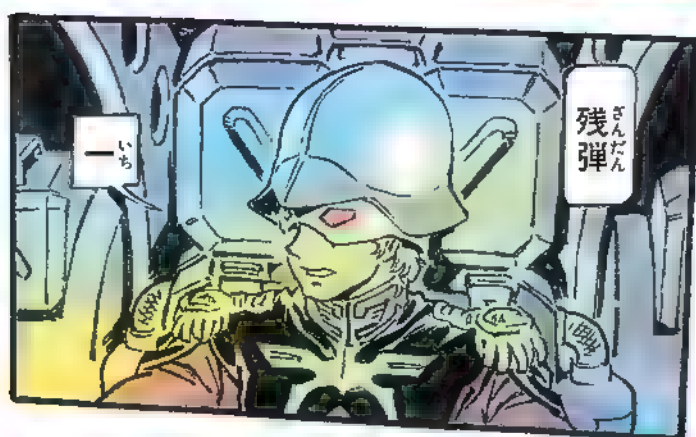
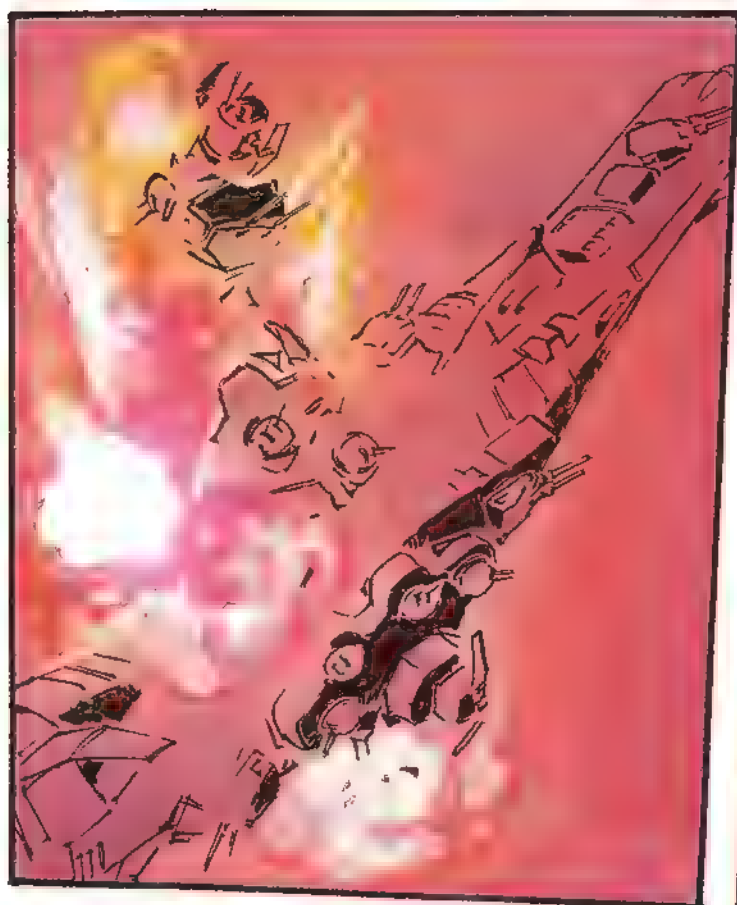
ざっと
三倍

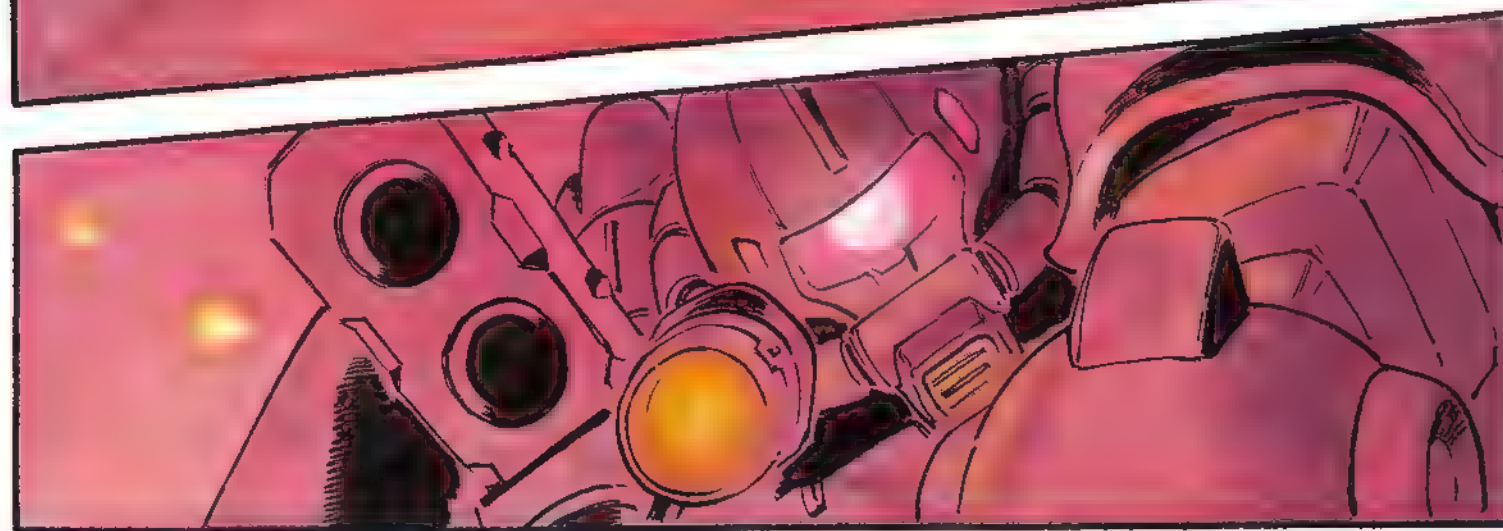
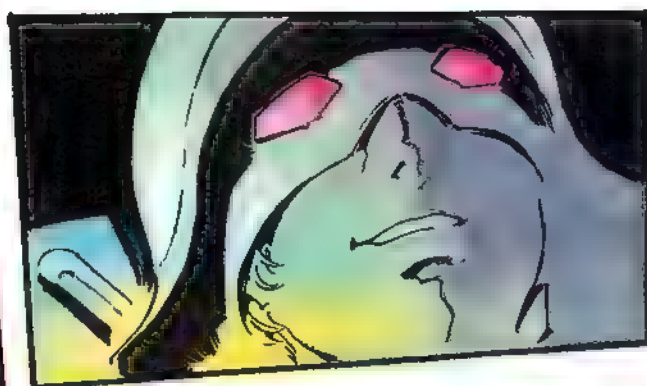
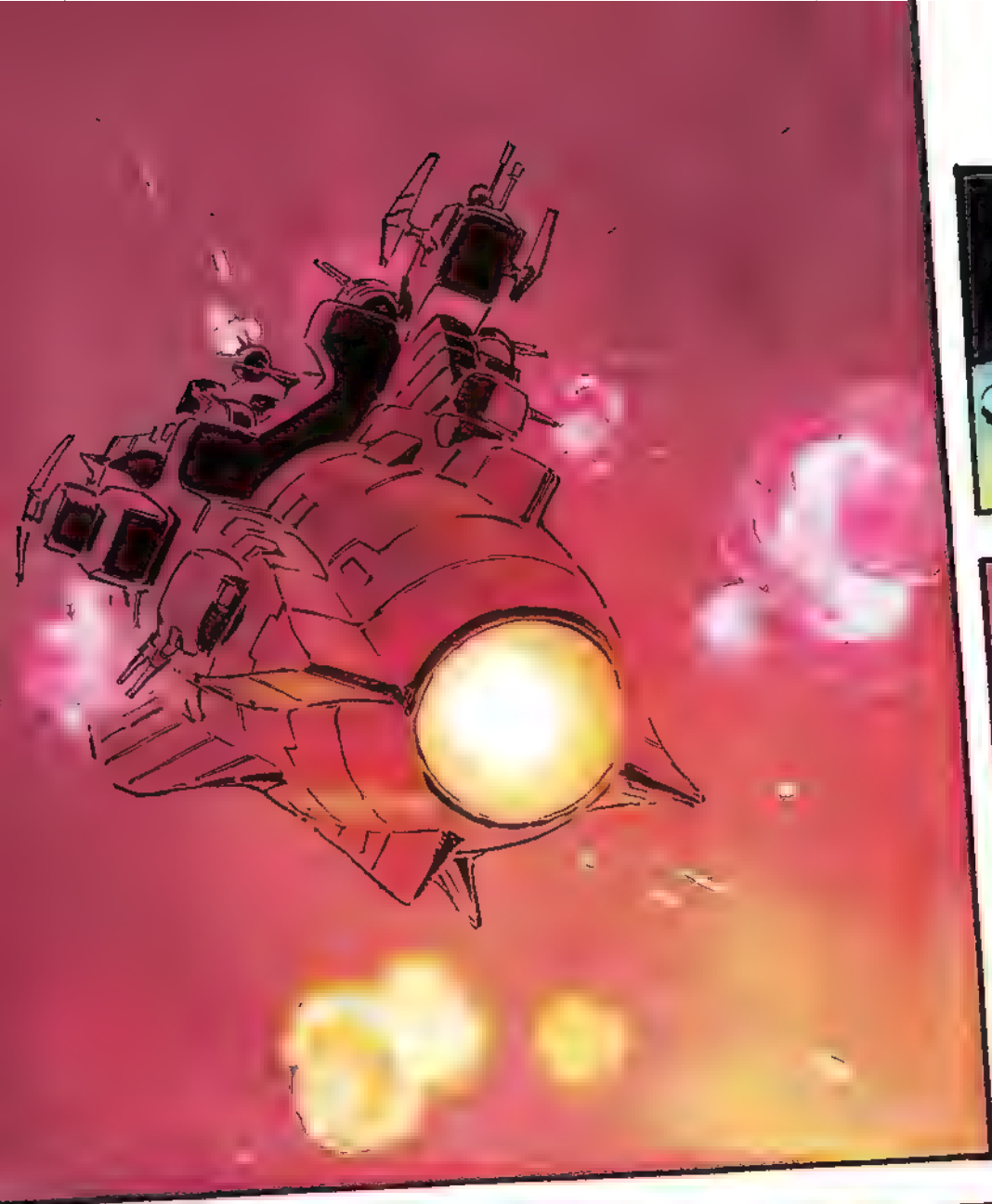
だな

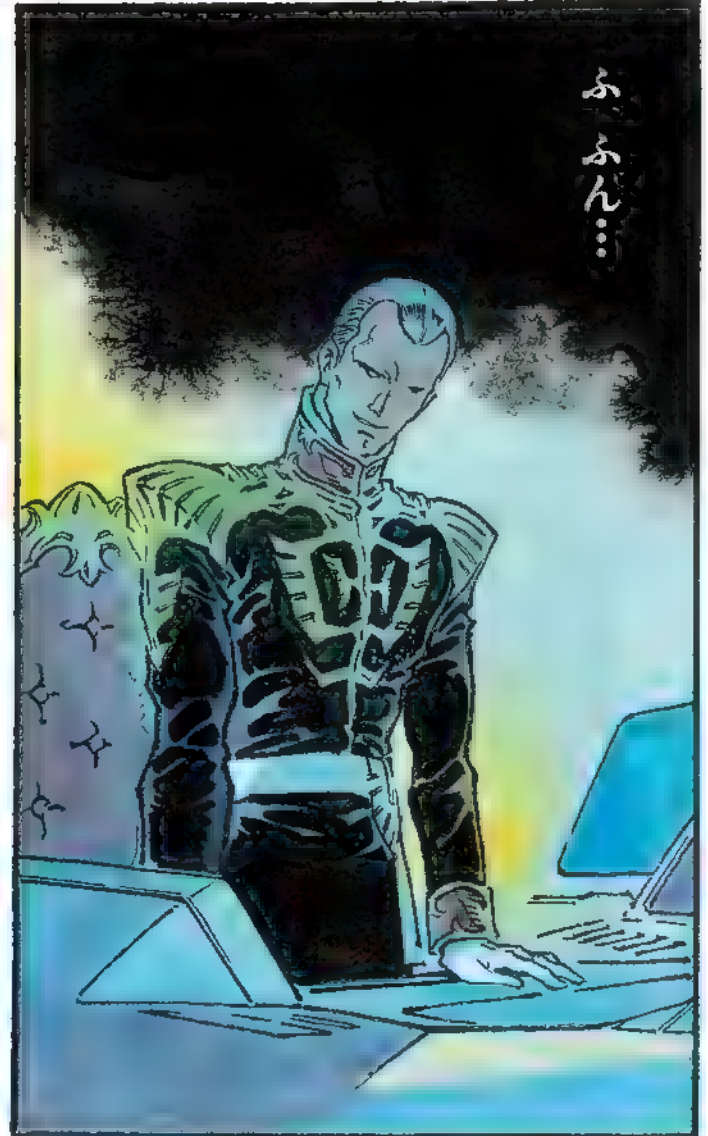
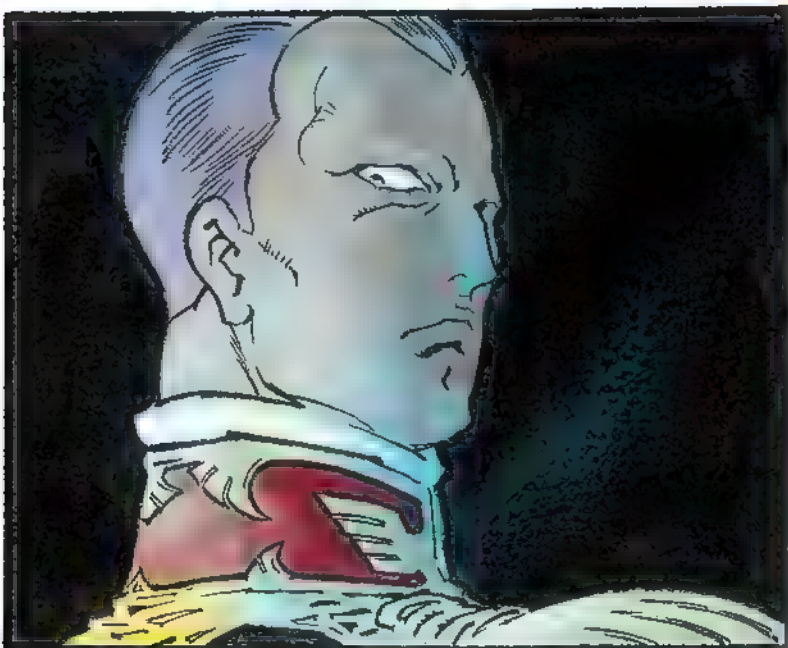
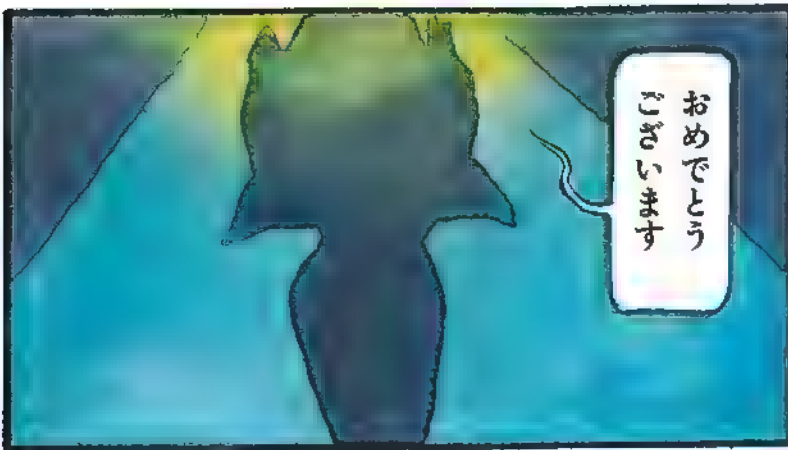
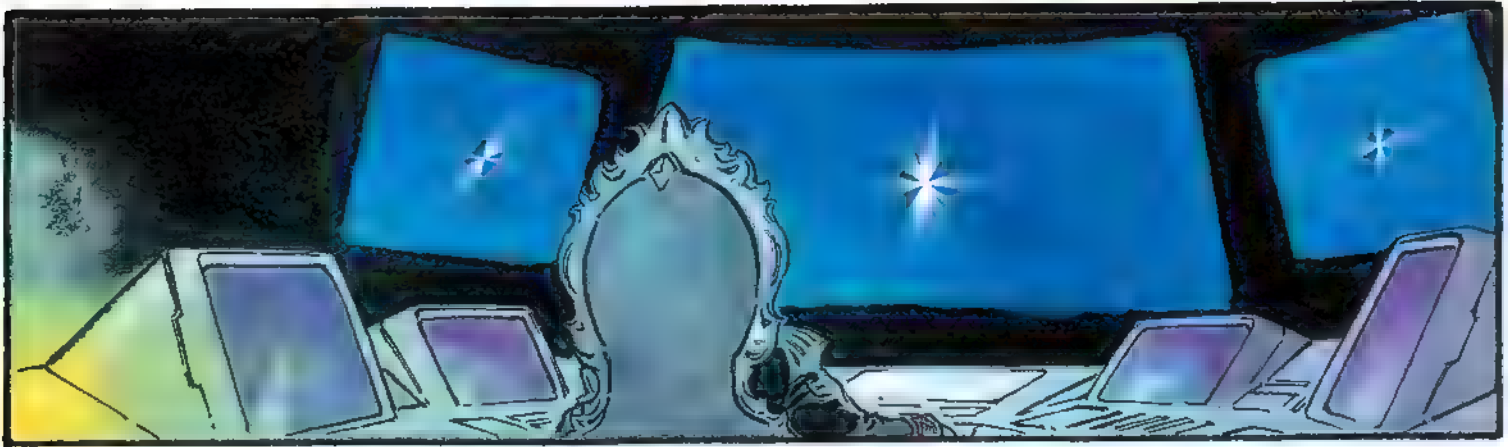
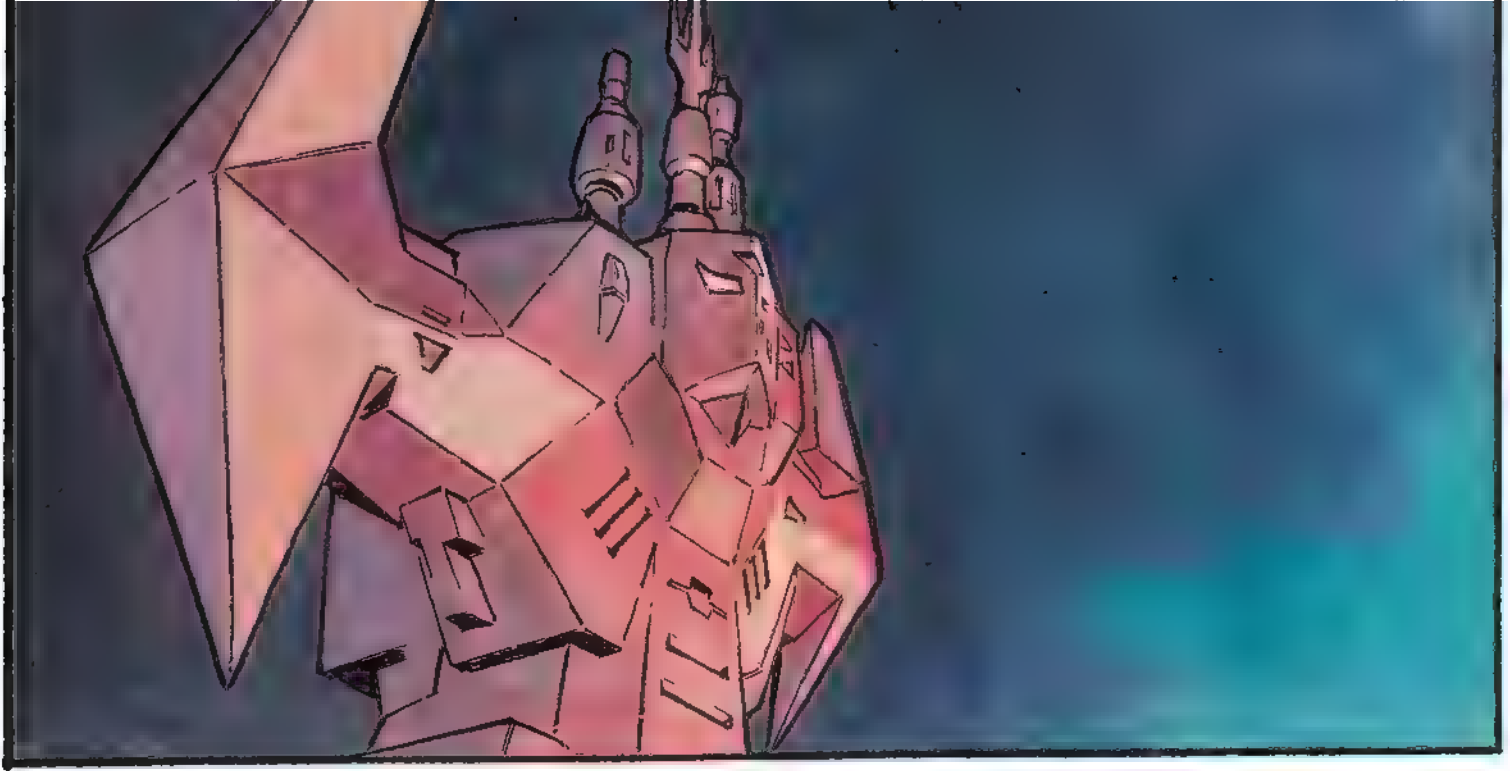
三倍...







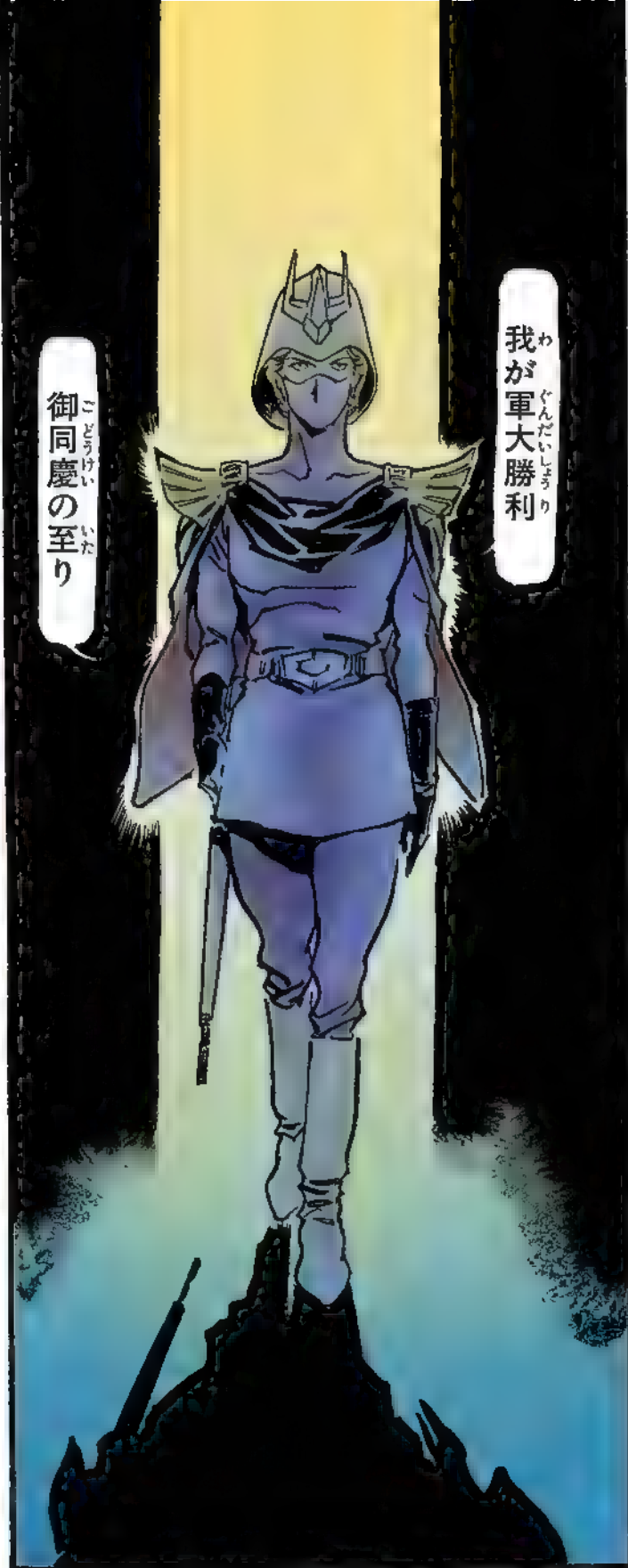






総帥閣下の領導
宜しきを得てのこと

お見それ
致しました



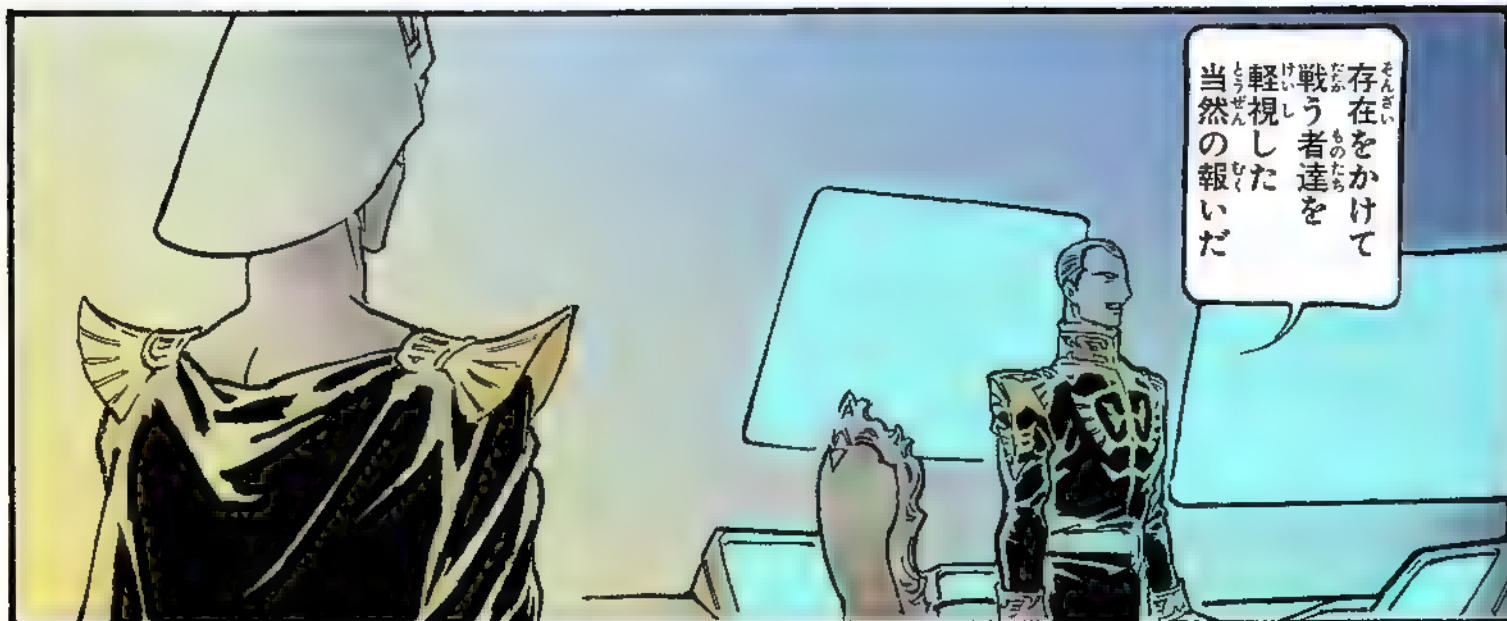
我が軍大勝利

御同慶の至り

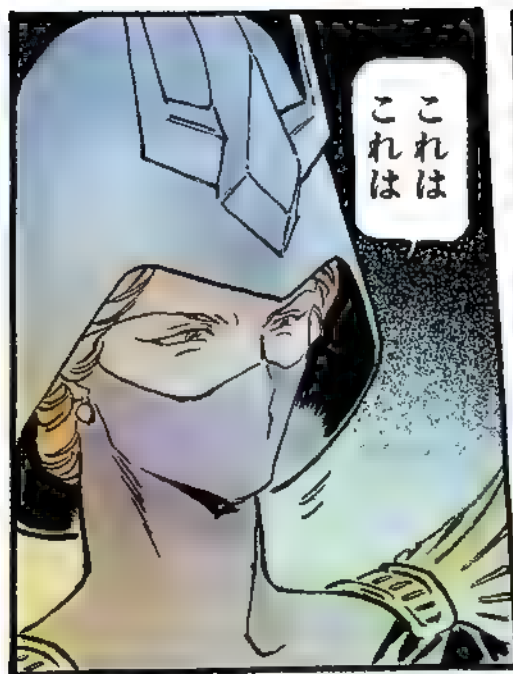


おまえから
それほどの褒め
言葉を貰うとは

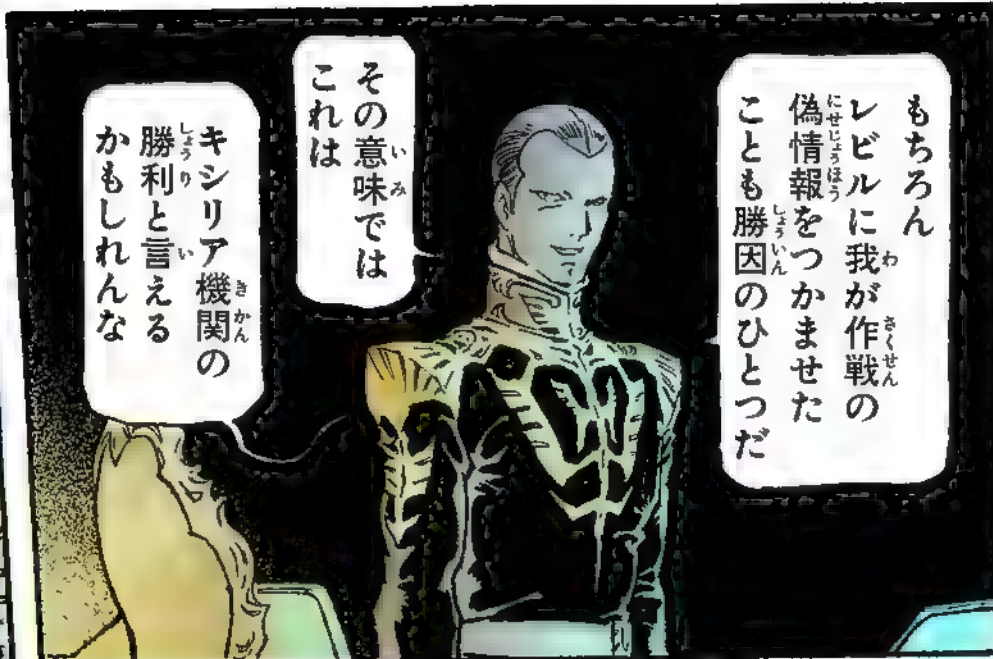
おも
思わな
かったな



存在をかけて
戦う者達を
軽視した
当然の報いだ



これは
これは



もちろん
レベルに我が作戦の
偽情報をつかませた
ことも勝因のひとつだ

その意味では
これは

キシリア機関の
勝利と言える
かもしれんな



最後の勝利に
至るまで我々
ザビ家一統は
結束し

常に戦いの
先頭に立ち

国民に範を
示さねば
ならない!



それこそ
望外のお褒め

総帥閣下の
お口から直に
いただけるとは



なんだ?



ひとつ

お訊ねしても
よろしいでしょうか?



だが判っているな

これは始まりの
勝利――

勝利の第一歩に
すぎん!



ですが



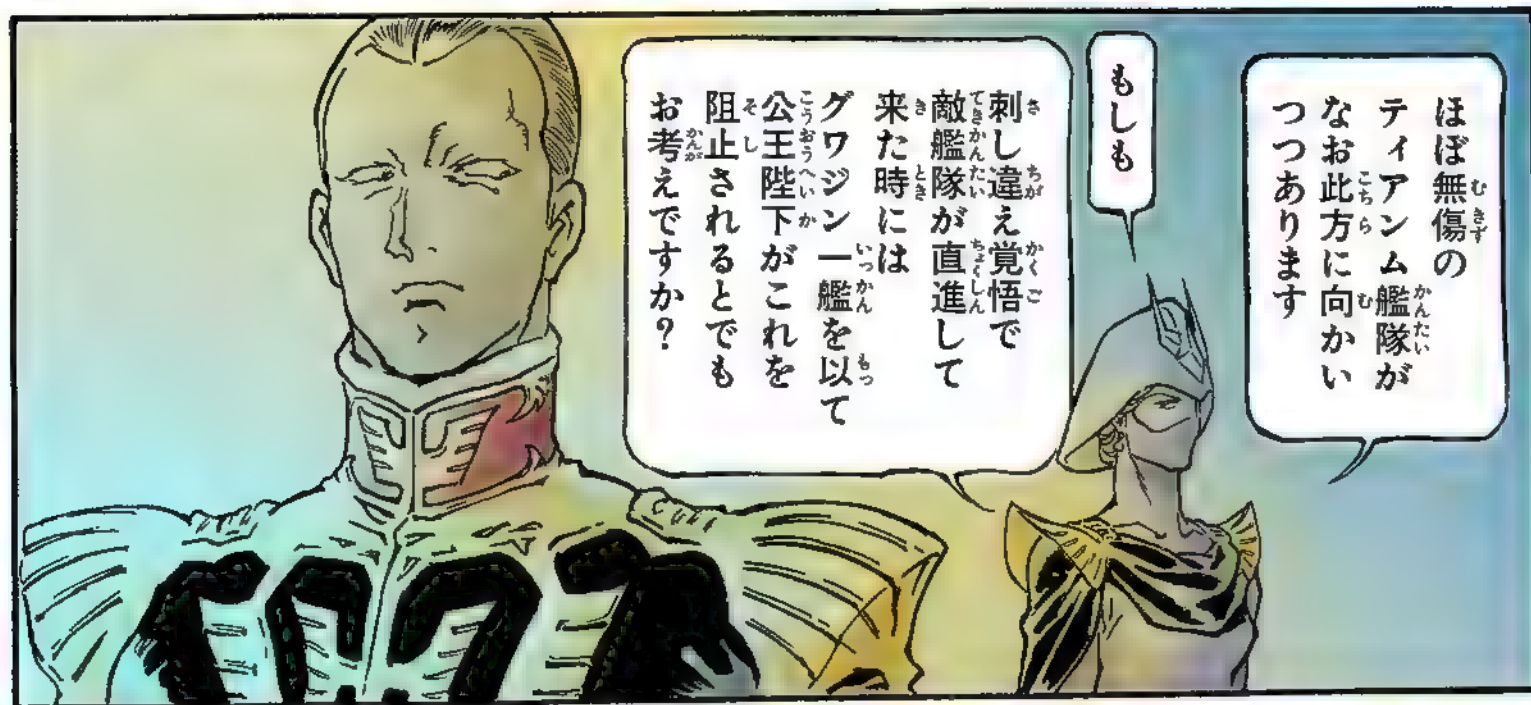
兵は鼓舞され

歴史的勝利を間近に見られて父上も御満足だったろう

父上が望まれたことだ!



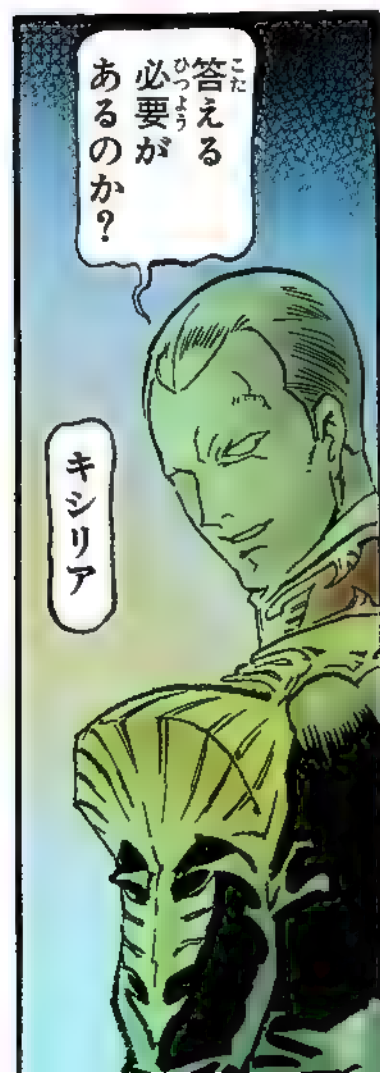
公王陛下の座乗艦グワジンが只一艦前面に出ています
お出しになったのですか?



ほぼ無傷のティアンム艦隊がなお此方に向かいつつあります

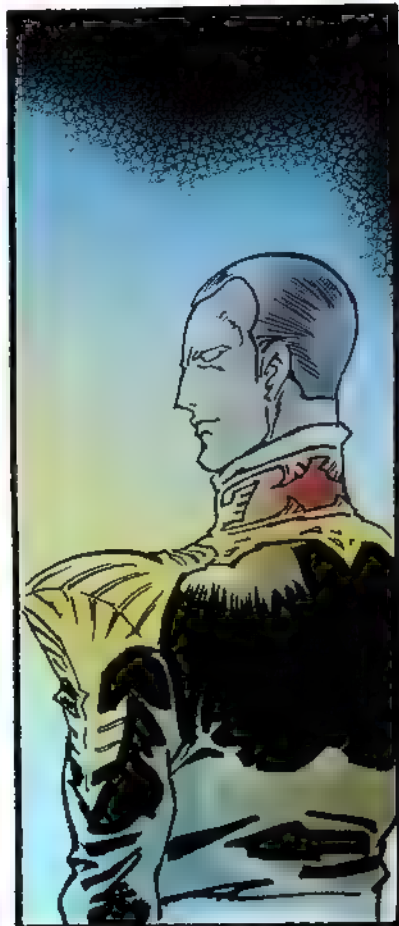
もしも

刺し違え覚悟で敵艦隊が直進して来た時にはグワジン一艦を以て公王陛下がこれを阻止されるともお考えですか?



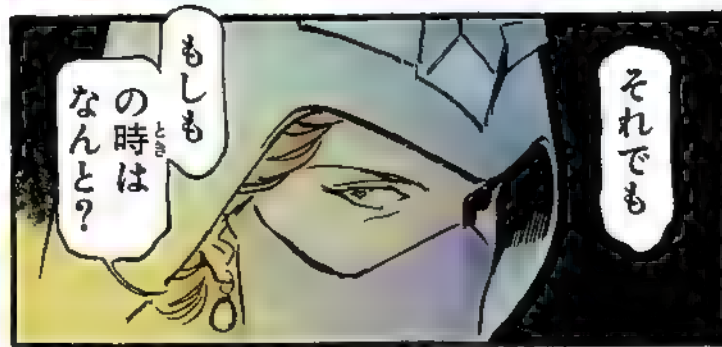
答える必要があるのか?

キシリア



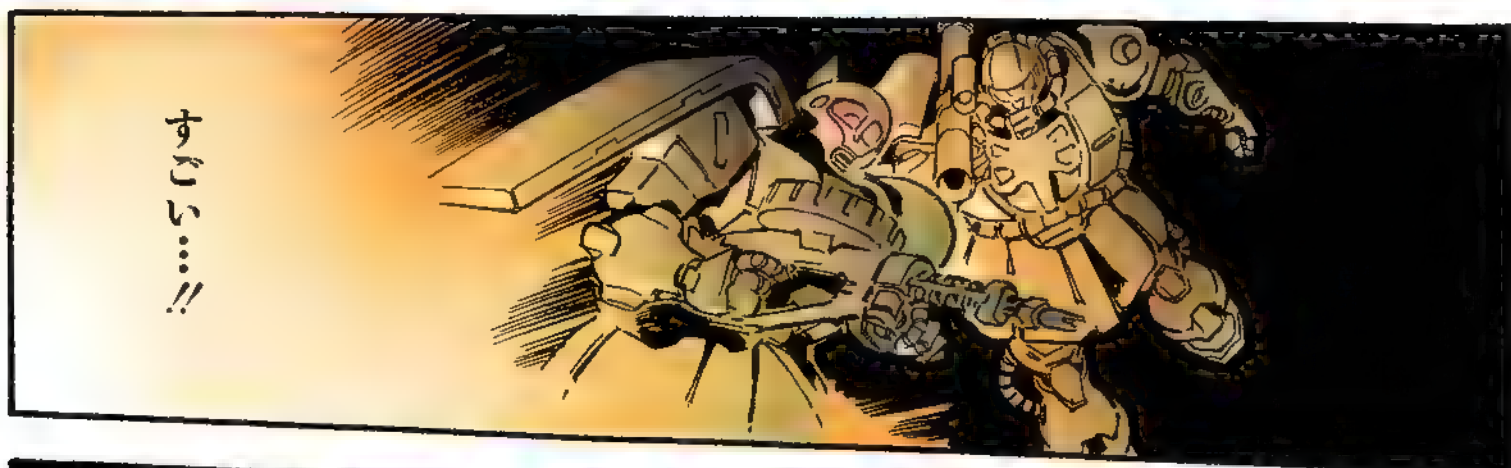
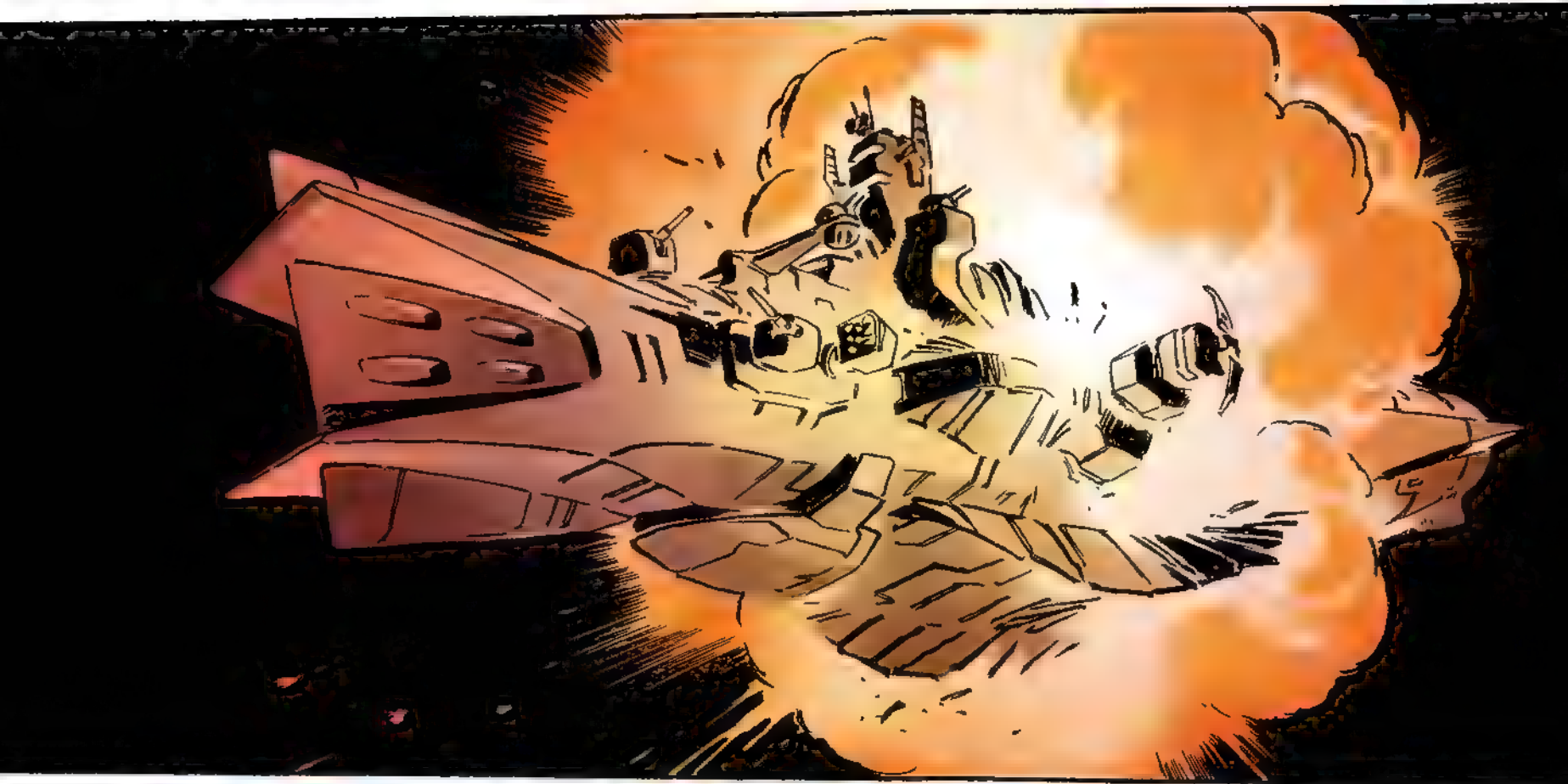
杞憂だな

連邦軍の腐った官僚軍人共はそんな蛮勇を持ち合わせていない

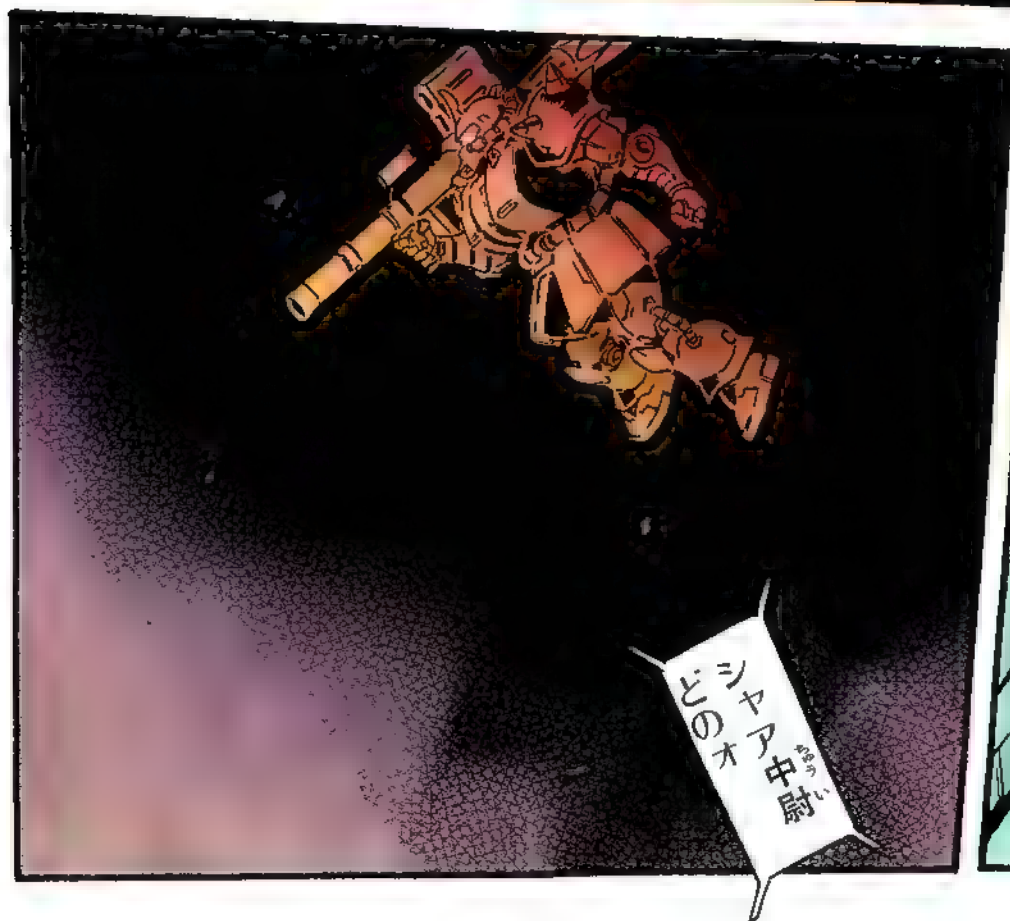


それでも

もしもの時はなんと?



すい〜…!!



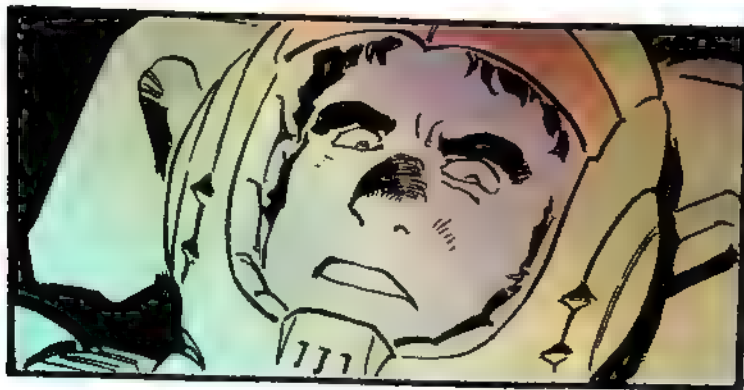
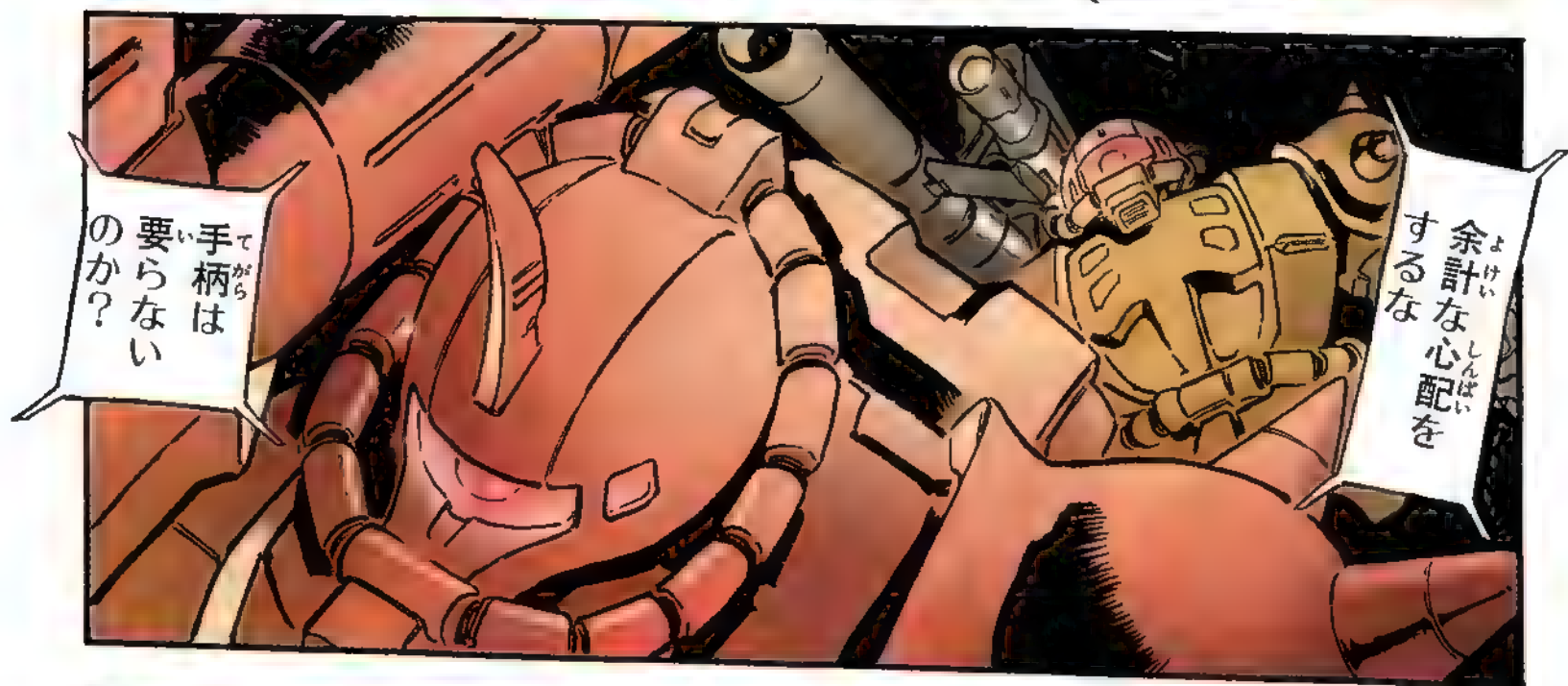
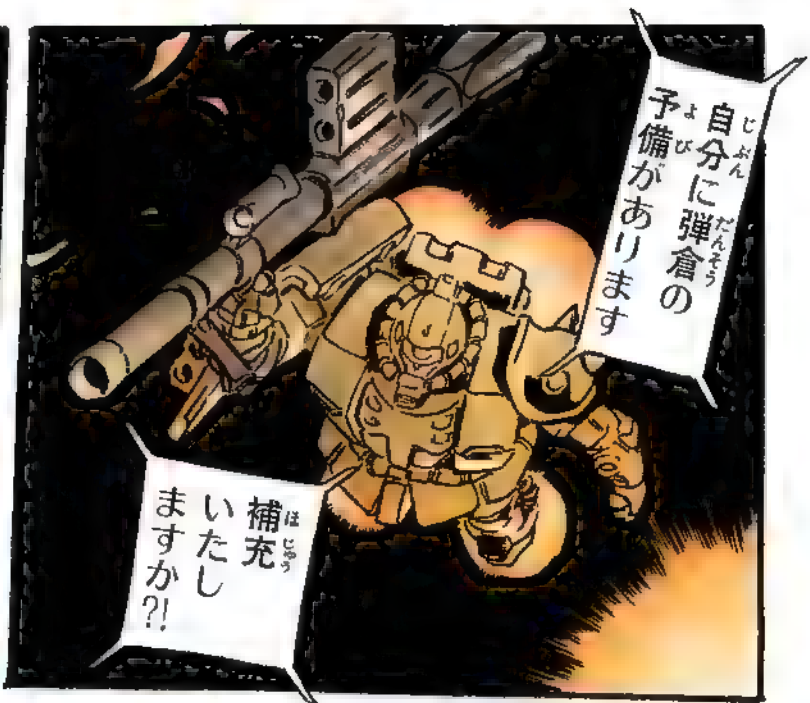
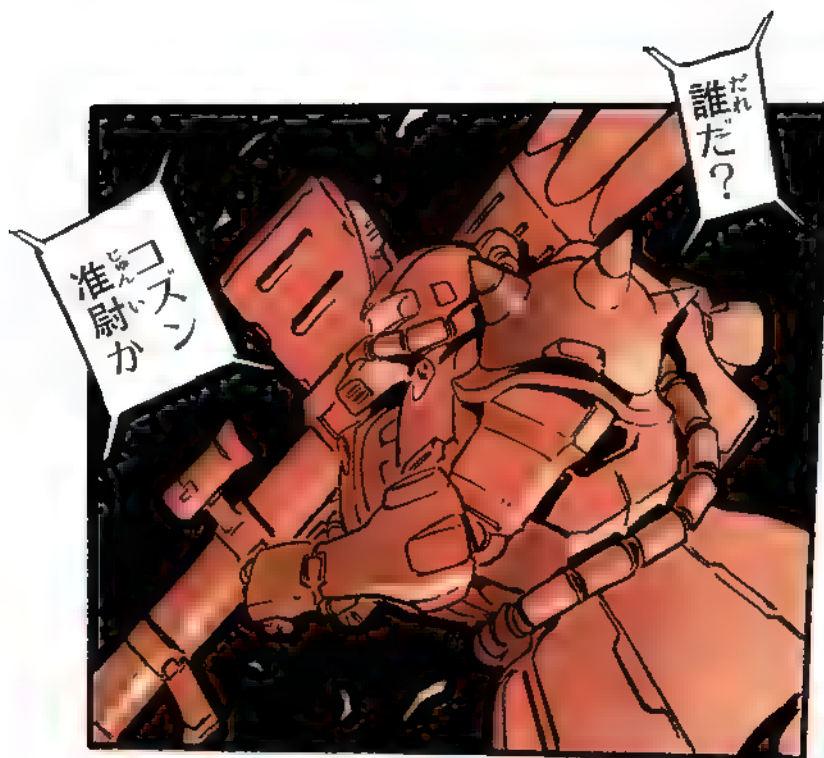
シャア 中尉
どのオ

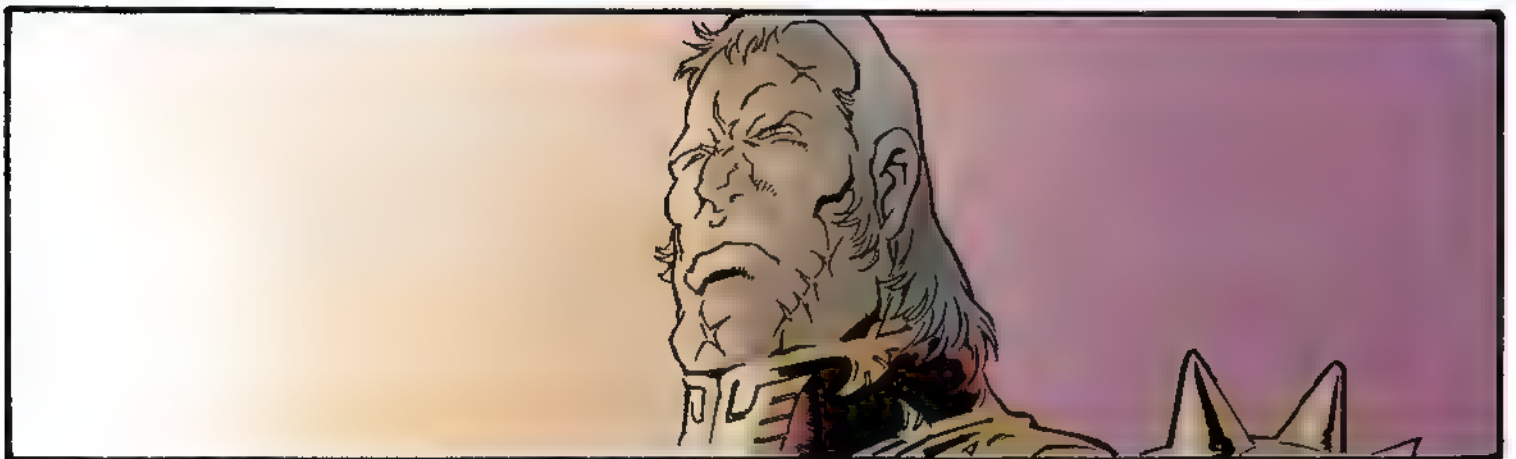
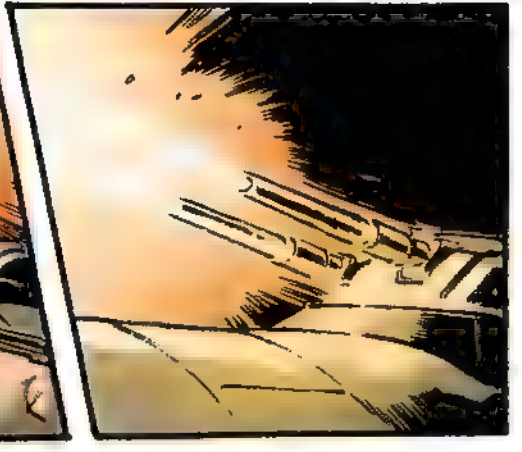
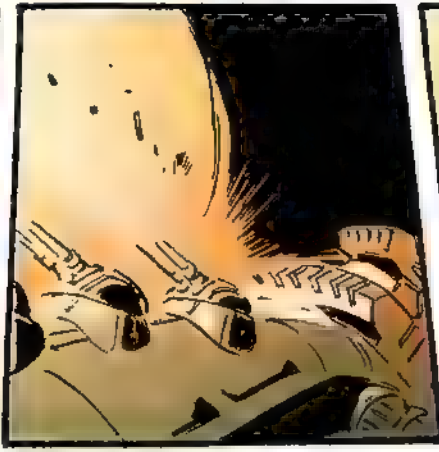
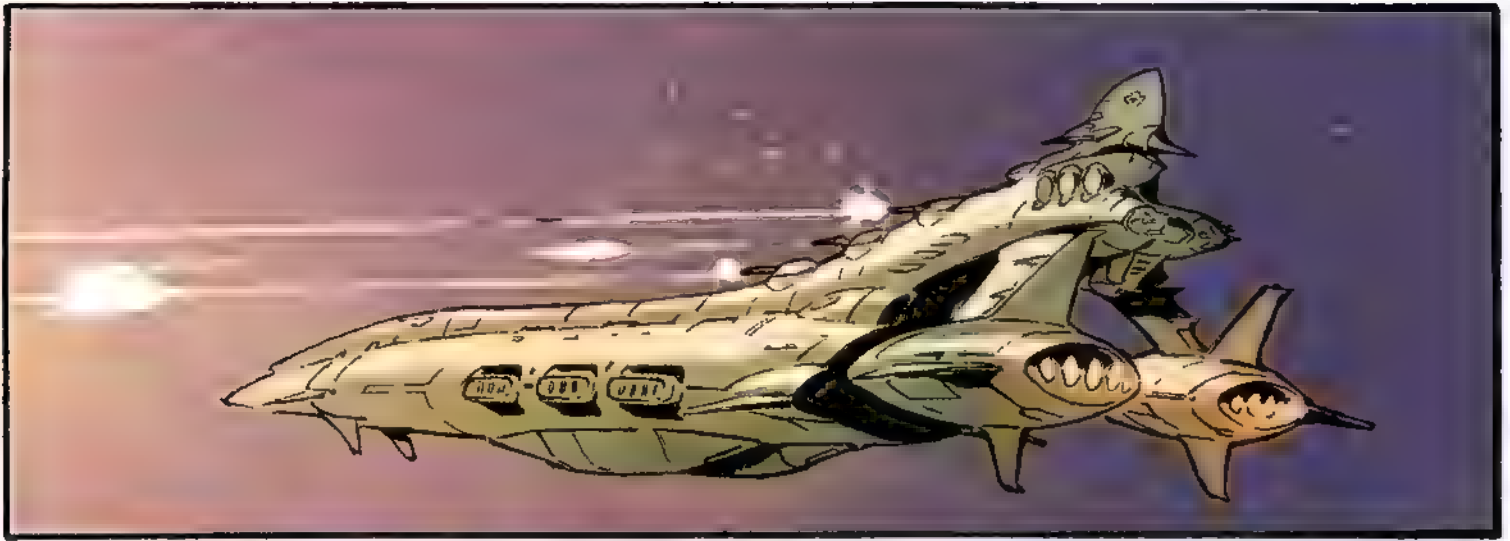


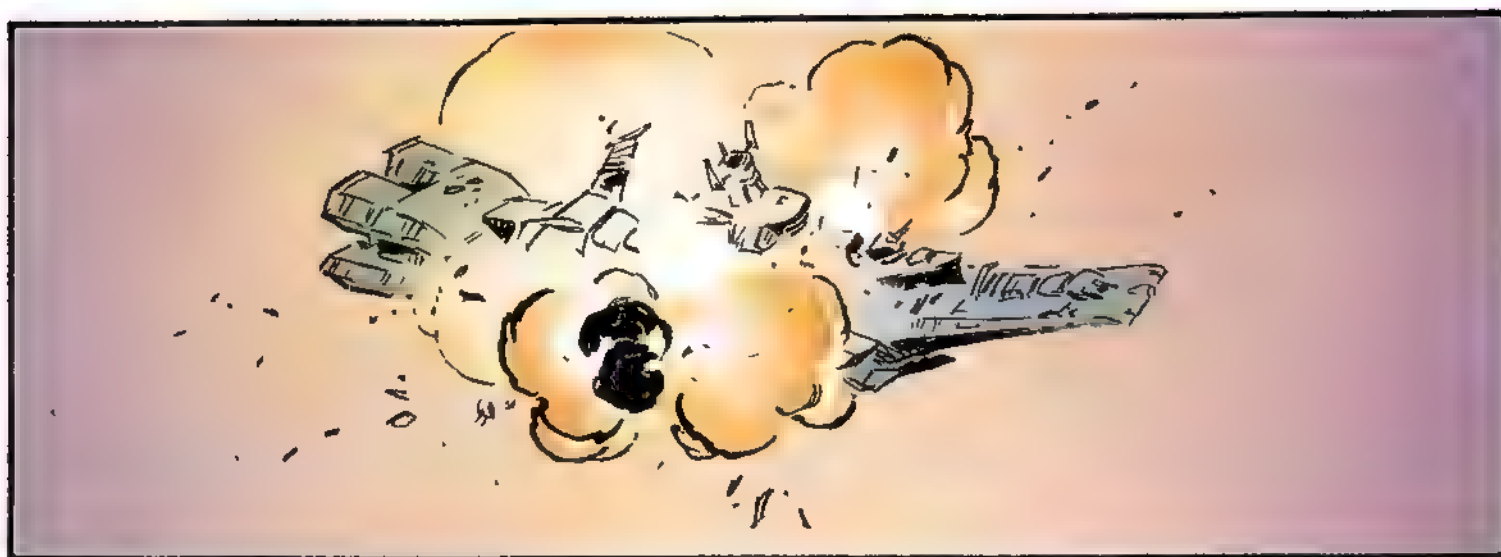
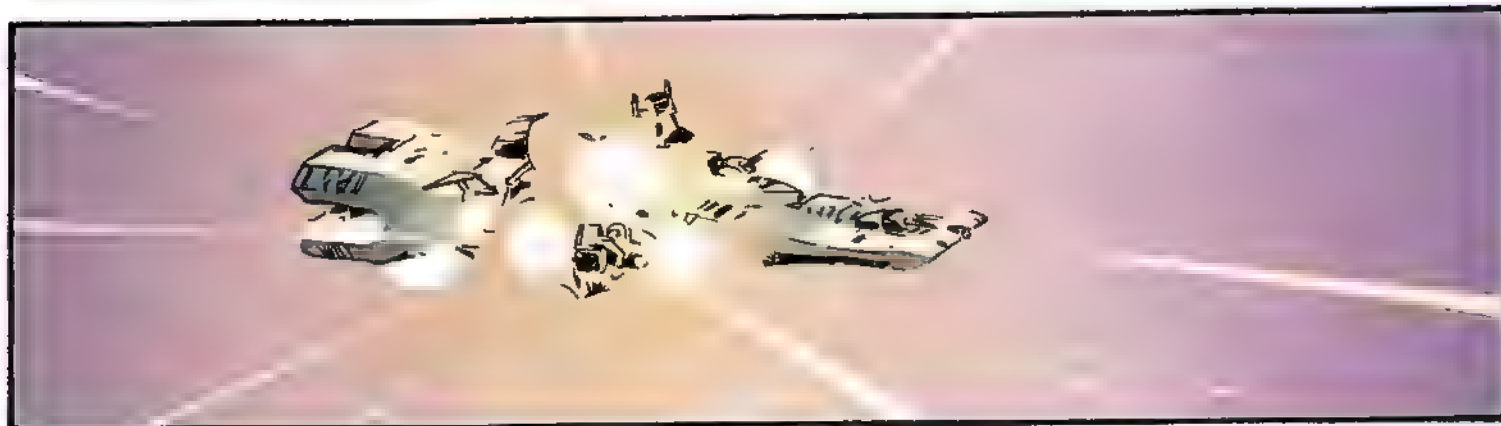
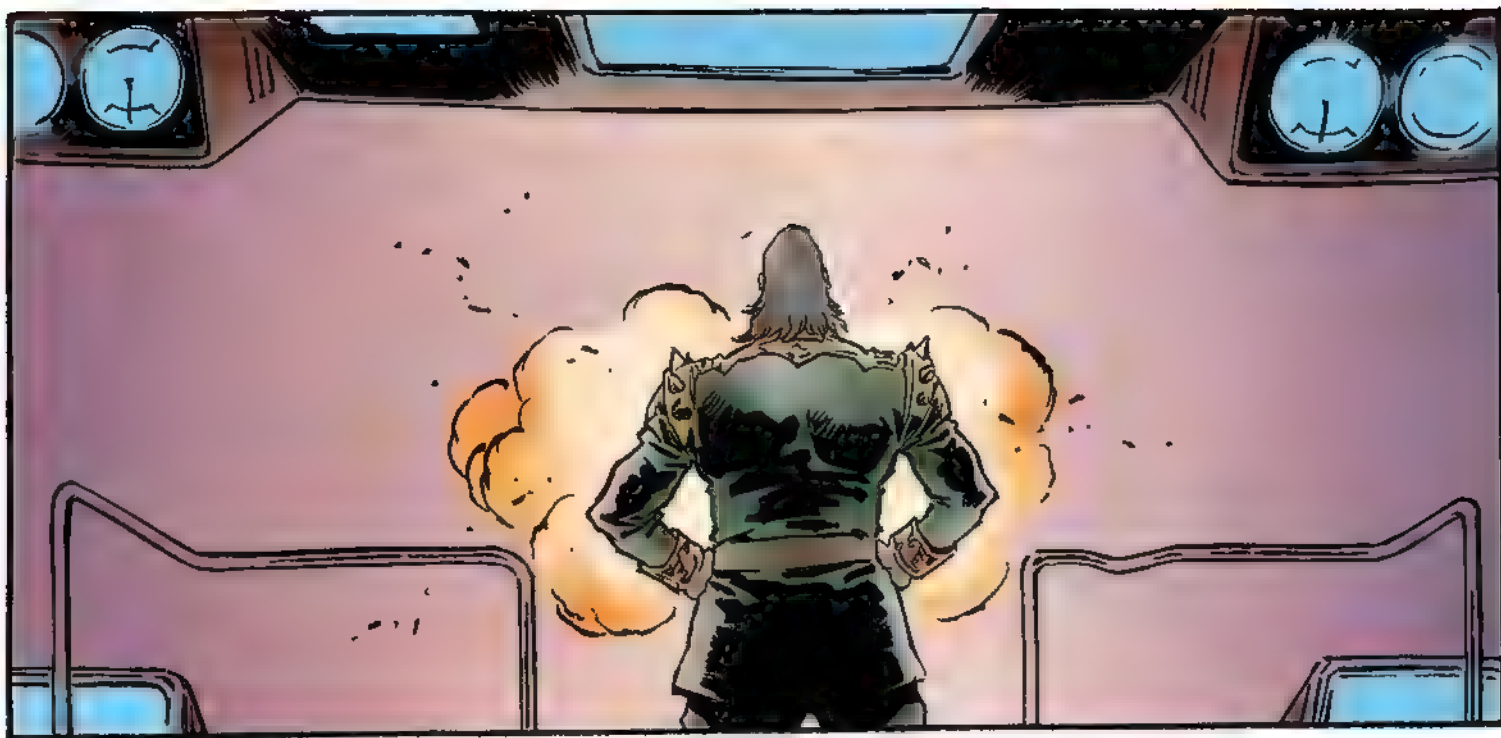
いっ
たい
どう
やっ
たら

バズーカの弾
一発で

巡洋艦が
殺れるんだ…



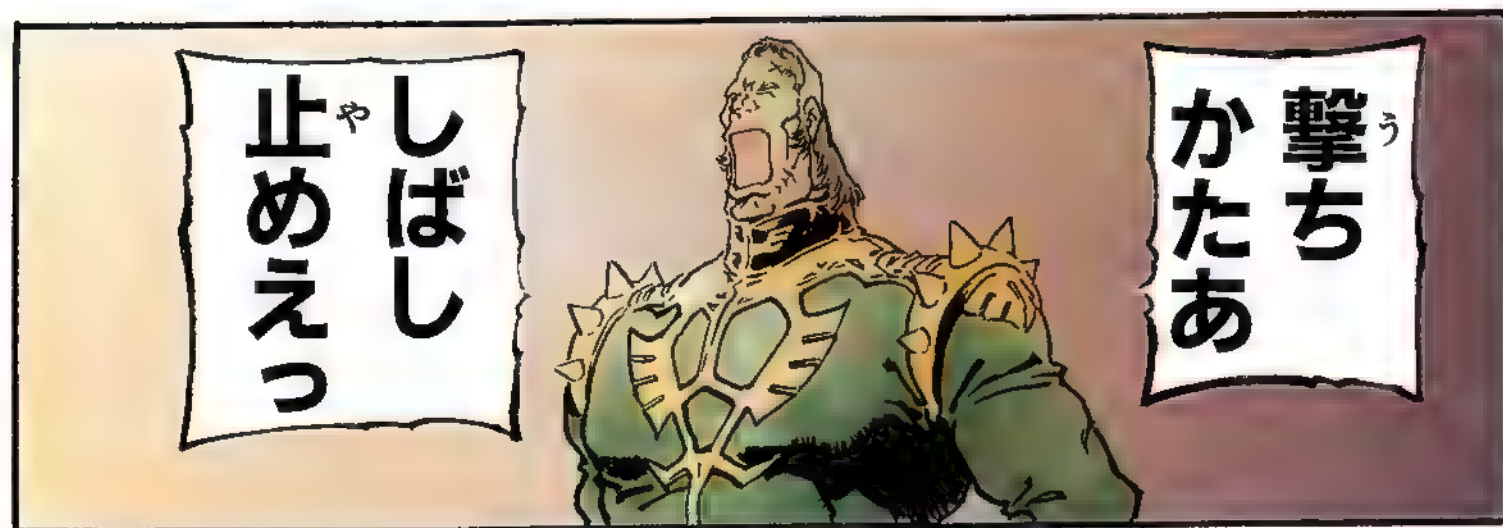
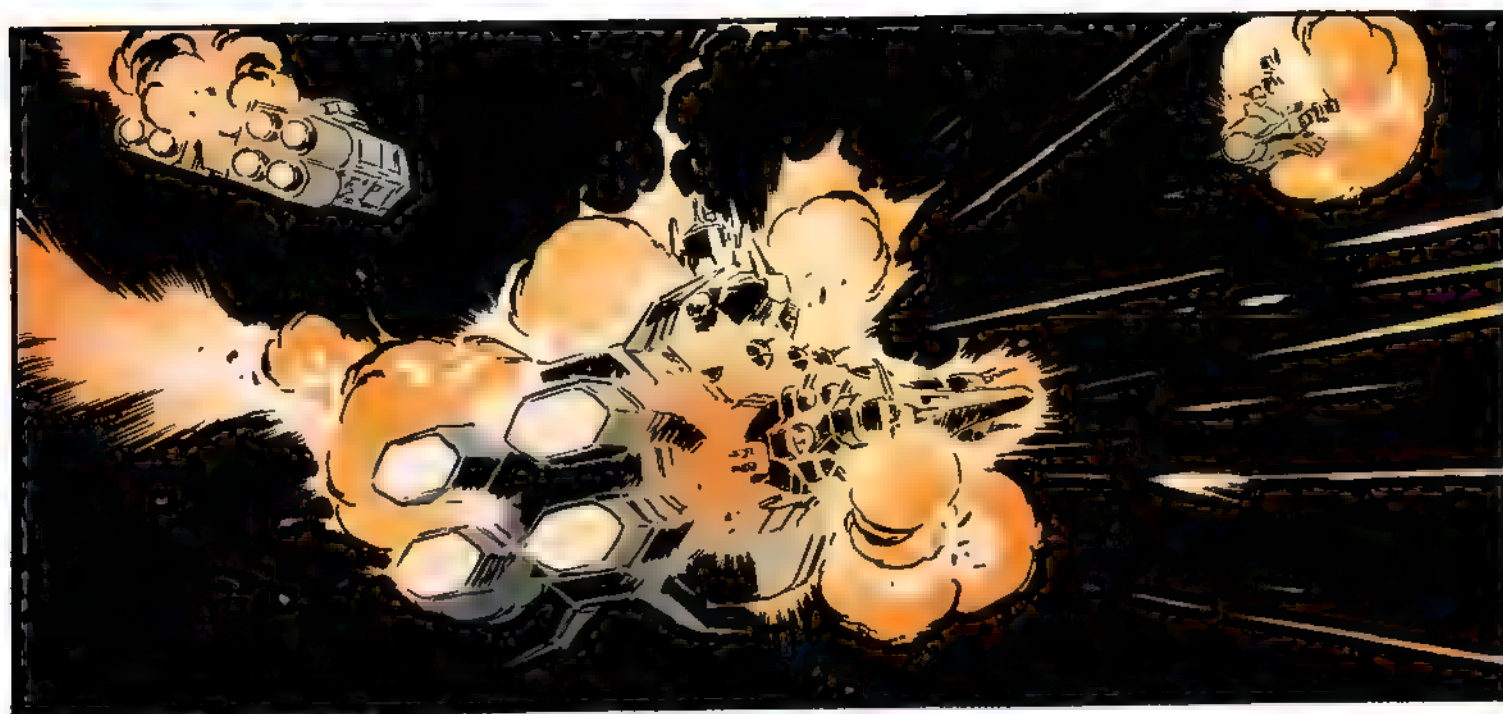
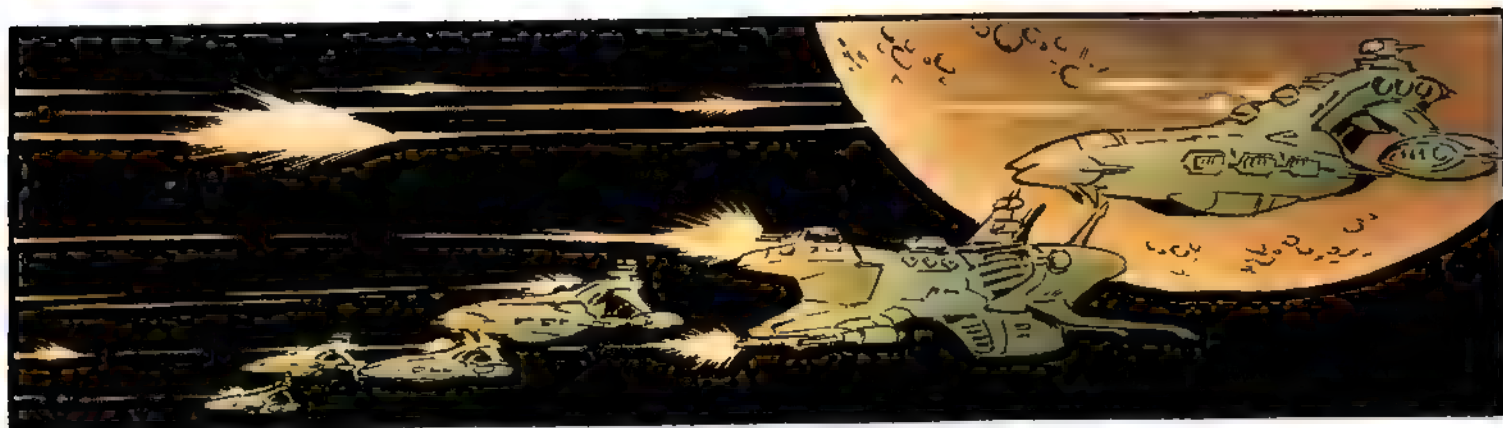






恨むなよ...

敗者の
運命だ
.....



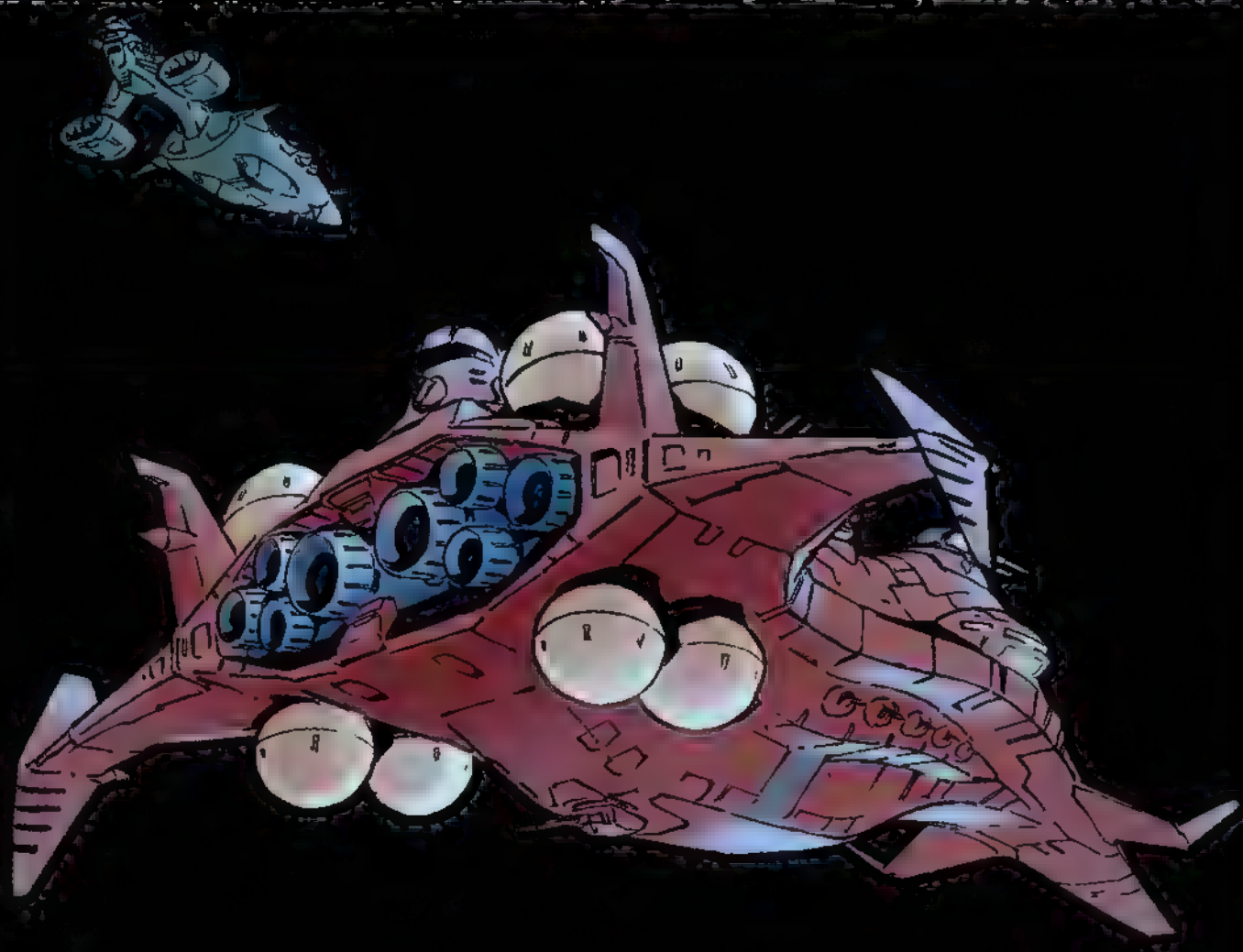
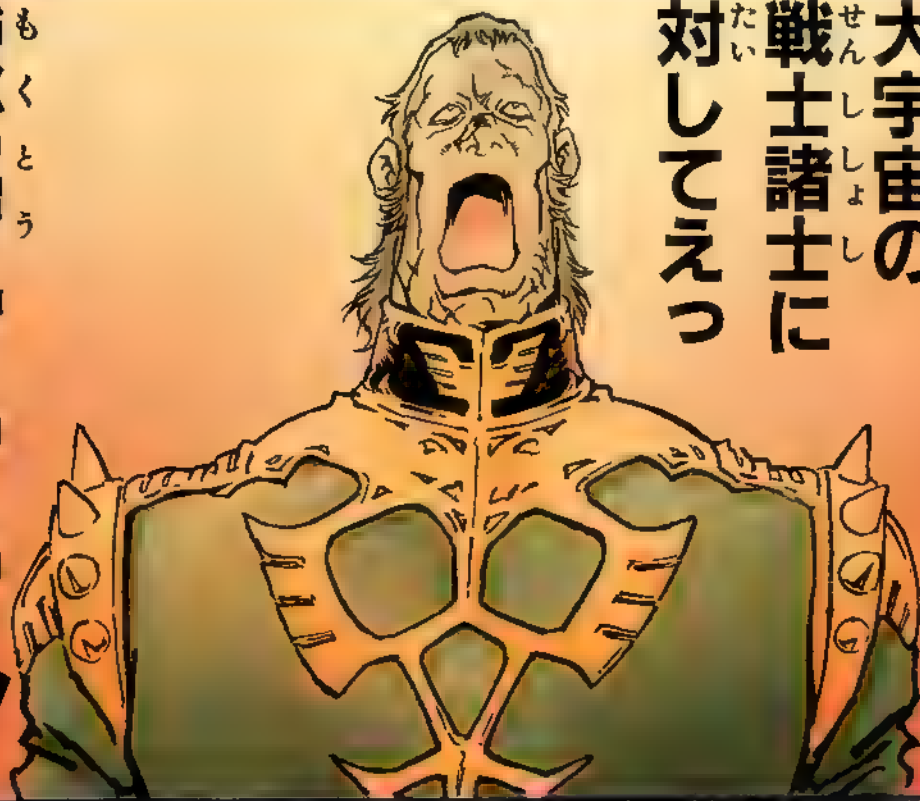
撃ち
かたあ

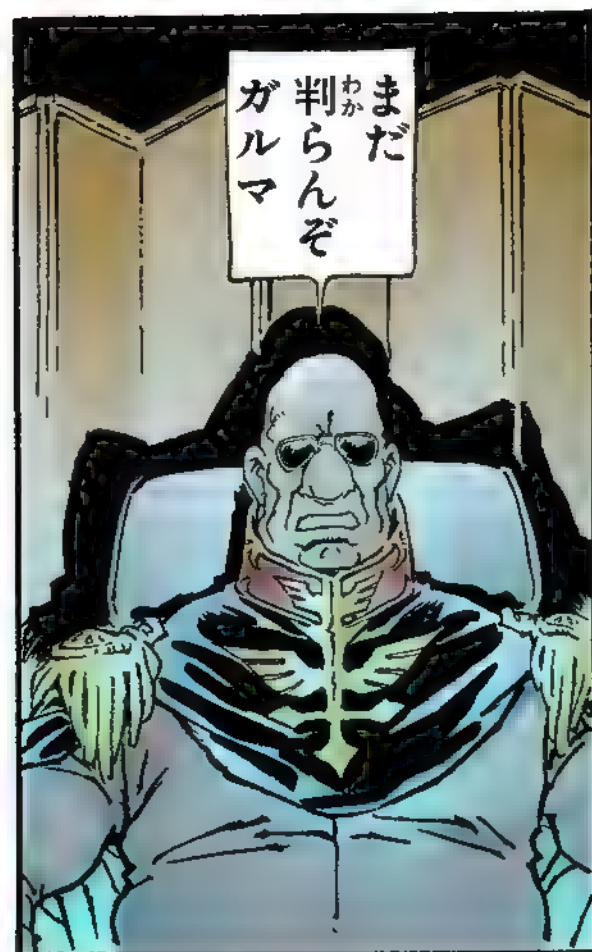
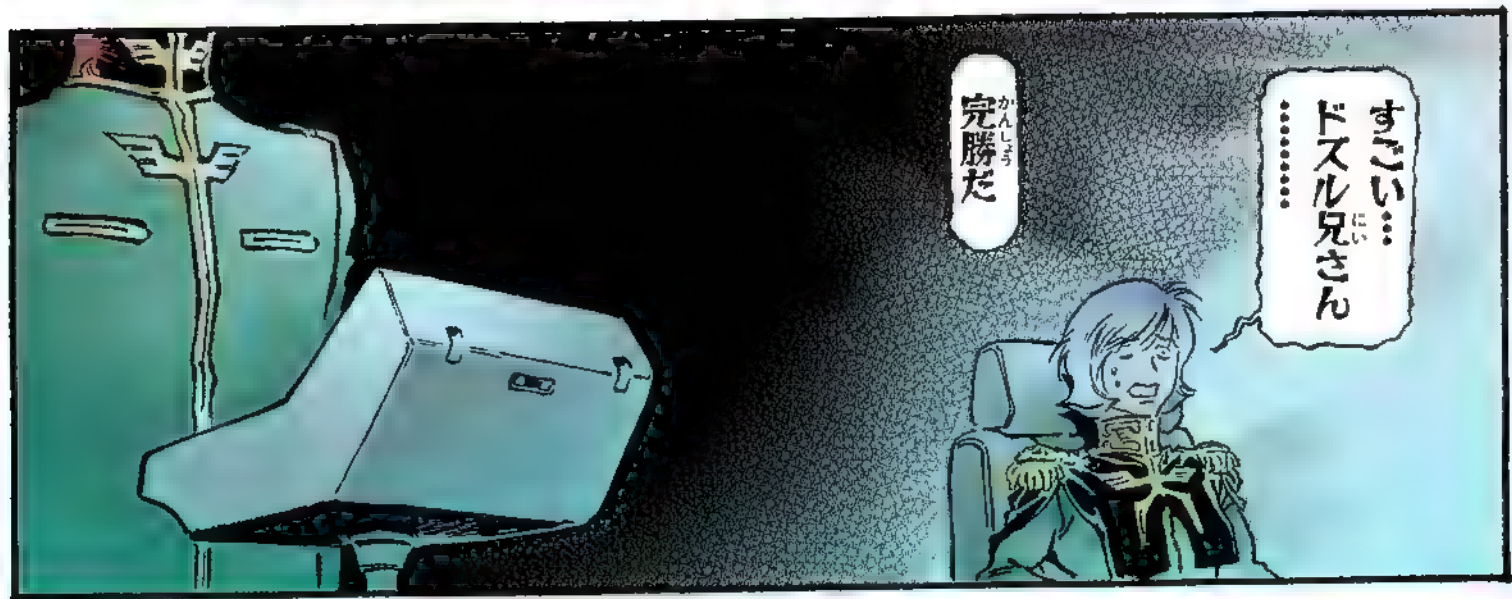
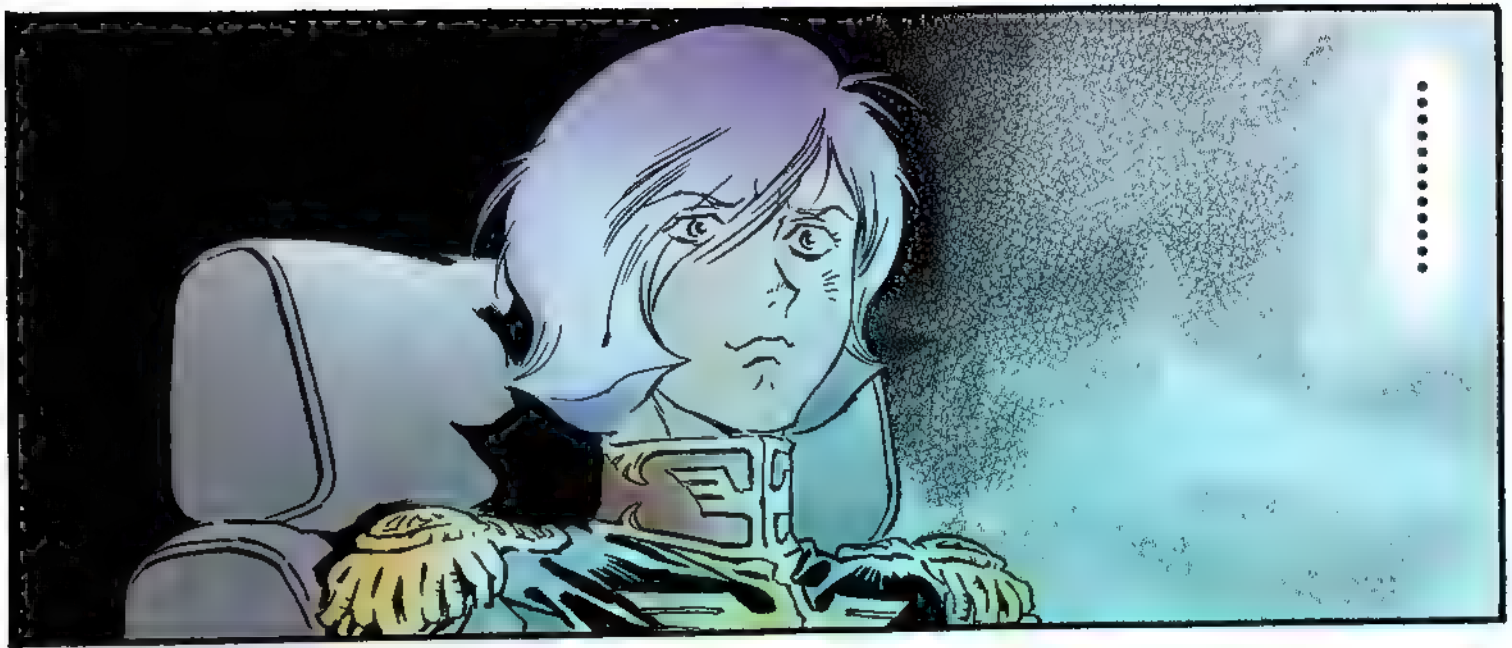
しばし
止めえっ

消えゆく

大宇宙の
戦士諸士に
対してえっ

黙禱オオオ!!!



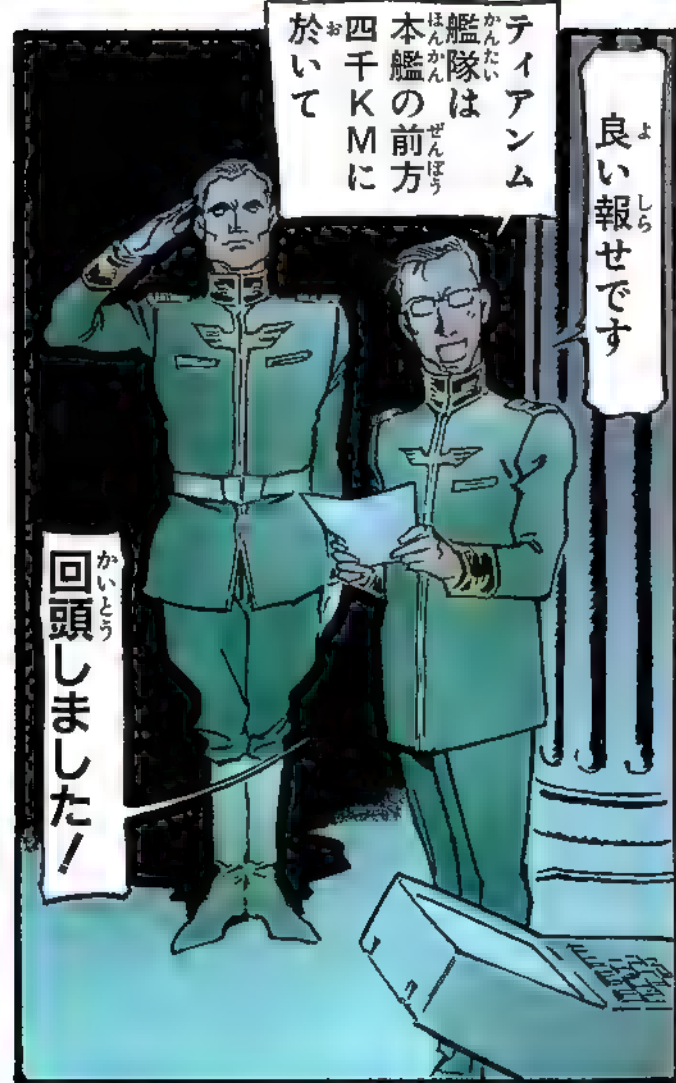
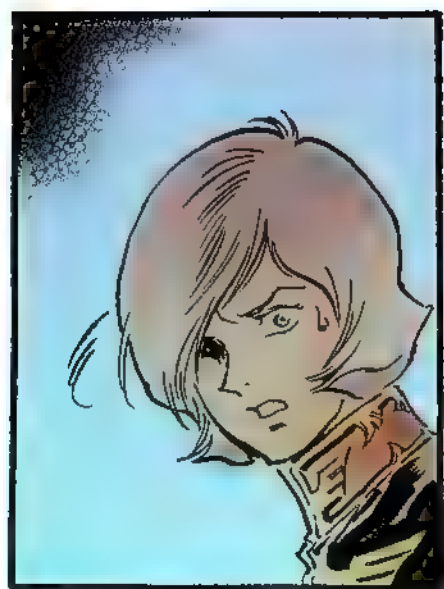




敵にはまだ
逆転の可能性が
ある

先発艦隊を
このまま突入
させれば

丸腰に等しい
ジオン本国は
なすがままだ



良い報告です

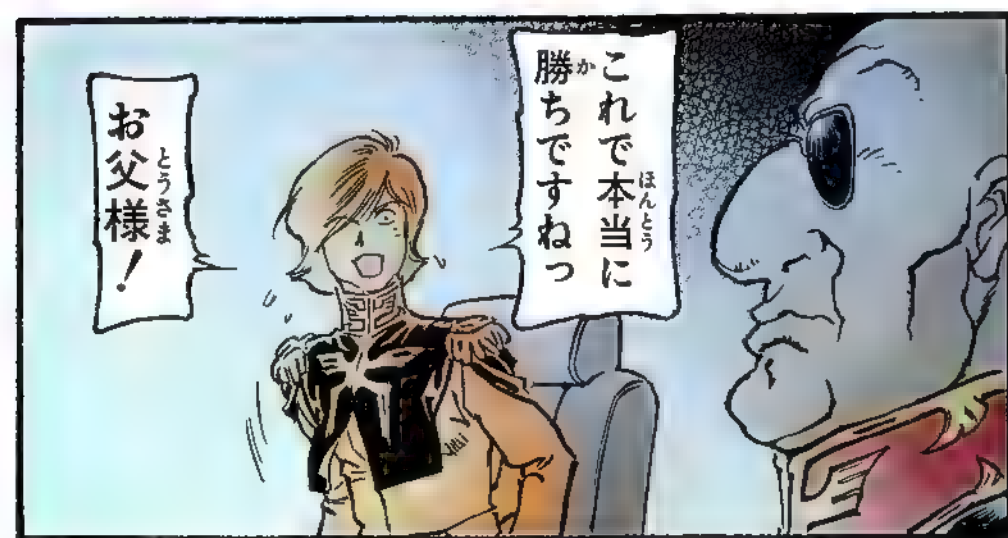
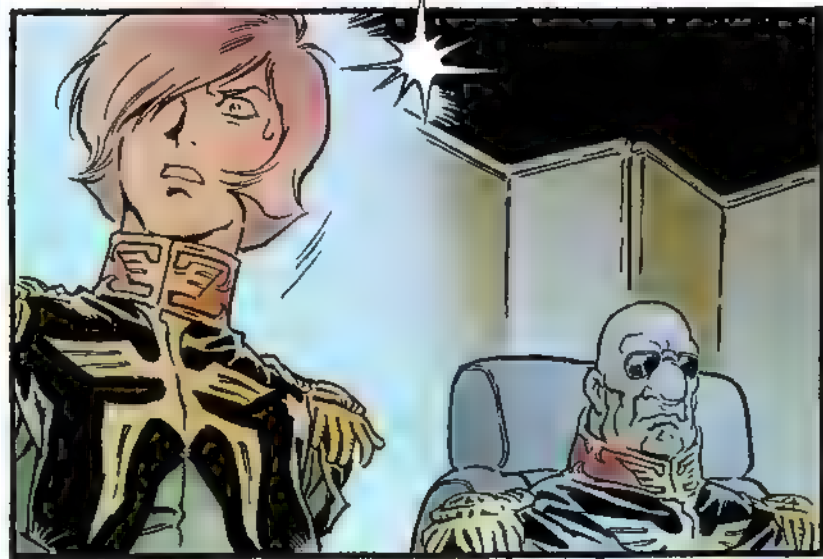
ティアンム
艦隊は
本艦の前方
四千KMに
於いて

回頭しました！



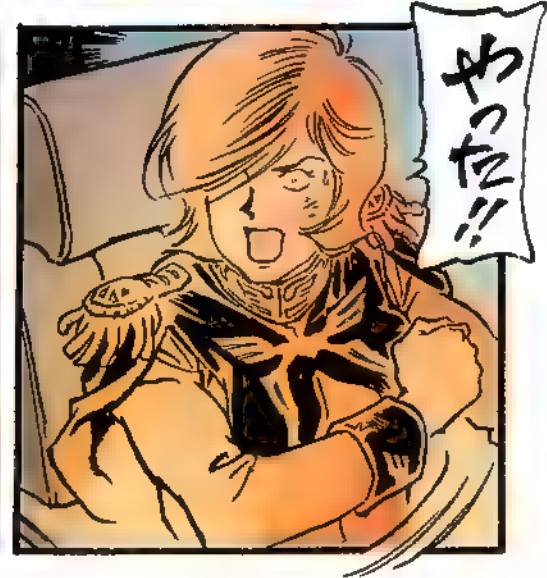
肉を斬らせて
骨を断つ戦法

それを払
うならば！

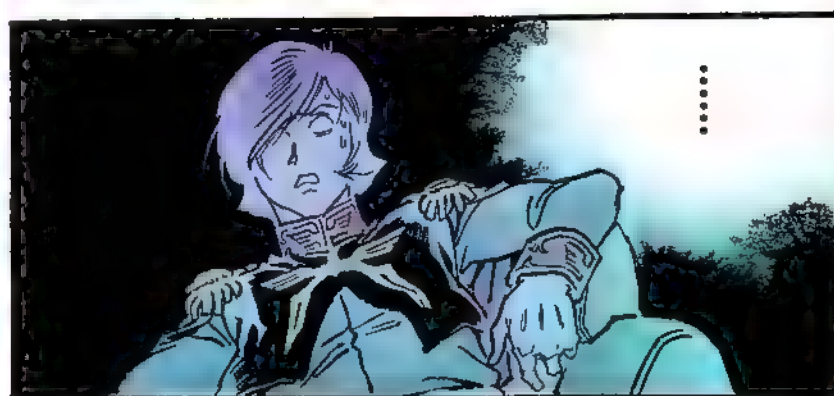
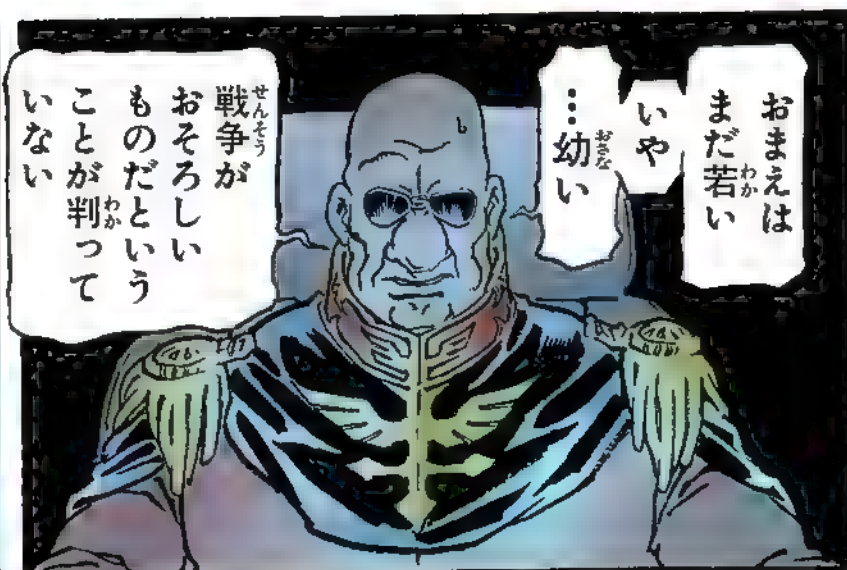
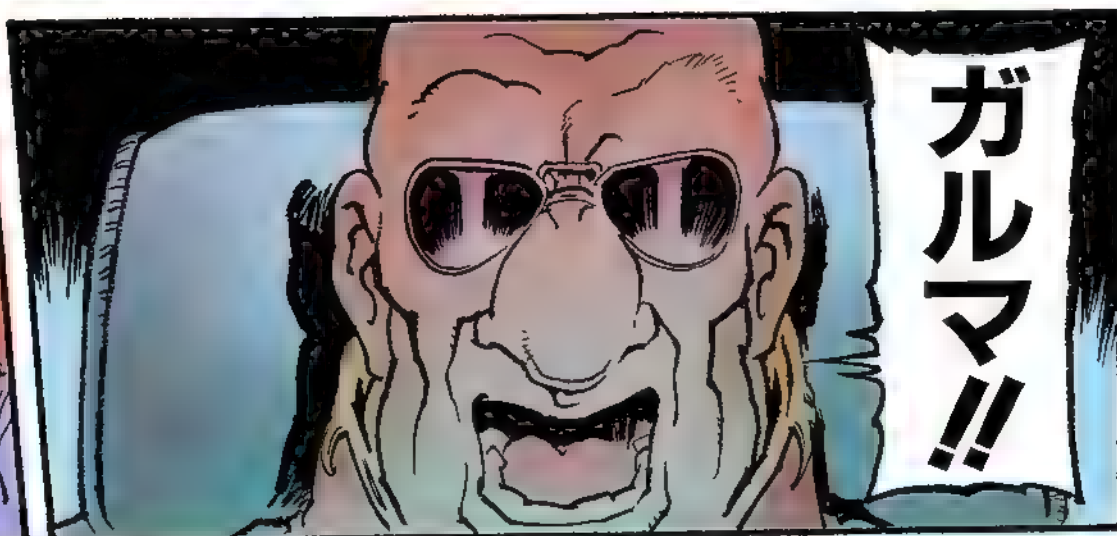
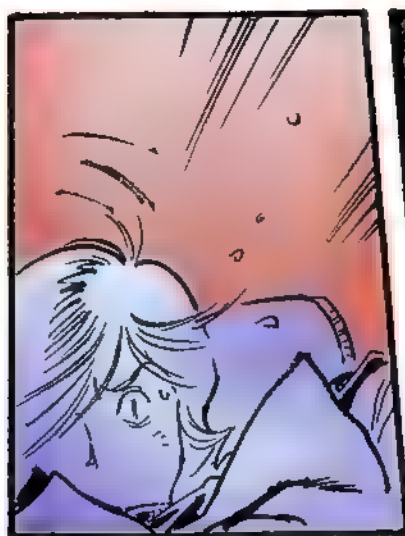
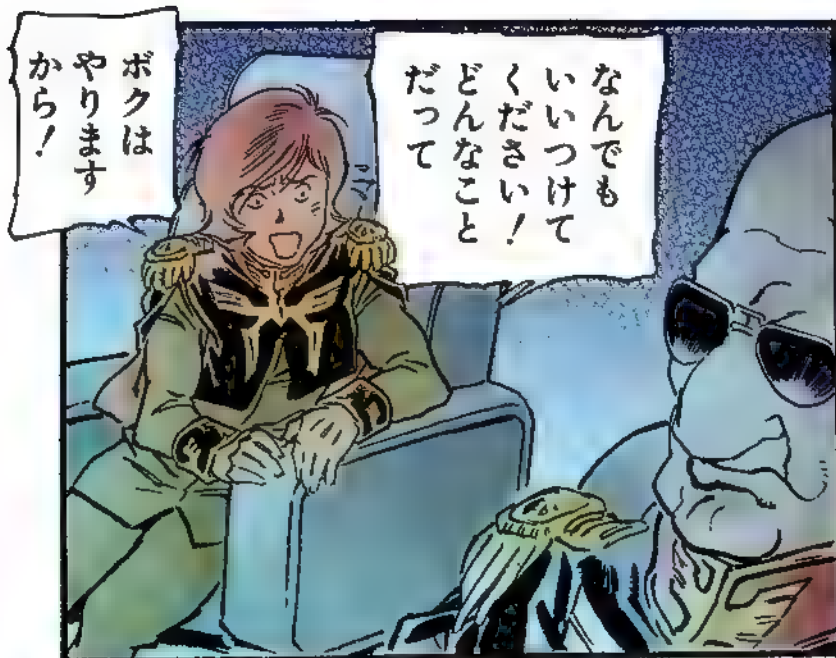


これで本当に
勝ちですねっ

お父様！

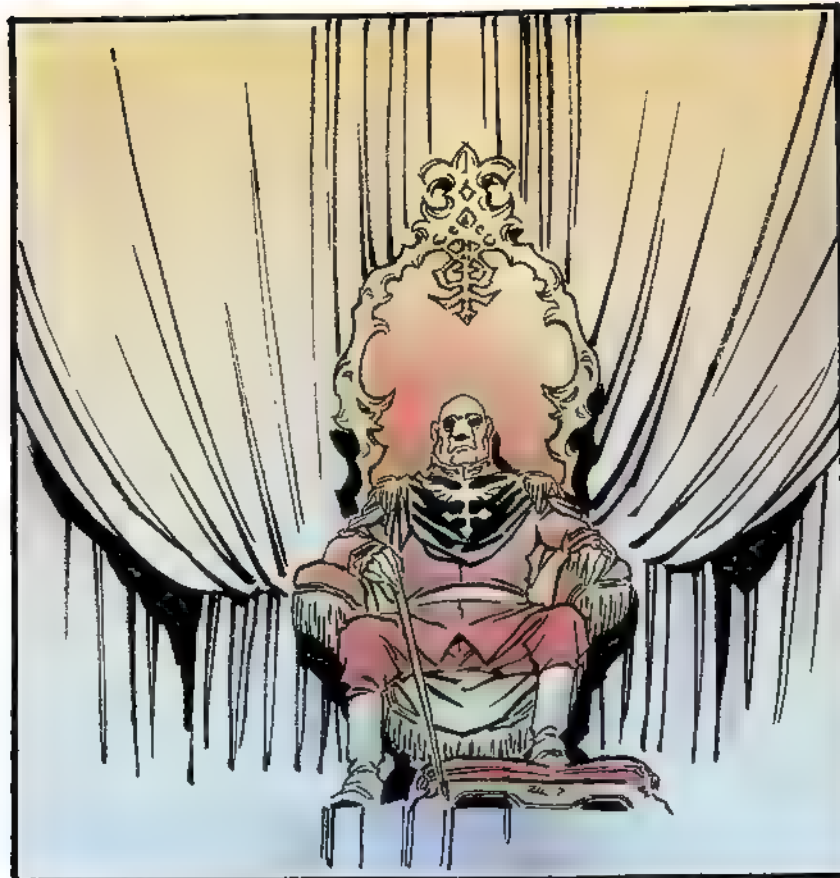
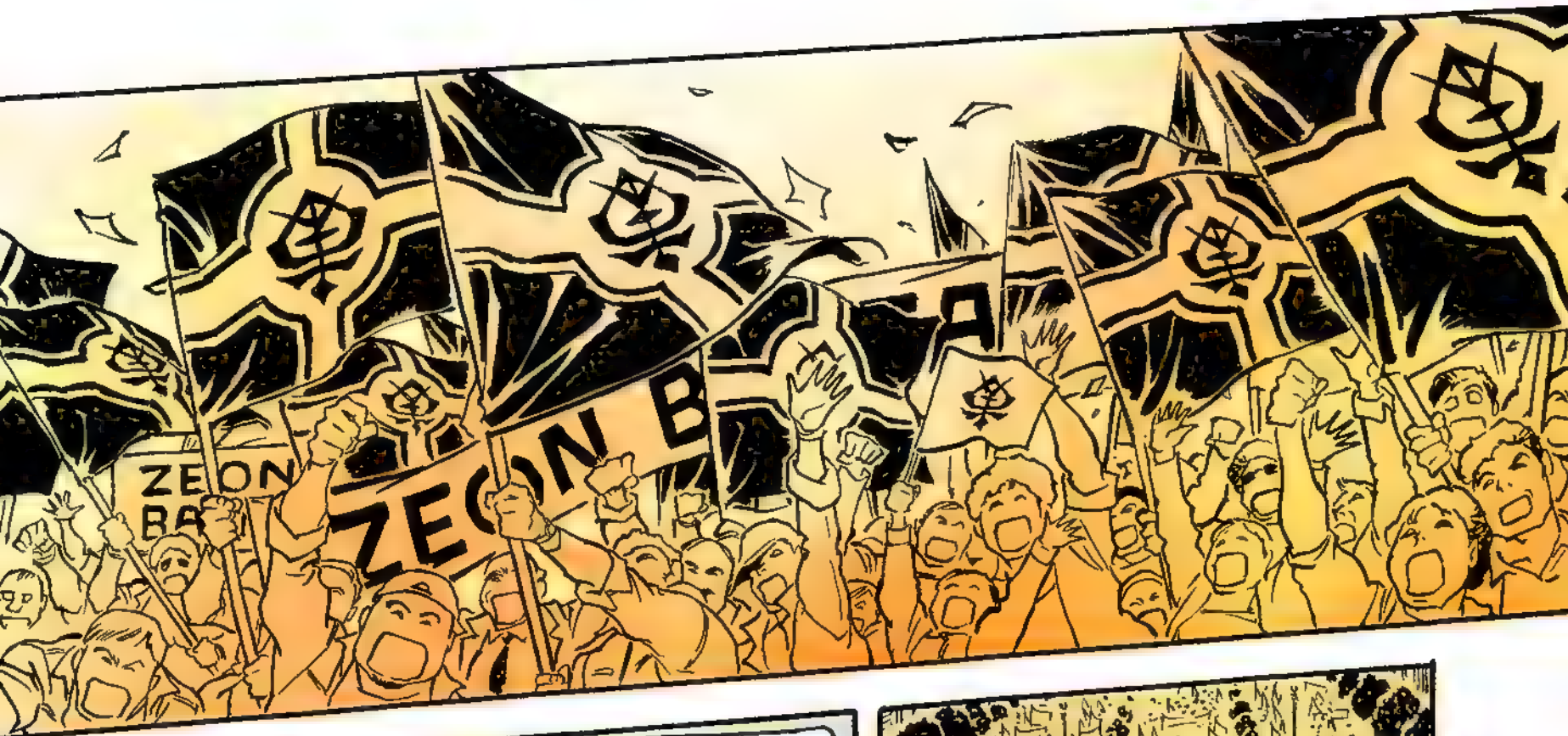


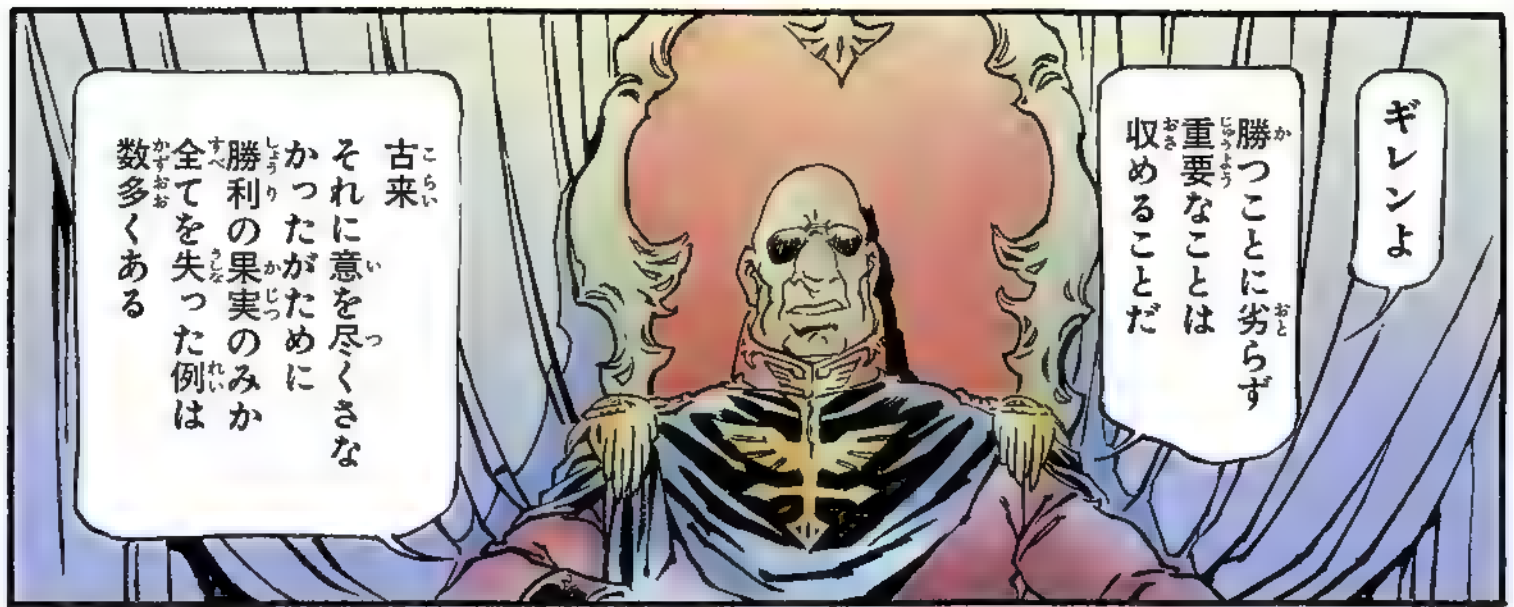
やった！！



ア ア ア ア



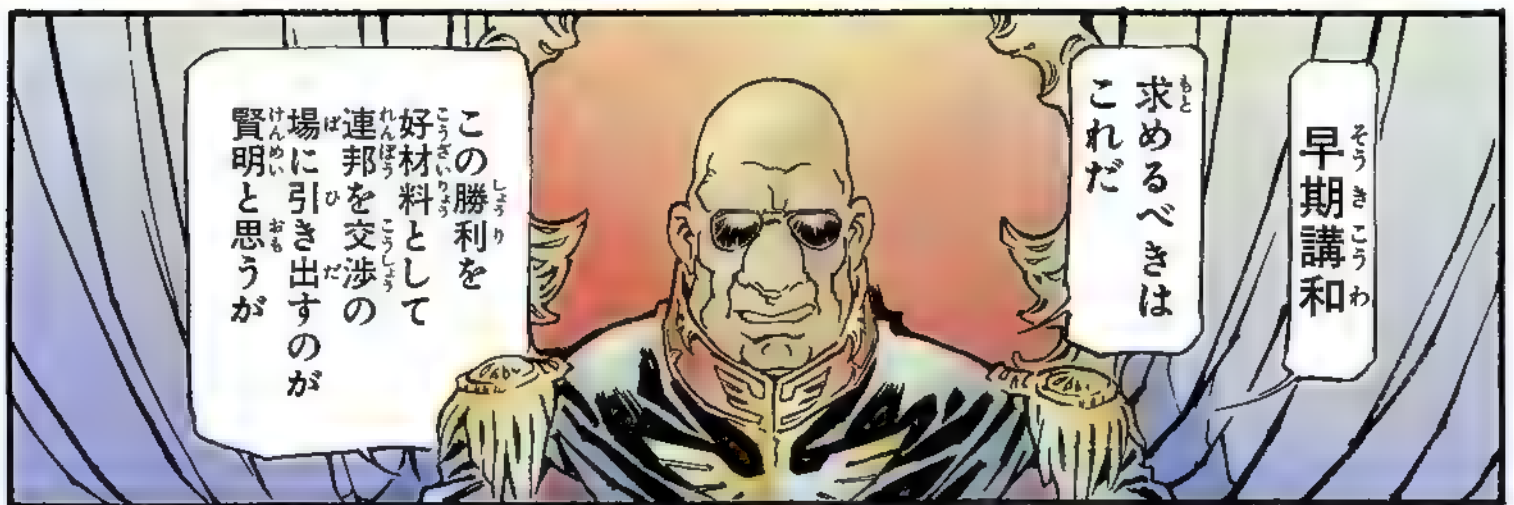




ギレンよ

勝つことに劣らず
重要なことは
収めることだ

古来
それに意を尽くさな
かったがために
勝利の果実のみか
全てを失った例は
数多くある



早期講和

求めるべきは
これだ

この勝利を
好材料として
連邦を交渉の
場に引き出すのが
賢明と思うが



勝利はこれが
最後では
ありません！

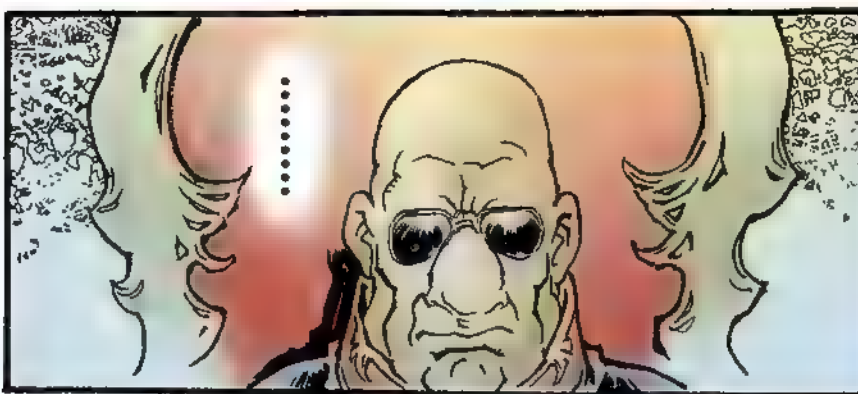
我々は
勝ち続ける
でしょう

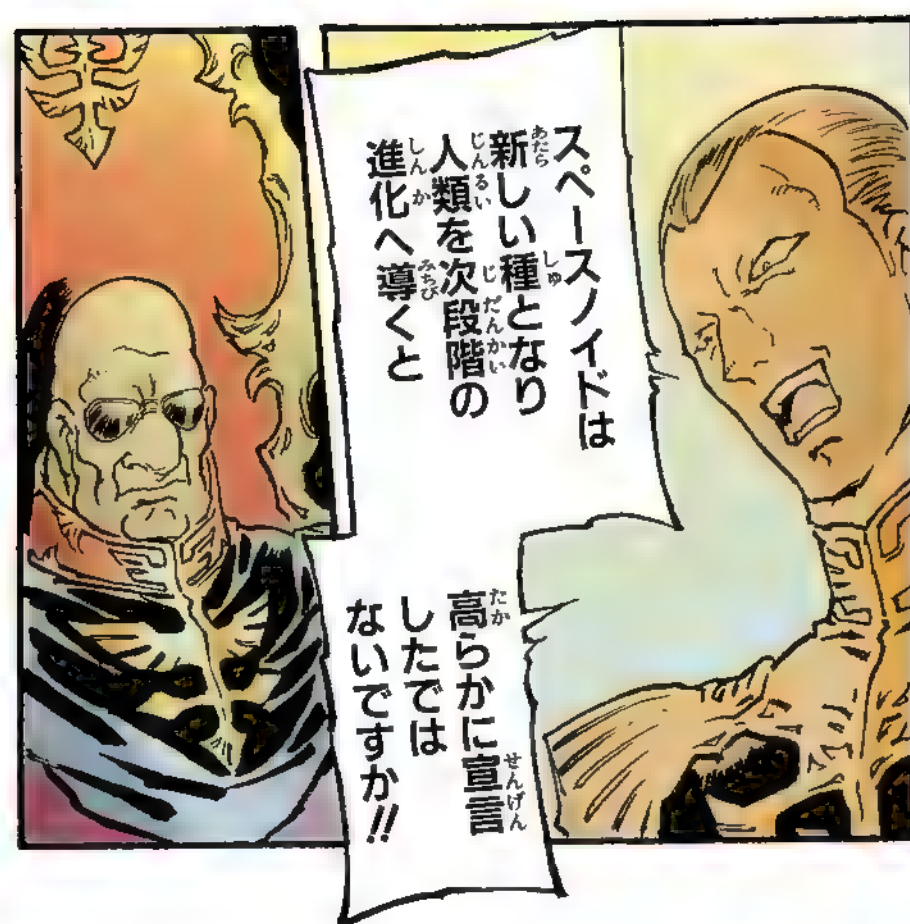
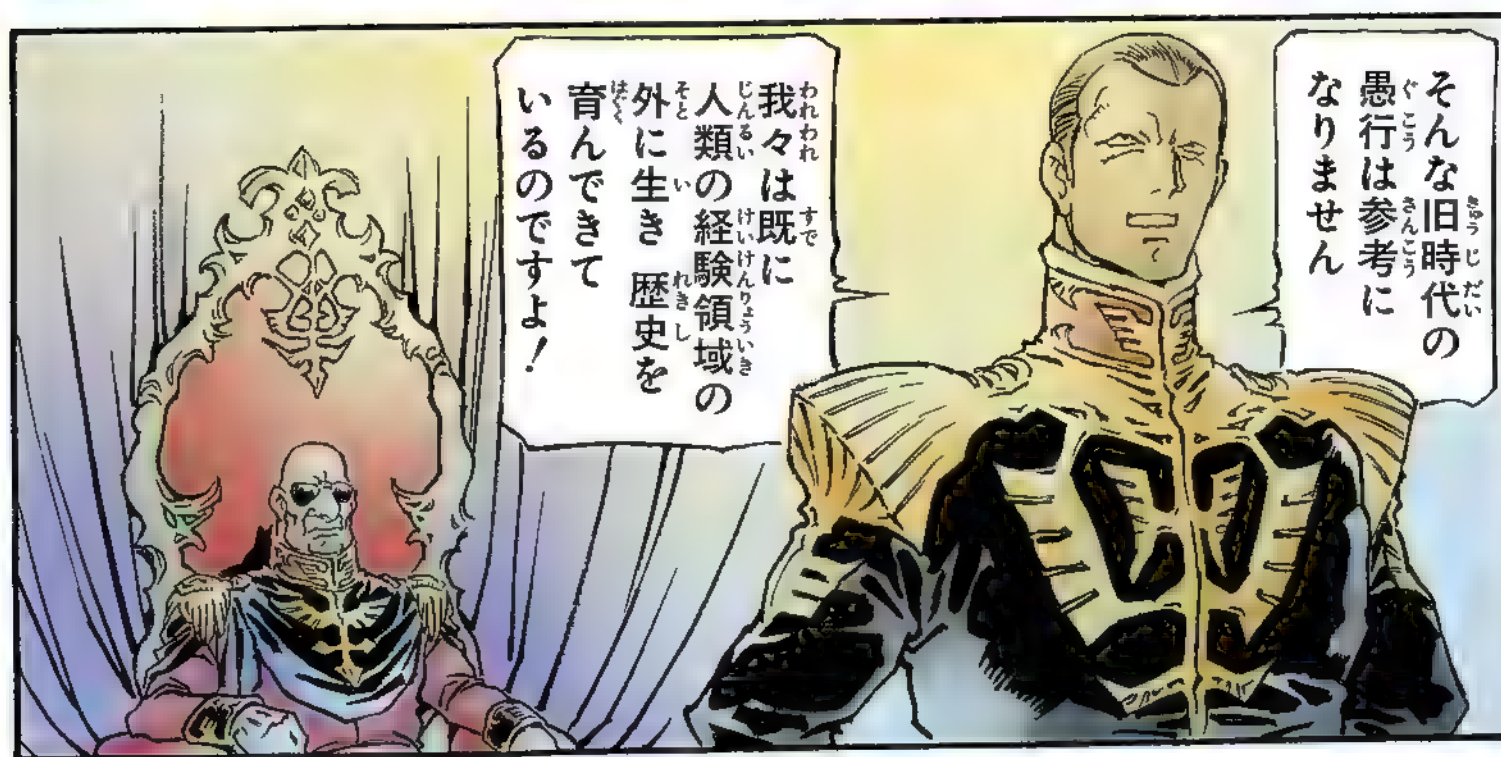
この先も
おそらく
最後まで！



弱気にすぎます
父上

あまりにも





ダイクンの理想を
現実にする好機を
我々は今手にいれ
たのです！

今をおいて
ない唯一の
機会を！！

妥協ではなく邁進
あるのみです！

お判りいただけ
ますね？！

御心配なく

正しく国家
と国民を
導きます

私に
お任せ
ください

わかった
そこまで
言うのなら

もうひとつ

ガルマの
ことだが…

それも
御心配なく

参謀部付き
とします

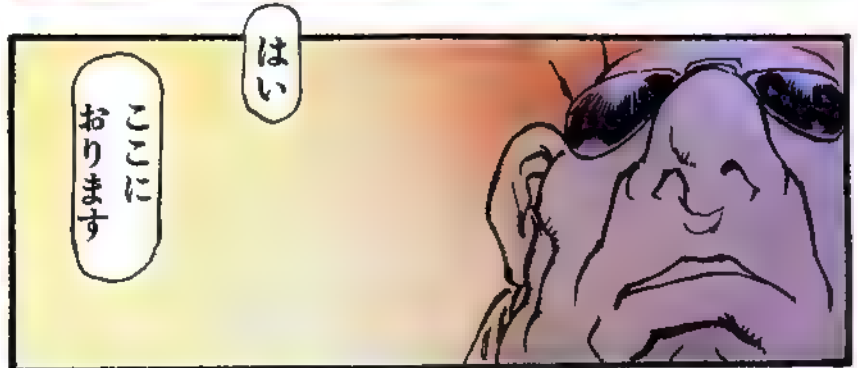
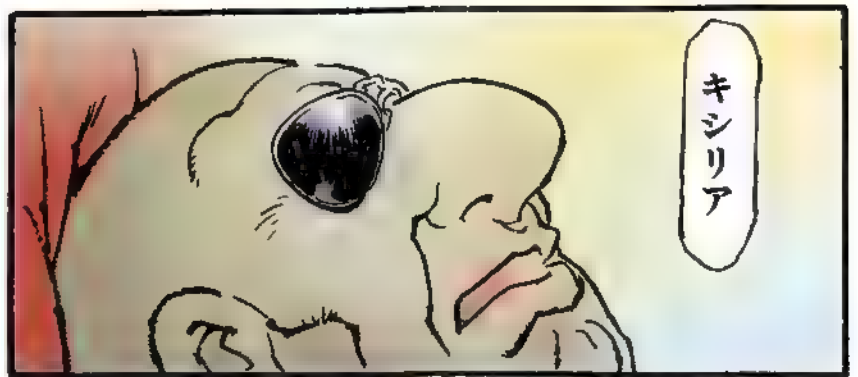
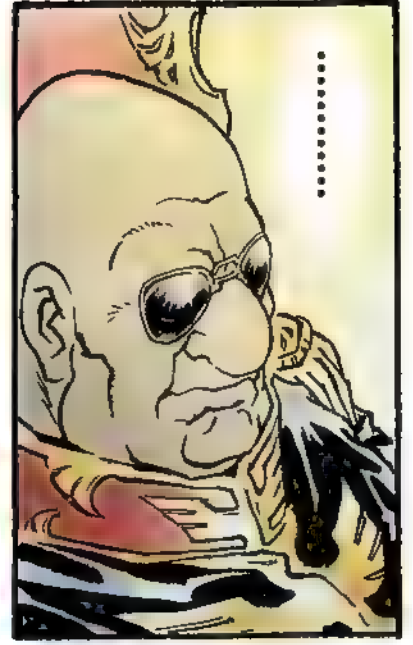
危険な前線に
出すことは
いたしません

ことほど
左様に

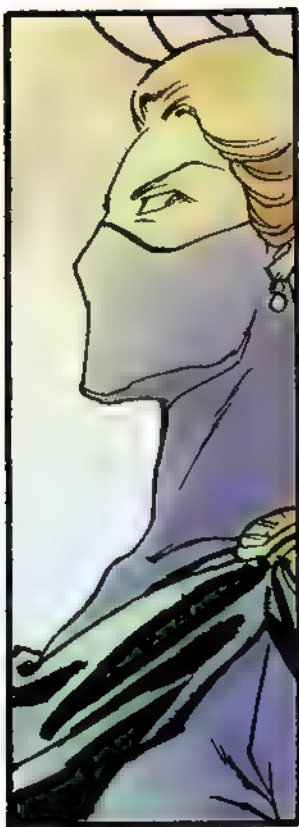
ザビ家の将来も
充分慮って
いるのです

御信賴いただき
ましよう

ん



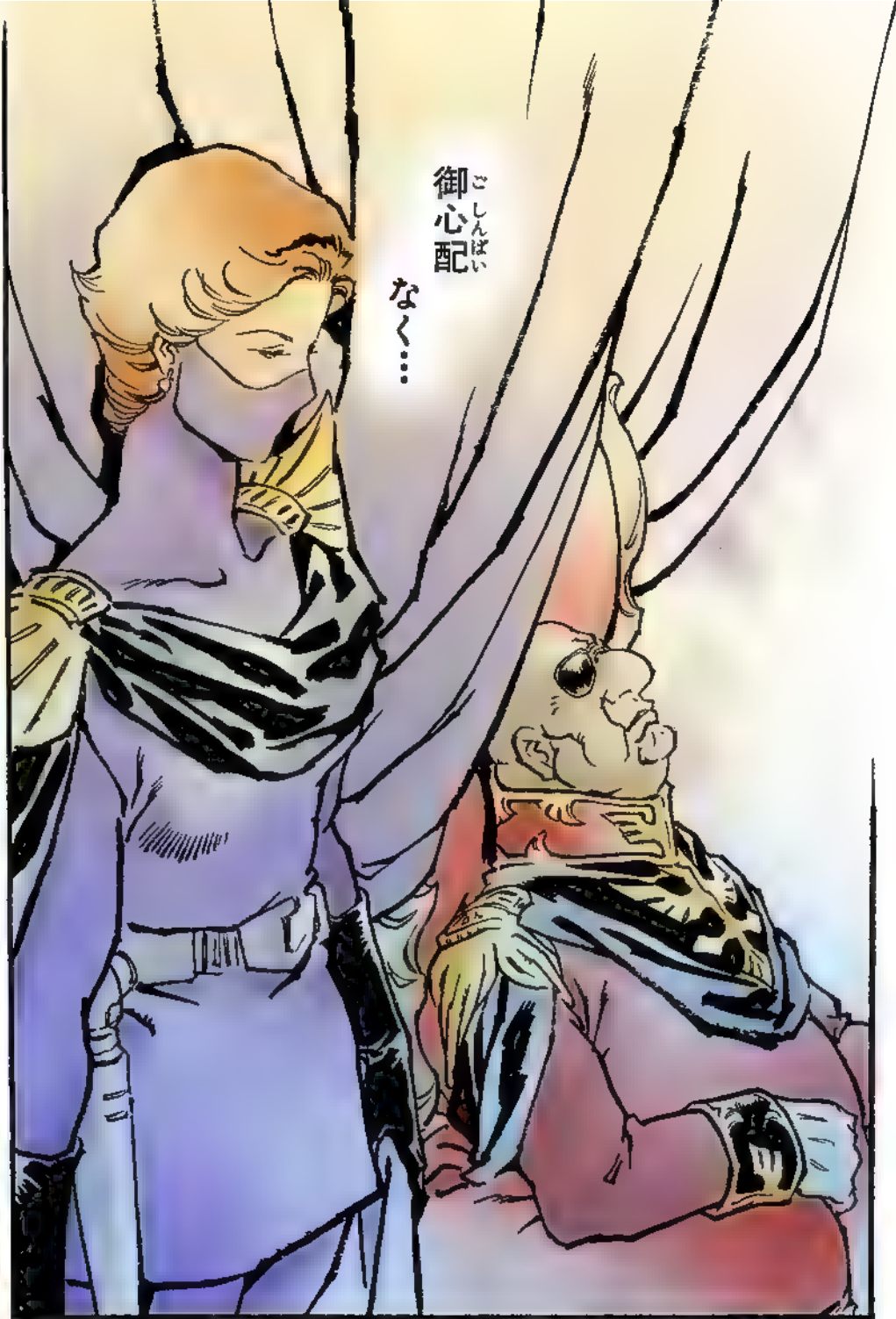
ここに
おります



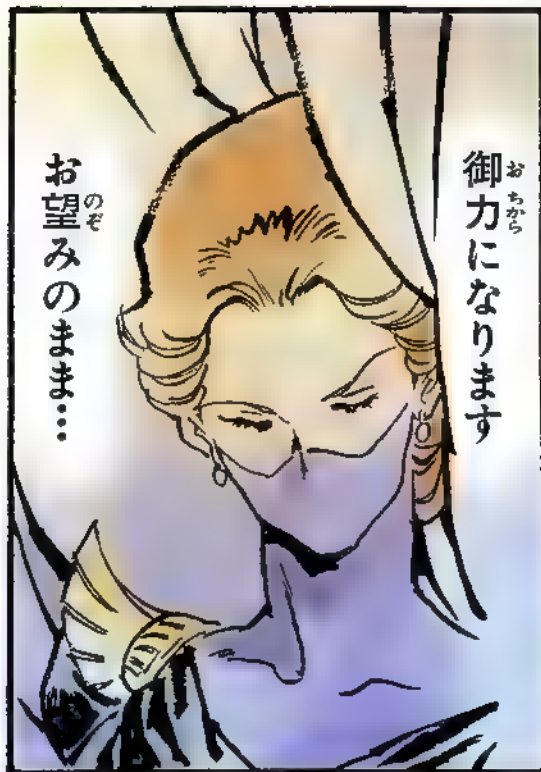
わしは

おそろしい…





御心配
ごしんぱい
なく...



御力になります
おちから

お望みのまま...



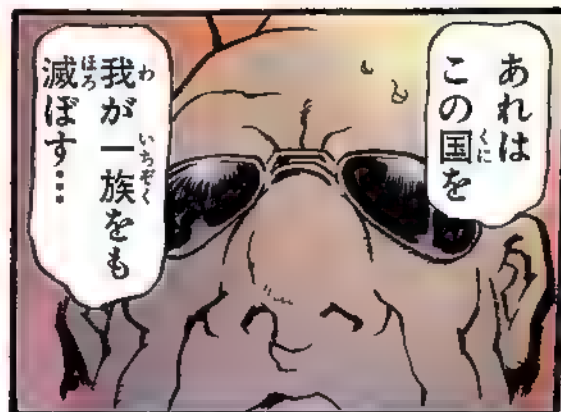
たのむ...
あれを制め
られるのは

たぶん
おまえ
だけだ



あれは
鬼になった

ダイクンの無念が
悪魔に変じて
あれに憑いたのだ



あれは
この国を

我が一族をも
滅ぼす...

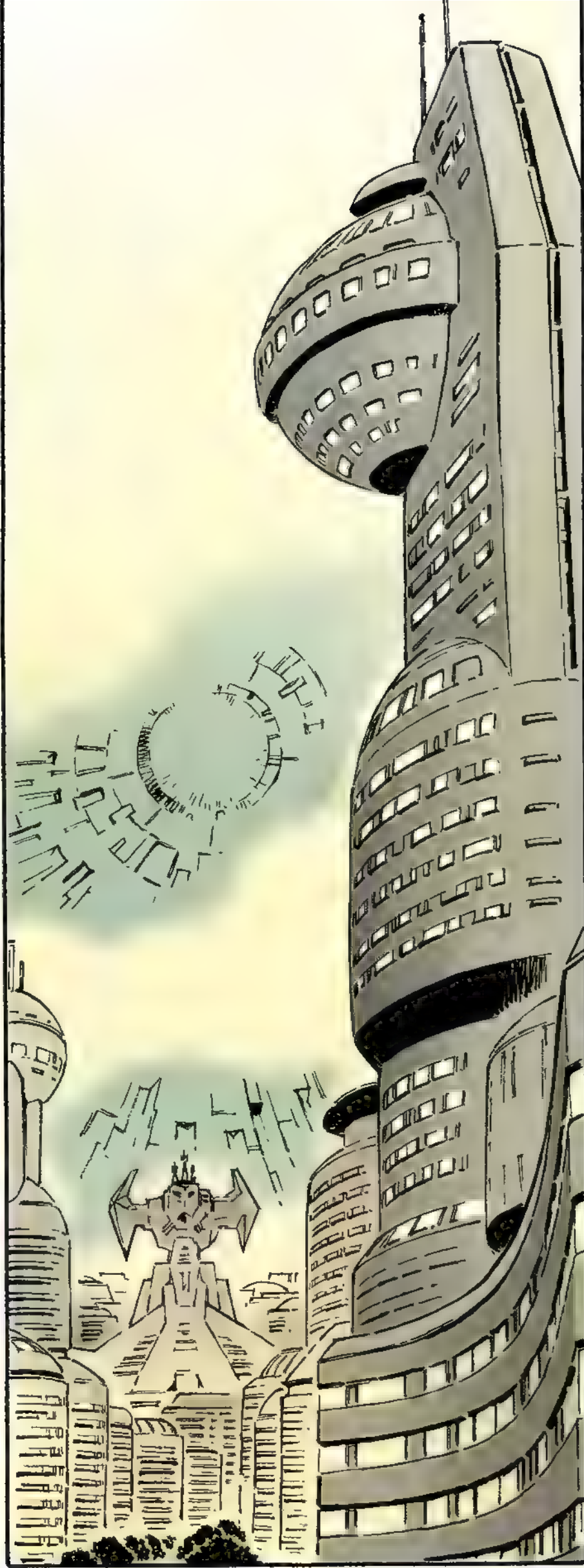
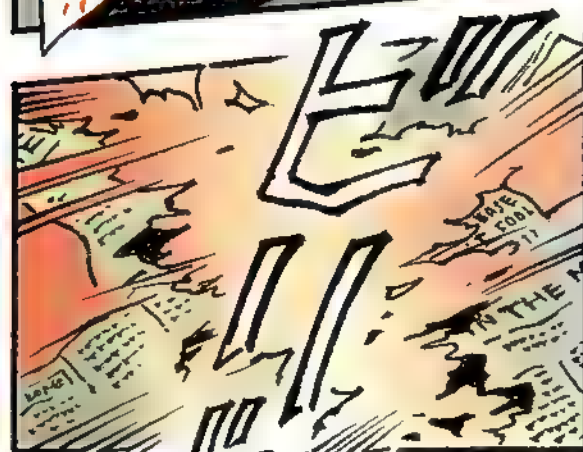
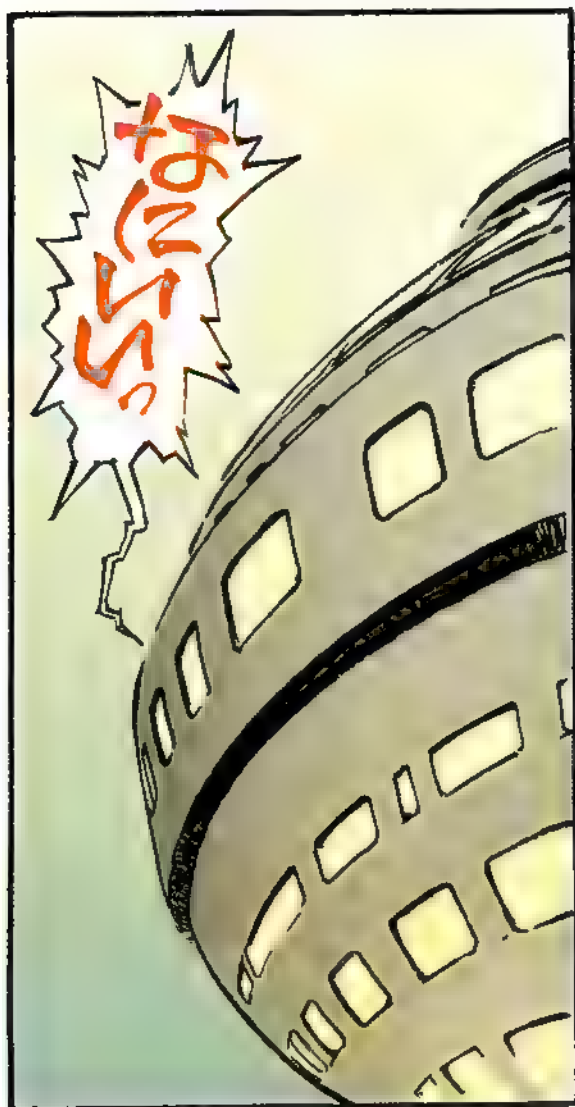


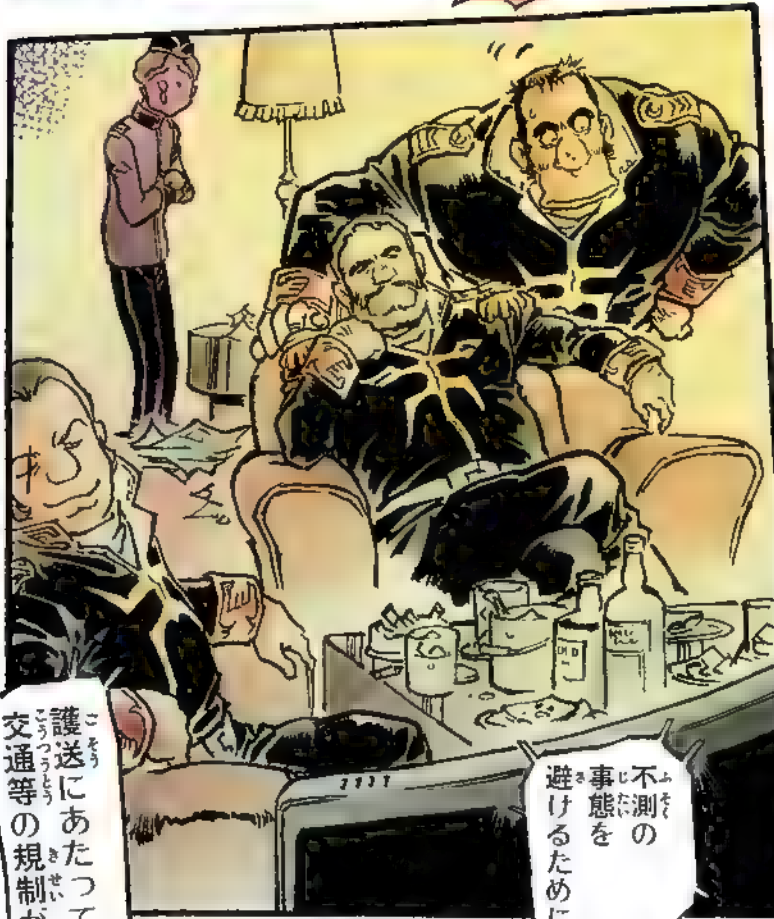
御安心
ごあんしん
ください

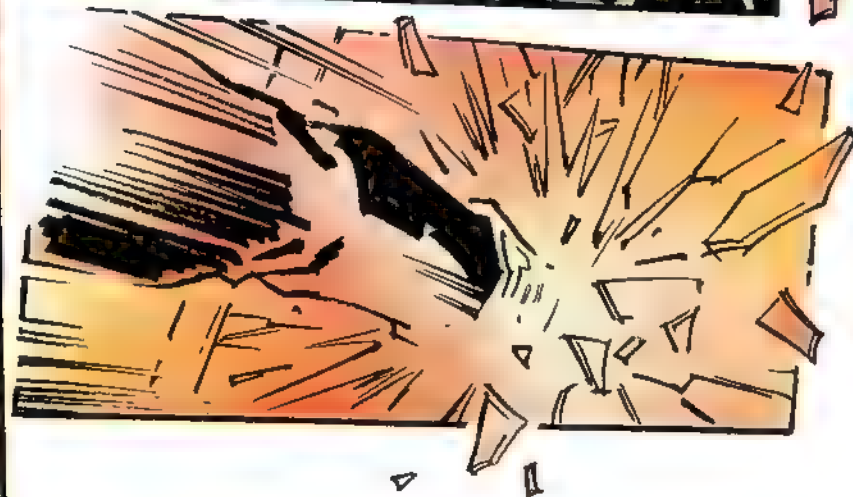
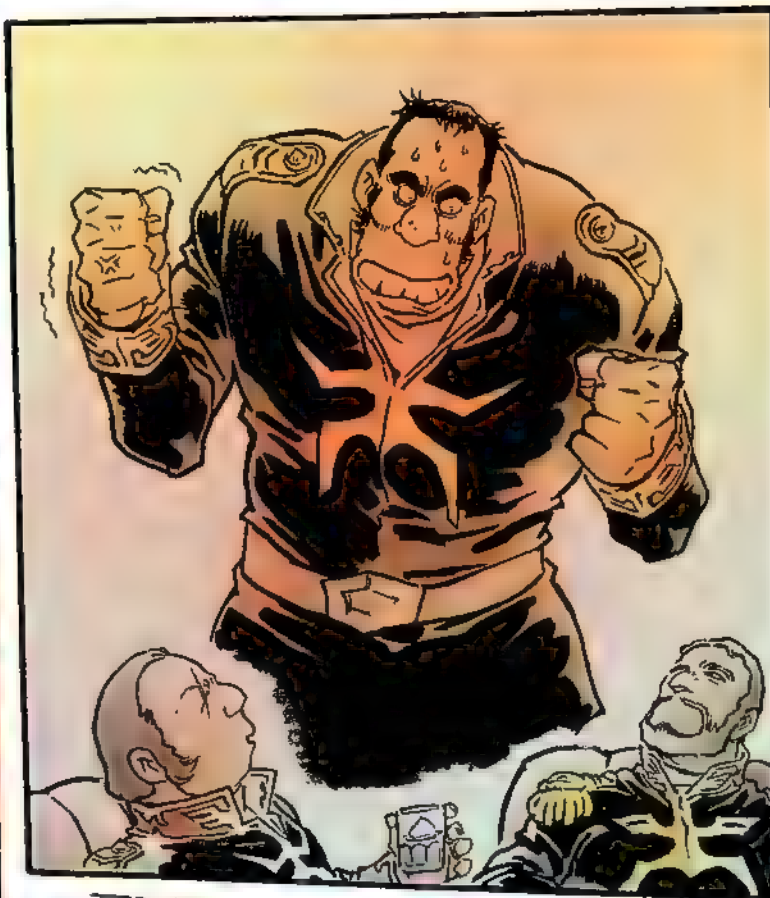
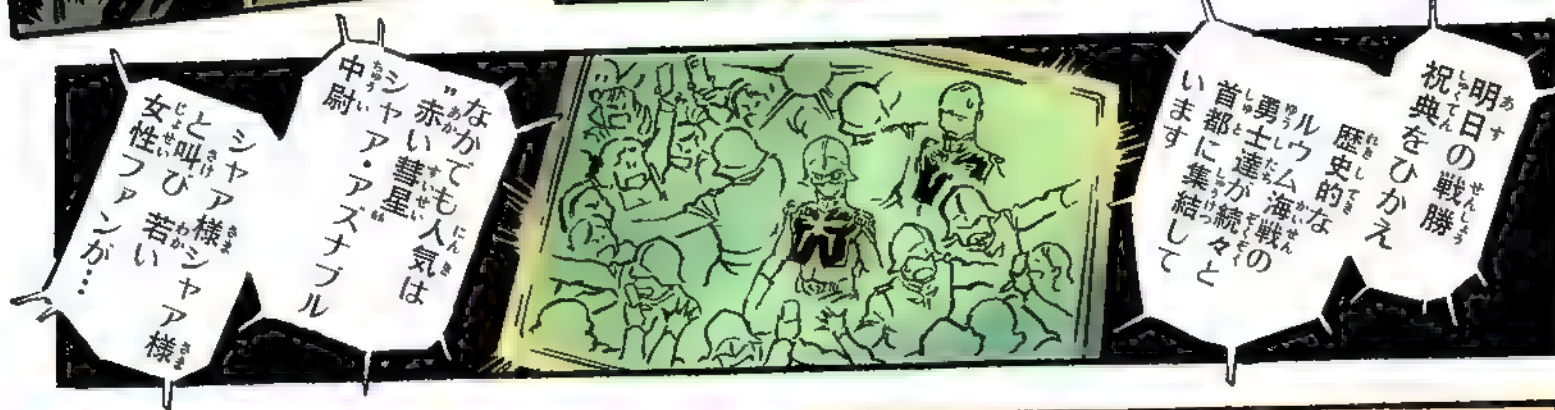
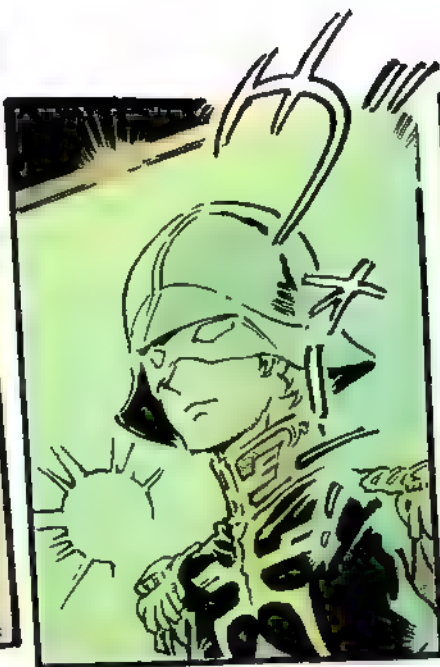


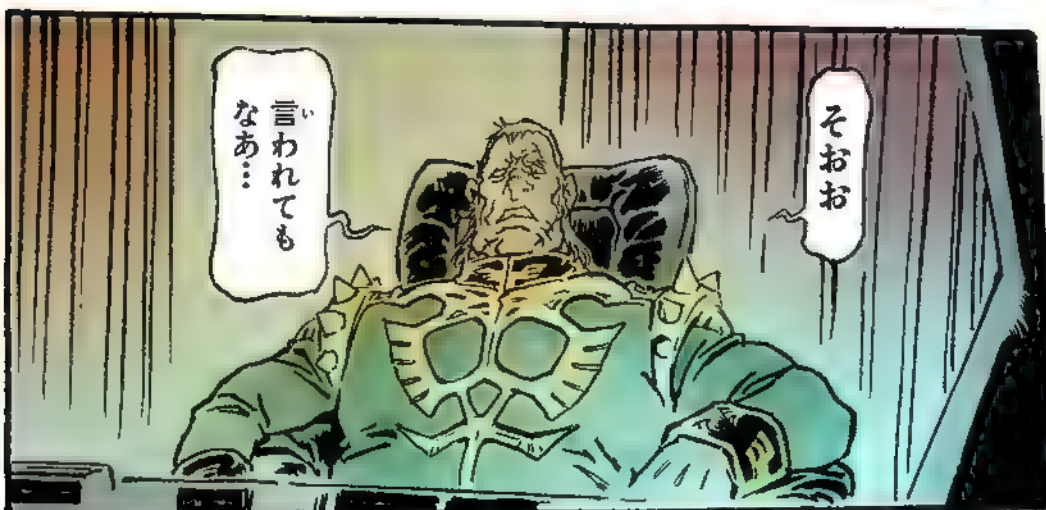
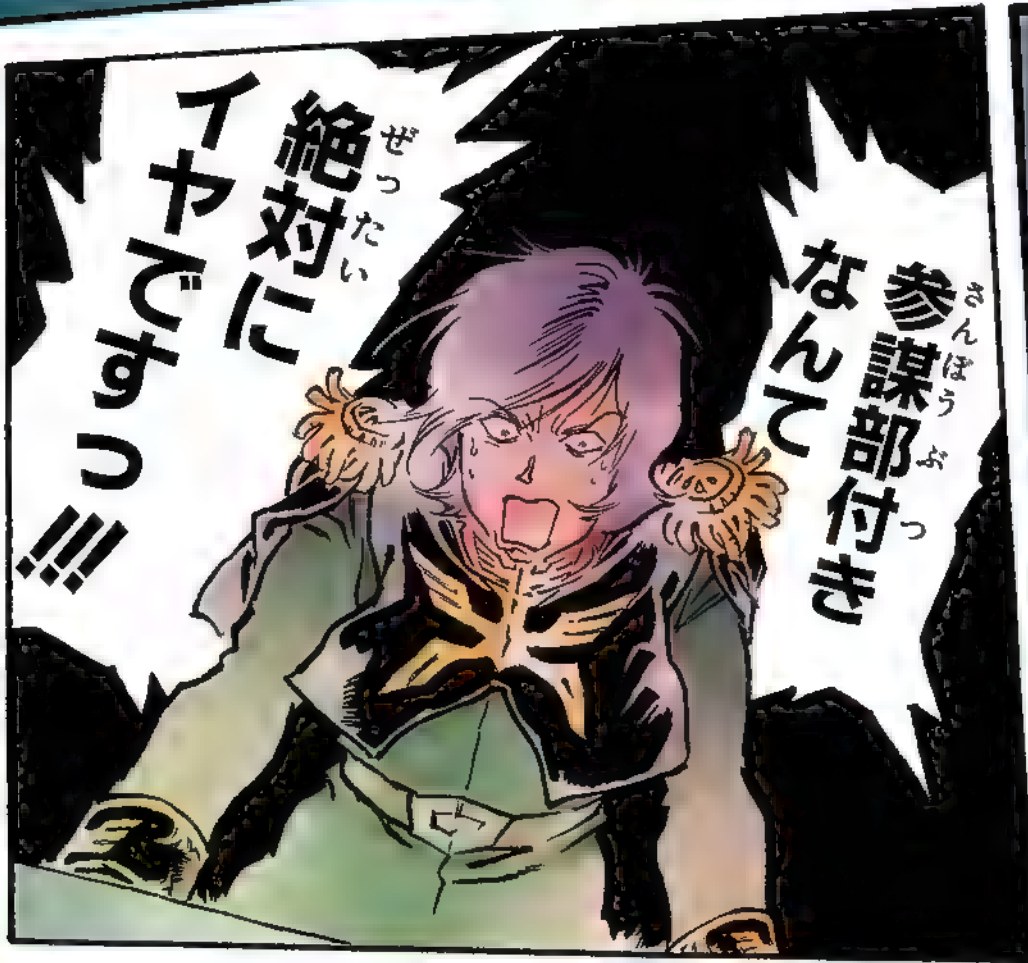
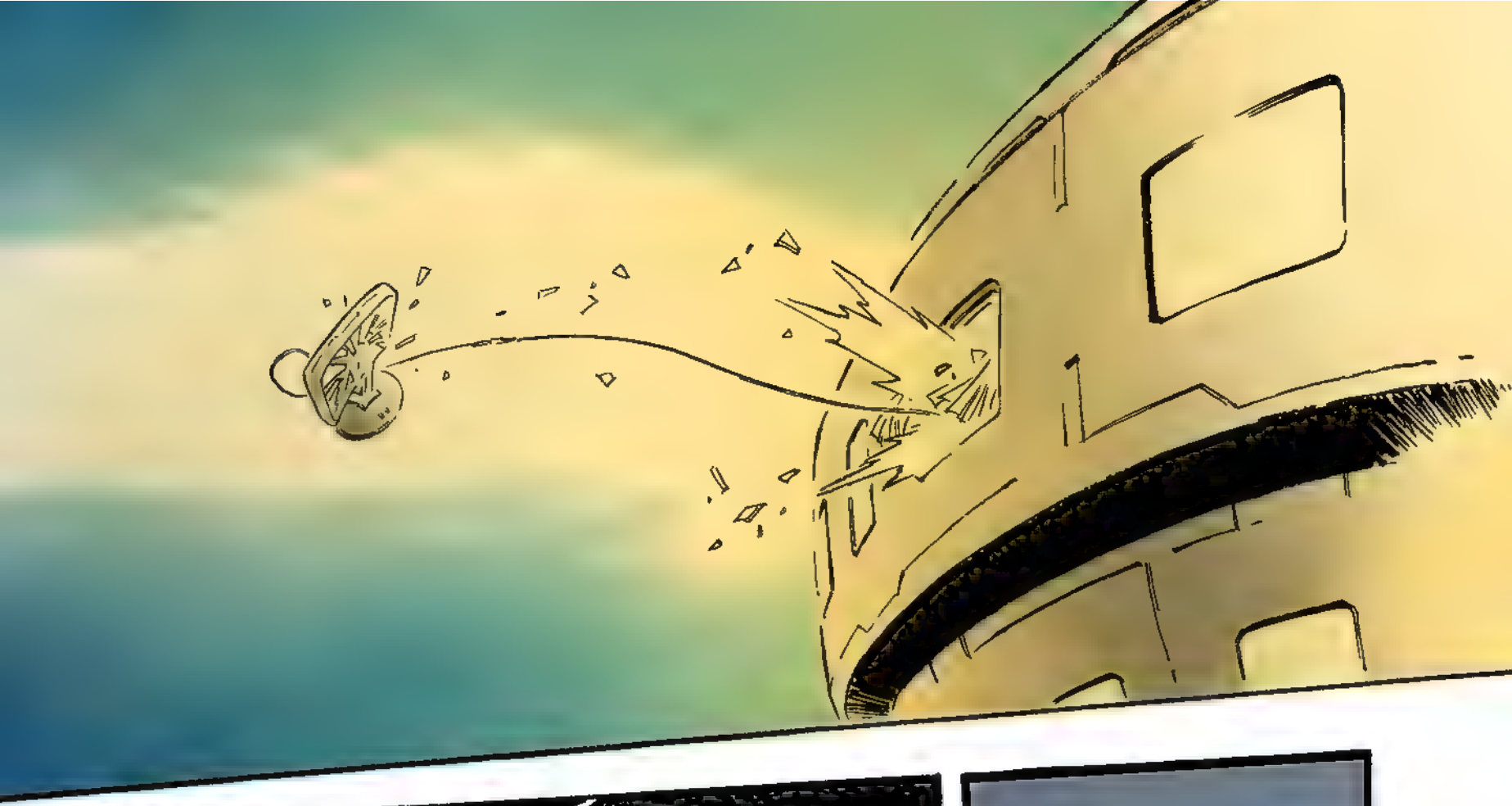
キシリアが

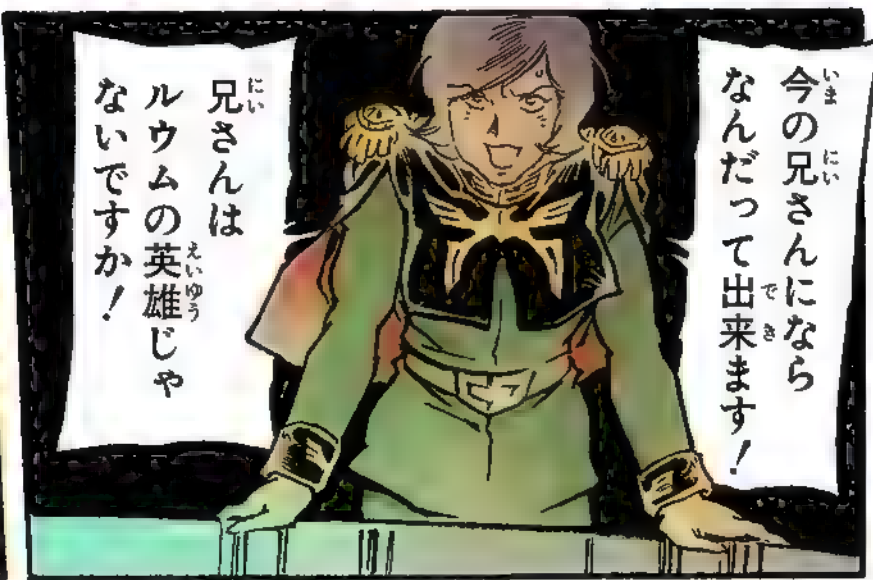
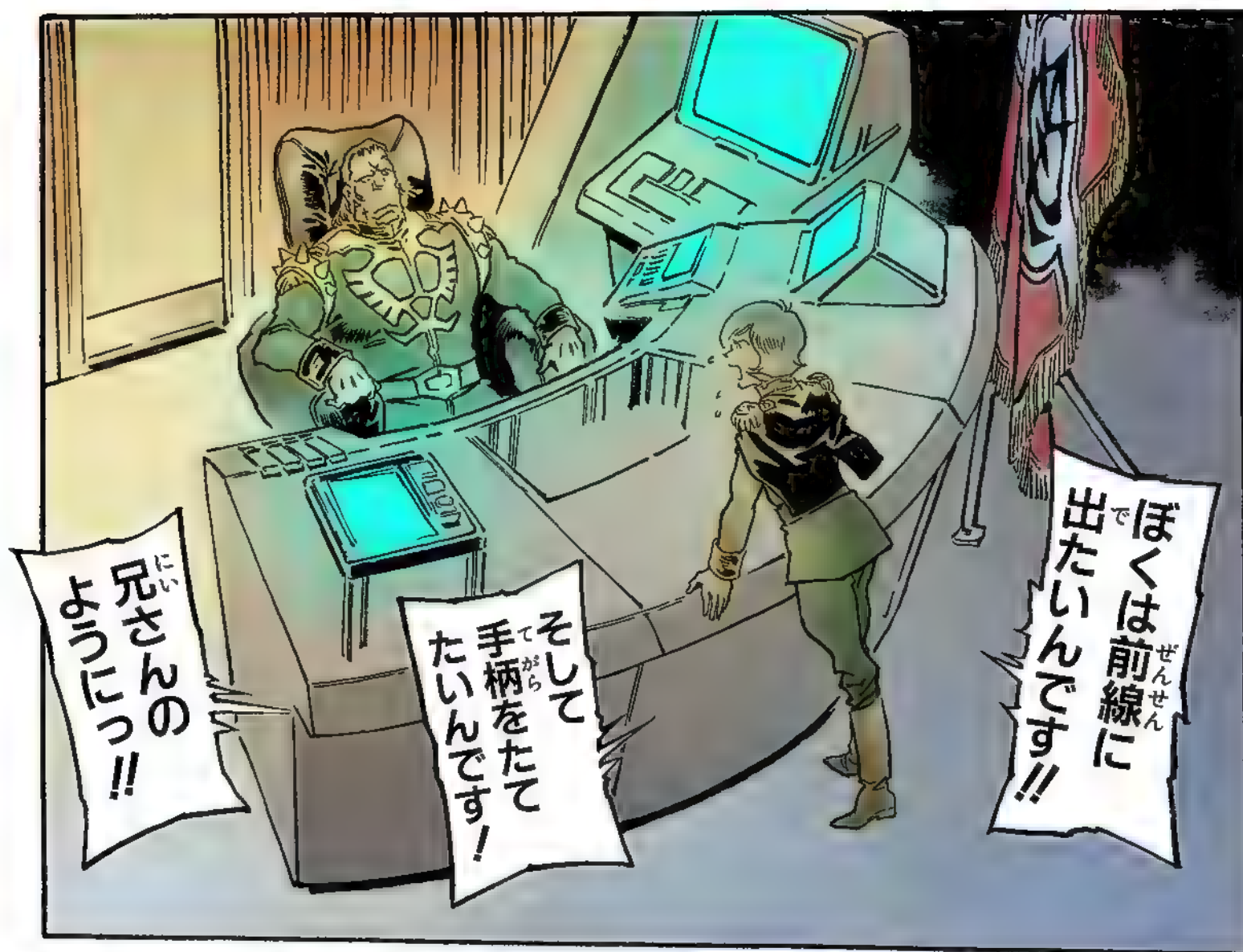
ついて
おります

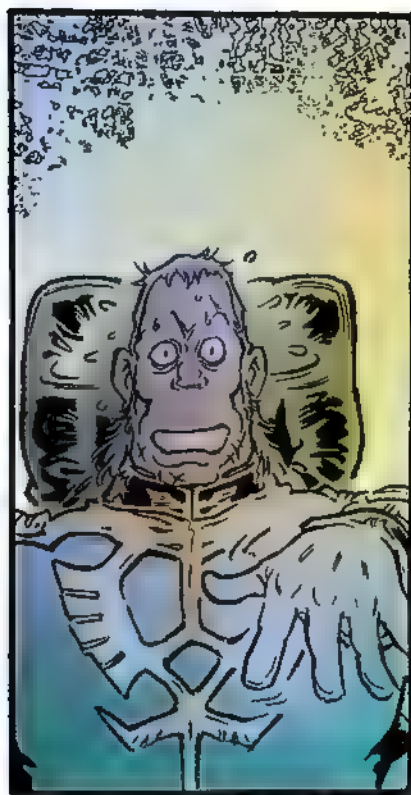
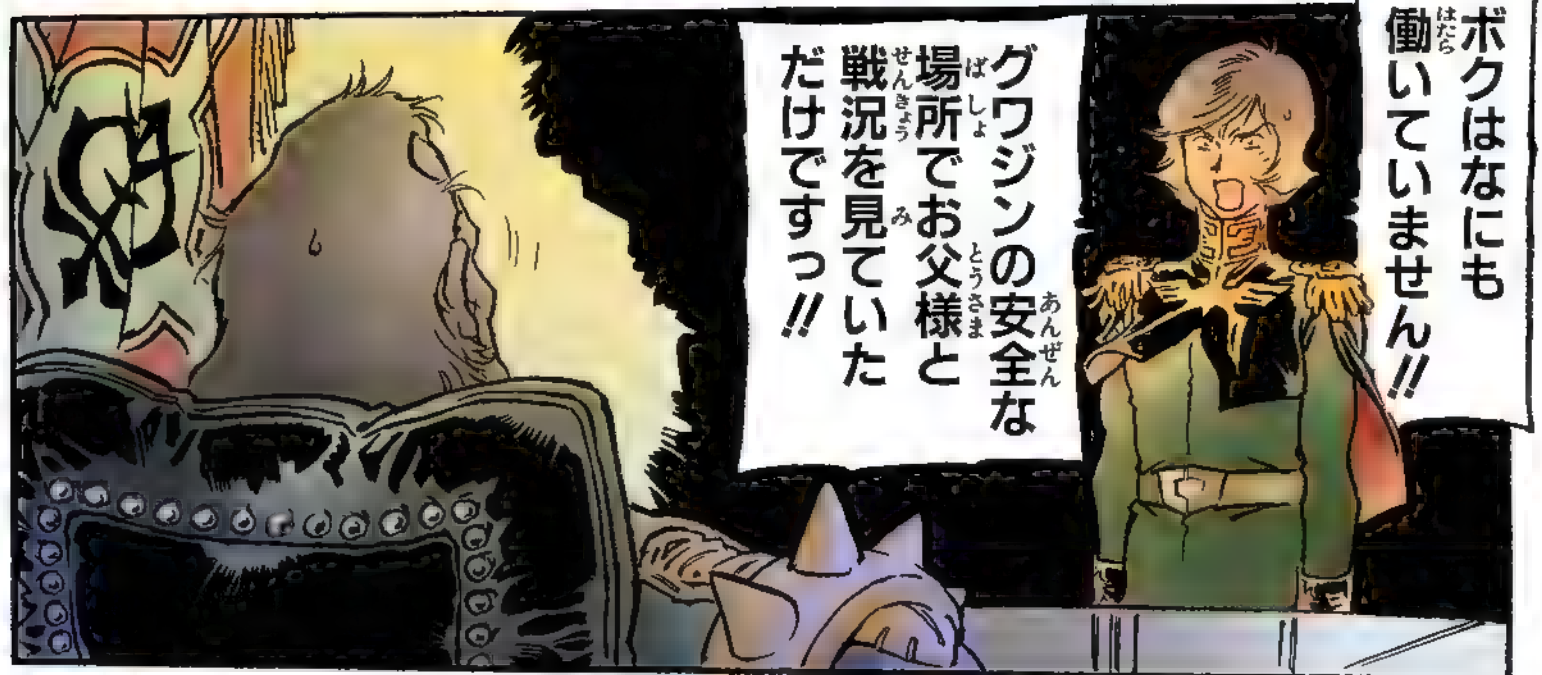


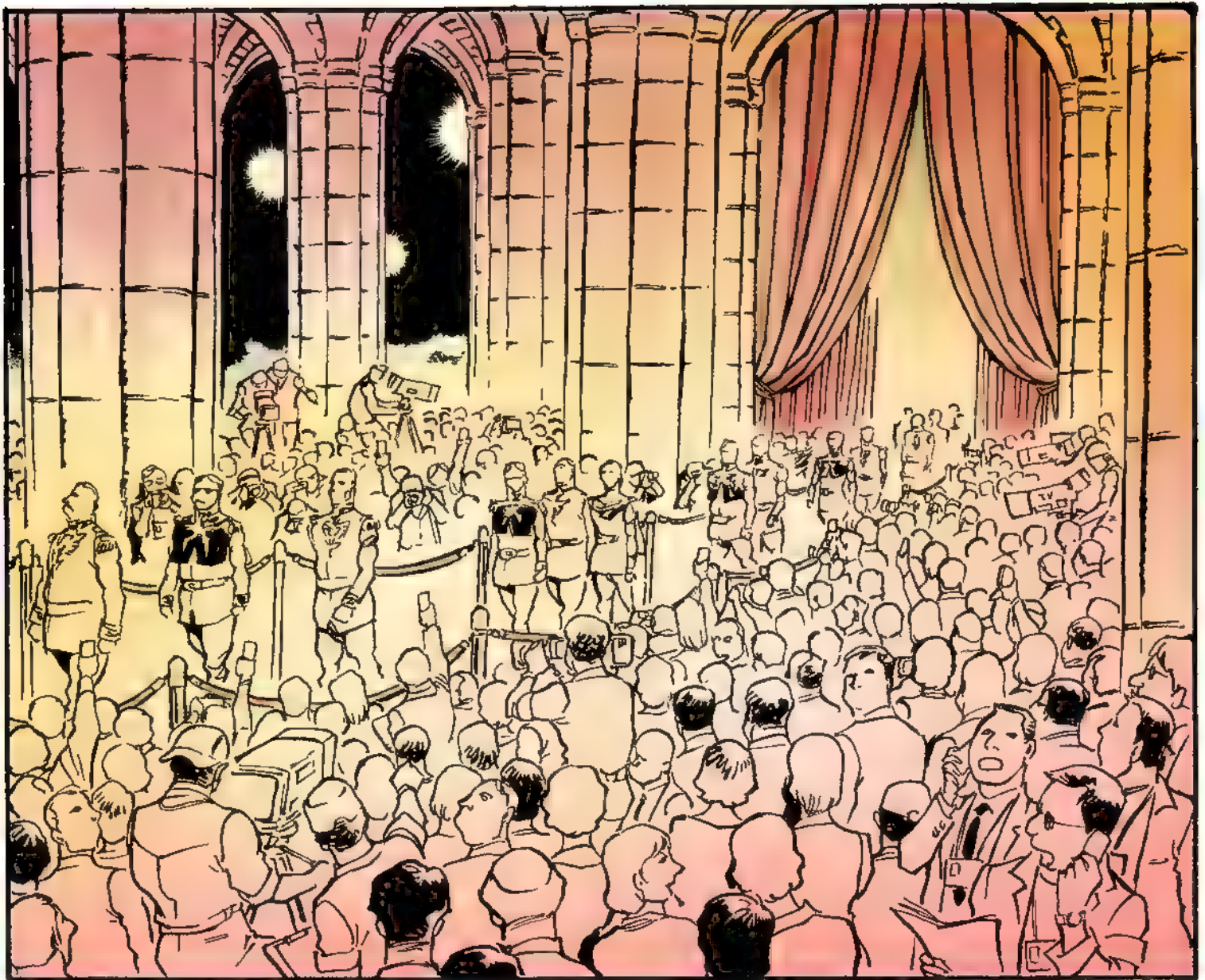
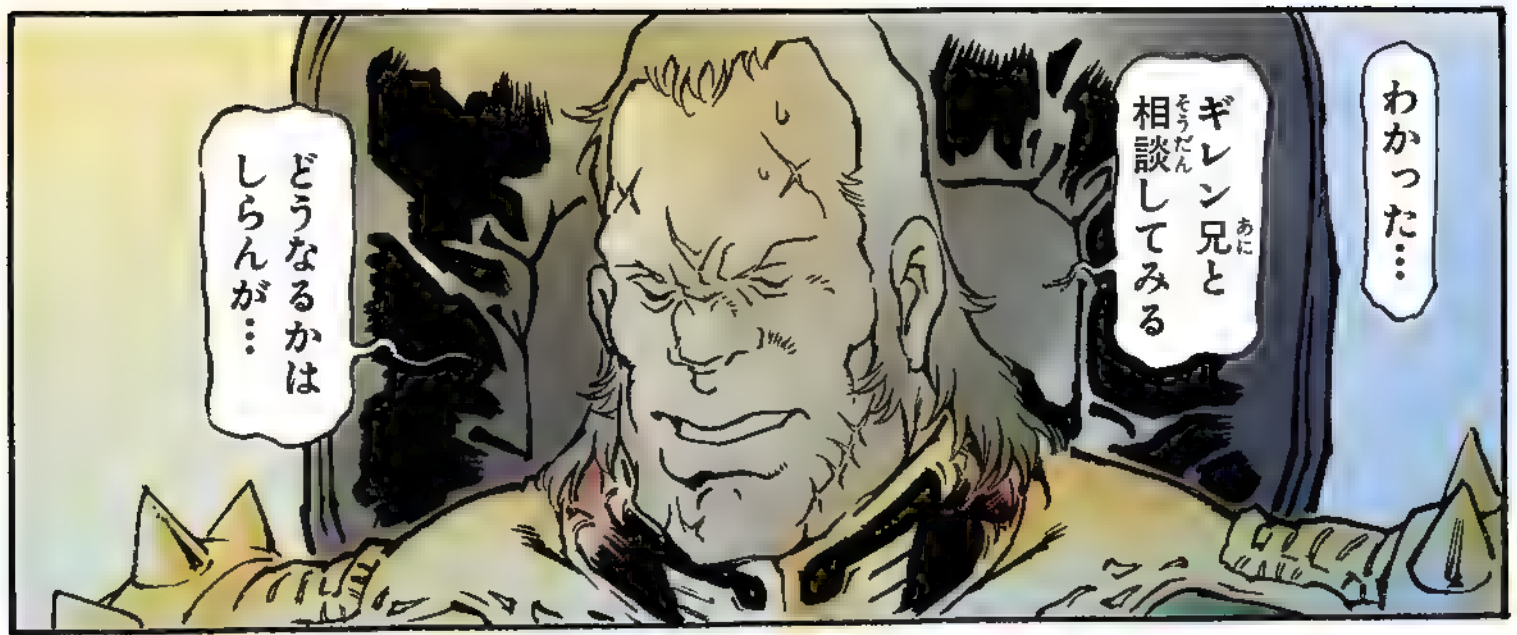








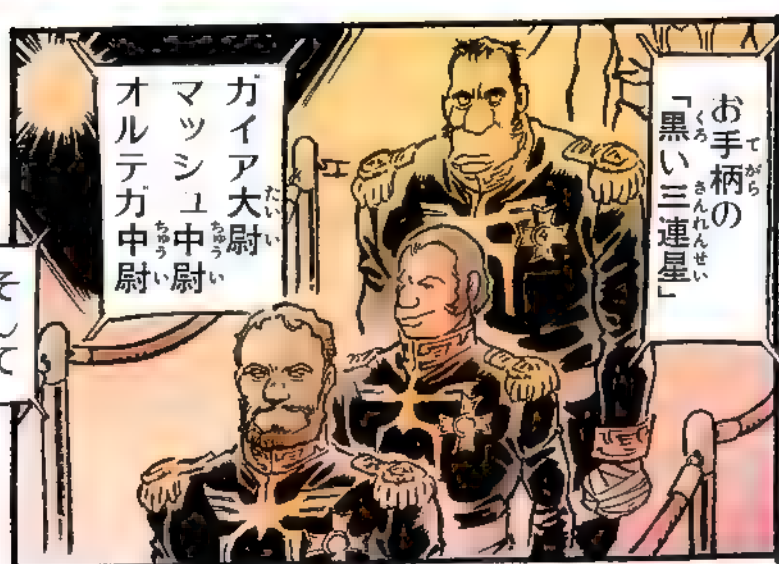






勲章伝達式を終え
諸将 勇士達は続々と

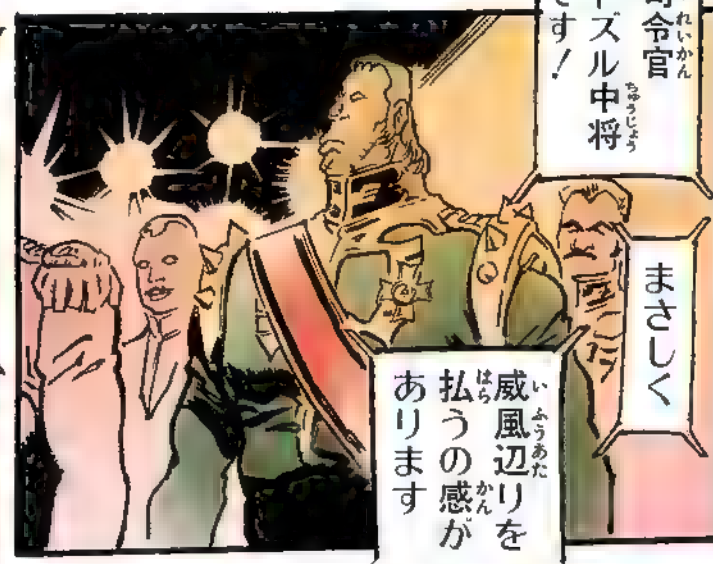
主会場である
"ダイクンの間"へ
向かうところです



お手柄の
「黒い三連星」

ガイア大尉
マッシュ中尉
オルテガ中尉

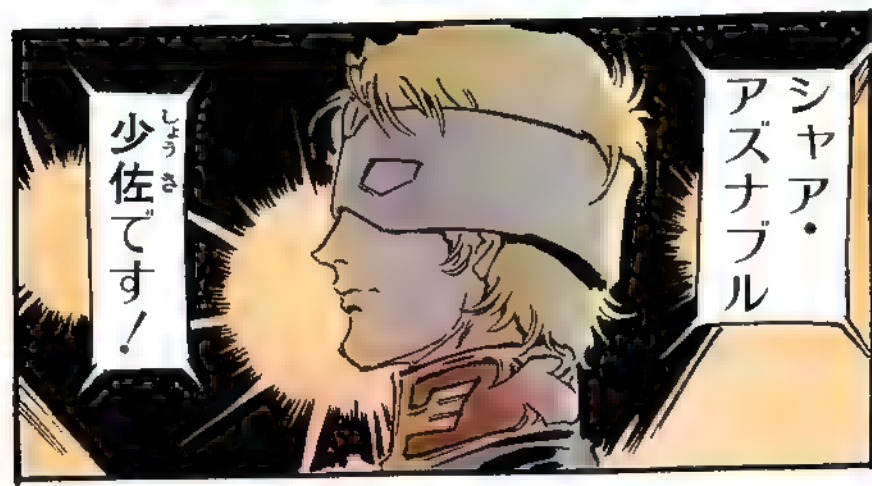
そして



司令官
ドズル中将
です！

まさしく

威风凛々を
払うの感が
あります



シャア・
アズナブル

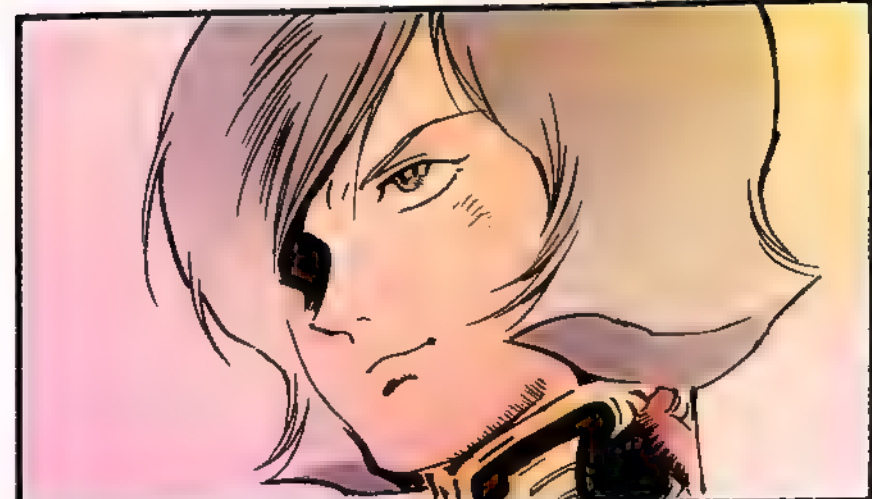
少佐です！

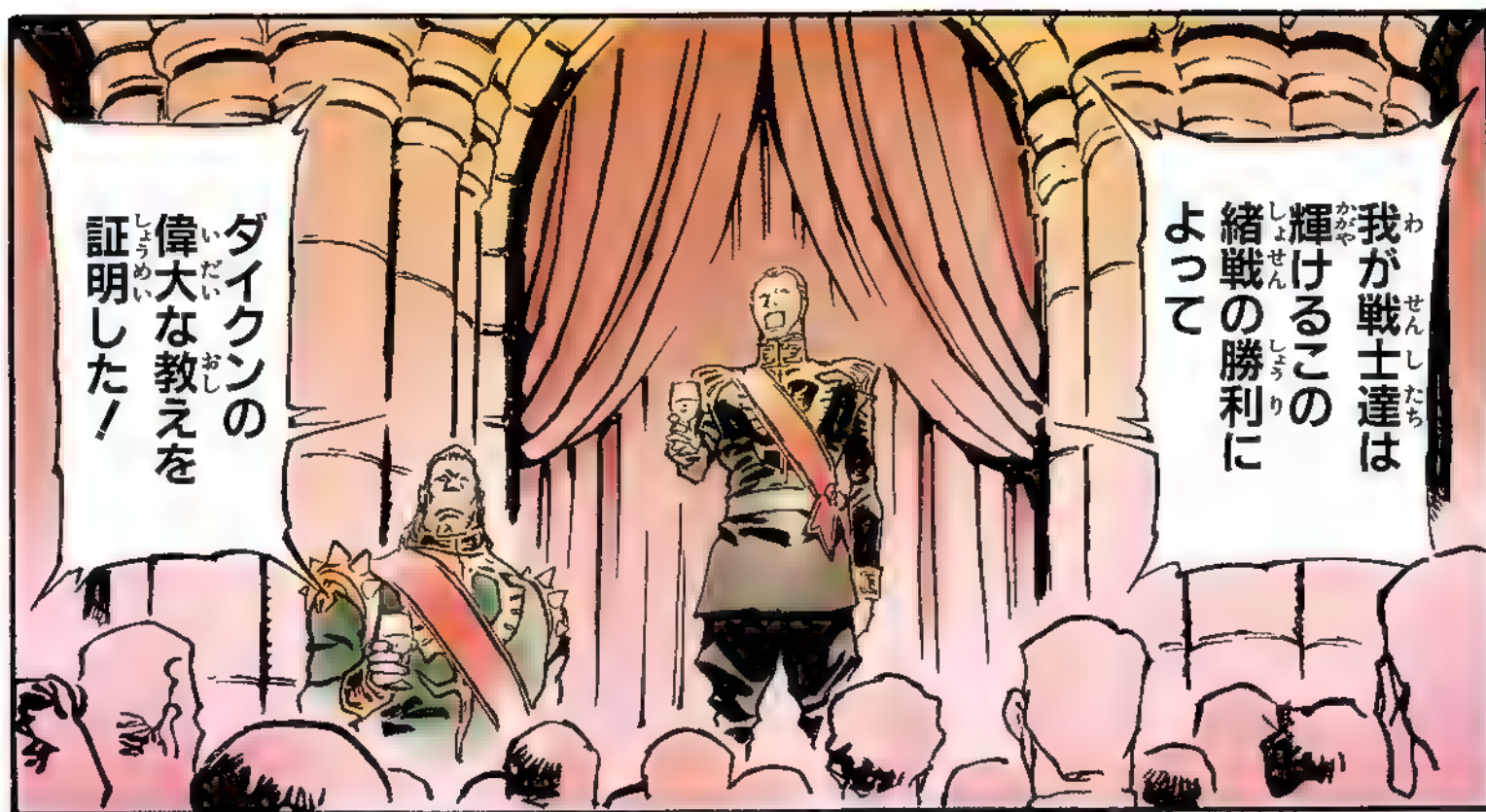


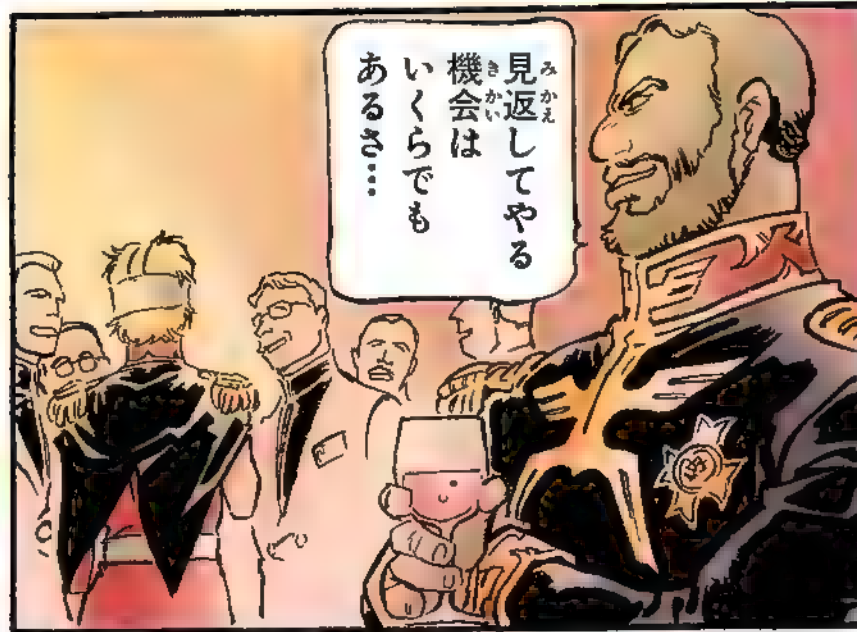
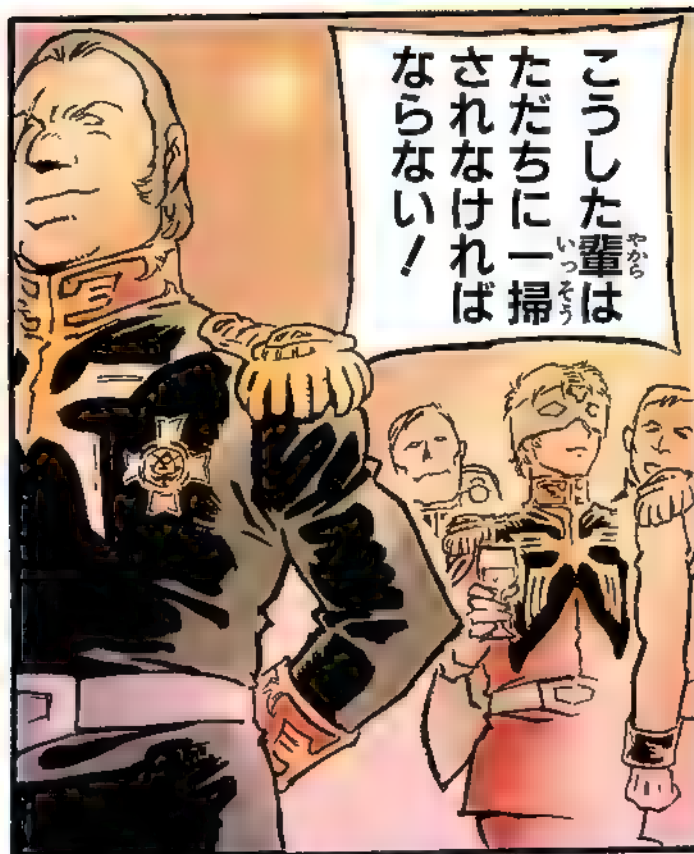
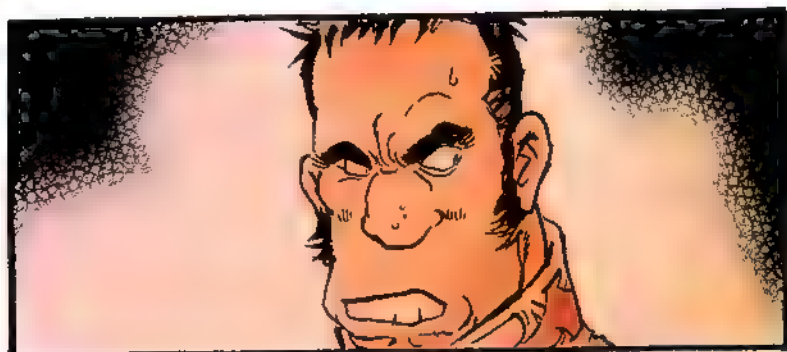
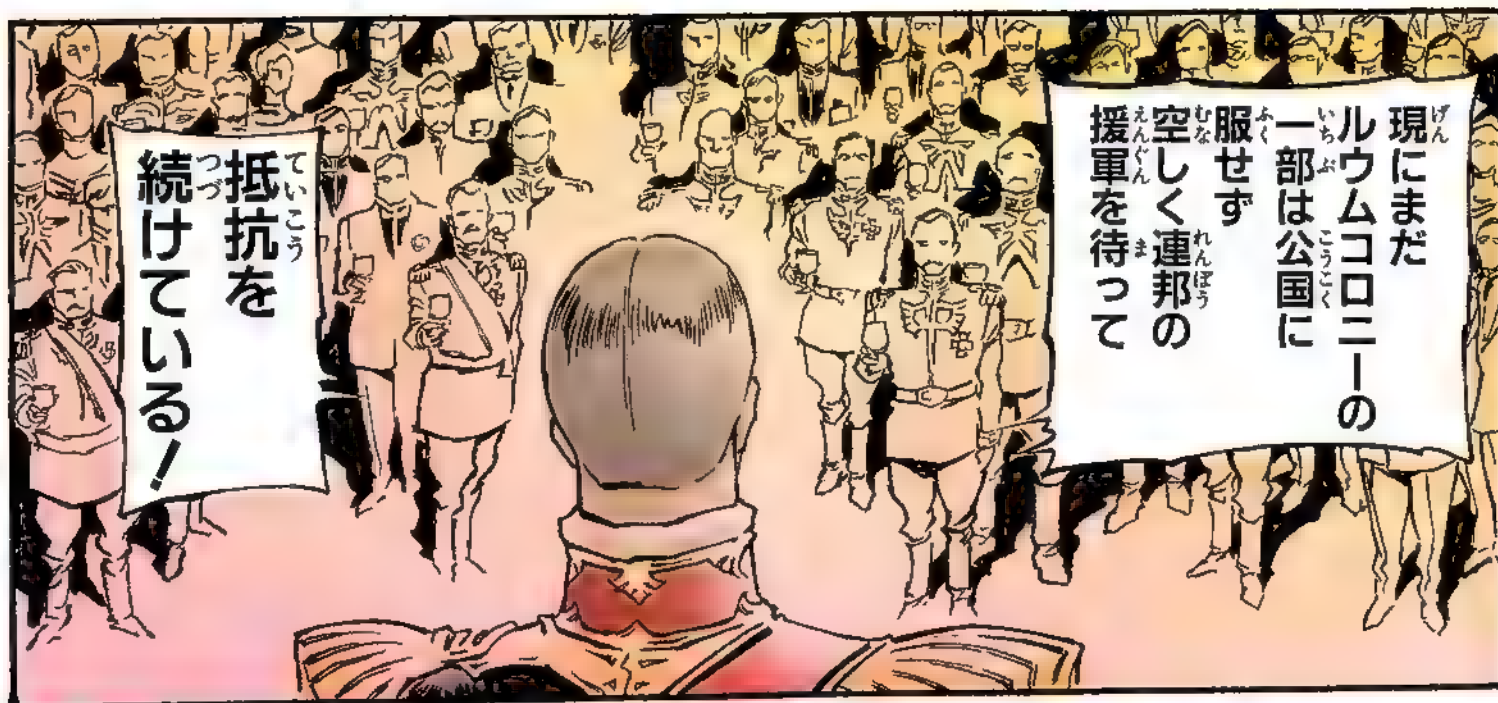
エース中のエース
「赤い彗星」

シャア中尉
いや

さっそうと佐官の
マントを翻す





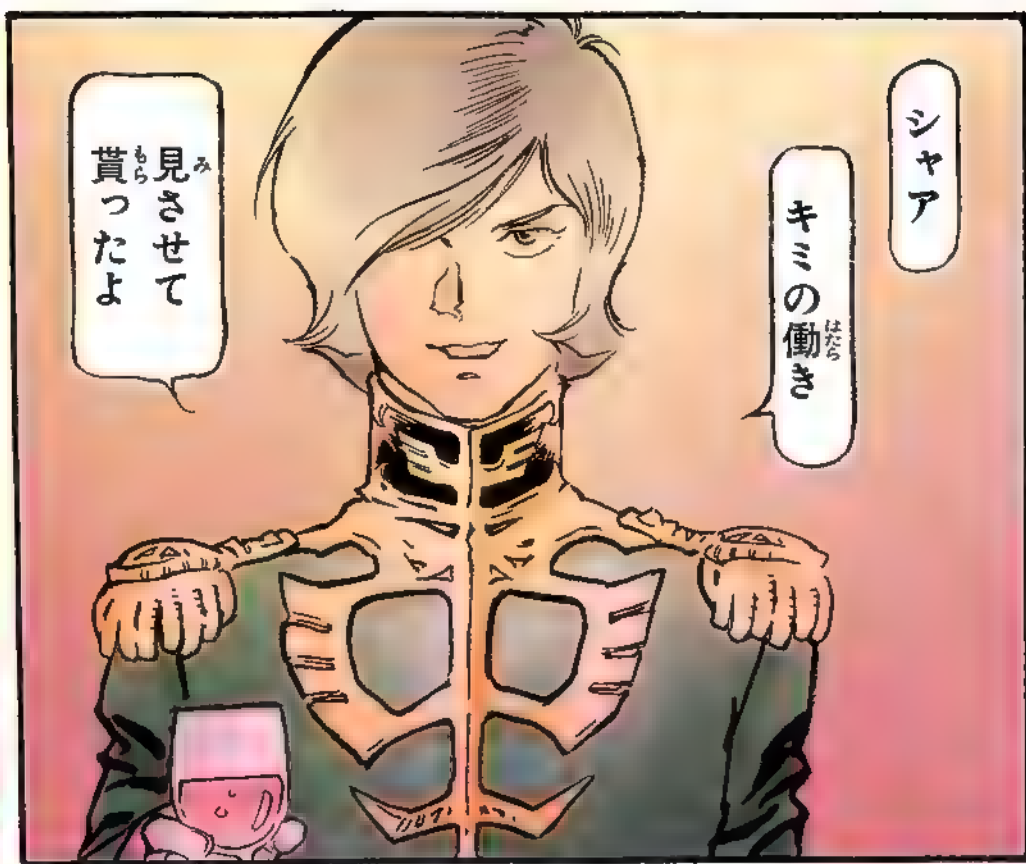




ガルマ

キミも
立派に
なったな

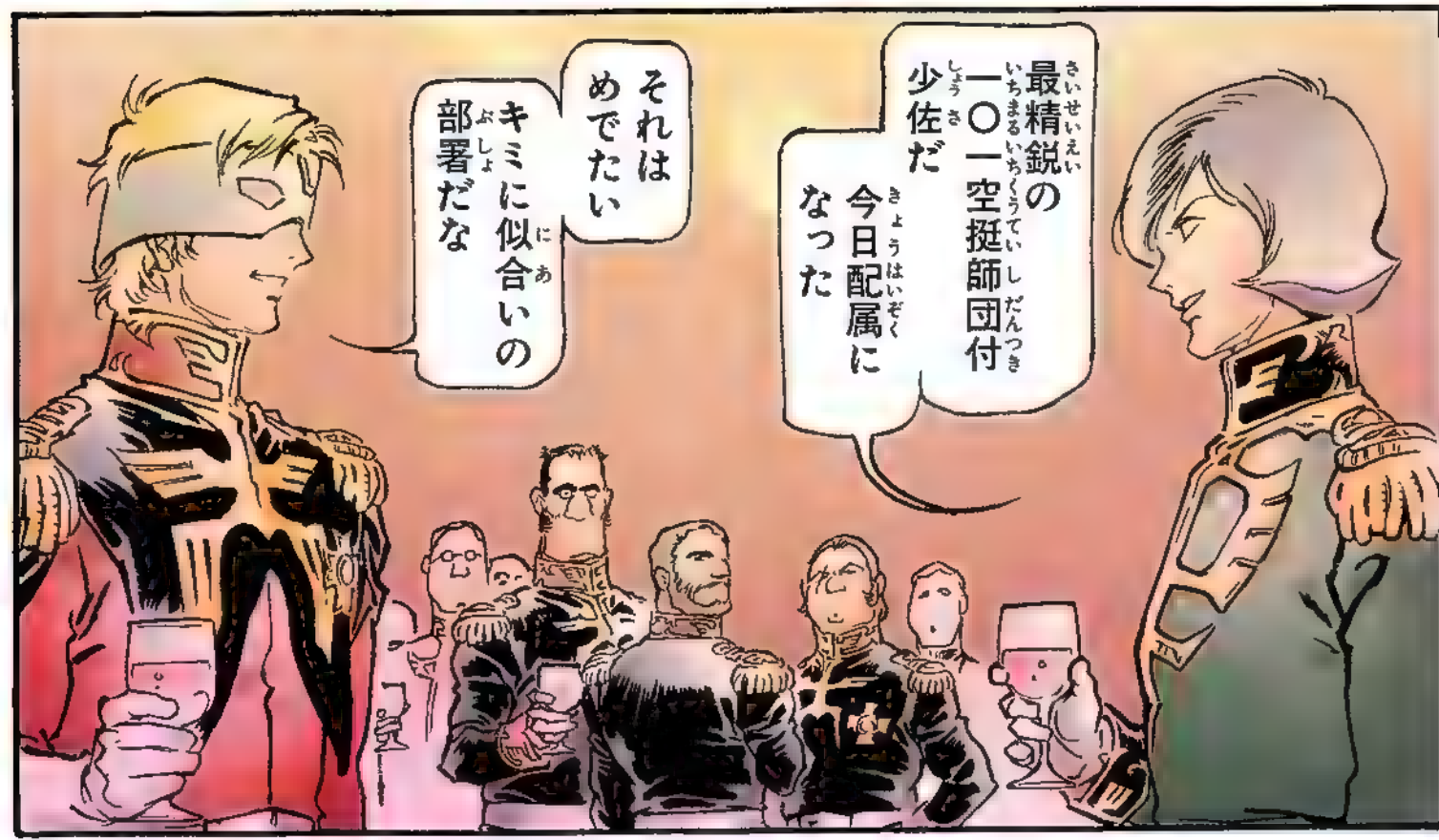
ずいぶん



シャア

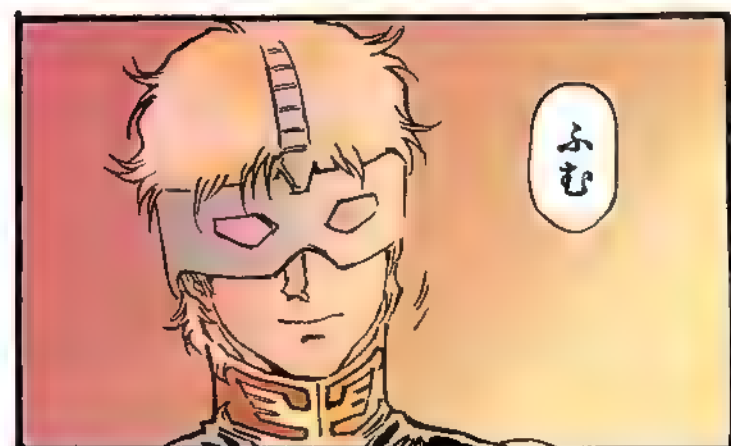
キミの働き
はだか

見させて
貰ったよ



最精鋭の
一〇一空挺師団付
少佐だ
今日配属に
なった

それは
めでたい
キミに似合いの
部署だな



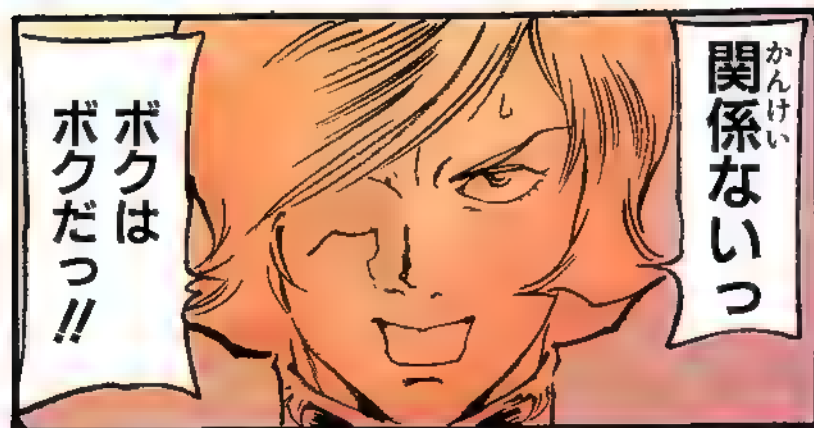
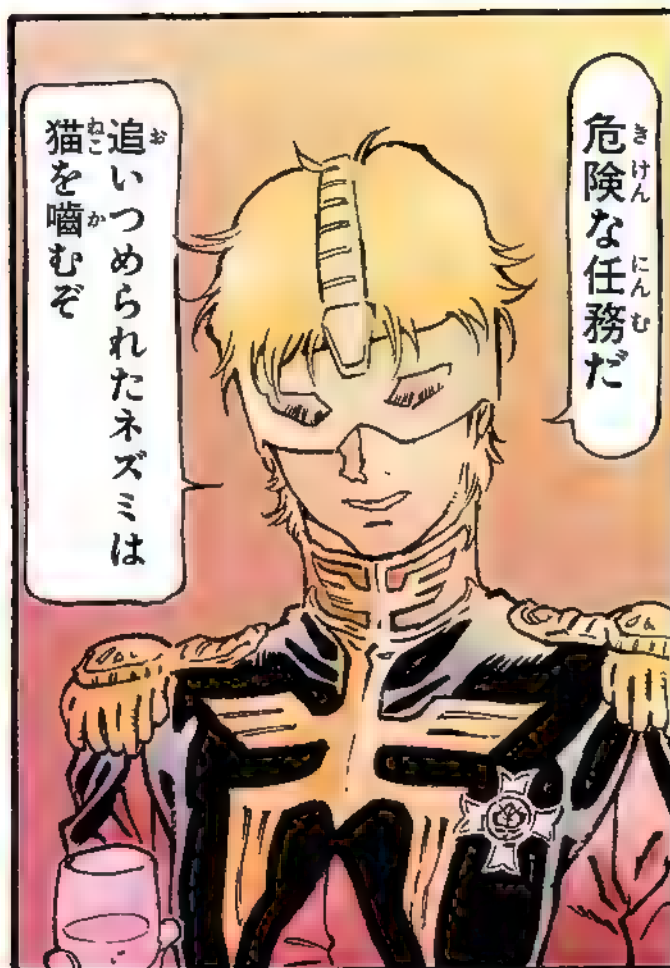
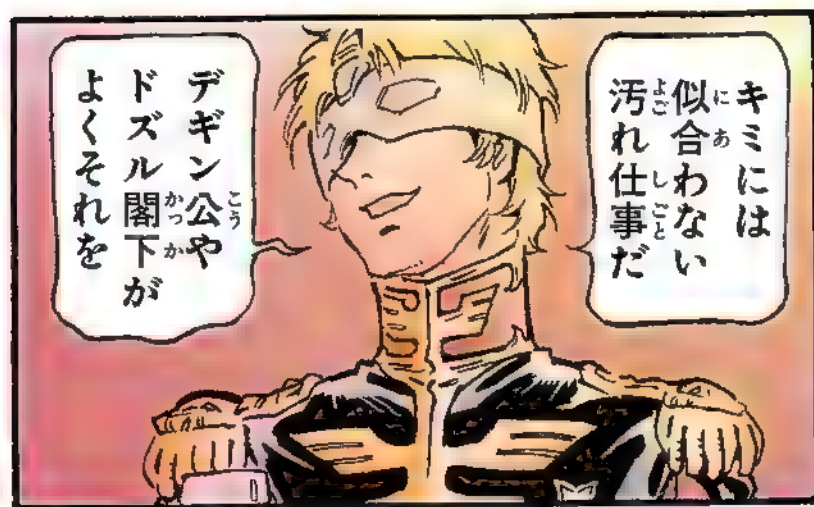
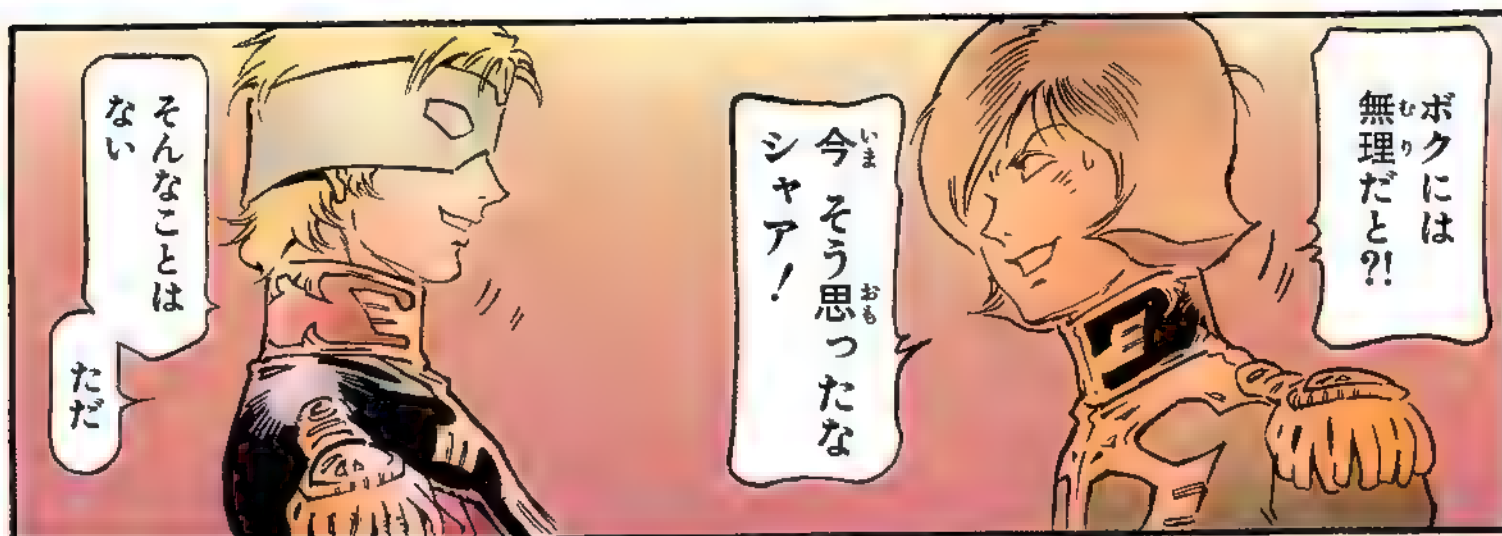
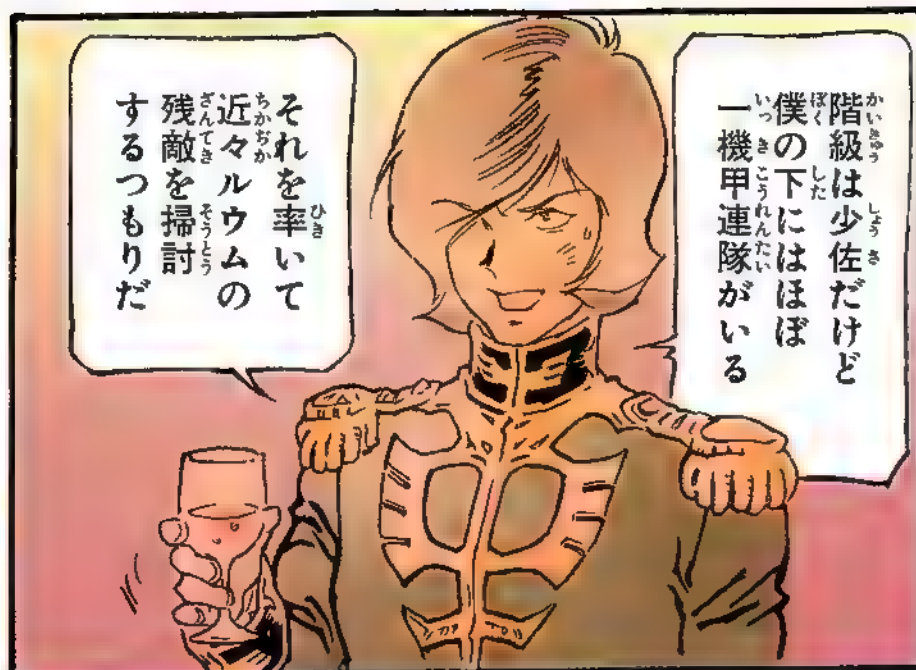
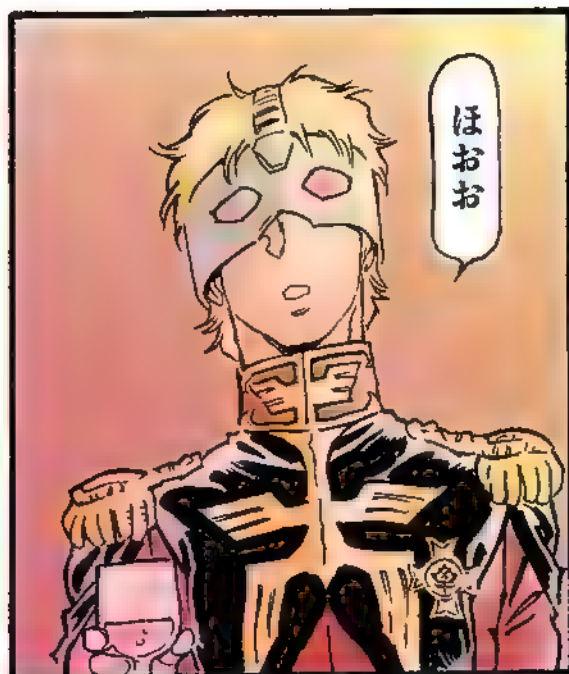
ふむ

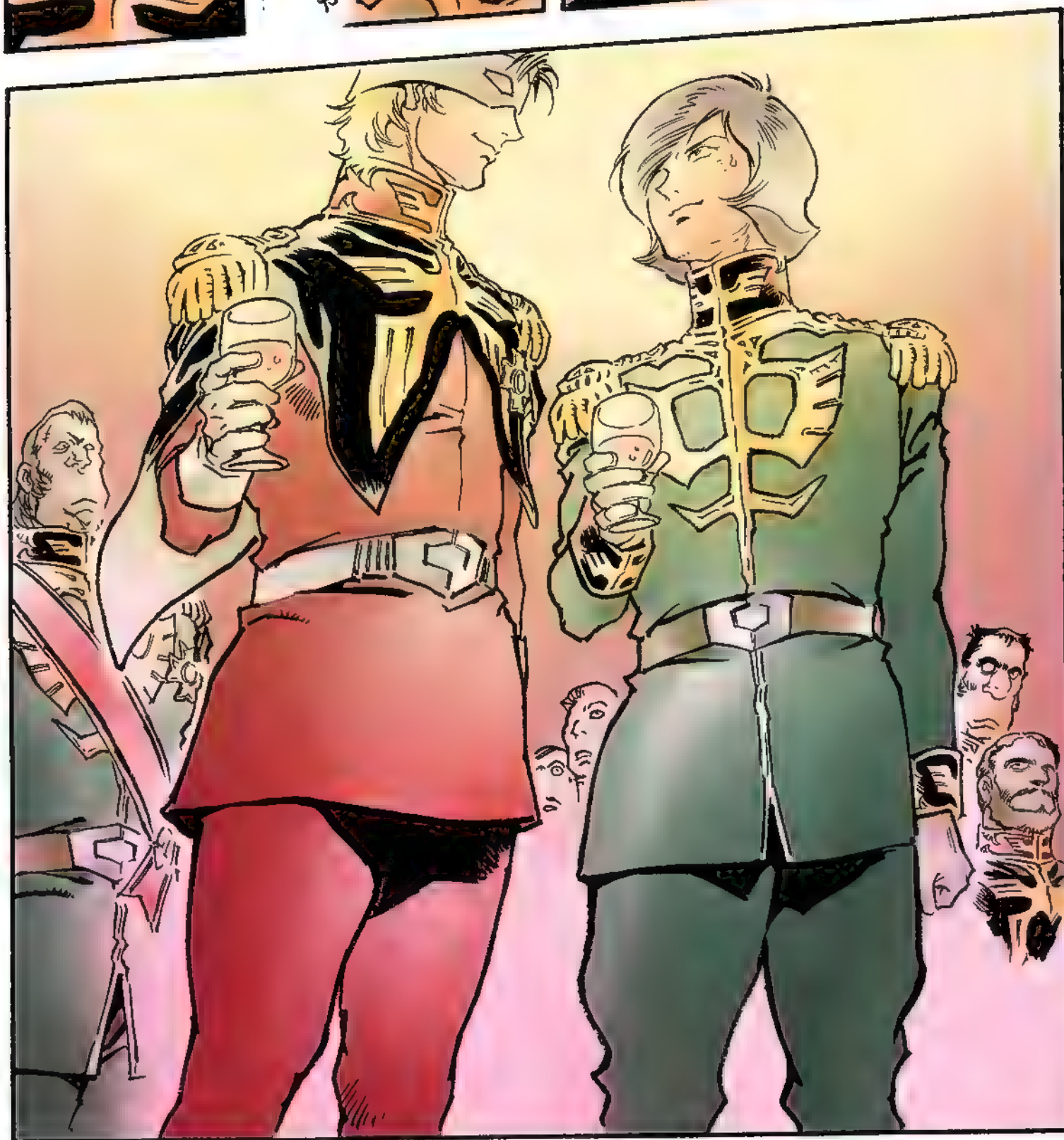
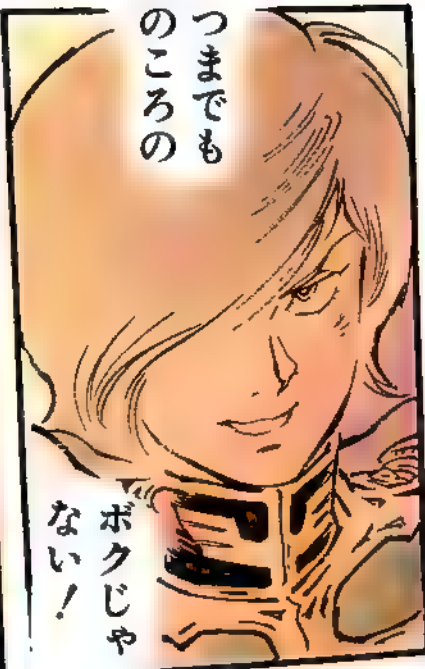


艦隊戦と
ちがって

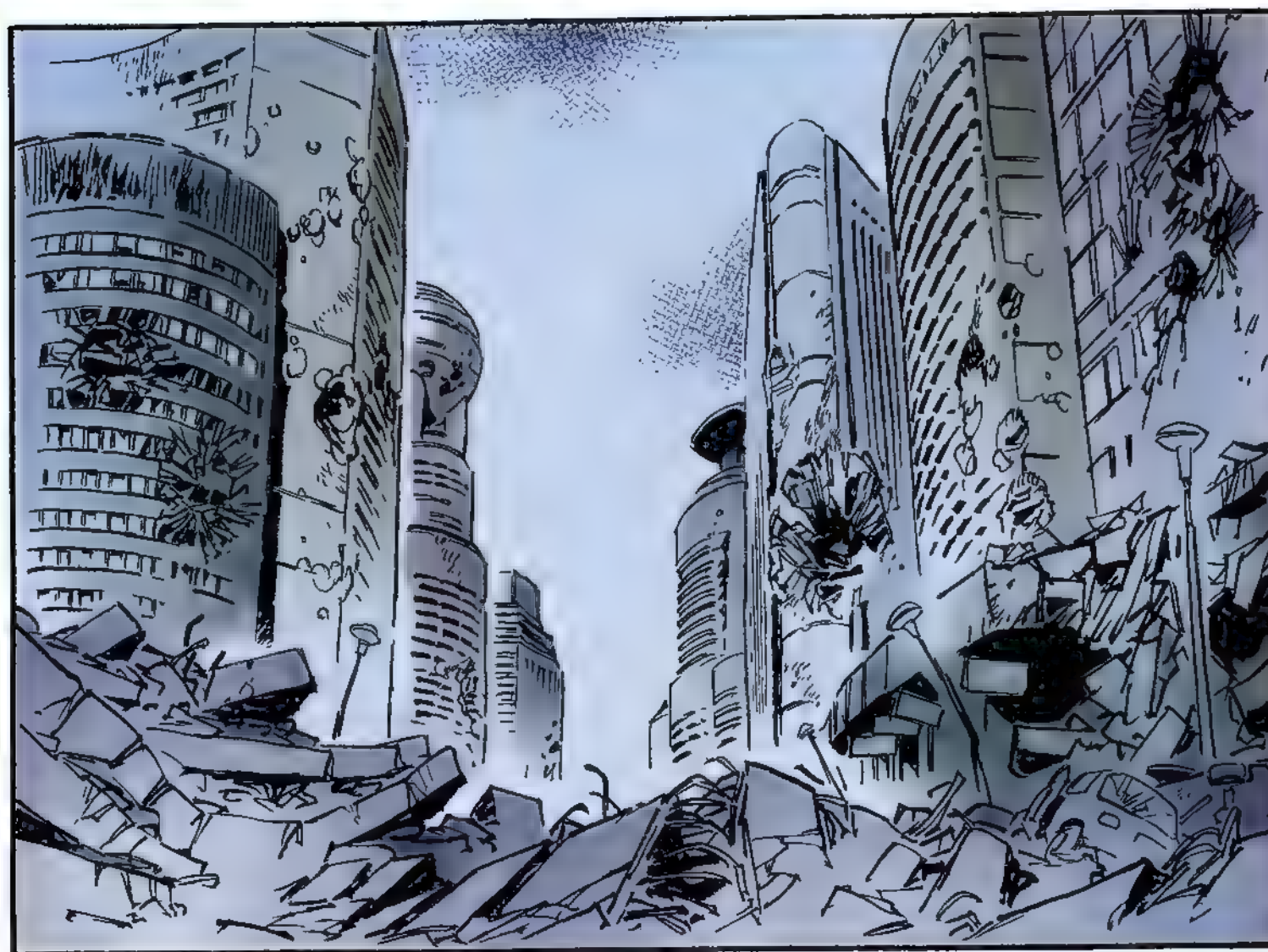
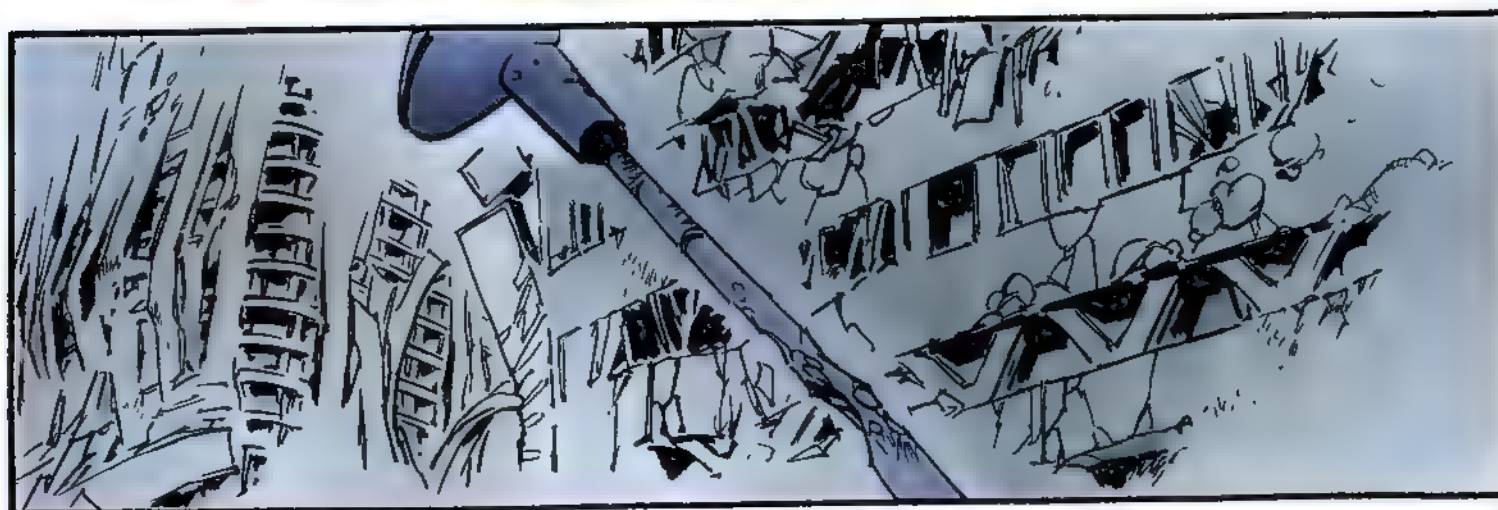
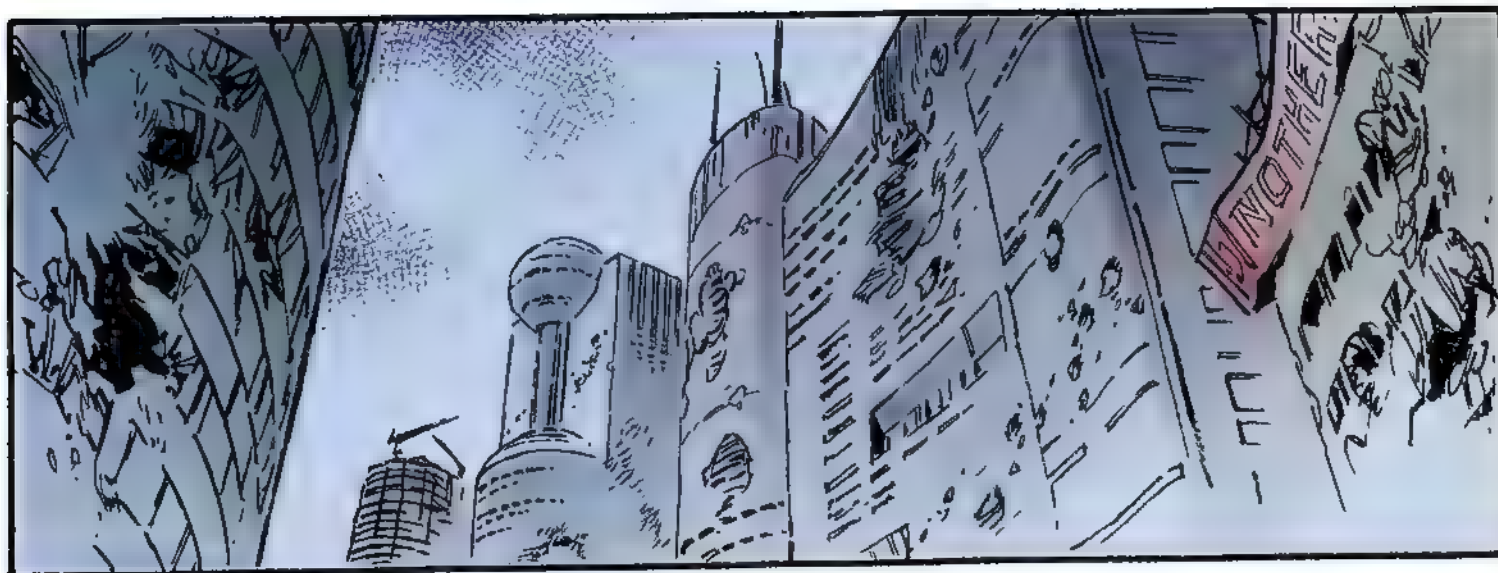
地上部隊での
制圧は難儀だ

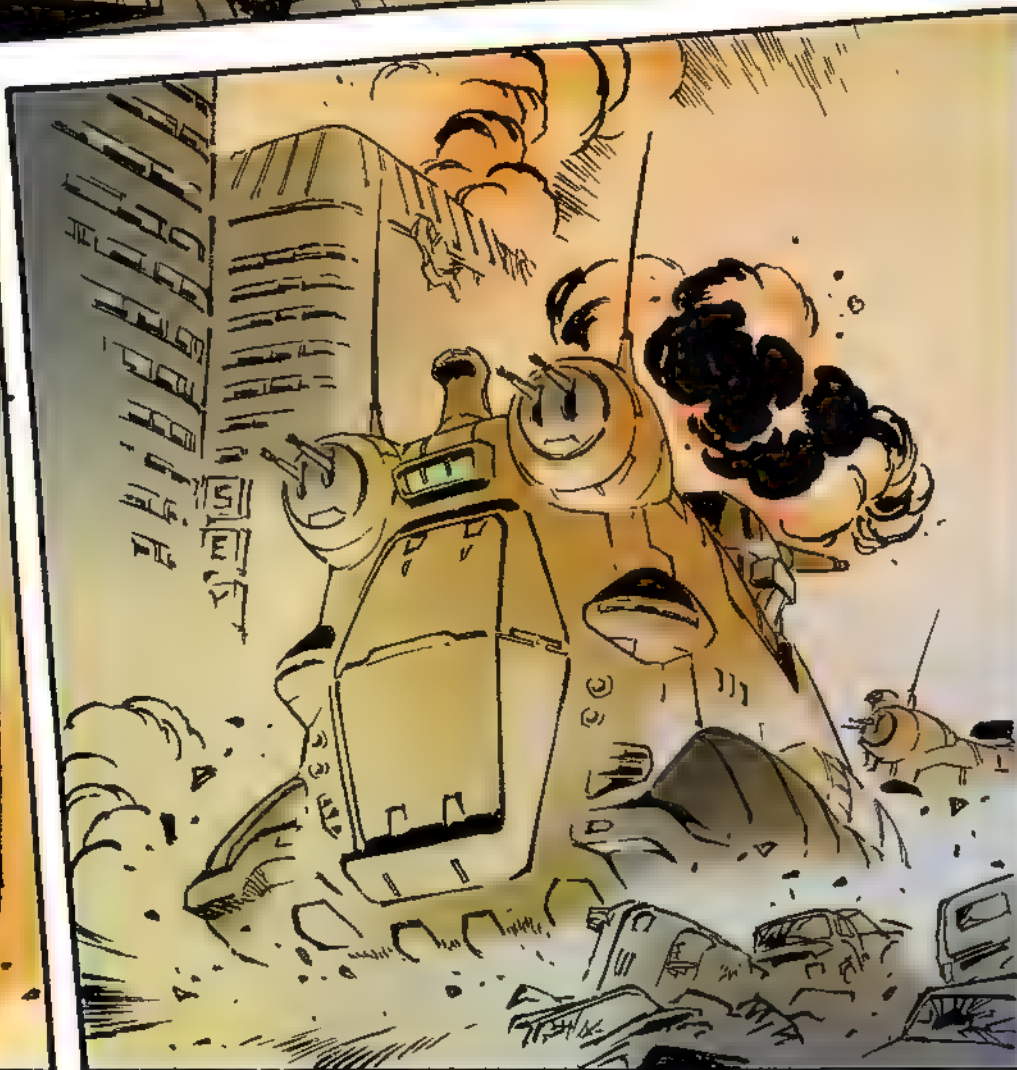
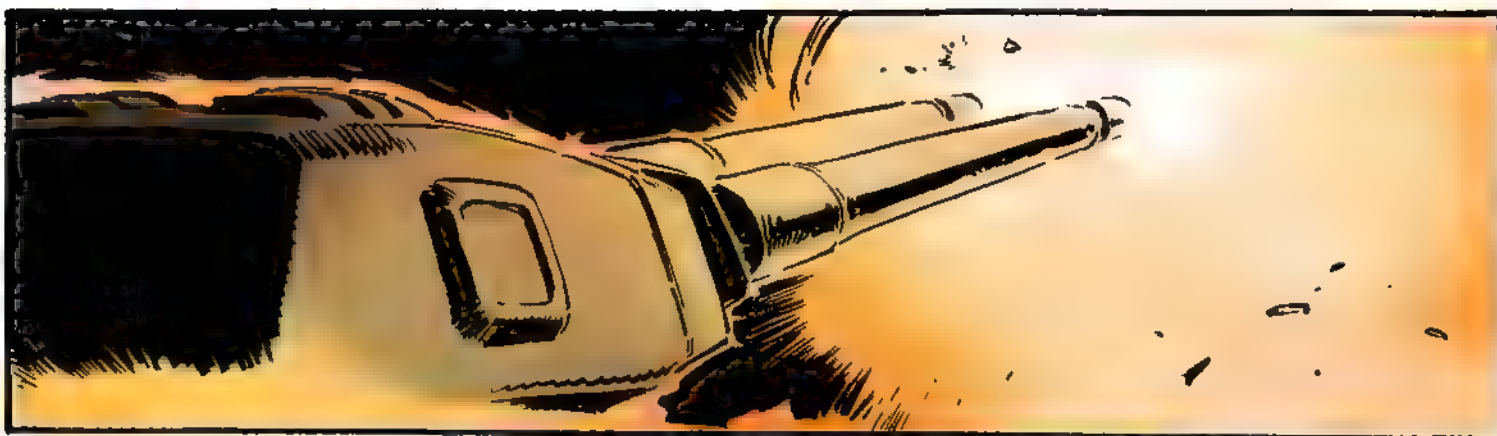
泥と血に
まみれる

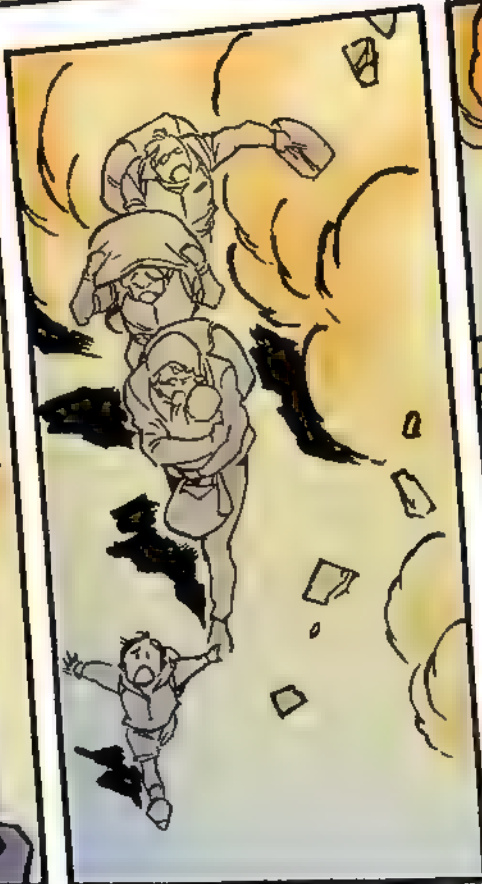
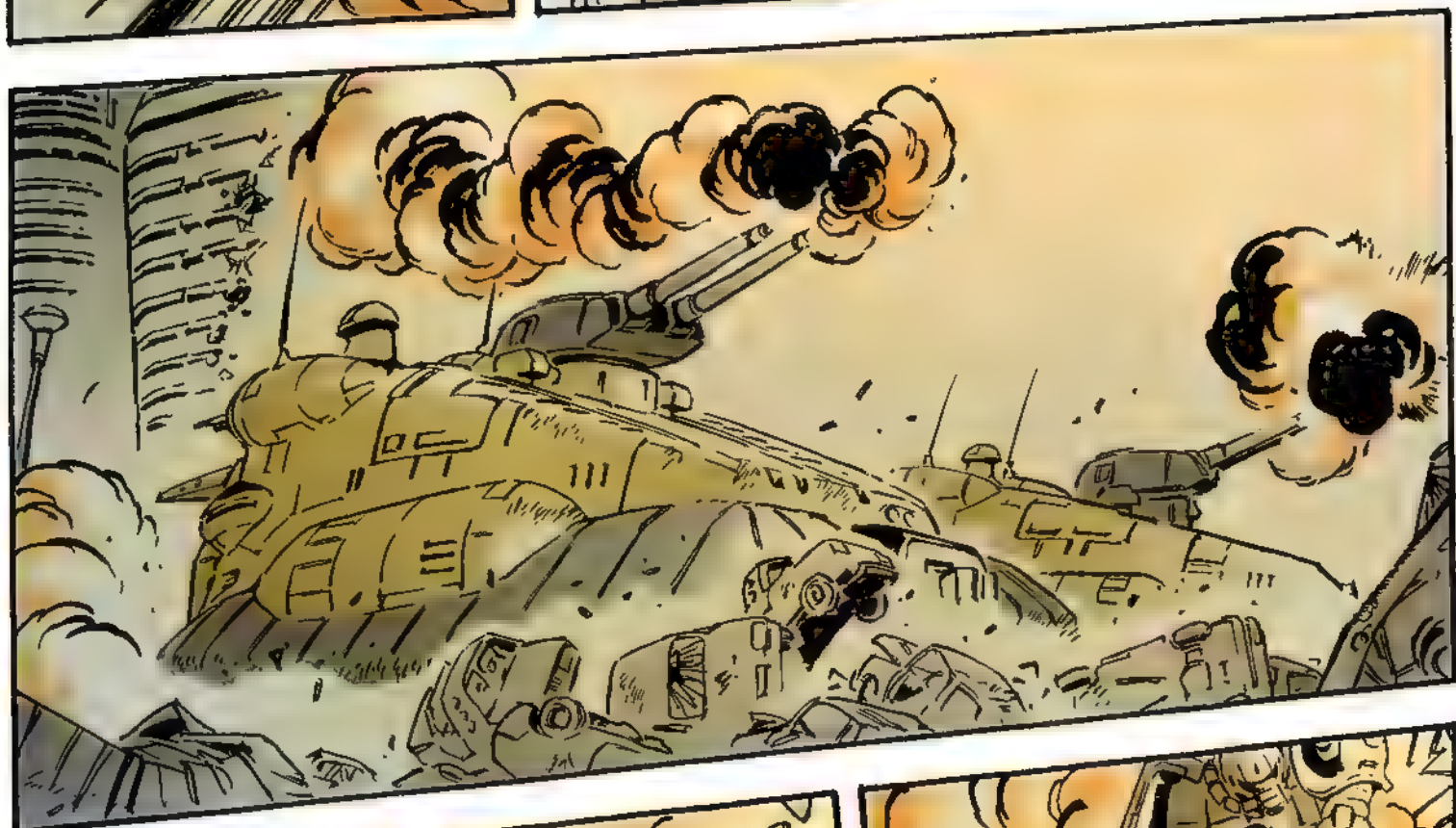
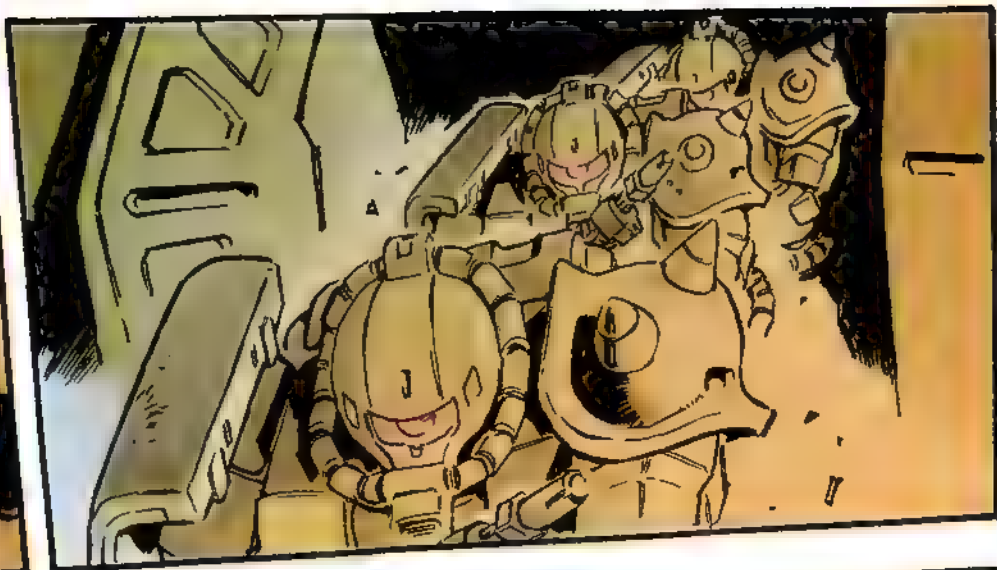
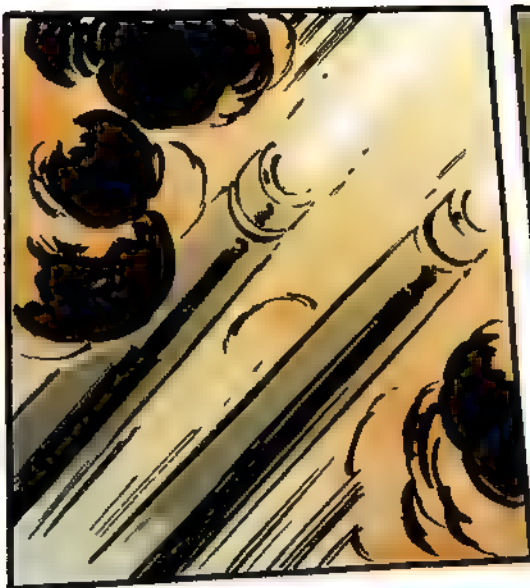


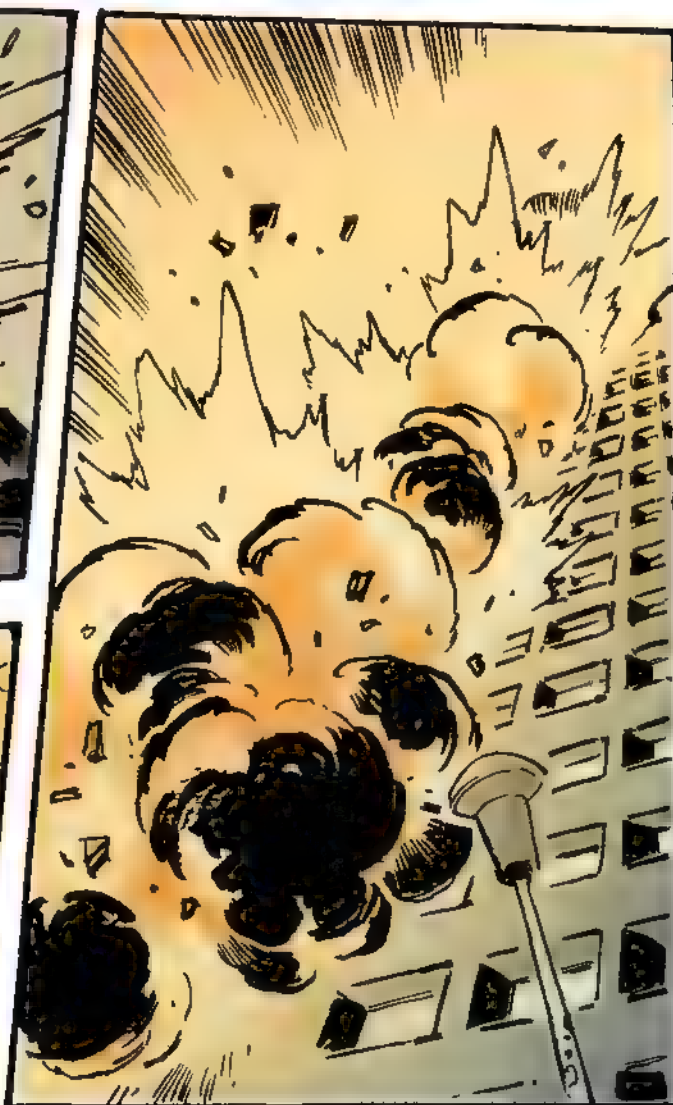
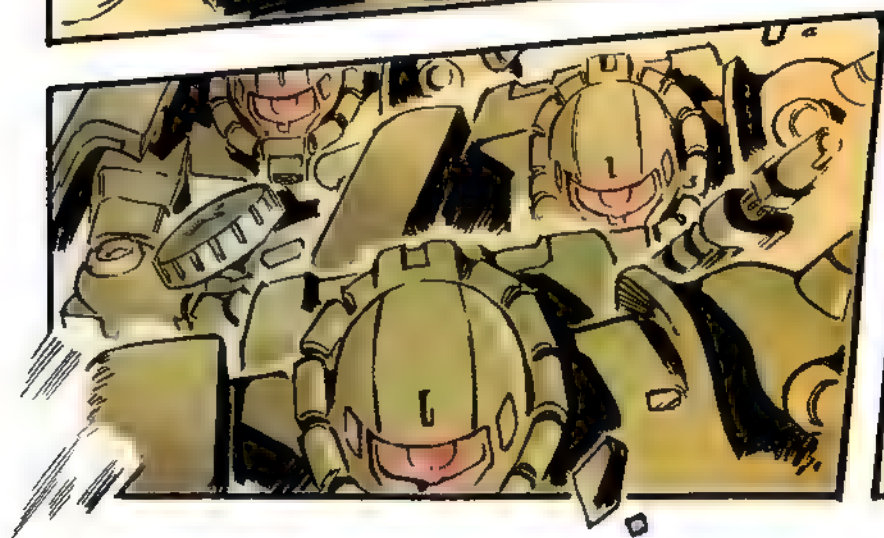
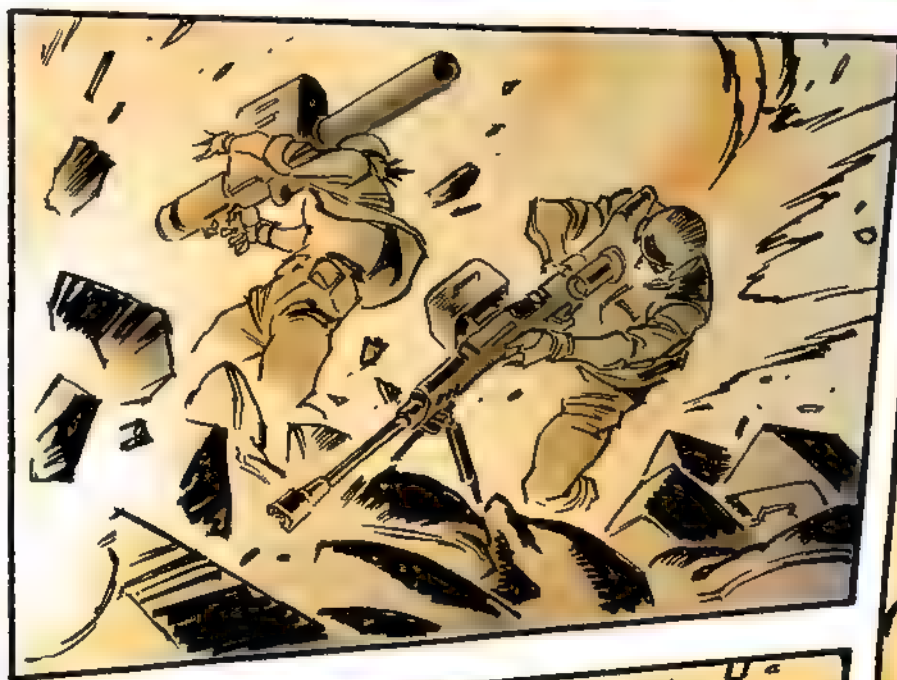
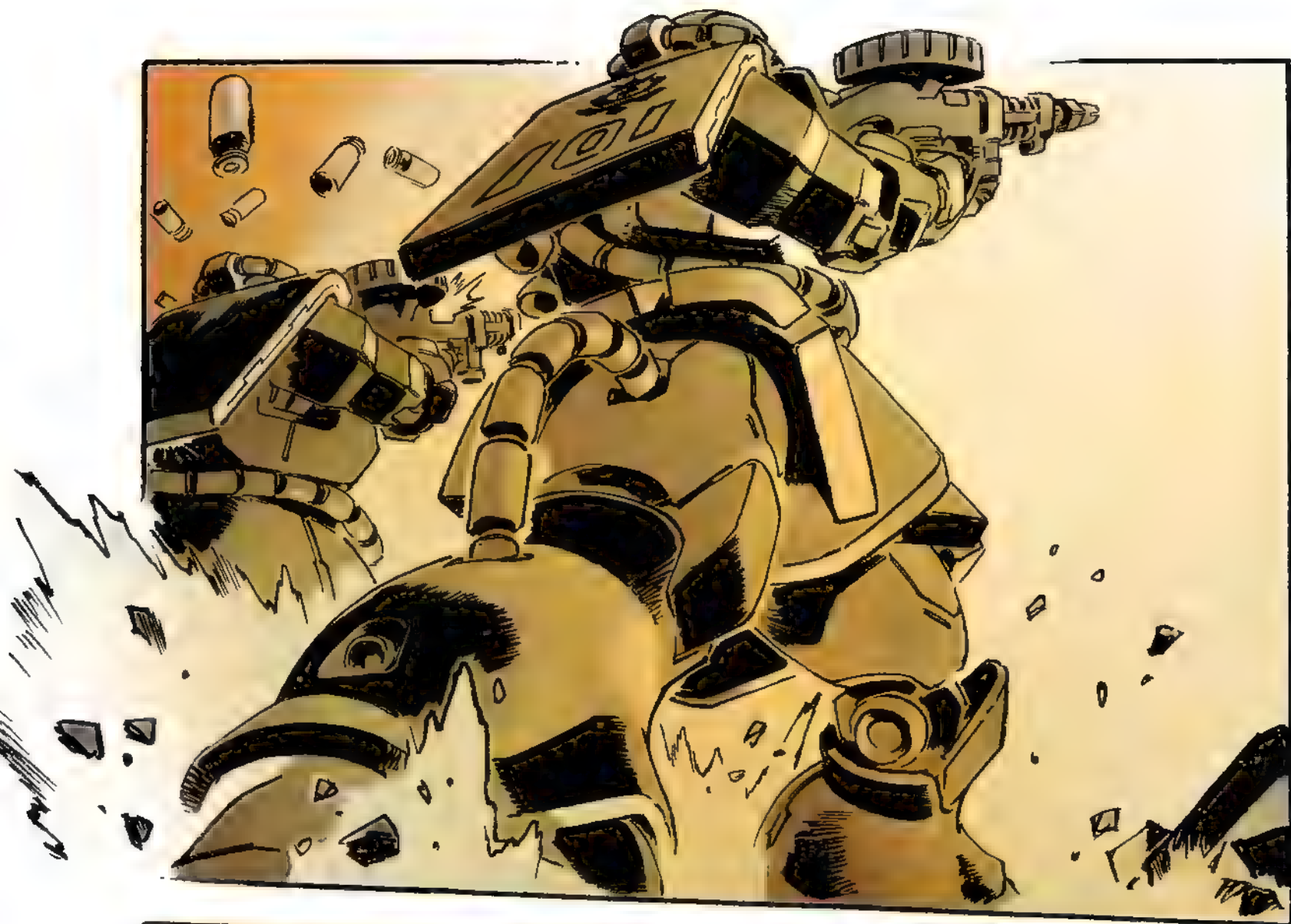


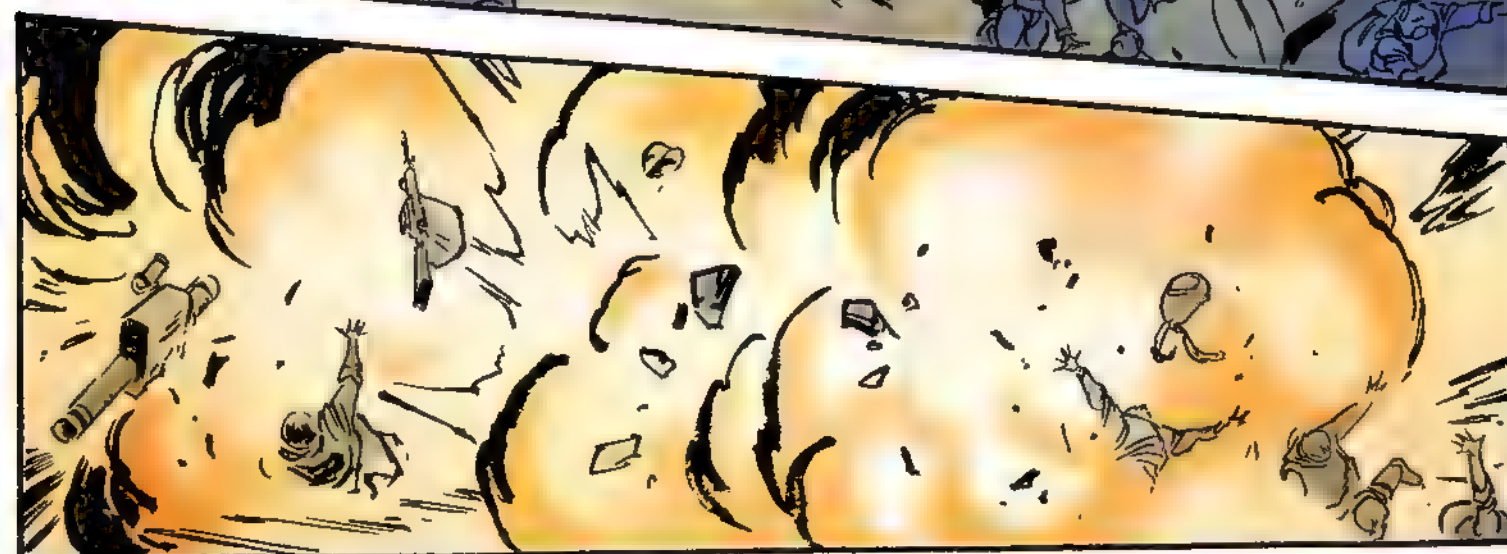
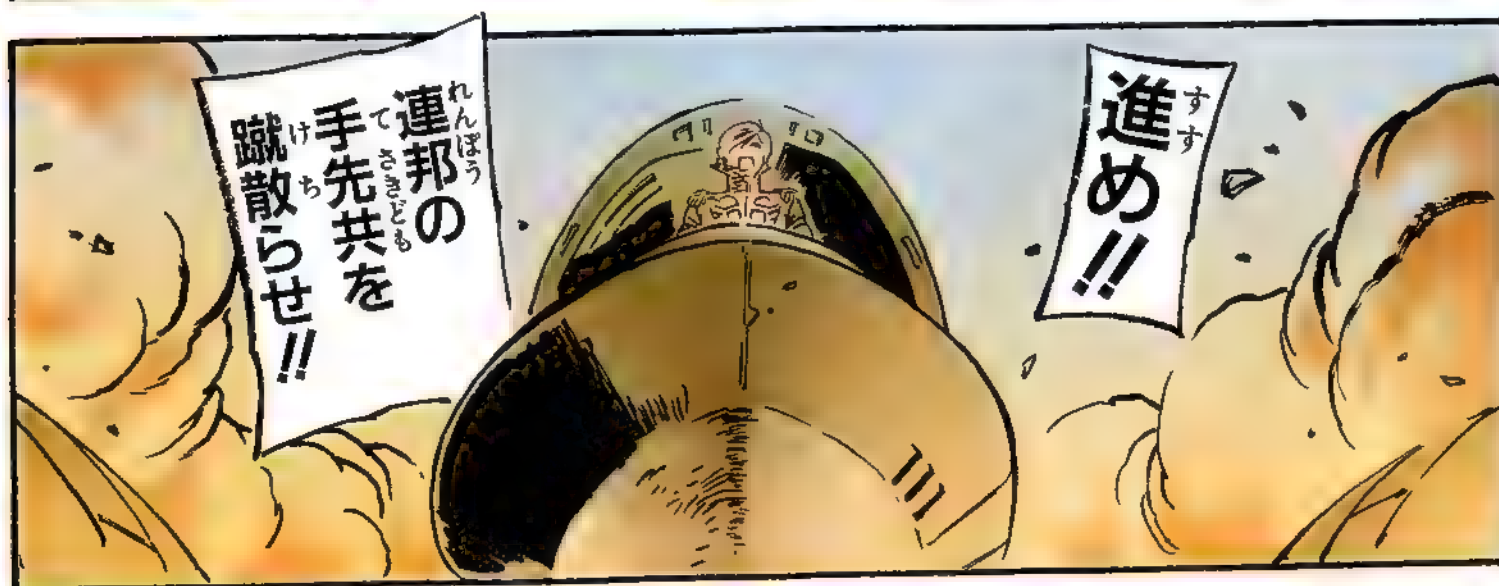
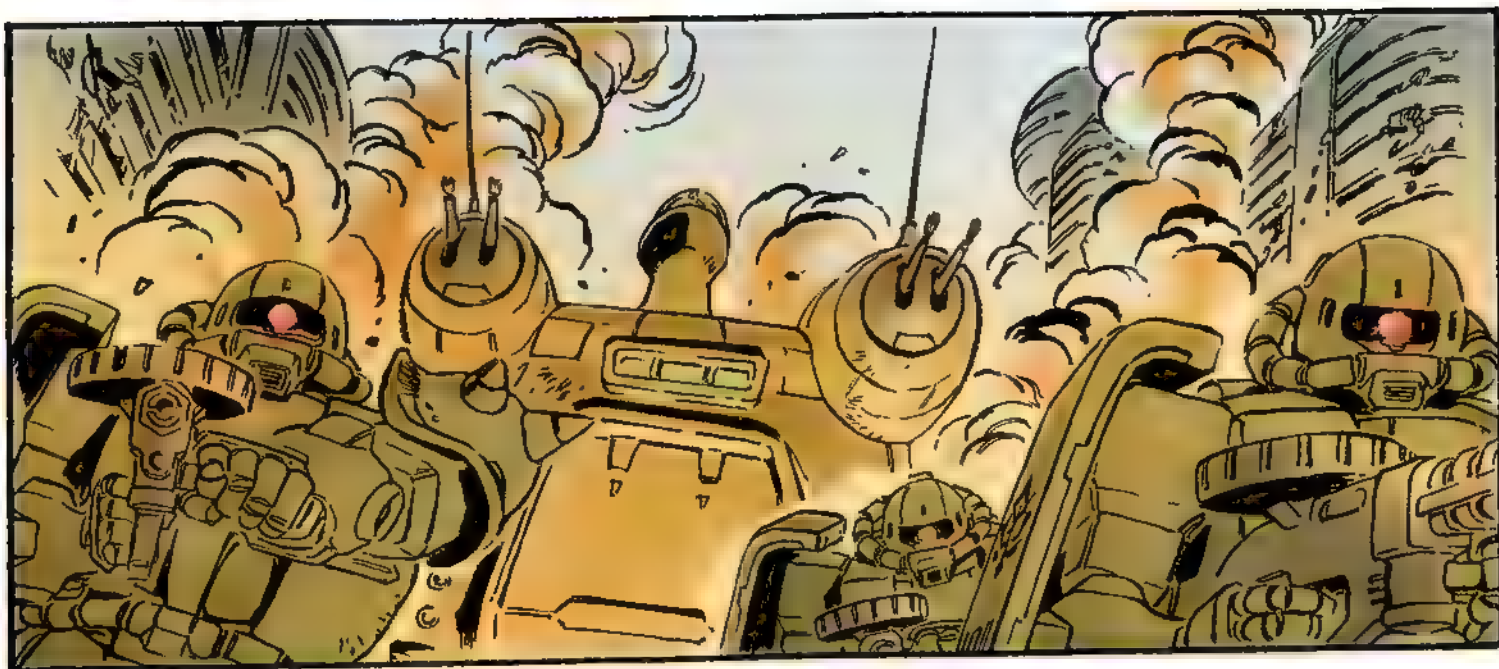


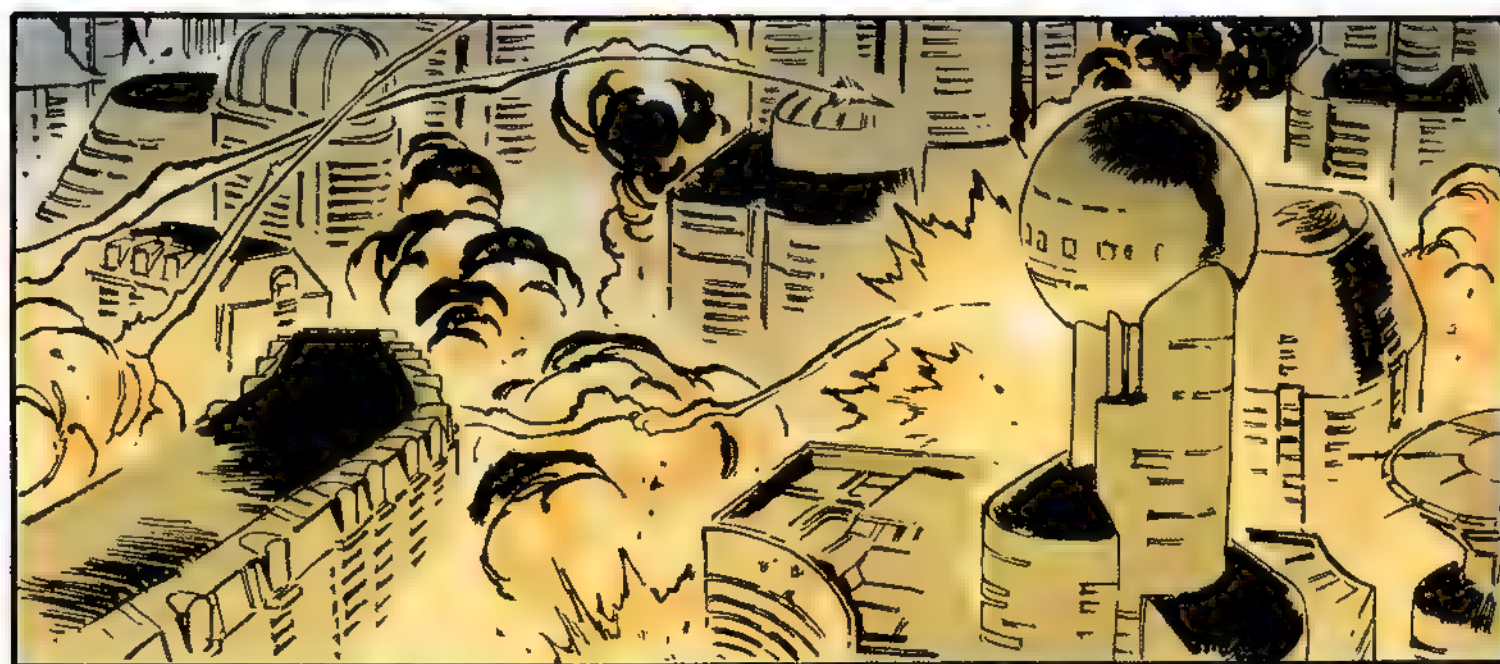
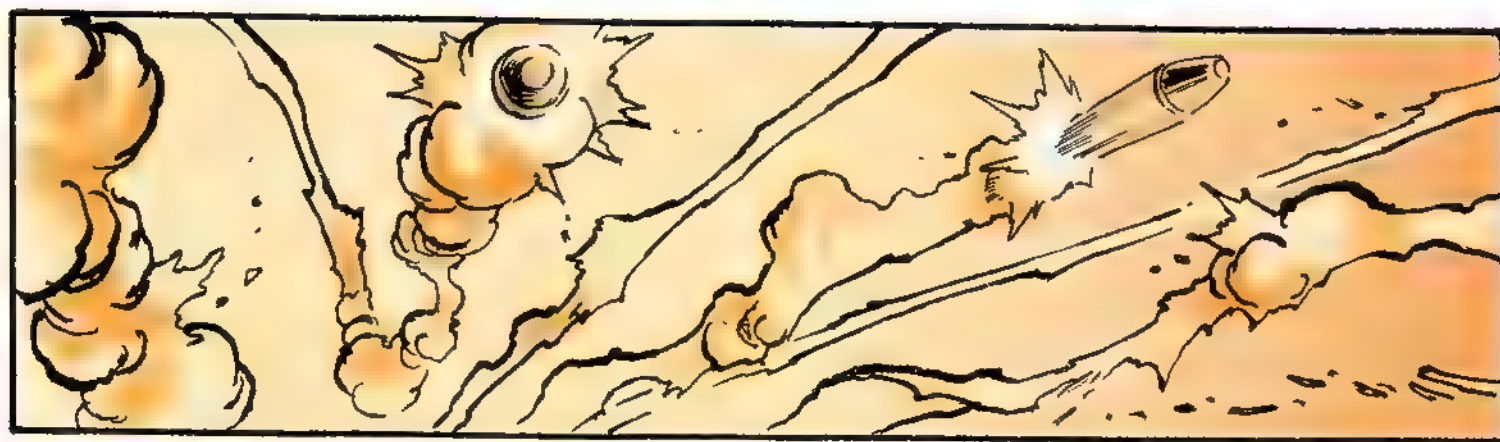
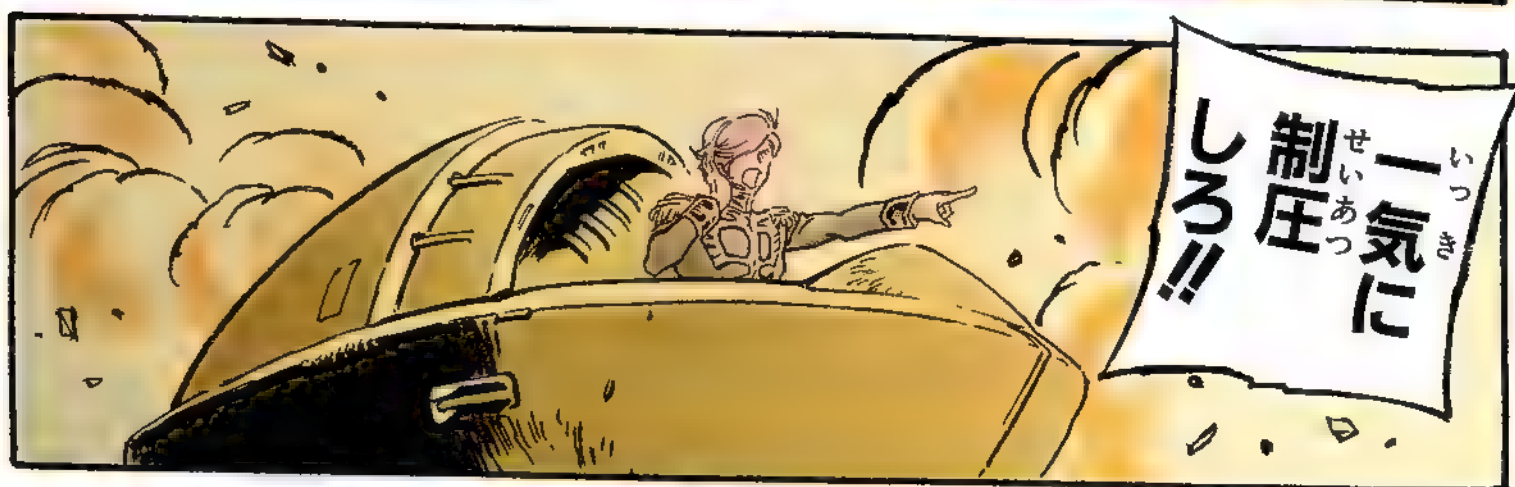
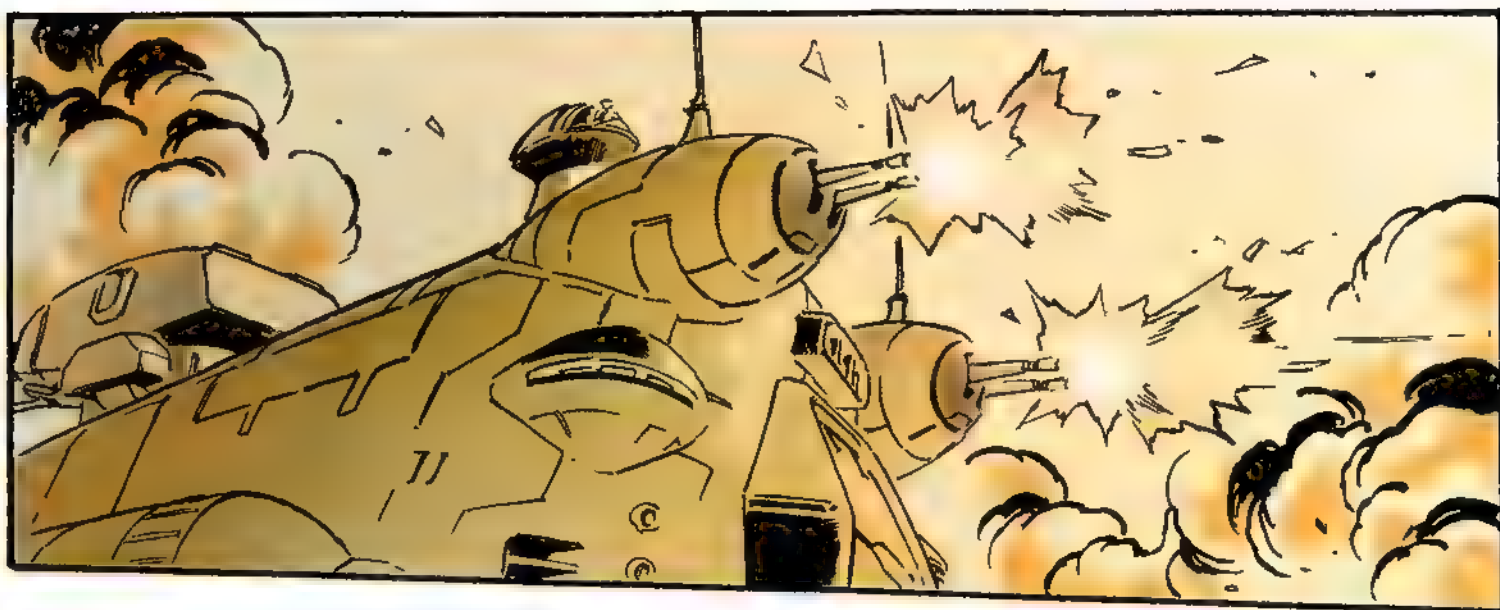


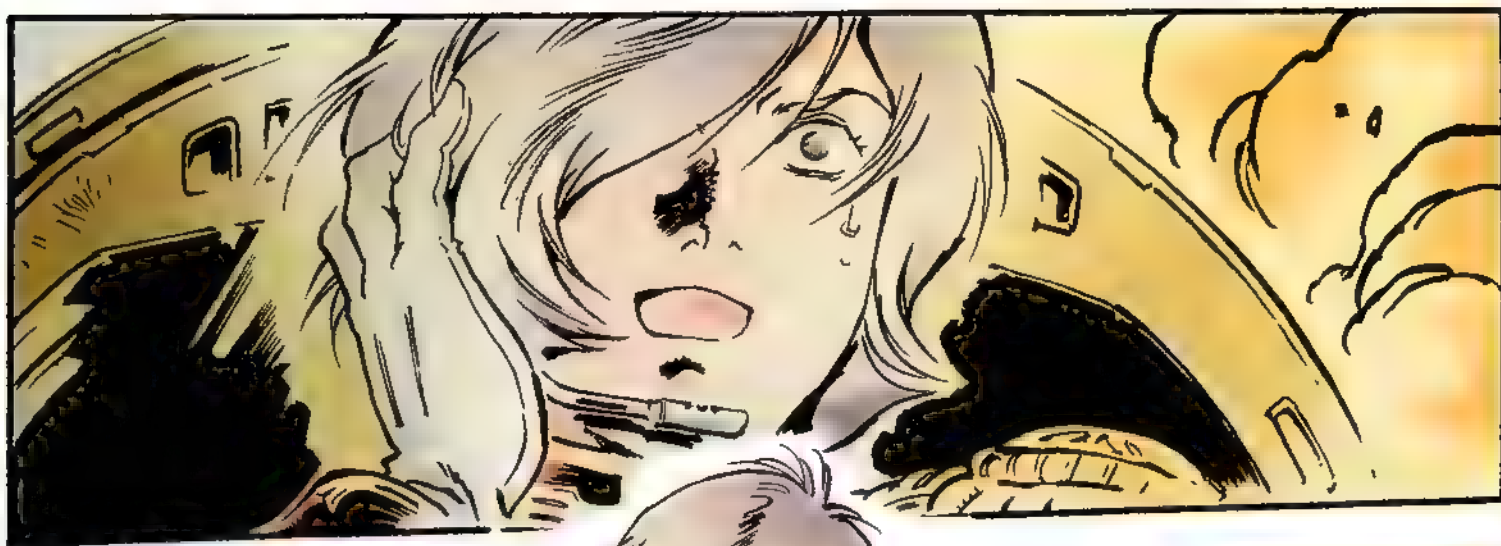












—ルウム編・後—

SECTION
VII



ΑΕΤΙΑΕΩΣ
ΑΥΞΑΝΤ
ΟΑΡΑΟ
ΜΕΡΟΝΕ



『カプアの
アフロディーテ』

地球世紀紀元前
四世紀後期の作と
いわれています



贋作^{がんさく}

だな



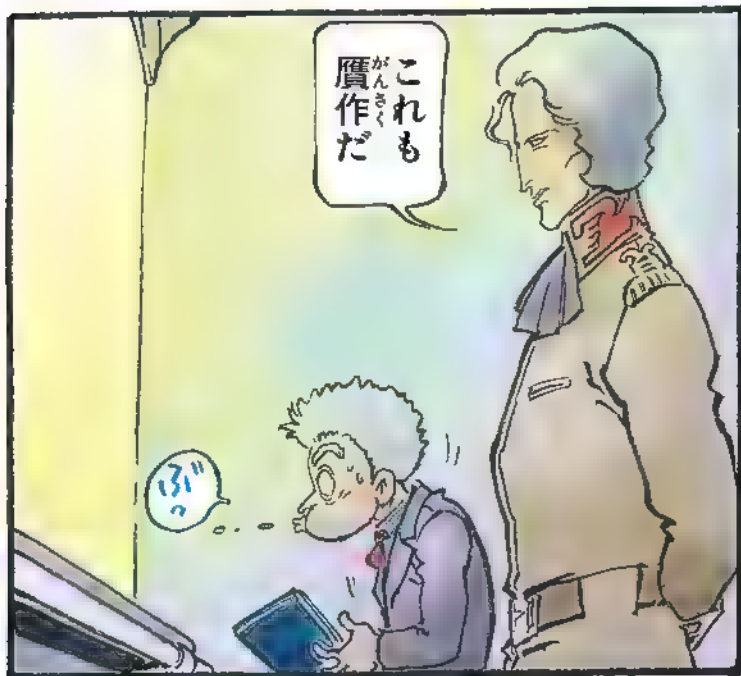
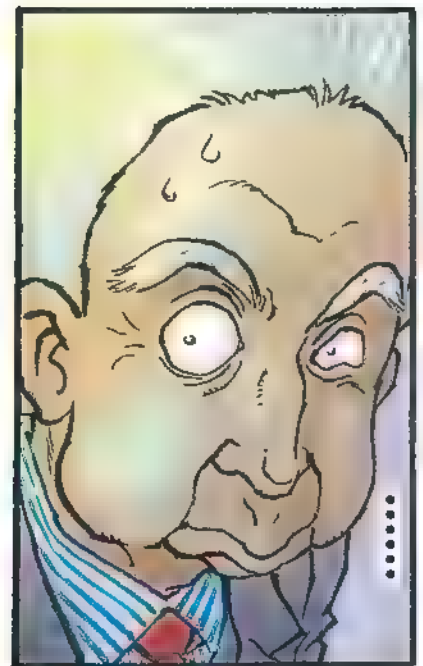
本物は紀元後の
ローマ時代の模作^{もさく}

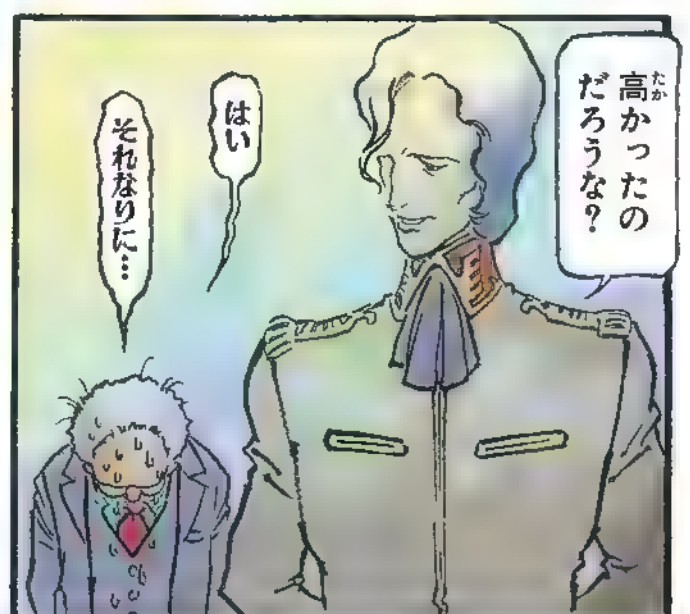
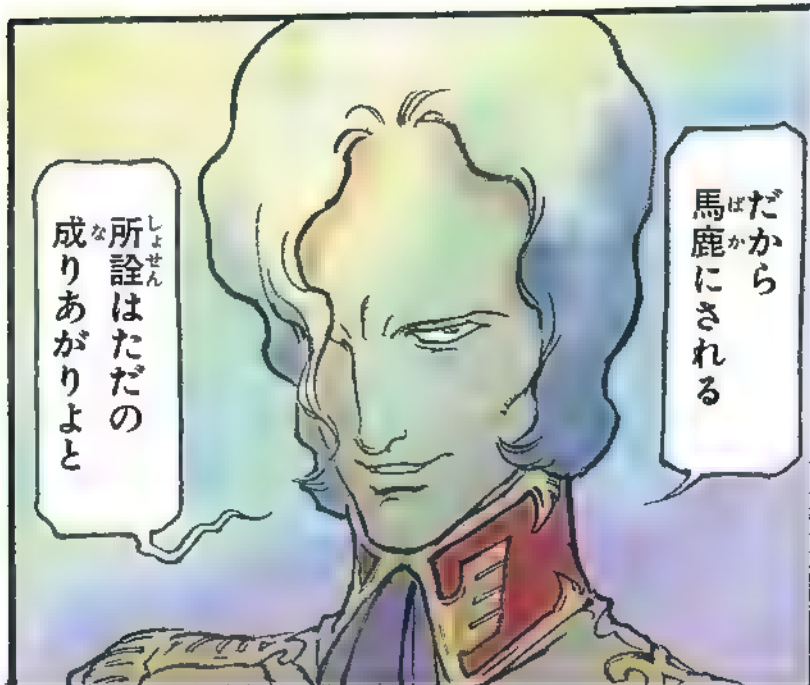
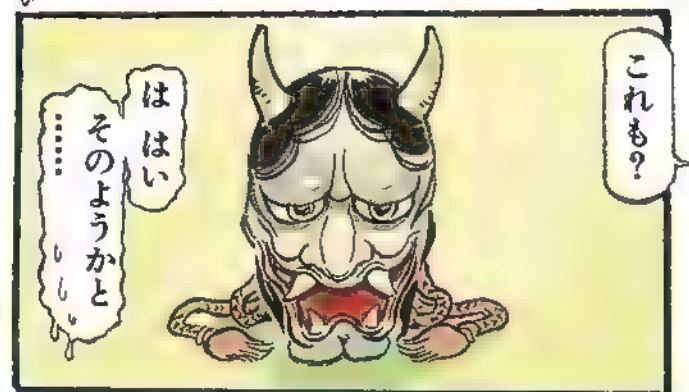
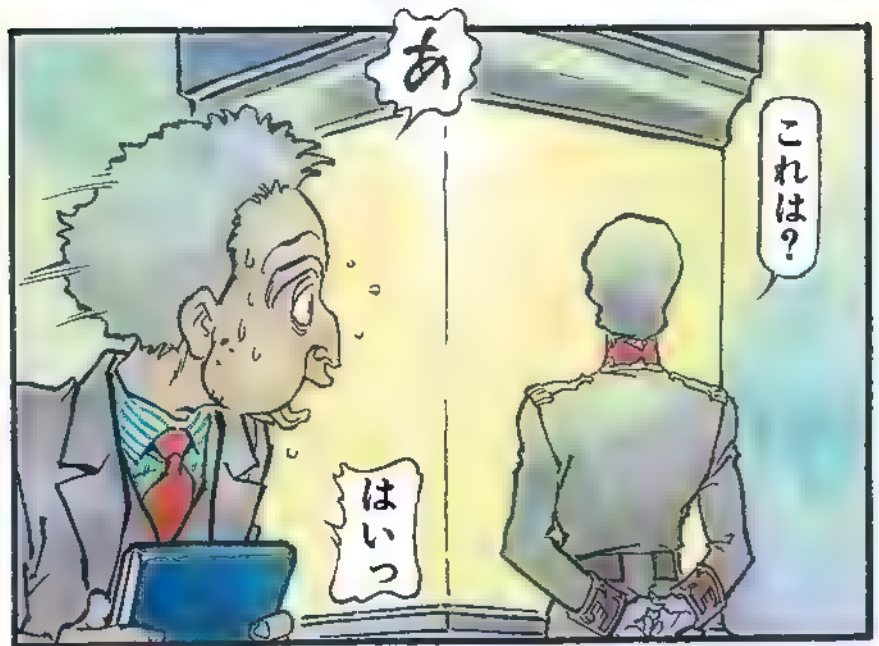
これは更にその模作で
ルネサンス期のものか…

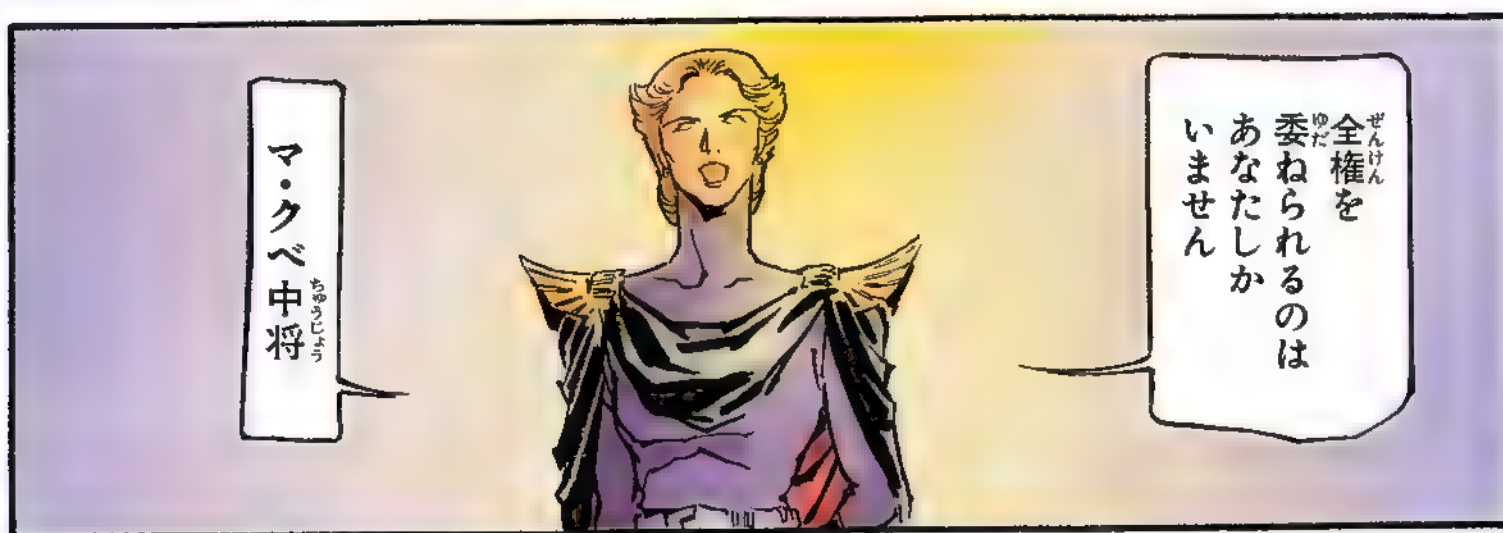
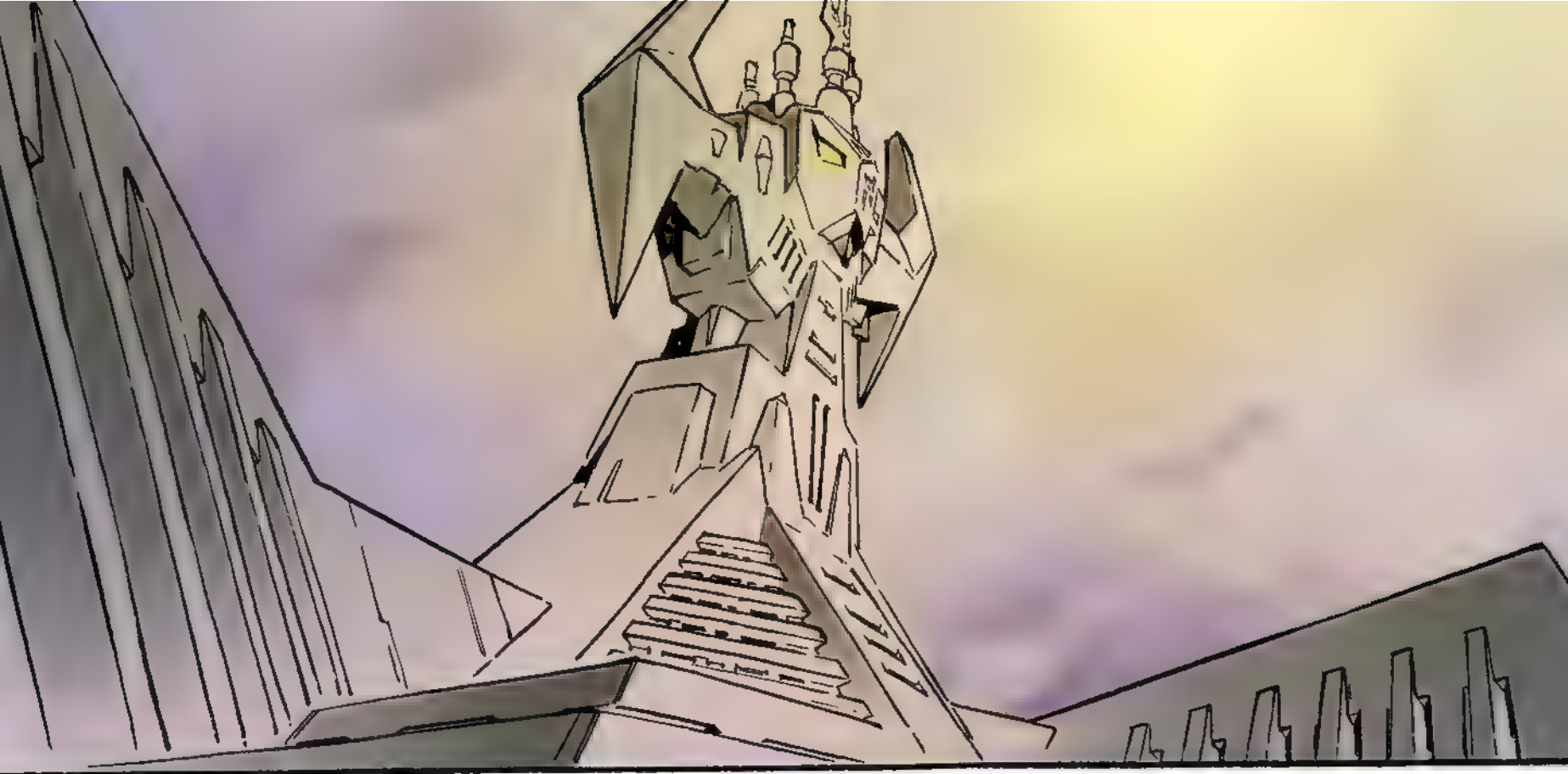


アフロディーテとは
美と愛の女神です

ギリシャ神話の
最高神ゼウスの子
で海の泡から…







お尋ねしても
よろしい
でしょうか？

なぜ
私が？

あなたが
地球至上主義者
寄りだからです

マ・クベ中將

ニ

地球圏に
魅力を感じ
ない者を
地球圏に遣る
わけには
いきません

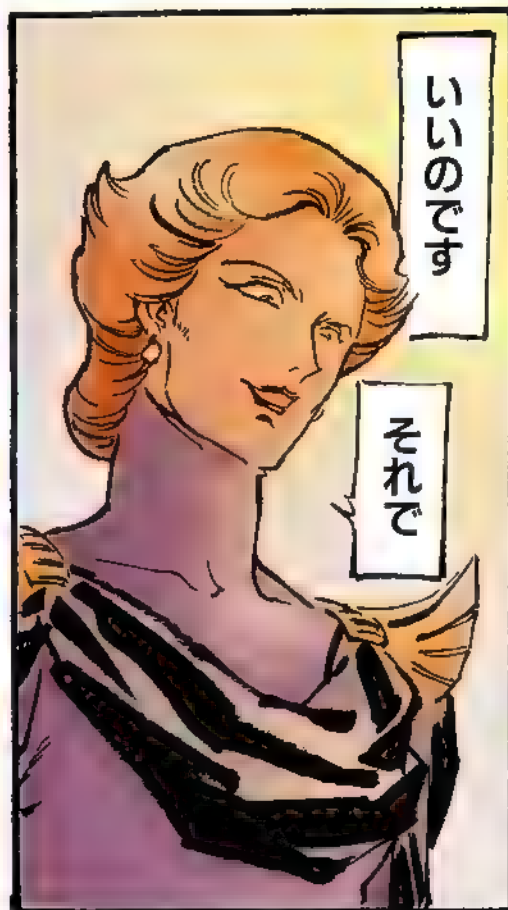
そのような者は
彼等に対して
何を求めようと
しないでしょう

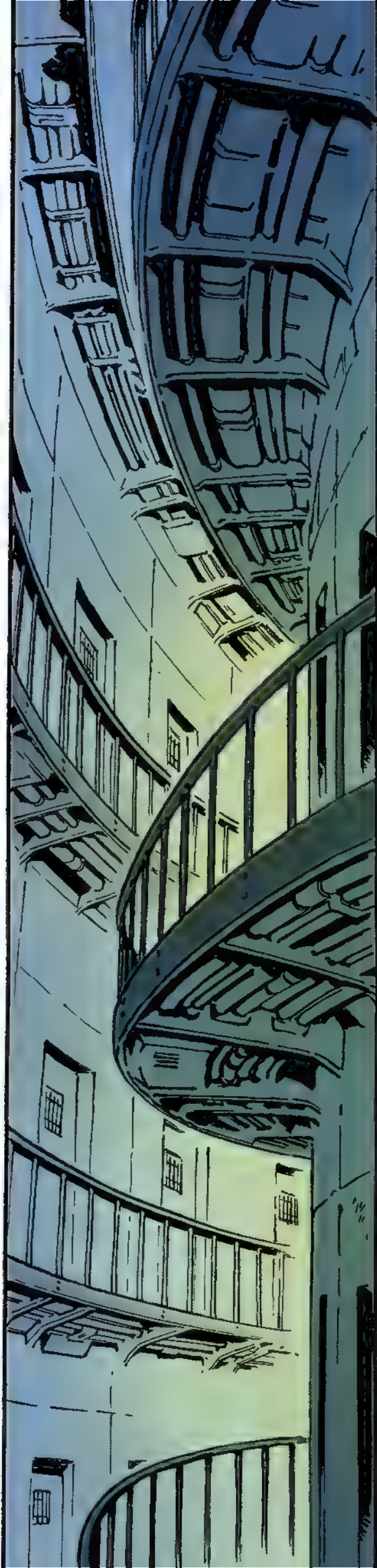
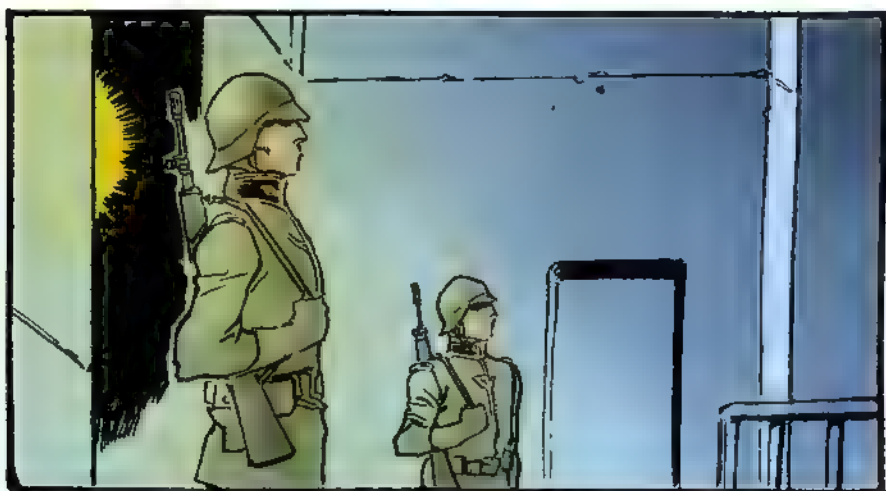
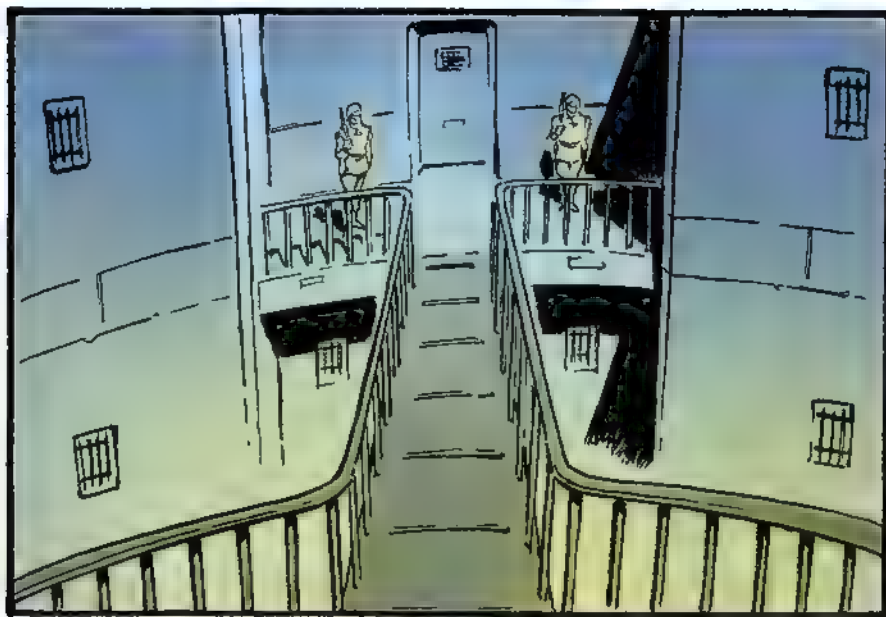
何を
求めよ？

事実上の降伏に等しい
休戦協定以上に
なにを？

地球の富と

国土を！









連邦はルウムの敗戦で
打ちひしがれています

失敗したとはいえ
コロニー落とし作戦による
被害も甚大

彼等はいま痛切に
休戦を望んでいます

のみならず 我が
公国内にも

停戦を望む
向きがあります

知っています

私ごとき
でも

お間違えに
ならぬよう

中将

あなたは
停戦の使者
ではない

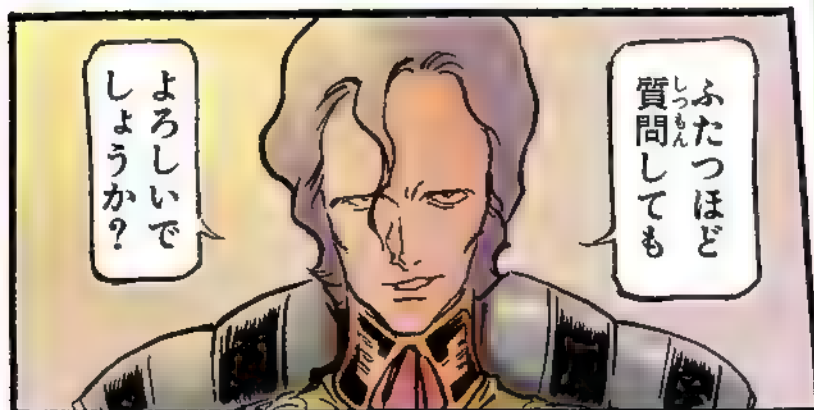
地球侵略
軍の長と
して

地球に行く
のです



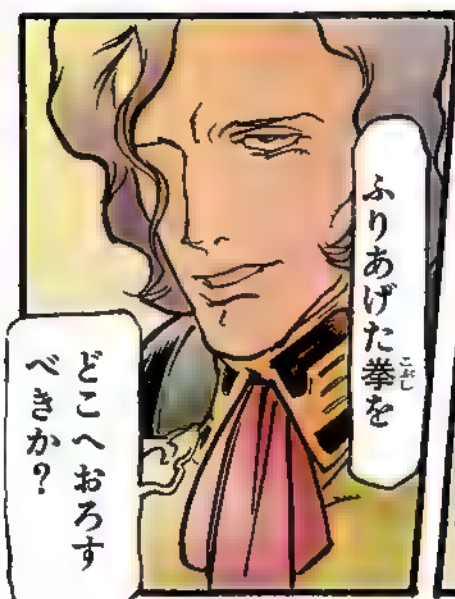
私の一存で
言っている
のでは
ありません

ギレン総帥も
同じお考えです
いずれお話が
あるでしょう



ふたつほど
質問しても

よろしいで
しょうか?



ふりあげた拳を

どこへおろす
べきか?



御存知の
とおり
戦争には
相手は
必要です

連邦の戦意が
決定的に失わ
れている場合



もうひとつの
質問も

あわせて聞き
ましょう



保障は?

私と私の
軍はいわば



敵の中にパラシュート
降下するのです

こう言っただけで
捨て駒にはなりたくない

さすが
中将

的確な
御質問
です

ふたつめから
お答えしましょう

ガルマを遣ります

デギン公王が
最も寵愛する
我が弟をあなたの
下に配属させます

公国が決して
あなたを見捨て
ぬという何よりの
保障となり
ましょうか？

最初の質問

連邦が戦意を
喪失し 継戦が
不可能である場合
……

天佑と言うべきか
人は本質的に
戦を好む
ものです

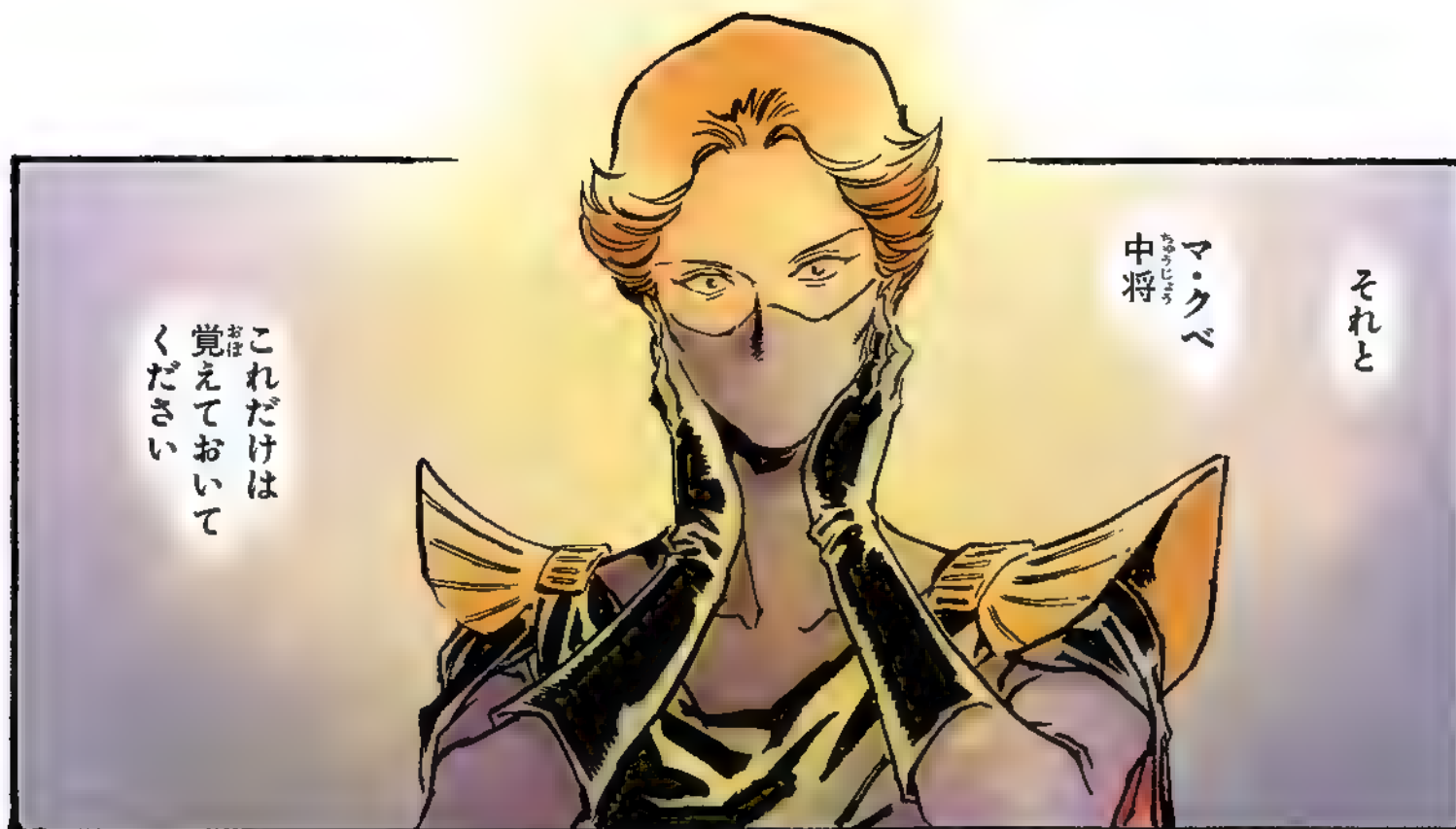
愚かにも
そして

賢明にも

御安心
なさい

哲学問答で
はぐらかそう
などと考えては
おりません

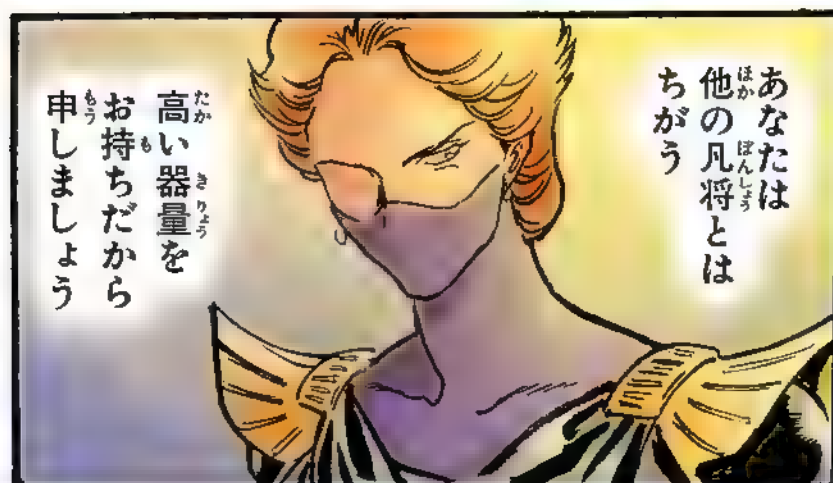
手は打って
あります



それと

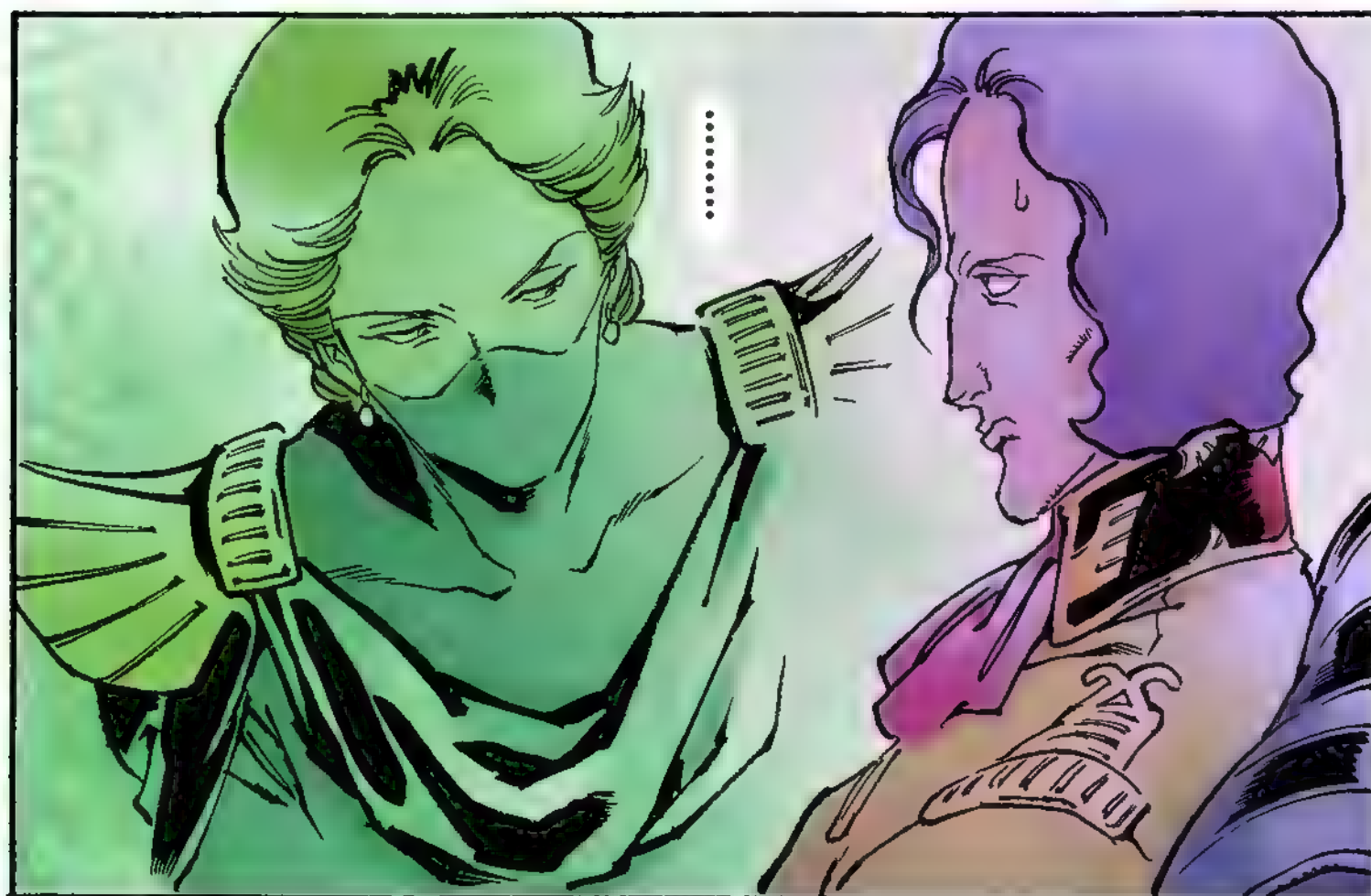
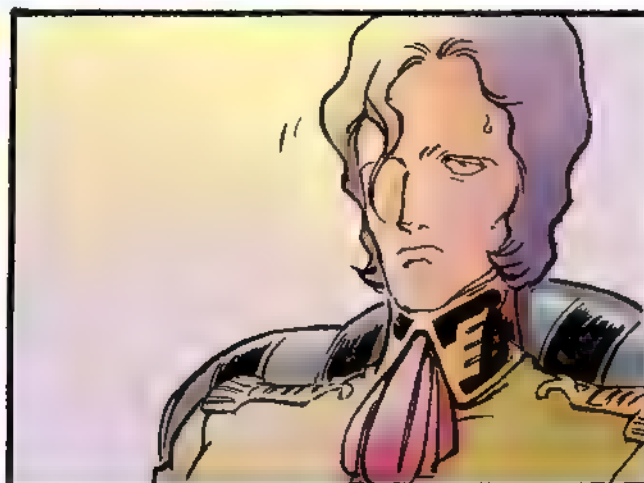
マ・クベ
中将

これだけは
覚えておいて
ください

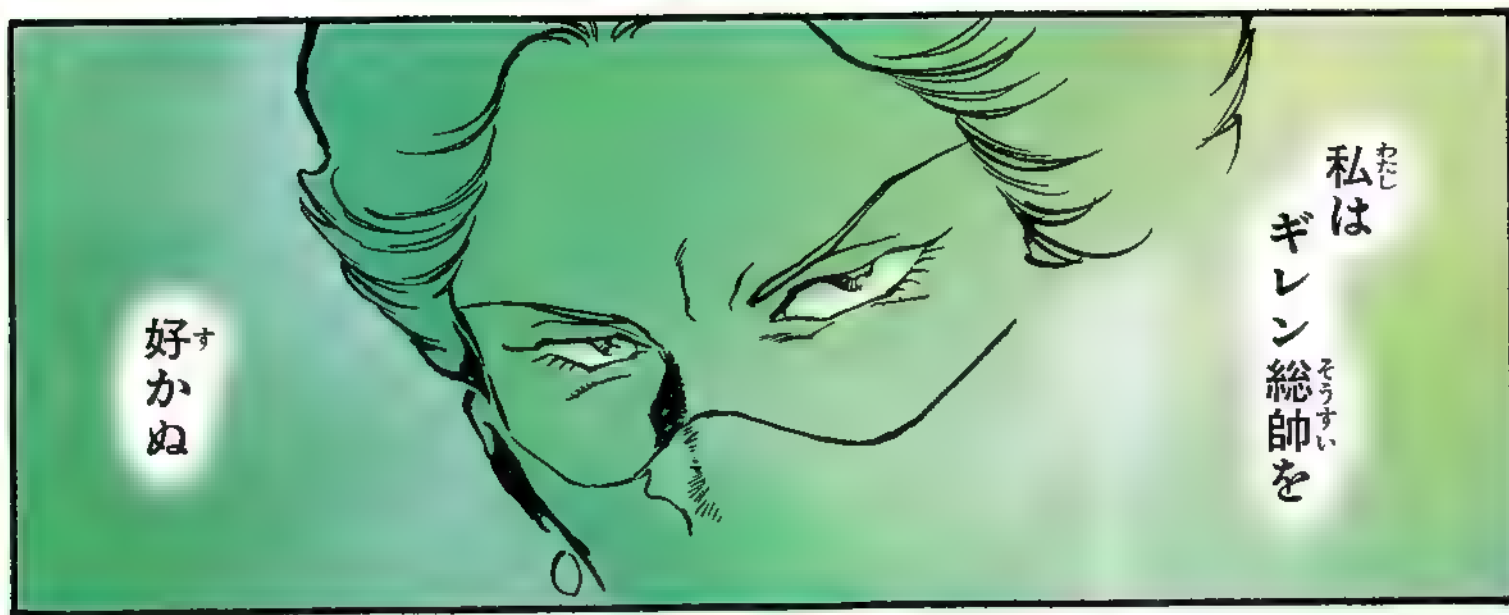


あなたは
他の凡将とは
ちがう

たか
高い器量を
お持ちだから
申しましょう



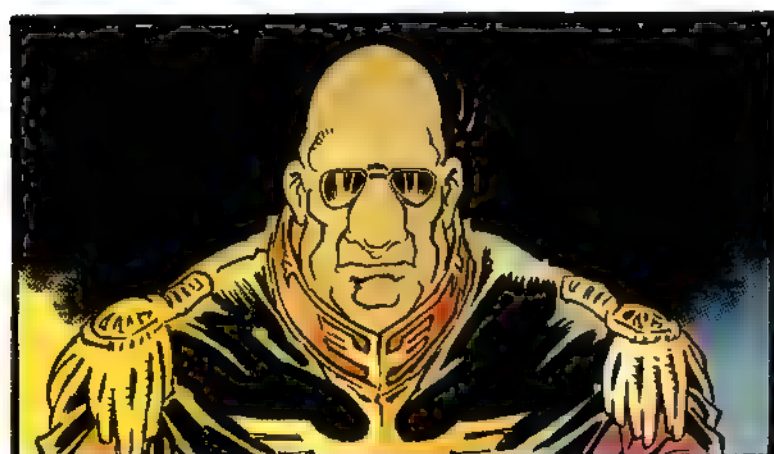
.....





こうおうへいか
公王陛下の
お気持ちには

よく判り
ました



やめなければ
なりません

じんるいしじょう
人類史上
さいあくのこの
せんそう
戦争は



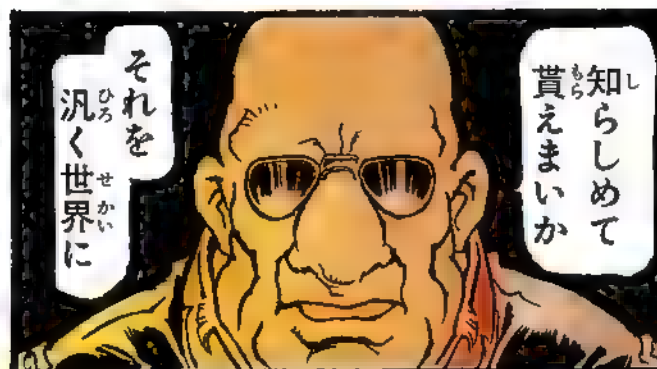
ジョン・ズム・ダイクン
の教えを信じる
ものたち
者達を宇宙に棲む
悪魔と思つてきた
多くの地球市民は

こうおうへいか
公王陛下の
お考えを
知るべきです



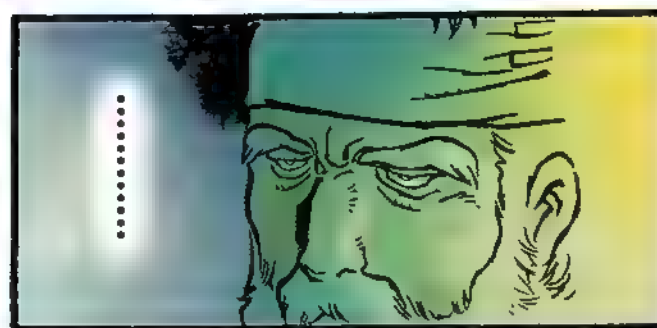
カインとアベルの昔から
人の反目と争いは絶えず

バベルの塔の崩壊
このかた人と人は
判りあえずに
いる……



知らしめて
貰えまいか

それを
汎く世界に



……



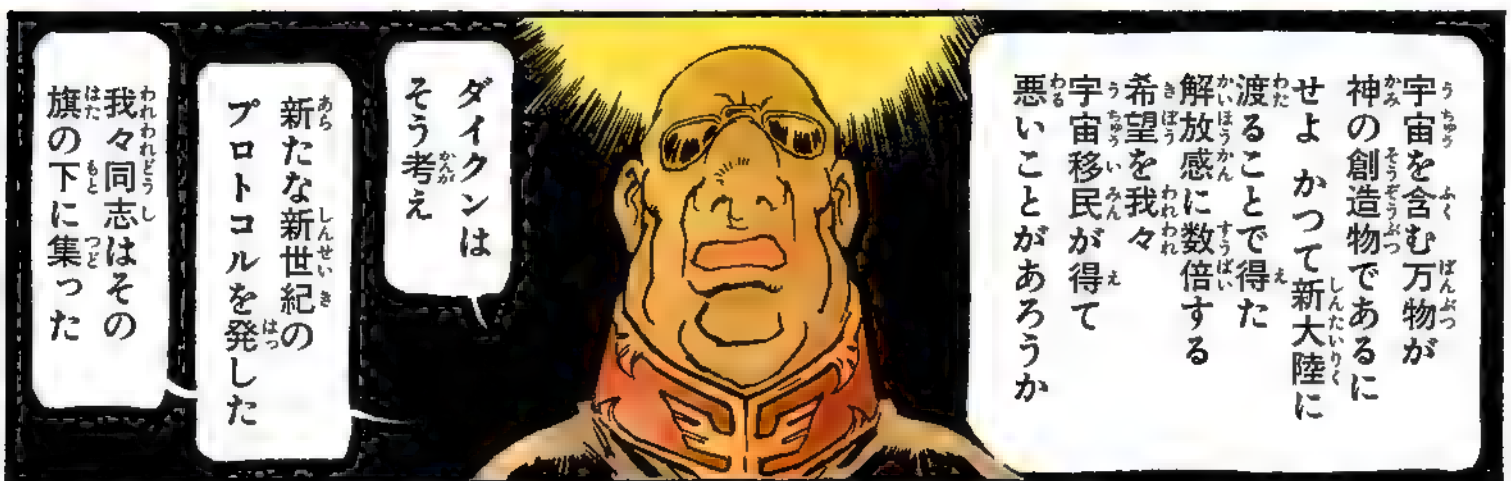
そうした呪縛からの
解放を考えた

ジオン・ズム・ダイクンは
宇宙移民の導き手の
任を自覚した時に



神と人の契約の
地がそうであると
いう理由から
長い間

最も血腥い
争乱の地となった
なげかわしいことだ

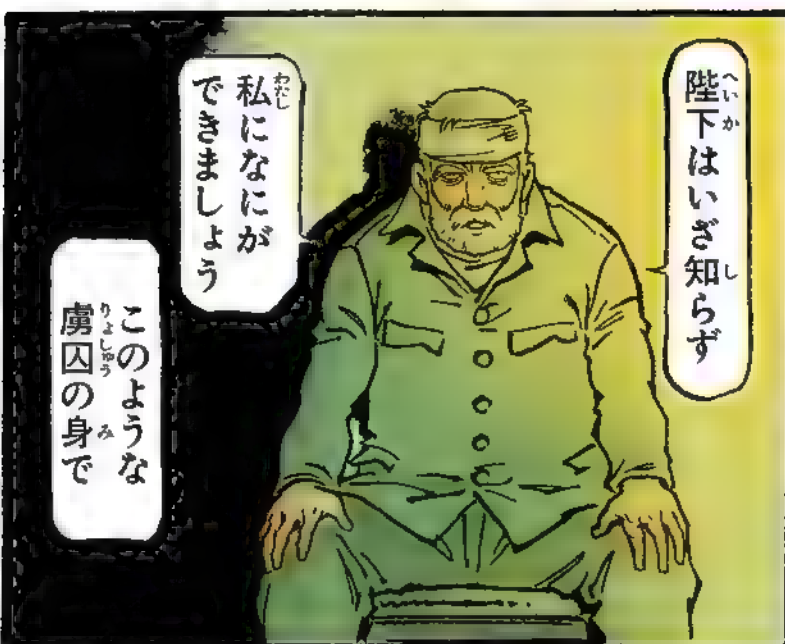


宇宙を含む万物が
神の創造物であるに
せよかつて新大陸に
渡ることで得た
解放感に数倍する
希望を我々
宇宙移民が得て
悪いことがあるうか

ダイクンは
そう考え

新たな新世紀の
プロトコルを発した

我々同志はその
旗の下に集った



陛下はいざ知らず

私になにが
できましよう

このような
虜囚の身で



新しい人間への
希望がかくも
おぞましい

憎しみと
大破壊を招く
とも知らず



將軍

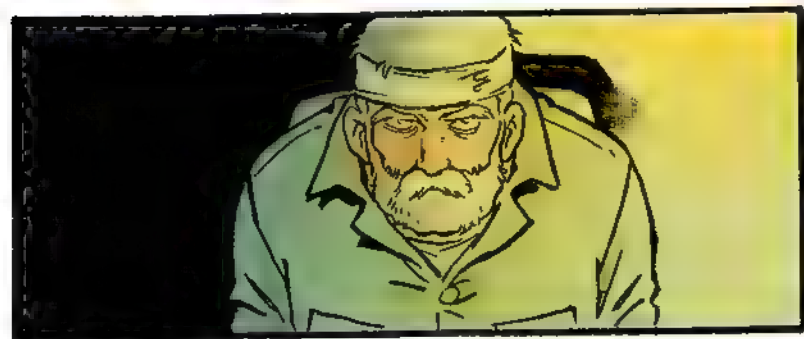
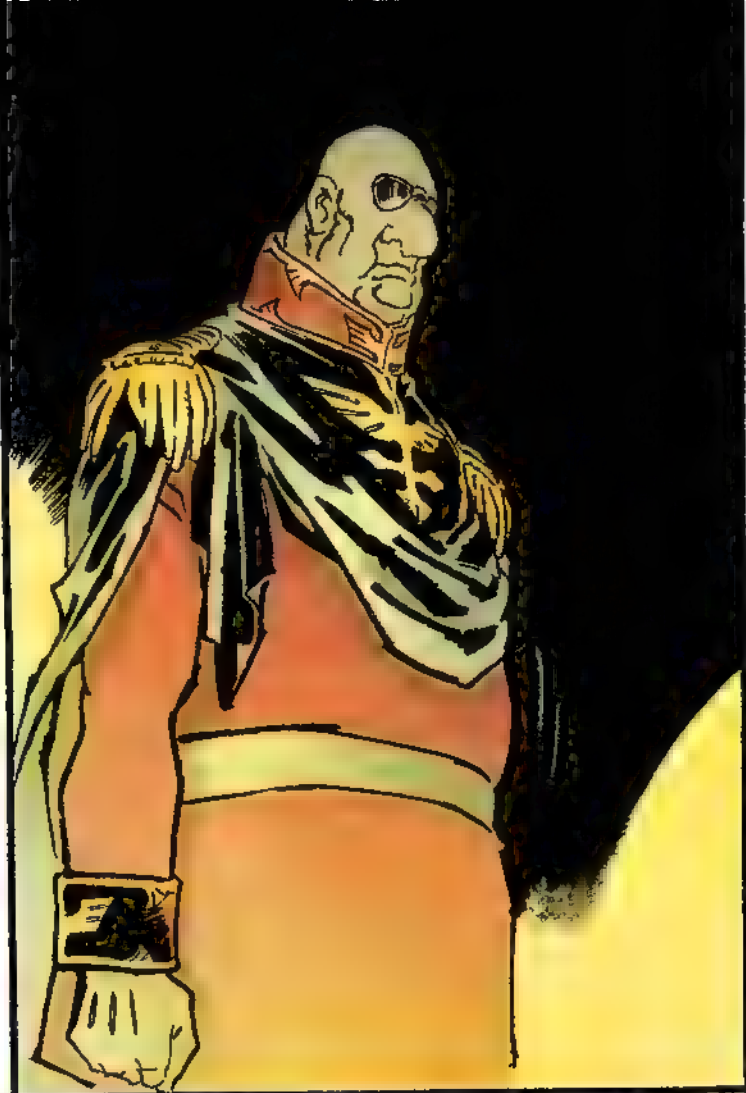
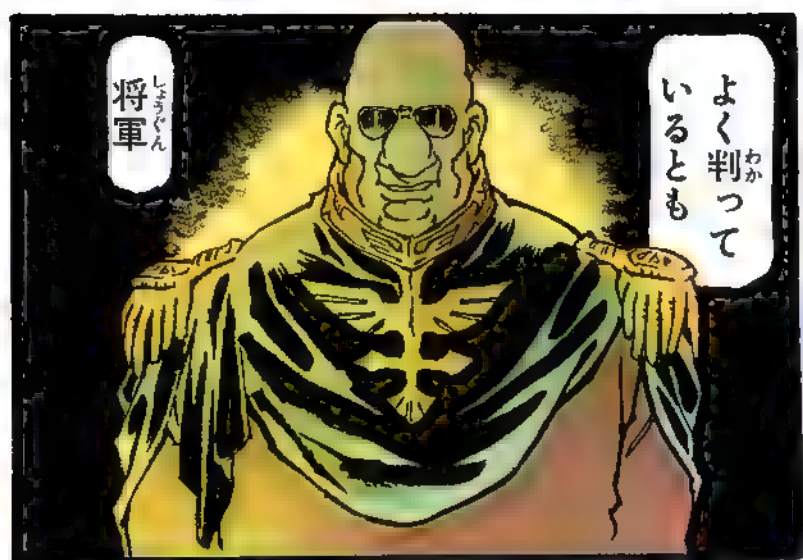
事を収めることは
出来まいか

貴官の
手で



判る

判って
いる



全権は
マ・クベ中將

THE TREATY
OF THE
ANTARCTIC

ZEON NEWS
U.C.0079.2.15 SUN EXTRA

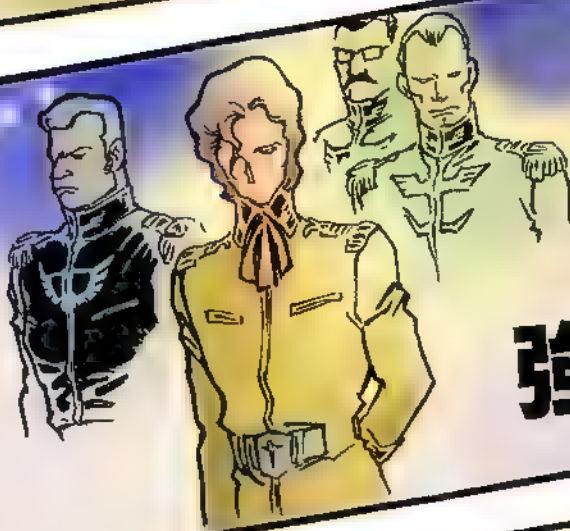


Lieutenant
General
M'QUBE
Top deleg

南極条約
締結か!?
休戦交渉
開始

“事実上の降伏を
迫る覚悟”

“YESかNOか!?”



異例の
軍人代表団

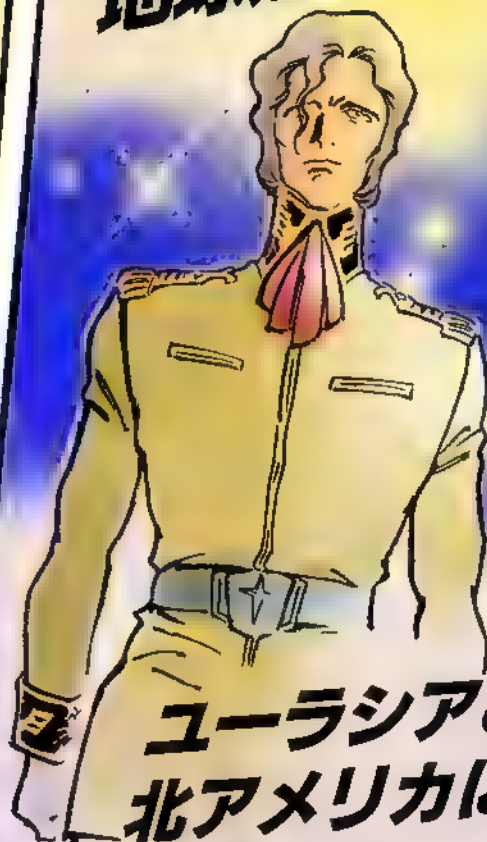
強硬姿勢



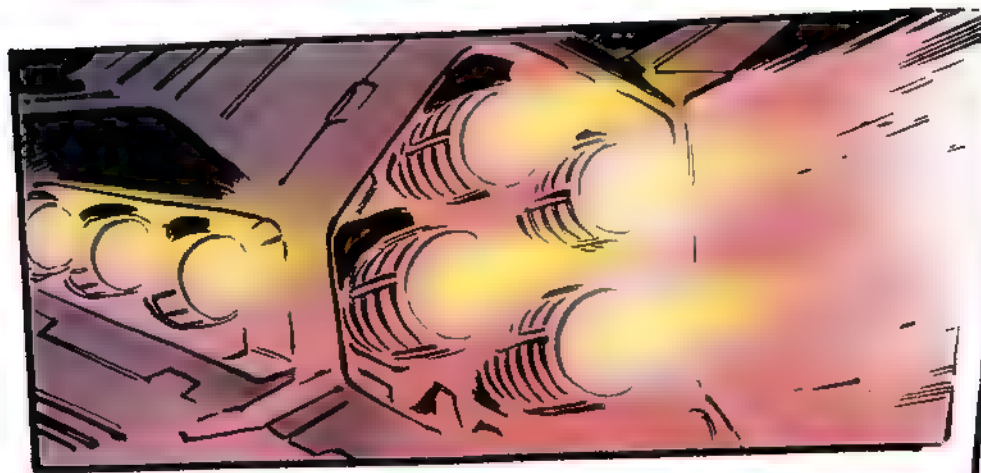
代表団認証
公王、総帥より
全権委任状

随行部隊 明朝 地球降下

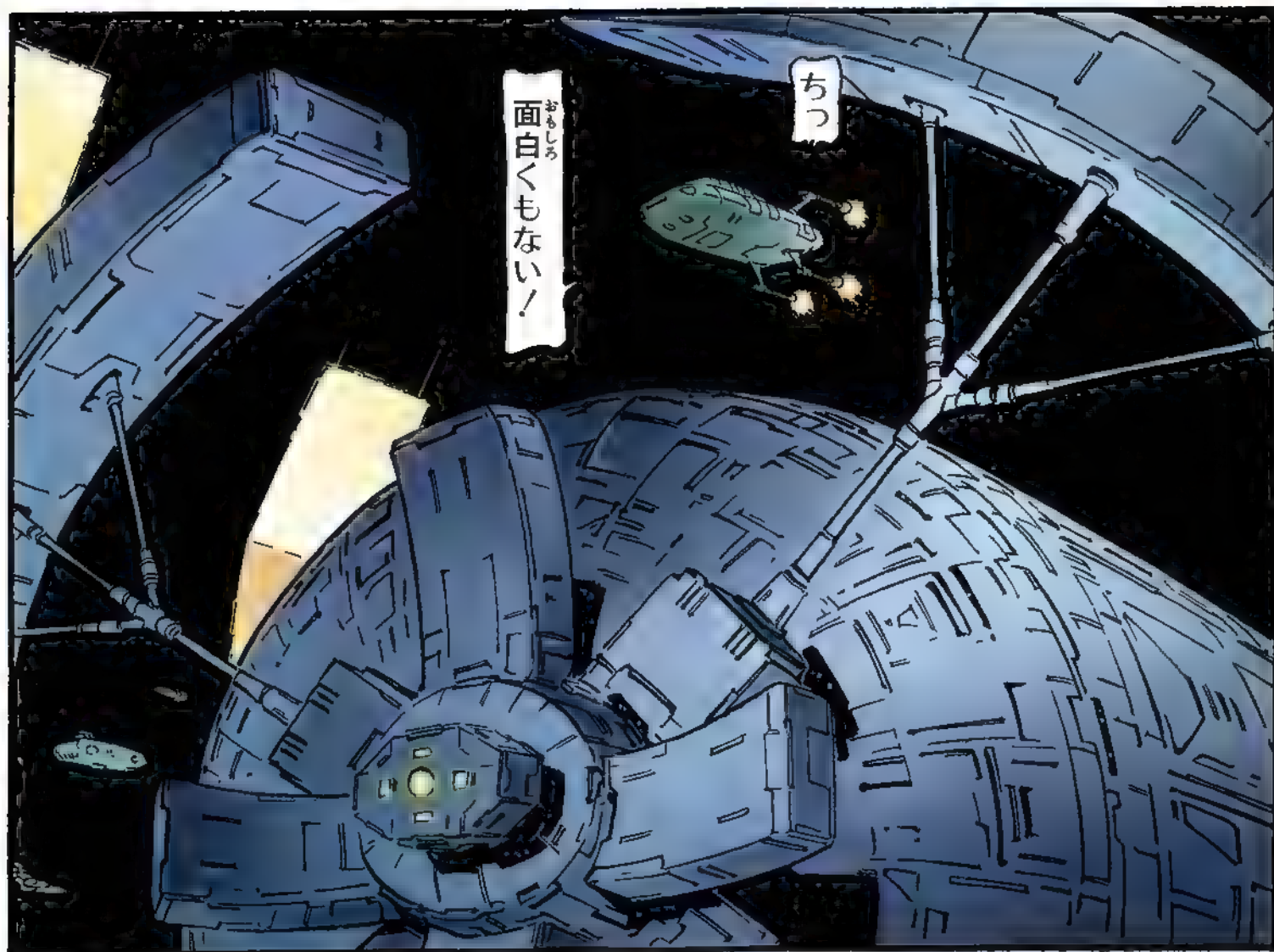
ジオンきつての
TOUGH NEGOTIATOR
地球通



ユーラシアと
北アメリカに
代表部
橋頭堡とせよ!!

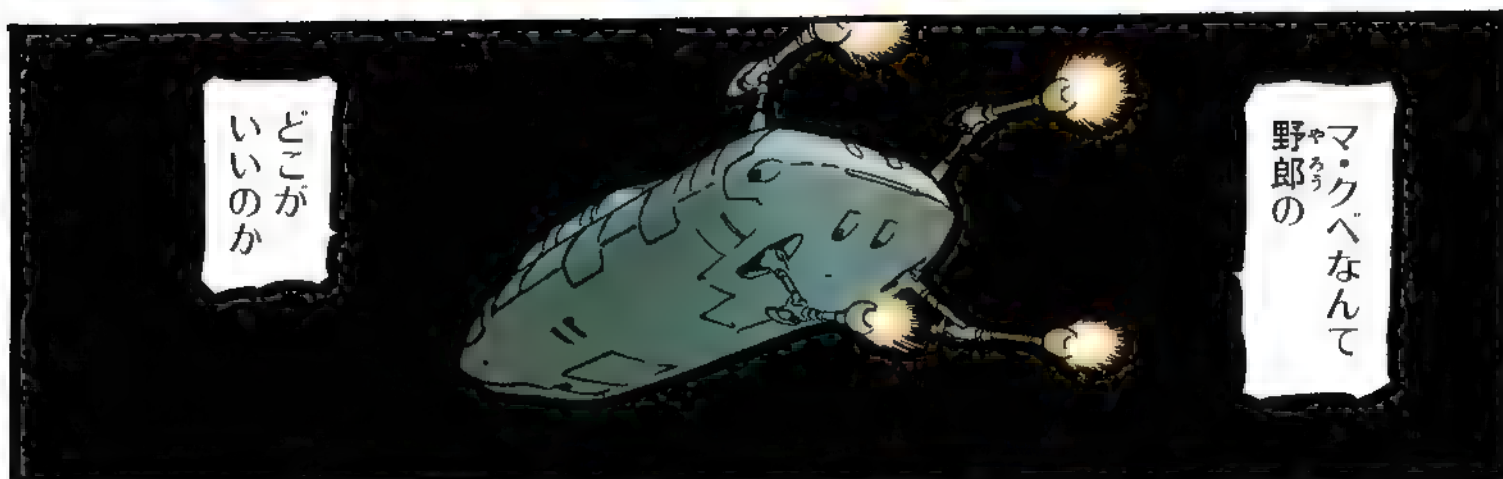






ちっ

おもしろ
面白くもない!



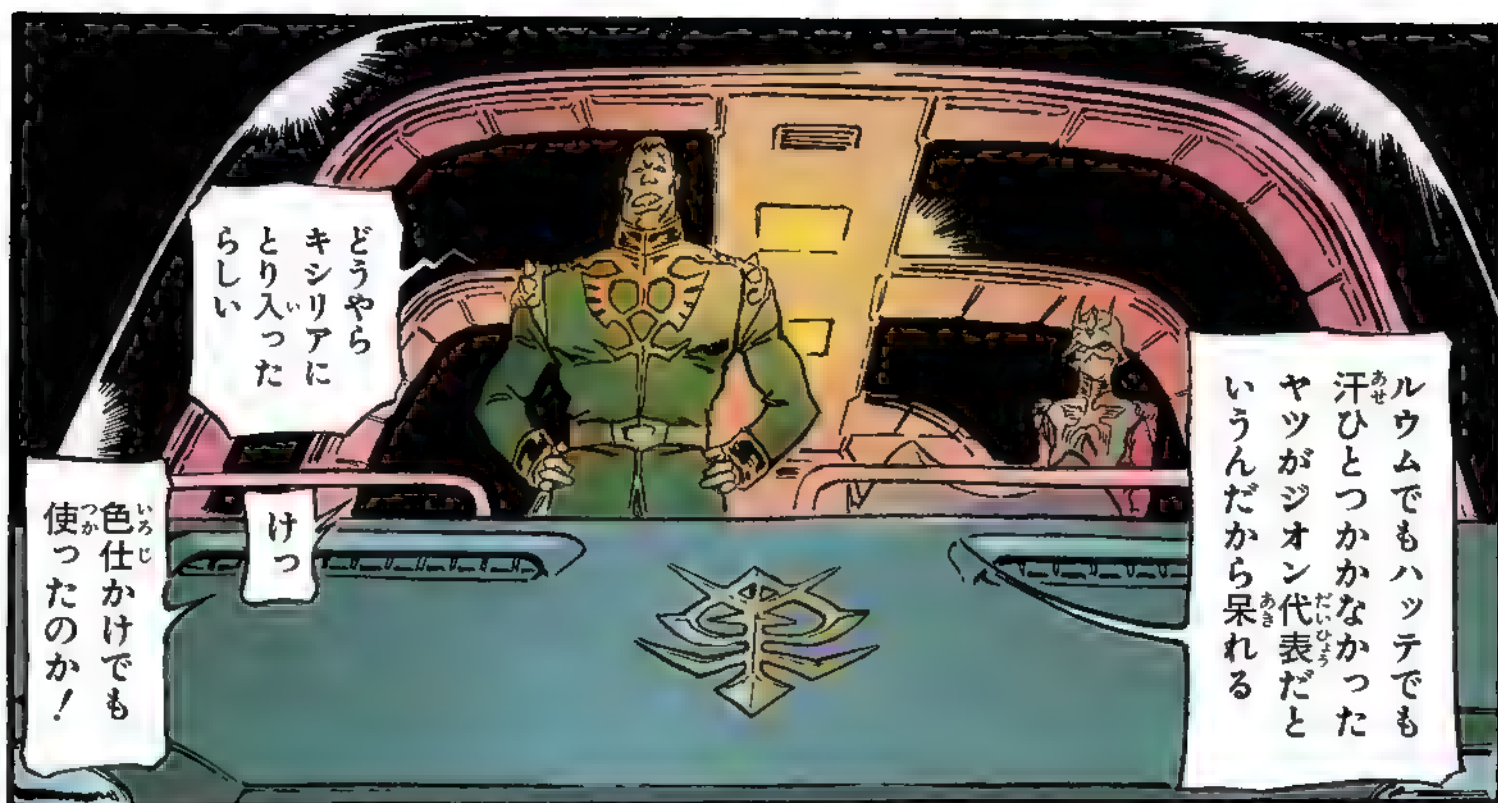
マ・クベなんて
野郎の

どこが
いいのか



あんな
ヤツ

オレは
好かん!

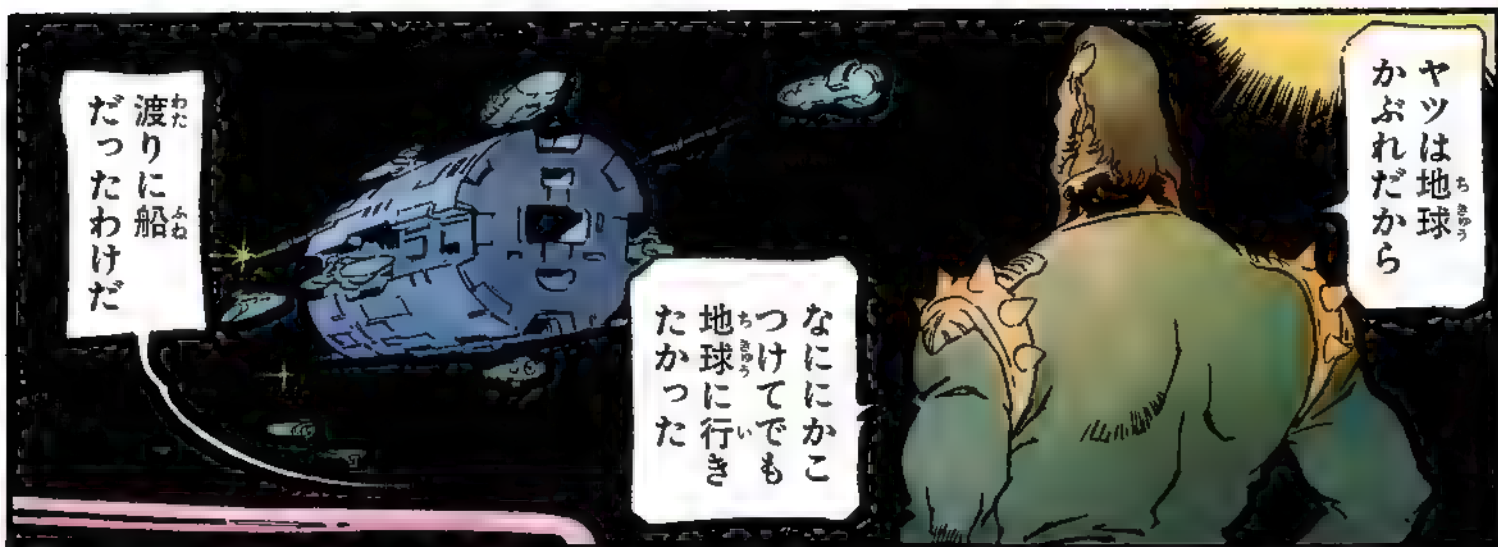


ルウムでもハツテでも
汗^{あせ}ひとつかかなかった
ヤツがジオン代表^{だいひょう}だと
いうんだから呆^{あき}れる

どうやら
キシリアに
とり入った
らしい

色^{いろ}仕^じかけでも
使^{つか}ったのか!

けっ



ヤツは地球^{ちきゅう}
かおれたから

なににかこ
つけてでも
地球^{ちきゅう}に行き
たかった

渡^{わた}りに船^{ふね}
だったわけだ



まあ 厄^{やっかい}介^{がい}払^{はら}いたと
思^{おも}えばハラも立^たたんが

地球^{ちきゅう}の雑^{ざつ}菌^{きん}にやられて
向^むこうにホネを埋^うめる
ようなことになれば
ヤツも本^{ほん}望^{もう}だろうて

気がかり
だったのはな

きさまのような
有能な士官が
興味にまかせて
ヤツについて行っ
てしまうことだっ
たが

まあ坐れ

話は
長くなる

よく残って
くれたな

特にきさまは
ジャブローでの
例の経験が
あるから

もつとも

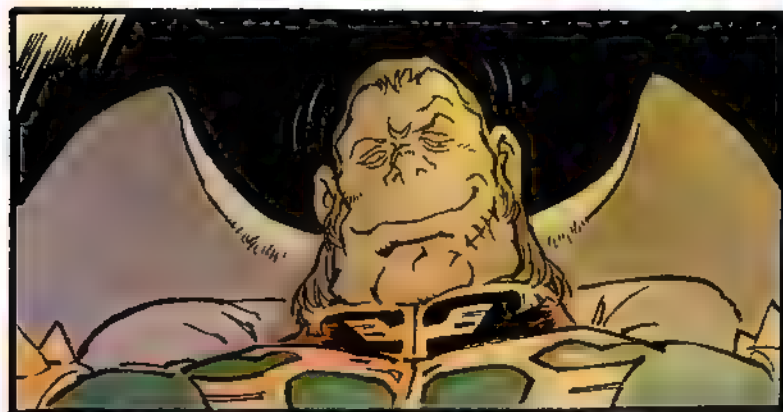
たとえ特命で
配属ということに
なってもオレは
それをブツ潰す
つもりだった

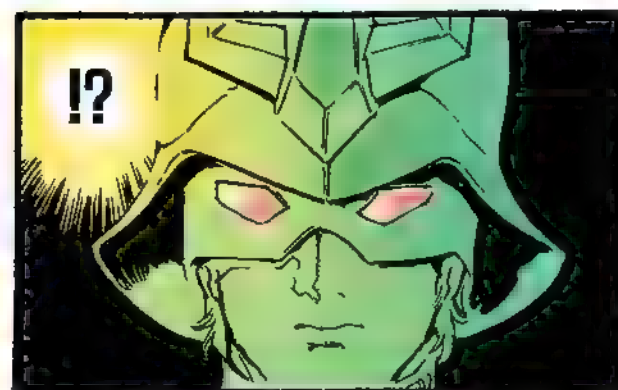
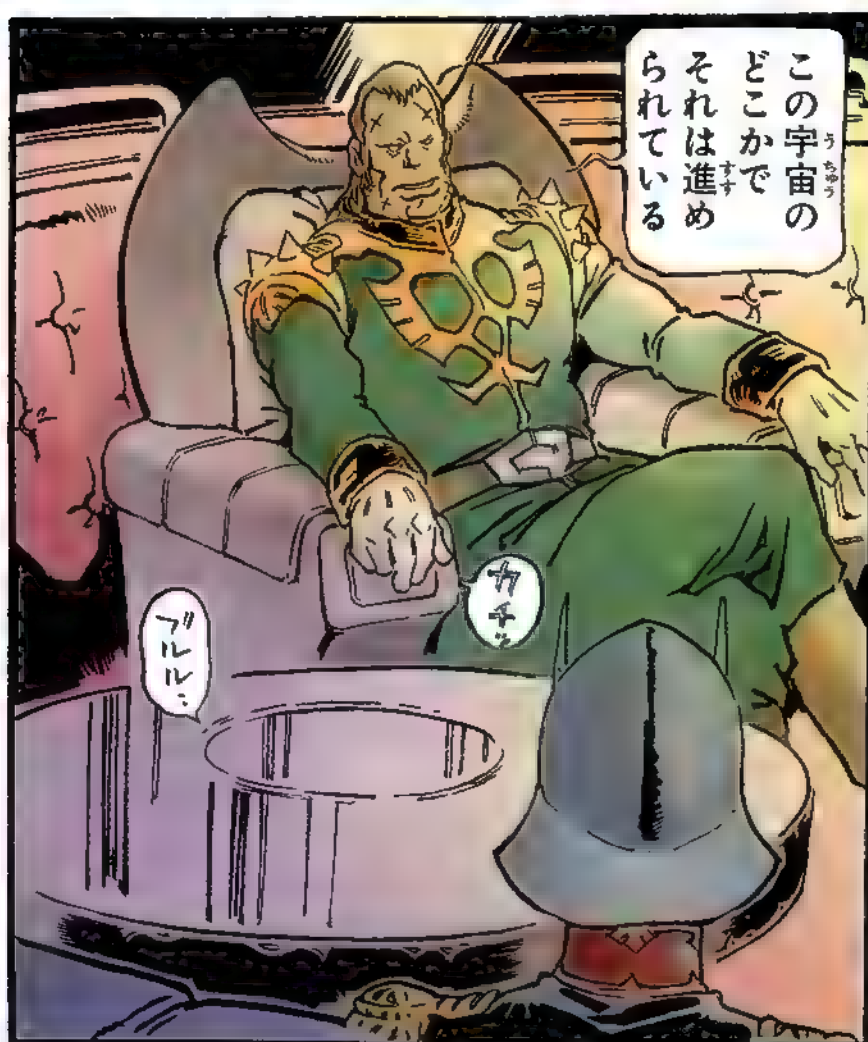
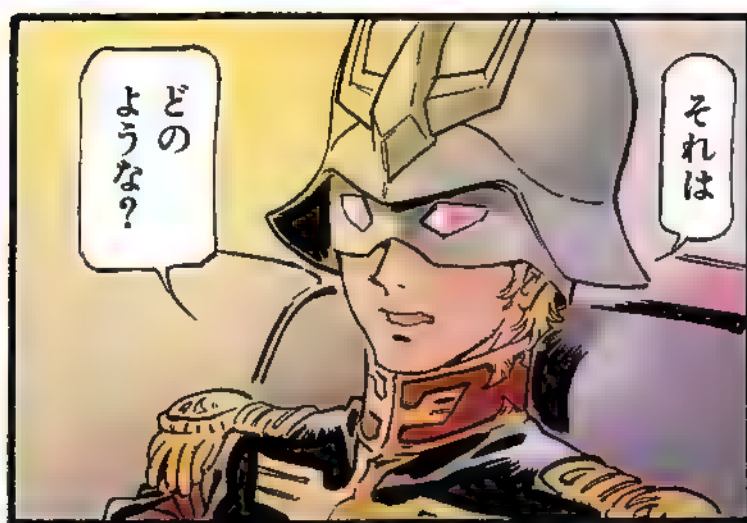
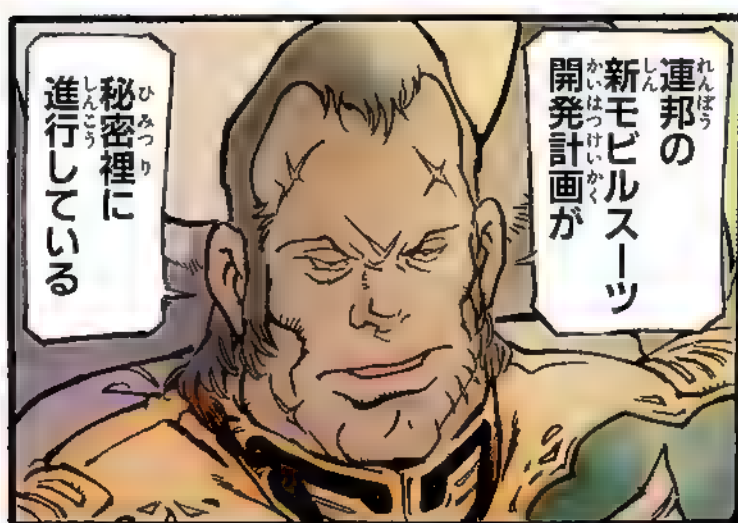
地球は性に
合いません

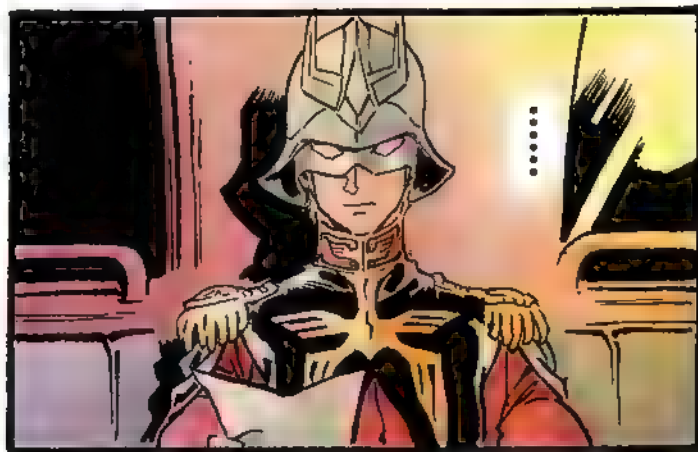
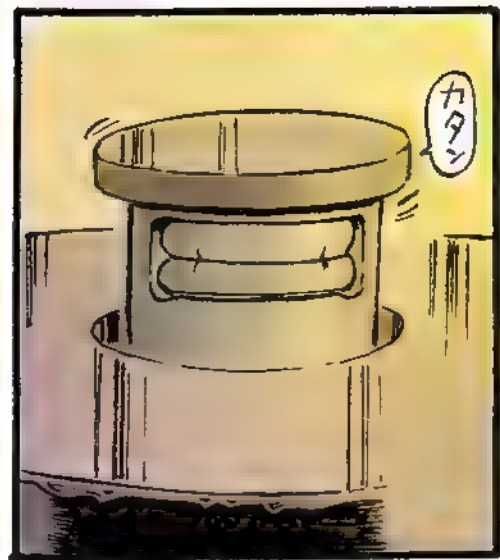
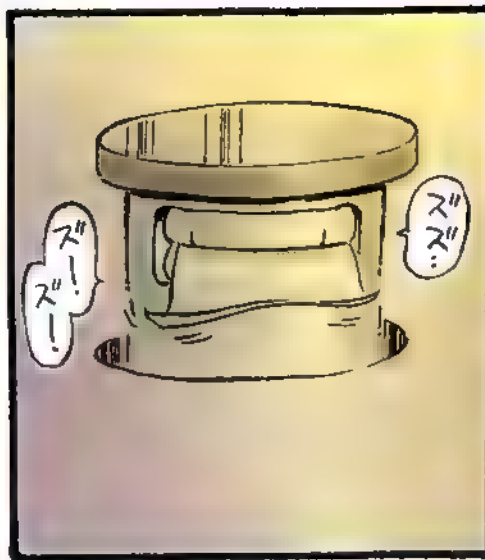
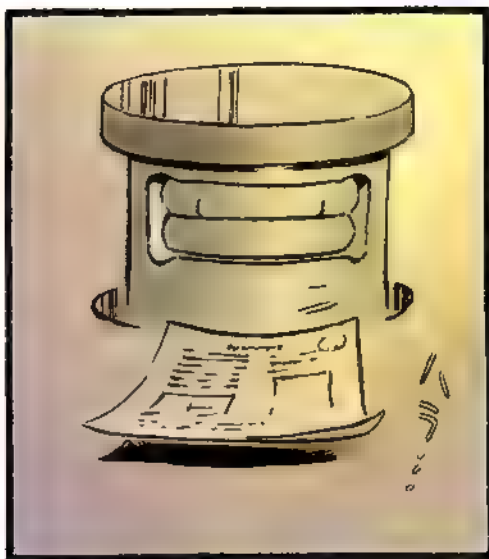
根っからの
スペースノイド
ですから

マ・クベ中将
からは内々に
打診され
ましたが

お断り
しました





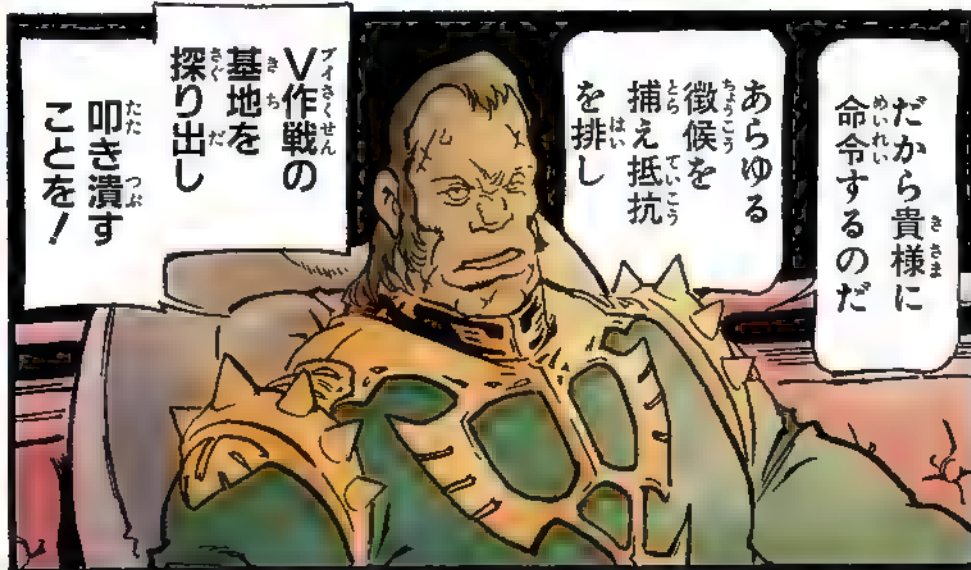
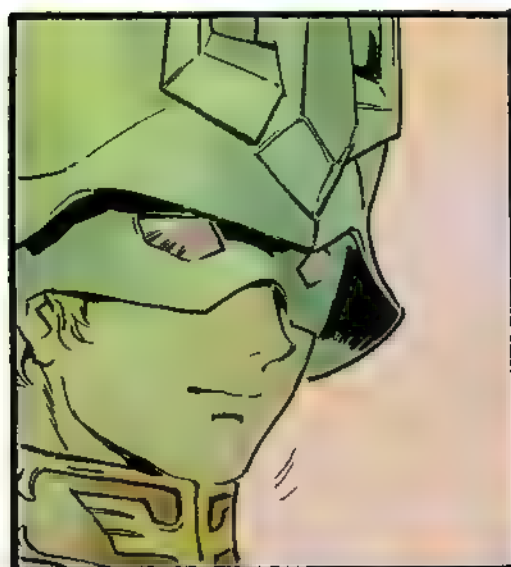




V作戦の脅威
なぞと言っても
所詮判らん奴等
には判らん

ギレン兄ですら
地球進攻を
控えた今 敢えて
ティアムムの残存
勢力が蝟集
しているフォン・
ブラウンや
ルナ・ツー
という

厄介なハチの巣を
つつこうとは
考えていない

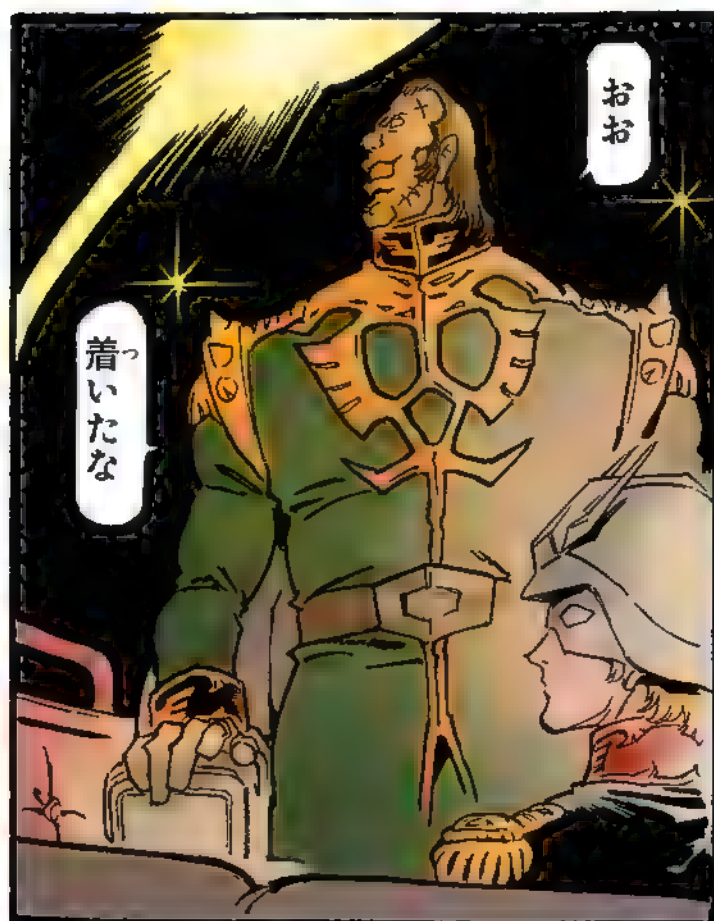


だから貴様に
命令するのだ

あらゆる
徴候を
捕え抵抗
を排し

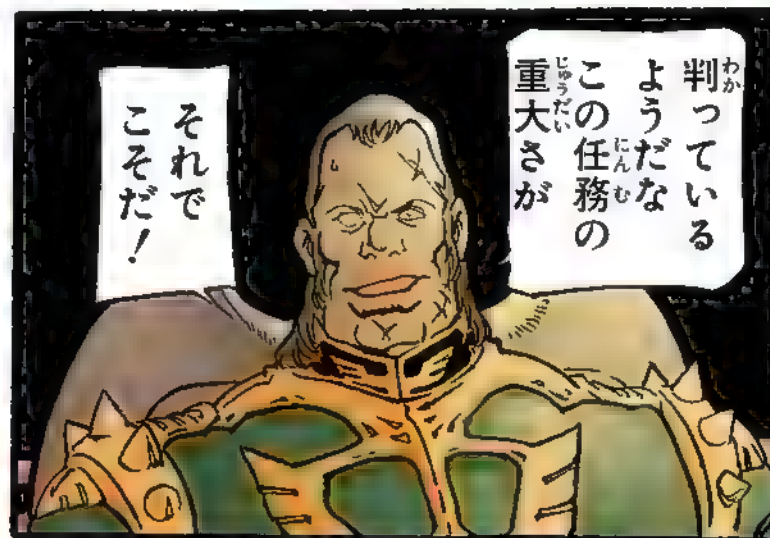
V作戦の
基地を
探し出し

叩き潰す
ことを!



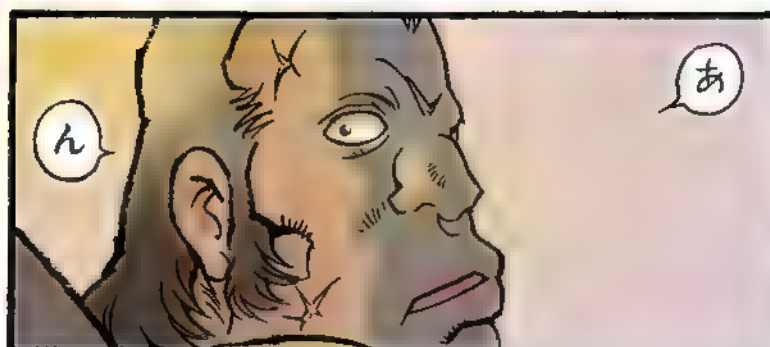
おお

着いたな



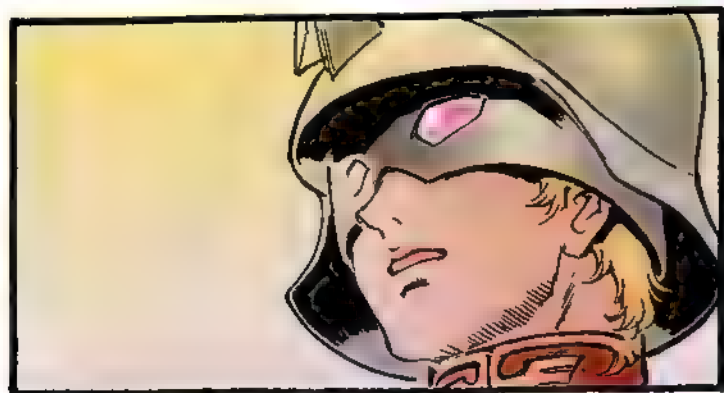
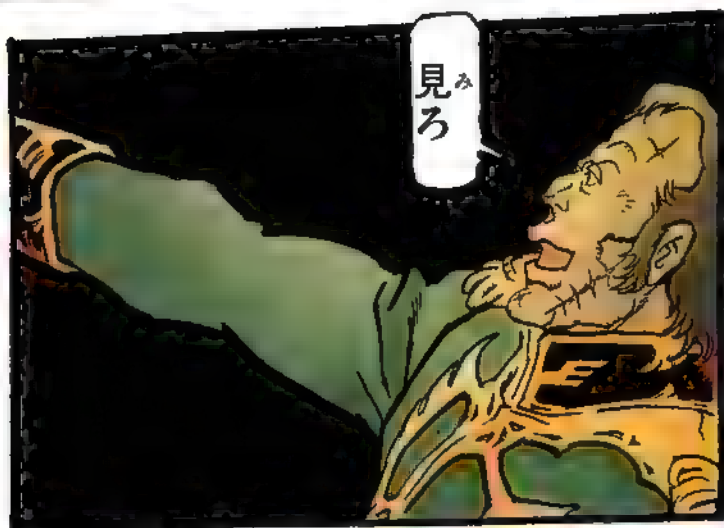
判っている
ようだな
この任務の
重大さが

それで
こそだ!



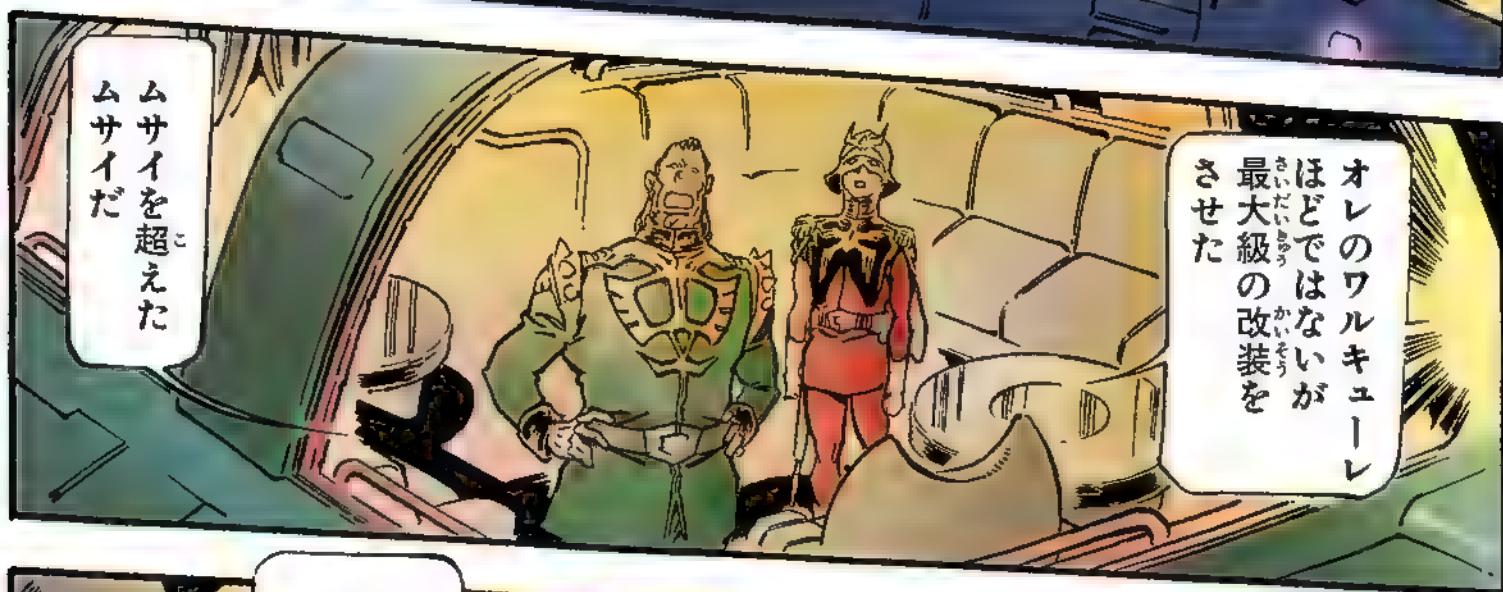
あ

ん





あれは
きさまの
艦だ

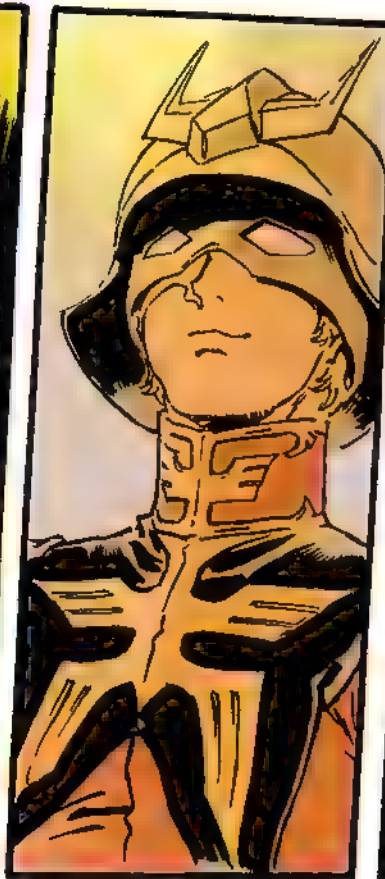


ムサイを超えた
ムサイだ

オレのワルキューレ
ほどではないが
最大級の改装を
させた



きさまの任務の
ためなら特別に
単独行動も許す

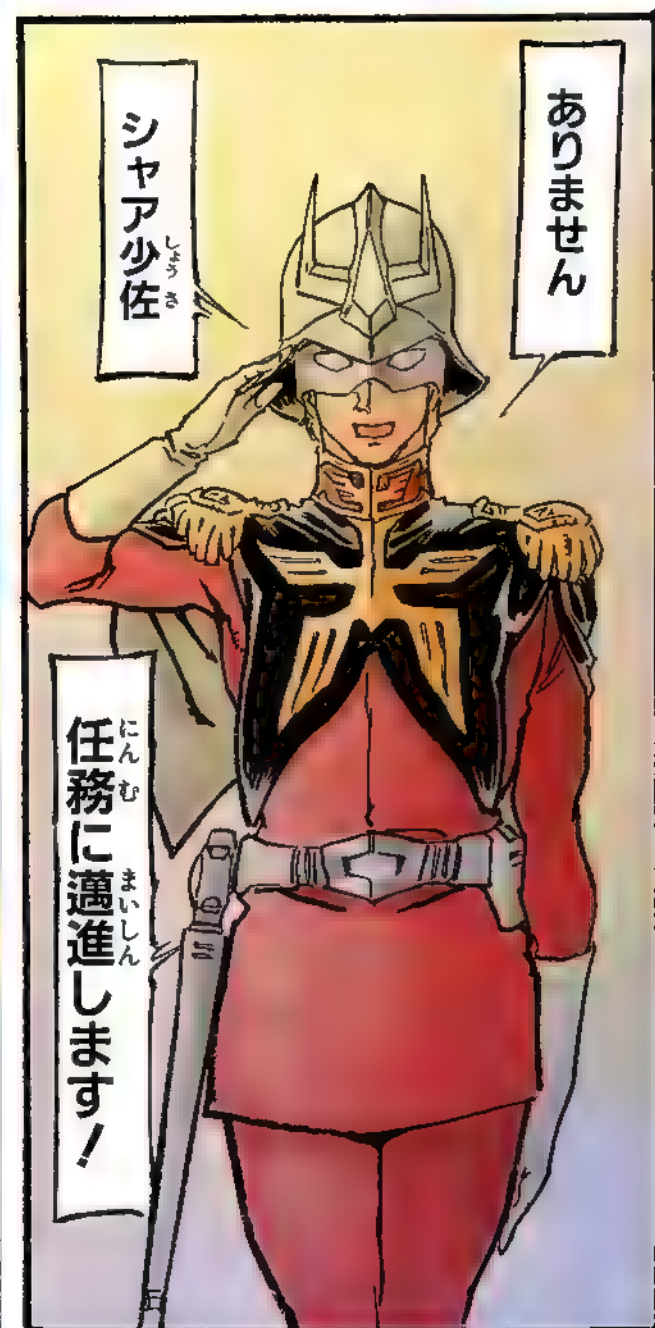


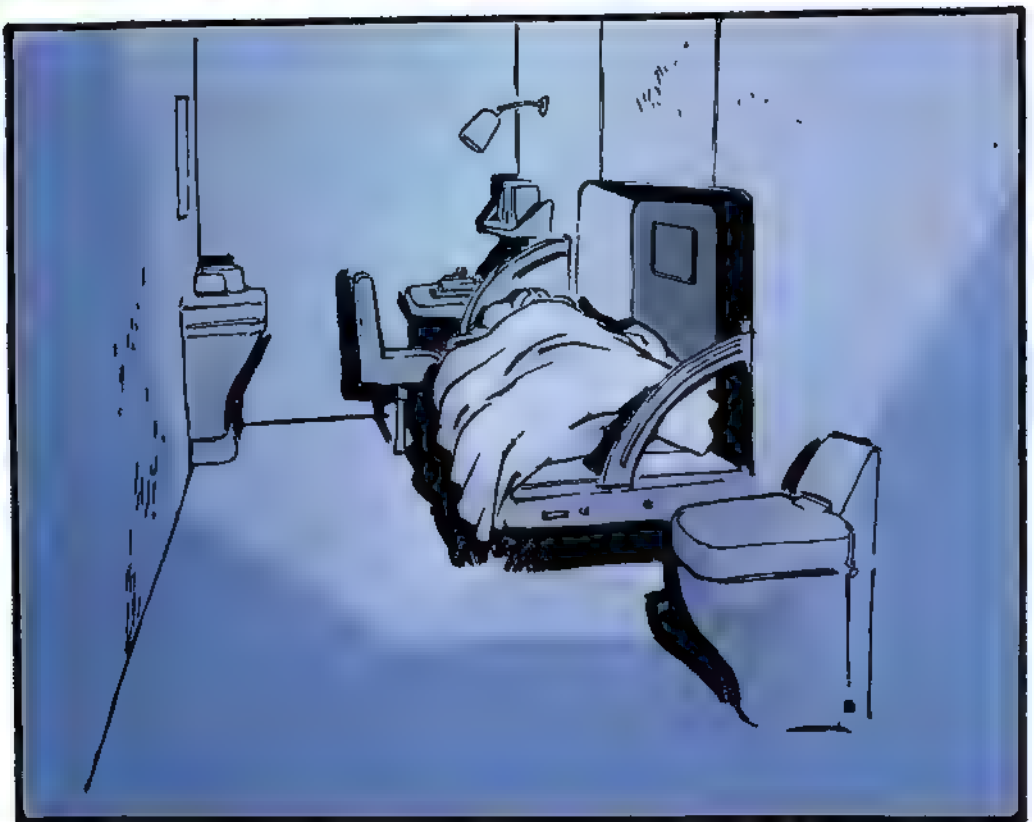
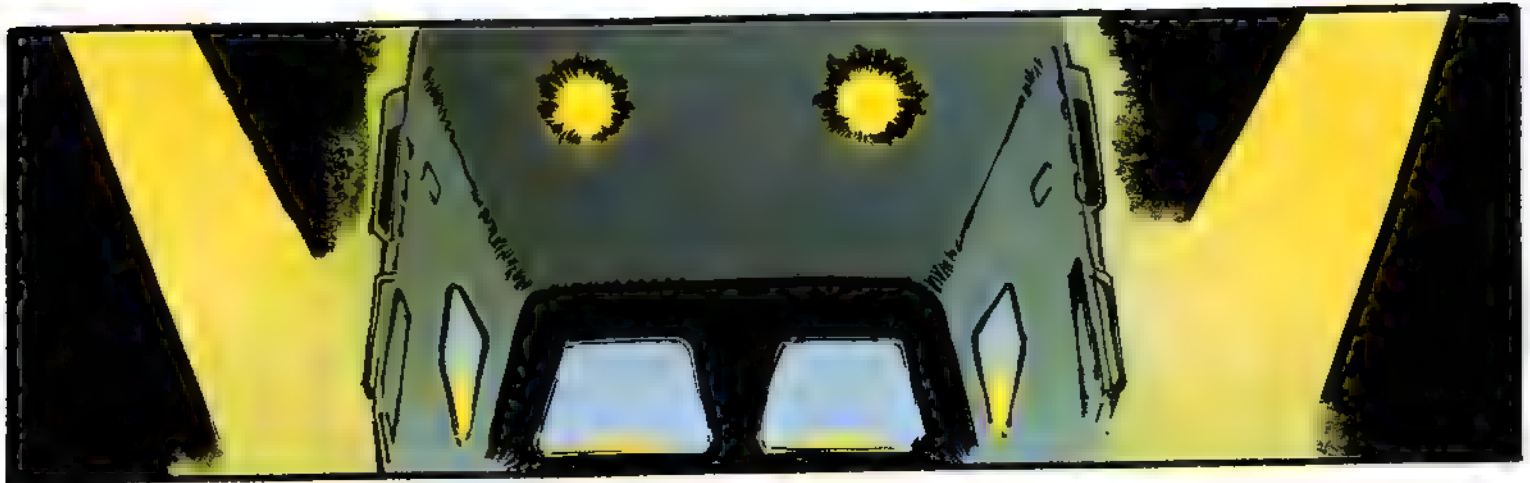
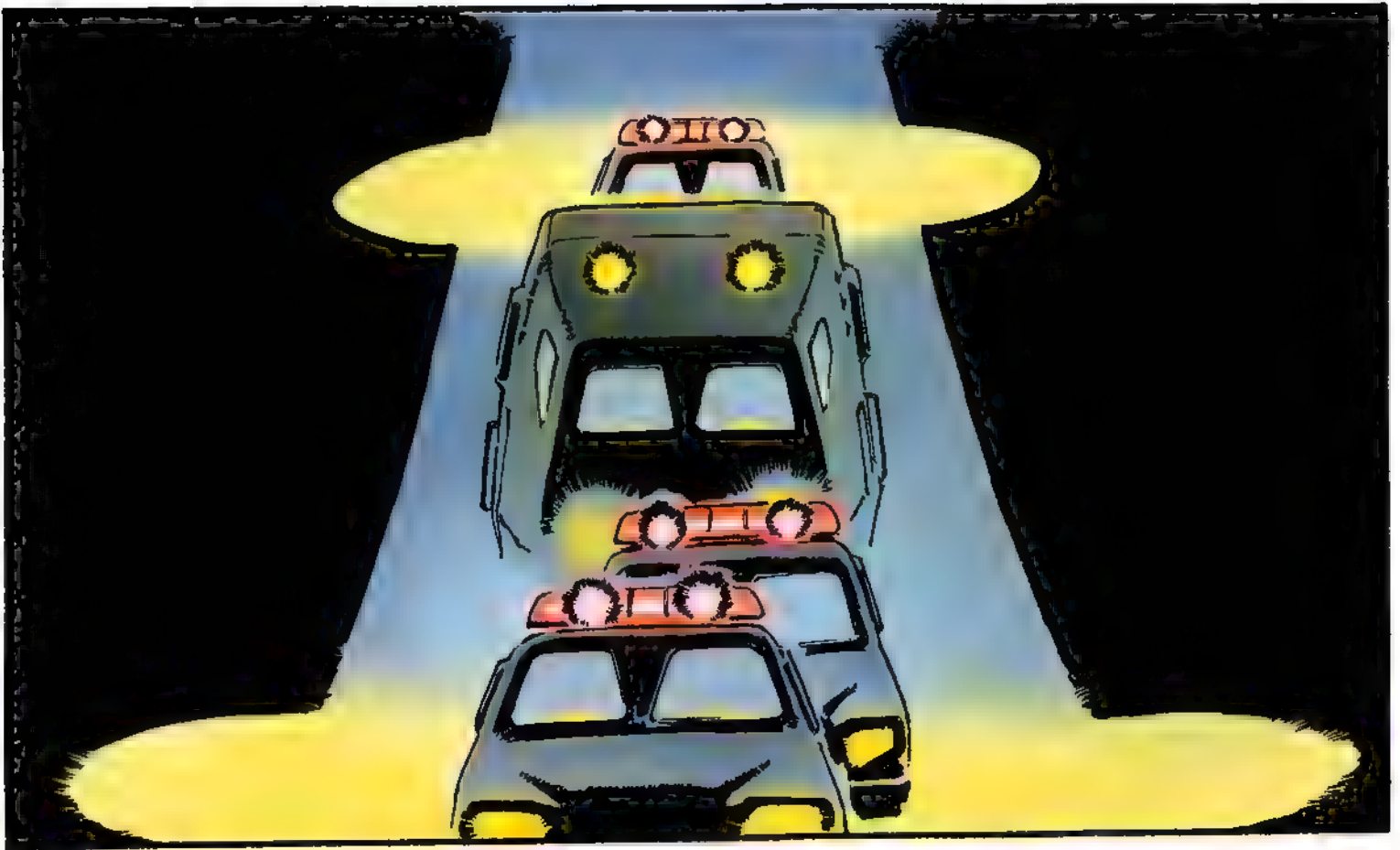
乗組員も
粒よりのを
揃えておいた

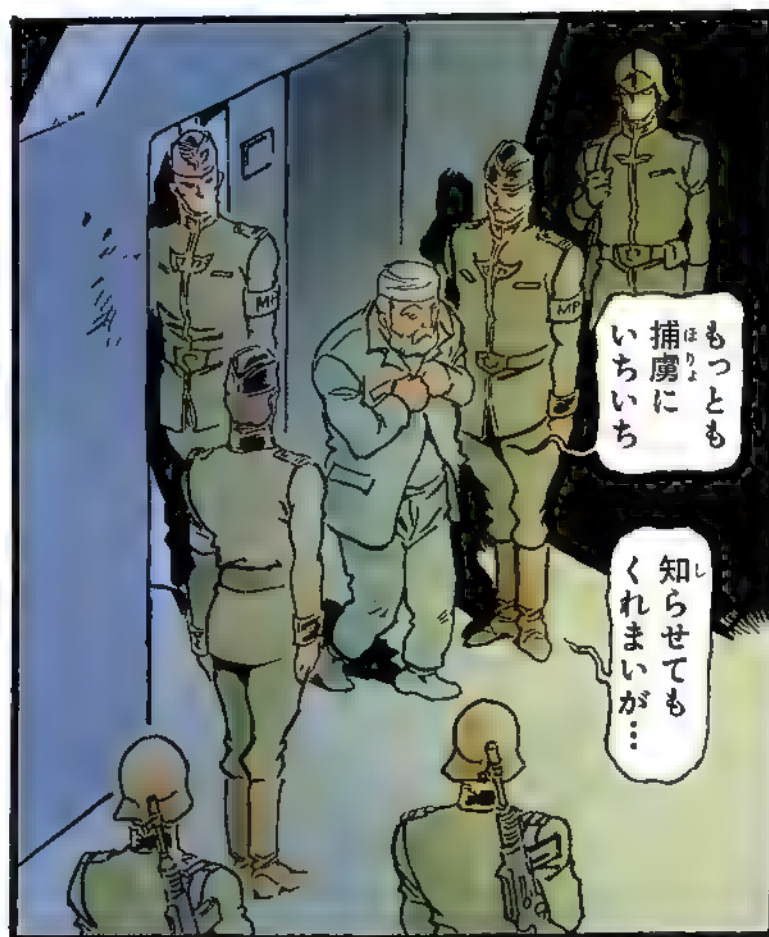
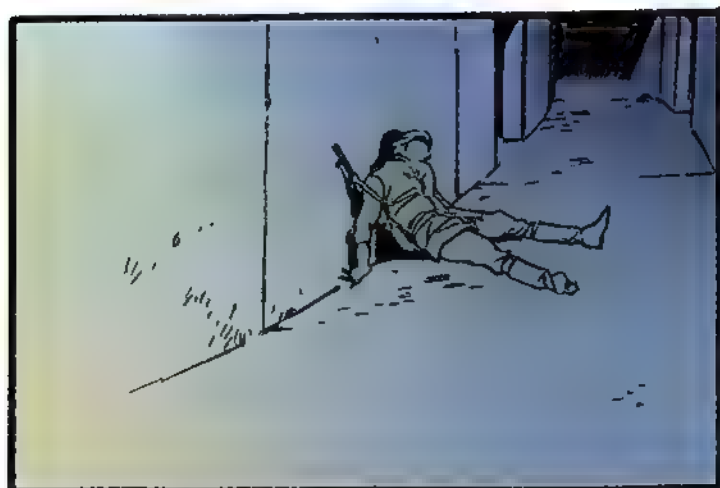
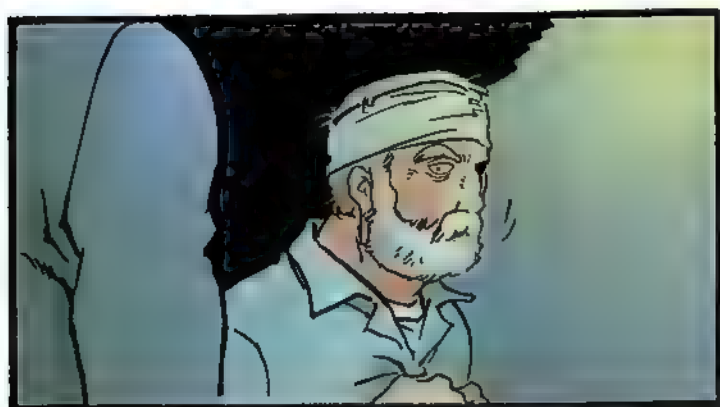
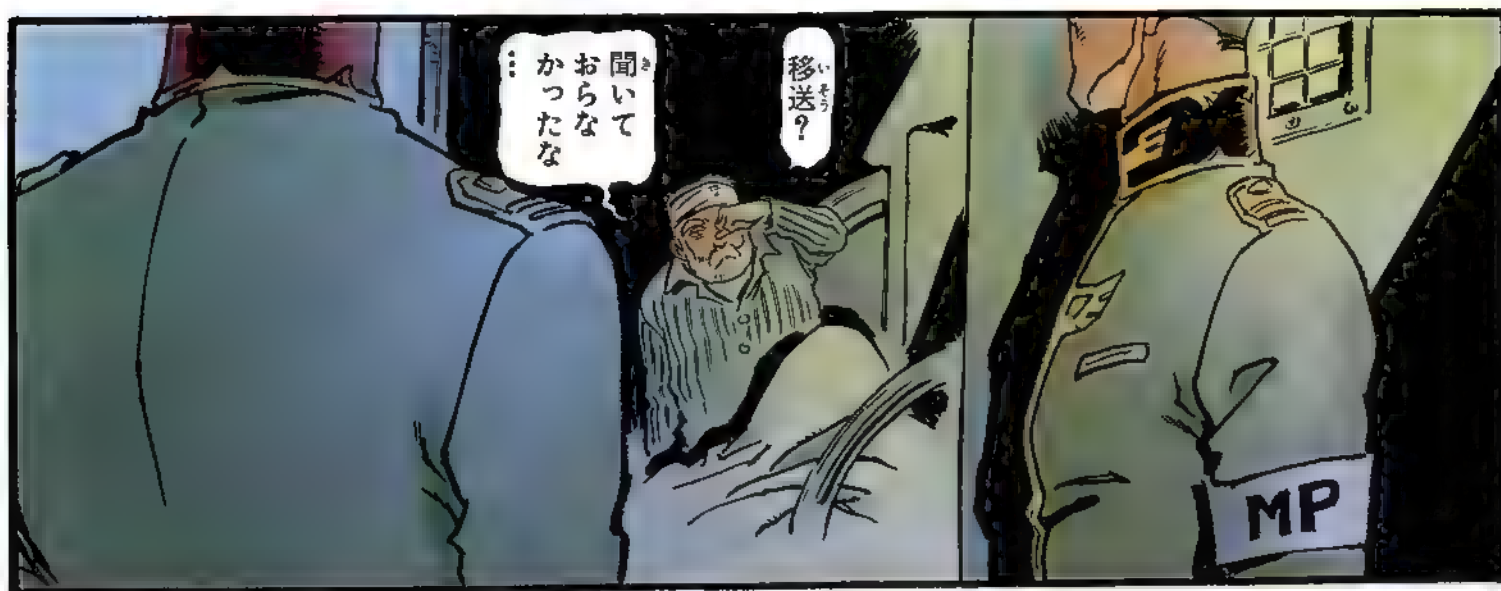
俺の饑だ



好きに
使え

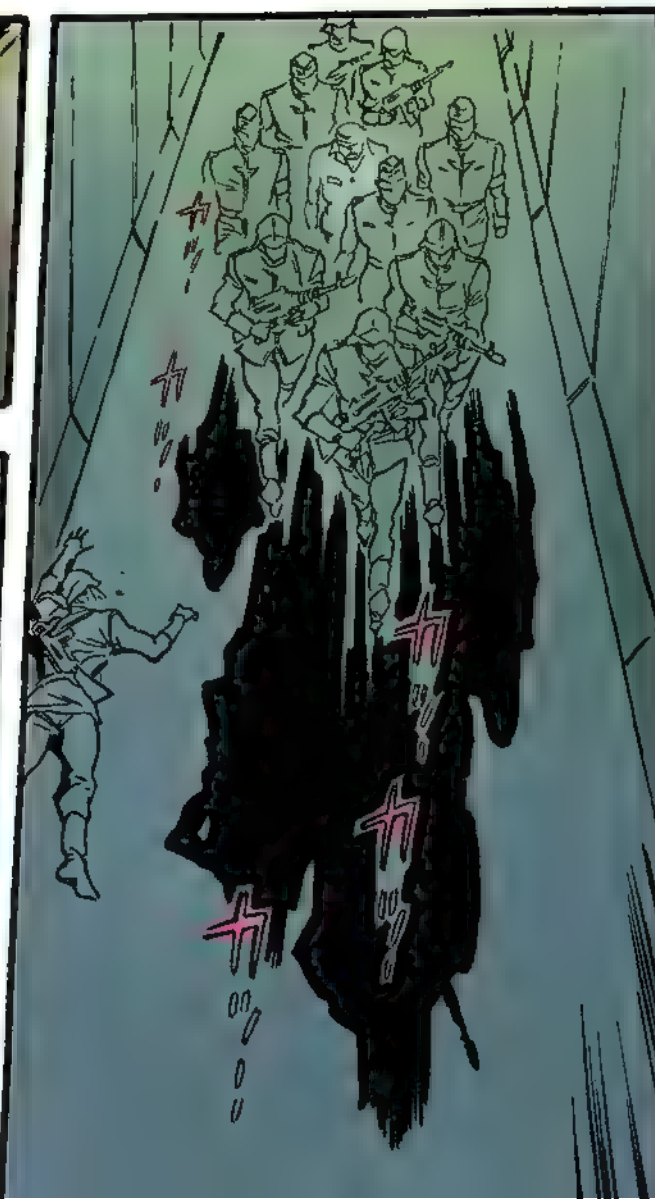
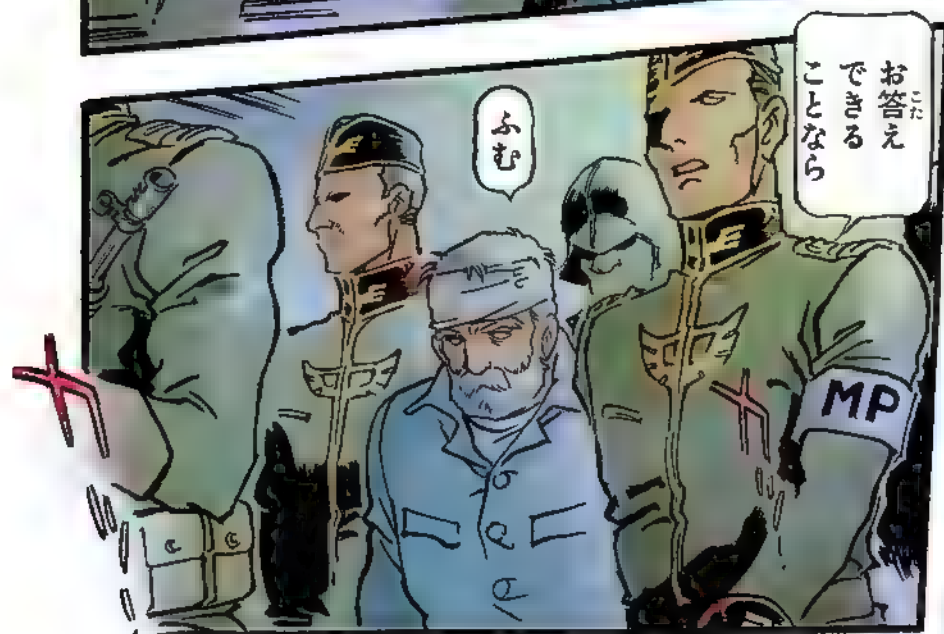
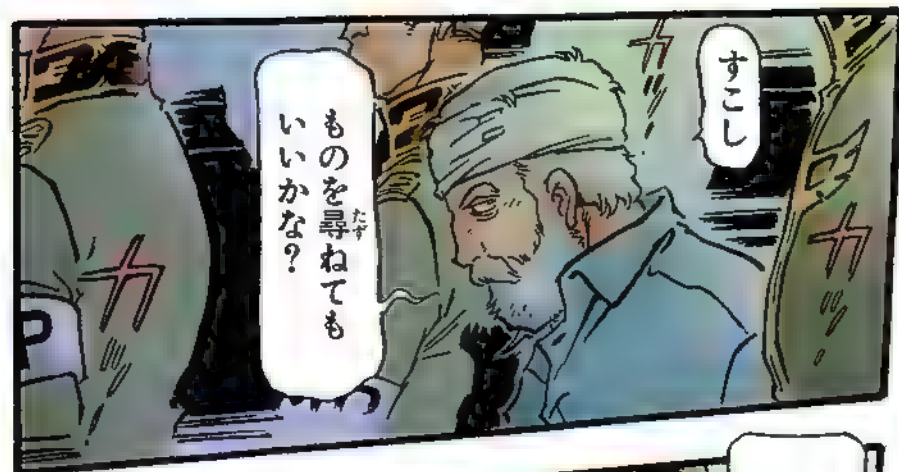
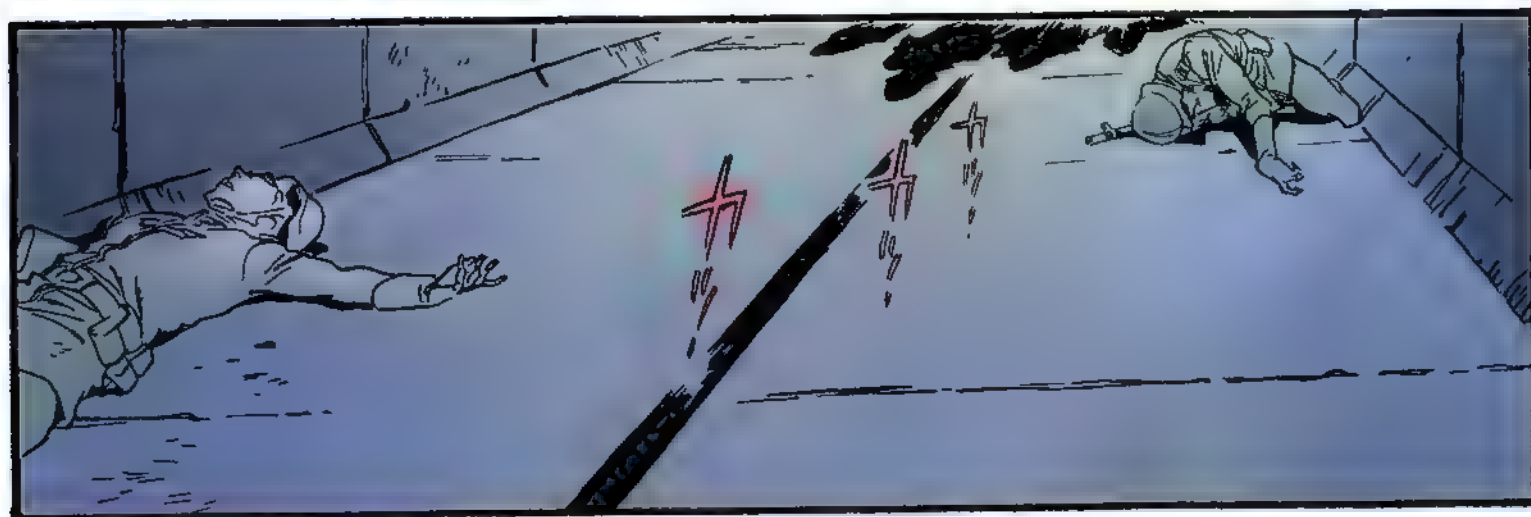


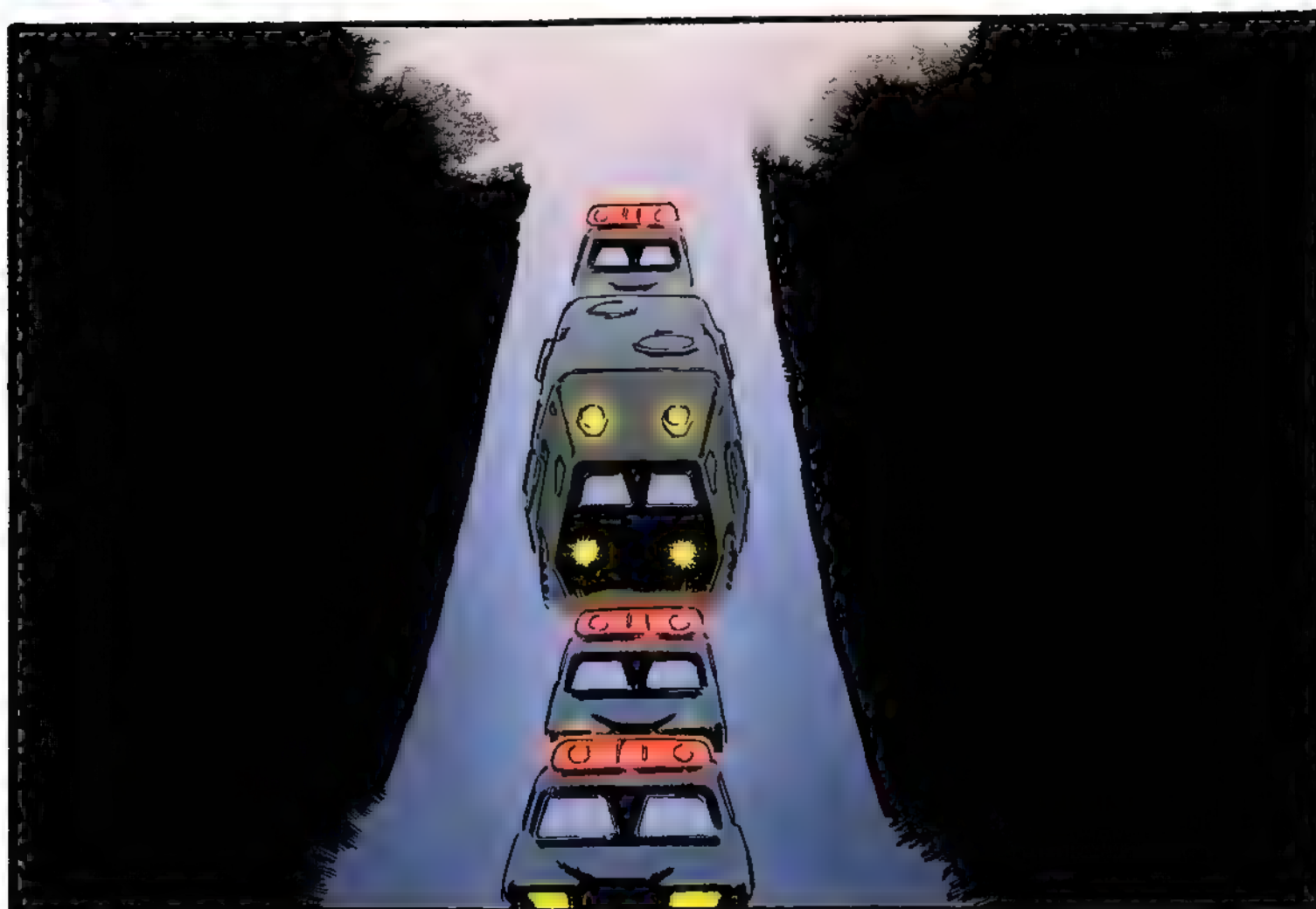
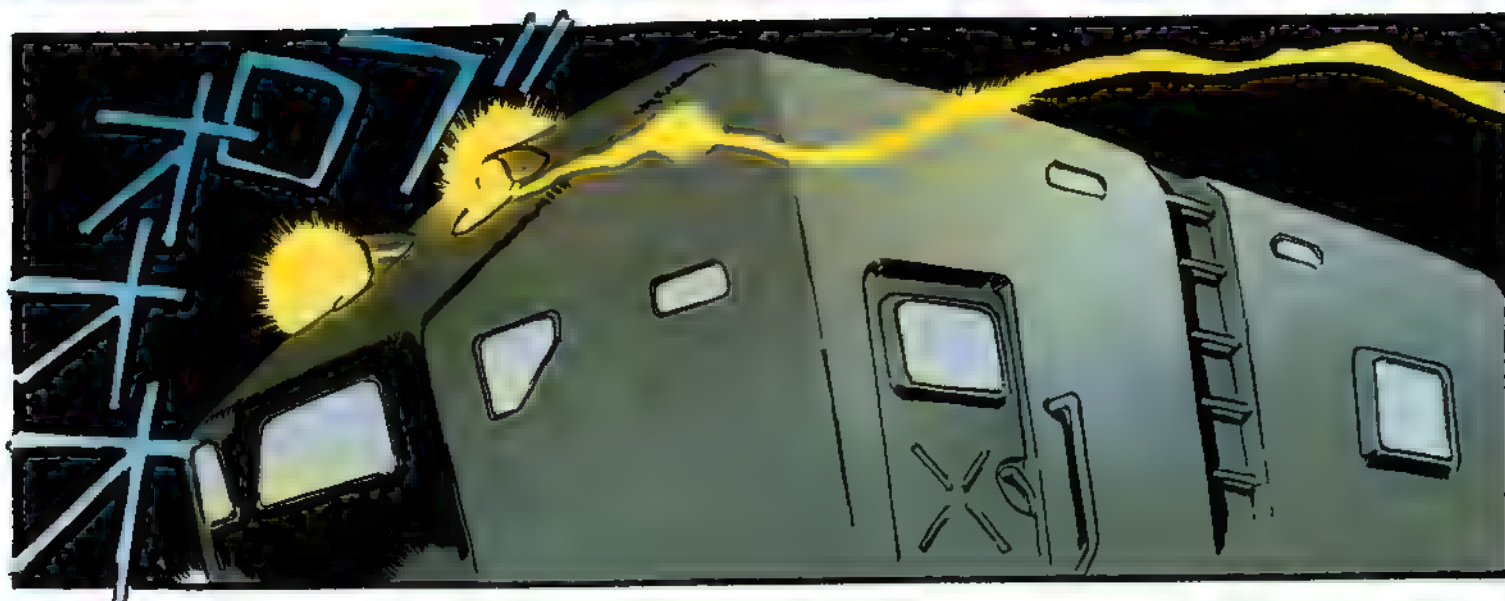
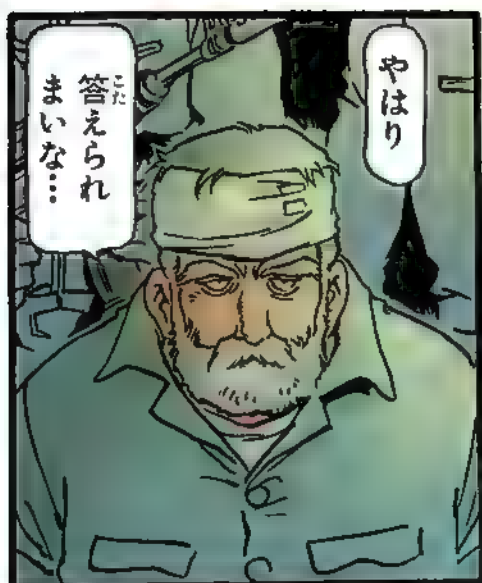


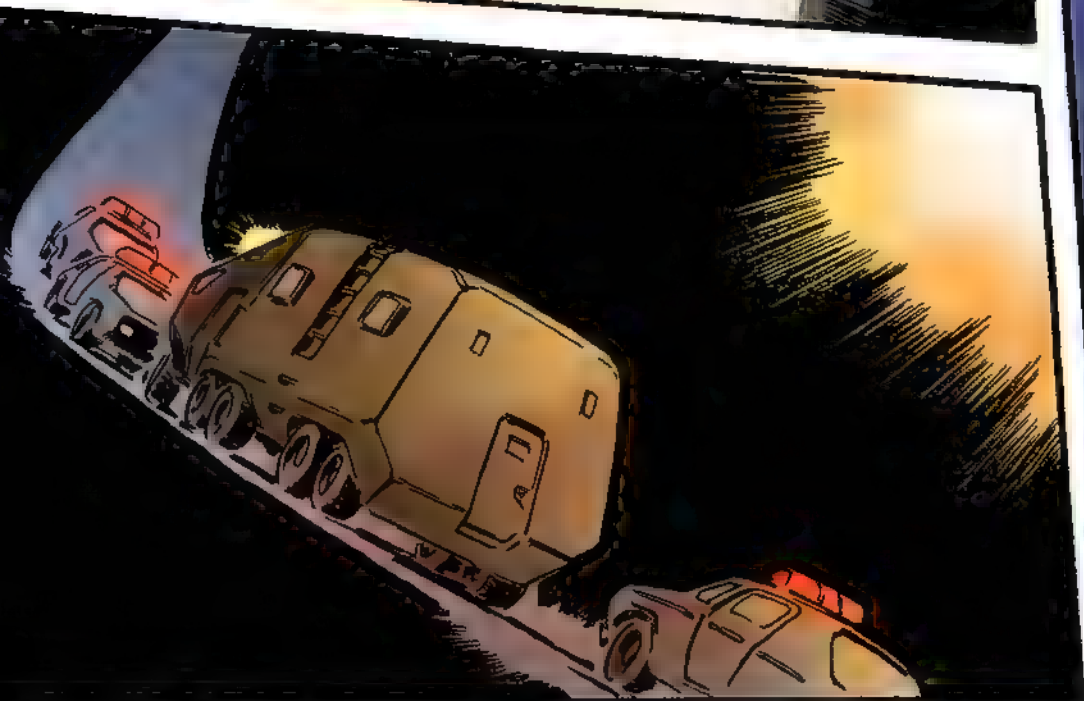
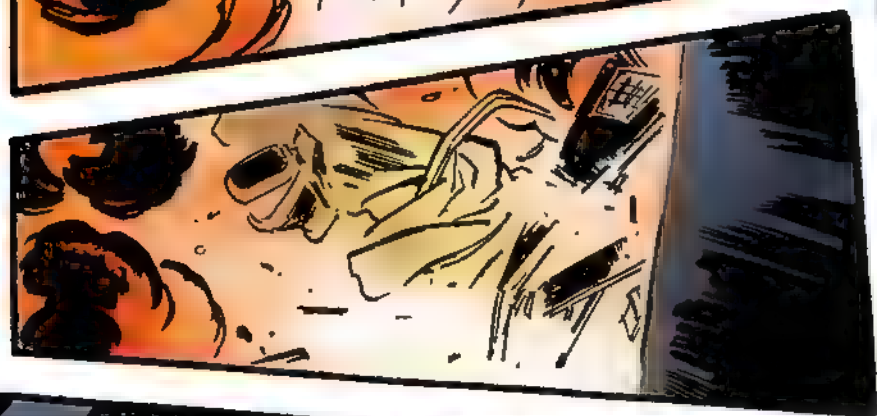
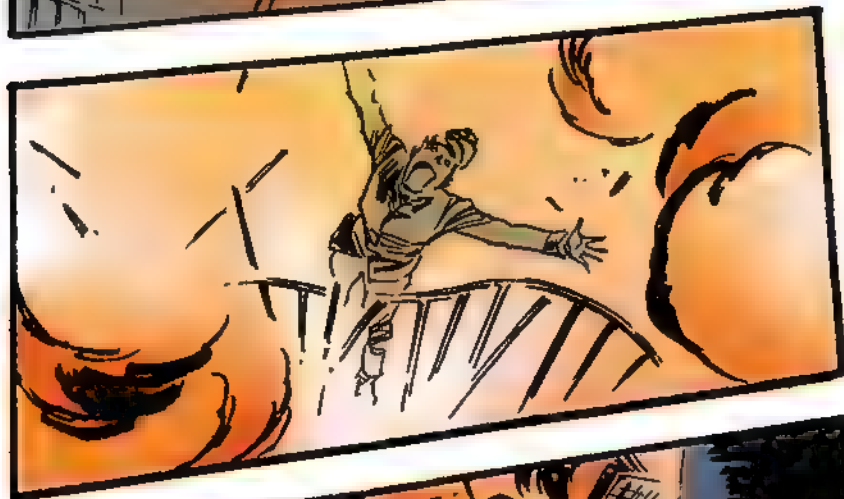
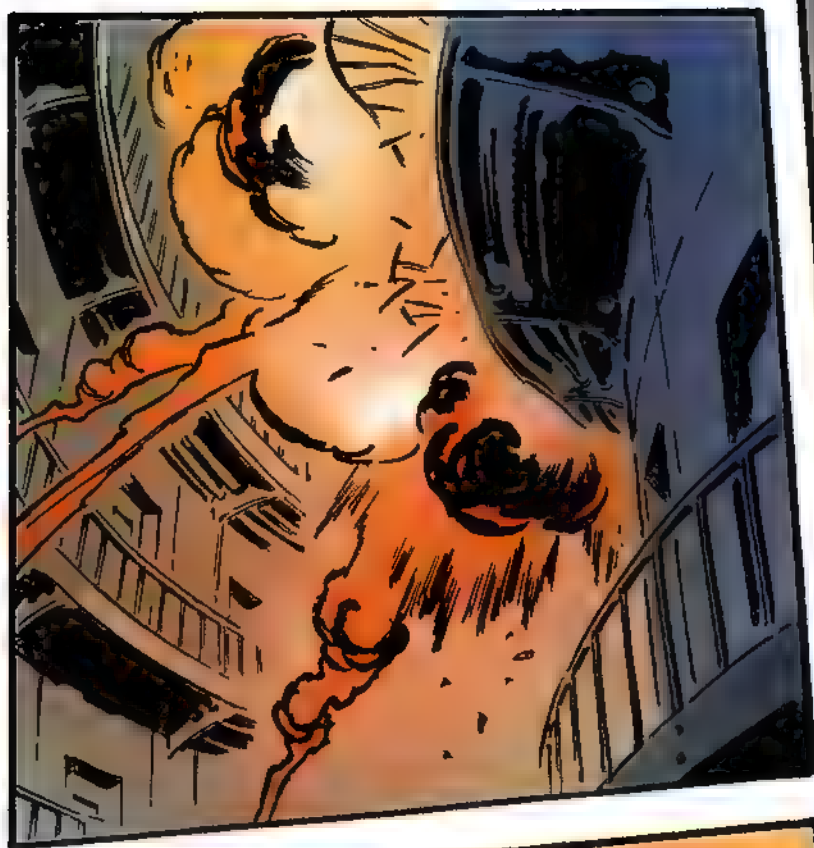


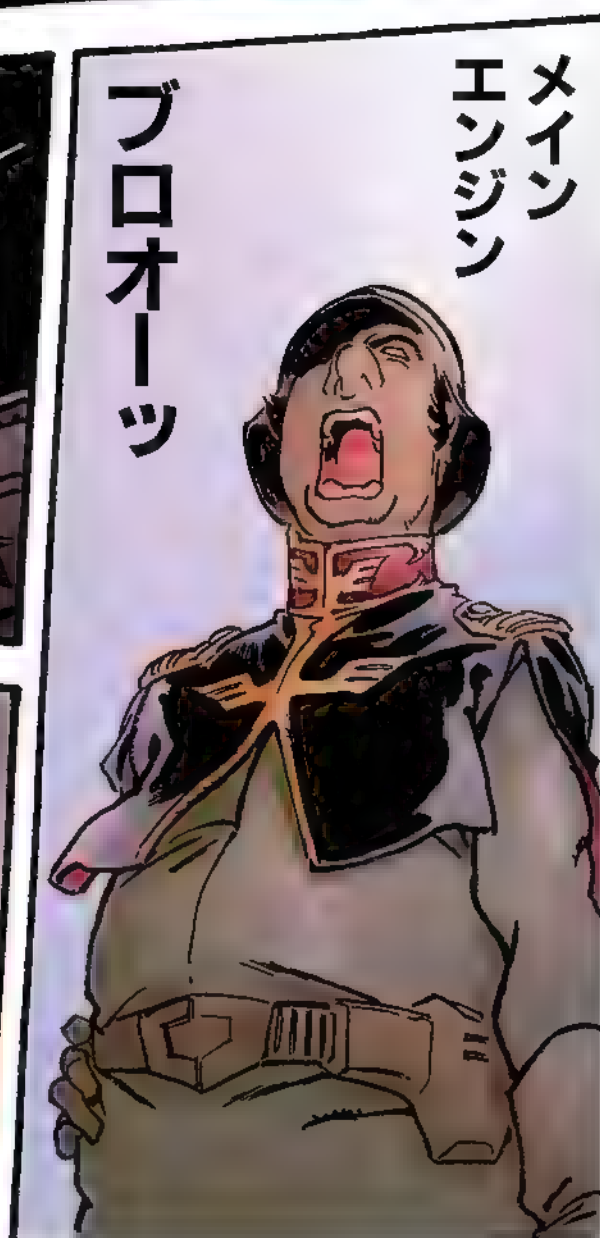
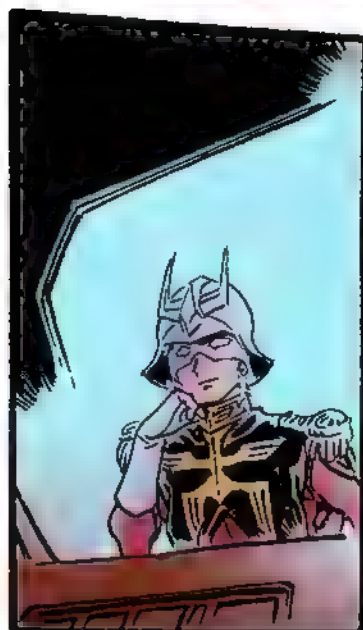
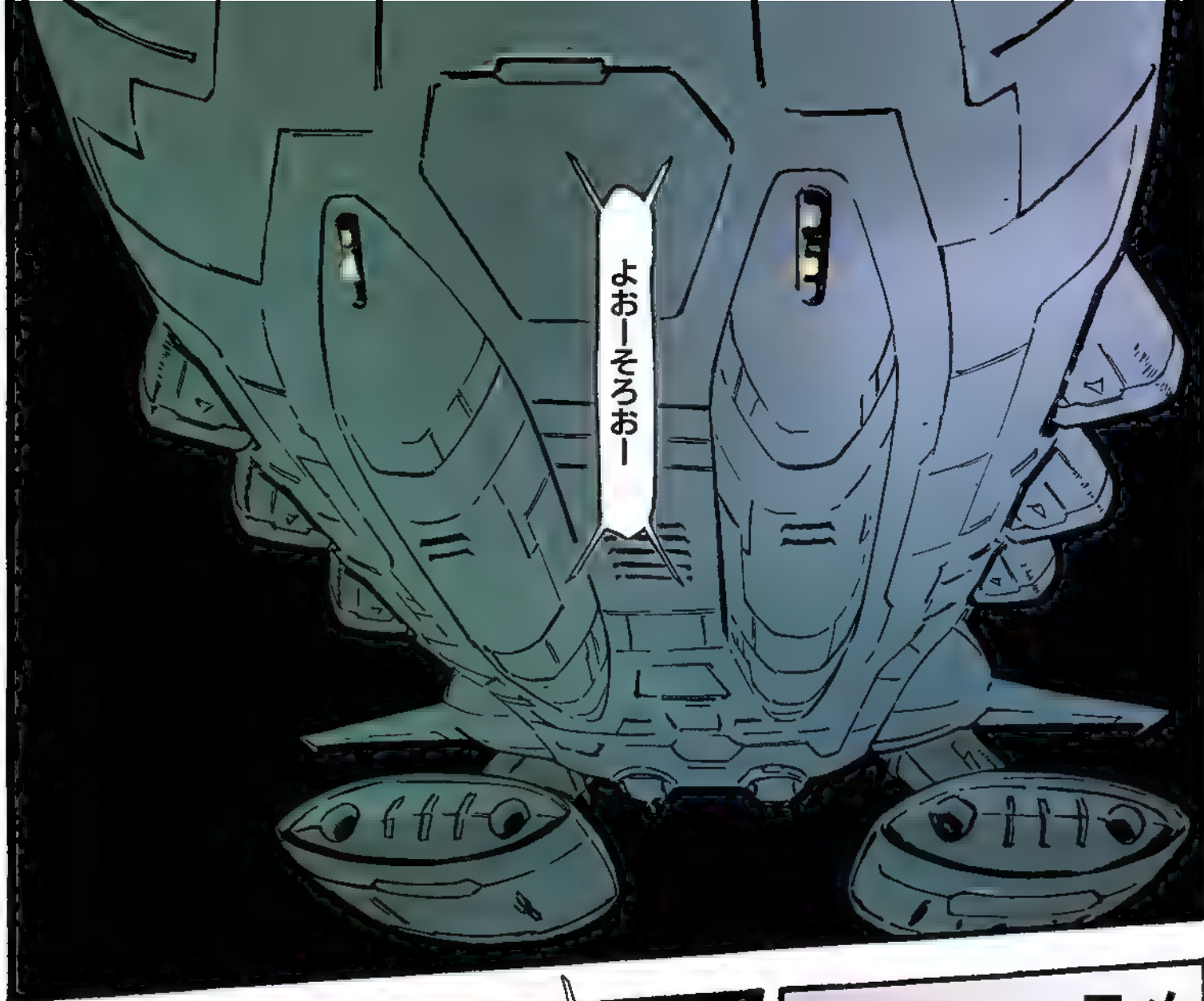


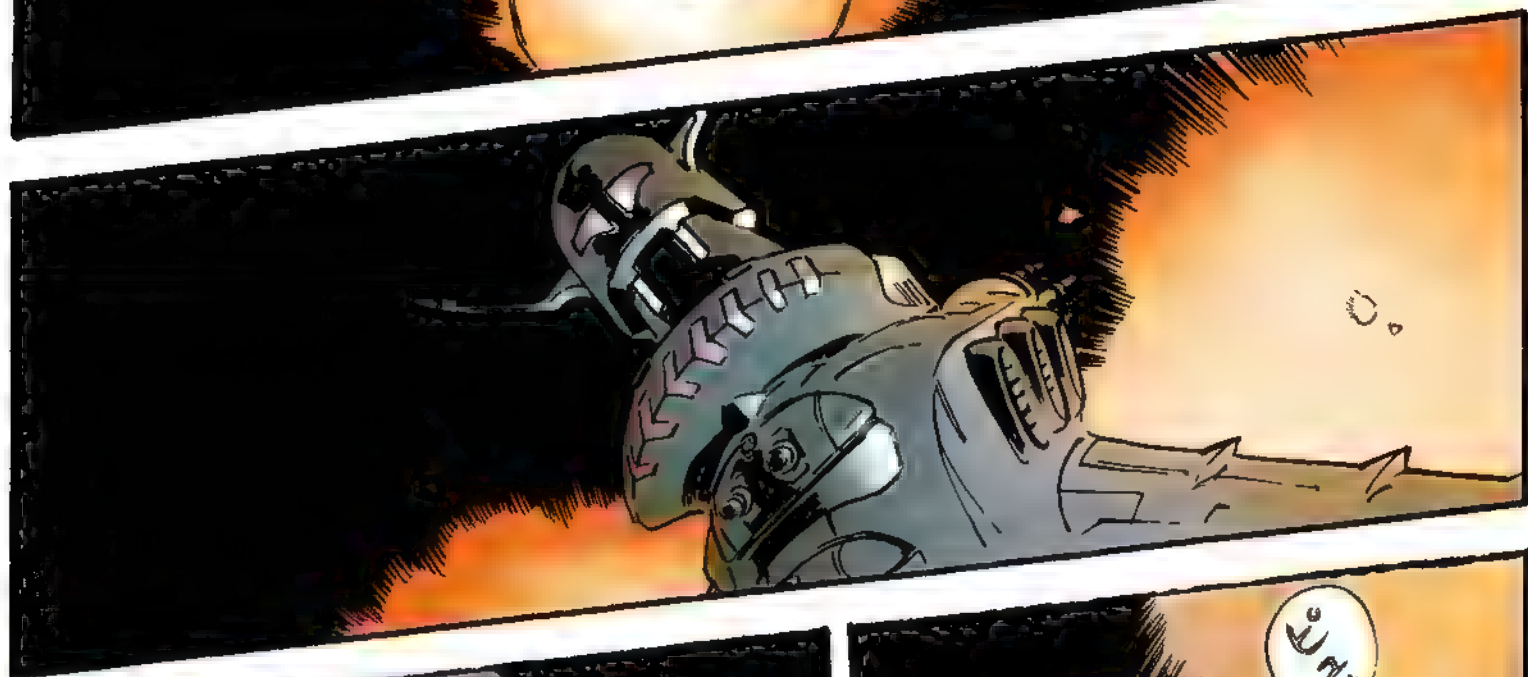
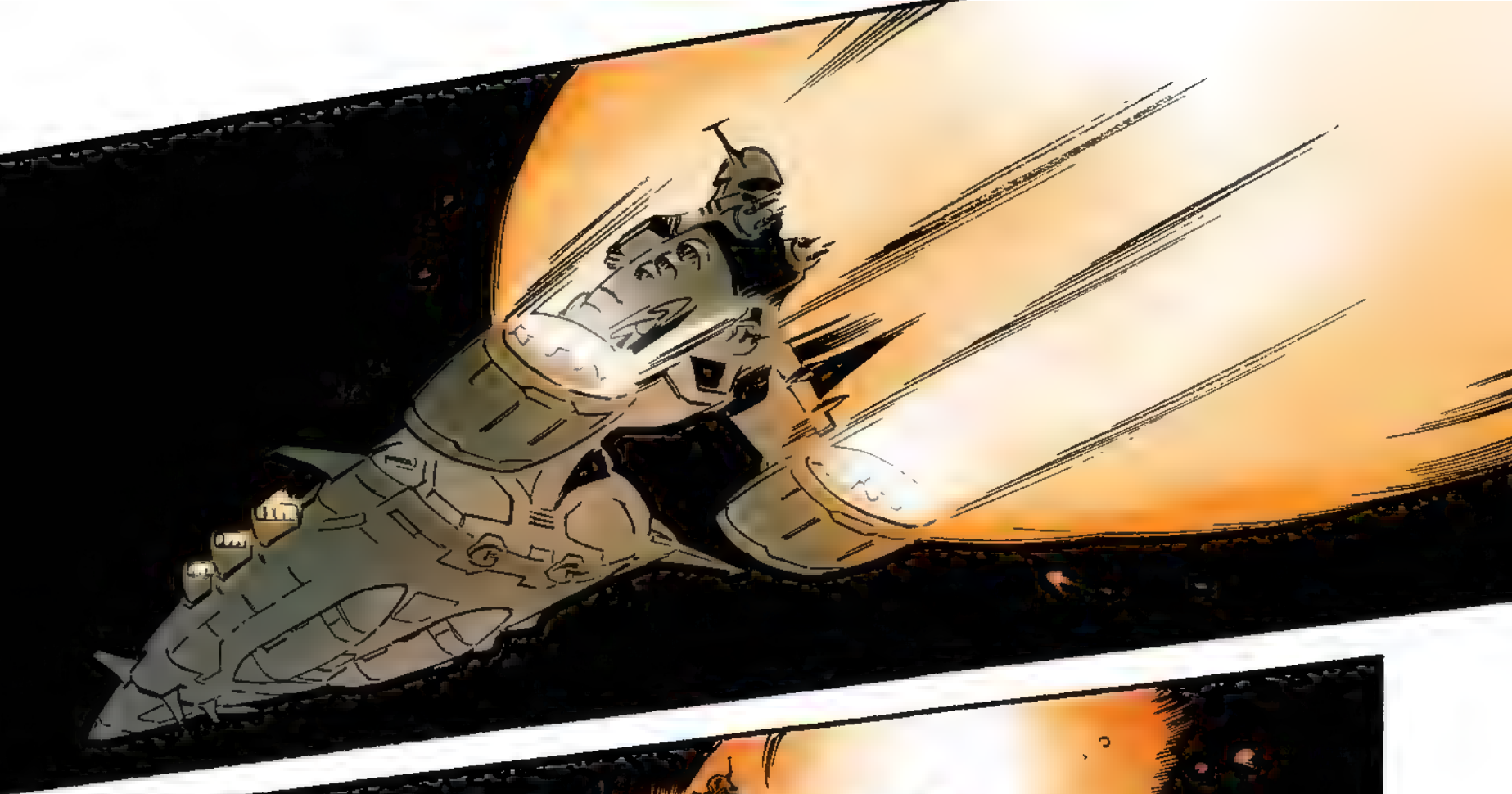
ごあんない
御案内
します







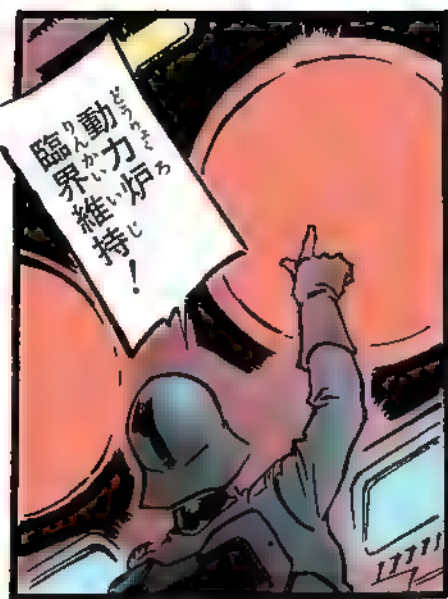






初期増速
終了！

軌道に
のります！

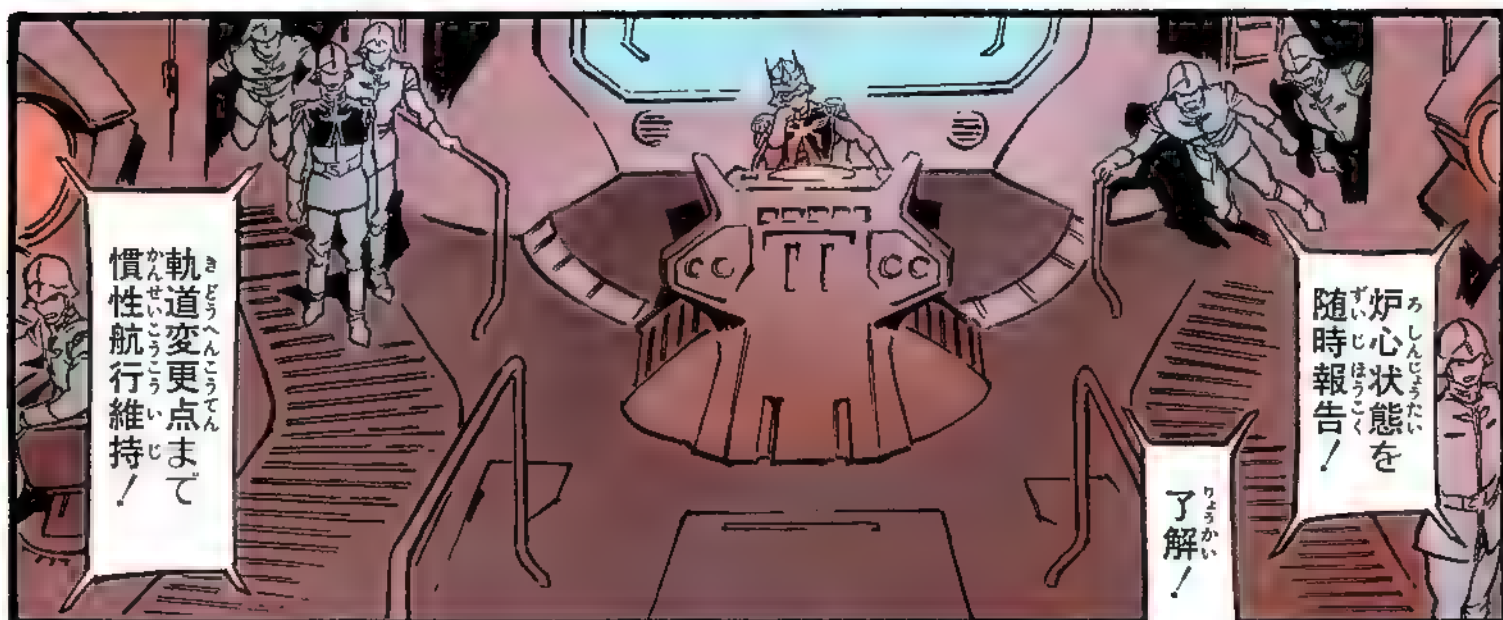


動力炉
臨界維持！



機関良好

速度
秒速3.2Xノットに
増速！



軌道変更点まで
慣性航行維持！

炉心状態を
随時報告！

了解！



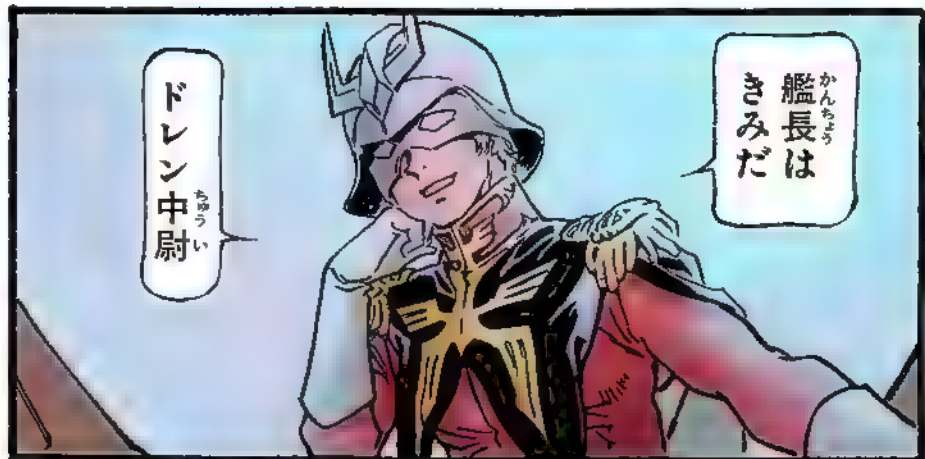
ポンコツパアの
改造輸送艦に
乗っていた
者には

まぶしすぎ
ますねええ



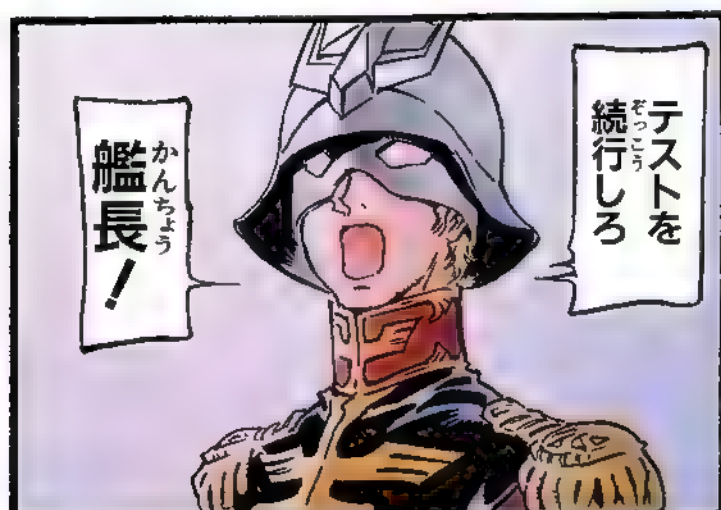
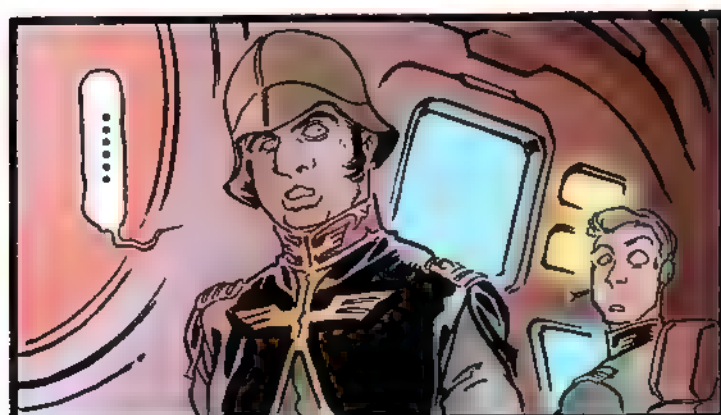
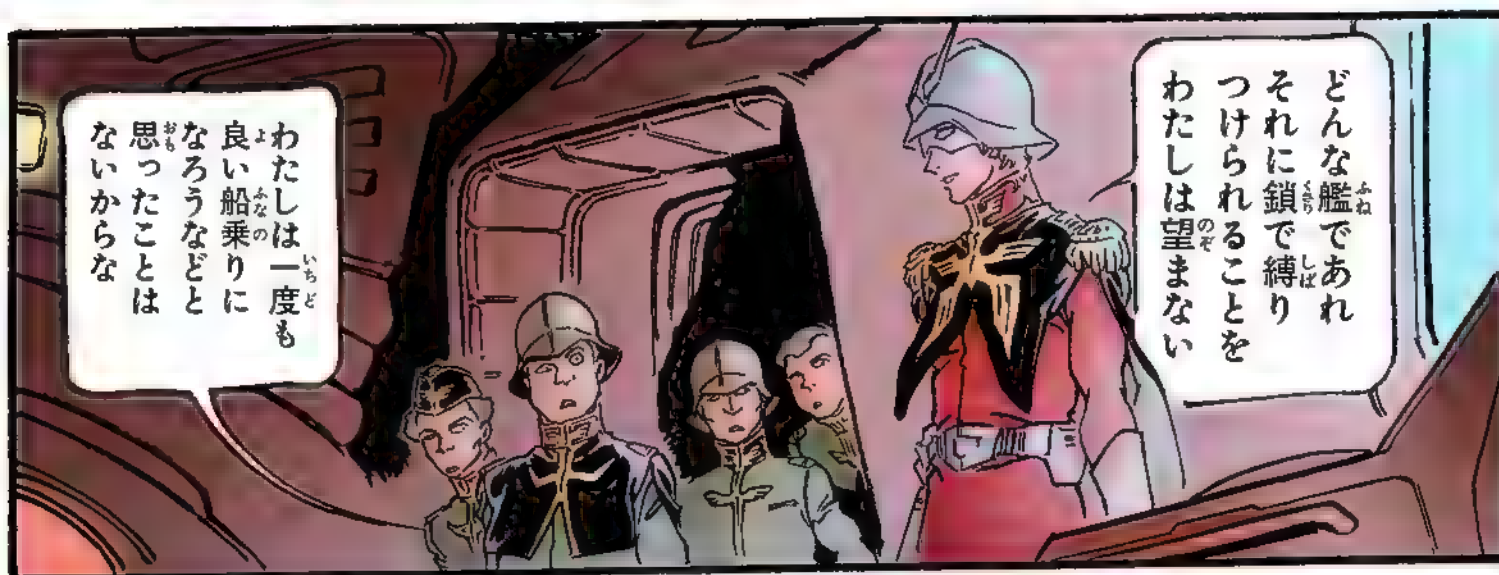
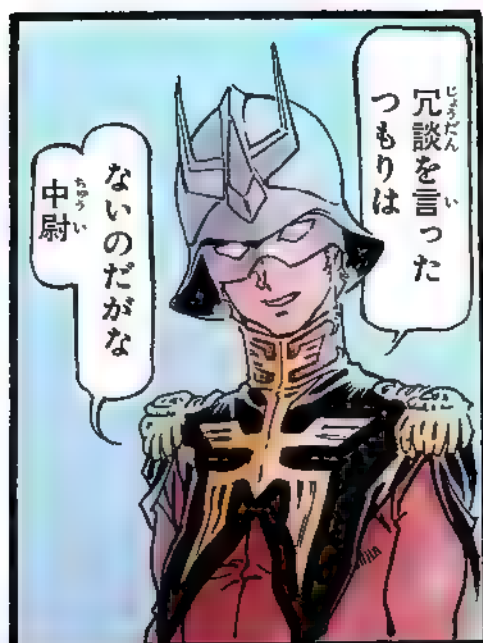
ドエライ
艦ですよ
こりや

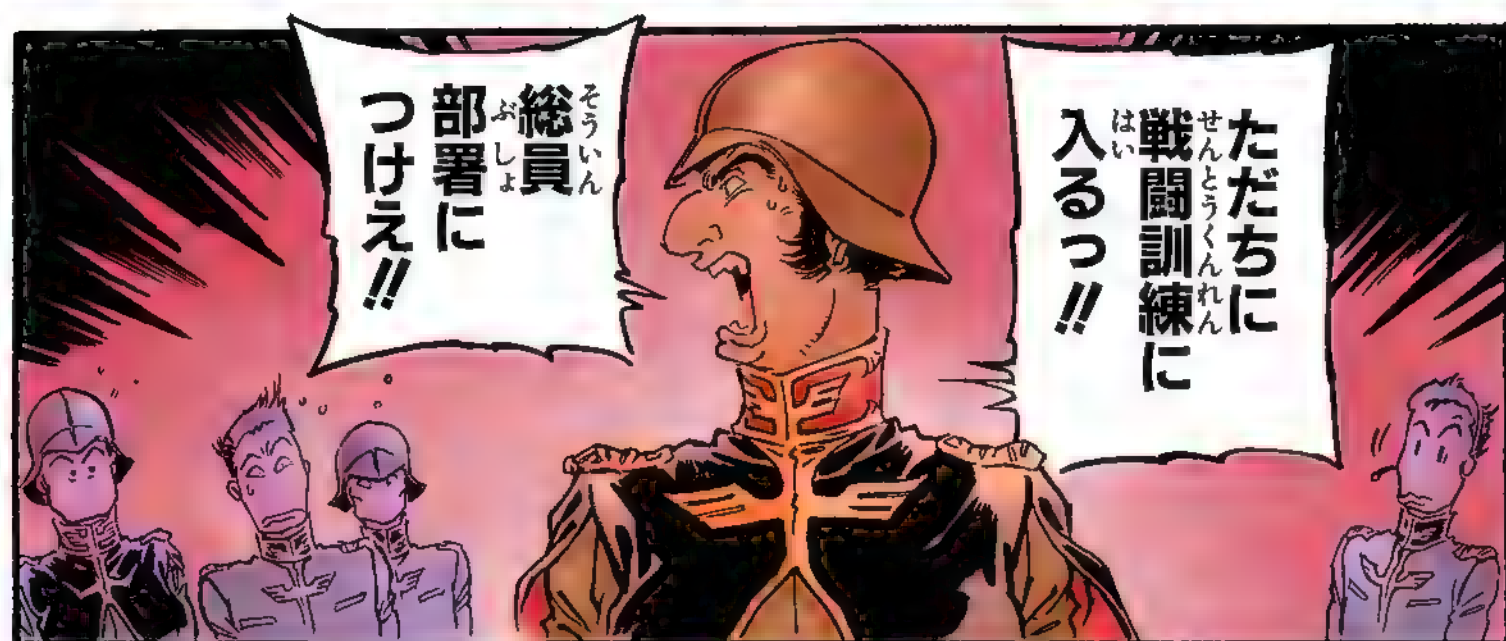
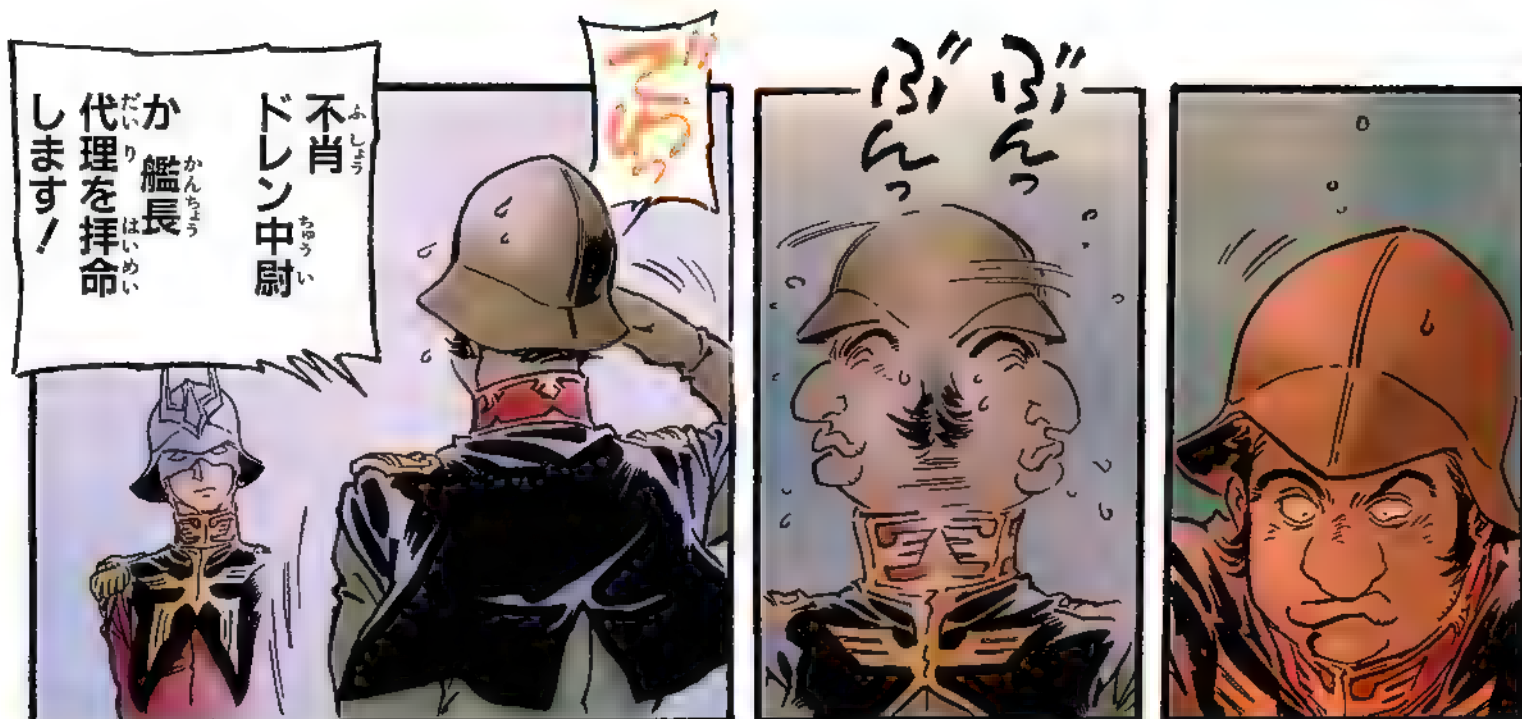
シャア艦長！

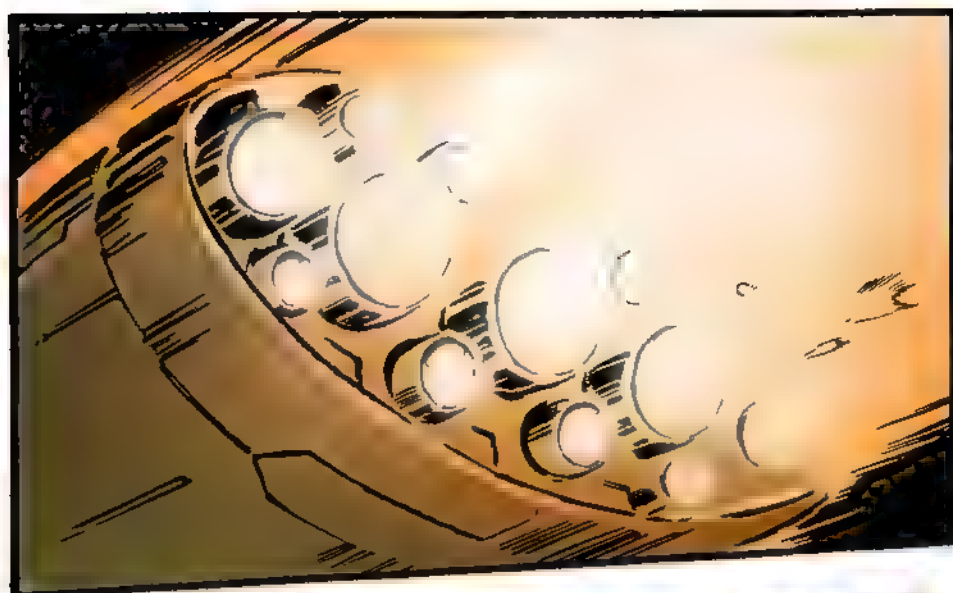


艦長は
きみだ

ドレン中尉





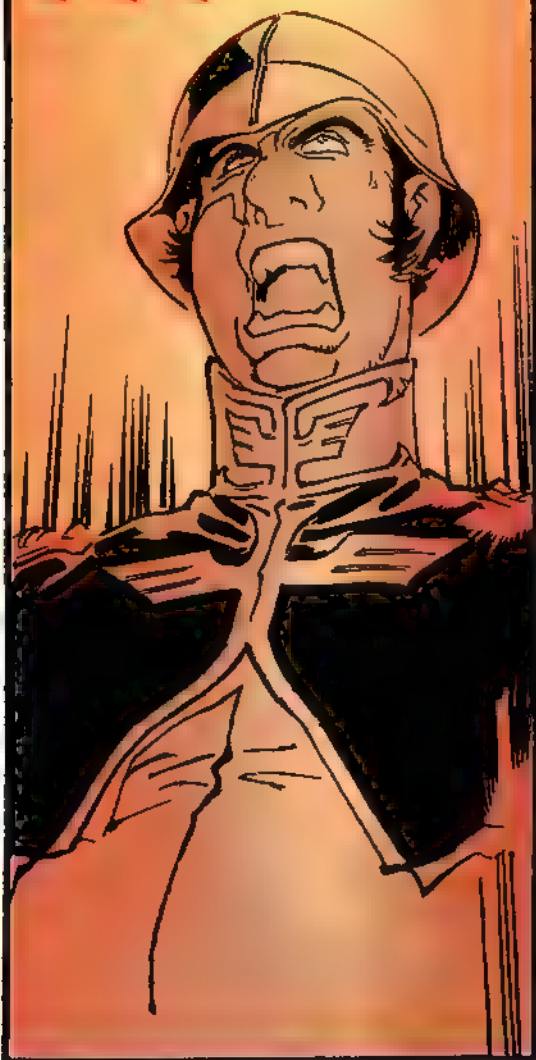


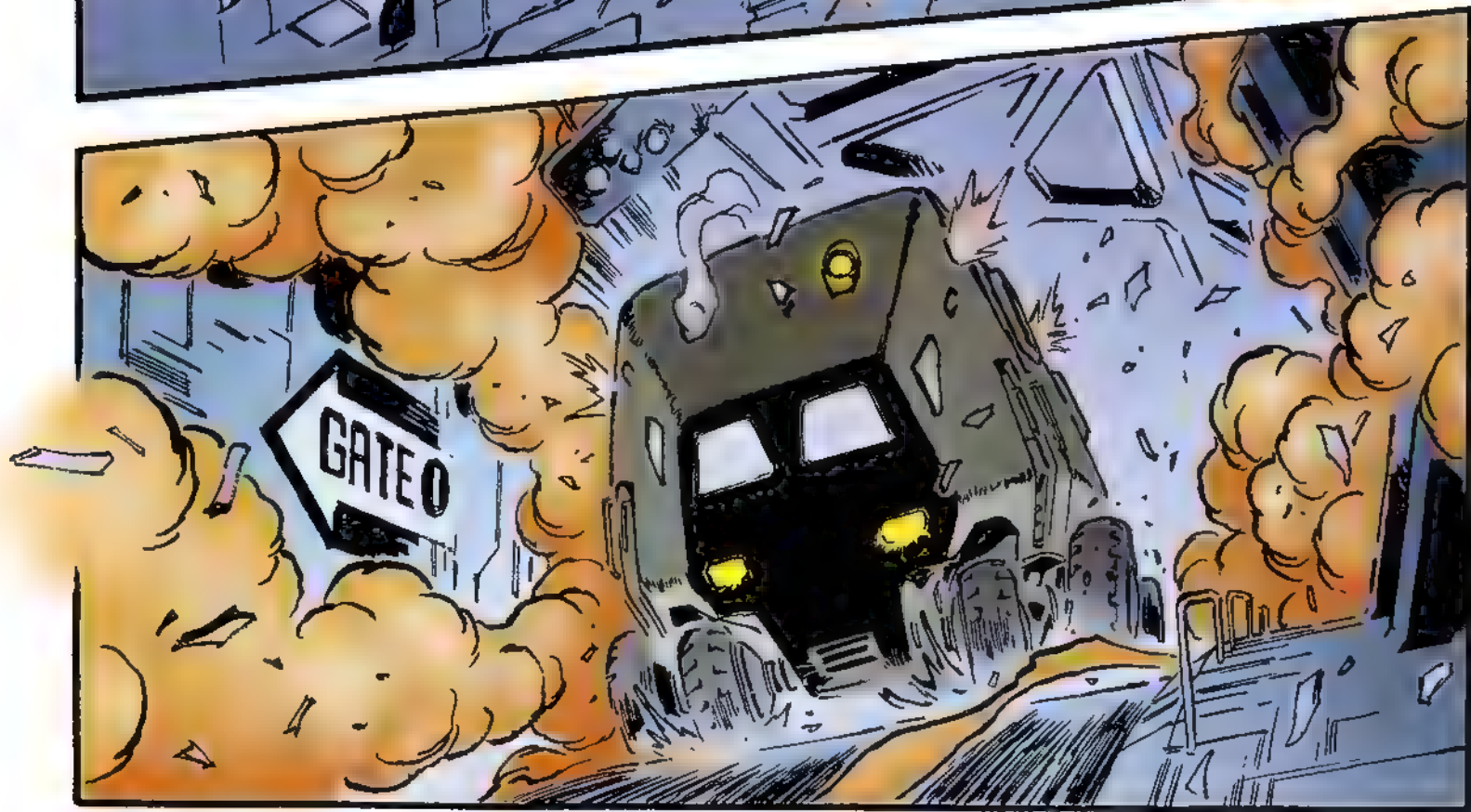
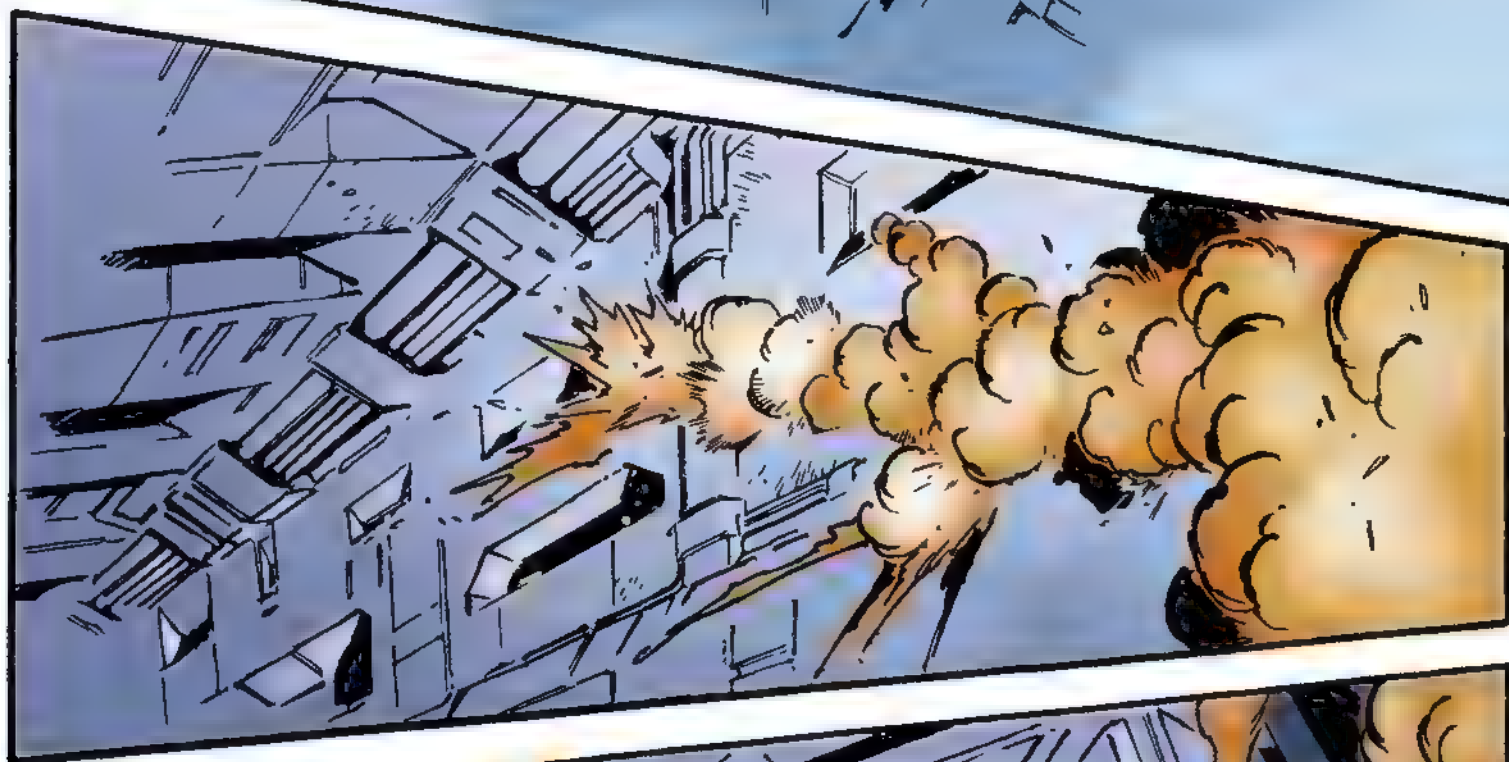
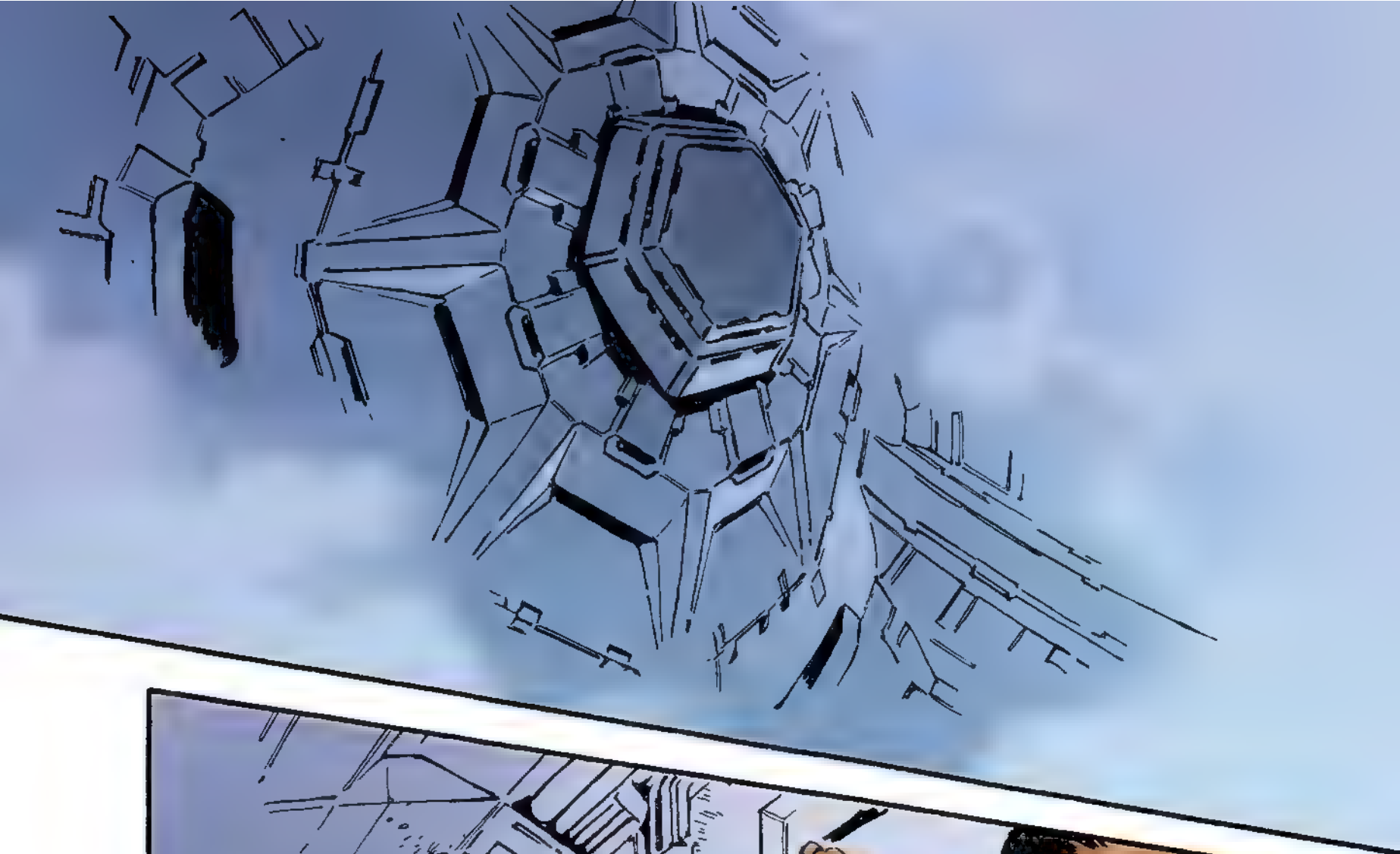
せんとうくういき
戦闘空域へ向かうっ!!
どかいとお

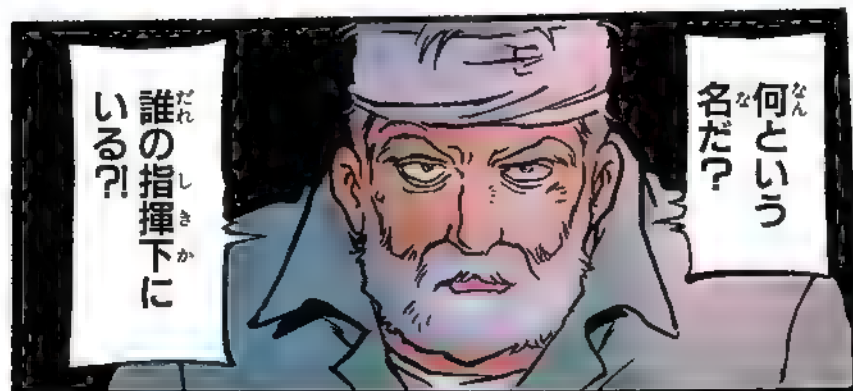
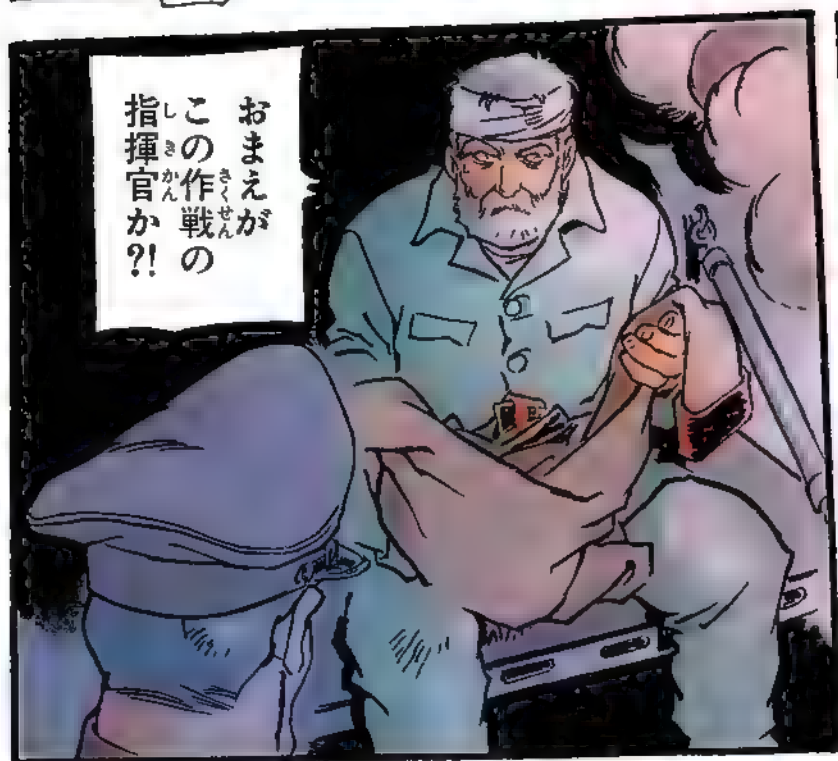
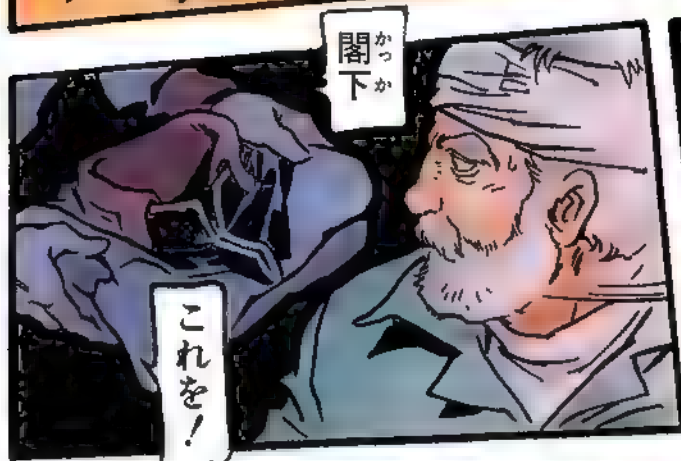
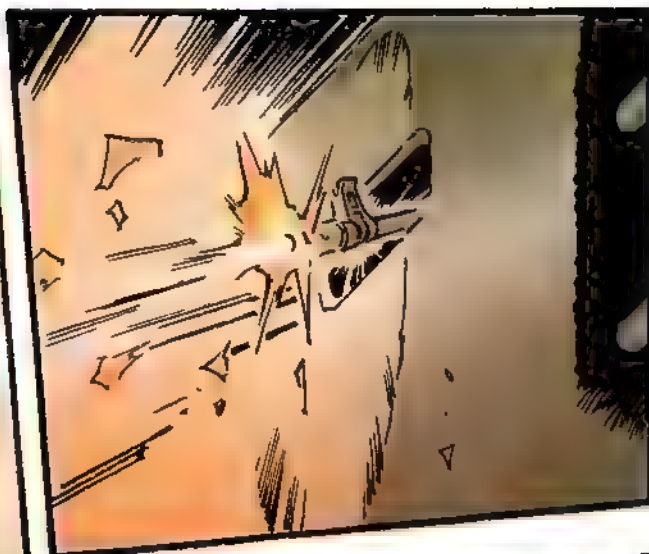
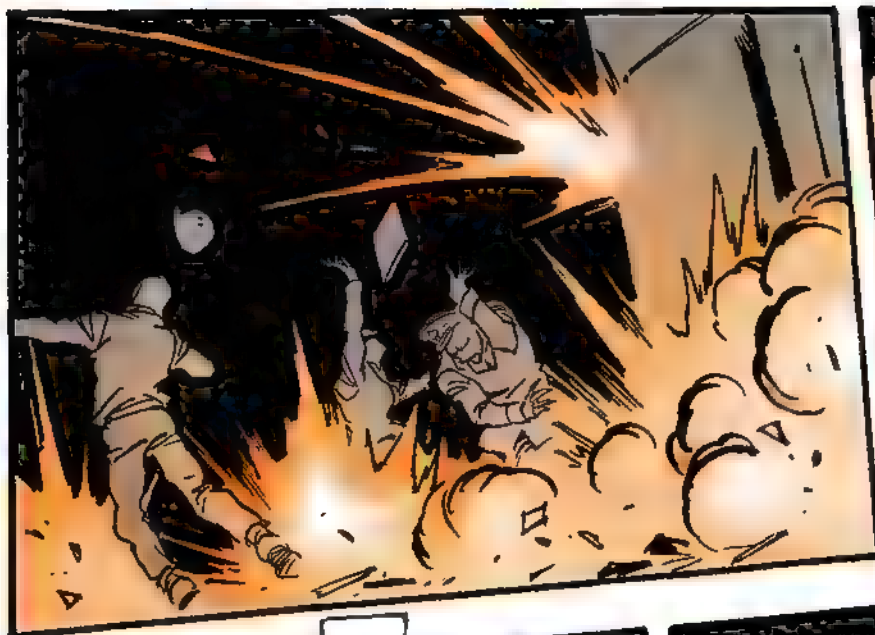
90度回頭オ!!

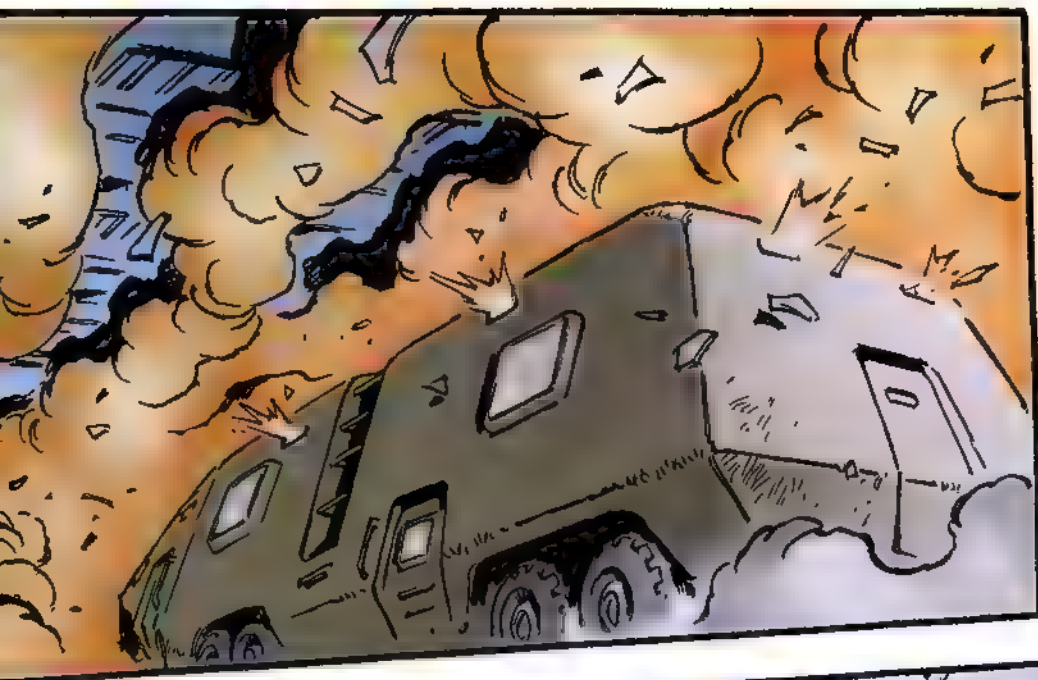
ぜんそおく

全速!!!



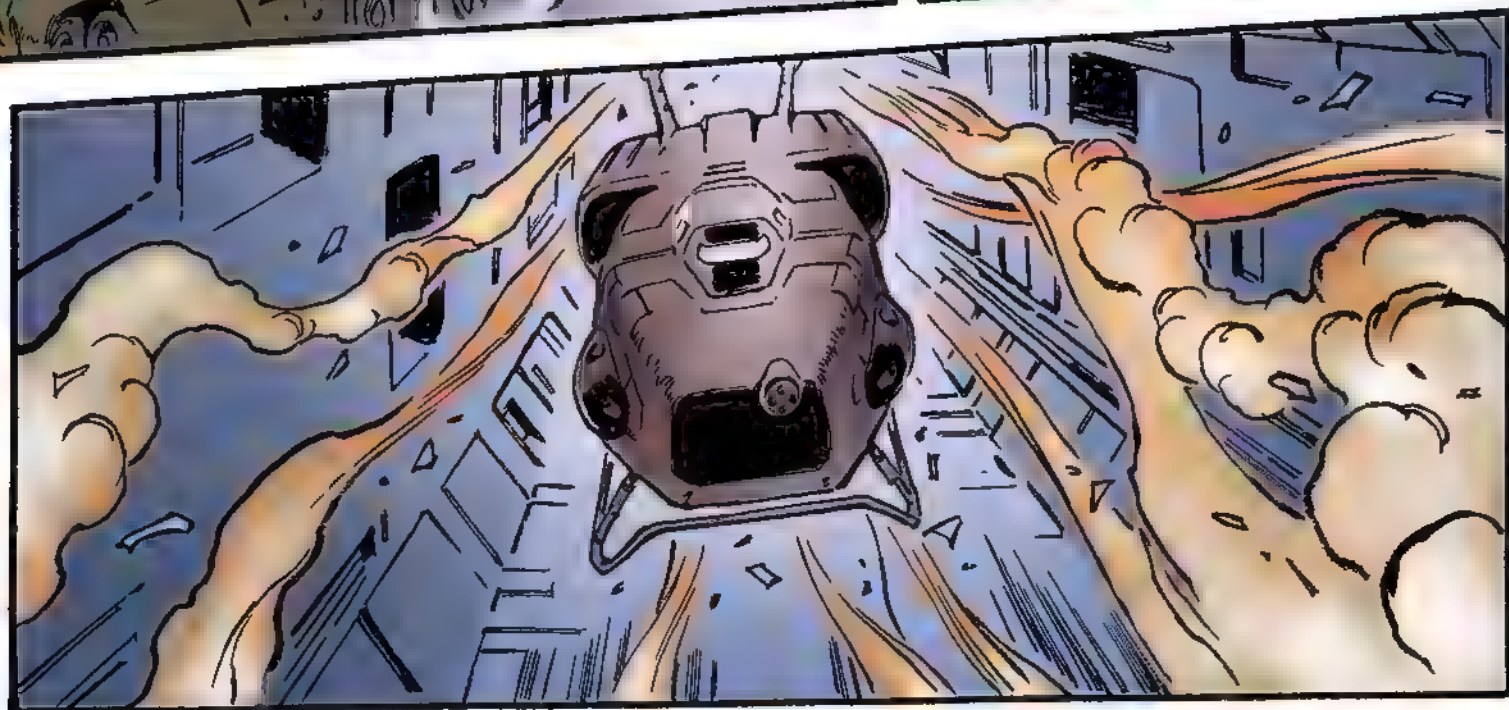






仔細はあとで

今は
急を要
します



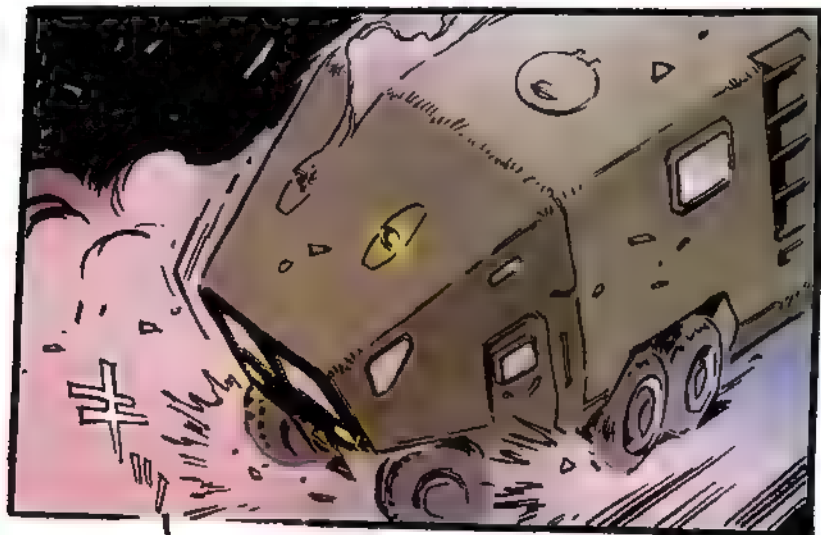
全速力で
いいです
か？

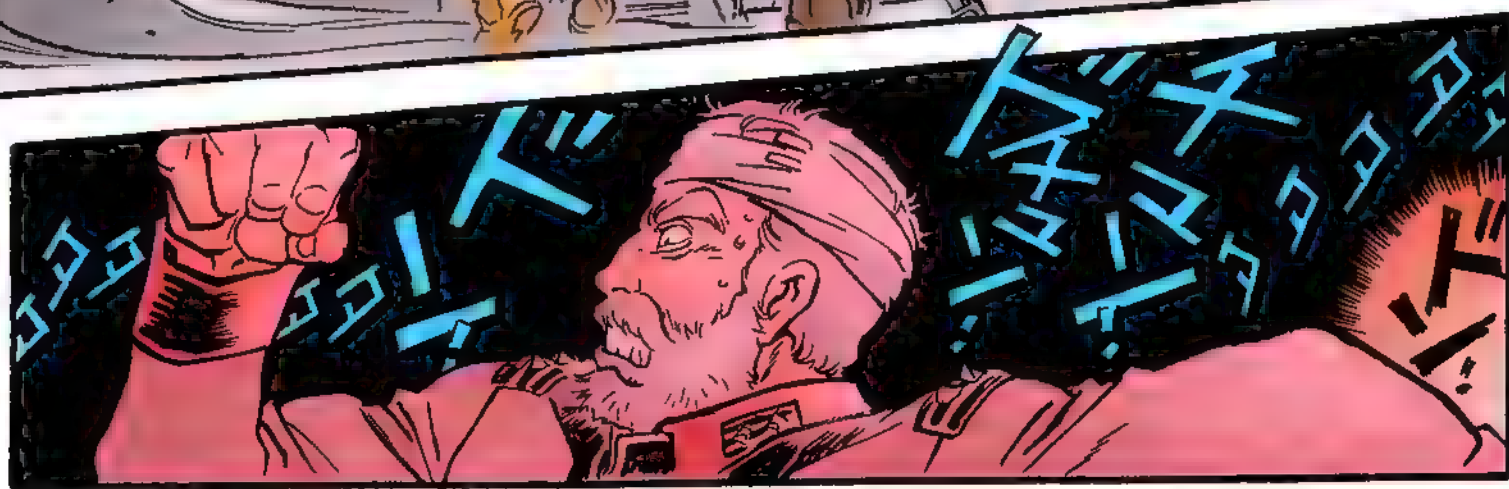
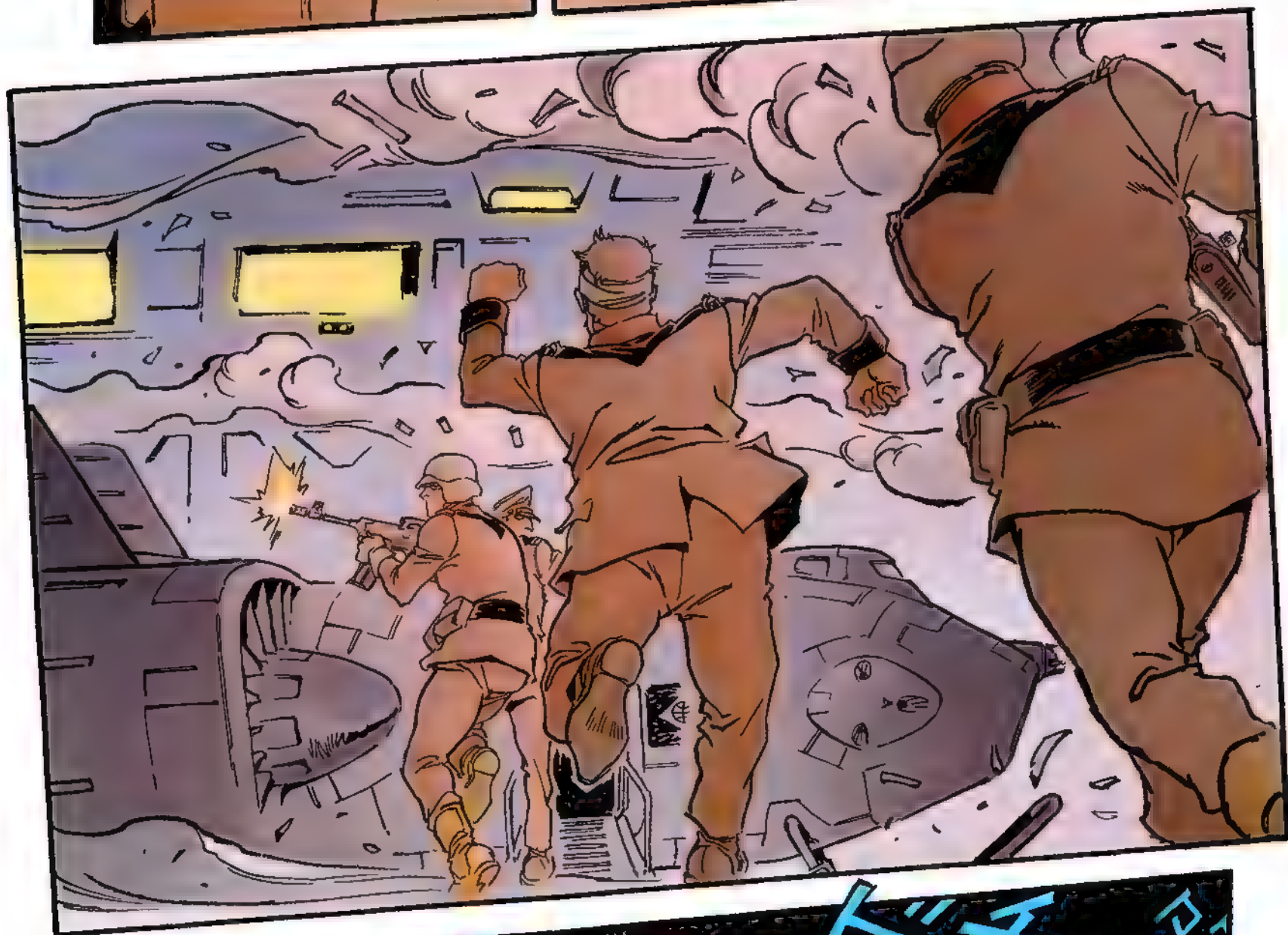
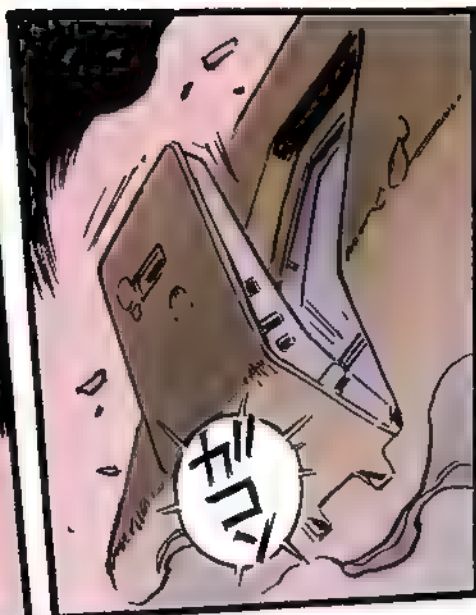
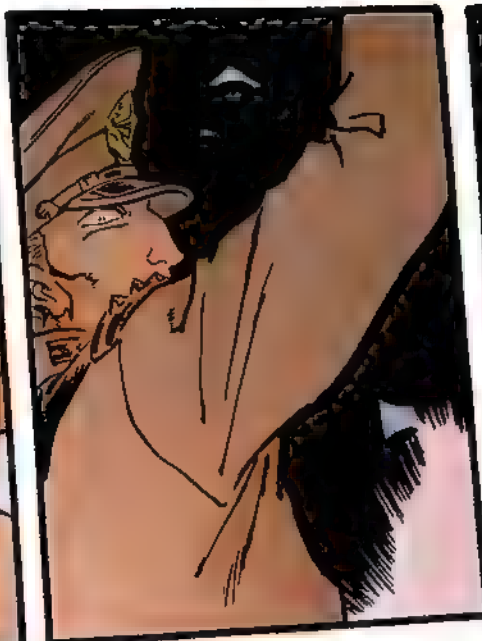
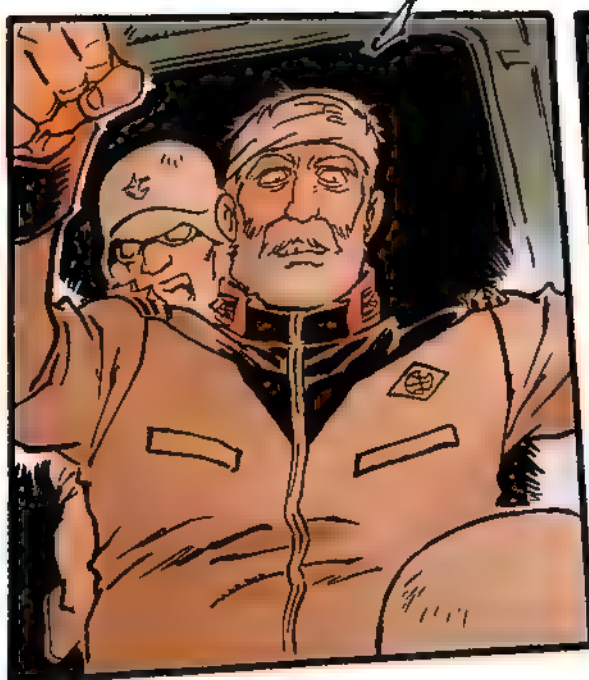


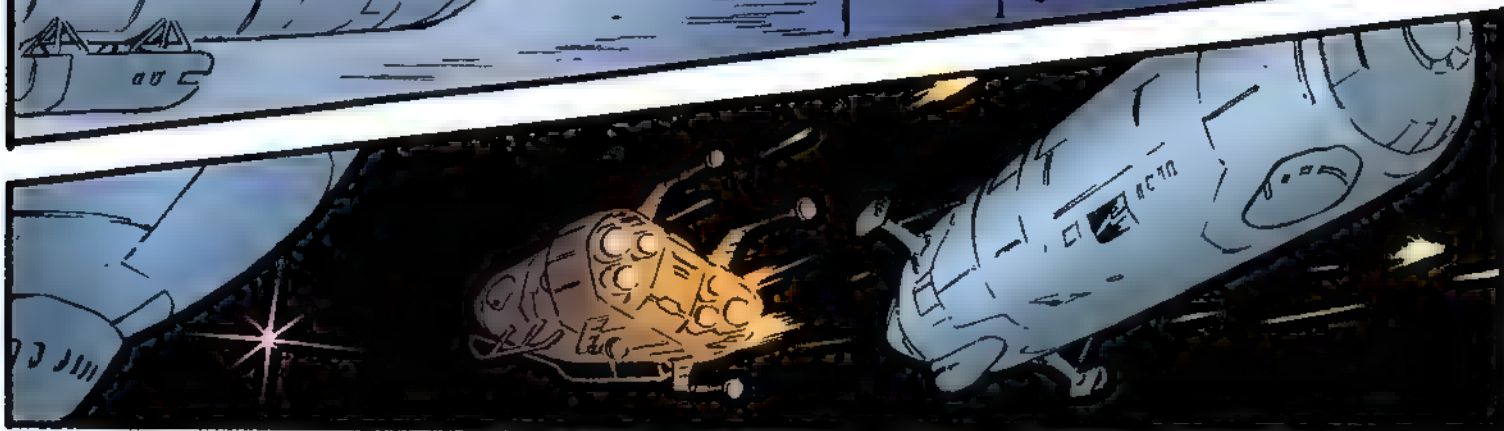
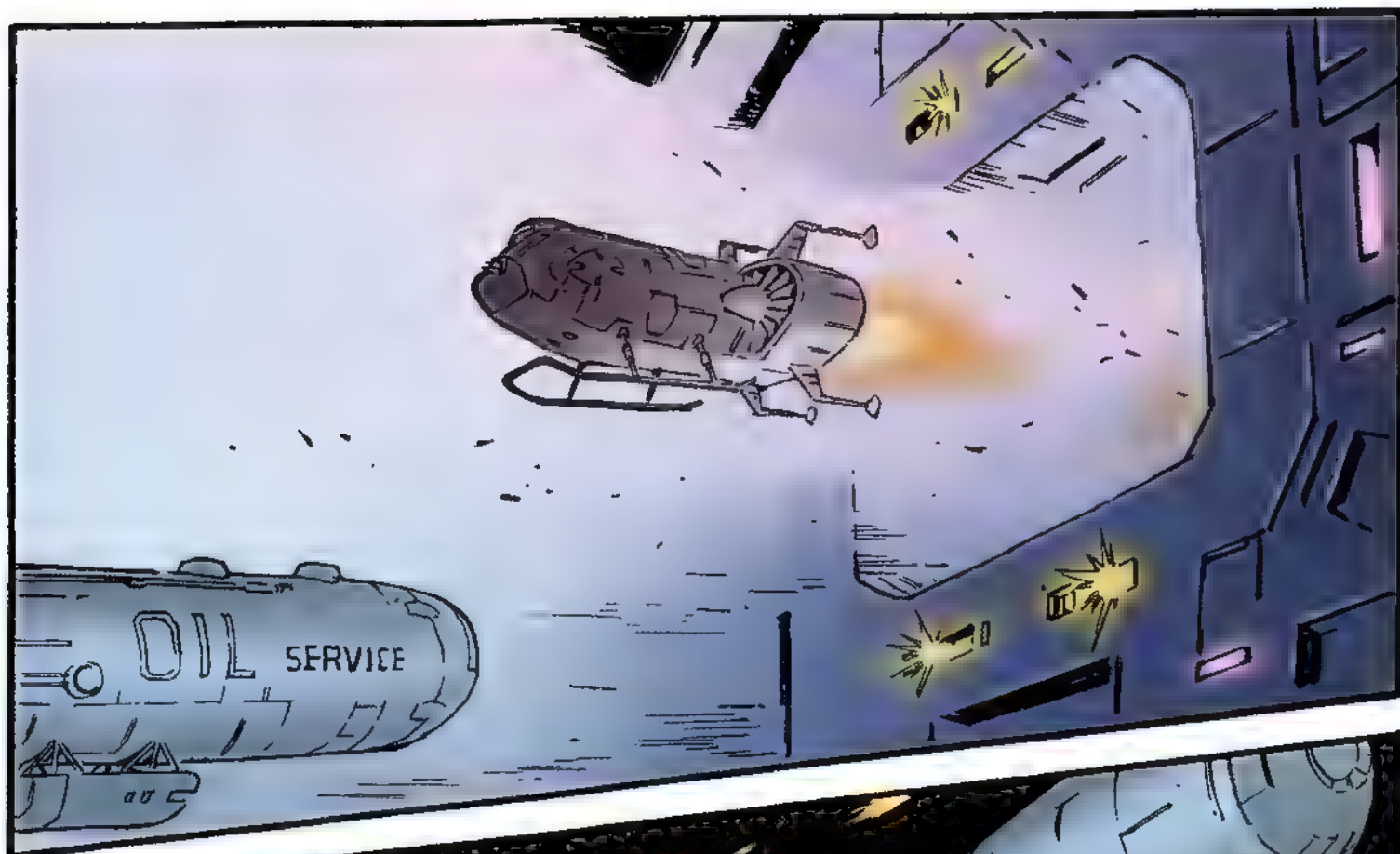
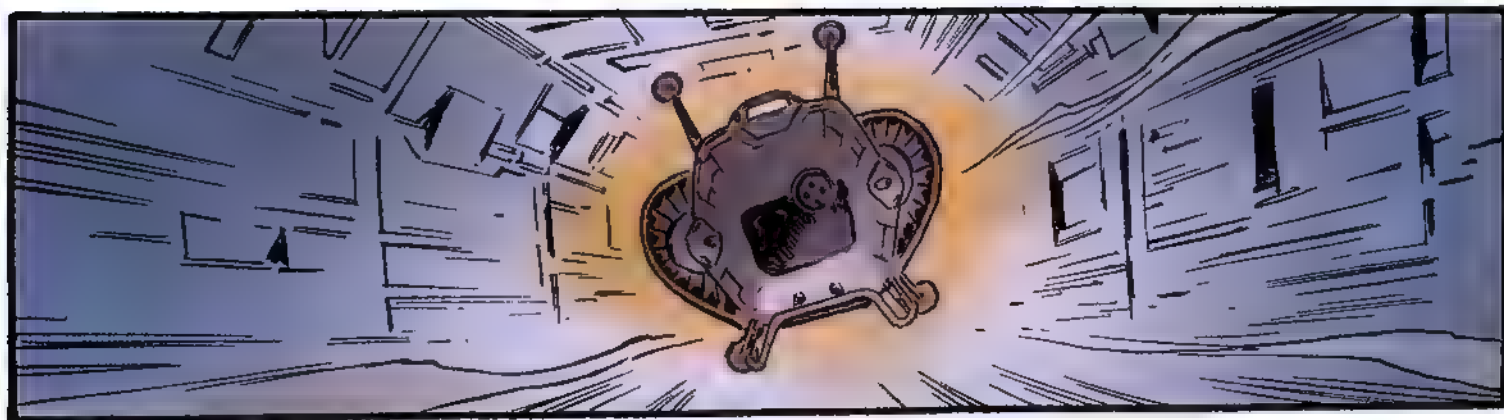
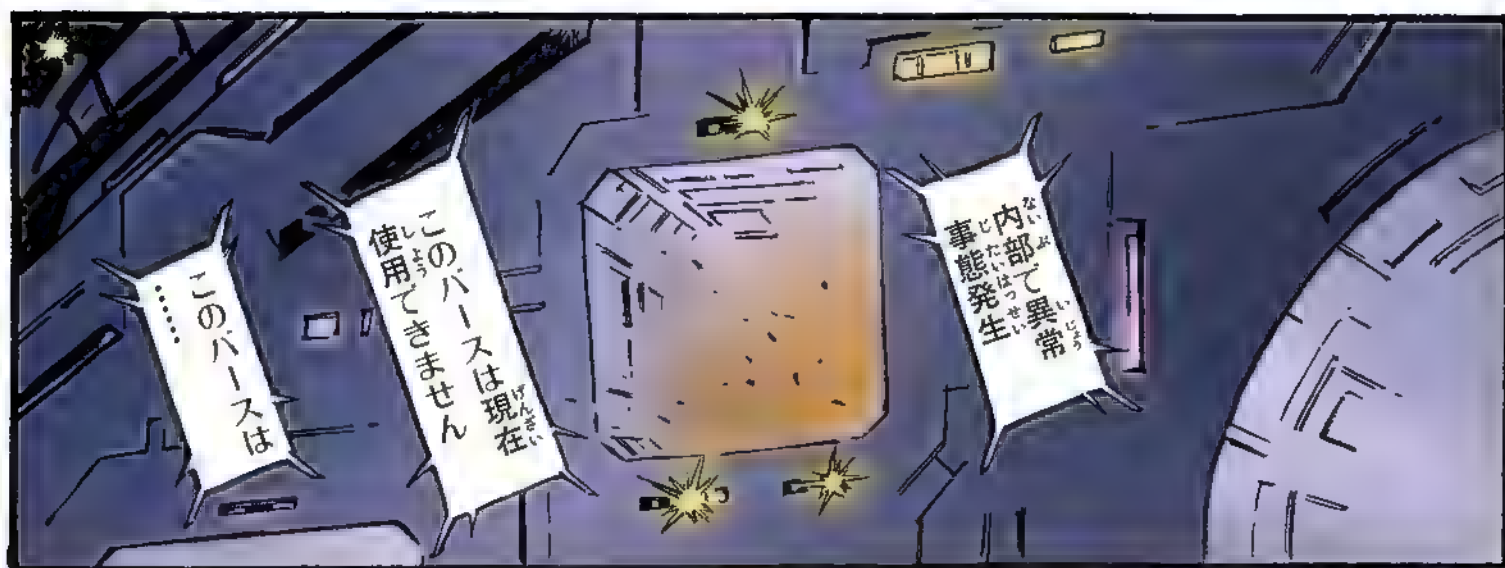
車が停まったら
ドアを開けます

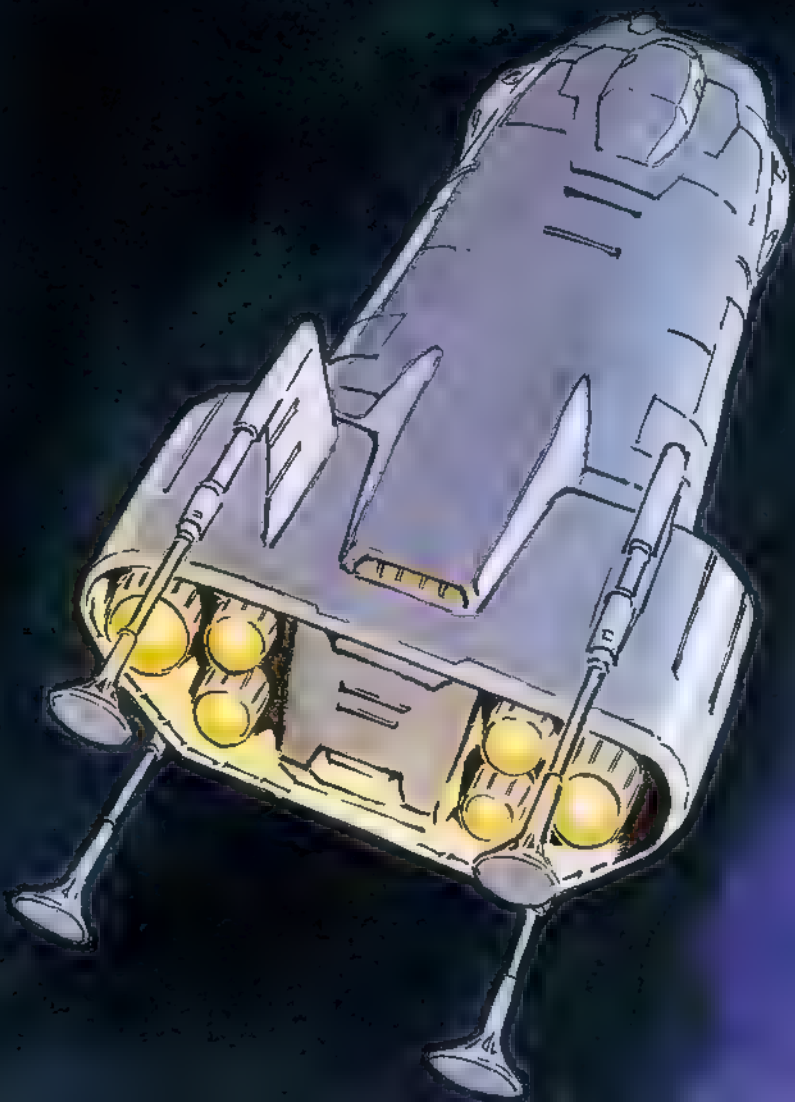
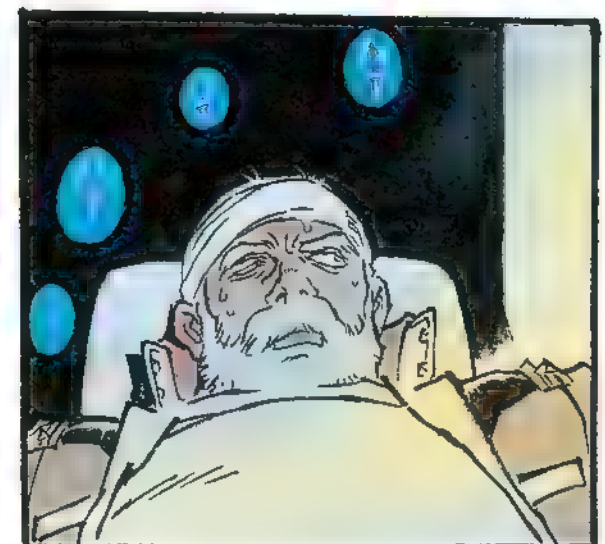
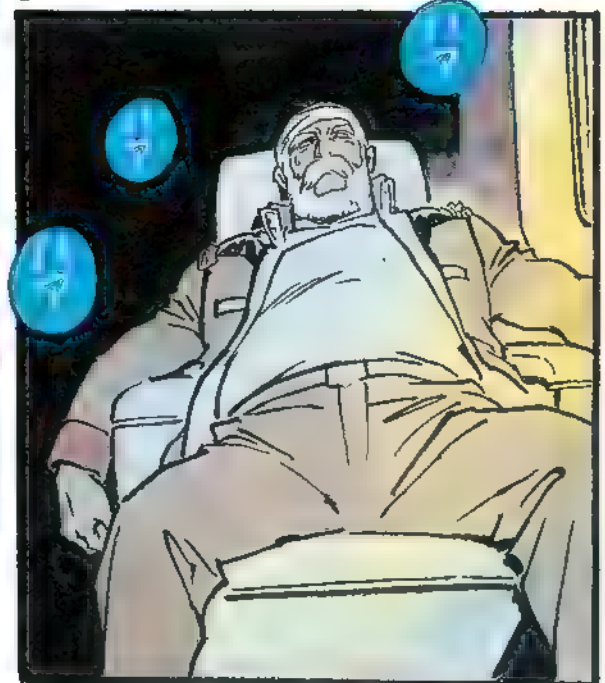
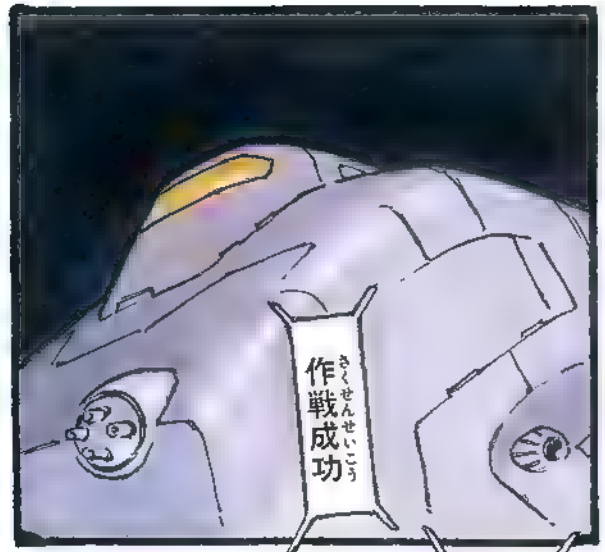
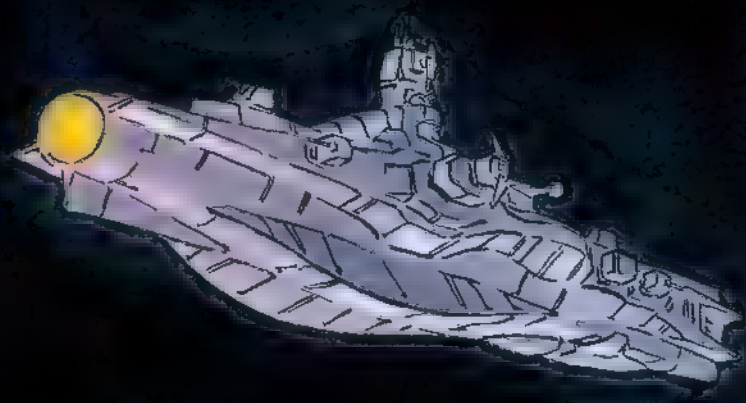
パースにランチが
接舷していますから

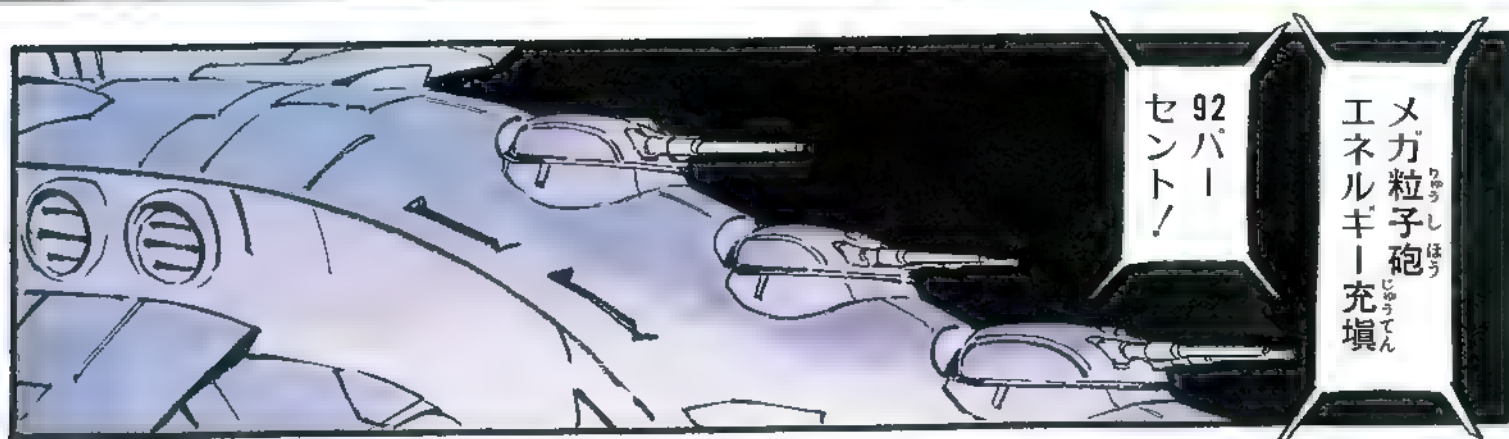
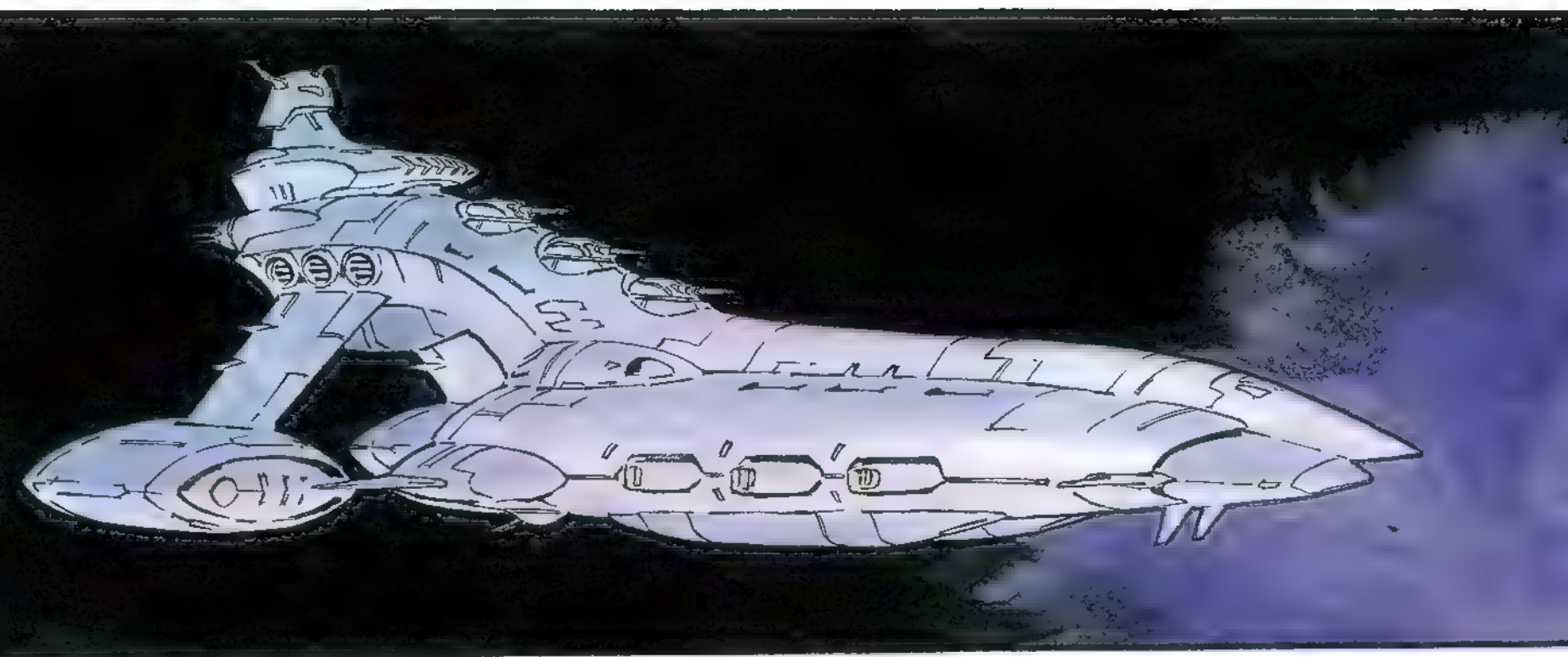
走って
ください！





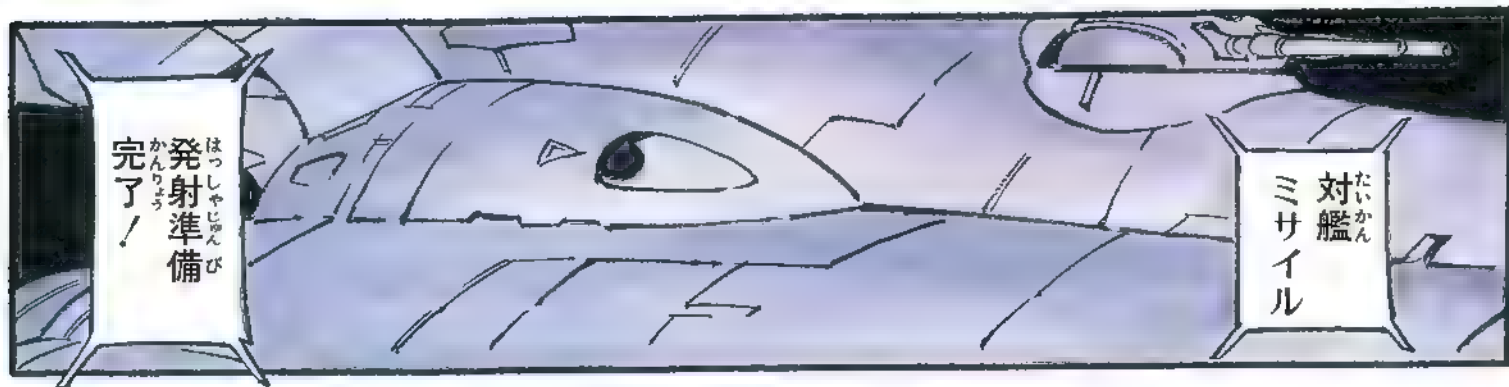






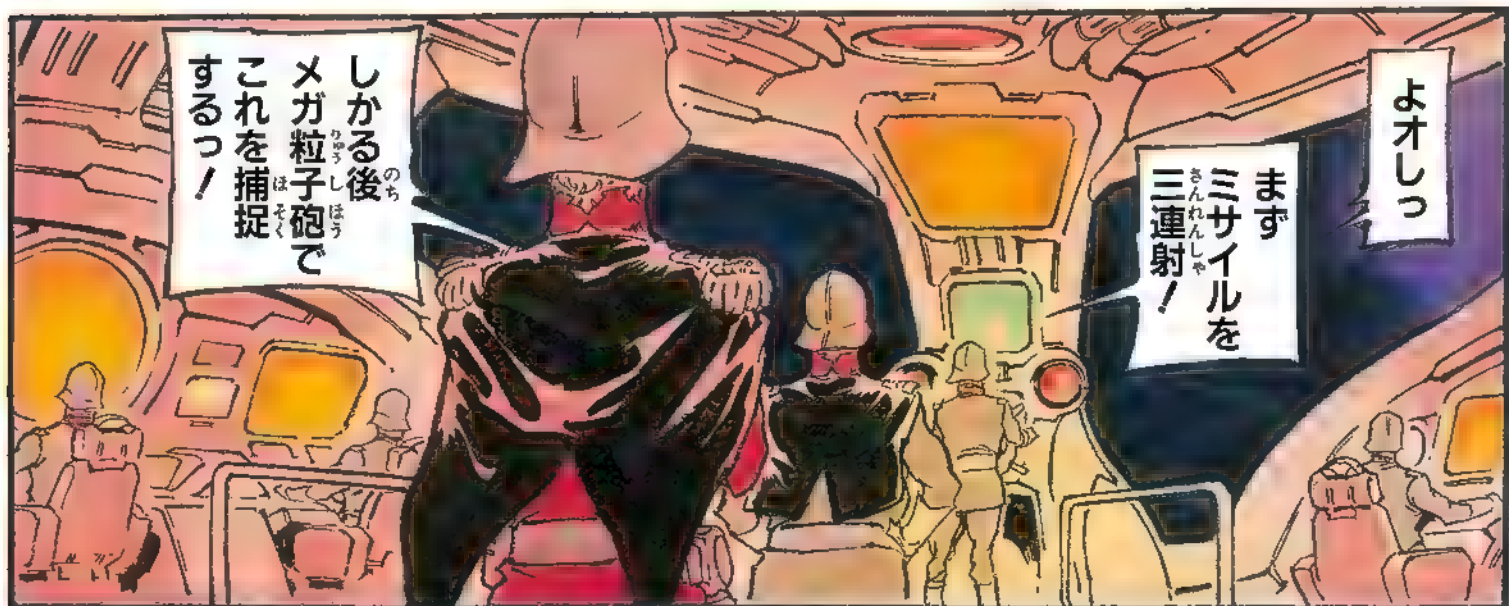
92パー
セント！

メガ粒子砲
エネルギー充填



発射準備
完了！

対艦
ミサイル



よしっ

まず
ミサイルを
三連射！

しかる後
メガ粒子砲で
これを捕捉
するっ！



射撃距離
ゴーマル
五〇から六〇で
あてろ！

はや
早いもの
勝ちだ！

いいかあつ！！



あ？！



ぜんぼう
前方オール
クリアーッ！
はっしや
発射よし！

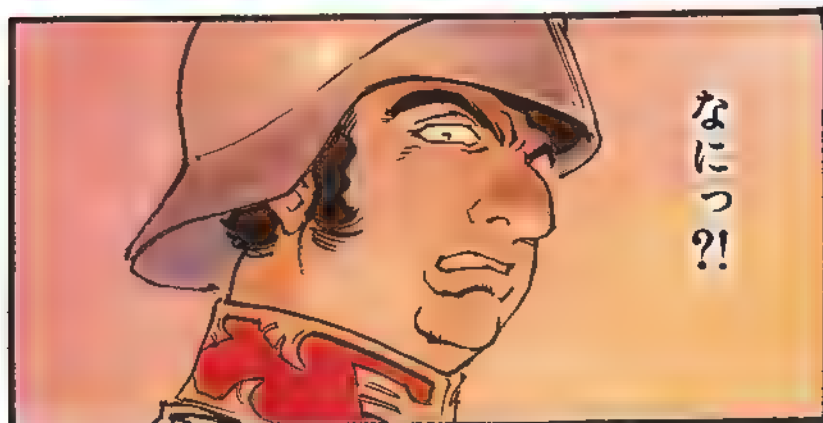


いちばん
一番から三番
はっしやさんび
発射準備
よしっ！



120
パーセント！

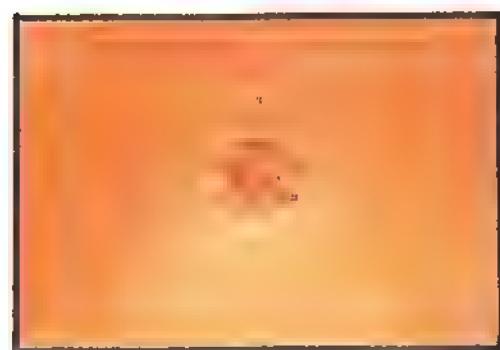
エネルギー
充填



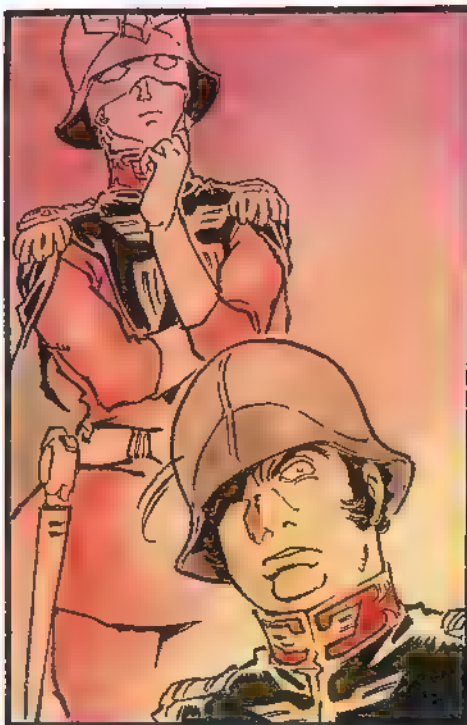
なにっ？！



もとい！
ぜんぼう
前方一二〇に
せんえい
船影！



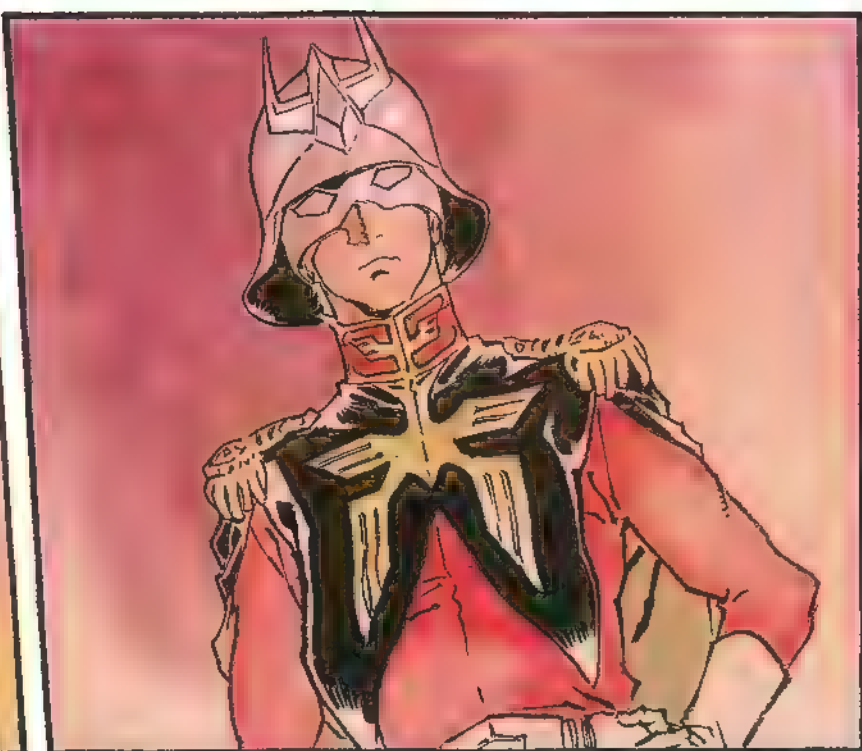
これは！



これです！
かくだい
拡大映像
メインに
おくり
送ります！

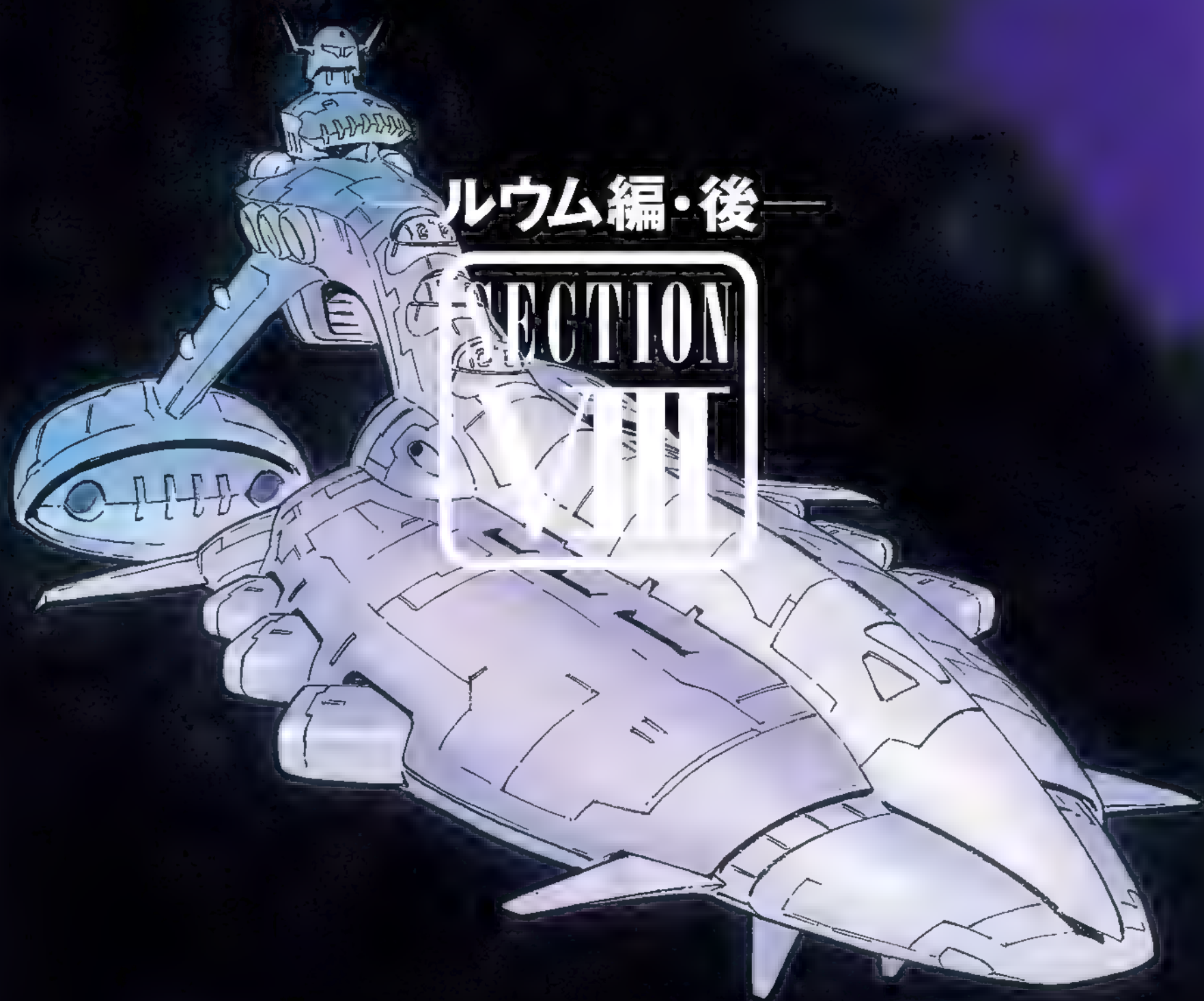
サラミス
級だ！

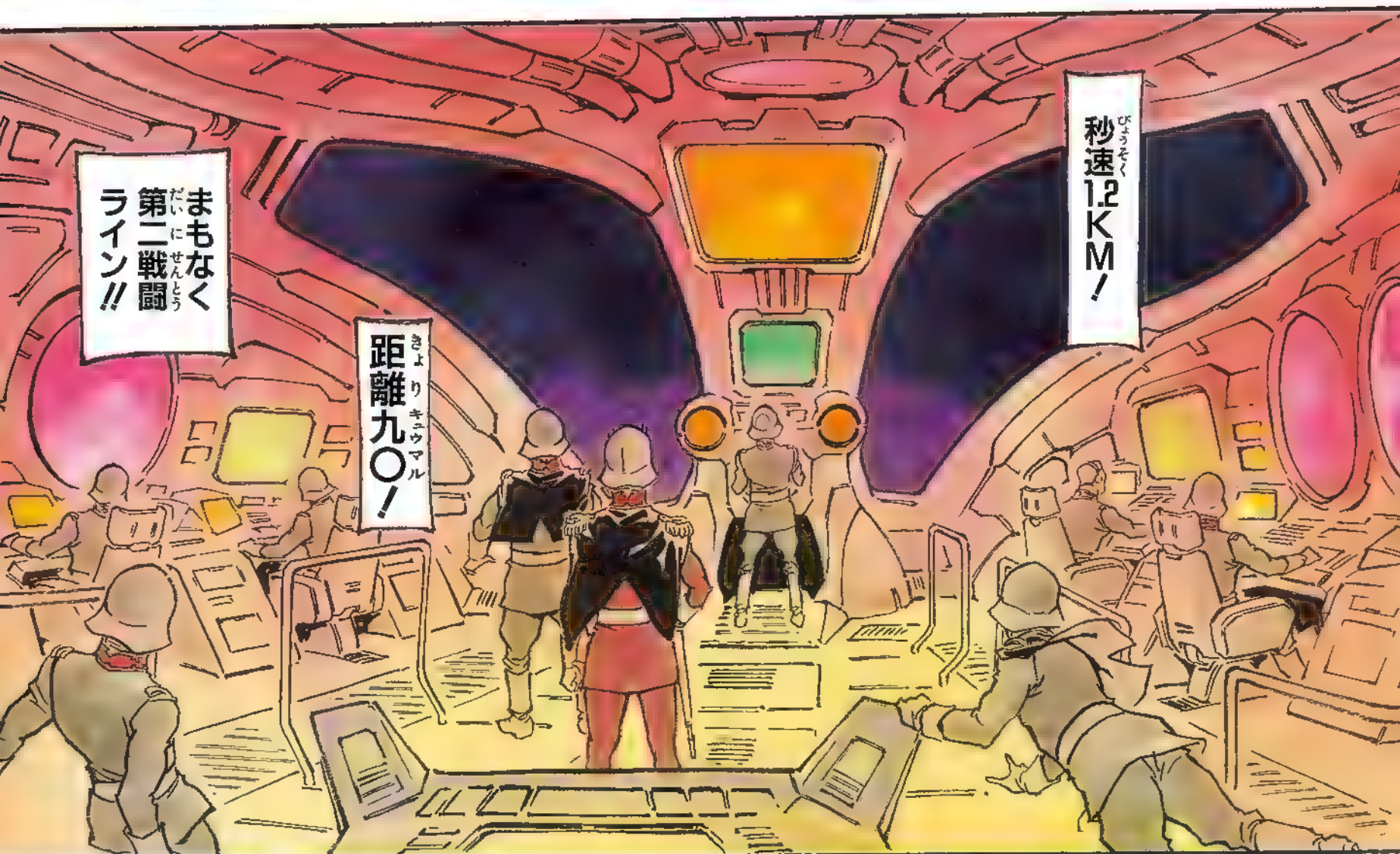
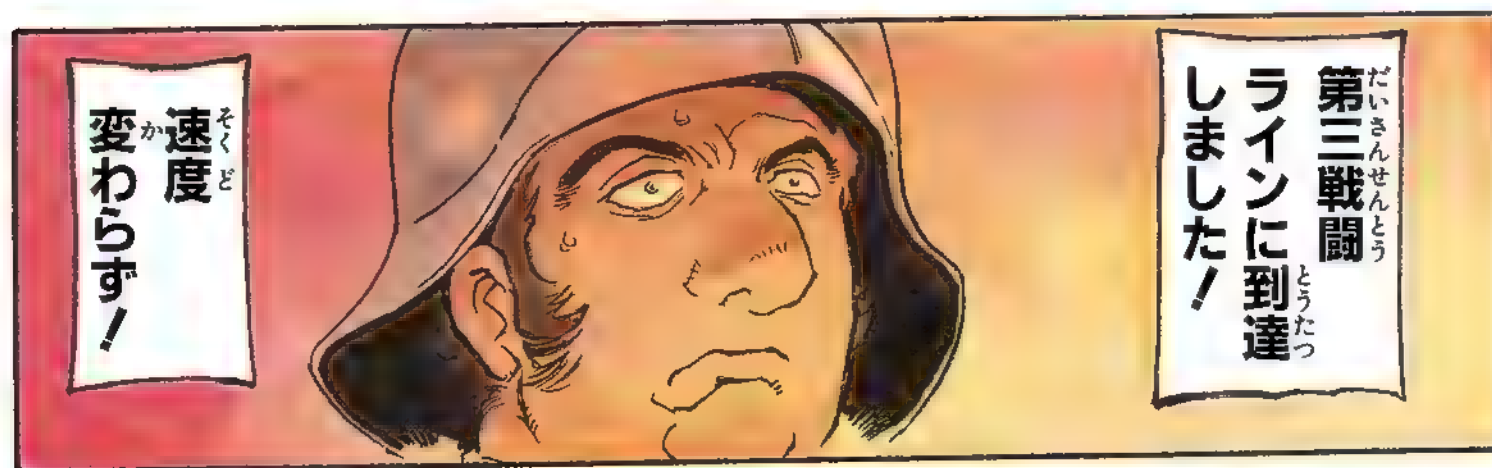
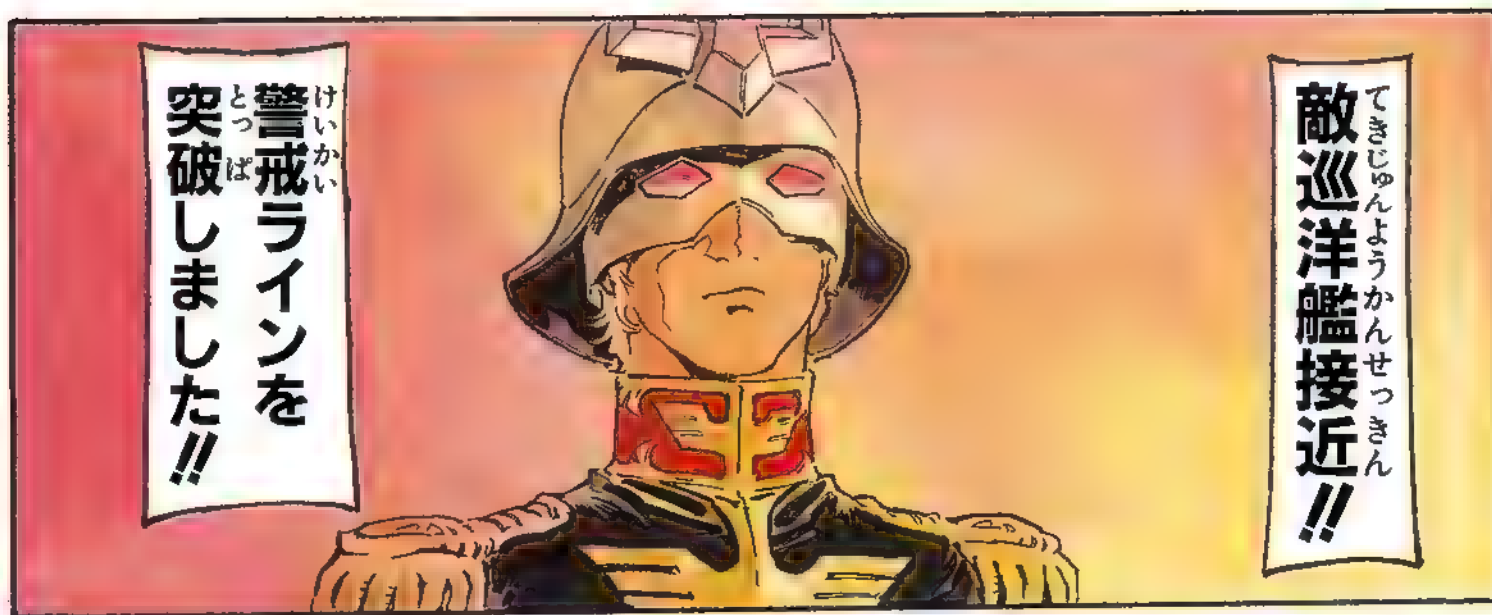
連邦の巡洋艦
れんぽう
じゅんようかん

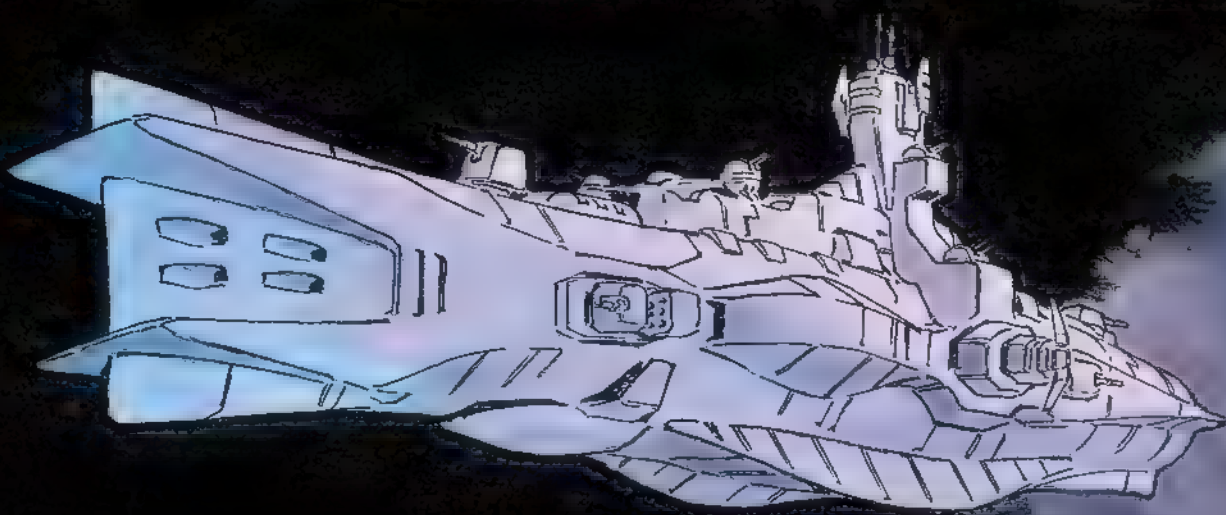
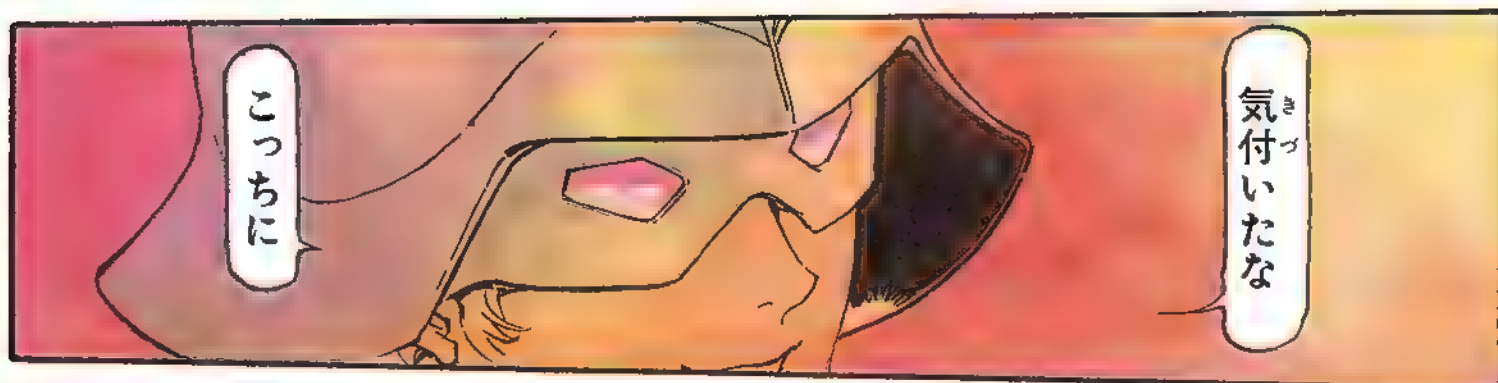
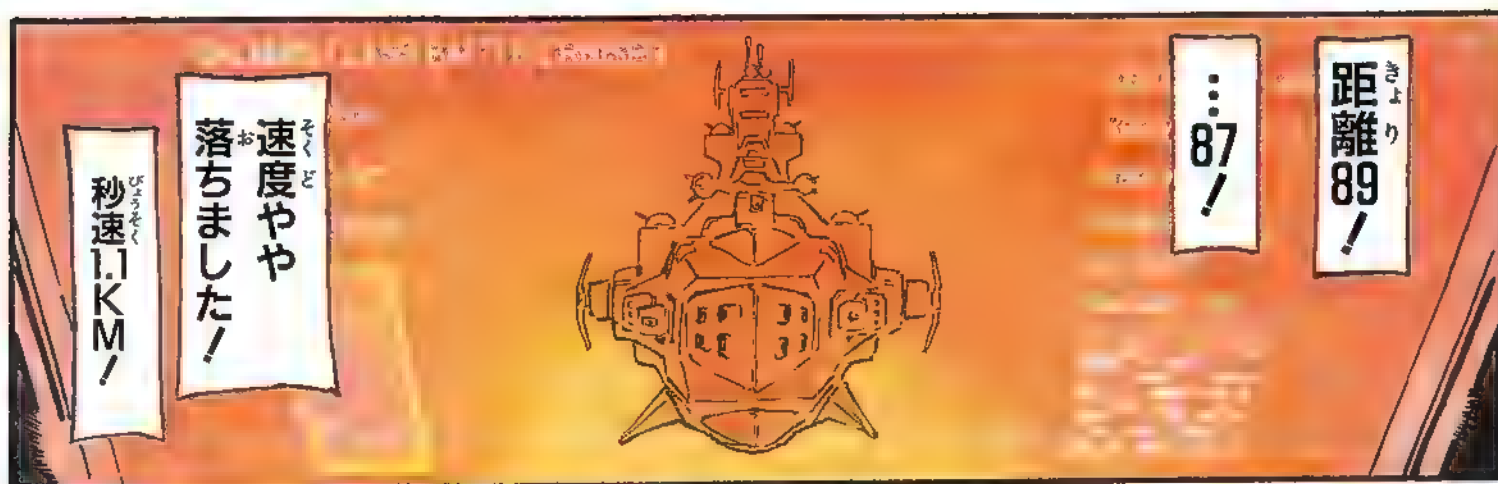


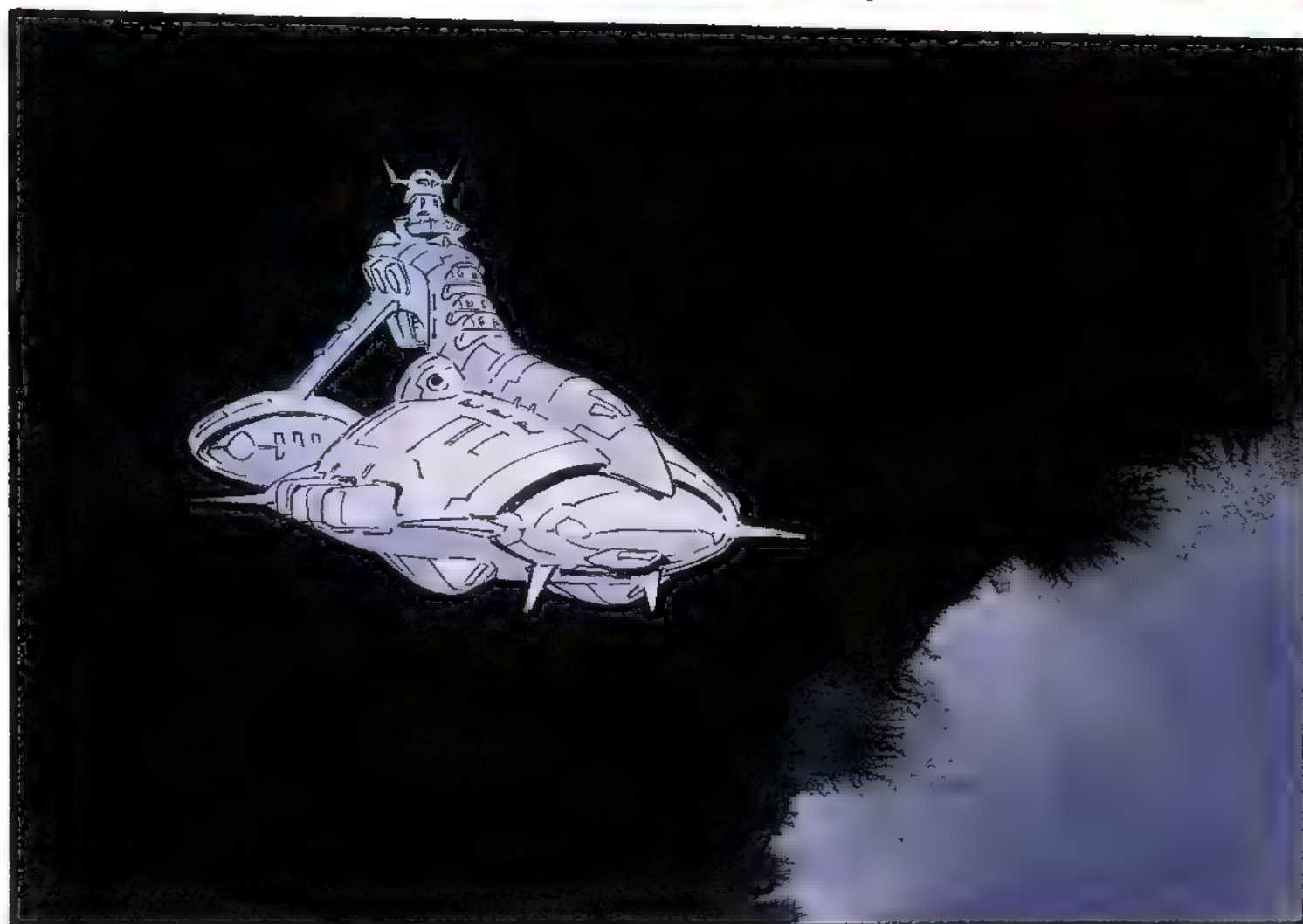
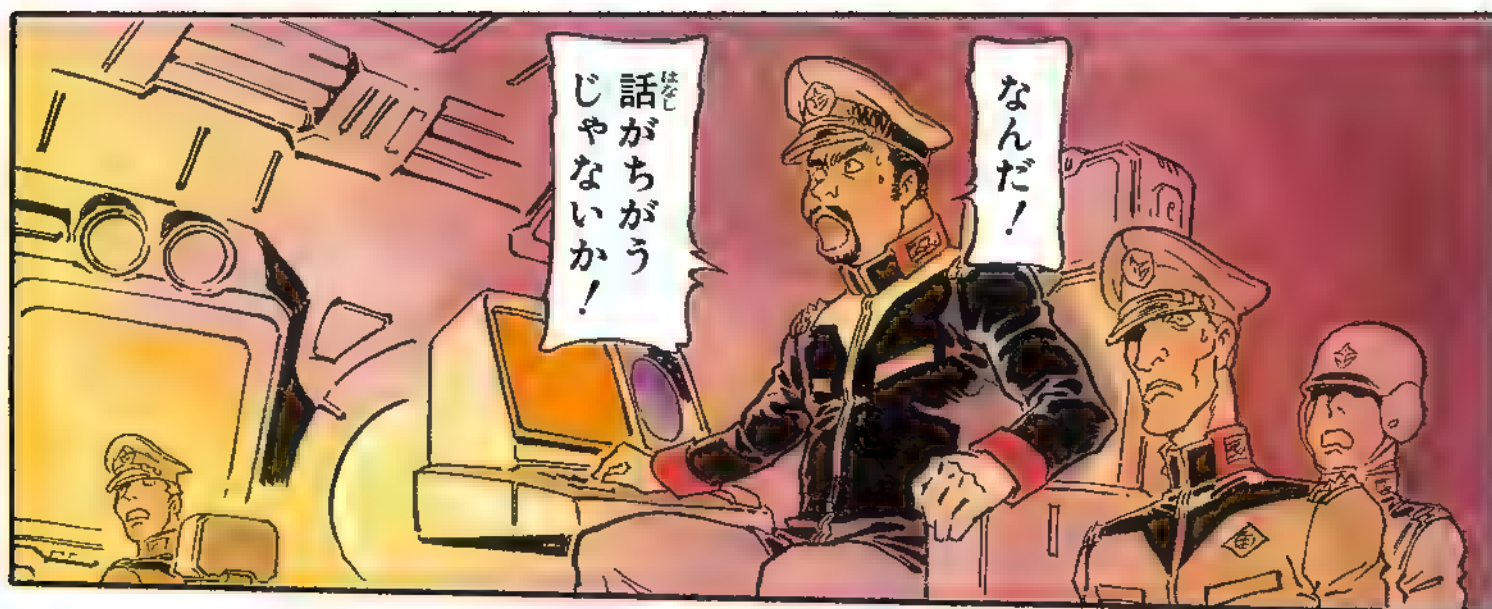
— ルウム編・後 —

SECTION
VIII



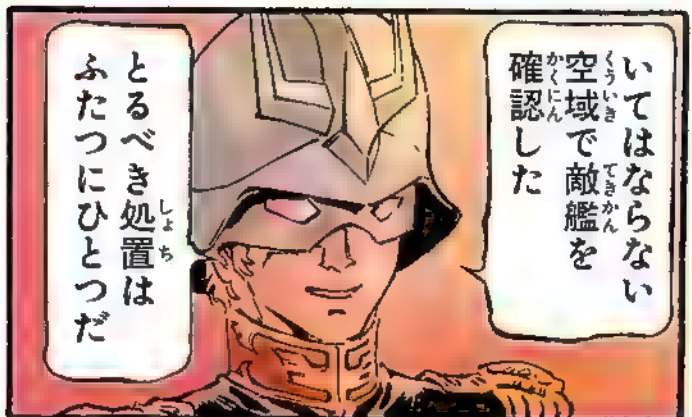






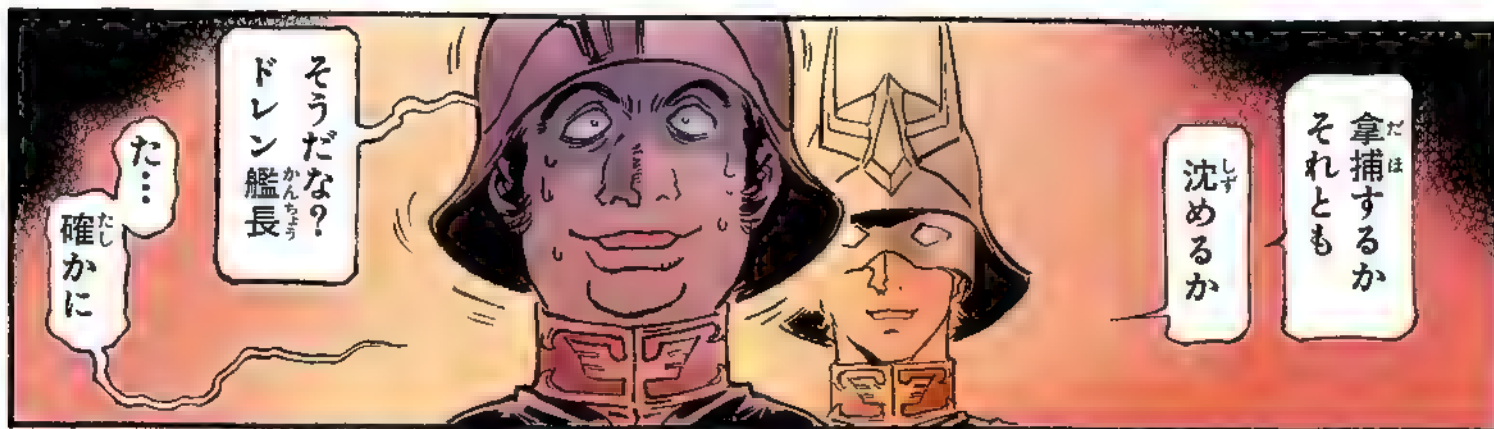


ていせんめいれい
だ
停船命令を出せ!!



いてはならない
くういき
てきかん
空域で敵艦を
かくにん
確認した

とるべき処置は
ふたつにひとつだ

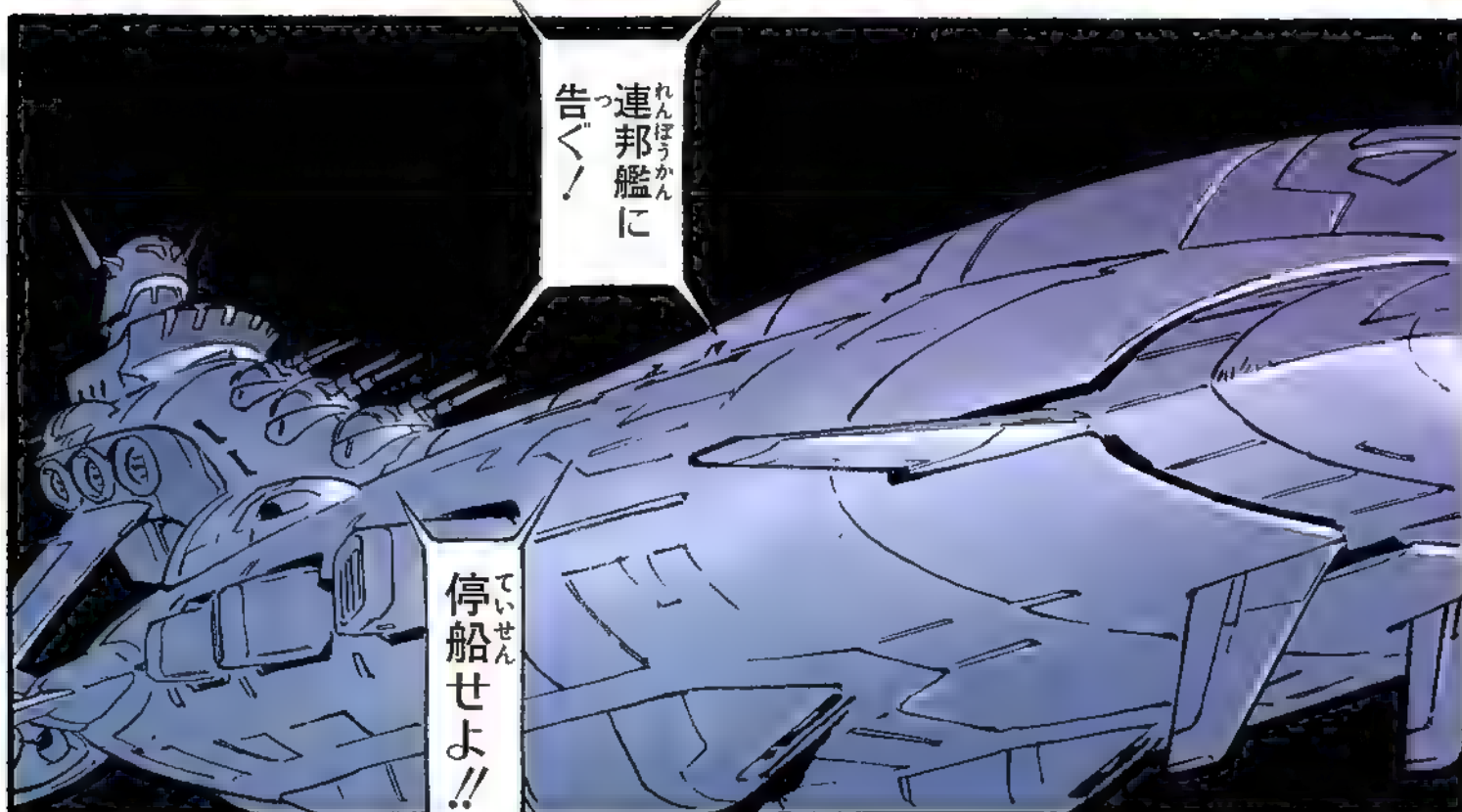


だほ
逮捕するか
それとも

しず
沈めるか

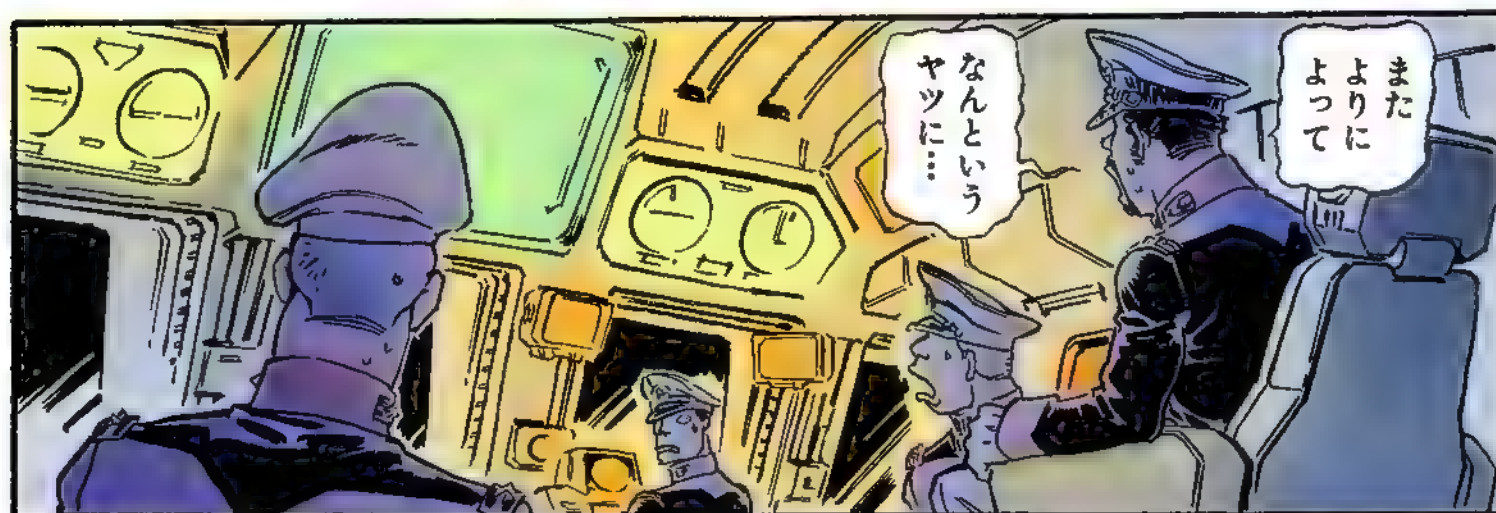
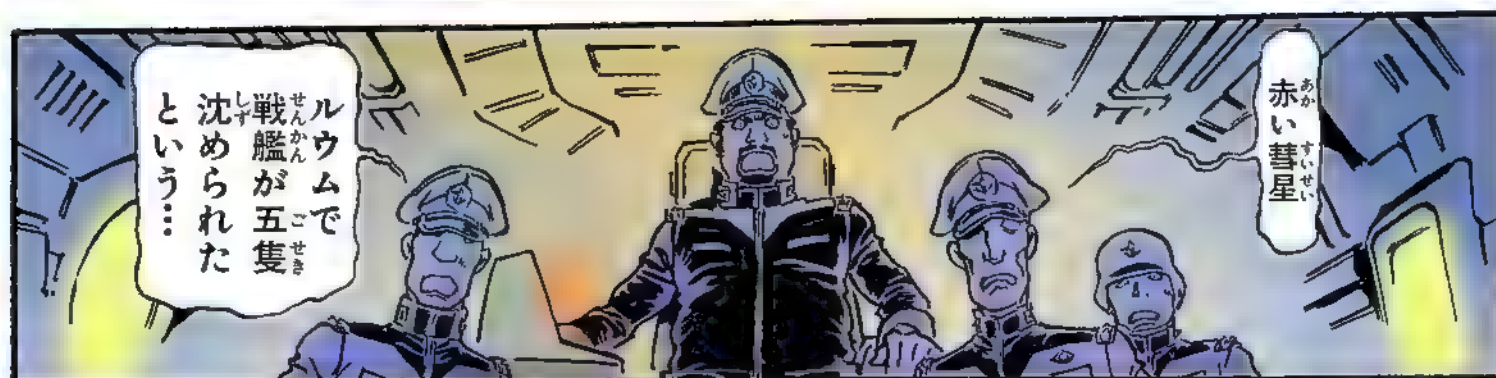
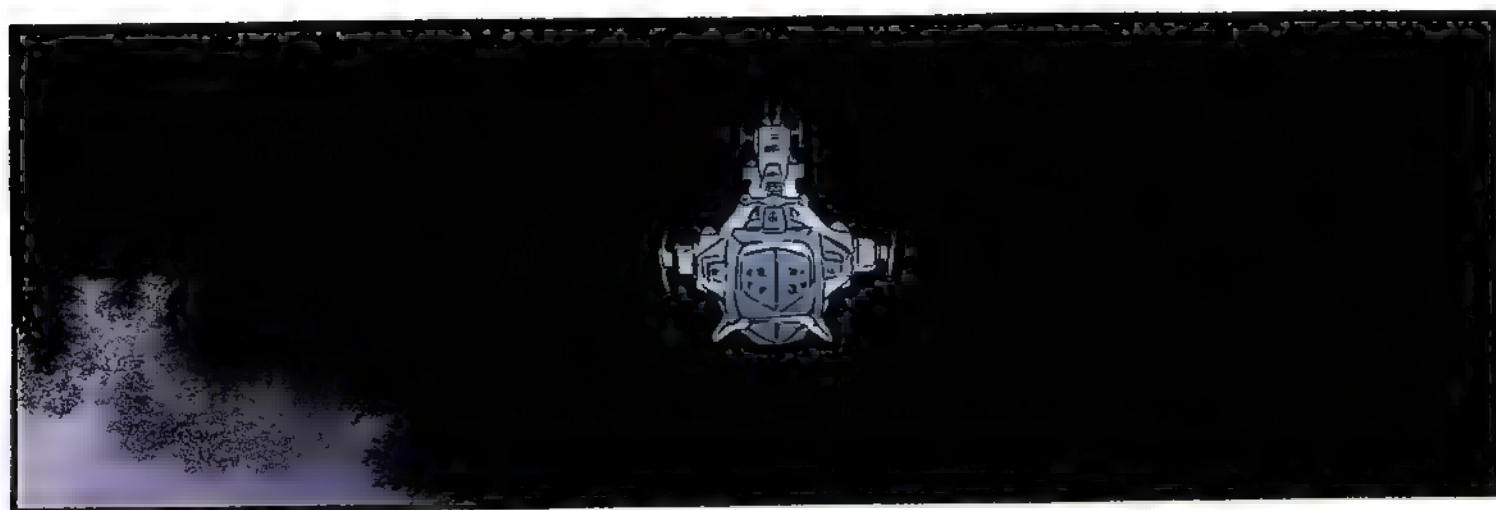
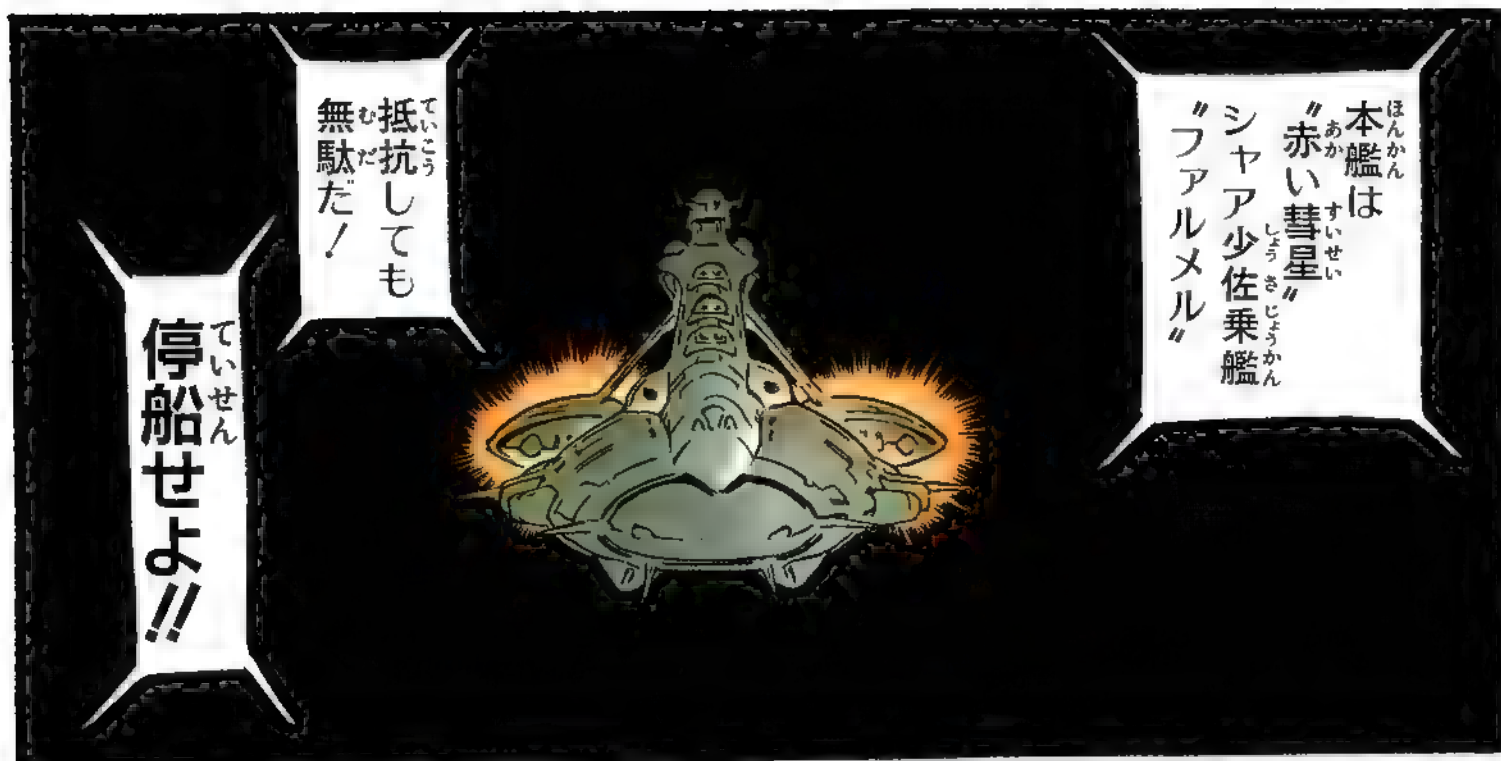
そうだな?
かんちゅう
ドレン艦長

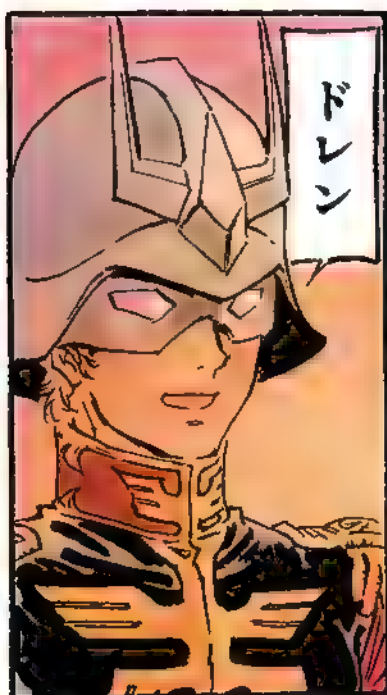
た:
たしかに



れんぽうかん
連邦艦に
つ
告ぐ!

ていせん
停船せよ!!



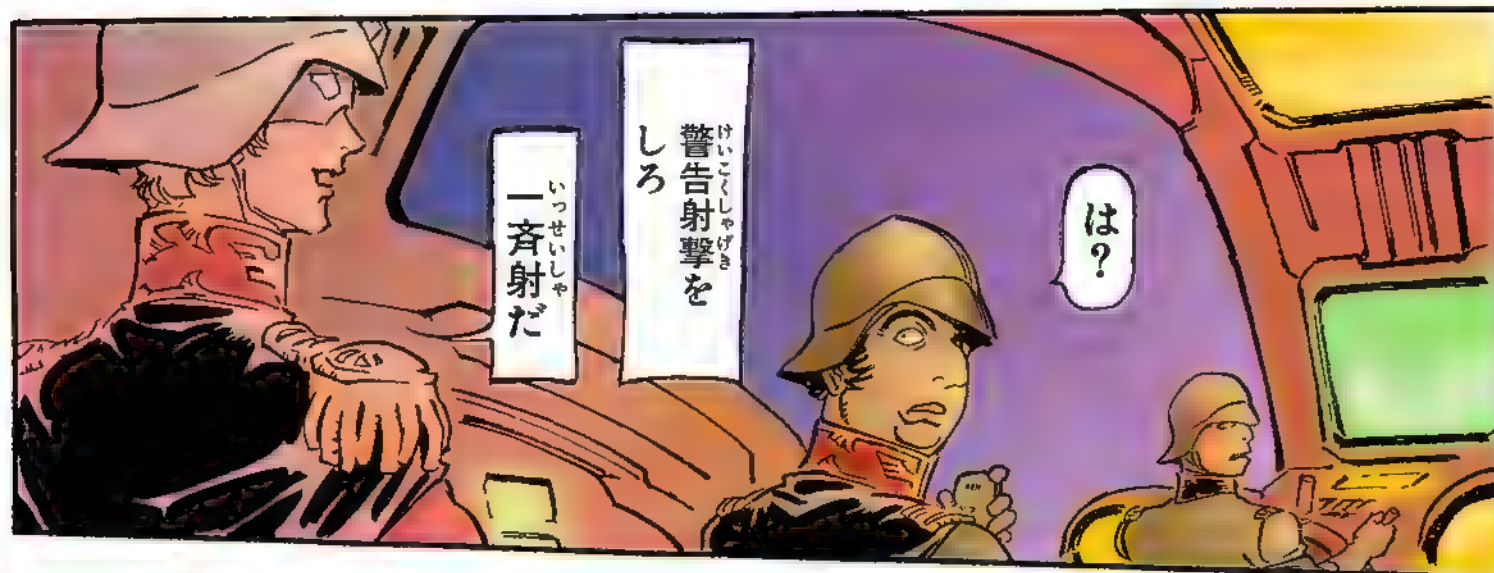


ドレン



くりかえす！

ていせん
停船しろ！
ていこう
抵抗するな！！



は？

けいこうしゃげき
警告射撃を
しろ

いっせいしゃ
一斉射だ

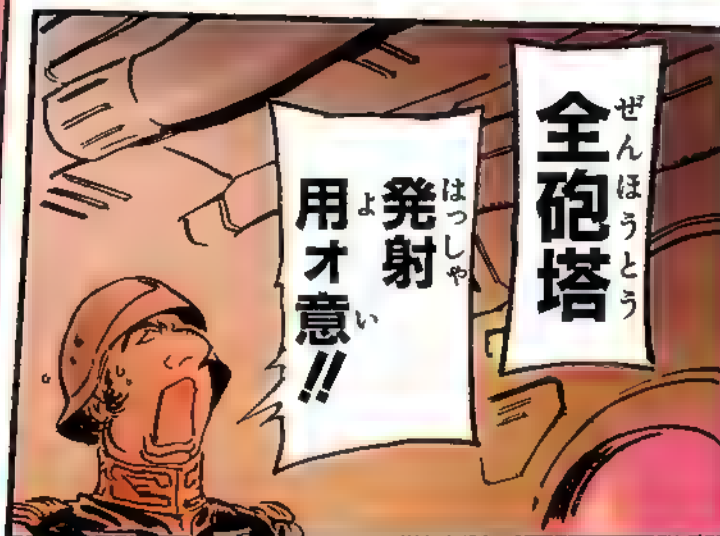


にばん
二番
さんばん
三番は
さげんがわ
左舷側を
ねら
狙え！

いちばんほうとう
一番砲塔は
てきかん
敵艦の右舷！
うげん

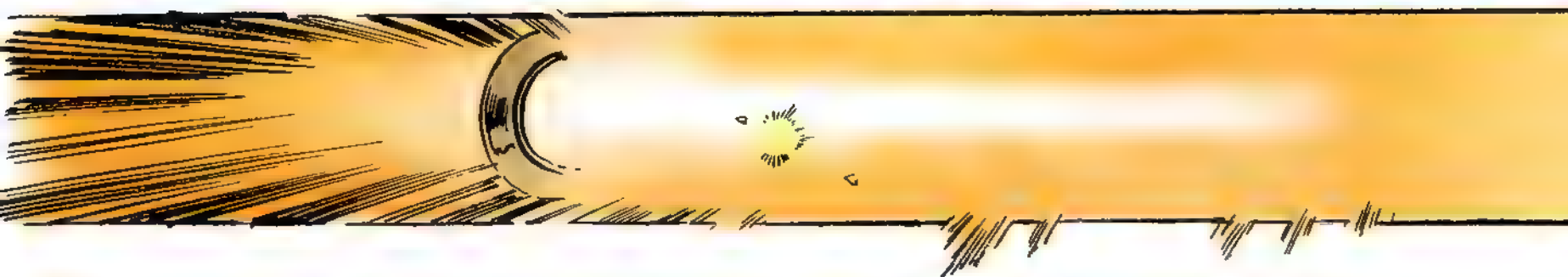
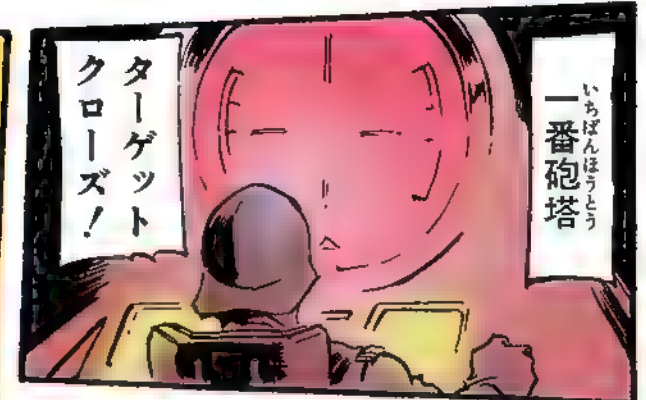
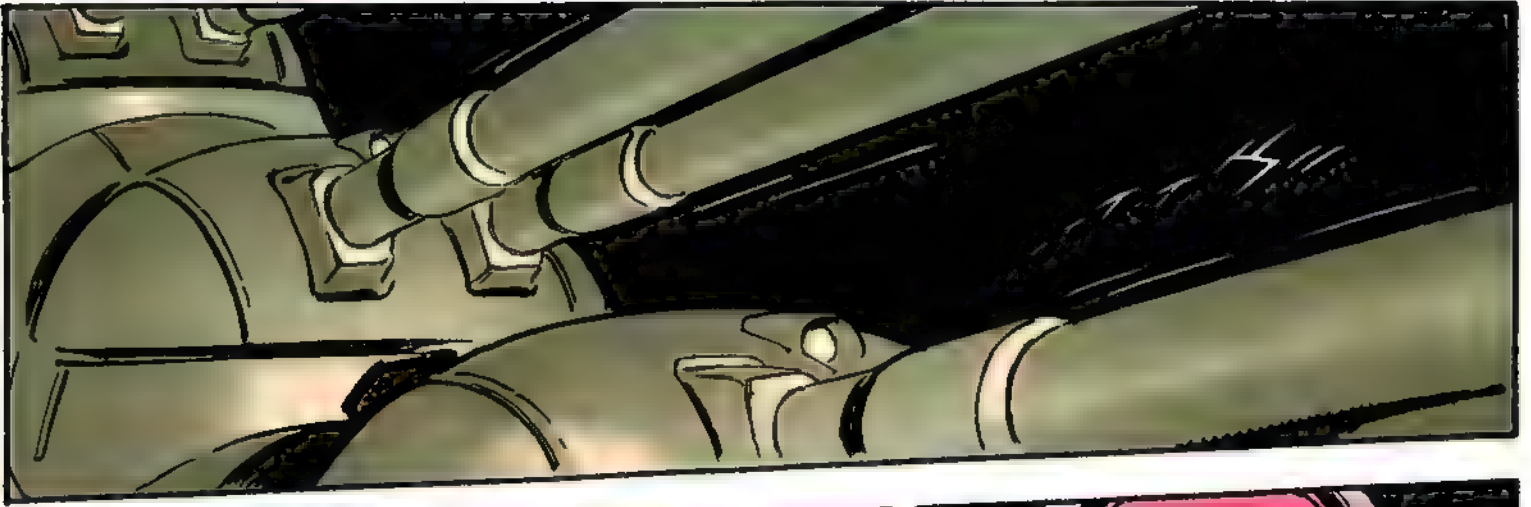


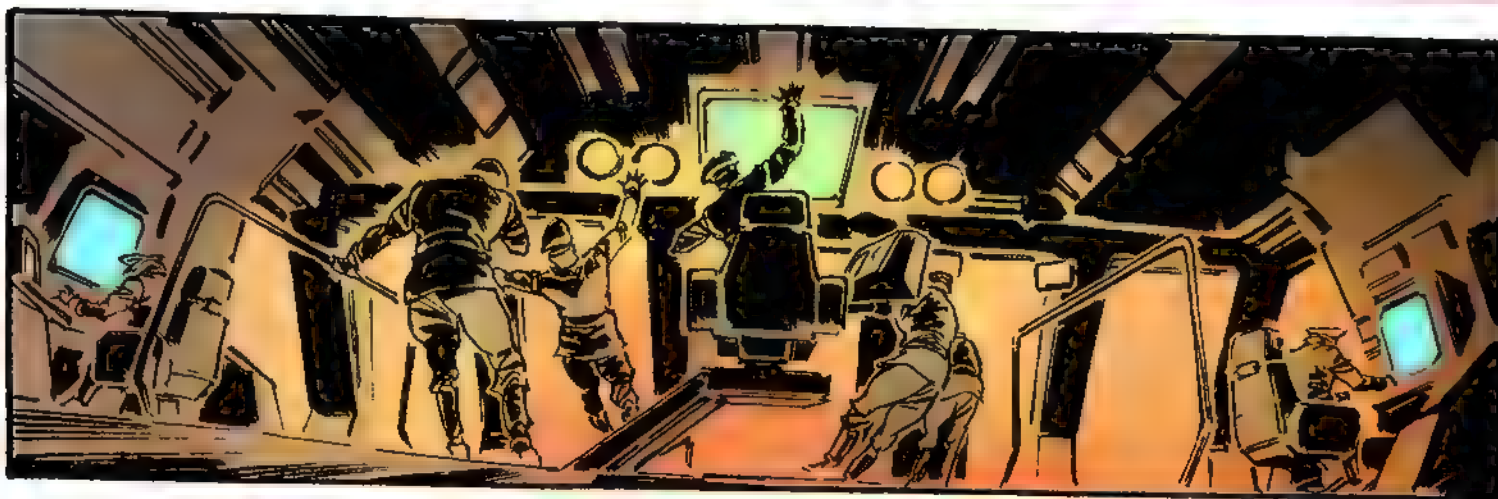
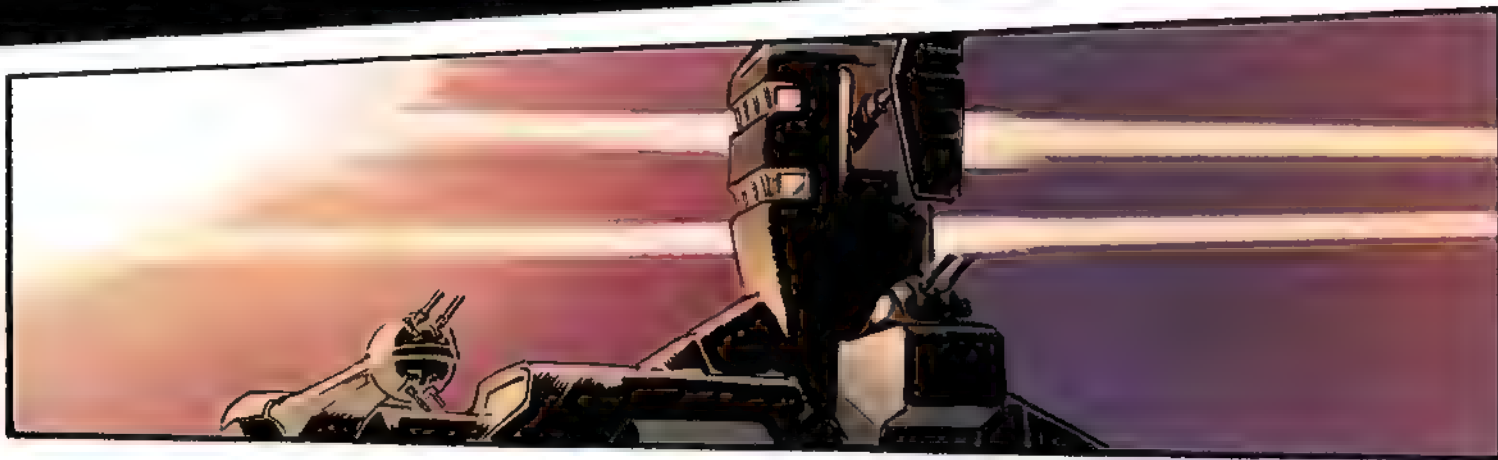
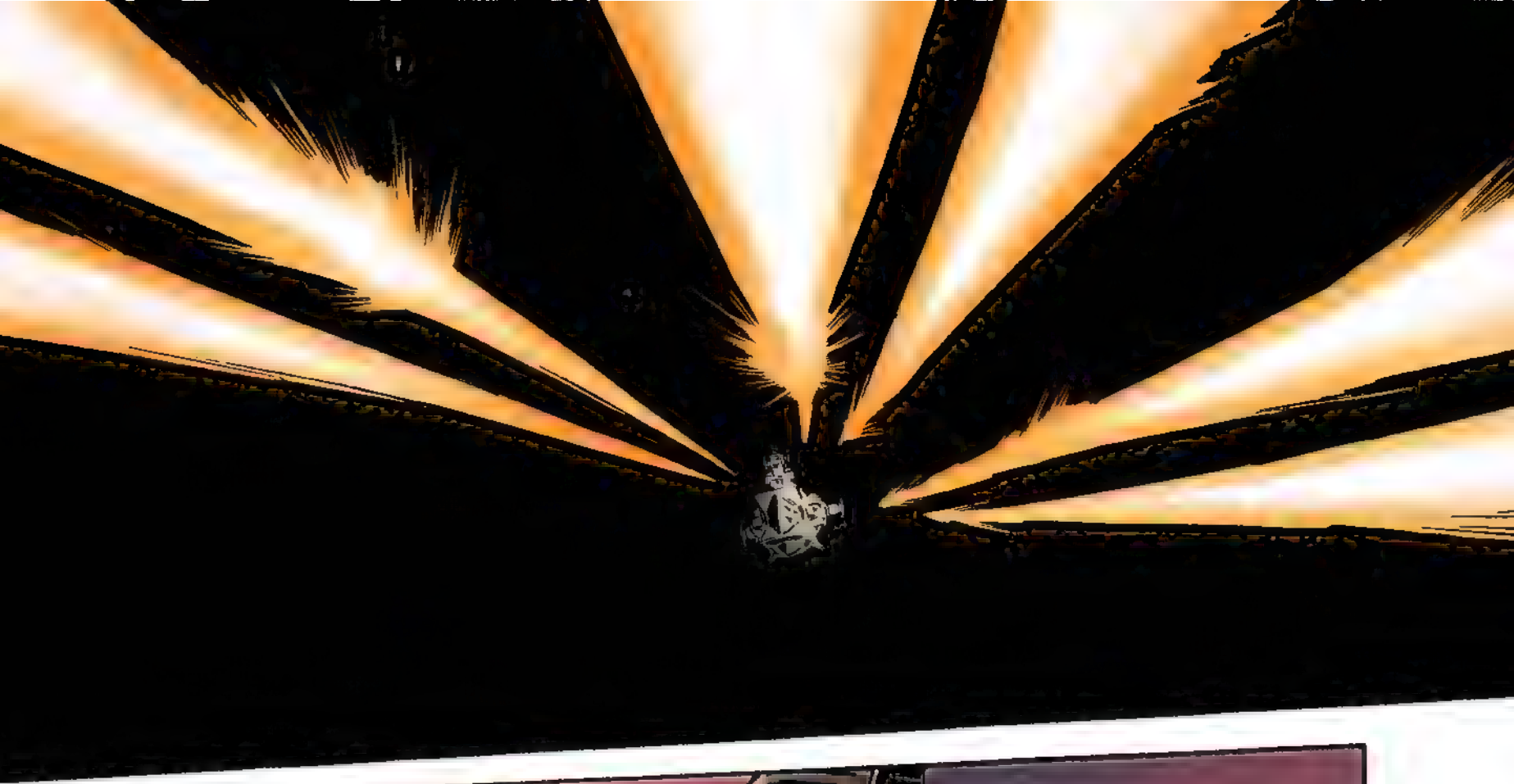
ゴク？

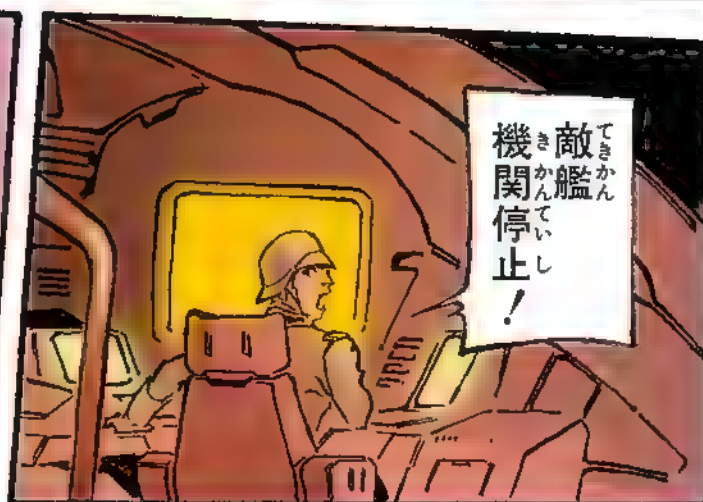


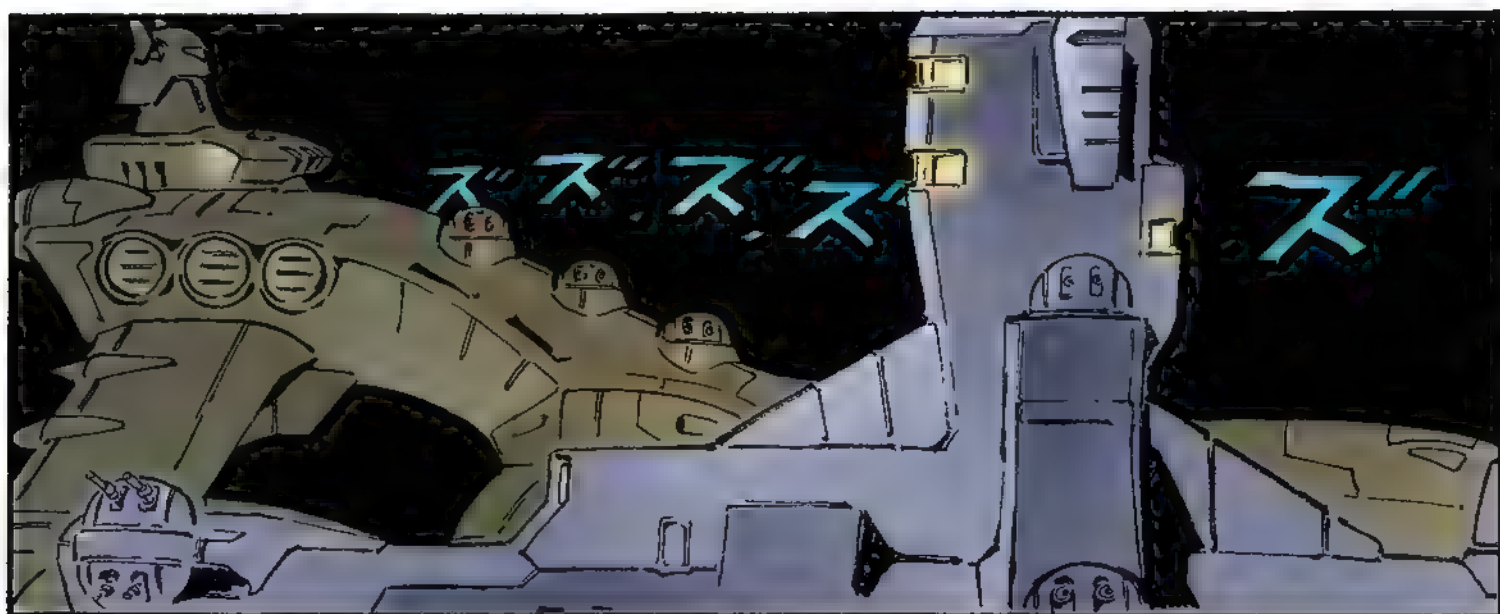
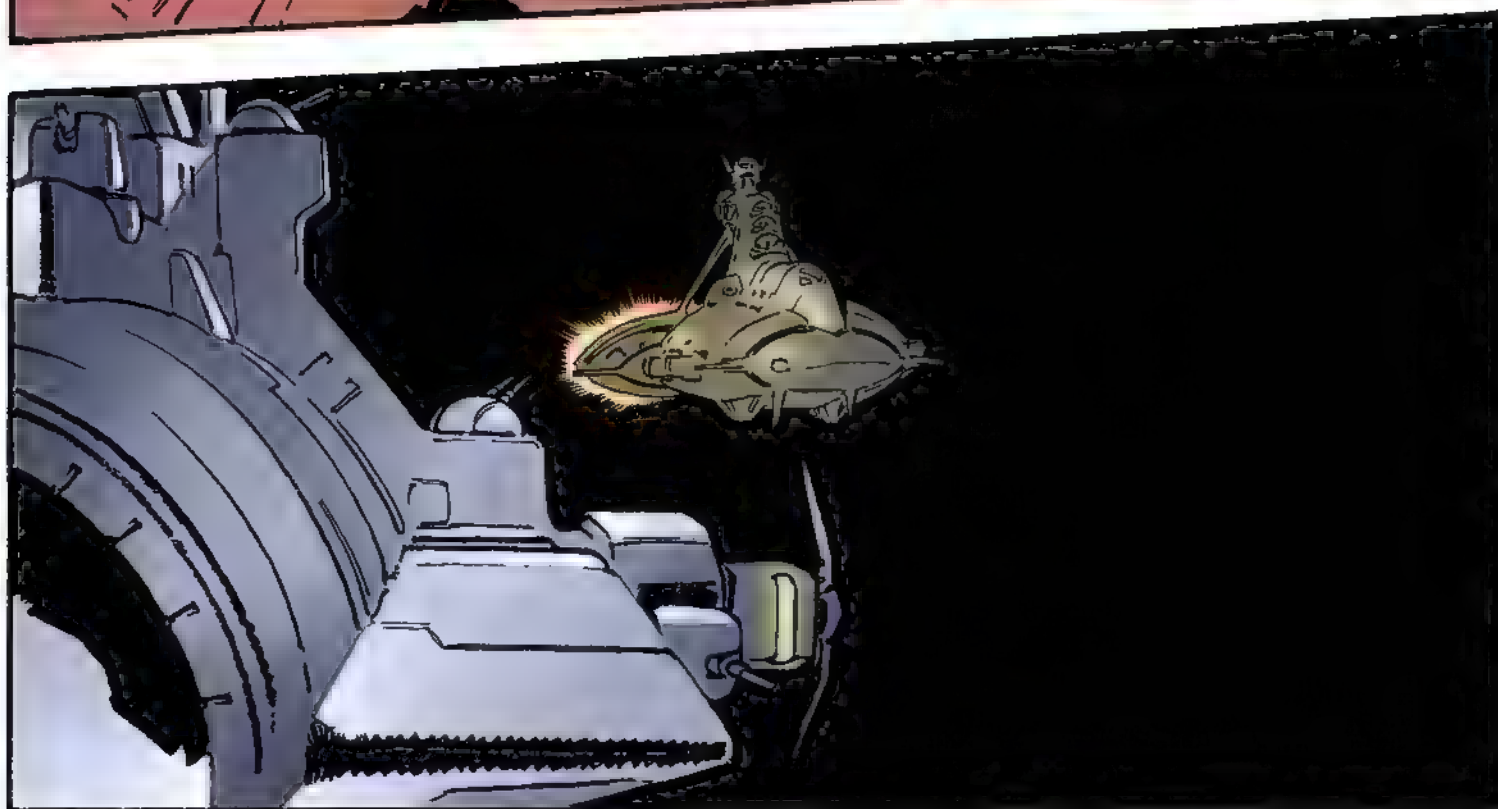
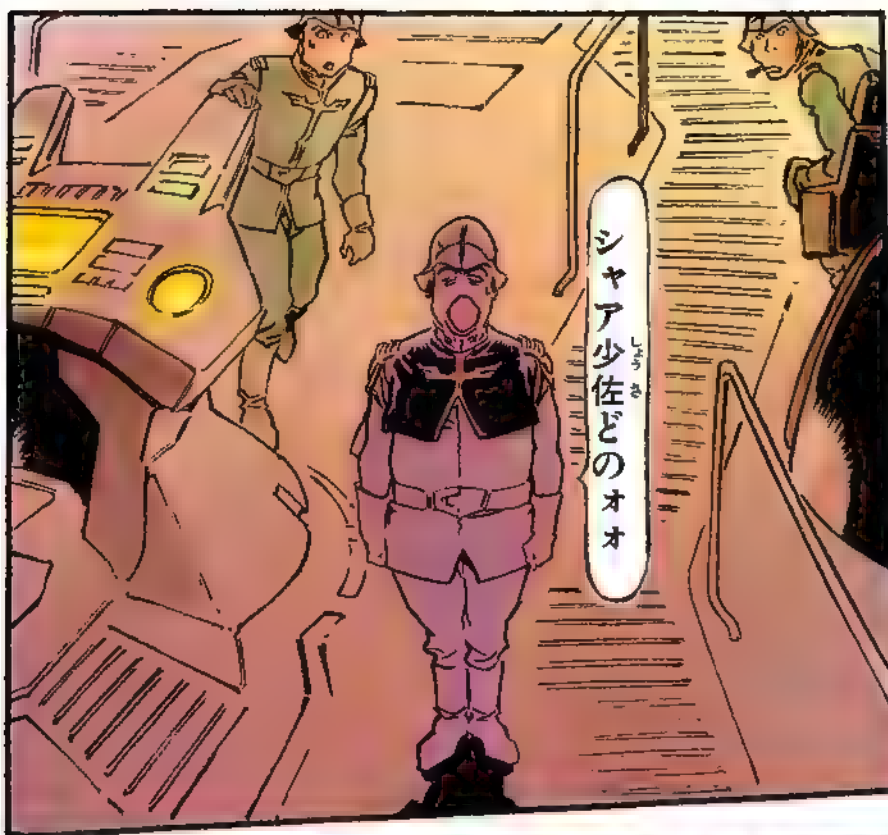
ぜんほうとう
全砲塔

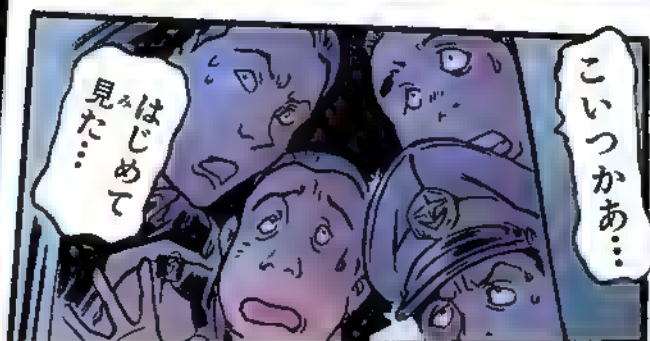
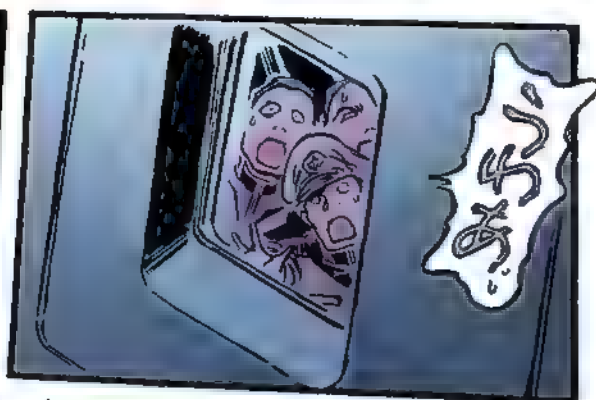
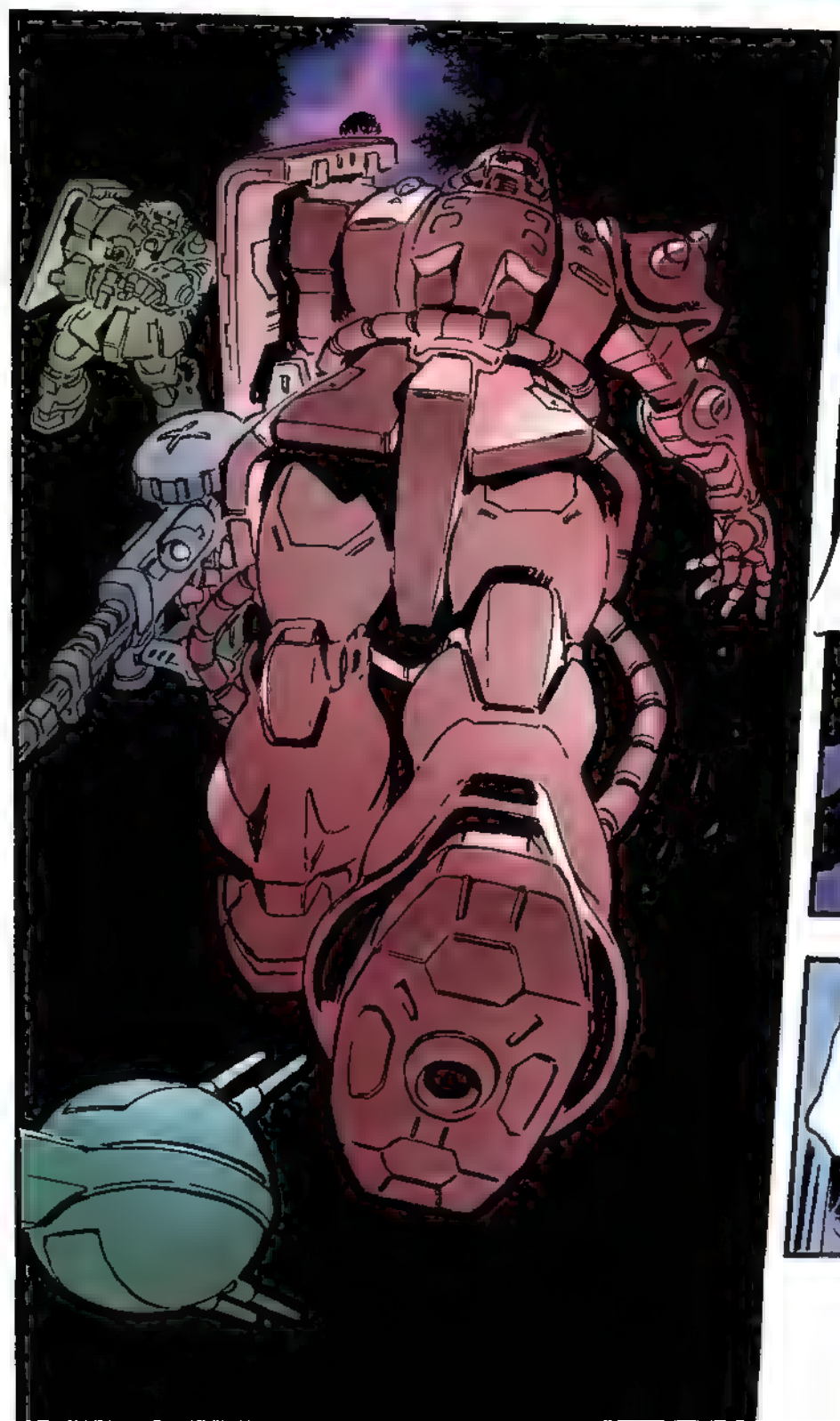
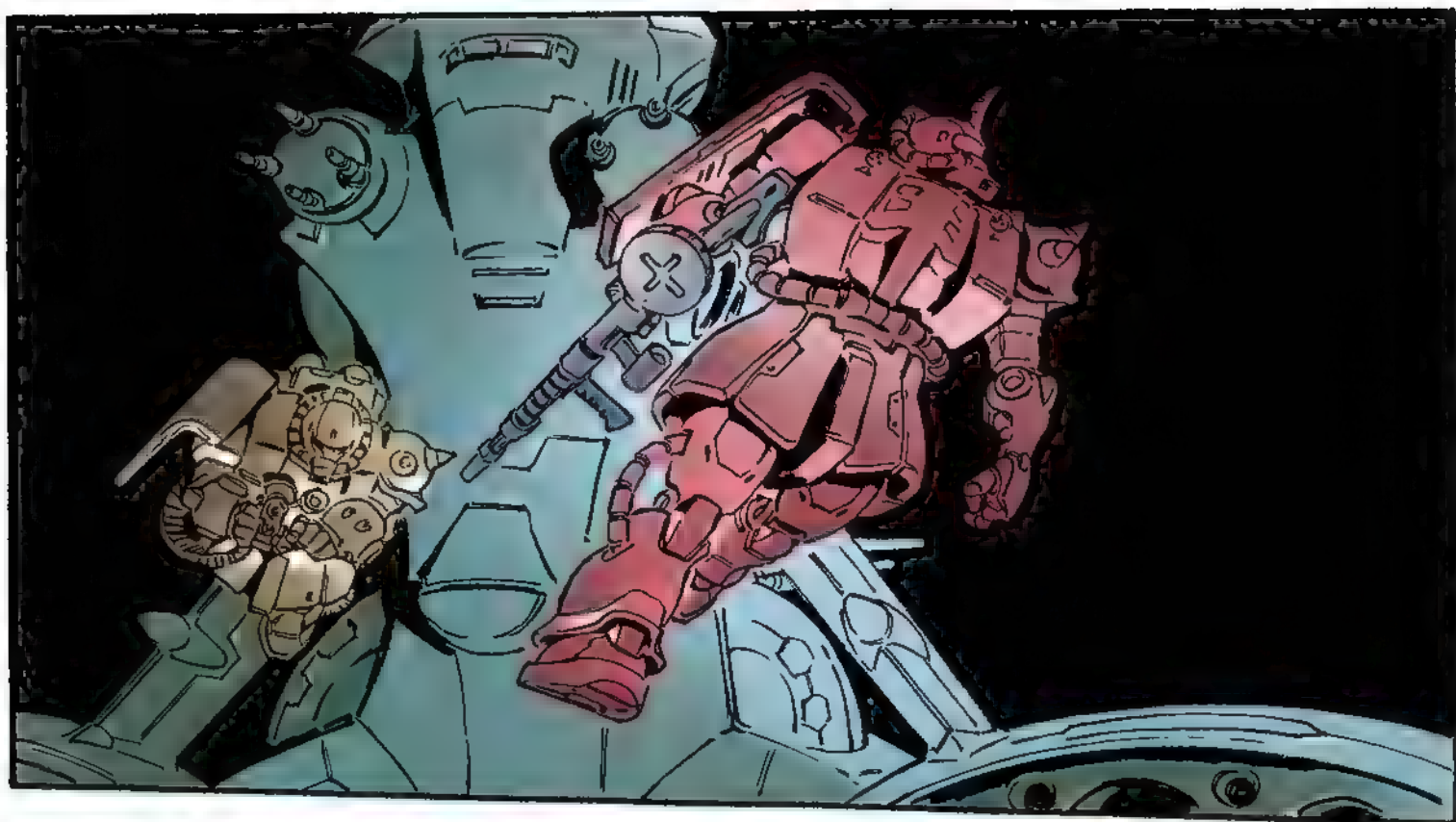
はっしや
発射
よ
用意！！

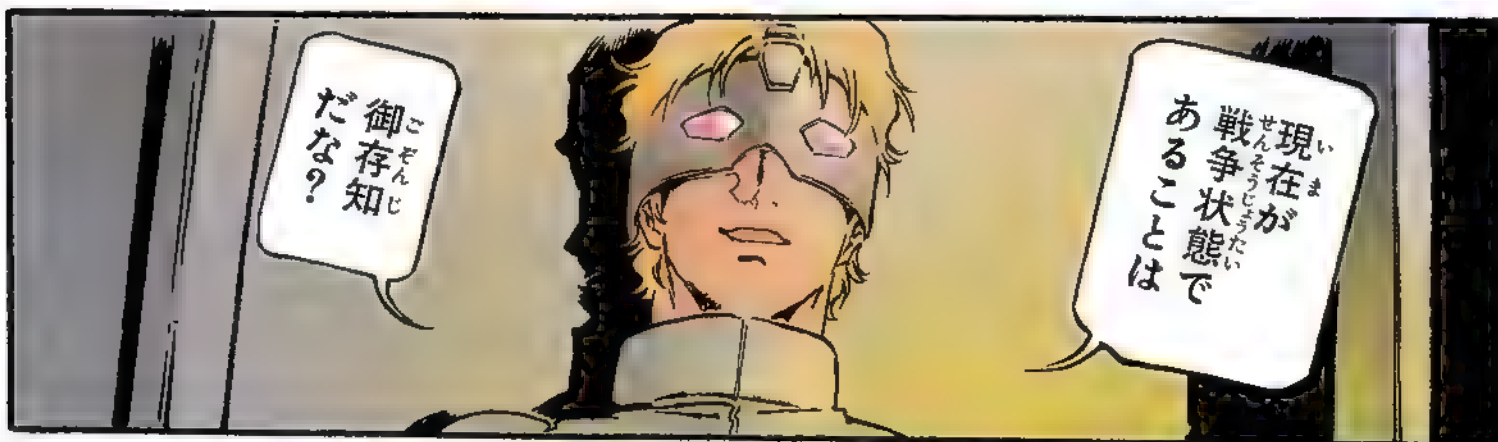
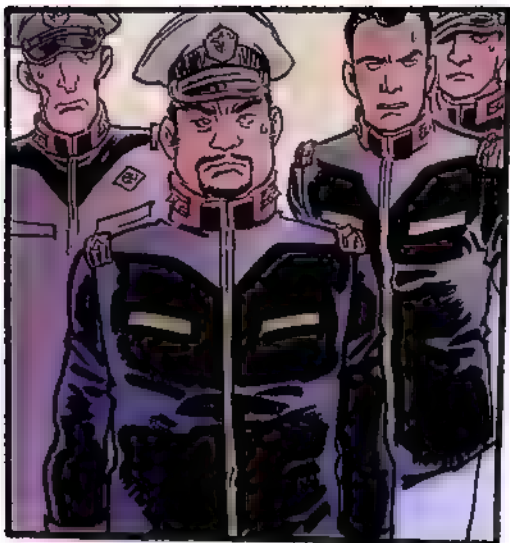


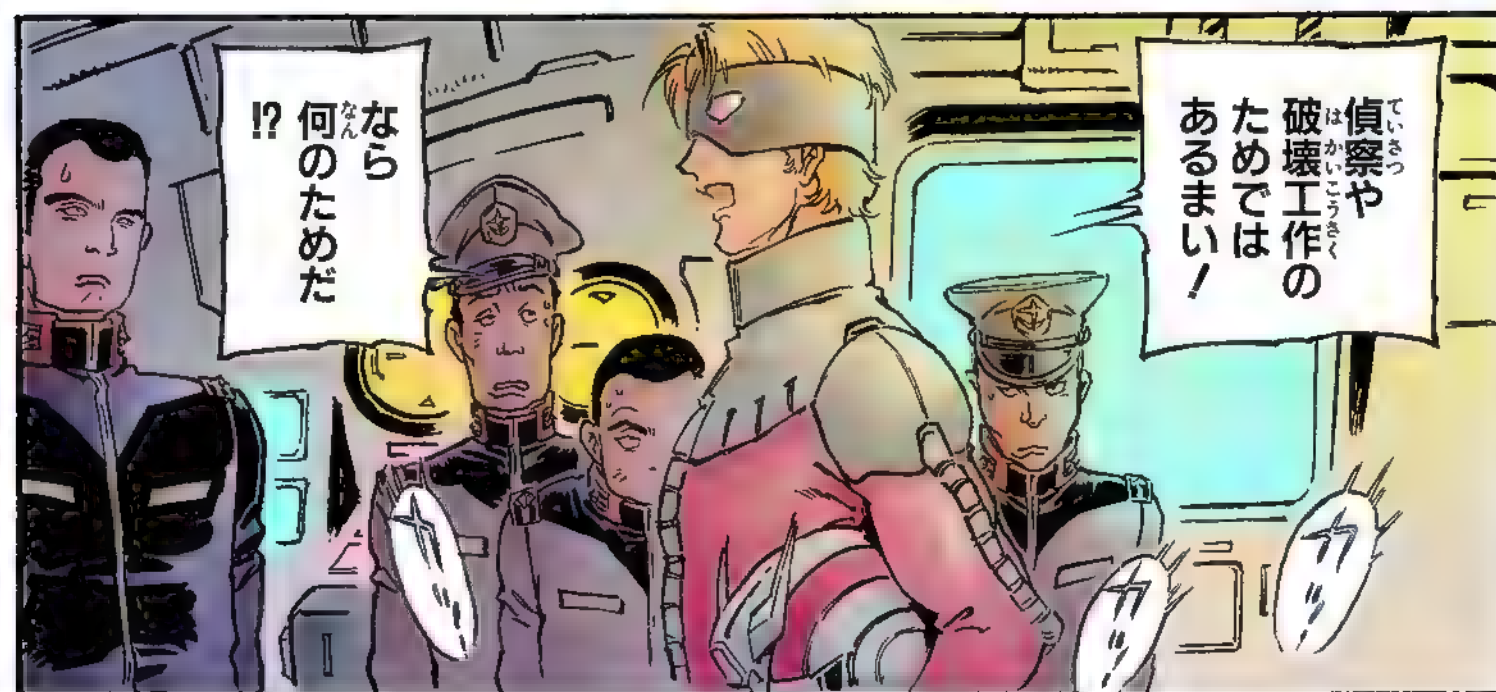
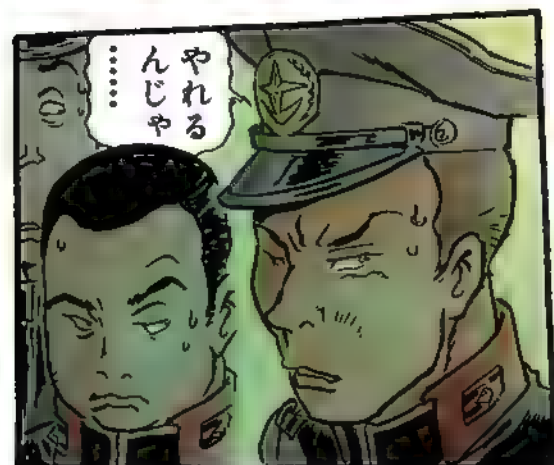
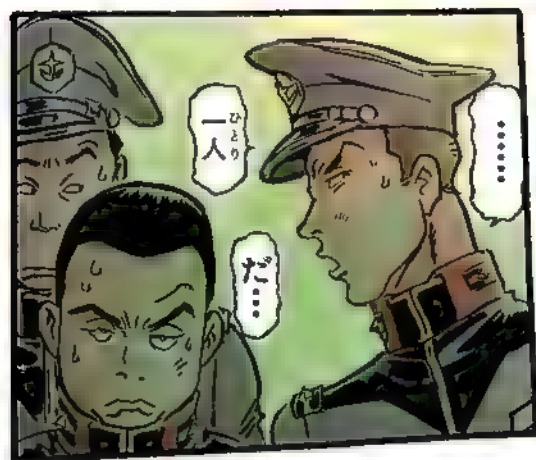


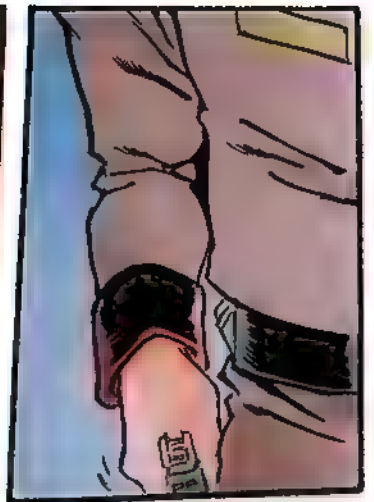
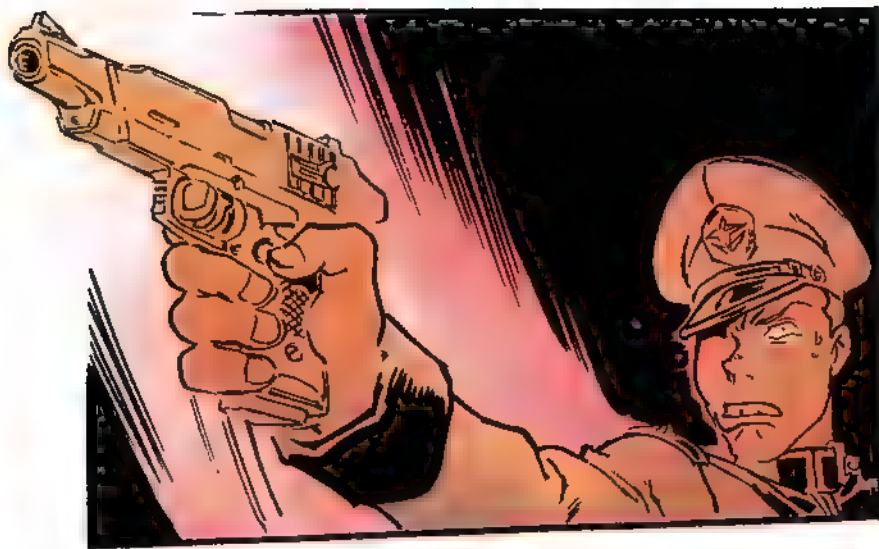


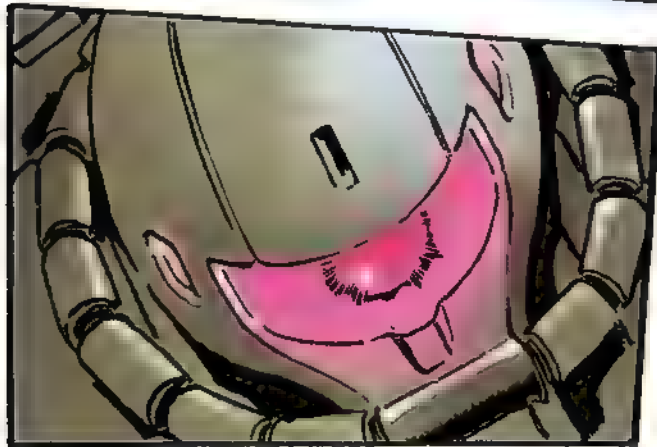
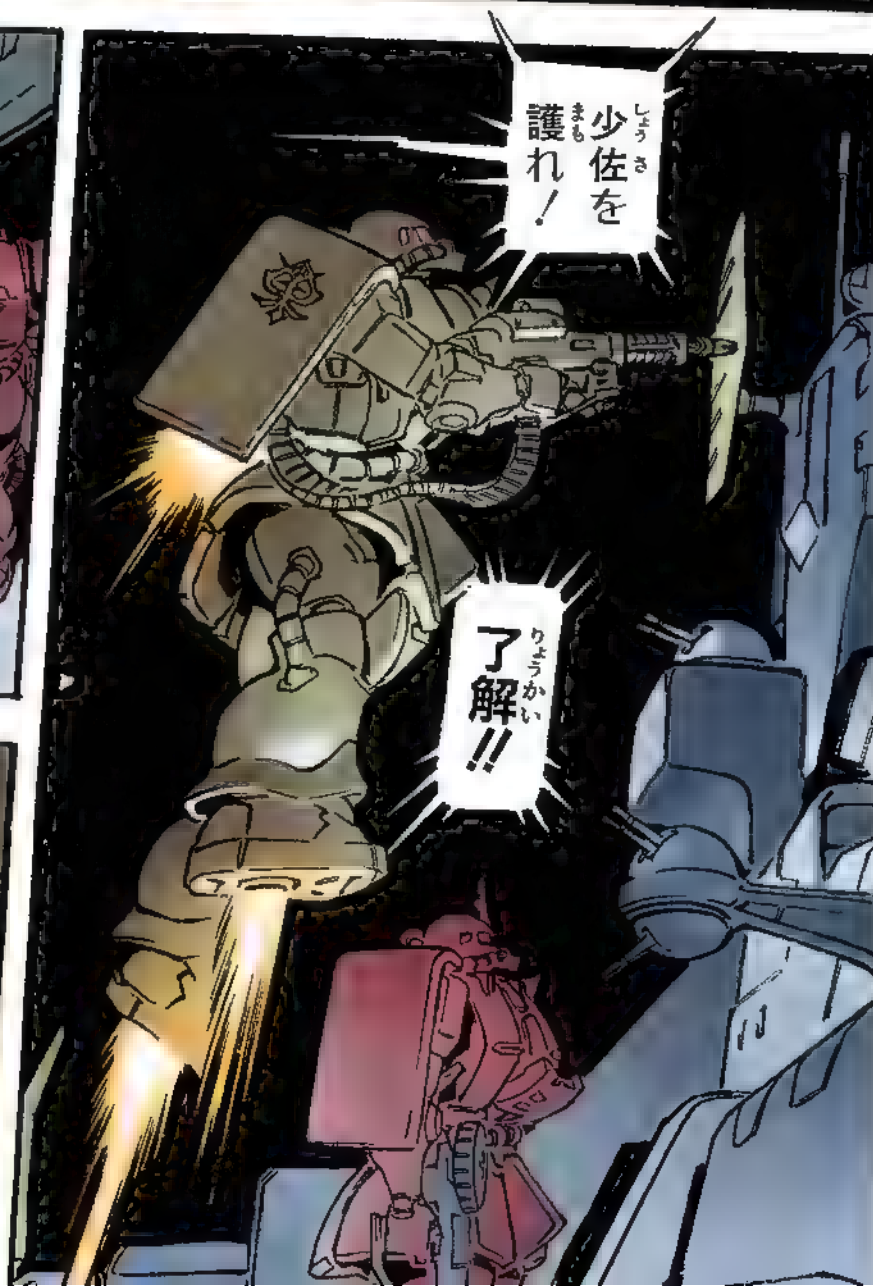
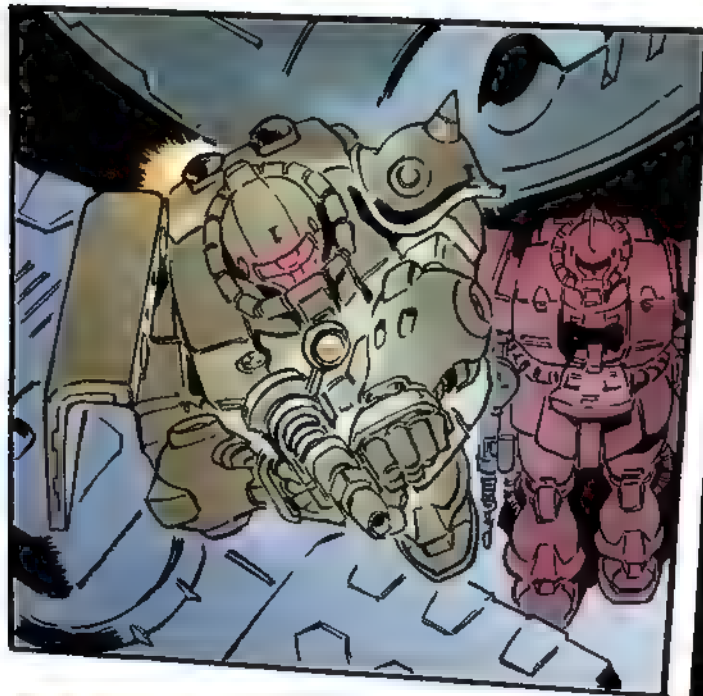
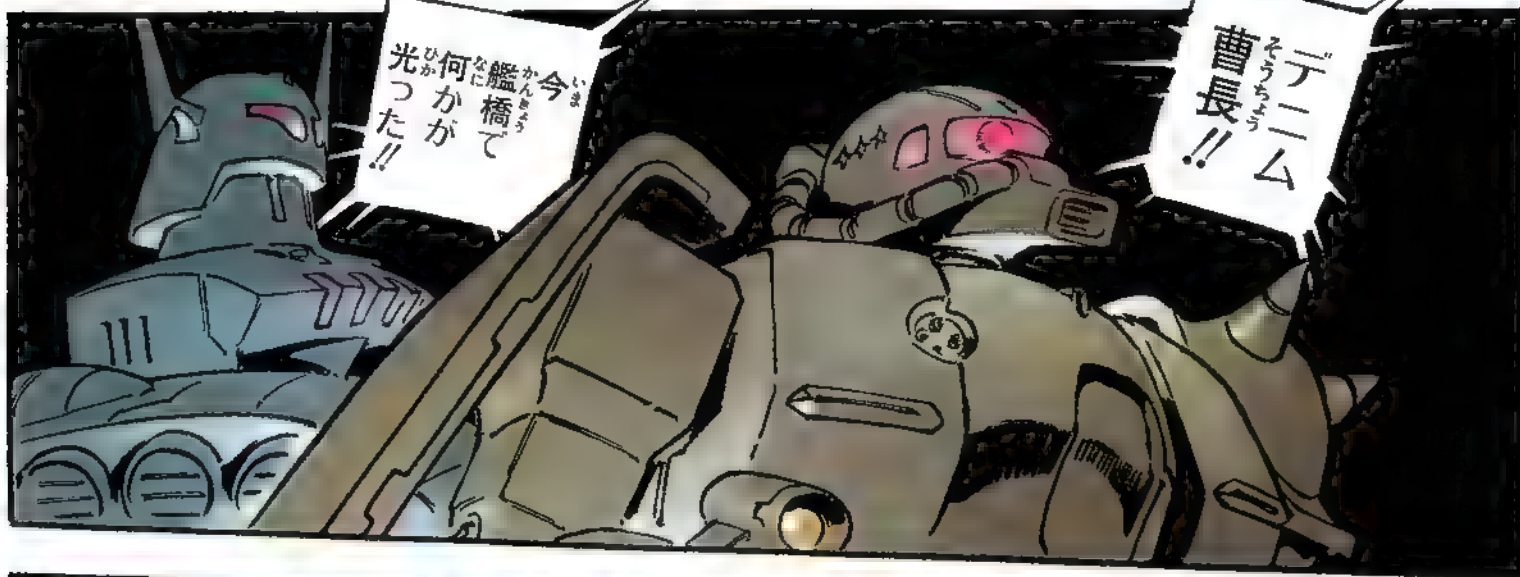
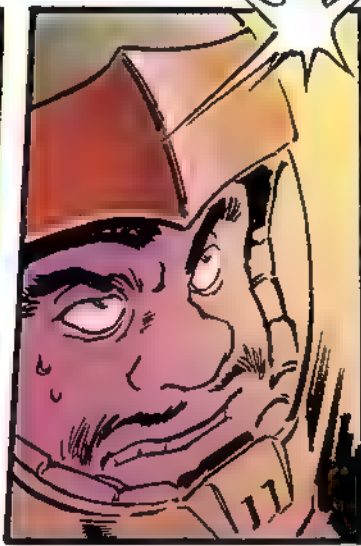
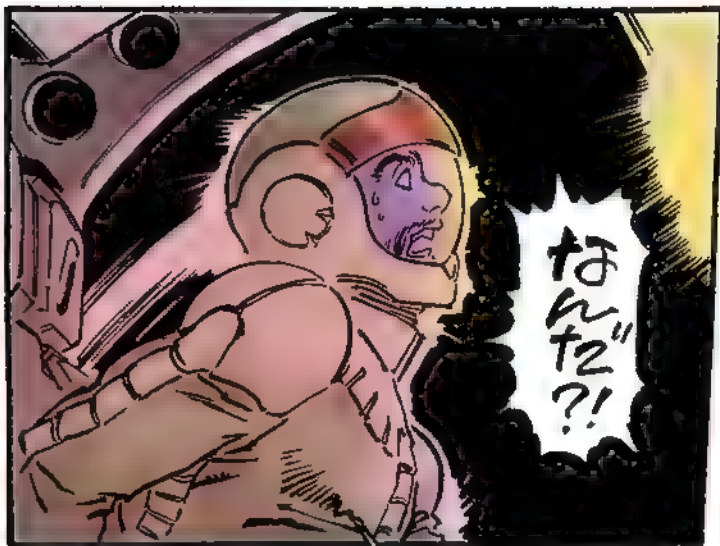


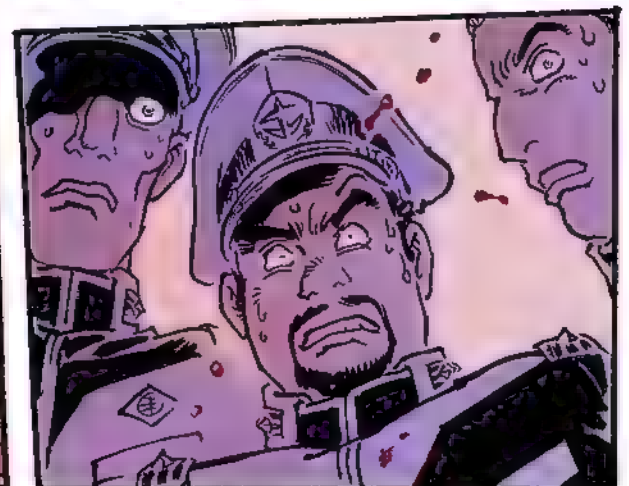
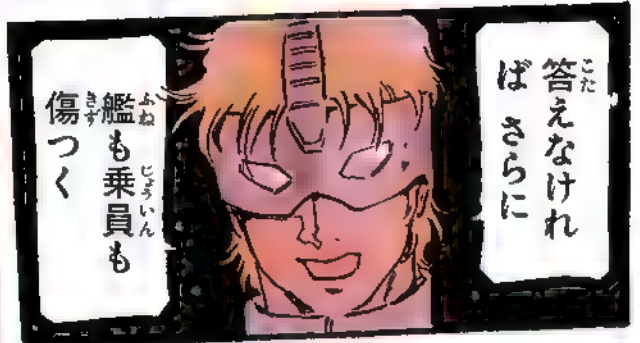
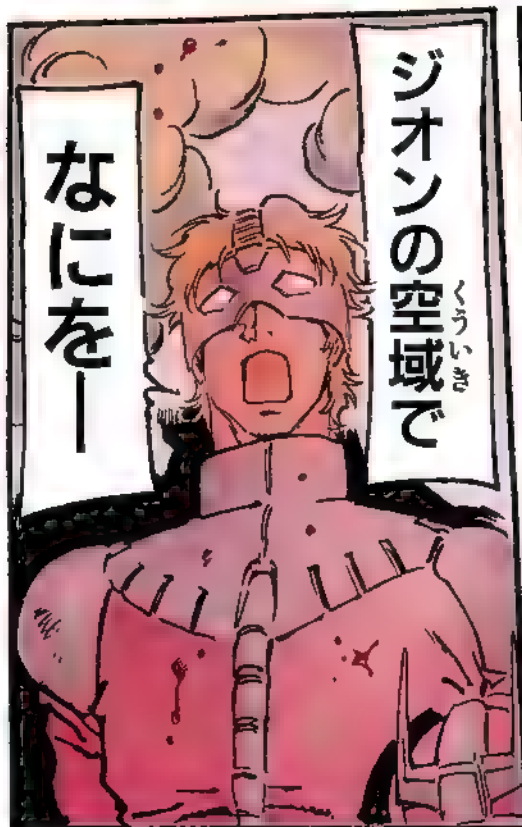
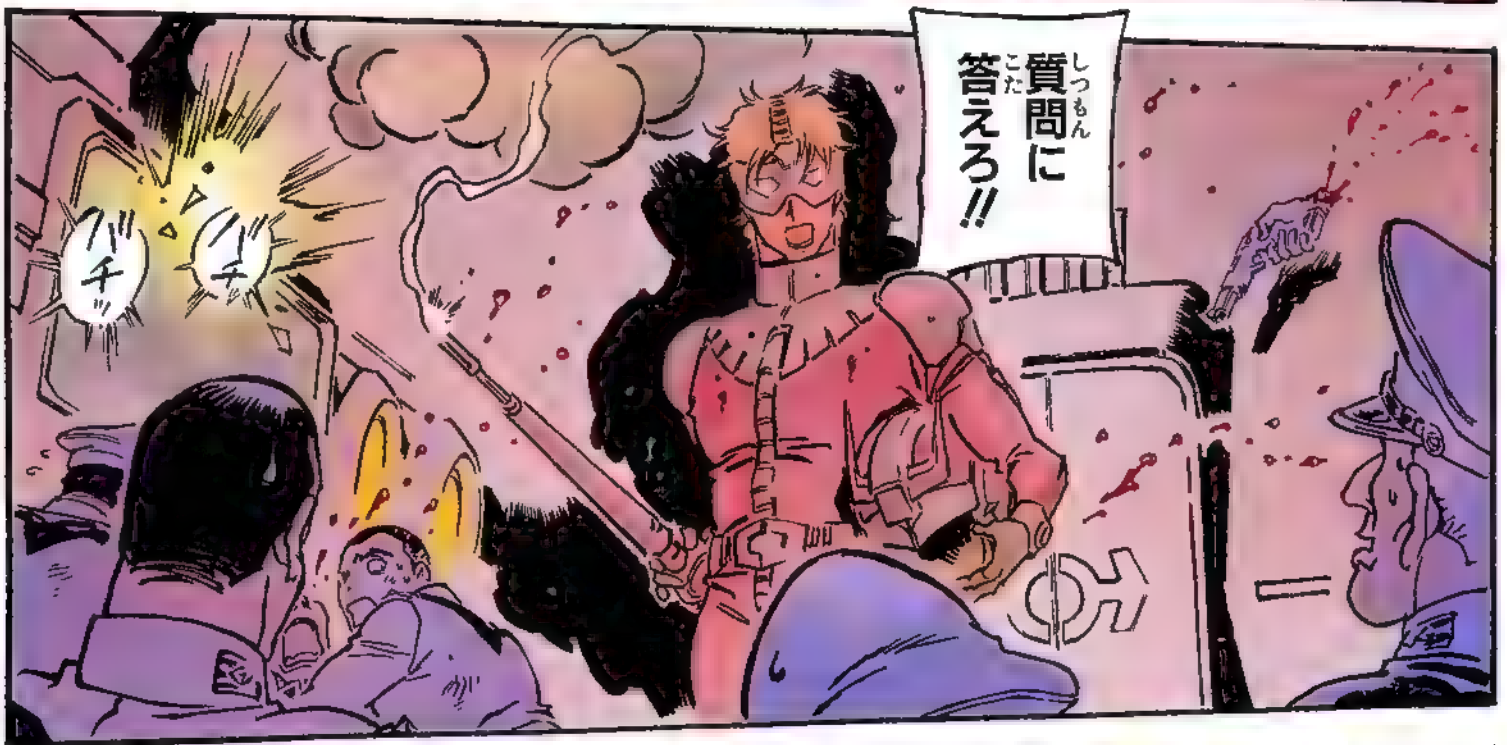
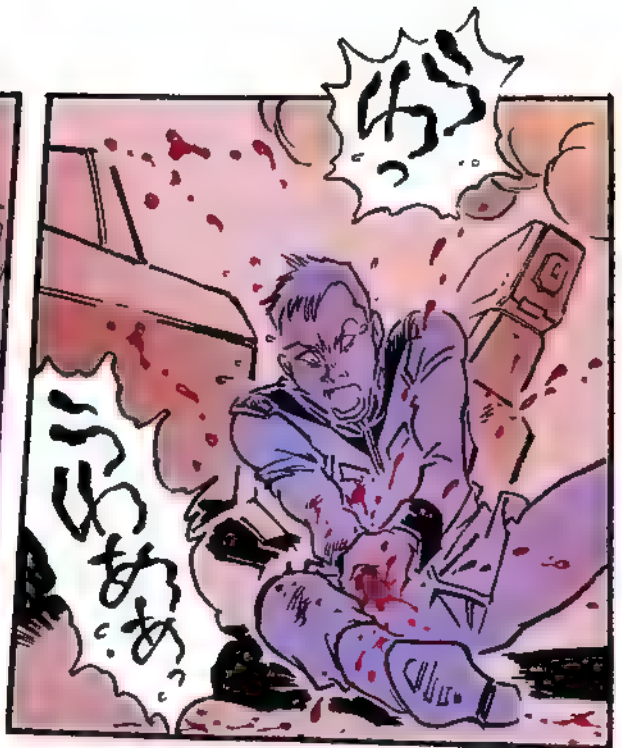
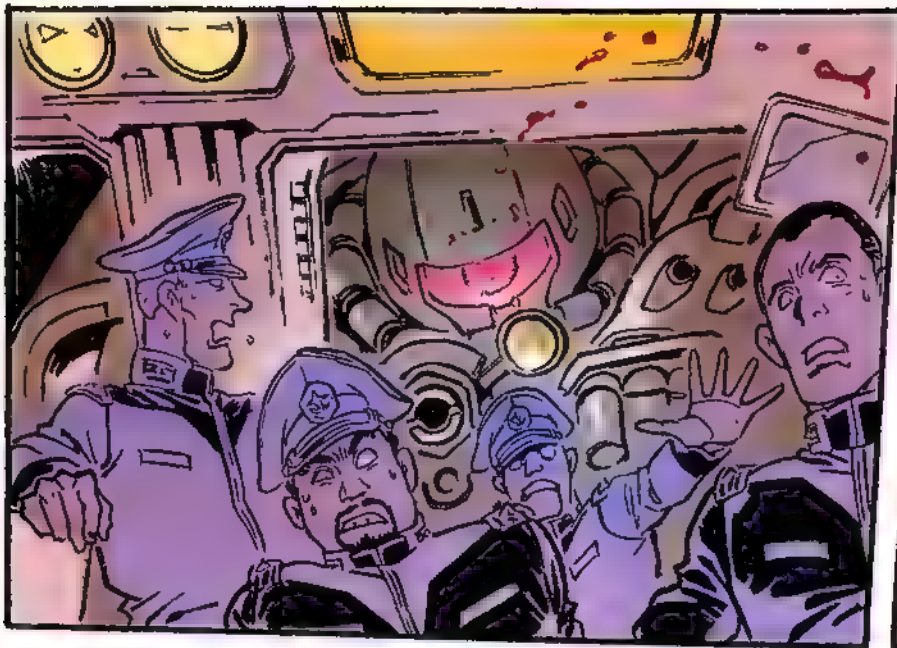


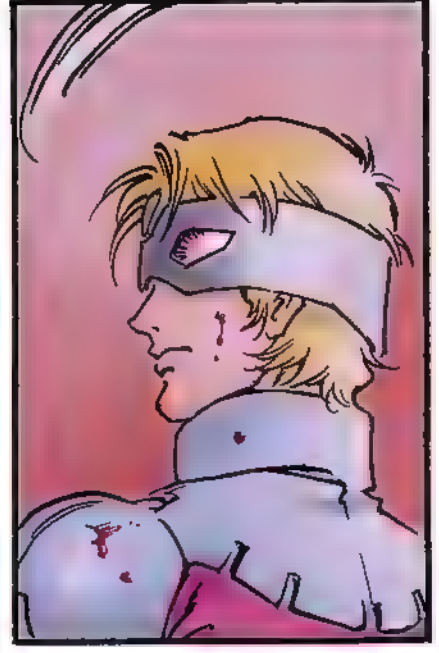
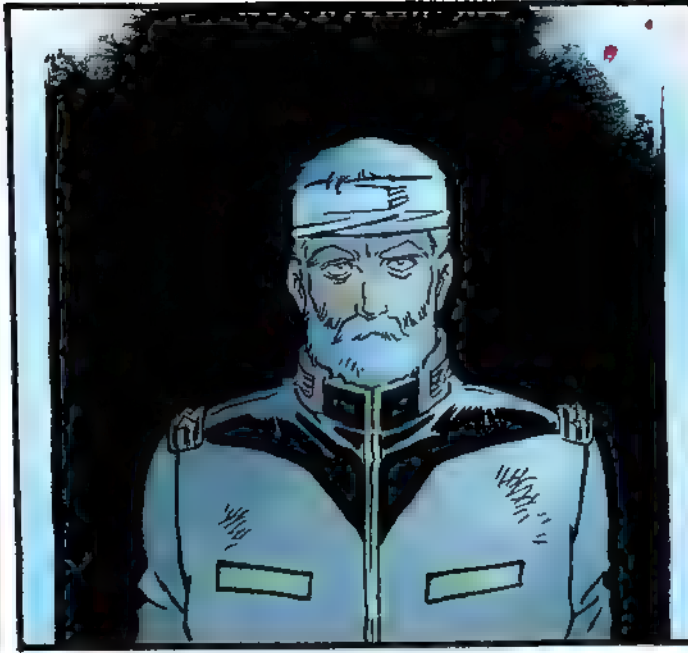


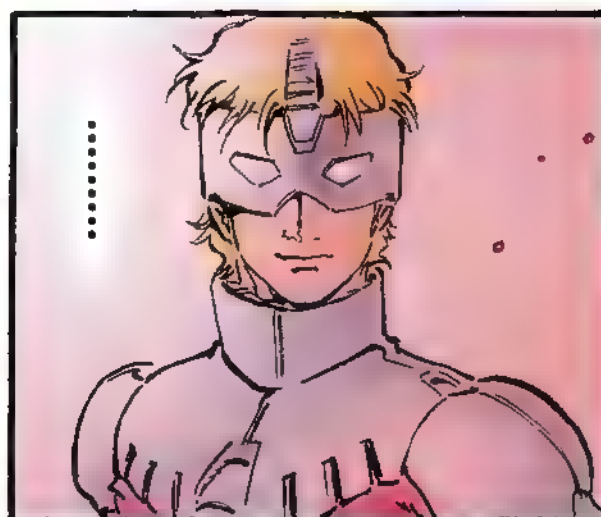
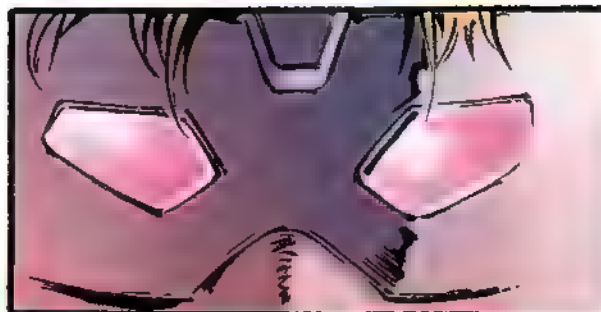
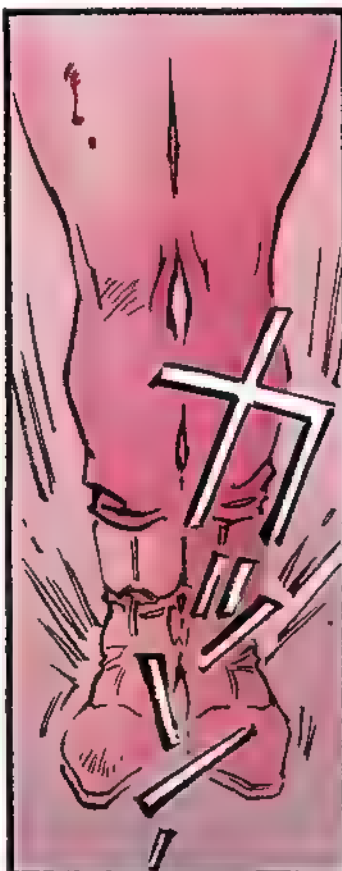
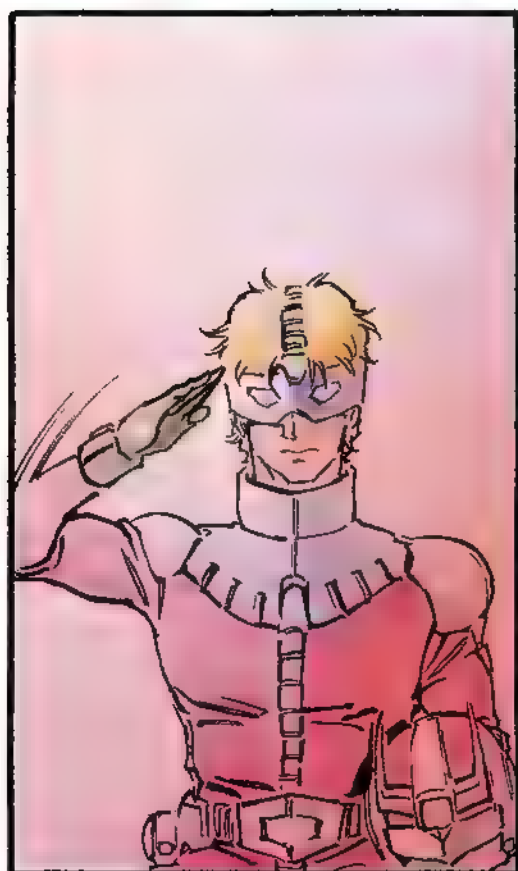
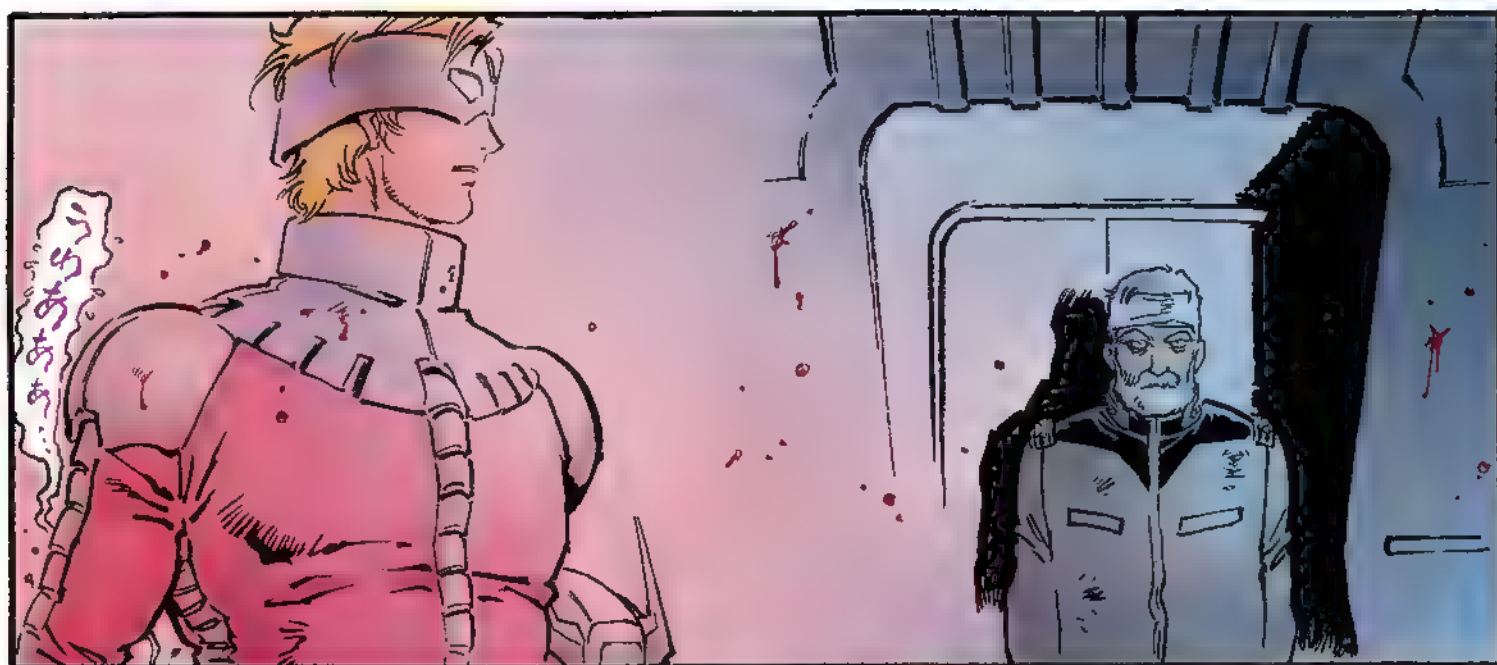
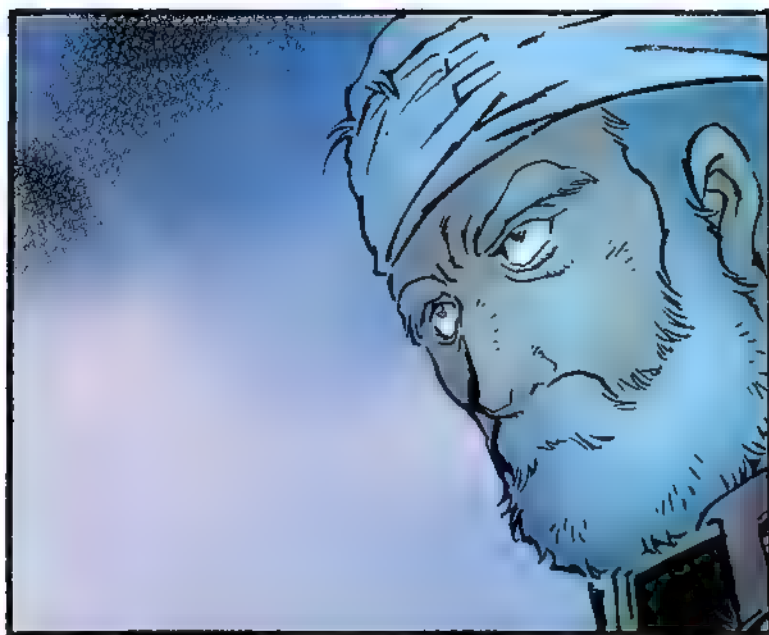
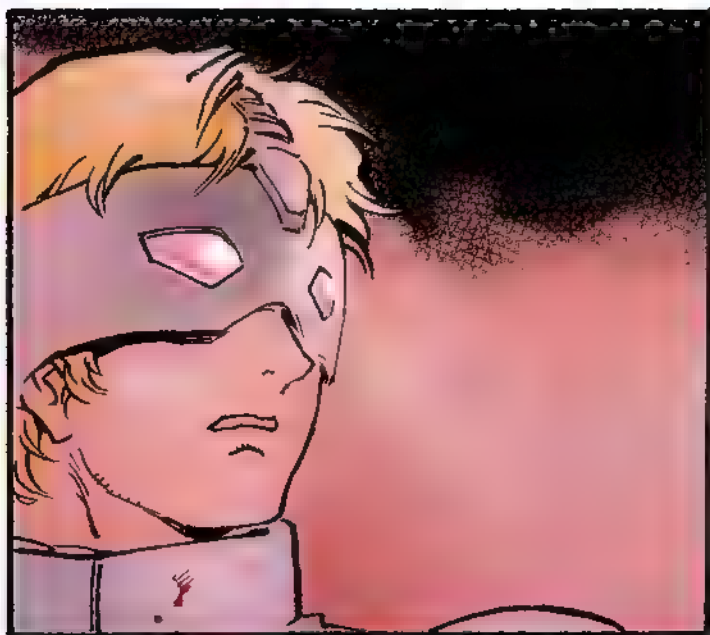


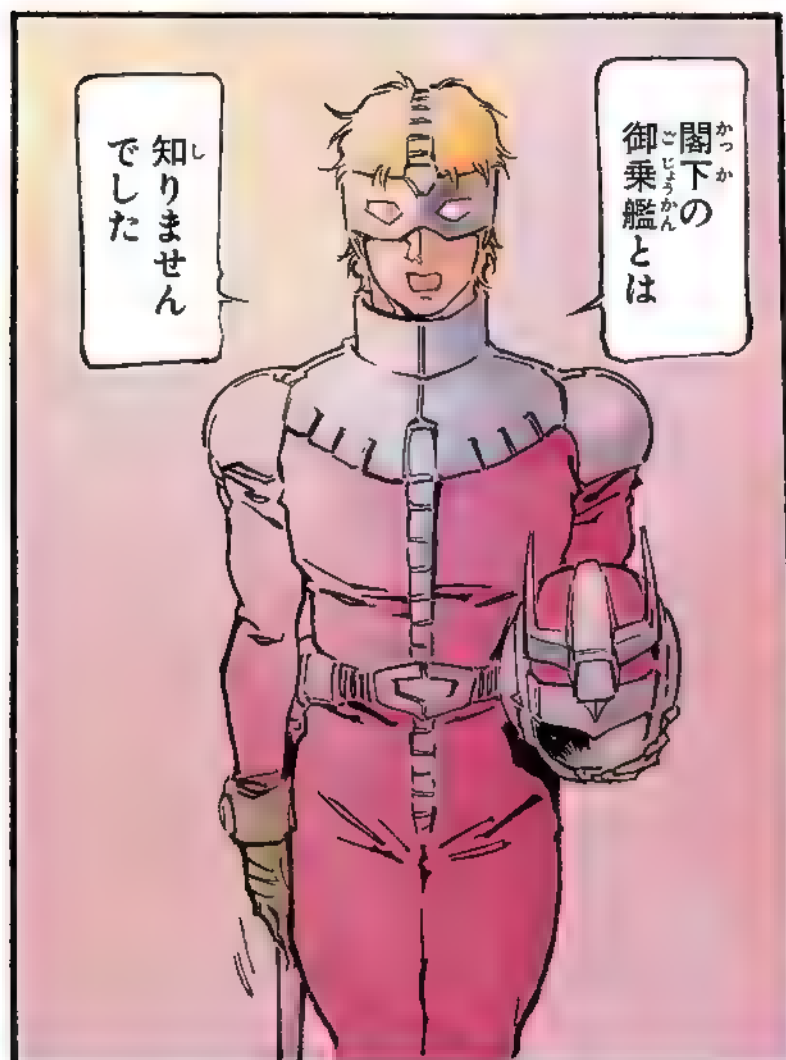
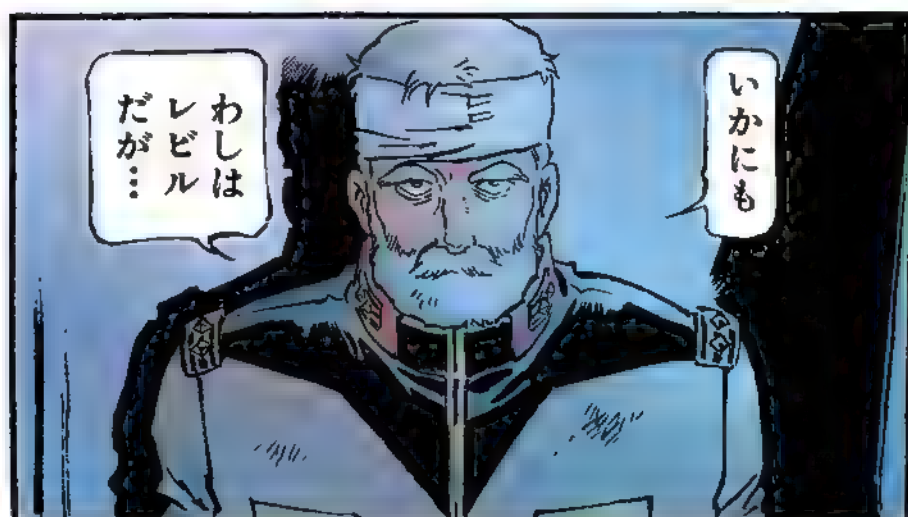
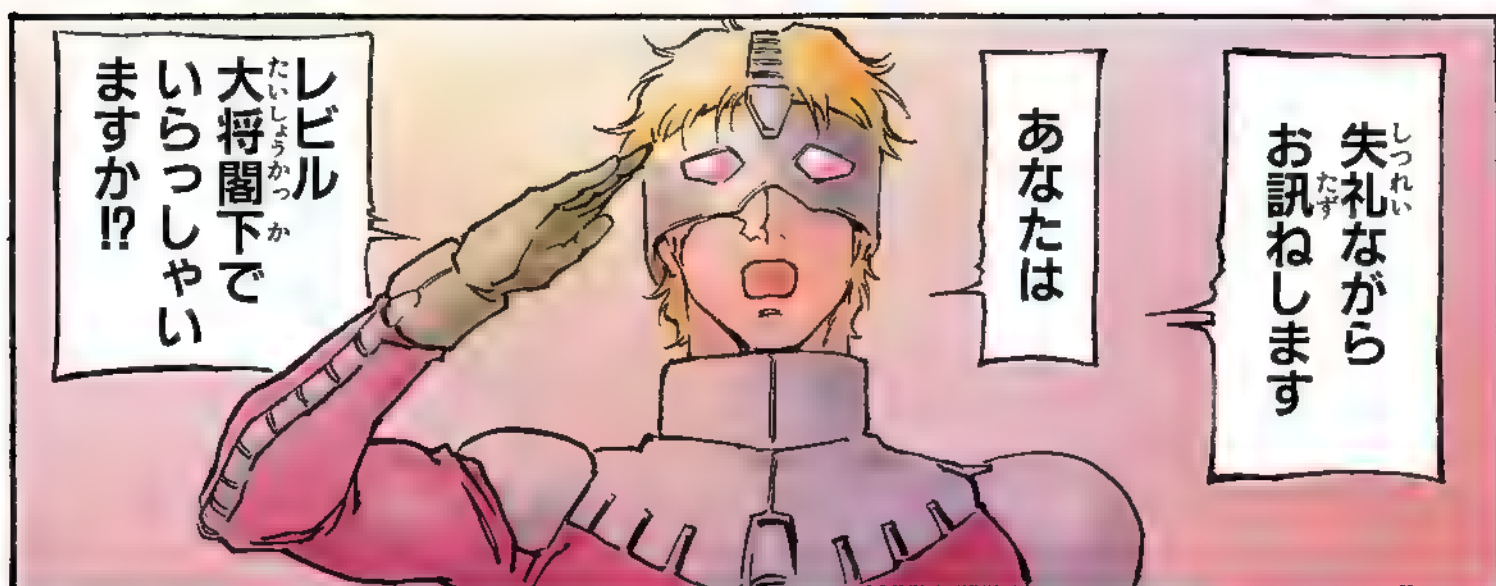


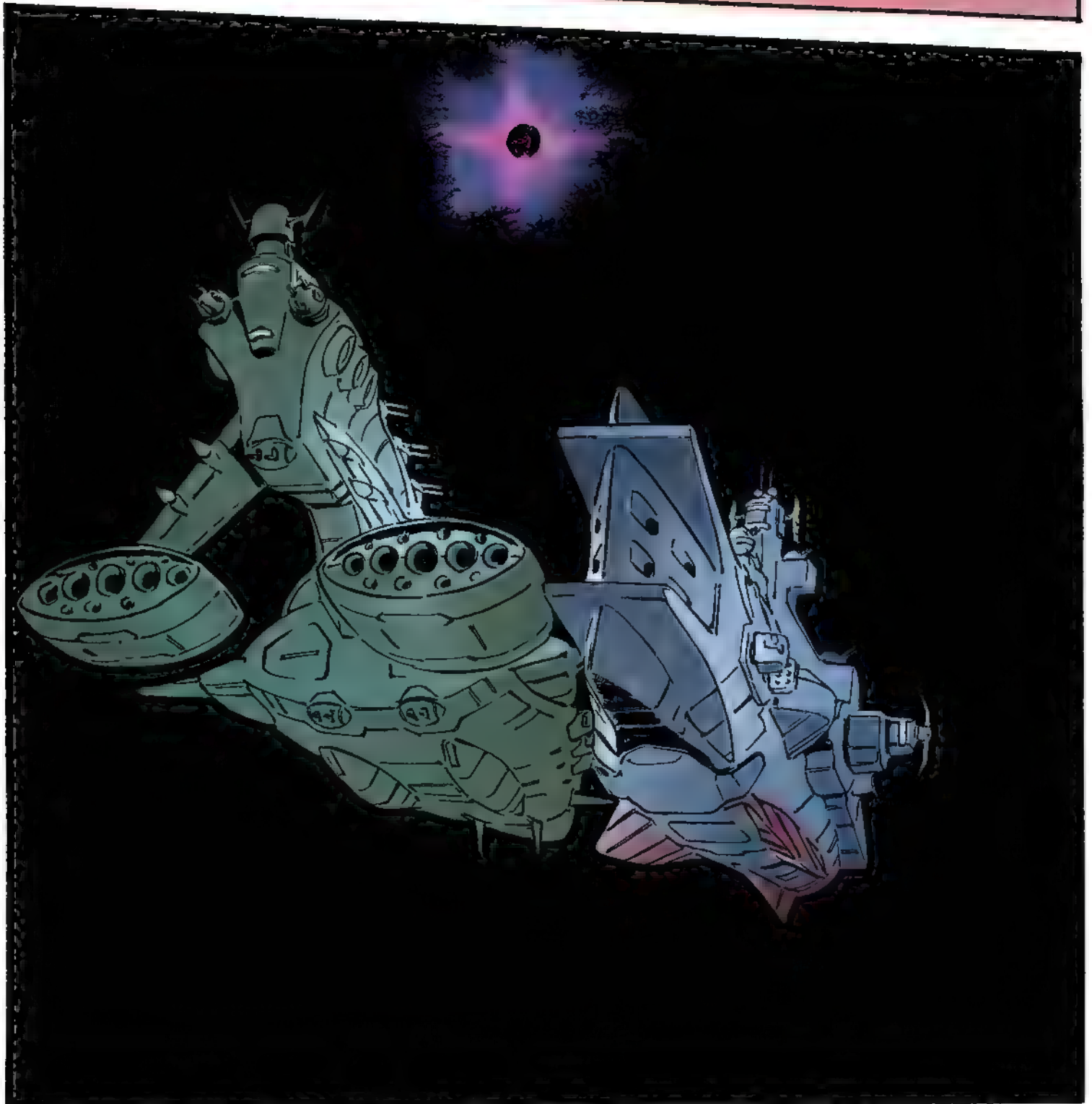


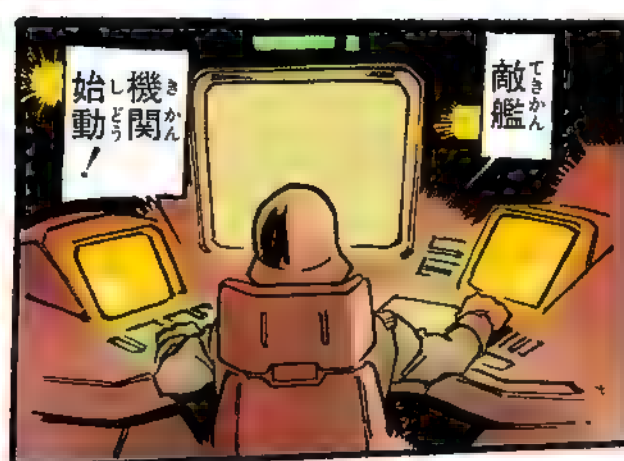
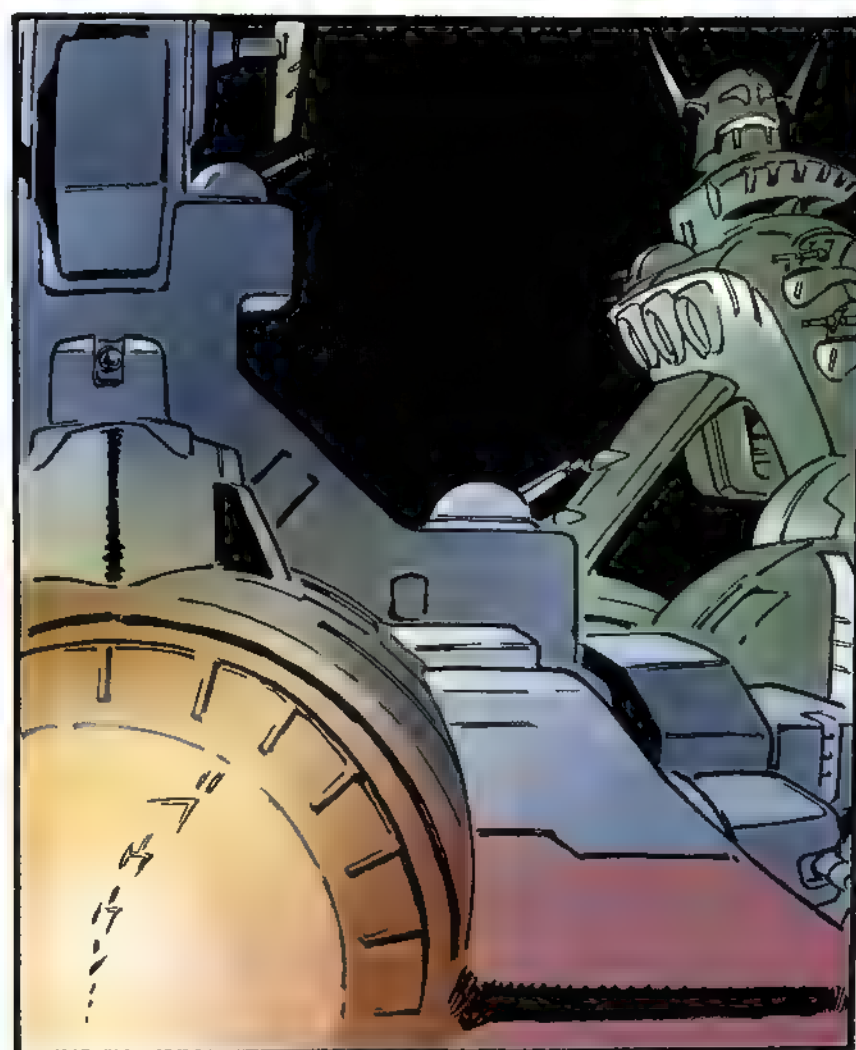
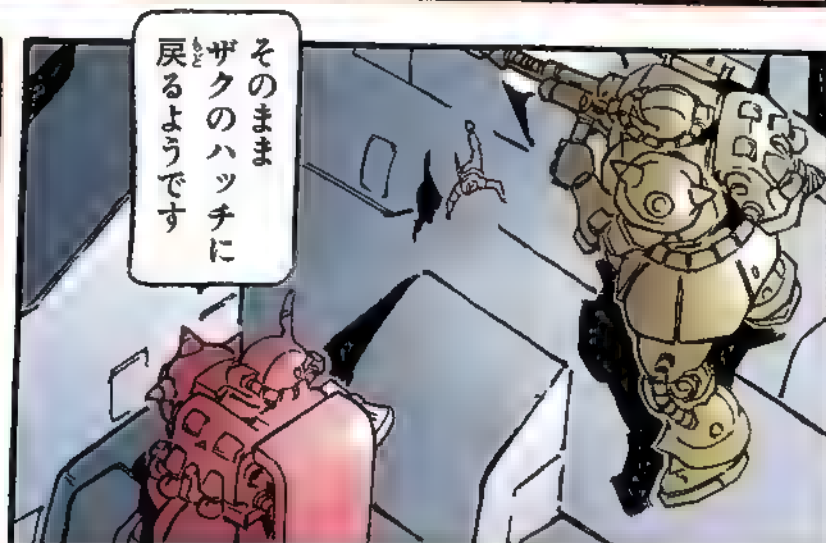
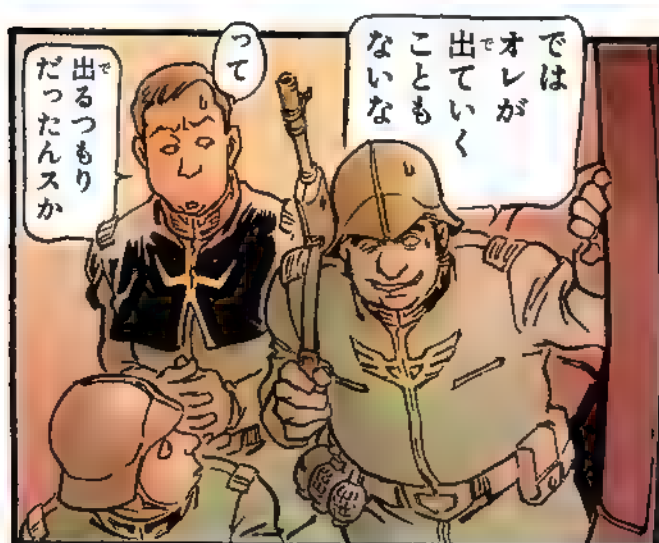
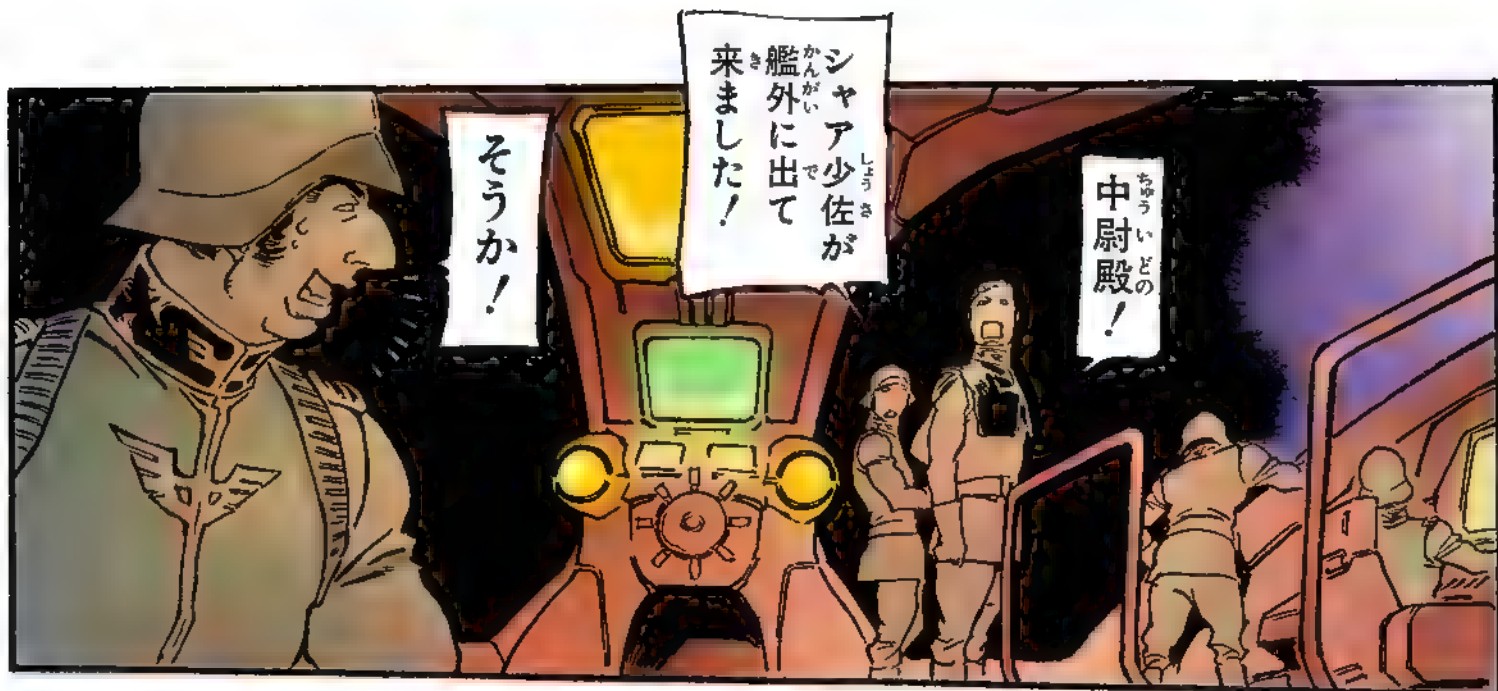


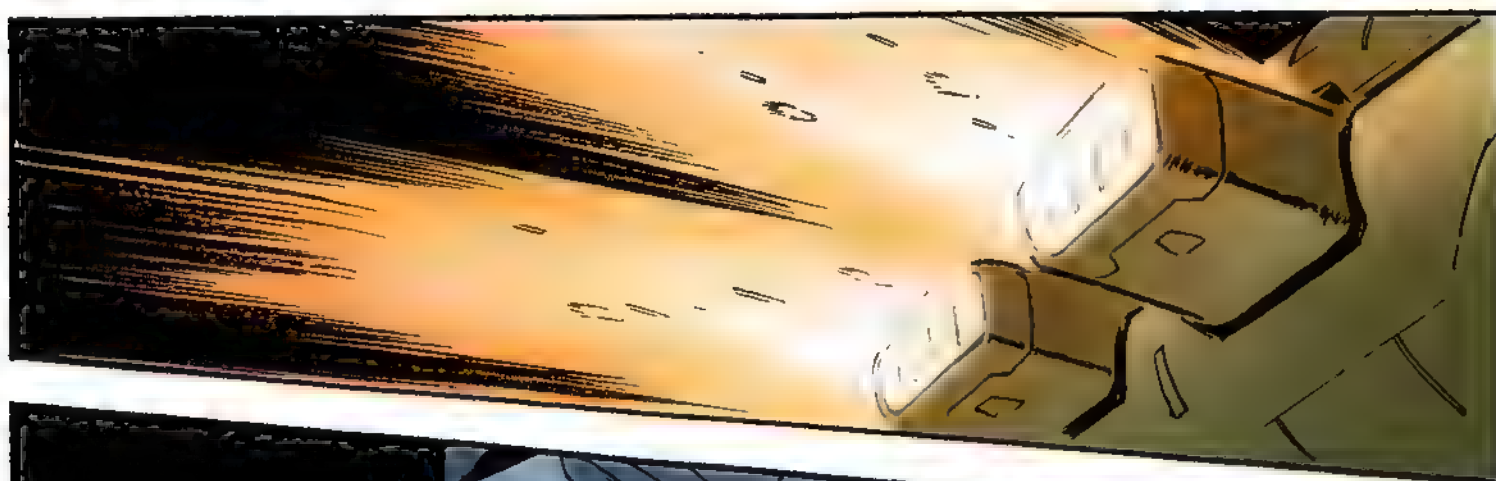
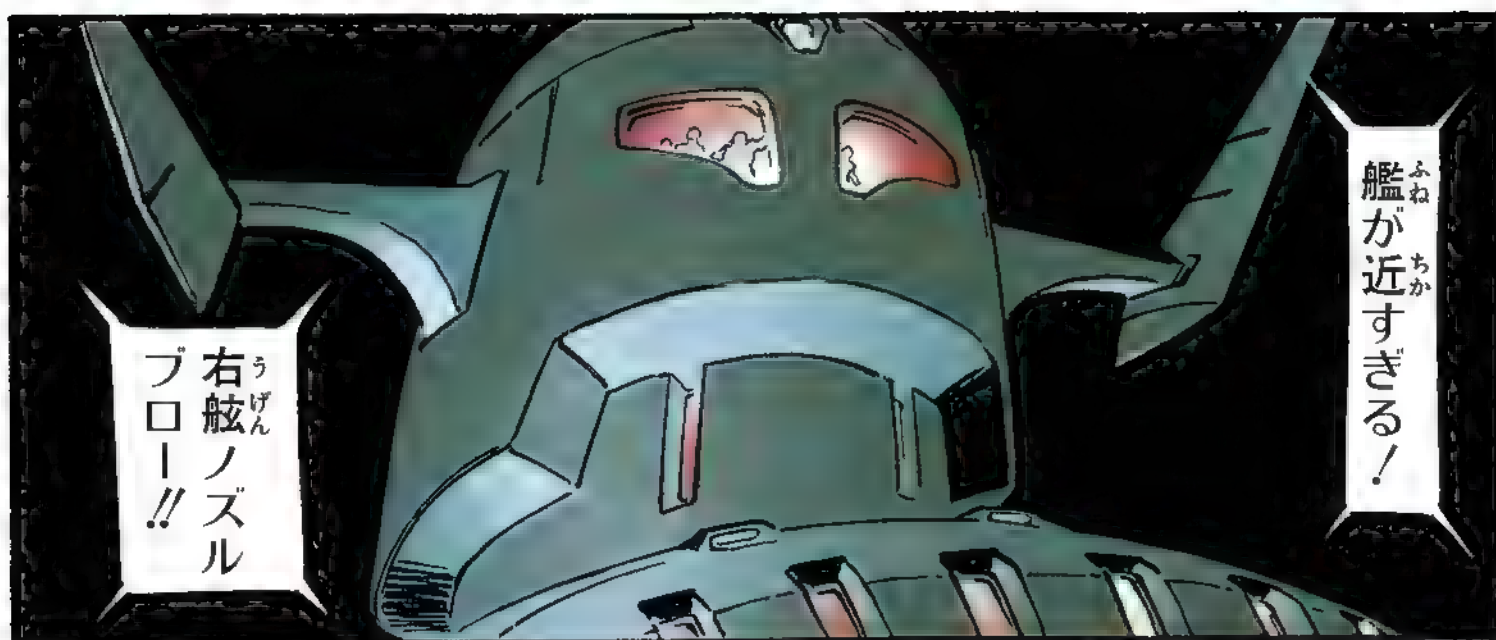


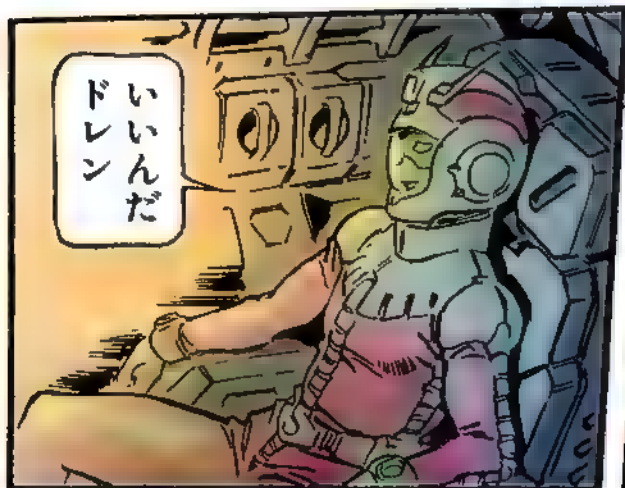
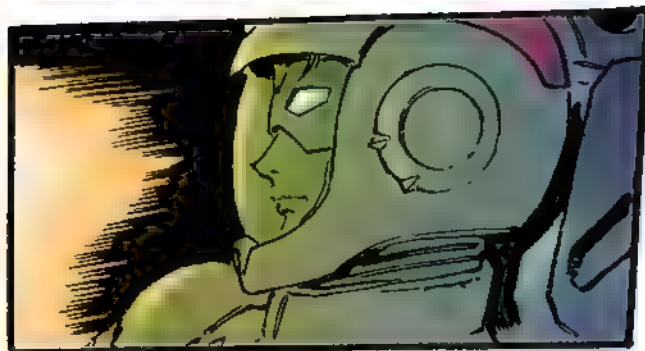
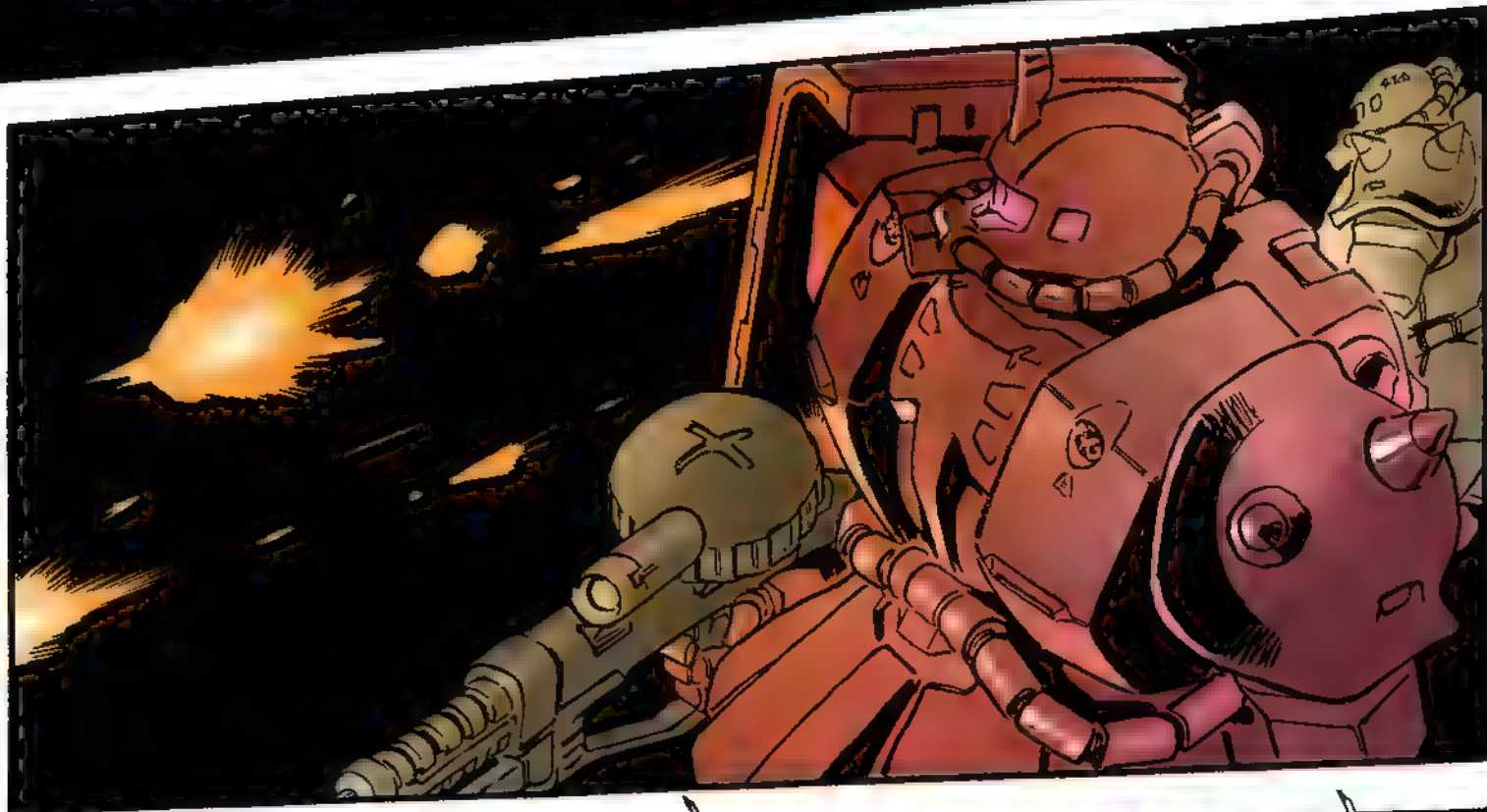
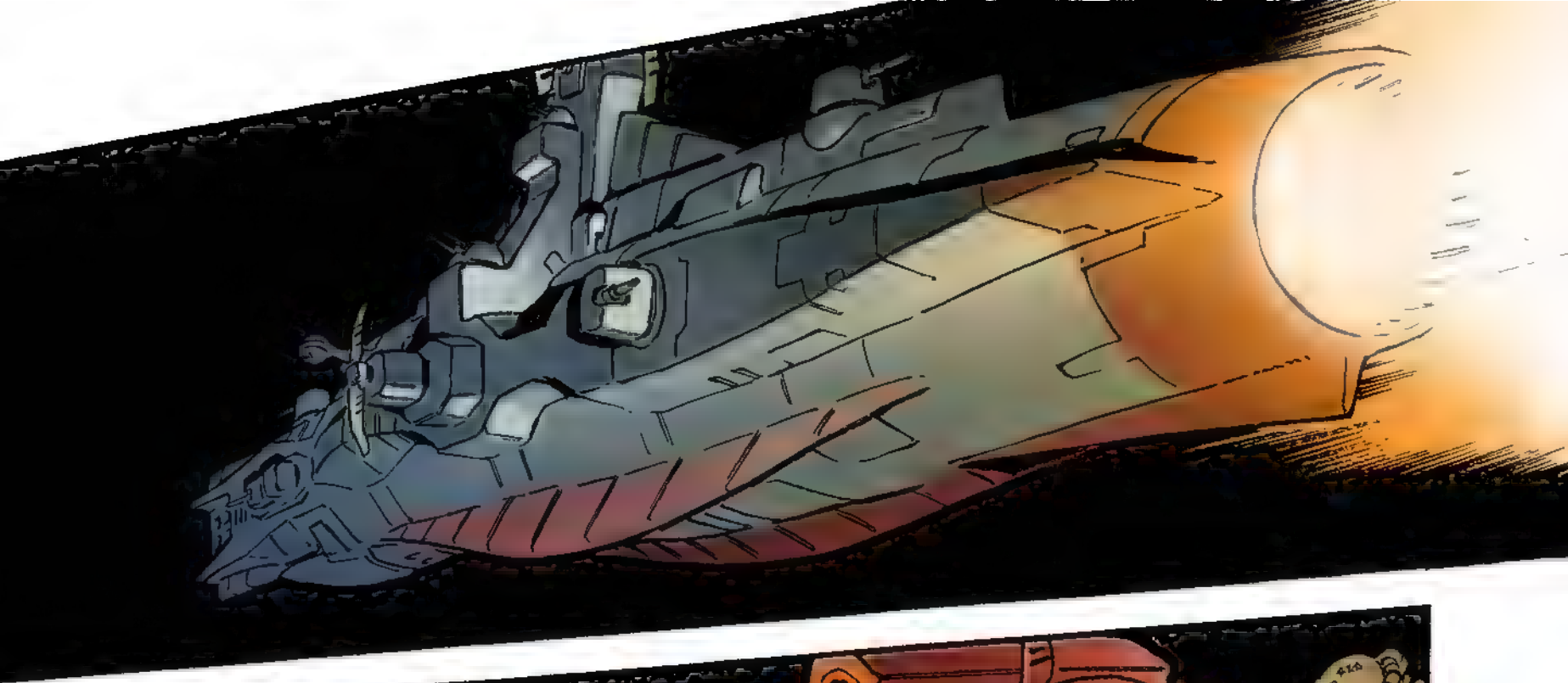








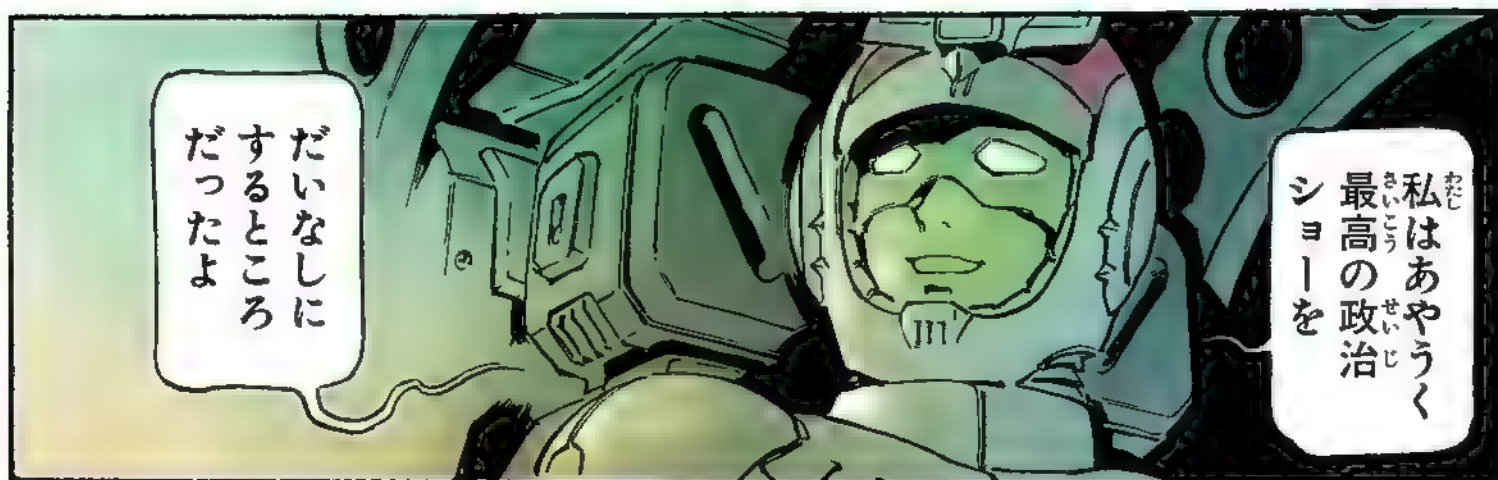
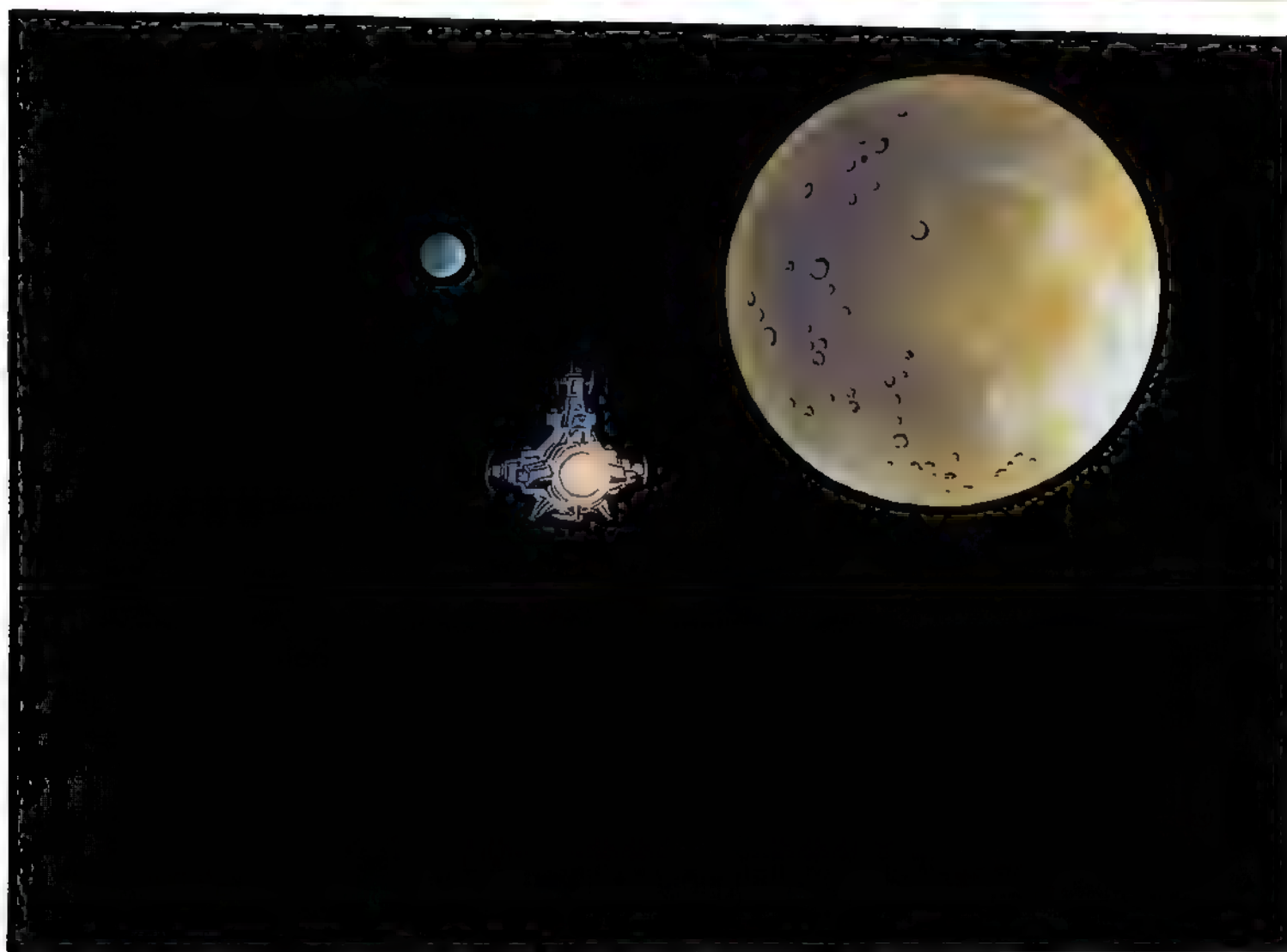
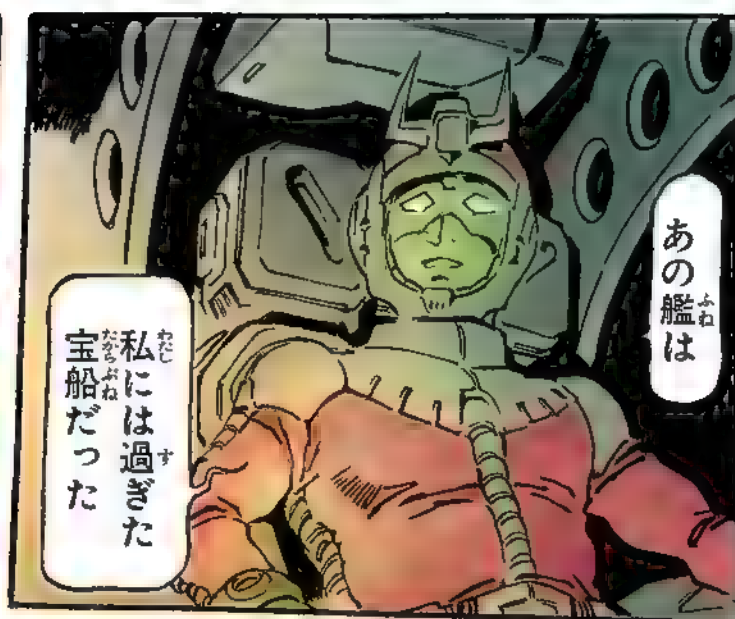
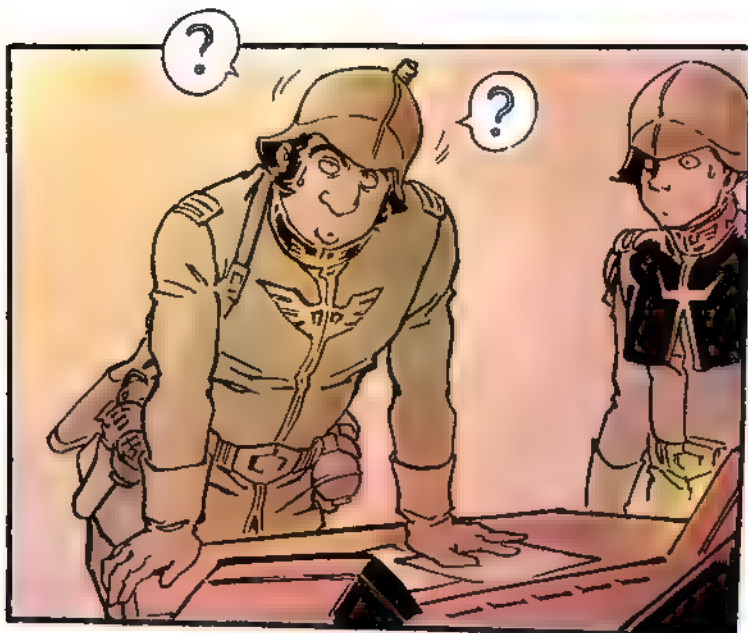




領空域侵犯の艦を
みすみす見逃して
いいのでありますか!?

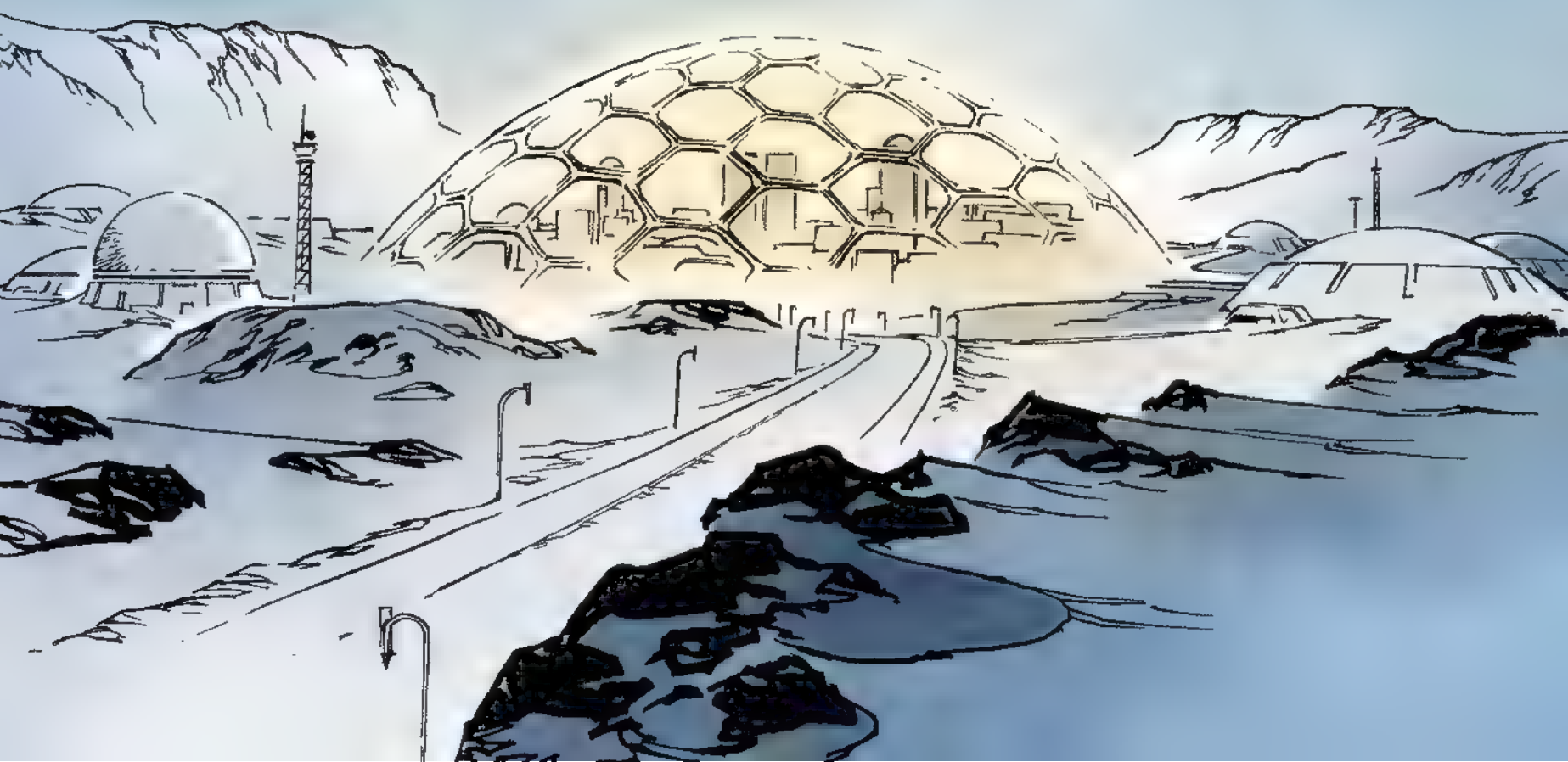
少佐殿!

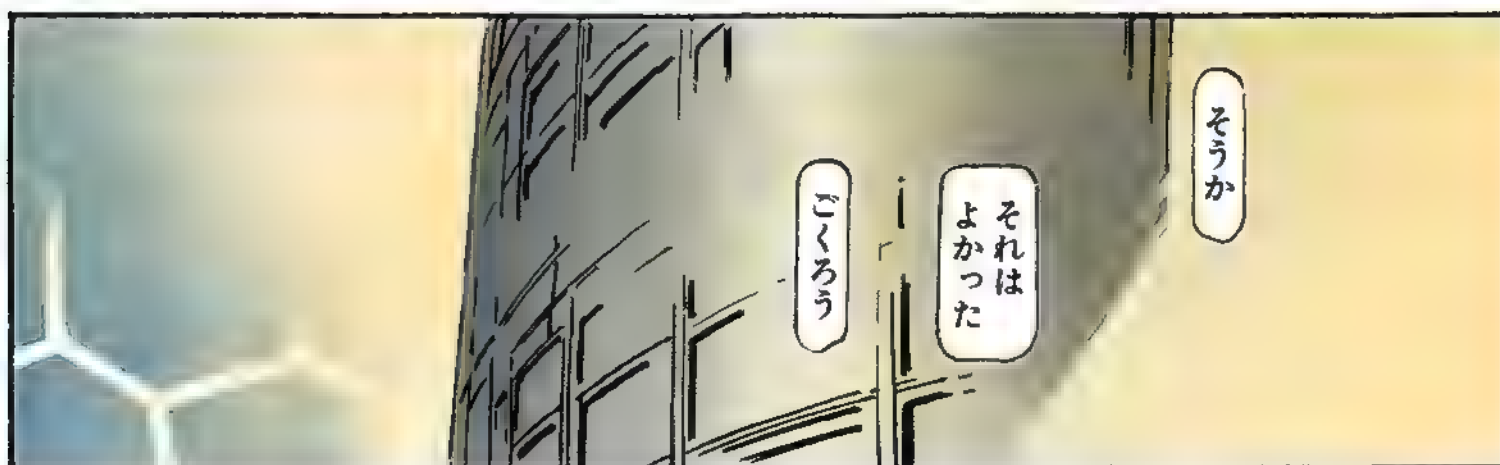
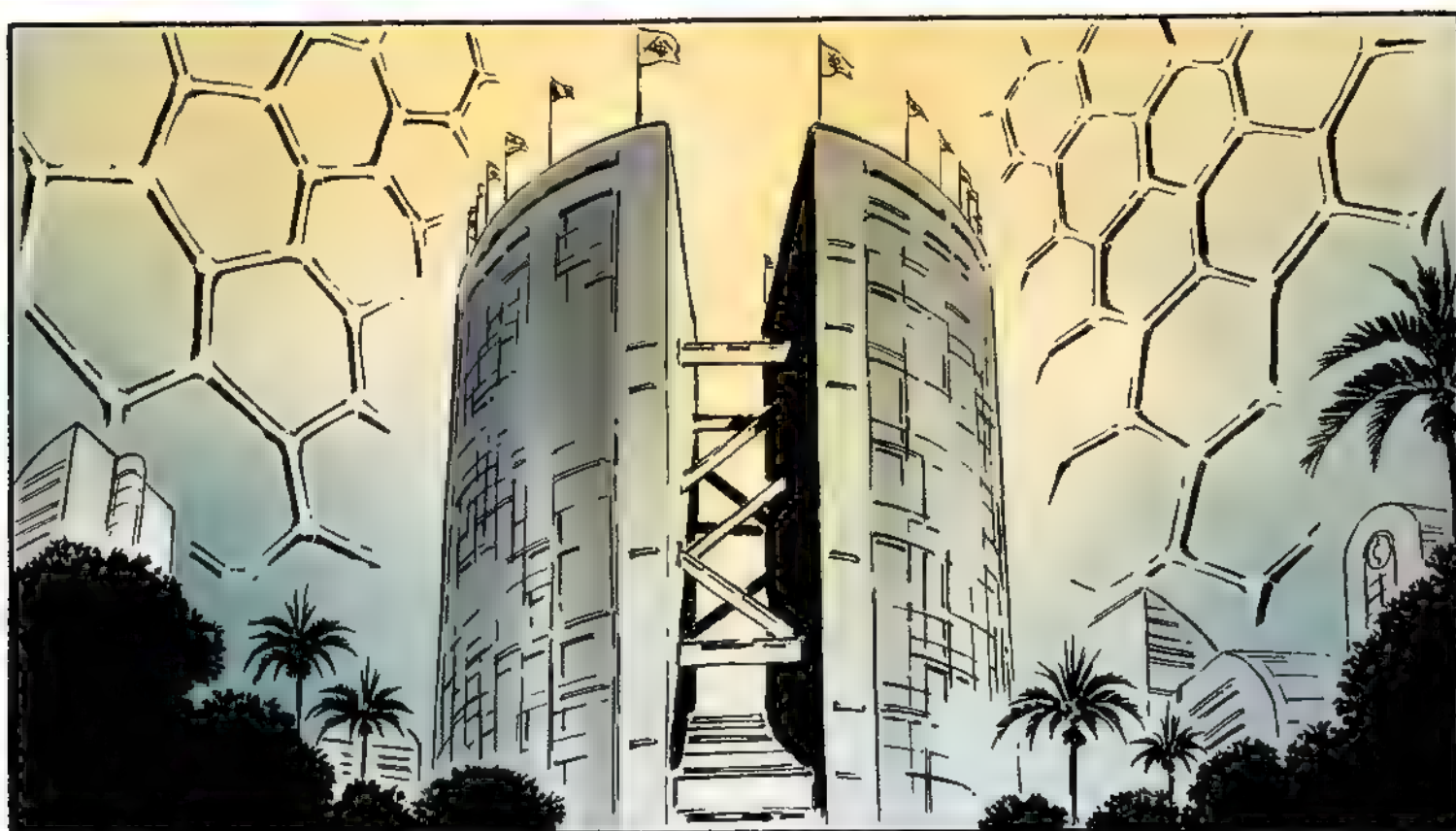
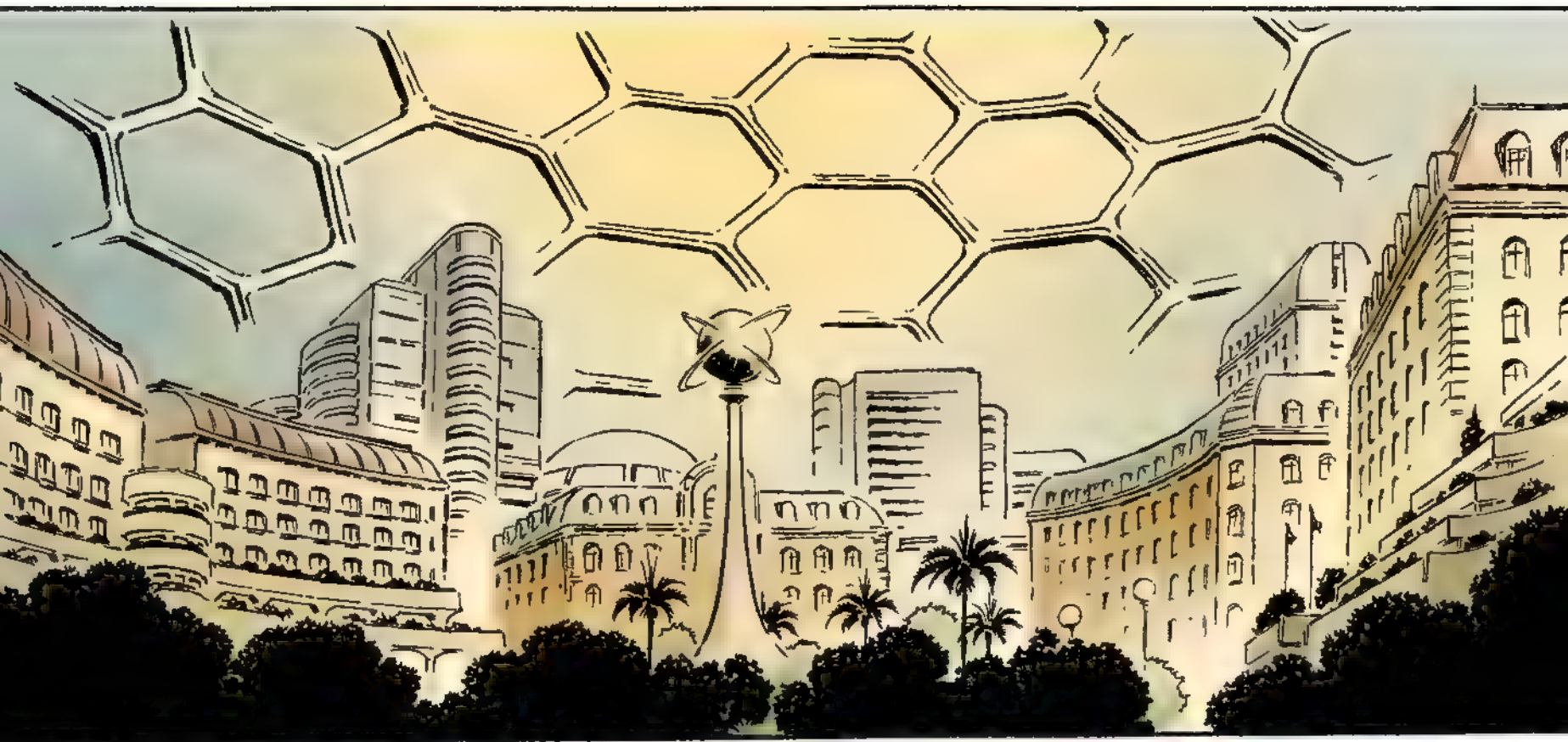
いいんだ
ドレン

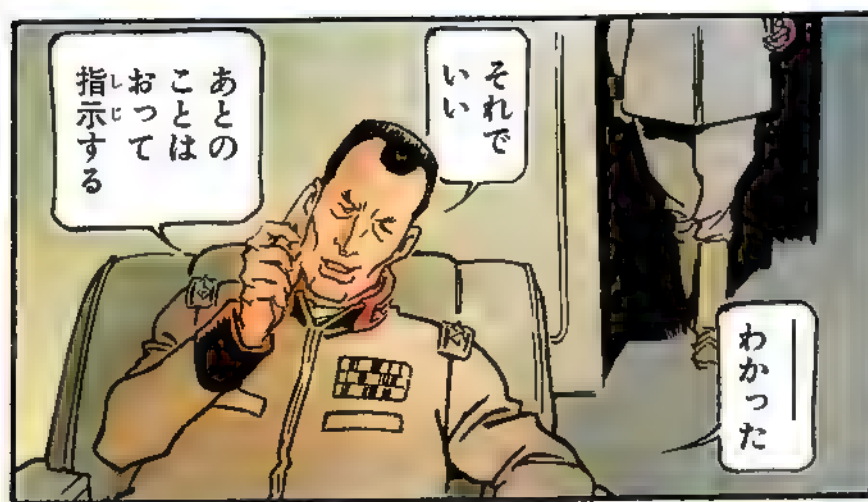
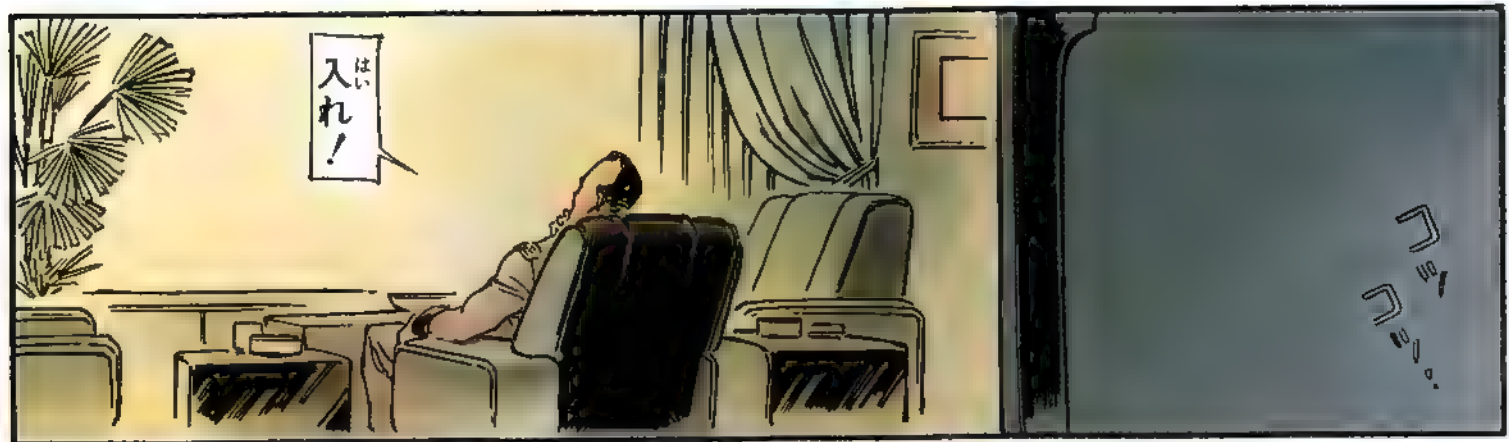


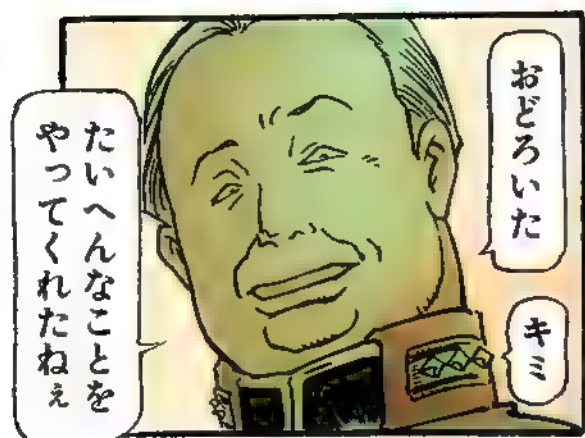
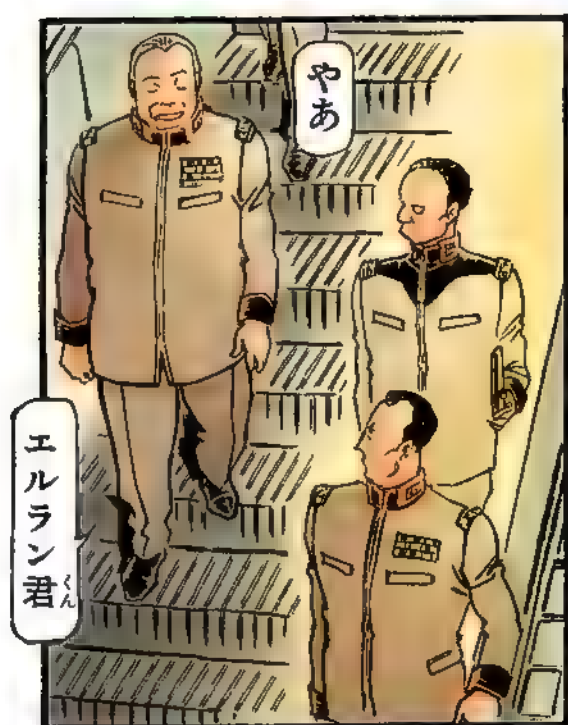
南極大陸

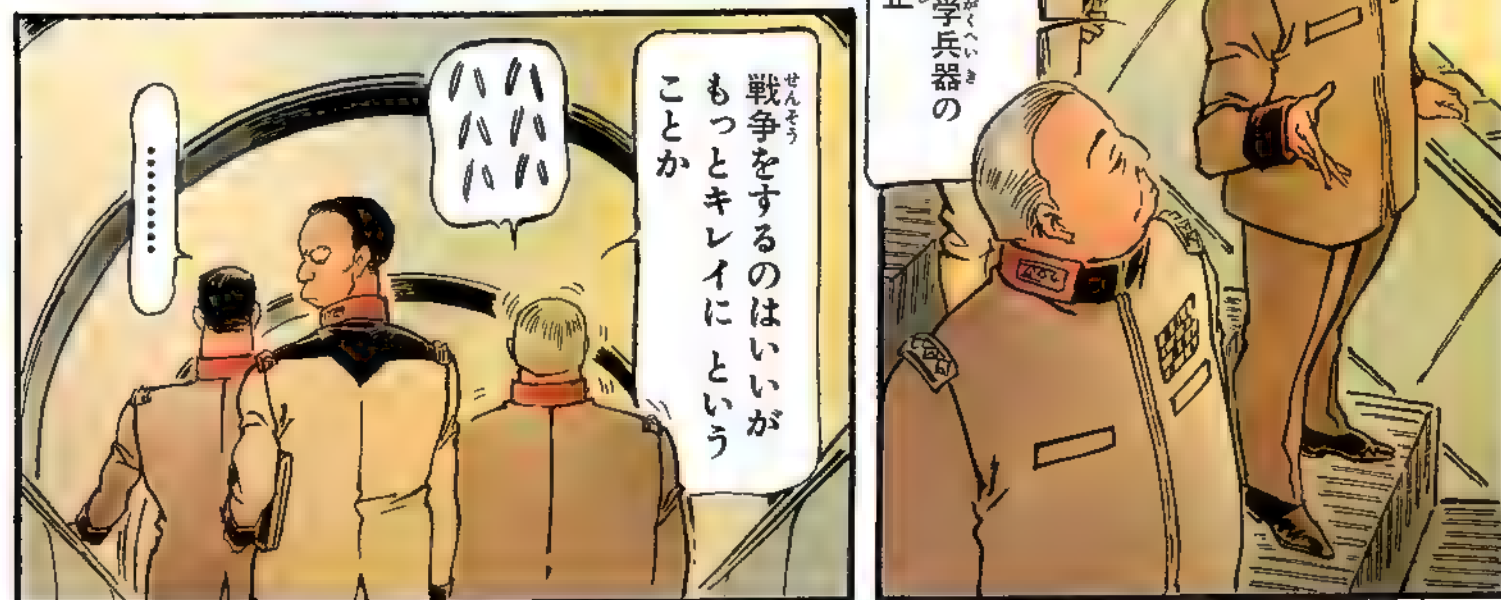
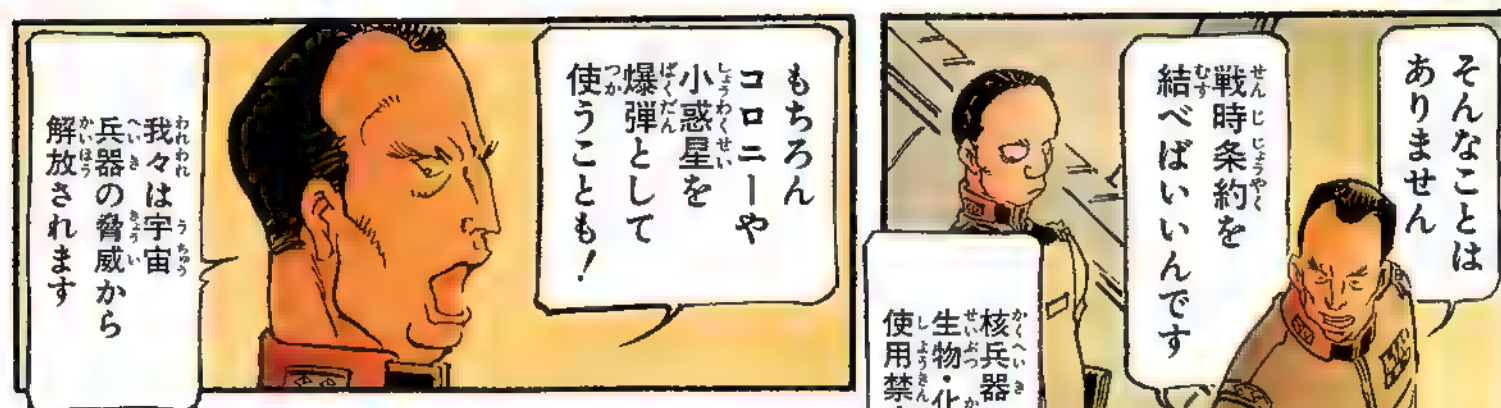
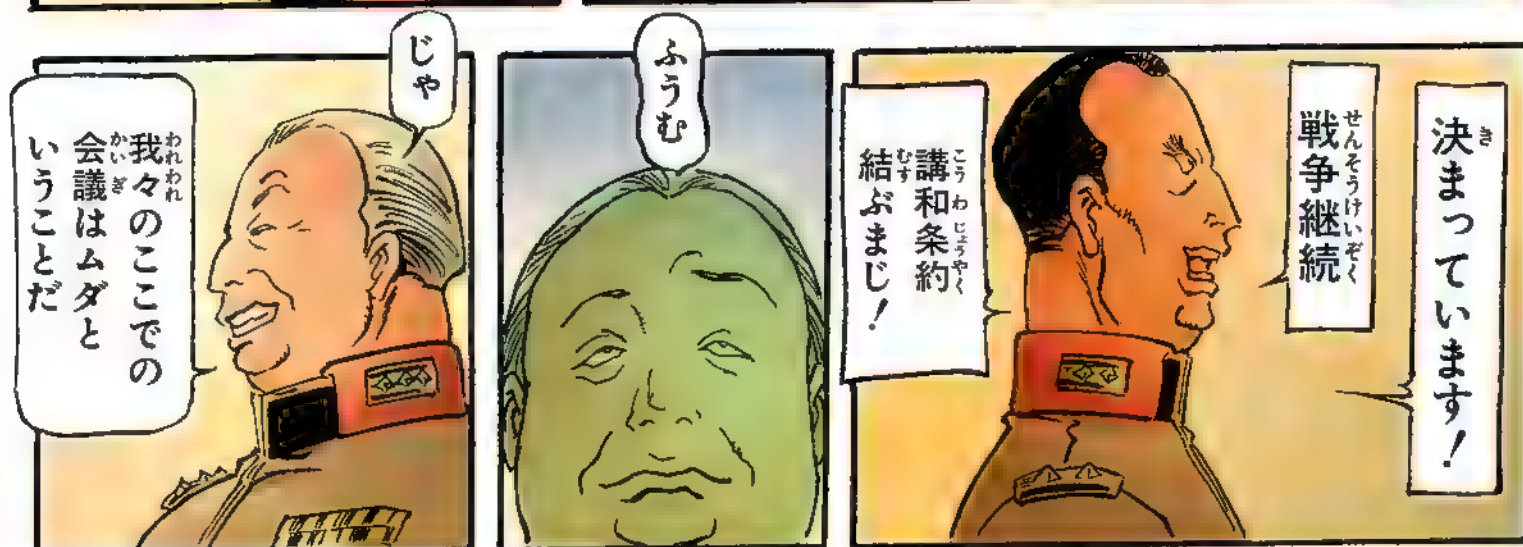
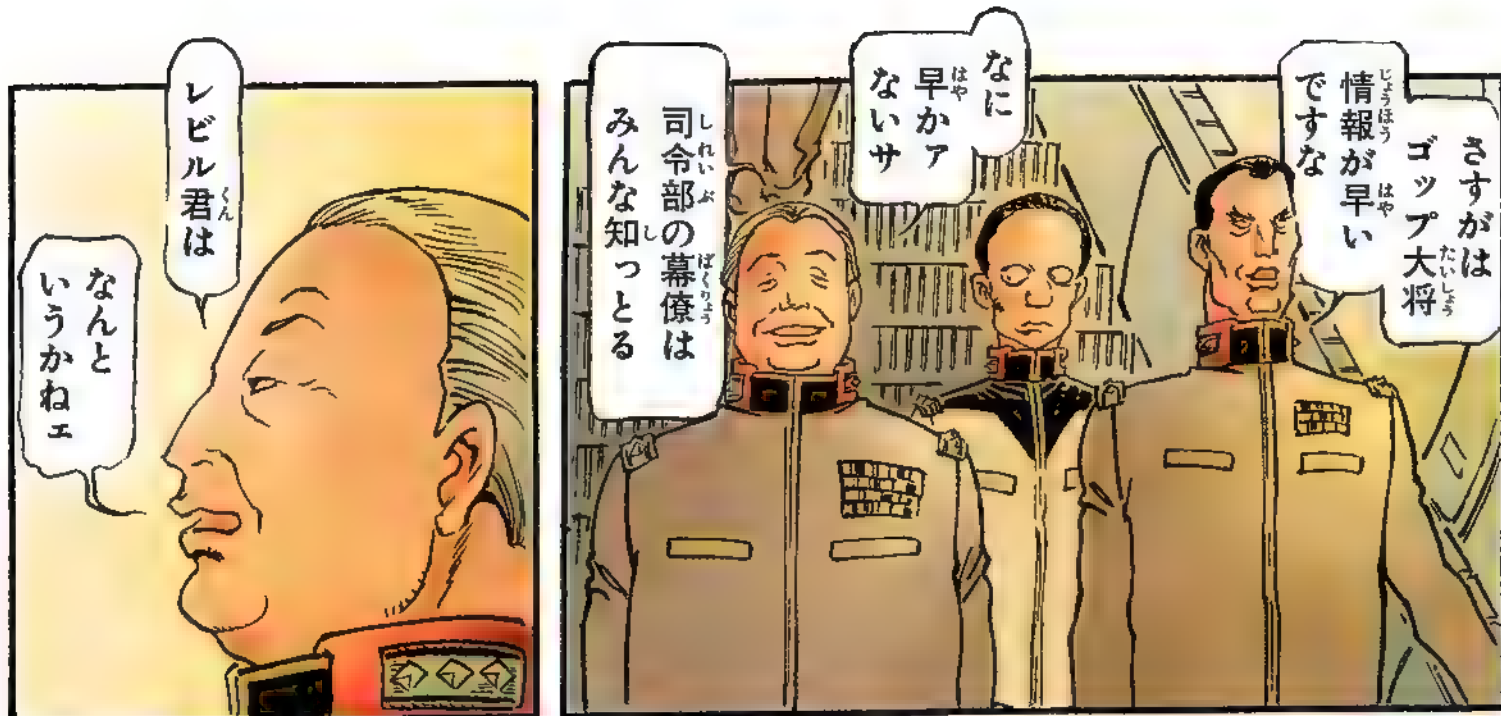
国際共同観測都市
スコット・シティ

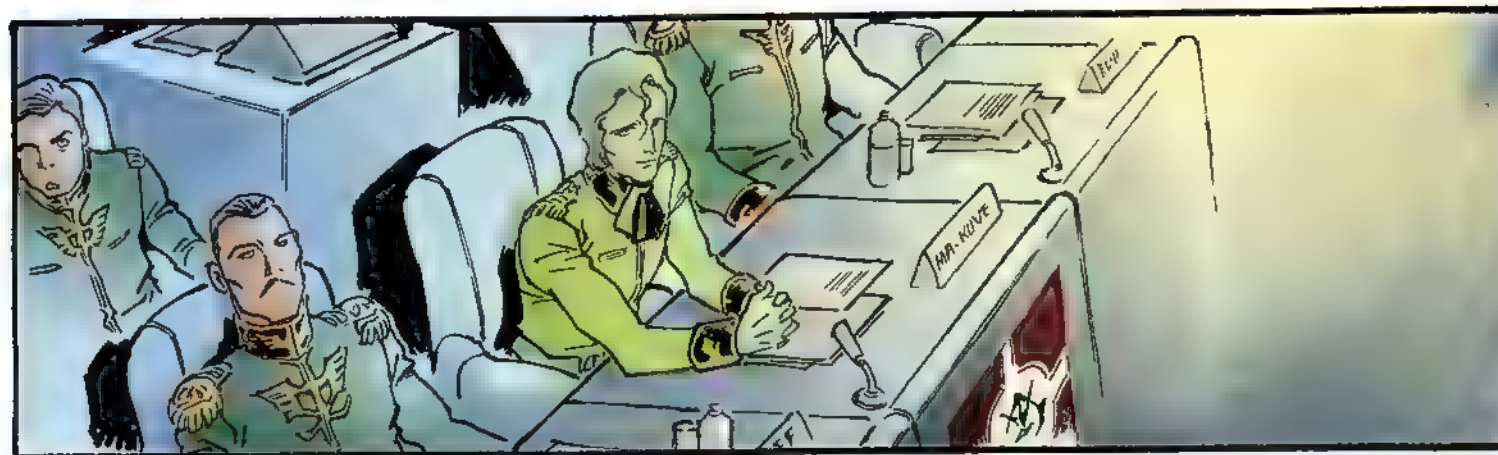
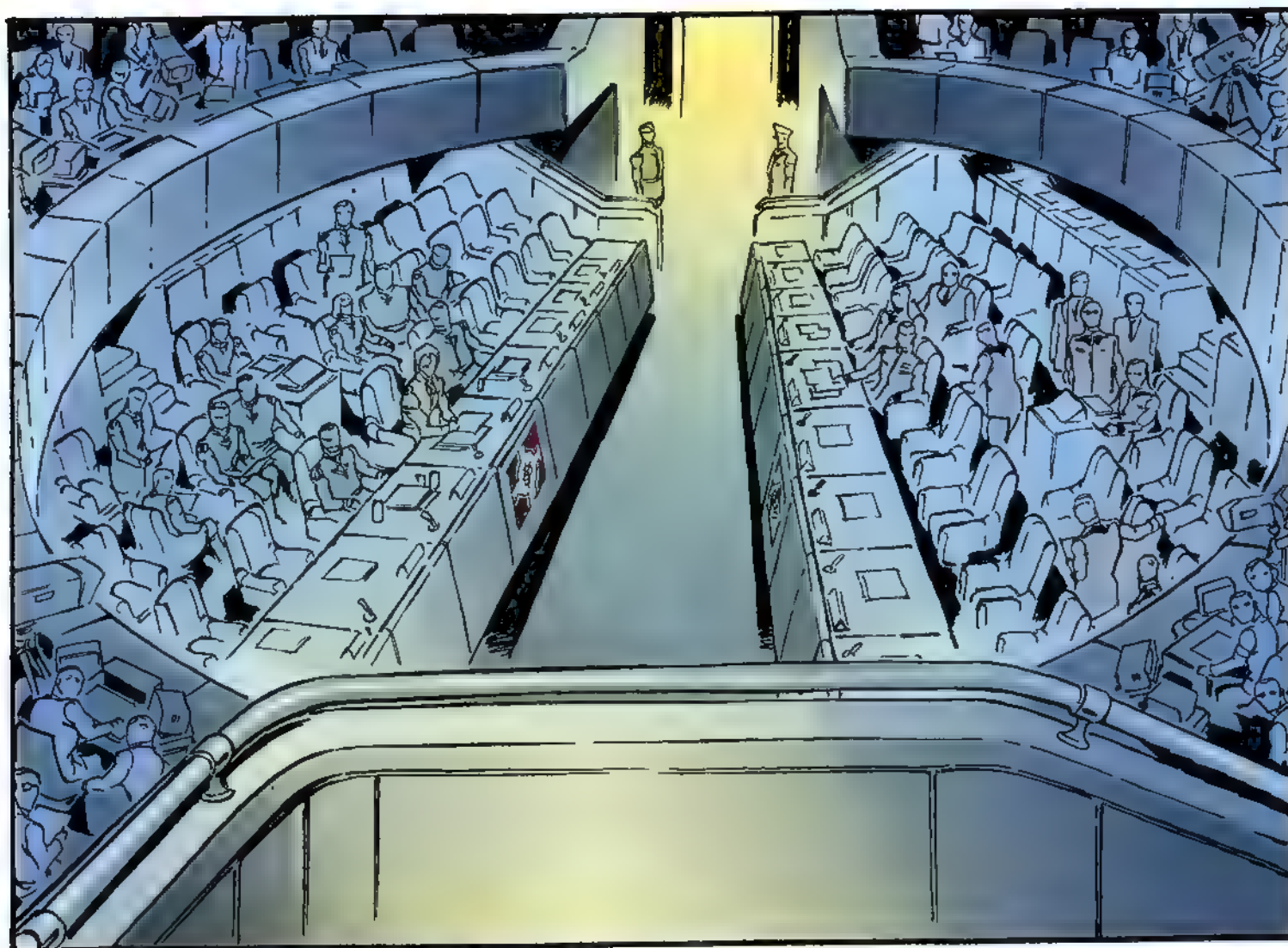
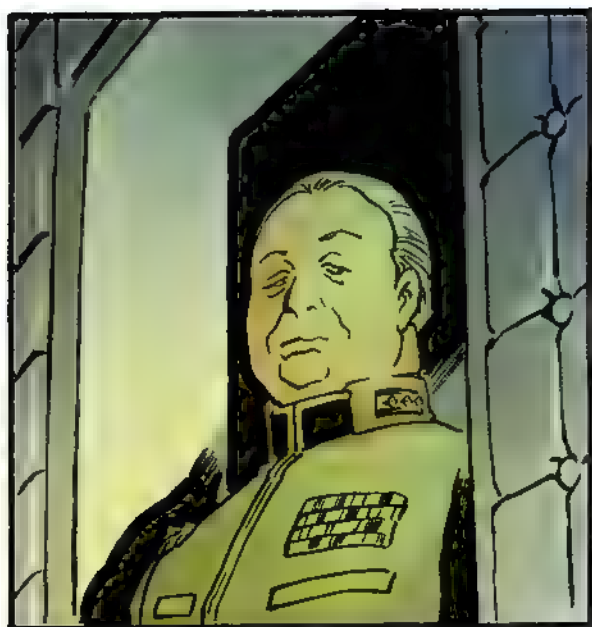


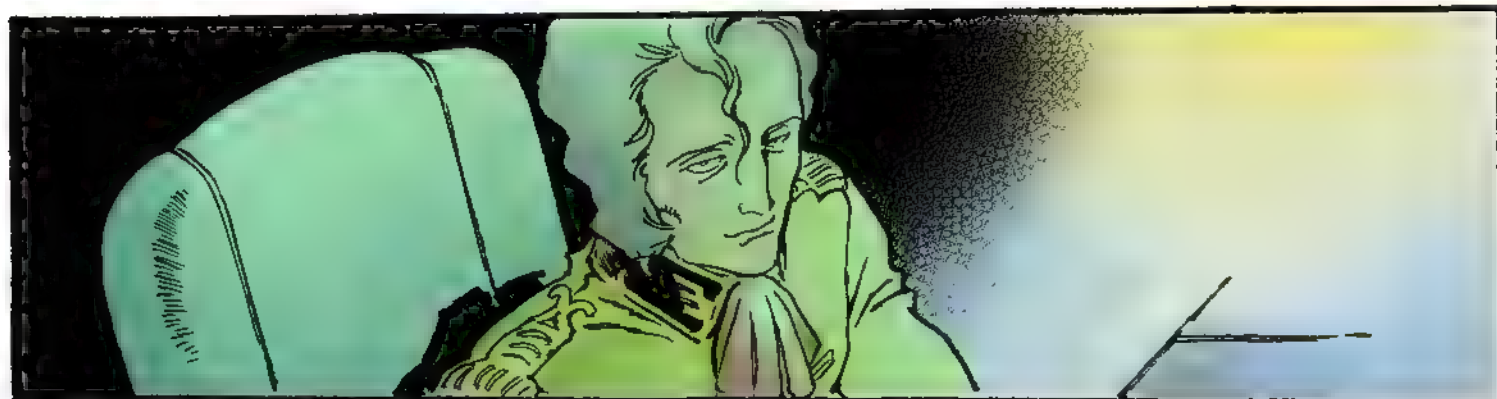
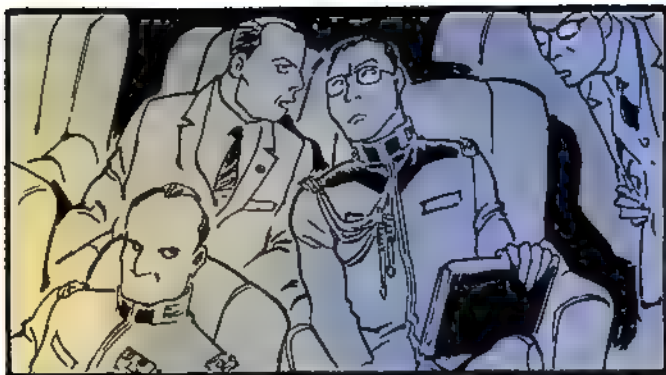




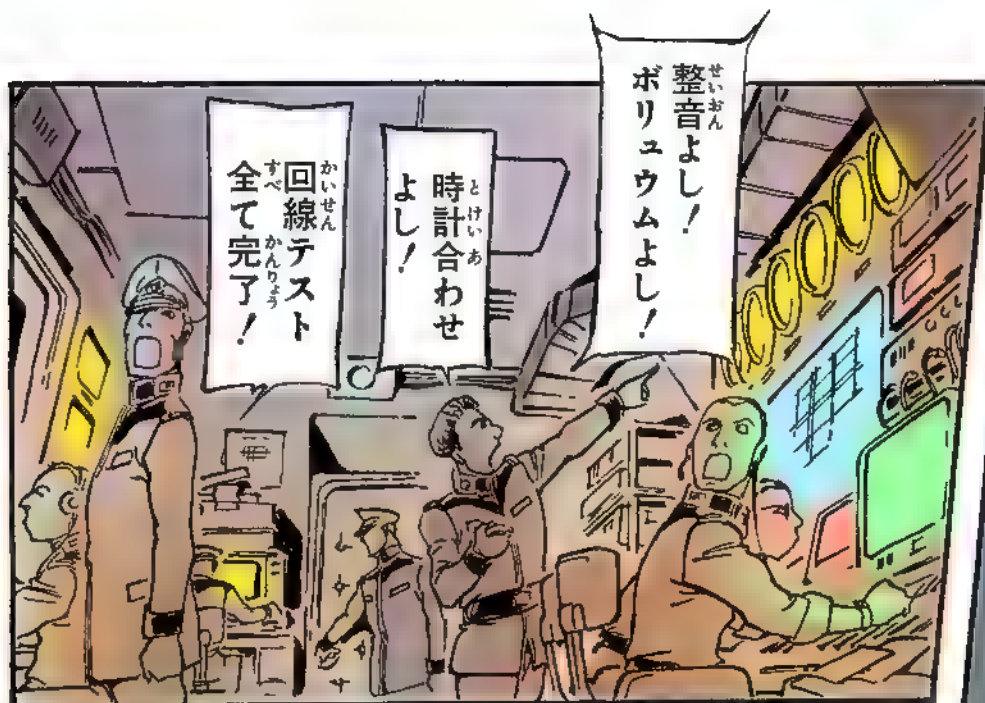








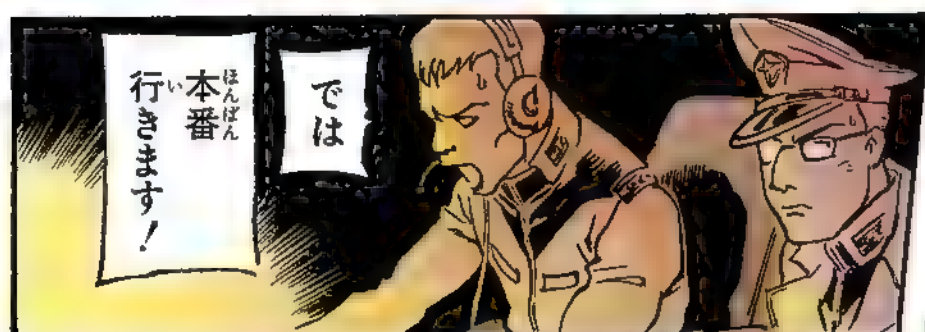
ルナツ



せいおん
整音よし！
ポリウムよし！

かいせん
回線テスト
すべて完了！

とけいあ
時計合わせ
よし！



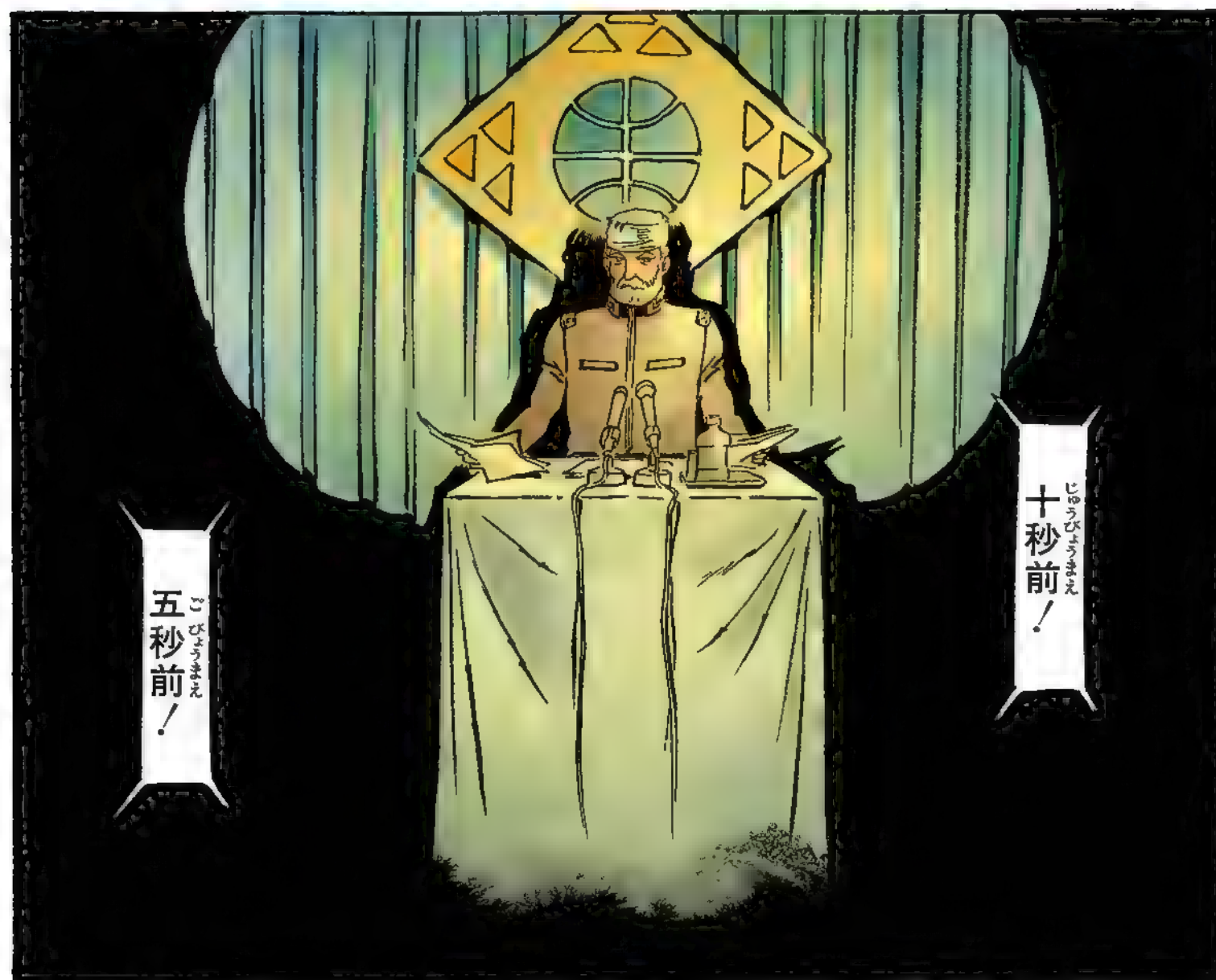
ほんばん
本番
いきます！

では



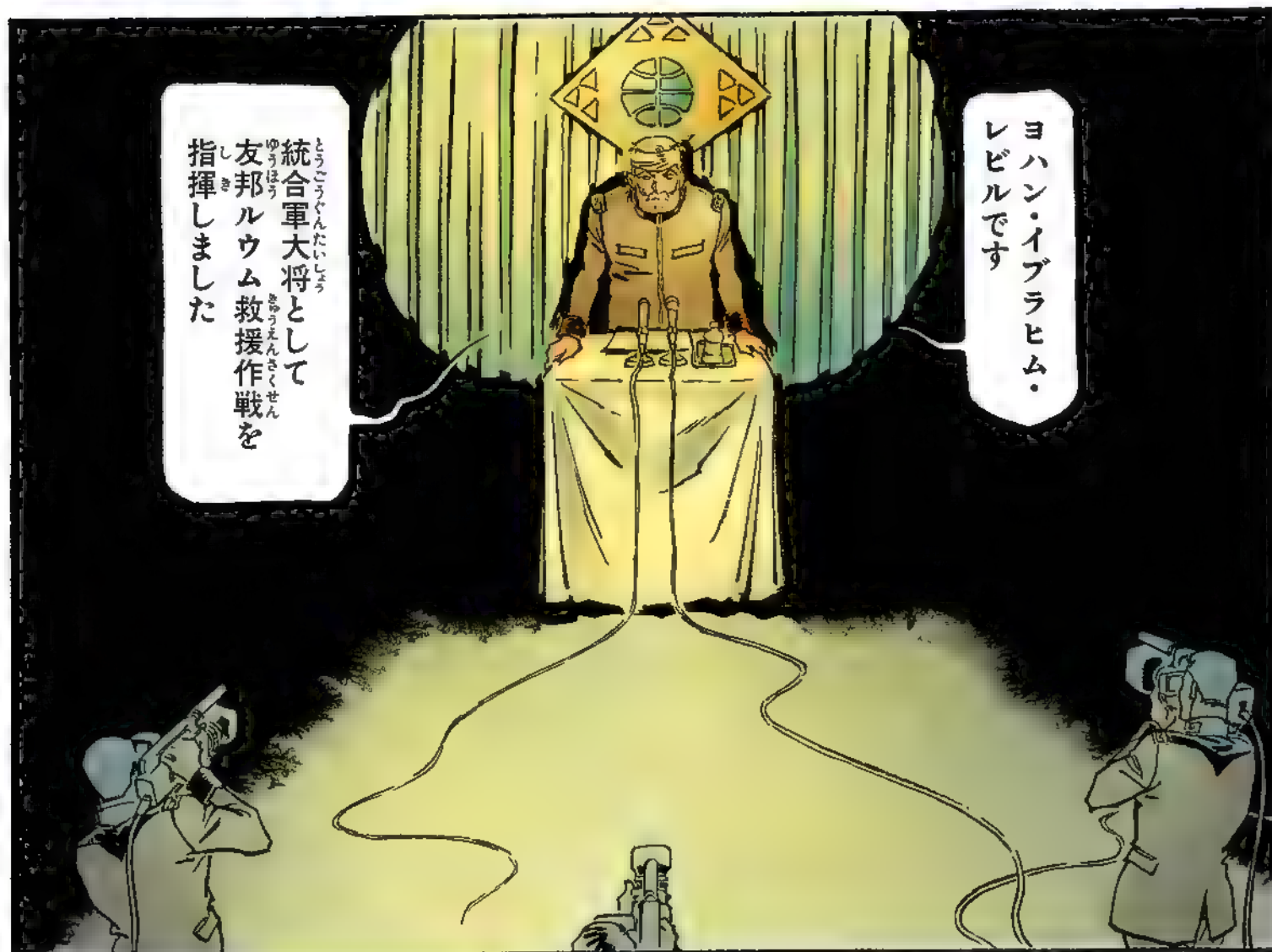
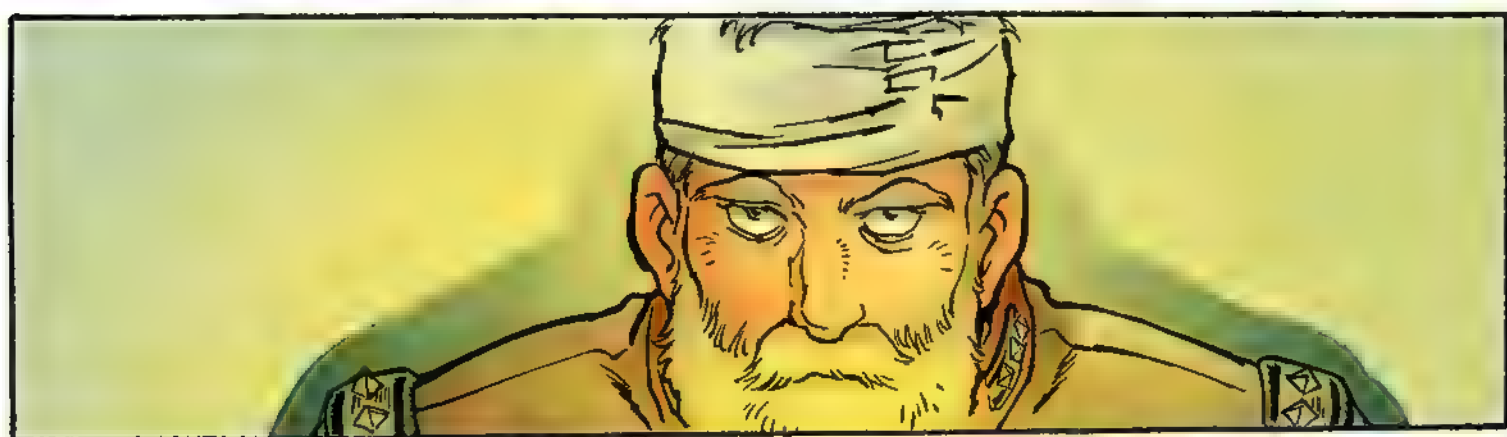
STUDIO

DON'T
ENTER



じゅうびやうまえ
十秒前！

ごびやうまえ
五秒前！



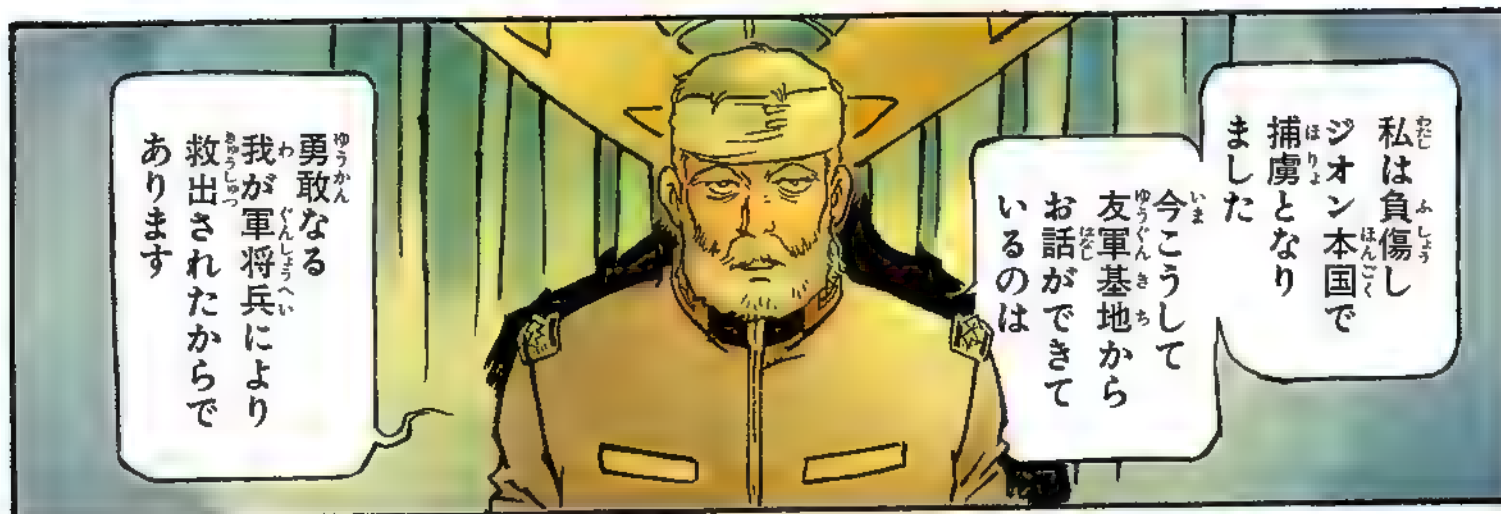


結果は

大敗で
ありました

司令官で
あった私の

作戦と戦闘
指揮が原因で
あります



私は負傷し
ジョン本国で
捕虜となり
ました

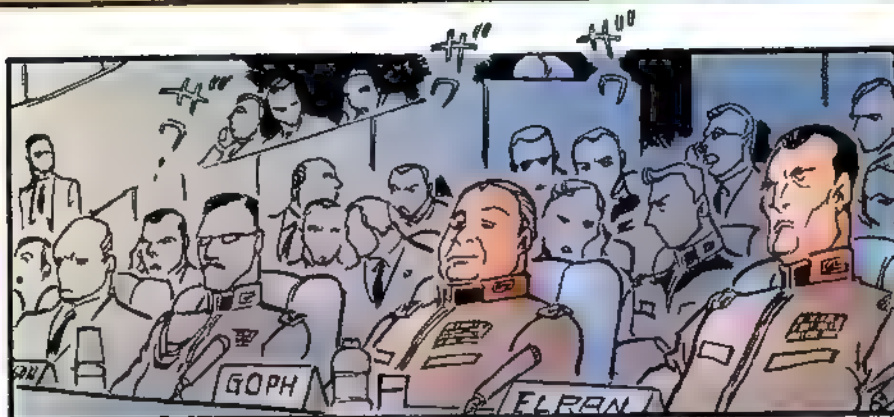
今こうして
友軍基地から
お話ができて
いるのは

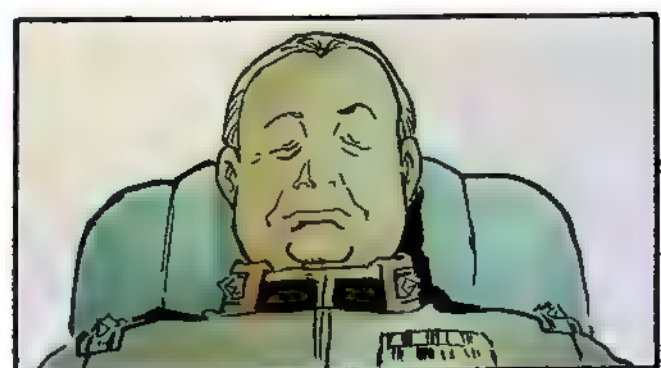
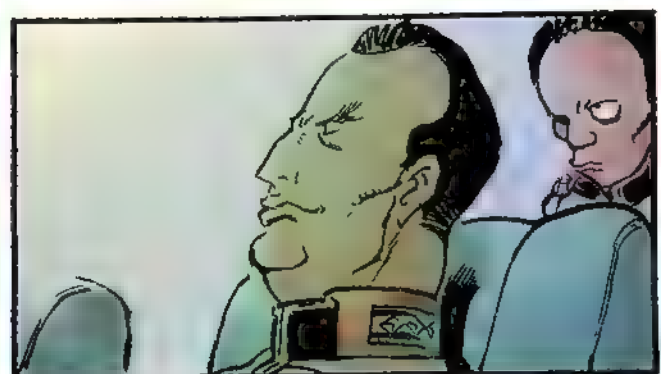
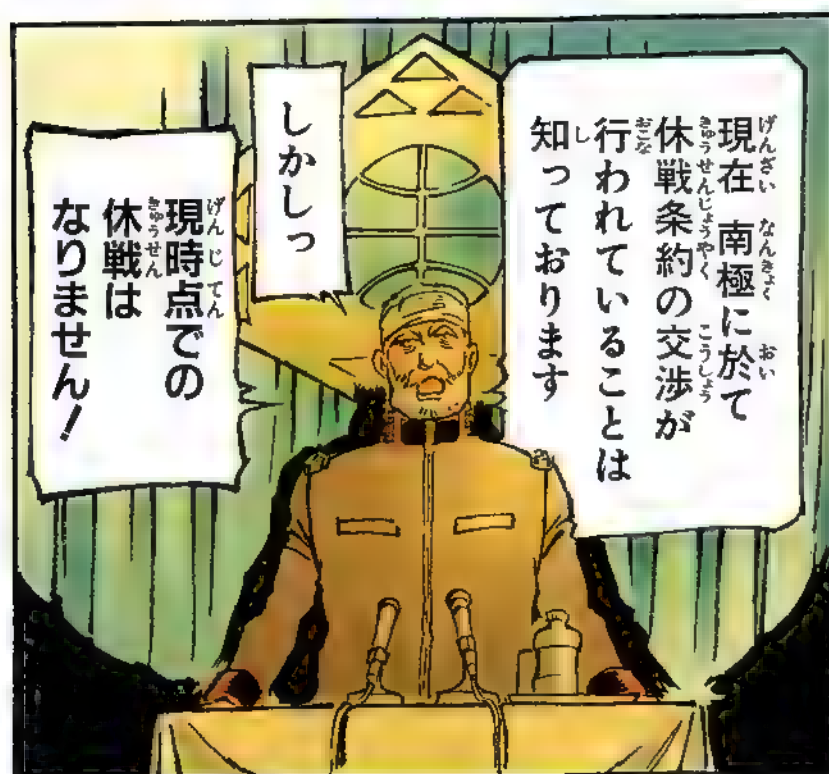
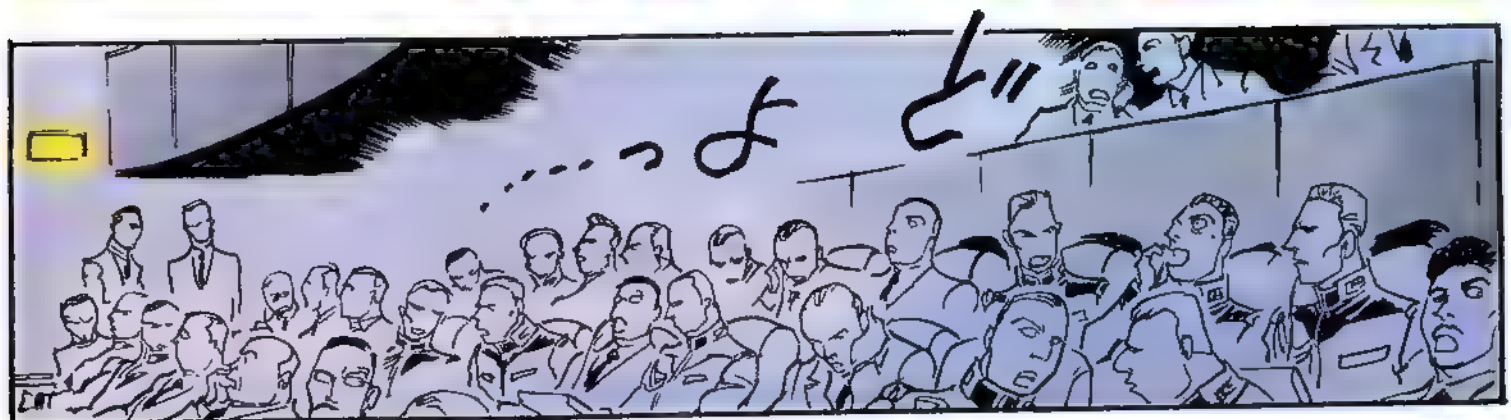
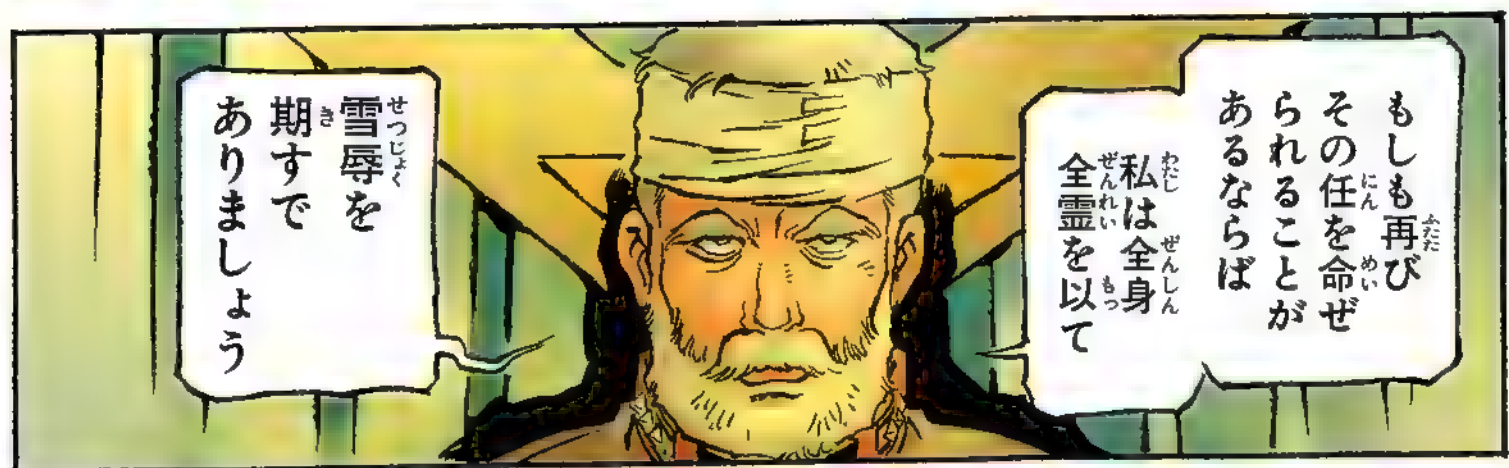
勇敢なる
我が軍将兵により
救出されたからで
あります

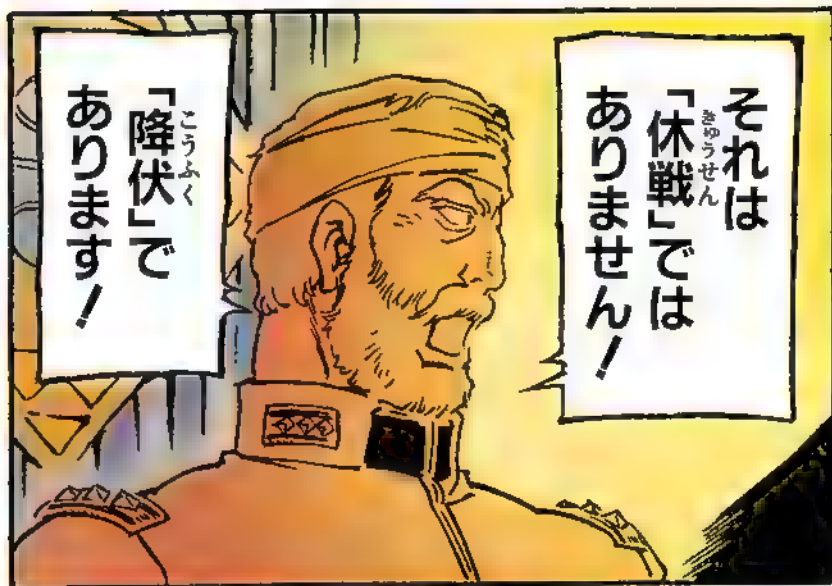


数十万の将兵と
多数の艦艇を
失いました

責任は全て
この私にあります







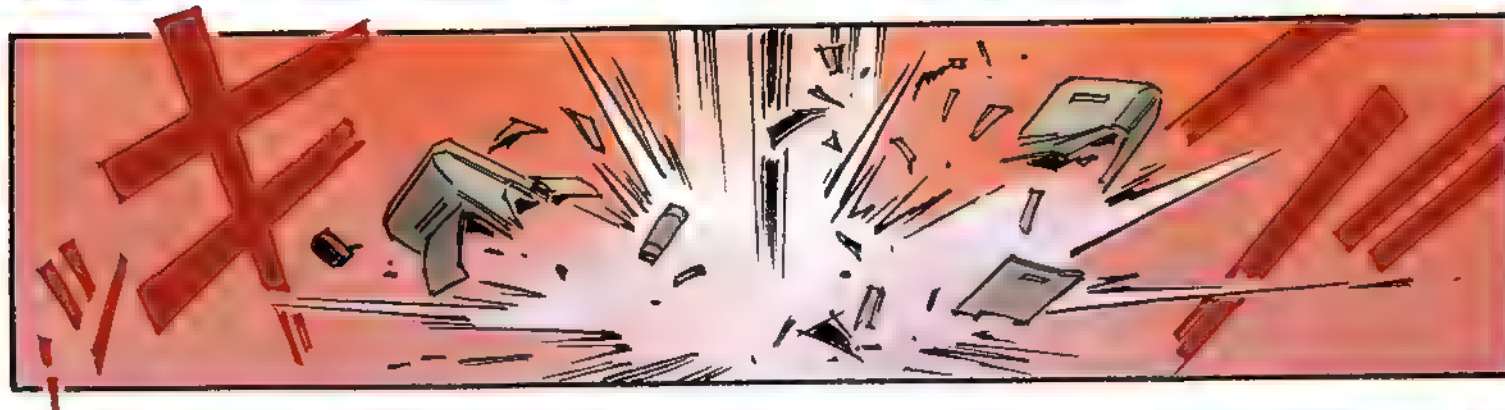
それは
「休戦」では
ありません！

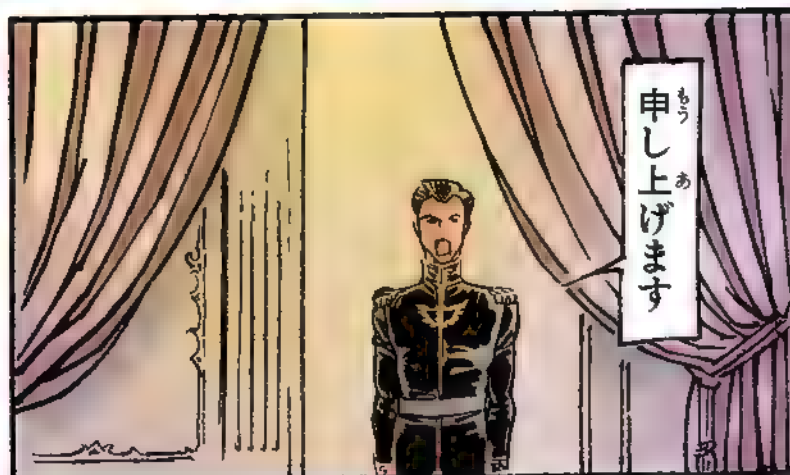
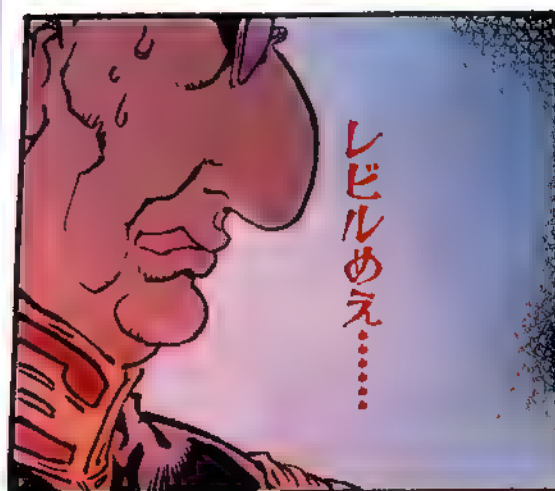
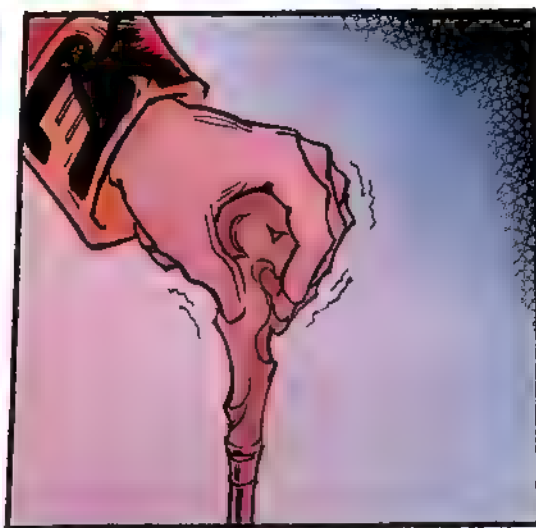
「降伏」で
あります！

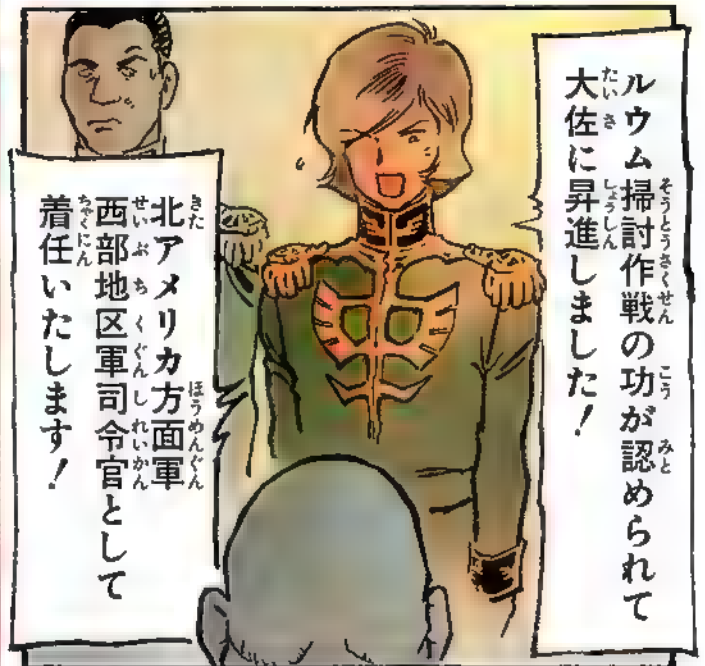
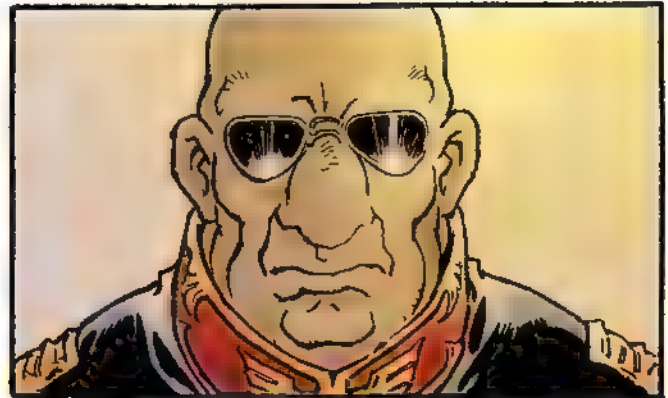
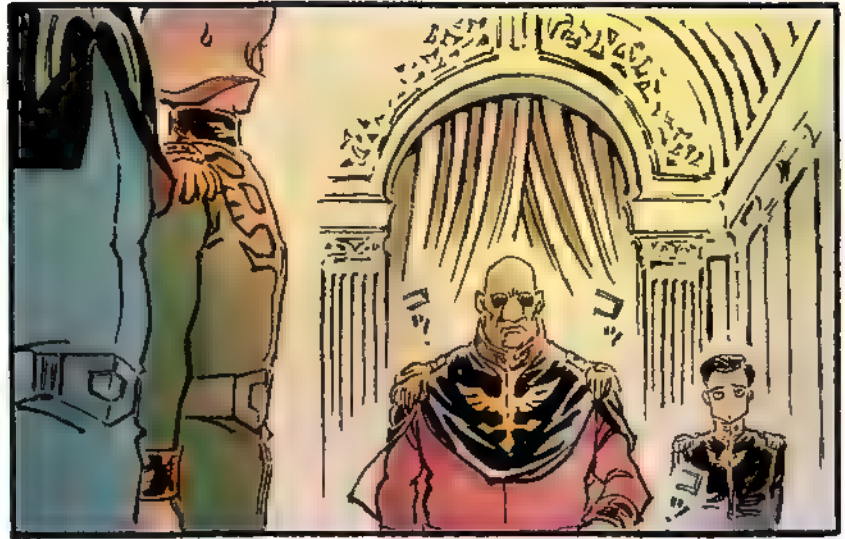


なが
永き歴史と
ぶんか
文化・文明を
ゆう
有するこの
ちきゅう
地球市民が

せんせい
専制と
どくさい
独裁に
くつ
屈すると
いうことで
あります！！





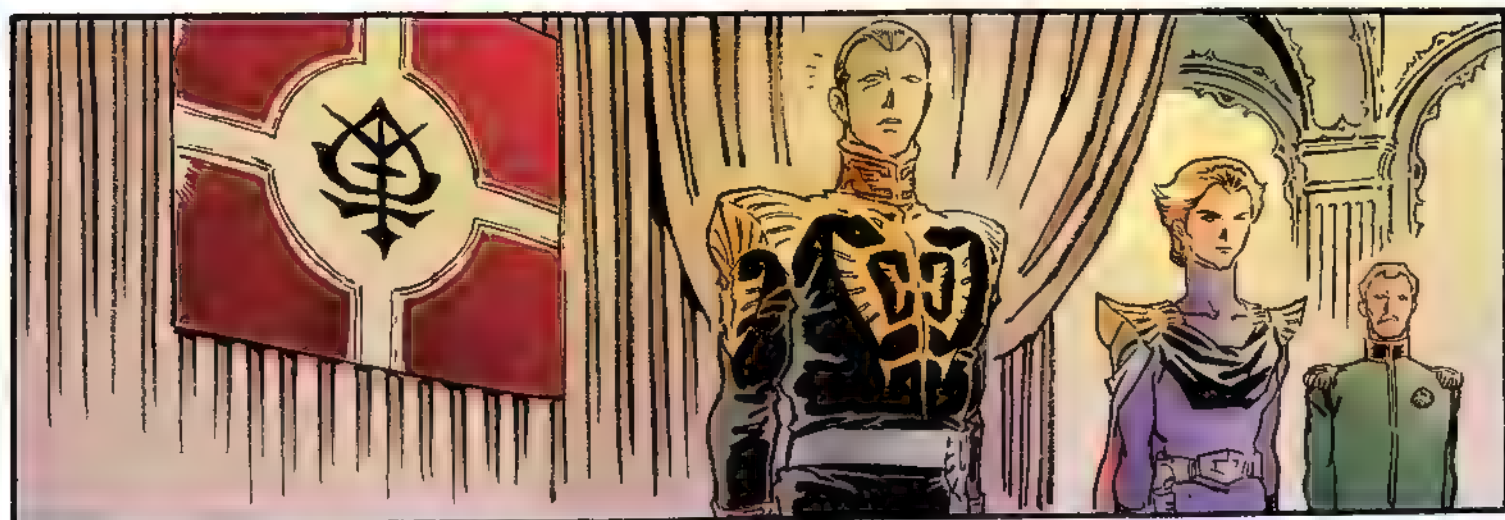
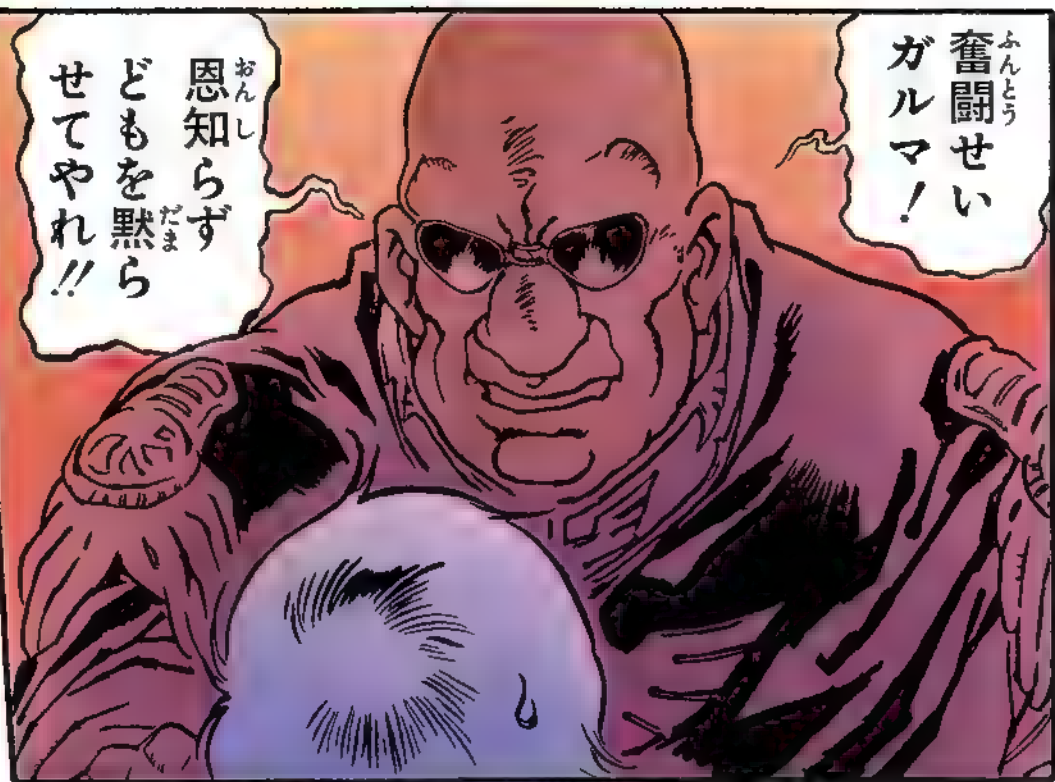
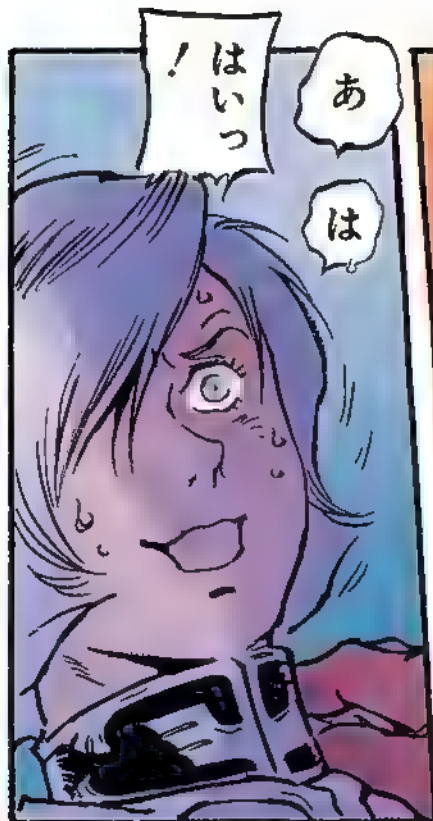


奮闘せい
ガルマ!

恩知らず
どもを黙ら
せてやれ!!

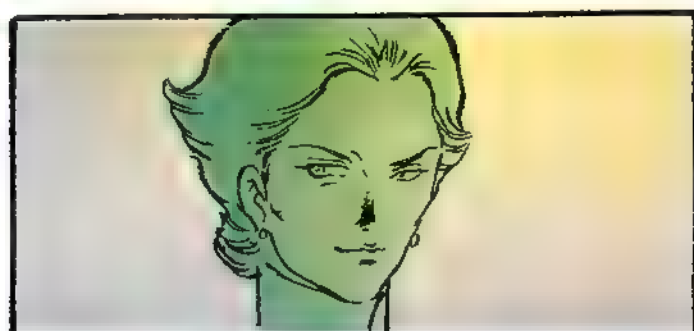
あ
は

はいっ



二度と戦争なぞ
したいと思わなく
なるほどに

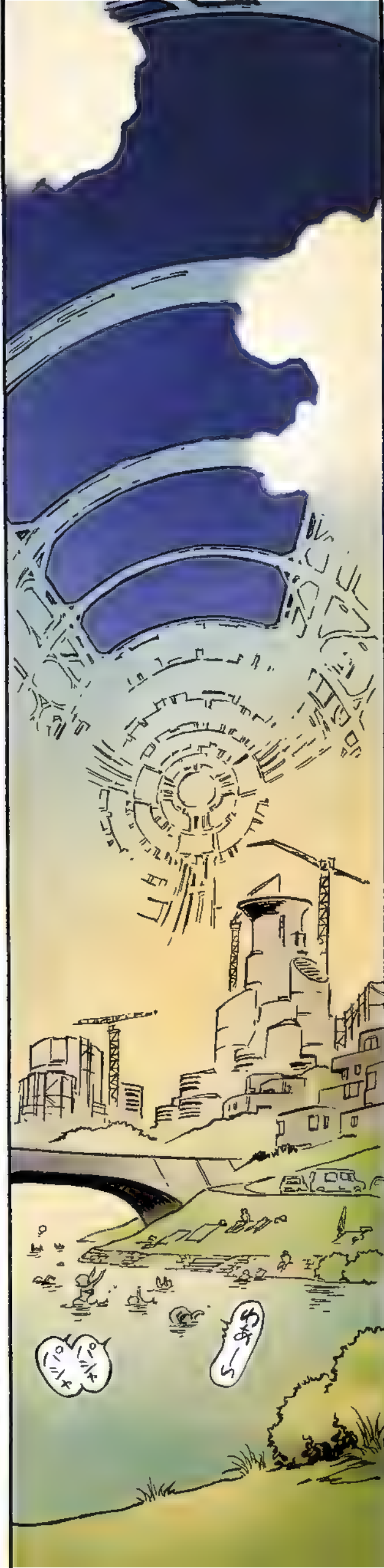
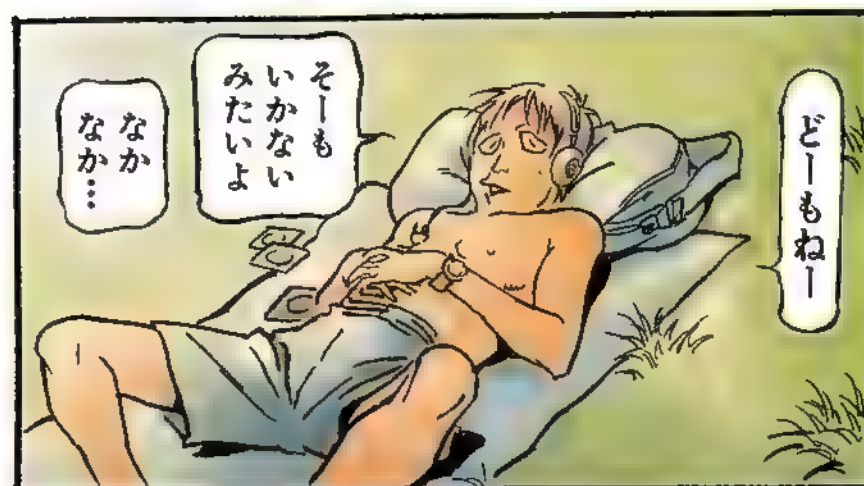
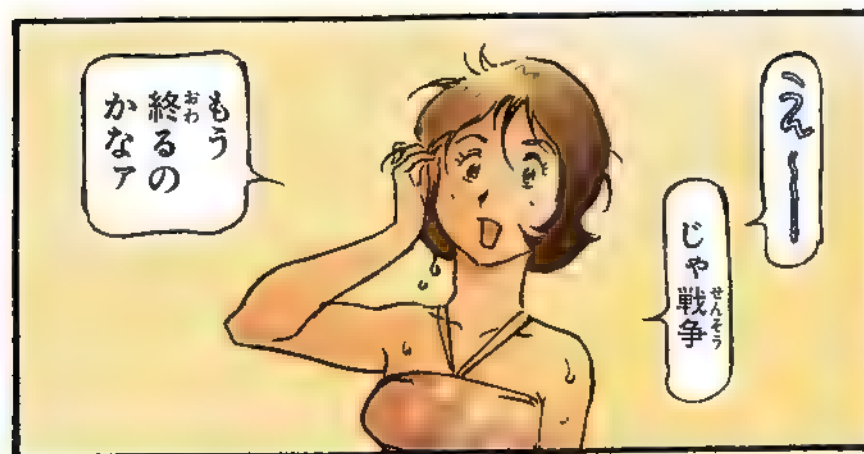
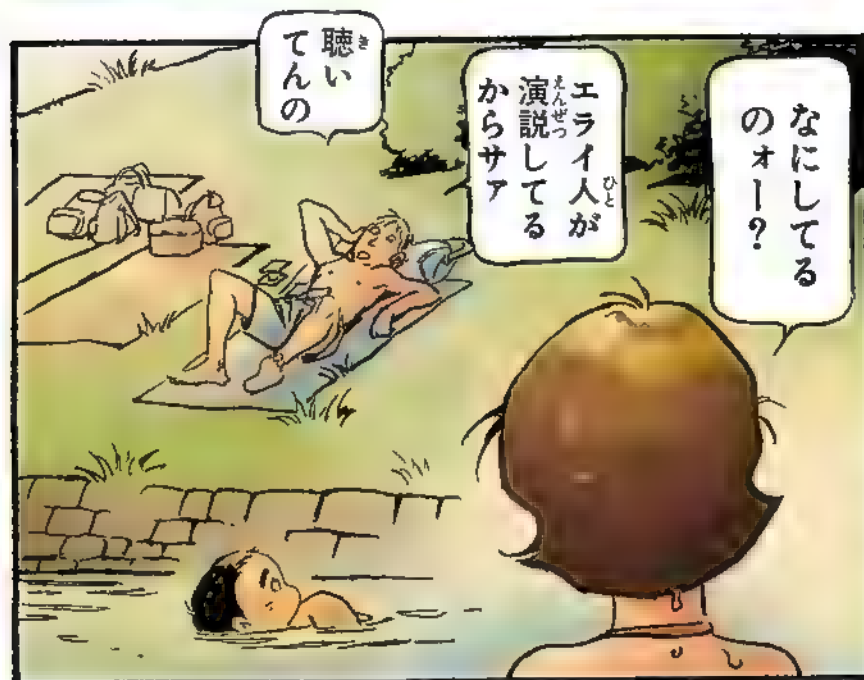
徹底的に
叩きのめす
のだ!!



認めようと
していない!

好戦的な
地球人達は
まだ己れの
敗北を







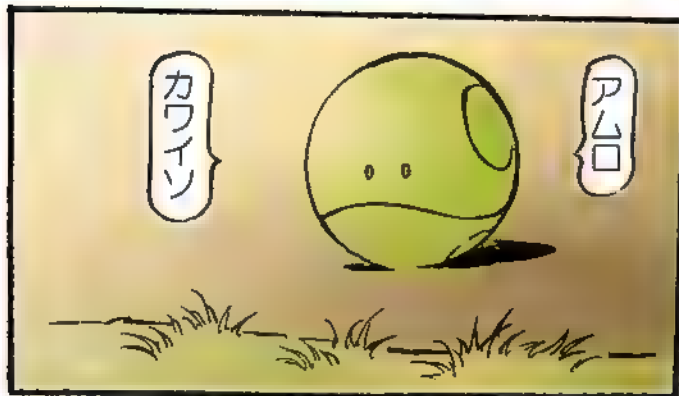
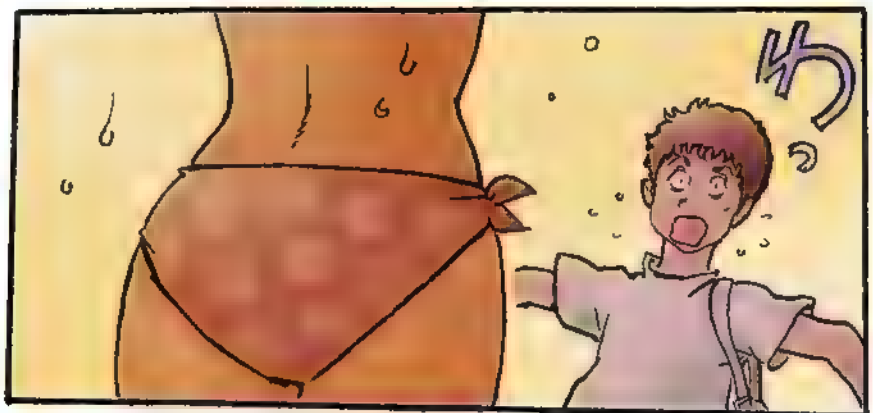
そんなに
暗く
ボーッと
してちゃ
ダメ!



アムロ!

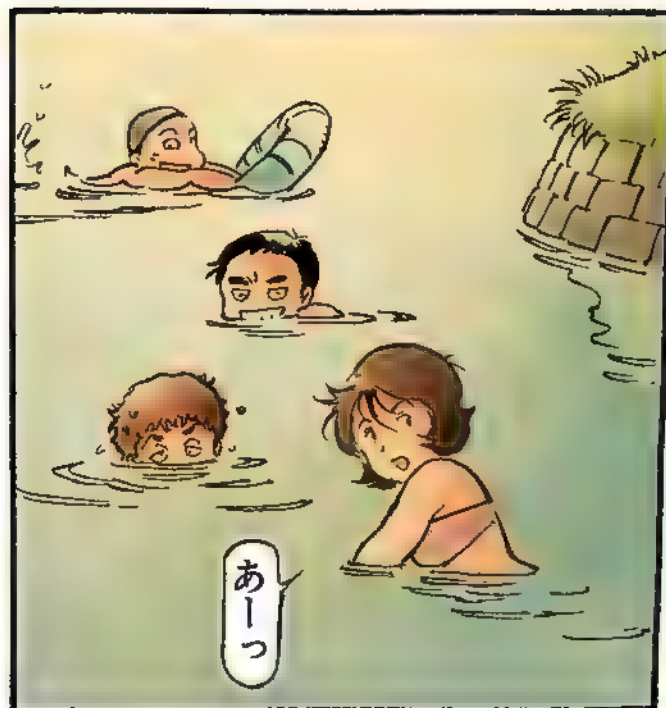


あ
アムロ

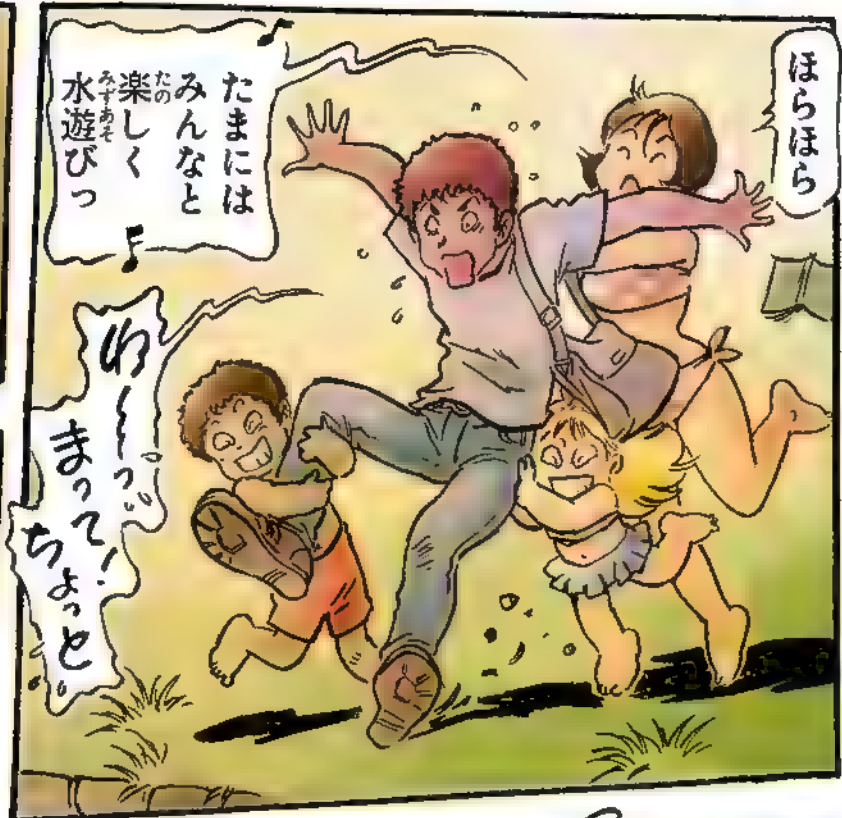


カワイソ

アムロ



あーっ

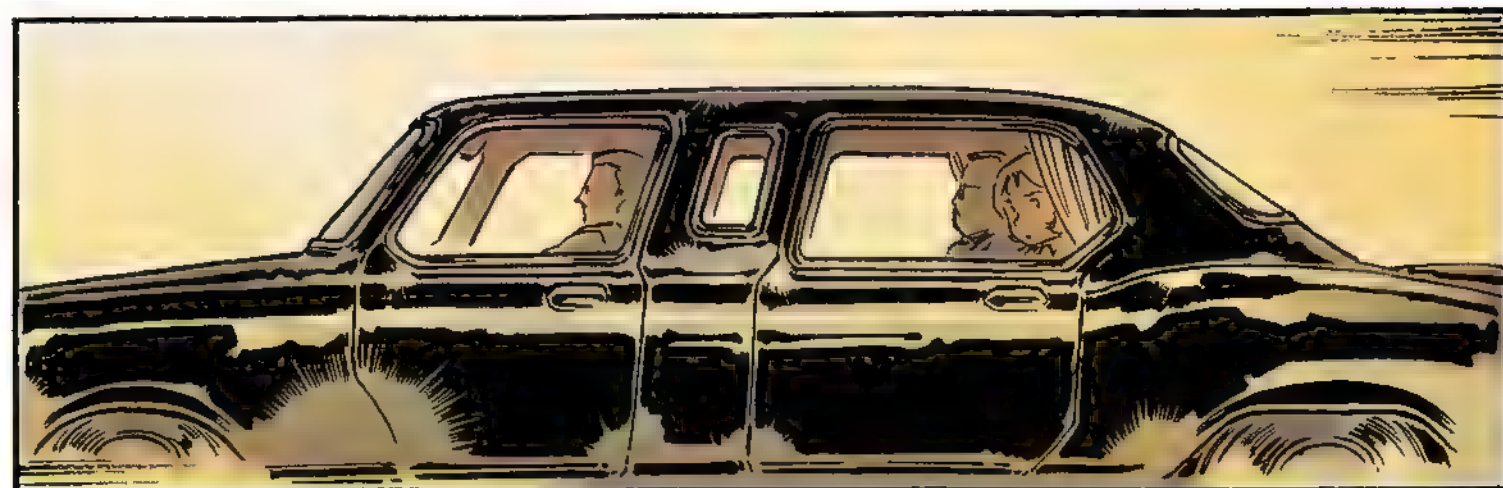
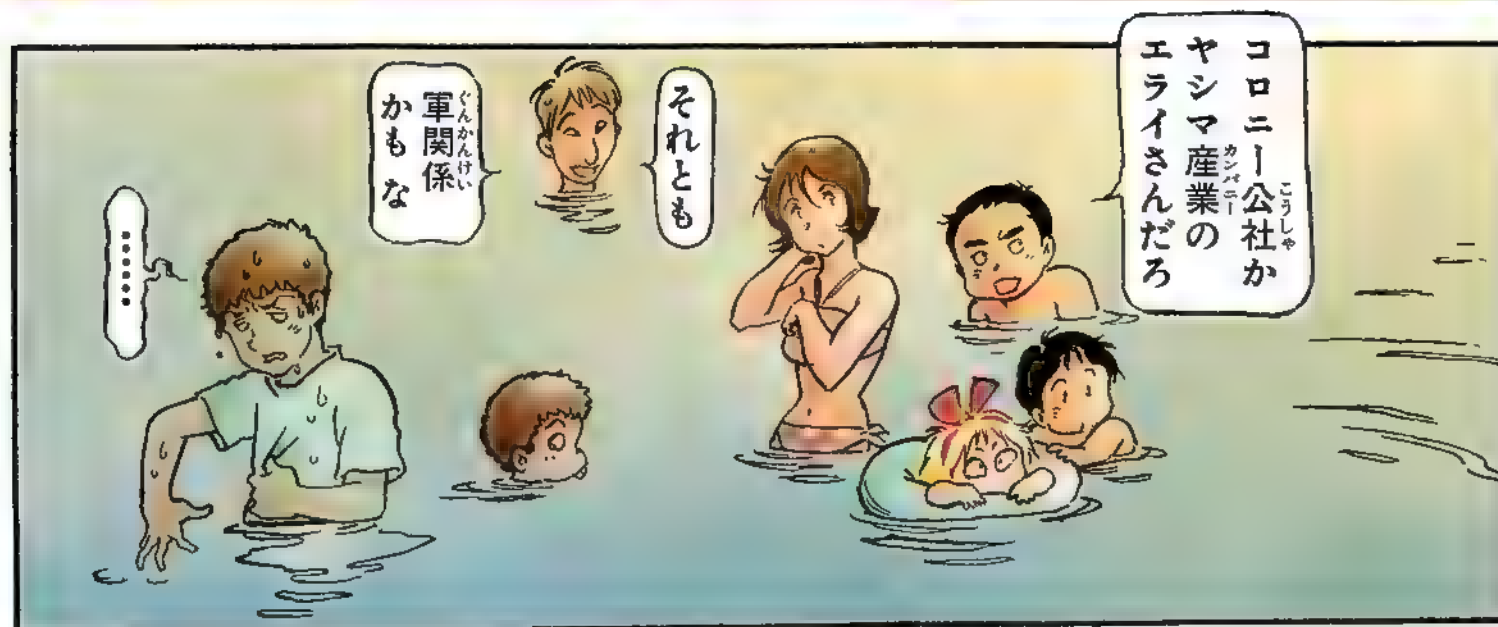
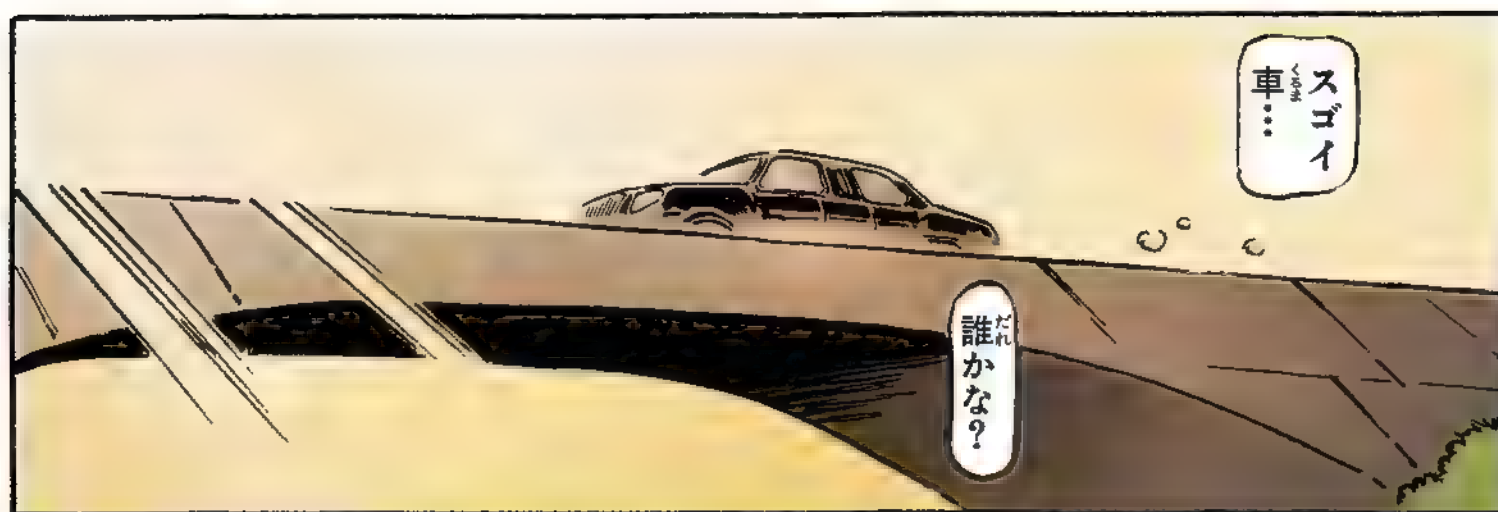


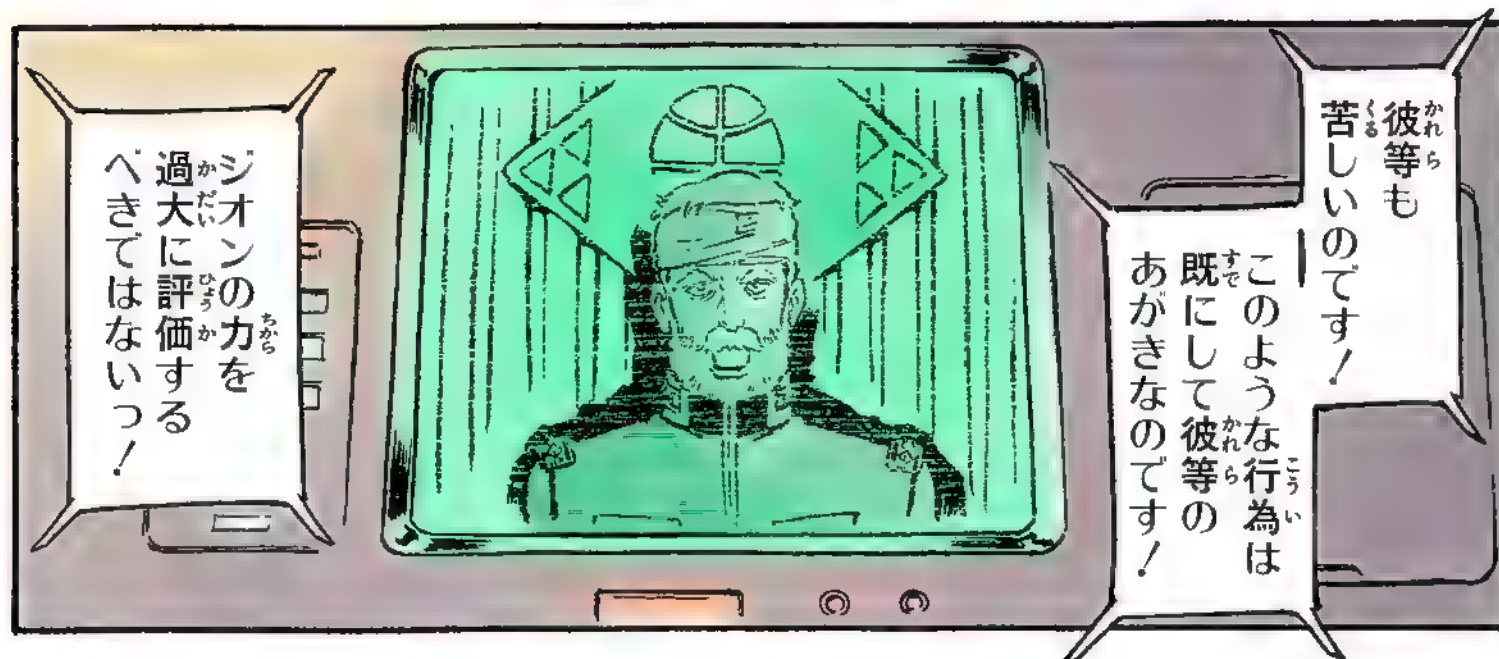
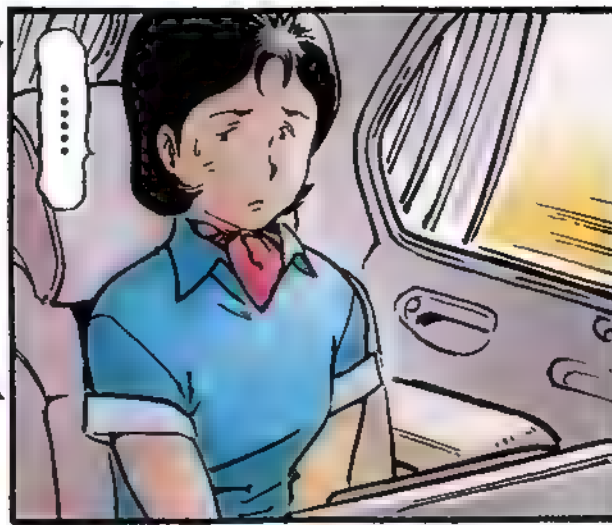
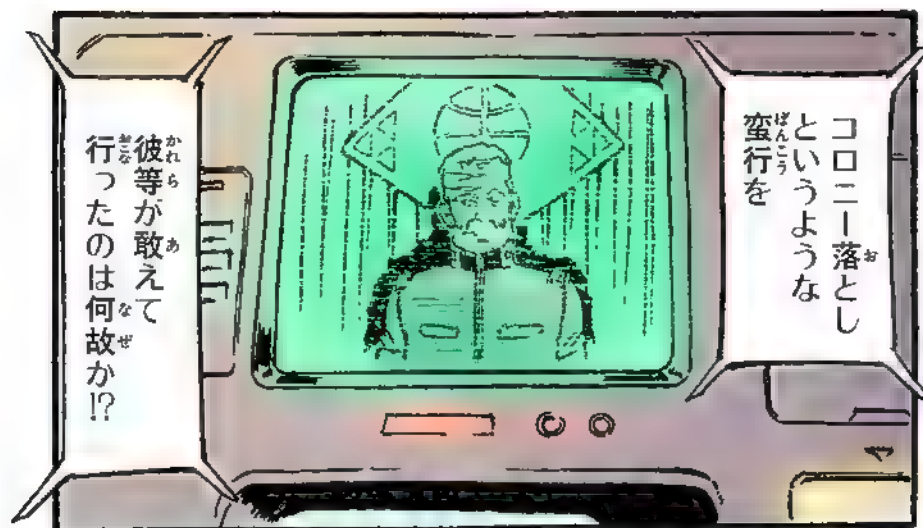
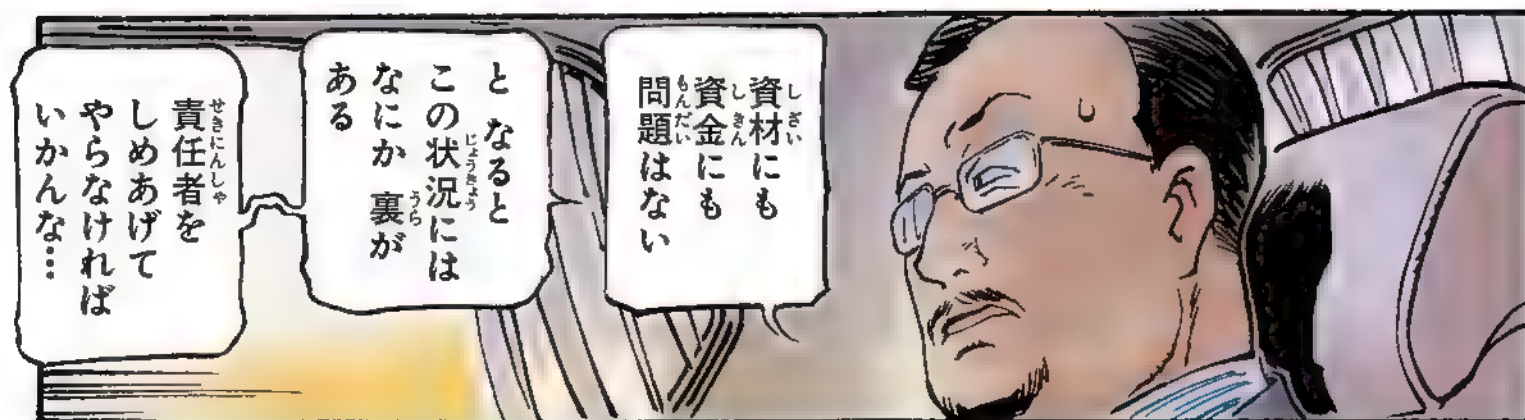
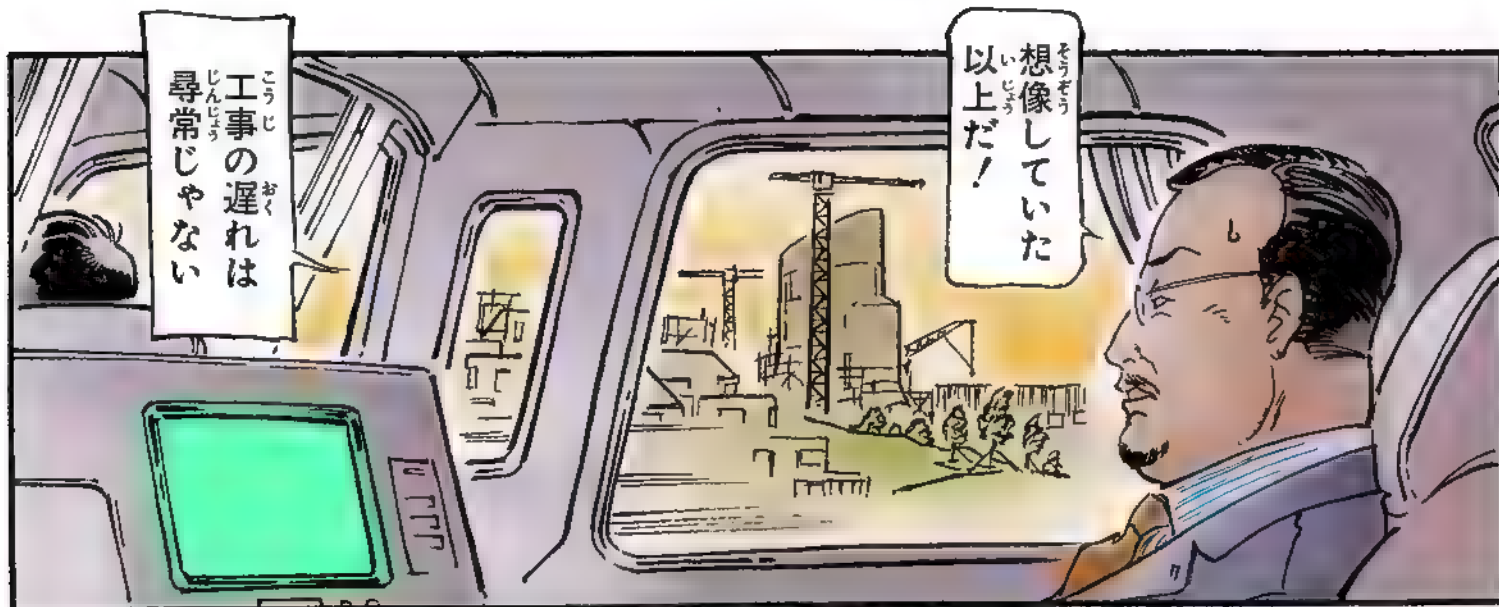
たまには
みんなと
楽しく
水遊びっ

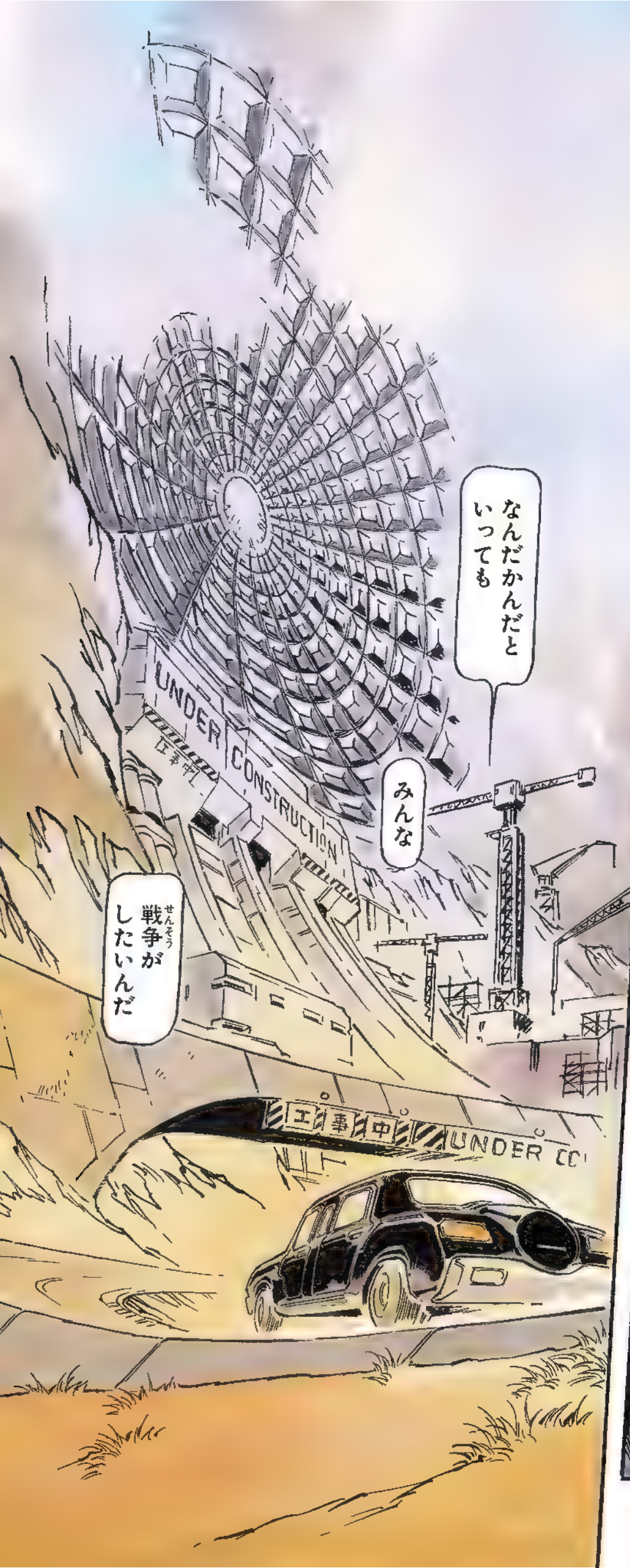
ほらほら



あちゃ







なんだかんだと
いつでも

みんな

戦争が
したいんだ

戦争は
まだまだ
続きそう
ですね

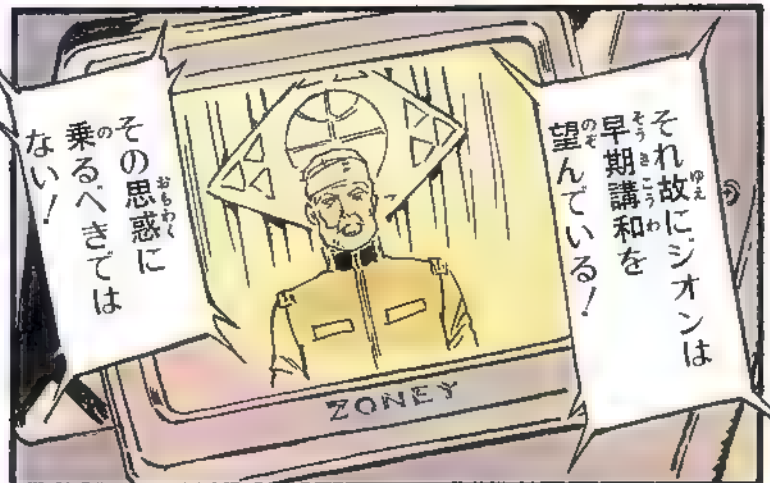
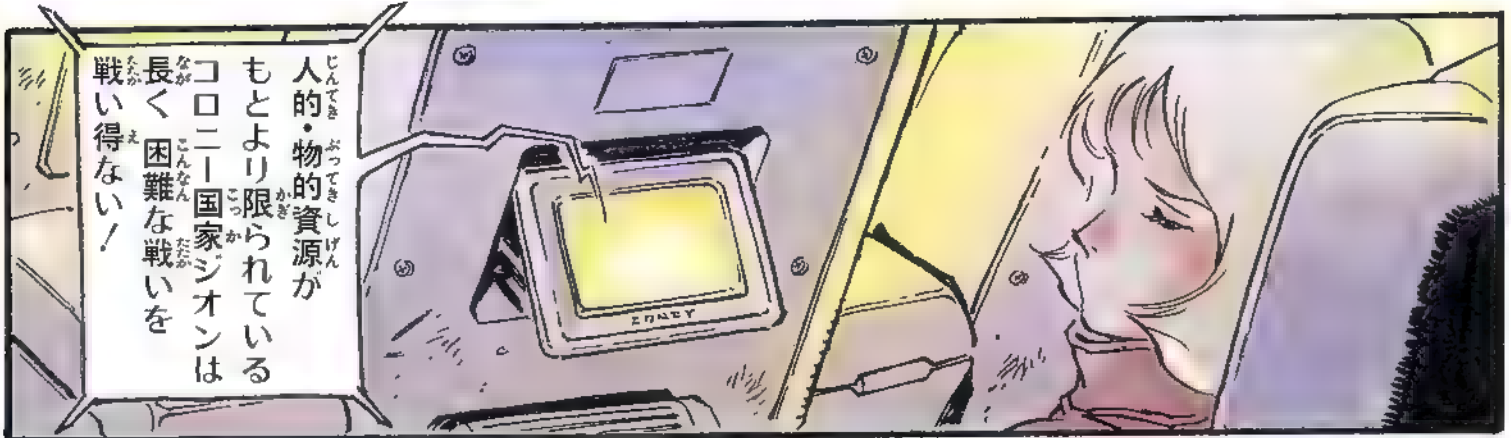
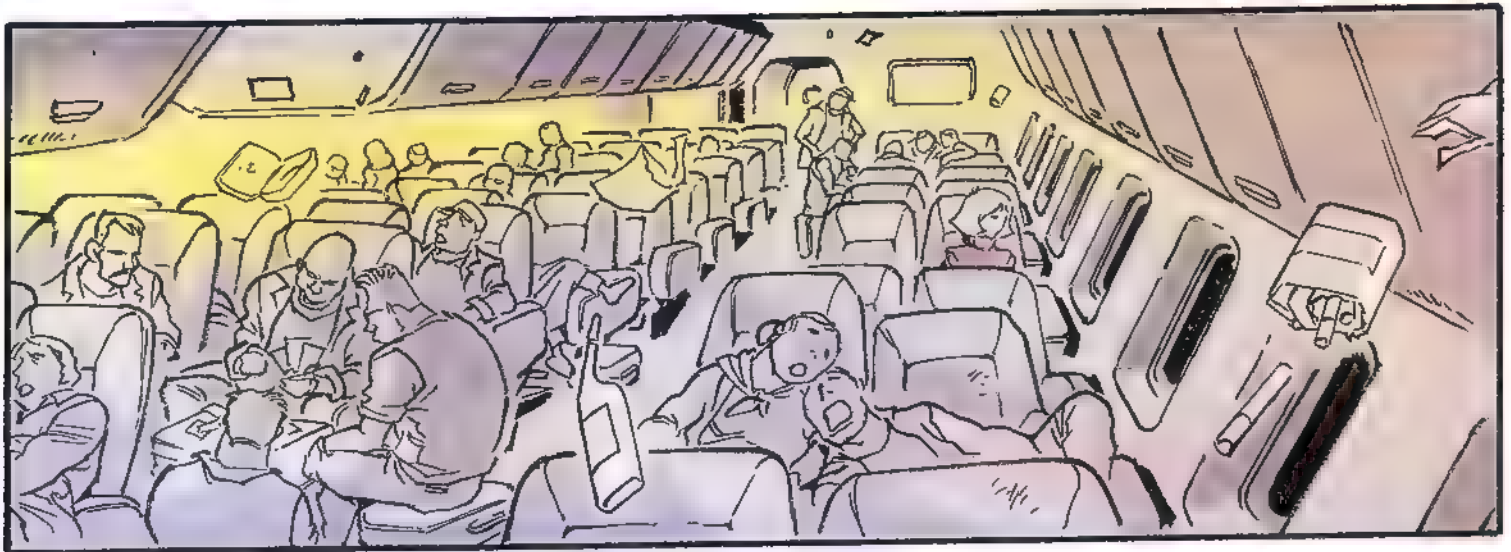
ああ

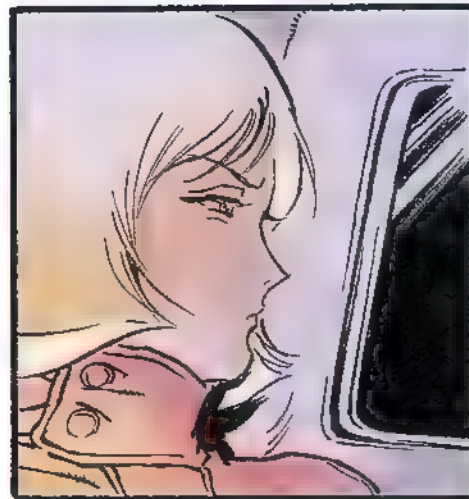
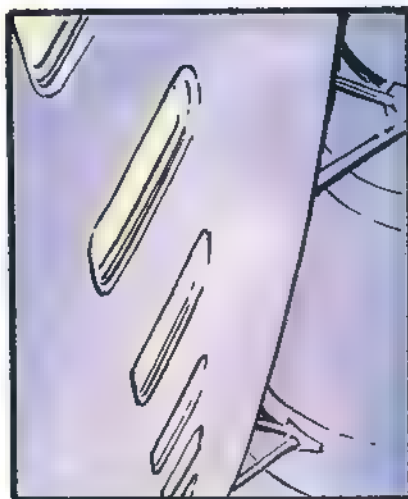
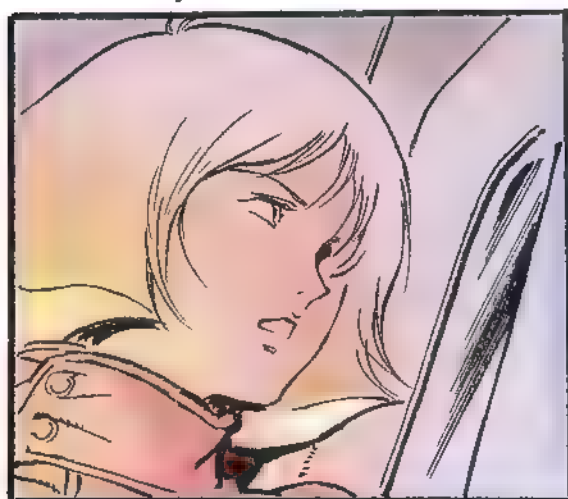
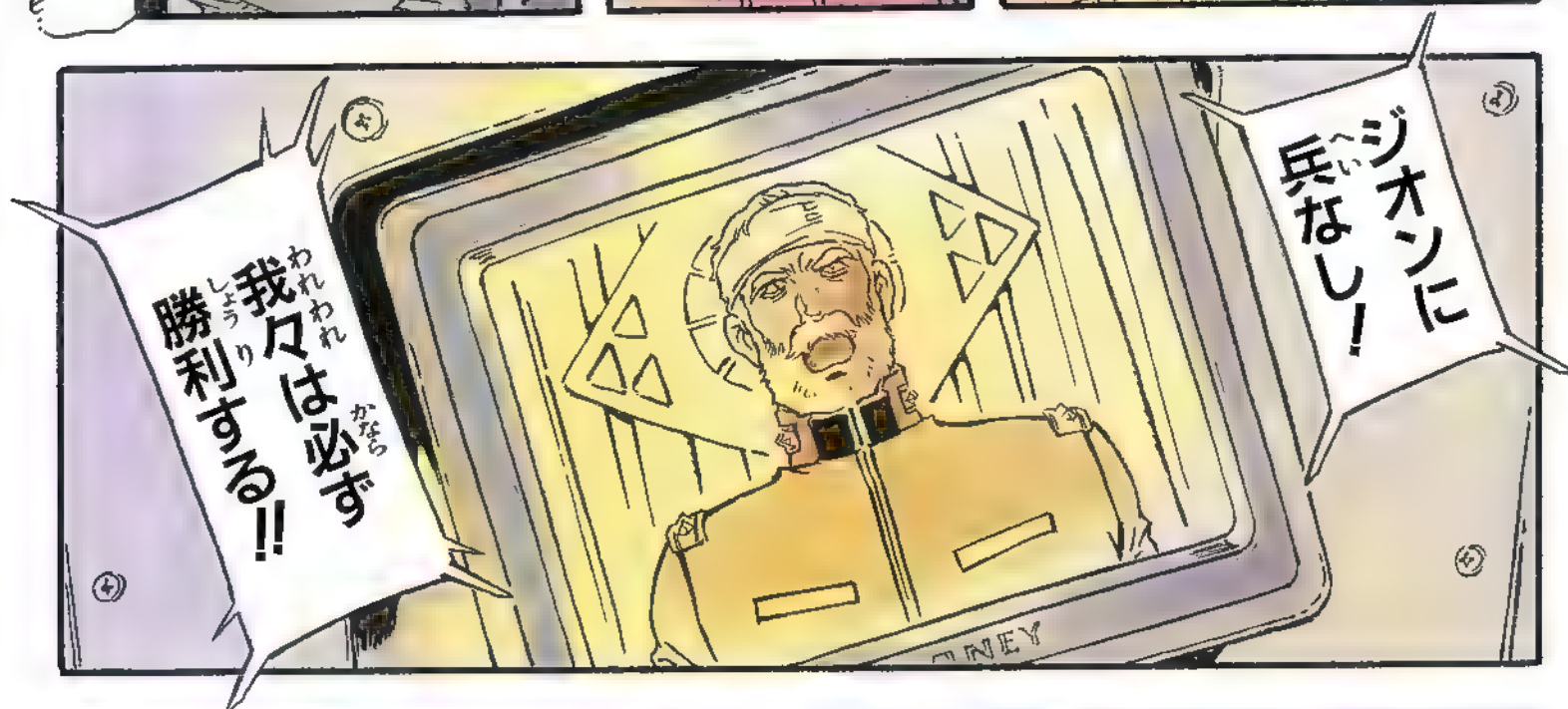
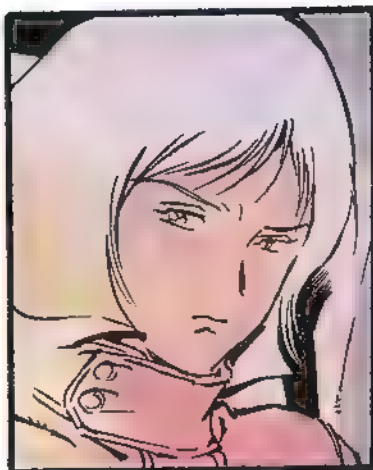
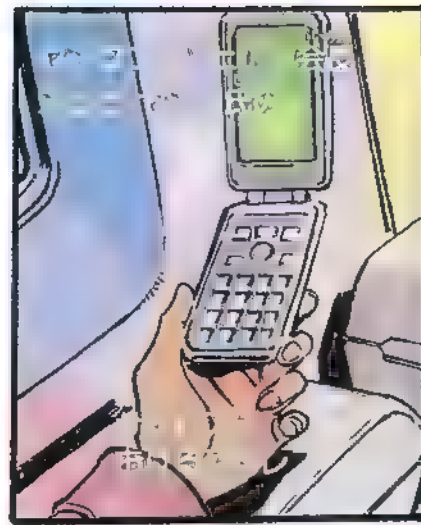
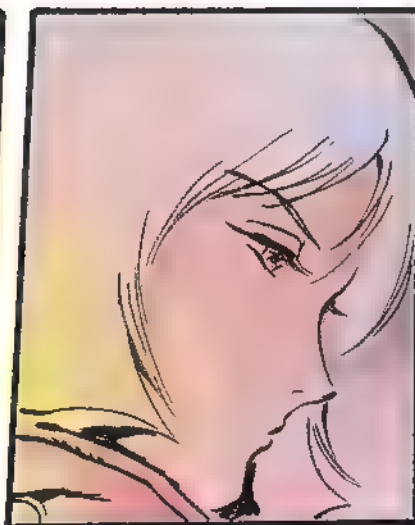
しかたが
ないな

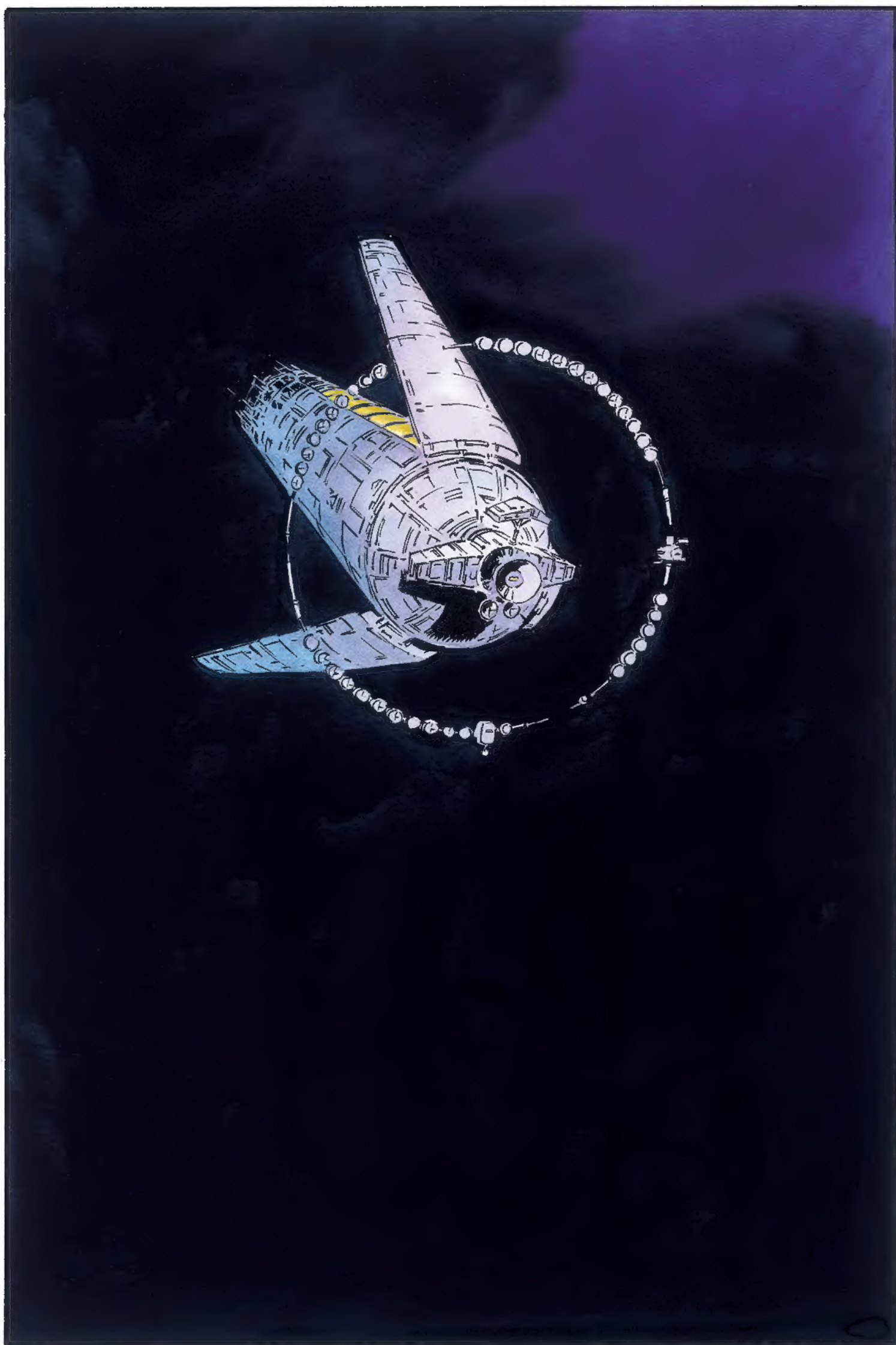
破局はまだ
充分でない

人はまだ

行きつく
所まで
行っていない







to be continued...

Can you remain alive in spite of the WAR?

角川コミックス・エース

フルカラー版 機動戦士ガンダムTHE ORIGIN^⑭

著者 安彦良和

原案 矢立肇・富野由悠季

メカニックデザイン 大河原邦男

2022年3月26日 発行
ver.001

©Yoshikazu YASUHIKO 2022
©創通・サンライズ

本電子書籍は下記にもとづいて制作しました
『機動戦士ガンダム THE ORIGIN』
(Comic Walker掲載)

発行者 青柳昌行
発行 株式会社KADOKAWA
<https://www.kadokawa.co.jp/>

●お問い合わせ

<https://www.kadokawa.co.jp/> (「お問い合わせ」へお進みください)

※内容によっては、お答えできない場合があります。

※サポートは日本国内のみとさせていただきます。

※Japanese text only

本電子書籍の全部または一部を無断で複製、転載、配信、送信すること、
あるいはウェブサイトへの転載等を禁止します。
また、本電子書籍の内容を無断で改変、改ざん等を行うことも禁止します。
本電子書籍購入時にご承諾いただいた規約により、有償・無償にかかわらず
本電子書籍を第三者に譲渡することはできません。
本電子書籍の内容は、底本発行時の取材・執筆内容にもとづきます。
本電子書籍を示すサムネイルなどのイメージ画像は、再ダウンロード時に
予告なく変更される場合があります。
また、ご覧になるリーディングシステムにより、表示の差が認められることがあります。

この物語はフィクションであり、実在の人物・団体名とは関係がございません。

装丁・デザイン 福島トオル(Smile Studio)
カラーリスト 凸版印刷株式会社



BOOK★WALKER